

2026年度

シラバス

保健医療学部

School of Health Sciences



明海大学

2026年度
シラバス

保健医療学部

School of Health Sciences

共通科目 (基礎教育・人間力形成教育・キャリア形成教育・特別科目)

専門科目

目次

共通科目

基礎教育

学修の基礎Ⅰ	相川野々香	6
	阿方由紀枝	6
	稲田 環菜	6
	遠藤 信一	6
	大黒 章子	6
	佐々木文彦	6
	杉浦 雄策	6
	高野 紀子	6
	中村 元紀	6
	萩尾由貴子	6
	濱崎あゆみ	6
	遠藤 信一	8
	佐々木文彦	8
学修の基礎Ⅱ	小野寺樹璃	10
	高橋 真人	10
	高橋亜里沙	10
	高柳 奈月	10
	富樫 里真	10
	中村 佑衣	10
	荷見 美有	10
	藤本 陽子	10
	小野寺樹璃	12
	高柳 奈月	12
	荷見 美有	12
学修の基礎Ⅲ-a (データリテラシー 数理・推論)...	相川野々香	14
	遠藤 信一	14
	後藤 英樹	14
	佐々木文彦	14
	高橋 奈佳	14
	中村 元紀	14
	萩尾由貴子	14
	前田新太郎	14
	渡部 綾子	14
学修の基礎Ⅲ-b (情報リテラシー)...	相川野々香	16
	遠藤 信一	16
	後藤 英樹	16
	佐々木文彦	16
	高橋 奈佳	16
	中村 元紀	16
	萩尾由貴子	16
	前田新太郎	16
	渡部 綾子	16
学修の基礎Ⅲ-a (データリテラシー 数理・推論)...	相川野々香	18
	中村 元紀	18
	萩尾由貴子	18

学修の基礎Ⅲ-b (情報リテラシー)...	相川野々香	20
	遠藤 信一	20
	中村 元紀	20
	萩尾由貴子	20

人間力形成教育

人間存在の課題	中根 弘之	22
社会生活と倫理	中根 弘之	24
文学の世界	川勝 麻里	26
	森 晴彦	28
人類と文化	山本早良紗	30
美とは何か	高久 馨	32
コミュニケーション論	小野寺樹璃	34
	海谷 千波	36
心理学	中嶋 一恵	38
	林 哲也	40
からだと健康	宮澤 慶	42
日本人の生活意識	中根 弘之	44
	堀内 貴子	46
性格とは何か	樋口 倫子	48
生命と遺伝子	桑山 秀一	50
スポーツ科学講義 A	杉浦 雄策	52
	矢島ますみ	54
スポーツ科学講義 B	杉浦 雄策	56
	矢島ますみ	58
スポーツ科学演習 A	杉浦 雄策	60
	矢島ますみ	62
	矢島ますみ	64
スポーツ科学演習 B	杉浦 雄策	66
	矢島ますみ	68
	矢島ますみ	70
ボランティア講義	小川 正純	72
人間形成ゼミナール	伊藤 直樹	74
	樋口 倫子	76
	矢島ますみ	78
	矢島ますみ	80
日本の歴史	野田有紀子	82
国際関係論	東 夢子	84
国際貢献論	小川 正純	86
民族と宗教	岩田 成就	88
異文化コミュニケーション論	岡田 麻唯	90
日本語と日本文化 A	川勝 麻里	92
日本語と日本文化 B	川勝 麻里	94
フランス語とフランス文化 A	馬越 洋平	96
	西村 美穂	98
フランス語とフランス文化 B	馬越 洋平	100
	西村 美穂	102
ドイツ語とドイツ文化 A	諏佐ランカ	104
	リ-ナー フラカ ベ-ター	106
ドイツ語とドイツ文化 B	諏佐ランカ	108
	リ-ナー フラカ ベ-ター	110
スペイン語とスペイン文化 A	コンカス ガブリエル	112

スペイン語とスペイン文化 B	カカス ガリエル	114
韓国語と韓国文化 A	全 イジョン	116
韓国語と韓国文化 B	全 イジョン	118
中国語と中国文化 A	于 明明	120
	中島 祝	122
中国語と中国文化 B	于 明明	124
	中島 祝	126
英語文化研究 A	諏佐ランカ	128
英語文化研究 B	諏佐ランカ	130
国際理解ゼミナール	小川 正純	132
法学	櫻井 博子	134
日本国憲法	吉田 成利	136
経済のしくみ	野口 尚洋	138
政治のしくみ	河野 武司	140
自然環境論	磯田 尚子	142
生活と安全	笠嶋 義夫	144
行動科学	樋口 倫子	146
データのまとめ方	新井 啓	148
数理の世界	中島 達洋	150
	中島 達洋	152
身近な化学	藤井 大輔	154
	笠嶋 義夫	156
社会生活ゼミナール	新井 啓	158
	中島 達洋	160

キャリア形成教育

キャリアプランニング I	阿方由紀枝	162
	稲田 環菜	162
	大黒 章子	162
	高野 紀子	162
	濱崎あゆみ	162
キャリアプランニング II	阿方由紀枝	164
	稲田 環菜	164
	大黒 章子	164
	高野 紀子	164
	濱崎あゆみ	164
キャリアプランニング III	阿方由紀枝	166
	稲田 環菜	166
	大黒 章子	166
	高野 紀子	166
	濱崎あゆみ	166
キャリアデザイン	阿方由紀枝	168
	稲田 環菜	168
	高野 紀子	168
	濱崎あゆみ	168

特別科目

アカデミック日本語 I	富樫 里真	170
	高柳 奈月	172
	高橋亜里沙	174
	荷見 美有	176
	範 弘宇	176
	堀内 貴子	176
アカデミック日本語 II	林 苗	178
	富樫 里真	180
	高橋亜里沙	182
	小野寺樹璃	184
	行田 悦子	184
	荷見 美有	184
アカデミック日本語 III	範 弘宇	186
	林 苗	188
	沈 伽迪	190
	小野寺樹璃	192
	高橋亜里沙	192
	田川 麻央	192
アカデミック日本語 IV	荷見 美有	194
	高橋亜里沙	196
	藤本 陽子	198
	小野寺樹璃	200
	行田 悦子	200
	範 弘宇	200

専門科目

医療ホスピタリティ実習	藤井 直子	204
医療倫理・心理学	稲場 夢有	206
	礪波 健一	206
生物学・化学	奈良 雅之	208
	廣井 美紀	208
保健情報統計学	礪波 健一	210
基礎英会話	ウヰナ ジョソソ	211
発展英会話	ウヰナ ジョソソ	213
歯学基礎英語	久保田チエコ	215
	ムラカミ マチス	215
歯学臨床英語	久保田チエコ	217
	ムラカミ マチス	217
解剖学	佐藤 文枝	219
生理学	飯田 理人	221
	村本 和世	221
口腔解剖学	浅見 瑠璃	223
	佐藤 卓也	223
口腔生理・機能学	飯田 理人	225
	村本 和世	225
口腔組織・発生学	長坂 新	227
	藤井みゆき	227
生化学・栄養生化学	金久 弥生	228
	坂東健二郎	228

病理学・口腔病理学	坂本 真一	230	応用歯科保健指導実習	三分一恵里	281
微生物学・口腔微生物学	猪俣 恵	232		高尾あゆみ	281
	岩橋 均	232		森下 志穂	281
薬理学・歯科薬理学	安達 一典	234	摂食嚥下リハビリテーション実習	三分一恵里	283
	佐藤 元	234		高尾あゆみ	283
口腔衛生学	青山 旬	236		森下 志穂	283
	宮澤 慶	236	臨床歯科衛生活動実習	石川 由美	285
公衆衛生学	青山 旬	239		金久 弥生	285
	宮澤 慶	239		久保田チエコ	285
衛生行政・介護福祉論	大塚 紘未	242		宮澤 慶	285
	宮澤 慶	242	歯科臨床と材料の基礎	梅森 幸	287
臨床医科学・多職種連携論	荒井 沙織	244		金子 潤	287
	金子 潤	244		河野 舞	287
	金久 弥生	244		竹島 浩	287
	齋田 瑞恵	244		吉川 正芳	287
口腔保健学概論	金久 弥生	246	基礎歯科診療補助論	田中 美咲	289
	星合 愛子	246		星合 愛子	289
歯科保存学	金子 潤	248	臨床歯科診療補助論	田中 美咲	291
歯周治療学	梅森 幸	250		星合 愛子	291
歯科補綴学	河野 舞	251	基礎歯科診療補助実習	梅森 幸	293
口腔外科・麻酔学	竹島 浩	253		田中 美咲	293
小児・矯正歯科学	梅森 幸	255		星合 愛子	293
	吉川 正芳	255	臨床歯科診療補助実習	河野 舞	295
高齢者・スペシャルニーズ歯科学	河野 舞	257		田中 美咲	295
	星野 倫範	257		星合 愛子	295
摂食嚥下リハビリテーション学	大岡 貴史	259	臨床検査・放射線学	竹島 浩	297
	岡澤 仁志	259		礪波 健一	297
	三分一恵里	259	口腔保健学臨床臨地実習Ⅰ	実習担当専任教員	299
	進藤 彩花	259		実習担当専任教員	300
	森下 志穂	259	口腔保健学臨床臨地実習Ⅱ	実習担当専任教員	301
歯科医療安全実習	田中 美咲	261	口腔保健学臨床臨地実習Ⅲ	実習担当専任教員	302
	礪波 健一	261		実習担当専任教員	303
	星合 愛子	261	歯科衛生総合実習 (OSCE)	専任教員	304
基礎歯科予防処置論	石川 由美	263	総合口腔保健学特論／歯科総合演習	総合口腔保健学特論・ 歯科総合演習 担当教員	305
応用歯科予防処置論	石川 由美	265	卒業研究概論	専任教員	306
基礎歯科予防処置実習	高澤 維月	267	卒業研究	専任教員	307
	虎谷 斉子	267		専任教員	309
応用歯科予防処置実習	高澤 維月	270			
	虎谷 斉子	270			
口腔保健管理学実習	金子 潤	273			
	高澤 維月	273			
	虎谷 斉子	273			
基礎歯科保健指導論	三分一恵里	275			
	高尾あゆみ	275			
	森下 志穂	275			
応用歯科保健指導論	三分一恵里	277			
	高尾あゆみ	277			
	森下 志穂	277			
基礎歯科保健指導実習	三分一恵里	279			
	高尾あゆみ	279			
	森下 志穂	279			

[共通科目]

- 基礎教育
- 人間力形成教育
- キャリア形成教育
- 特別科目

学修の基礎 I

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前 | 備考：2026 年度入学生のみ履修可能

相川 野々香 (あいかわ ののか)・阿方 由紀枝 (あがた ゆきえ)・稲田 環菜 (いなだ かなな)・遠藤 信一 (えんどう しんいち)・大黒 章子 (おおくろ あきこ)・佐々木 文彦 (ささき ふみひこ)・杉浦 雄策 (すぎうら ゆうさく)・高野 紀子 (たかの のりこ)・中村 元紀 (なかむら げんき)・萩尾 由貴子 (はぎお ゆきこ)・濱崎 あゆみ (はまさき あゆみ)

■ 授業の概要

この科目は「スタディ・プロモーション」を目的とし、新入生のみなさんが明海大学での4年間をどのように過ごし、どのような自分をつくっていくのかを考えるための授業です。大学について知り、自分自身を理解し、周囲と協力しながら学ぶ姿勢を育てます。授業では、自己理解を深めるワークや大学理解に加えて、探究型 PBL (IBL: Inquiry Based Learning) を取り入れた学生主体のグループワークを行います。自ら問いを立て、調べ、話し合い、解決策を導く経験を通して、課題解決力を高め、有為な人材として成長するための基盤を築いていきます。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー: M1 ◎/M2 ◎/M3 ○)

一般目標：明海大学の建学の精神のキーワードである「社会性」「創造性」「合理性」が、社会に貢献するための課題解決の鍵となることを理解する。大学での主体的な学び方を身につけ、探究型 PBL (IBL) を含むグループワークを通じて、課題解決に取り組むための基礎的なスキルを養うことを目標とする。

個別目標：①明海大学について理解を深め、建学の精神に掲げる「社会性」「創造性」「合理性」について説明できる。

②自らの考えを整理し、相手に伝わるようにわかりやすく説明できる。

③自分の特性を理解し、それを踏まえて「なりたいじぶん」の姿を描くことができる。

④大学生活を通じて「なりたいじぶん」を実現するためのロードマップを設計できる。

⑤探究型 PBL (IBL) を通じて、問いを立て、調べ、話し合い、解決策を導く力を身につける。

■ 履修条件

2026 年度新入生(アカデミック日本語の履修対象者を除く)

■ 評価基準・方法

①提出物、プレゼンテーションスライドなどの作成 40 %

②発表など 40 %

③授業中の活動などアクティブラーニングの評価 20 %

(提出日時、所定のルールを守らないものは評価しない)

発表資料などが間に合わない場合は、「事前学修」「振り返り」が出来ていないものと判断し、減点する

※なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする

■ フィードバック方法

学修支援システム manaba を通じて行う

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (授業回によって協働ワークを実施)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (自分のノートパソコンを持参すること)

■ 教科書

特にないが、manaba を通じてコンテンツを配信する。

毎回自分のノートパソコンを持参すること。

■ 参考書

特になし

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：オリエンテーション/学び方(ノートテイキング)、図書館の利用方法 授業内容：授業の目的や進め方を理解し、大学での学びに必要な姿勢を確認します。効果的なノートテイキングの方法、図書館を利用した情報収集方法などを学び、今後の授業で活用できる基礎を身につけます。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、授業の目的や進め方を確認する。大学での学びに対する不安や期待を整理しておく。 事後学修 2.0hr：学んだノートテイキングを使い、授業内容をまとめる。今後の学び方の改善点を振り返る。
2 回	授業テーマ：大学からのメッセージ1 学長講話 授業内容：学長から明海大学の理念や教育方針について話を聞き、大学で学ぶ意義を考えます。大学生活を主体的に過ごすための視点を得る機会とします。 事前学修 2.0hr：明海大学の建学の精神について事前に調べ、疑問点を整理する。 事後学修 2.0hr：学長講話で印象に残った点をまとめ、大学での学びの意義を自分なりに言語化する。講演で印象に残ったことを記録する。
3 回	授業テーマ：大学からのメッセージ2 特別講演「グアムの文化と歴史」(課題探究のための予備学修) 授業内容：第 10 回～12 回の探究学修で取り上げるグアムについての予備知識を学ぶために、グアム政府観光局、JTB による特別講演を聴きます。 事前学修 2.0hr：グアムの観光地などについて調べる。 事後学修 2.0hr：講演で印象に残ったことを記録する。
4 回	授業テーマ：自己を知る1 PROG テスト受験 授業内容：PROG テストを受験し、自分の思考力・人間力の現状を把握します。今後の成長目標を考えるための基礎データとして活用します。PC を必ず持参してください。 事前学修 2.0hr：PROG の目的を理解し、自分の強み・弱みを予想しておく。 事後学修 2.0hr：受験の感想をまとめ、今後伸ばしたい力について簡単に整理する。
5 回	授業テーマ：大学での学びの方法1 学修ポートフォリオの記入・探究型 PBL (IBL) の導入 授業内容：ポートフォリオの書き方を学び、自己理解を深めます。探究型 PBL (IBL) の考え方を導入し、課題解決のプロセス (明海スパイラルメソッド) を理解します。 事前学修 2.0hr：ポートフォリオの意義を確認し、自己理解に関するメモを準備する。 事後学修 2.0hr：PBL の特徴を振り返り、探究における自分の課題や役割を整理する。
6 回	授業テーマ：大学での学びの方法2 グループワーク開始・コーチングスキル(教育用カードゲームを活用) 授業内容：教育用カードゲームを用いて、相手の話を引き出すコーチングスキルを学びます。IBL に向けた協働の基礎をつくり、グループワークを開始します。 事前学修 3.0hr：コーチングの基本姿勢(傾聴など)について簡単に調べておく。 事後学修 2.0hr：カードゲームで得た気づきをまとめ、グループでの関わり方を振り返る。

7 回	授業テーマ：大学での学びの方法3 IBL ①「身近なものを比較する」1 課題設定 授業内容：身近なテーマから問いを立て、比較の視点を設定します。IBLの第一歩として、課題設定の重要性を理解し、グループでテーマを1つに決め、解決案を探ります。 事前学修 3.0hr：身近な比較テーマをいくつか考え、問いの候補を準備する。 事後学修 2.0hr：設定した課題の妥当性を振り返り、必要な追加調査を整理する。
8 回	授業テーマ：大学での学びの方法4 IBL ②「身近なものを比較する」2 分析・議論・解決策立案 授業内容：集めた情報をもとに分析し、グループで議論を深めます。比較から見える特徴を整理し、解決策や提案をまとめていきます。提案するための発表スライドを作成します。 事前学修 3.0hr：比較対象に関する情報を集め、何によって分析するのか、制約条件などを考えておく。 事後学修 2.0hr：発表スライドを完成させ、提案の根拠となるデータや視点を補強する。
9 回	授業テーマ：大学での学びの方法5 IBL ③「身近なものを比較する」3 成果発表・立案・フィードバック 授業内容：グループごとに成果を発表し、他者からのフィードバックを受けます。比較の視点や分析の深さを振り返り、次の探究に活かします。 事前学修 3.0hr：発表スライドの最終確認を行い、伝えたいポイントを明確にする。 事後学修 3.0hr：聴衆に伝わったか否かなど、受けたフィードバックをまとめ、次の探究に活かす改善点を整理する。
10 回	授業テーマ：大学での学びの方法6 IBL ④「社会課題に取り組む」1 課題設定 授業内容：グアム島が抱える社会課題について、みなさんに解決策を考えてもらいます。観光や地域経済の課題をIBLのプロセス(明海スパイラルメソッド)で探究します。まず、現状の課題を整理し、問題が生じた背景や要因をグループで設定します。 事前学修 3.0hr：グアム島の観光地の現状や観光課題について簡単に調べ、疑問点を整理する。 事後学修 2.0hr：設定した社会課題の背景を深掘りし、追加で調べるべき視点をまとめる。
11 回	授業テーマ：大学での学びの方法7 IBL ⑤「社会課題に取り組む」2 分析・議論・解決策立案 授業内容：グアム島が抱える社会課題の背景を調べ、原因や影響を分析します。分析と議論を行い、実現可能な解決策を立案し、グアム島を活性化させるための発表スライドを作成します。 事前学修 2.0hr：テーマを1つに絞るための話し合いをグループでしておく。 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションを行うための発表スライドを完成させる。
12 回	授業テーマ：大学での学びの方法8 IBL ⑥「社会課題に取り組む」3 成果発表・立案・フィードバック 授業内容：グアム島を活性化させる提案内容を発表し、他グループからのフィードバックを受けて改善点を明確にし、社会課題に向き合う姿勢を養います。 事前学修 2.0hr：発表内容を整理し、伝わりやすい構成を確認する。 事後学修 2.0hr：フィードバックを受けて提案の改善点を明確にし、学びの成果を記録する。
13 回	授業テーマ：自己を知る2 PROGの返却とフィードバック 行動指針の策定 授業内容：PROGの結果を受け取り、自分の強みと課題を確認します。結果を踏まえて、今後の大学生活で意識する行動指針をつくります。 事前学修 2.0hr：PROG結果の見方を確認し、振り返りの準備をする。 事後学修 3.0hr：返却結果をもとに、自分の行動指針を文章化し、今後の学びに反映させる。
14 回	授業テーマ：ポートフォリオ記入・ロードマップ作成 授業内容：これまでの学びをポートフォリオに整理し、「なりたい自分」に向けたロードマップを作成します。成長の軌跡を可視化します。 事前学修 2.0hr：これまでの学びを振り返り、ロードマップに入れたい内容を整理する。 事後学修 2.0hr：作成したロードマップを見直し、実行可能な行動に落とし込む。
15 回	授業テーマ：ロードマップ記入・リフレクション+学びの言語化 授業内容：ロードマップを完成させ、1年間の学びを振り返ります。経験を言語化し、今後の大学生活で活かす視点を明確にします。 事前学修 2.0hr：1年間の学びを振り返り、言語化したい経験を整理する。 事後学修 2.0hr：完成したロードマップをもとに、今後の大学生活で実践する行動を明確にする。

学修の基礎 I

開講学科等：日英中不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前/後 | 備考：再履修クラス

遠藤 信一 (えんどう しんいち)・佐々木 文彦 (ささき ふみひこ)

■ 授業の概要

本科目は再履修科目として位置づけられており、これまでの大学生活を振り返り、学び直しを通してより良い大学生活を再設計することを目的とします。「自己を知る」「情報整理術」「学修計画やロードマップの作成」等さまざまな課題について考えます。明海大学での「自分さがし、自分づくり」を再スタートさせましょう。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○)

一般目標：再履修者がこれまでの経験を踏まえて自己理解を深め、改善点を明確にし、大学生活を再構築できるようにする

個別目標：①自分自身の特性を理解し、わかりやすく伝えることができる

②明海大学を理解し、わかりやすく伝えることができる

③大学生活でどのような自分を創り出すか、明確に描くことができる

■ 履修条件

授業は毎回必ず受講し、内容をしっかり理解すること

■ 評価基準・方法

①毎回の「事前学修」および「振り返りシート」(提出および内容) 60 %

②提出物 40 %

(提出日時、所定のルールを守らないものは評価しない)

※なお、4/5 以上の出席を評価の前提条件とする

■ フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (授業回によってペアワークを実施)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (授業回によって使用する場合がある)

■ 教科書

『学修の基礎 I』(入学年度に購入した教科書)

■ 参考書

特になし

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：オリエンテーション 授業内容：再履修者は、前回の学修経験を振り返りながら取り組むことで、より深い自己理解と実践的な学修計画の構築を目指す。 事前学修 2.0hr：シラバス及び教科書を読み、授業全体の流れを確認する 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
2 回	授業テーマ：大学での学びの方法①：メールと LMS の活用 授業内容：大学での学びの準備として、大学の基本ツール(メールと manaba)を使えるようにする。 事前学修 2.0hr：「メールの書き方」について、大学公式ウェブサイトなどで調べる 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
3 回	授業テーマ：自己を知る①：これまでの自分を整理する(ポートフォリオ) 授業内容：過去の経験を整理し、自己理解の土台をつくる。 事前学修 2.0hr：e ポートフォリオ・ポートフォリオについて、大学公式ウェブサイトなどで調べる 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
4 回	授業テーマ：大学での学びの方法②：大学の仕組みと学修環境を知る 授業内容：大学の理解を深めるため、大学の制度・施設を理解する。 事前学修 2.0hr：明海大学の大学公式ウェブサイト、学内の施設について調べる 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
5 回	授業テーマ：自己を知る②：時間の使い方から自分を知る 授業内容：行動パターンから特性を理解した上で、自分のスケジュール管理を見直す。 事前学修 2.0hr：「スケジュール管理」について、大学公式ウェブサイトなどで調べる 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、スケジュール帳などにこれからの計画を記入する
6 回	授業テーマ：大学での学びの方法③：ノートテイキングの基礎 授業内容：学修スキル(ノートテイキング)の基礎を身につける。 事前学修 2.0hr：これまでの受講した授業のノートを見直し、良い点と問題点を考える 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
7 回	授業テーマ：情報整理術 アイディアの発想と情報の整理 授業内容：大学に必要な思考の 1 つである「発想」とそれを整理する方法を知る。 事前学修 2.0hr：教科書「情報整理術」を読み、学修内容を確認する 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
8 回	授業テーマ：大学での学びの方法④：情報検索の基礎 授業内容：図書館・Web 検索の基礎を理解する。 事前学修 2.0hr：明海大学メディアセンターについて、大学公式ウェブサイトなどで調べる 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
9 回	授業テーマ：大学での学びの方法⑤：学部での学びを理解する 授業内容：自分の学部の学修内容を理解する。 事前学修 2.0hr：履修ガイドや大学公式ウェブサイト、自分の学科について調べる 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
10 回	授業テーマ：自己を知る③：マインドマップで自分を可視化する 授業内容：自分の興味・価値観を広げて捉える。 事前学修 2.5hr：マインドマップについて、大学公式ウェブサイトなどで調べる 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する

11 回	授業テーマ：自己を知る④：マインドマップから強みを見つける 授業内容：マインドマップから、自己の強みを抽出し、自分自身の強みを見つける。 事前学修 2.0hr：作成したマインドマップの中から「キーワード」を探す 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
12 回	授業テーマ：自己を知る⑤：ジェネリックスキルで客観的に理解する 授業内容：自己評価を客観化し、強み・課題を整理する。 事前学修 2.0hr：ジェネリックスキルについて、大学公式ウェブサイトなどで調べる 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
13 回	授業テーマ：学修計画を立てる e ポートフォリオの記入 授業内容：自分自身の特性を再確認し、大学生活でどのような自分を創り出すかを考える。 事前学修 2.0hr：教科書「学修計画を立てる」を読み、学修内容を確認する 事後学修 2.0hr：記入したポートフォリオを見直し、修正する
14 回	授業テーマ：ロードマップを考える ロードマップの作成 授業内容：大学生活でどのような自分を創り出すかを明確に描く。 事前学修 2.0hr：教科書「ロードマップを考える」を読み、学修内容を確認する 事後学修 2.0hr：記入したロードマップを見直し、修正する
15 回	授業テーマ：大学での学びを考える ロードマップ実行のための指針 授業内容：自分自身の特性を理解し、目標を持って改めて大学生活をスタートさせる。 事前学修 2.0hr：教科書「大学での学びを考える」を読み、学修内容を確認する 事後学修 2.0hr：記入したロードマップを見直し、修正する

学修の基礎Ⅱ

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前/後 | 備考：2026 年度入学生のみ履修可能

小野寺 樹璃 (おのでら じゅり)・高橋 真人 (たかはし まさと)・高橋 亜里沙 (たかはし ありさ)・高柳 奈月 (たかやなぎ なつき)・富樫 里真 (とがし りま)・中村 佑衣 (なかむら ゆい)・荷見 美有 (はすみ みゆう)・藤本 陽子 (ふじもと ようこ)

■ 授業の概要

広く社会に目を向けると、様々な立場の人、背景の異なる人がいて、相互理解を図るためにコミュニケーションが欠かせないことが分かります。親しい人であっても自分とは異なる他者です。大学生として新たに身につけて欲しいのは、このような自分とは異なる他者と一緒に共同体や社会を作っていくためのコミュニケーション力です。そのために、他者の言ったことや書いたことを正しく論理的に理解する力や、自分の考えや主張を理由や根拠を示して他者に正しく論理的に伝達する力が必要です。この授業では、読解、文章作成、会話などの活動を通して、それらの力を育成します。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○)

一般目標：社会問題に対して自分の意見を持ち、その意見を論理的な文章によって分かりやすく表現したり、他者に正しく理解されるような発表ができる。

入門書レベルの文章を一定の時間内に論理性に注意して正しく読み取ることができる。

大学の教員や職員、インターンシップや就職活動で出会う社会人など、大学生が実際に接する機会が多い目上の人との対面コミュニケーションにおいて適切な会話スタイルで相互理解を図ることができる。

個別目標：支持する理由や根拠を複数あげて、社会問題に対する自分の意見を書くことができる。資料やデータ、論文などの先行研究を正しい引用方法で引用することができる。読解力(文の基本構造を把握する力、指示代名詞・省略された語を把握する力、含意関係・同義文を判定する力、基本的知識と推論により文の意味を理解する力、図やグラフを参照して内容を理解する力、定義を読み合致する具体例を認識する力)を身につける。場面情報、言語情報を正確に把握したうえで、人間関係を保持しつつ自分の伝達意図を伝えることができる。

■ 履修条件

期限までに課題の提出をしてください。授業内の活動に積極的に参加してください。

■ 評価基準・方法

4/5 以上の出席を評価の前提条件とします。

課題提出(小テスト・事前学修・事後学修・授業内課題・学修のふりかえり) 60%、最終レポート 10 %、最終試験 30 % で評価します。

■ フィードバック方法

学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (プロセスライティングで文章作成を学ぶ。その中で、ピアレビュー、自己点検、発表を行う。)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (文章作成にワードを、テーマ決めや主張を支える証拠を探すために Web 検索をし、発表資料作成にパワーポイントを使用する。)

■ 教科書

『学生のコミュニケーション・スキルの学び グローバル社会を生きるためのレッスン』実教出版

■ 参考書

必要な時に授業で指示します。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：ガイダンス：コミュニケーションとは 授業内容：本授業の概要についての説明を行う。また、事前テストを実施する。 事前学修 2.0hr：自分の経験から、良いコミュニケーション(文章・会話)には何が必要かを考える。 事後学修 2.0hr：コミュニケーション(文章・会話)について自分の考えを整理し、まとめる。
2 回	授業テーマ：情報を調整する 授業内容：文章作成では、情報を調整する方法を学ぶ。会話では、感謝の伝え方を学ぶ。読解では基礎問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第1回 事後学修 2.0hr：読解基礎問題の復習をする。
3 回	授業テーマ：段落の構成を理解する 授業内容：文章作成では、段落構成について学ぶ。会話では、延期の依頼の伝え方を学ぶ。読解では基礎問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第2回 事後学修 2.0hr：読解基礎問題の復習をする。
4 回	授業テーマ：要約する 授業内容：文章作成では、要約の方法を学ぶ。会話では、書類の提出時の会話を学ぶ。読解では基礎問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第3回 事後学修 2.0hr：読解基礎問題の復習をする。
5 回	授業テーマ：文章の構造を理解する 授業内容：文章作成では、文章の構造を学び、文章の構造が理解できることを目指す。会話では、手順の質問の場面の会話を学ぶ。読解では基礎問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第4回 事後学修 2.0hr：読解基礎問題の復習をする。
6 回	授業テーマ：プランニング1 (アイディアの抽出と整理) 授業内容：文章作成では、文章の構想を練るプランニングを学ぶ。会話では、会議の場面で司会の話し方について学ぶ。読解では基礎問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第5回 事後学修 2.0hr：読解基礎問題の復習をする。
7 回	授業テーマ：プランニング2 (アイディアの構造化) 授業内容：文章作成では、自分の文章のプランニングを行う。会話では、遅刻の連絡場面での話し方を学ぶ。読解では中級問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第6回 事後学修 2.0hr：読解中級問題の復習をする。
8 回	授業テーマ：主張を検討する 授業内容：文章作成では、自分の作成したプランニングの検討として、自分とは異なる主張の立場から見る方法を学ぶ。会話では、会議の場面で、自分の意見の適切な述べ方を学ぶ。読解では中級問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第7回 事後学修 2.0hr：読解中級問題の復習をする。

9 回	授業テーマ：理由を検討する 授業内容：文章作成では、自分の作成したプランニングの主張を支える理由の妥当性を考える。会話では、仕事などの進捗状況を責任者等に報告する際の伝え方を学ぶ。読解では中級問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第8回 事後学修 2.0hr：読解中級問題の復習をする。
10 回	授業テーマ：証拠となる客観的資料を探す 授業内容：文章作成では、自分のプランニングを見て、主張を支える理由の証拠となる資料を探す方法を学ぶ。会話では、会議の場面で結論を導くための話し方を学ぶ。読解では中級問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第9回 事後学修 2.0hr：読解中級問題の復習をする。
11 回	授業テーマ：論理的なつながりを検討する 授業内容：文章作成では、自分の文章のプランニングを見て、主張、理由、証拠となるデータが論理的に適切につながっているかを検討する。会話では、企画について話し合う場面で、建設的な相談の話し方を学ぶ。読解では上級問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第10回 事後学修 2.0hr：読解上級問題の復習をする。
12 回	授業テーマ：原稿を作成する 授業内容：文章作成では、自分のプランニングに基づいて、意見文の文章作成を行う。会話では、その場にいらない人に対する伝言を残す際の話し方を学ぶ。読解では上級問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第11回 事後学修 2.0hr：読解上級問題の復習をする。
13 回	授業テーマ：資料を作成する 授業内容：文章作成では、自分の意見を発表する際の資料を作成する。会話では、就職活動等で自己PRを述べる際の話し方を学ぶ。読解では上級問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第12回 事後学修 2.0hr：読解上級問題の復習をする。
14 回	授業テーマ：発表、コメントをする 授業内容：文章作成では、自分の意見を発表する。また他者の発表を聞いて改善のための建設的なコメントを行う。会話では、就職活動等で志望動機を述べる際の話し方を学ぶ。読解では上級問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第13回 事後学修 2.0hr：読解上級問題の復習をする。
15 回	授業テーマ：論理的な思考力・表現力とは 授業内容：最終試験を行う。コース全体の振り返りかえりをする。文章作成ではライティングプロセスを振り返り、工夫した点や改善をした点について再度検討を行う。また、会話や読解で学んだことをまとめる。 事前学修 2.0hr：試験の準備を行う。 事後学修 2.0hr：これまでの復習をする。

学修の基礎Ⅱ

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前/後 | 備考：再履修クラス

小野寺 樹璃 (おのでら じゅり)・高柳 奈月 (たかやなぎ なつき)・荷見 美有 (はすみ みゆう)

■ 授業の概要

日本語の運用能力の向上をめざし、論理的な思考力、表現力の育成をはかる。また、漢字・語句練習による語彙力の育成、談話完成練習による会話力の育成をはかる。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○)

一般目標：論理的で分かりやすい文章で意見を述べることができる。

その際に、基本的な漢字・語句を正しく使い、正しい引用方法で先行研究やデータを利用することができる。

短文の文章を正しく読み取ることができる。

また、適切な対面コミュニケーションができる。

個別目標：基本的な漢字・語句について正しく理解、表現できるようになる。

論理的な思考により、伝えたい内容を分かりやすく表現できるようになる。

入門書レベルの文章を読んで大意を把握できるようになる。

場面情報、言語情報を正確に把握したうえで、適切な対面コミュニケーションができるようになる。

■ 履修条件

期限までに課題の提出を行うこと。授業内の活動に積極的に参加すること。遅刻や欠席をしないこと。

■ 評価基準・方法

4/5 以上の出席を評価の前提条件とする。

課題提出(小テスト・事前学修・事後学修・授業内課題・学修のふりかえり) 60%、最終レポート 10 %、期末試験 30 % で評価する。

■ フィードバック方法

学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (プロセスライティングで文章作成を学ぶ。その中で、ピアレビュー、自己点検、発表を行う。)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (文章作成にワードを、テーマ決めや主張を支える証拠を探すために Web 検索をし、発表資料作成にパワーポイントを使用する。)

■ 教科書

『学生のコミュニケーション・スキルの学び グローバル社会を生きるためのレッスン』実教出版

■ 参考書

特になし

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：ガイダンス：コミュニケーションとは 授業内容：本授業の概要についての説明を行う。また、事前テストを実施する。 事前学修 2.0hr：自分の経験から、良いコミュニケーション(文章・会話)には何が必要かを考える。 事後学修 2.0hr：コミュニケーション(文章・会話)について自分の考えを整理し、まとめる。
2 回	授業テーマ：情報を調整する 授業内容：文章作成では、情報を調整する方法を学ぶ。会話では、感謝の伝え方を学ぶ。漢字・語句では、送り仮名のつけ方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第1回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第1回
3 回	授業テーマ：段落の構成を理解する 授業内容：文章作成では、段落構成について学ぶ。会話では、延期の依頼の伝え方を学ぶ。漢字・語句では、送り仮名のつけ方2を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第2回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第2回
4 回	授業テーマ：要約する 授業内容：文章作成では、要約の方法を学ぶ。会話では、書類の提出時の会話を学ぶ。漢字・語句では、敬語の基本の形を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第3回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第3回
5 回	授業テーマ：文章の構造を理解する 授業内容：文章作成では、文章の構造を学び、文章の構造が理解できることを目指す。会話では、手順の質問の場面の会話を学ぶ。漢字・語句では、敬語の特別な形を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第4回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第4回
6 回	授業テーマ：プランニング1 (アイディアの抽出と整理) 授業内容：文章作成では、文章の構想を練るプランニングを学ぶ。会話では、会議の場面で司会の話し方について学ぶ。漢字・語句では、ウチとソトを意識した敬語について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第5回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第5回
7 回	授業テーマ：プランニング2 (アイディアの構造化) 授業内容：文章作成では、自分の文章のプランニングを行う。会話では、遅刻の連絡場面での話し方を学ぶ。漢字・語句では、間違えやすい敬語について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第6回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第6回
8 回	授業テーマ：主張を検討する 授業内容：文章作成では、自分の作成したプランニングの検討として、自分とは異なる主張の立場から見る方法を学ぶ。会話では、会議の場面で、自分の意見の適切な述べ方を学ぶ。漢字・語句では、改まった表現について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第7回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第7回
9 回	授業テーマ：理由を検討する 授業内容：文章作成では、自分の作成したプランニングの主張を支える理由の妥当性を考える。会話では、仕事などの進捗状況を責任者等に報告する際の伝え方を学ぶ。漢字・語句では、熟語の構成について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第8回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第8回

10 回	授業テーマ：証拠となる客観的資料を探す 授業内容：文章作成では、自分のプランニングを見て、主張を支える理由の証拠となる資料を探す方法を学ぶ。会話では、会議の場面で結論を導くための話し方を学ぶ。漢字・語句では、漢字の構成について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第9回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第9回
11 回	授業テーマ：論理的なつながりを検討する 授業内容：文章作成では、自分の文章のプランニングを見て、主張、理由、証拠となるデータが論理的に適切につながっているかを検討する。会話では、企画について話し合う場面で、建設的な相談の話し方を学ぶ。漢字・語句では、四字熟語について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第10回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第10回
12 回	授業テーマ：原稿を作成する 授業内容：文章作成では、自分のプランニングに基づいて、意見文の文章作成を行う。会話では、その場にはいない人に対する伝言を残す際の話し方を学ぶ。漢字・語句では、四字熟語について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第11回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第11回
13 回	授業テーマ：資料を作成する 授業内容：文章作成では、自分の意見を発表する際の資料を作成する。会話では、就職活動等で自己PRを述べる際の話し方を学ぶ。漢字・語句では、対義語と誤字訂正を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第12回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第12回
14 回	授業テーマ：発表、コメントをする 授業内容：文章作成では、自分の意見を発表する。また他者の発表を聞いて改善のための建設的なコメントを行う。会話では、就職活動等で志望動機を述べる際の話し方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第13回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第13回
15 回	授業テーマ：論理的な思考力・表現力とは 授業内容：コース全体の振り返りをする。文章作成ではライティングプロセスを振り返り、工夫した点や改善をした点について再度検討を行う。また、会話や漢字・語句で学んだことをまとめる。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」巻末問題 事後学修 2.0hr：これまでの復習をする。

学修の基礎Ⅲ-a (データリテラシー 数理・推論)

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前/後

相川 野々香 (あいかわ ののか)・遠藤 信一 (えんどう しんいち)・後藤 英樹 (ごとう ひでき)・佐々木 文彦 (ささき ふみひこ)・高橋 奈佳 (たかはし なか)・中村 元紀 (なかむら げんき)・萩尾 由貴子 (はぎお ゆきこ)・前田 新太郎 (まえだ しんたろう)・渡部 綾子 (わたべ あやこ)

■ 授業の概要

数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度 (MDASH) の導入編として位置付け、新入生が B Y O D の学修環境で学ぶためのスキルの育成をはかる。なお、本科目では、データサイエンスの基礎として、

- ・ Microsoft 365 の活用方法を通じて、B Y O D の学修環境で学ぶための基礎的素養を身につけること
- ・ データの利活用のための分析スキルの基礎知識を習得すること
- ・ データを利活用しながら、建学の精神を柱とした問題解決学習・プレゼンテーション技法を身につけることを目指す。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●)

一般目標：「データリテラシー」の基礎的素養を身につけ、ICT ツールを用いて情報を分析し、分析結果を表現して伝えるためのスキルを身につける。

- 個別目標：1. B Y O D の学習環境で学ぶための基礎的素養を身につける (例えば、パスワード管理、フィッシング詐欺の回避、公共 Wi-Fi 利用時の注意、ソフトウェア更新の重要性などを含む)
2. 文字入力や、ファイル操作、ネットワーク利用などの基本操作ができる。
 3. Word による報告書の作成、Excel による実データの分析と可視化ができる。
 4. PowerPoint を用いたプレゼンテーション資料の作成と適切な発表ができる。
 5. データ分析や可視化に必要な数理的な能力の基礎を身につける。

■ 履修条件

授業は毎回必ず出席して課題を提出し、事前事後学修もしっかり行うこと。

数理課題は必ず取り組むこと。

Microsoft 365 の Word、Excel、PowerPoint を授業外でも使えることが望ましい。

■ 評価基準・方法

課題 (85%)、数理課題 (15 %) の合計点で評価する。

なお、4/5 以上の出席を評価の前提条件とする。

■ フィードバック方法

提出物の評価および、フィードバックは授業内、もしくは manaba で行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (授業回によって異なるが実施)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (各自のパソコンを必ず持参する)

■ 教科書

保本正芳『基礎から始めるデータサイエンス』noa 出版 (2022) (電子テキスト)

ISBN : 978-4-908434-76-1

■ 参考書

参考となる図書やウェブページがある場合は別途指示する。

担当教員によって授業方法・進捗が異なります。詳細は担当教員に確認してください。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：オリエンテーション 1 / PC 利用の基礎・Gmail 設定・Microsoft 365 (数理課題なし) 授業内容：本科目の目的を理解する。また、大学の Gmail 設定をし、大学や社会で必要なメールの書き方を学修する。B Y O D の学習環境を整備する (例えば、パスワード管理、フィッシング詐欺の回避、公共 Wi-Fi 利用時の注意、ソフトウェア更新の重要性などを含む)。 事前学修 2.0hr : シラバスを読む。 事後学修 2.0hr : PC を使って授業内容を復習し、自分で使えるようにする。
2 回	授業テーマ：オリエンテーション 2 / ウェブポータルシステム・manaba・START (数理課題なし) 授業内容：Windows の概要と基本的な操作方法を確認する。合わせて、大学で利用している Web ポータルシステム、manaba、START の利用方法を確認する。 事前学修 2.0hr : 担当教員の指示に従って参考資料などを確認する。 事後学修 2.5hr : PC を使って授業内容を復習する。
3 回	授業テーマ：PowerPoint 1 (プレゼンテーションの基礎)、数理課題 (割合・比) 授業内容：スライド作成の基本操作を学び、伝わりやすい構成の考え方を身につける。テーマ設定、レイアウト選択、文字と画像の配置、配色の基礎など、プレゼン資料づくりの土台となる操作とデザイン原則を実践的に習得する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr : Microsoft 365 をインストールする。すぐ使えるように PowerPoint をセットアップする。 事後学修 2.5hr : PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
4 回	授業テーマ：PowerPoint 2 (効果的なプレゼンテーション)、数理課題 (表・集合) 授業内容：視覚的に訴える資料作成のコツを学ぶ。アニメーションや図解の活用、情報の強弱づけ、話し手の意図を支えるスライド構成を実践。短い発表演習を通して、資料と話し方の一体化を体験する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr : PowerPoint の機能について、予め調べておく。 事後学修 2.5hr : PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
5 回	授業テーマ：Word 1 (報告書作成)、数理課題 (場合の数) 授業内容：基本的な文書作成スキルを身につける。ページ設定、フォントや段落の整え方、箇条書き、表の挿入、ヘッダー・フッターなど、報告書に必須の機能を実践的に学ぶ。整ったレイアウトを作るための基礎操作を確実に習得する。 事前学修 2.0hr : Word の機能について予め調べておく。 事後学修 2.5hr : PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
6 回	授業テーマ：Word 2 (レポート作成の基礎)、数理課題 (確率) 授業内容：レポート形式の文書を題材に、スタイル設定、目次の自動作成、引用と参考文献リスト、図表番号の付与など、より高度な機能を扱う。論理的で読みやすい文書構成を意識し、学術的なレポート作成に必要な Word 操作を体系的に学ぶ。 事前学修 2.0hr : Word の機能について予め調べておく。 事後学修 2.5hr : PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。

7 回	<p>授業テーマ：Excelの基礎①：セル操作、SUM・AVERAGEなどの関数、数理課題(図形と空間) 授業内容：セルの入力・編集・コピー、相対参照など基本操作を学ぶ。SUM・AVERAGEなど代表的な関数を使い、簡単な集計表を作成することでExcelの基礎的な仕組みを理解する。また、manabaの追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PCを使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。</p>
8 回	<p>授業テーマ：Excelの基礎②：表の操作と編集、数理課題(論理・命題) 授業内容：データの並べ替え、フィルター、書式設定など、表を扱うための基本機能を学ぶ。見やすい表に整える編集方法を実践し、業務で使える表作成スキルを身につける。また、manabaの追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PCを使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。</p>
9 回	<p>授業テーマ：Excelの基礎③：グラフと可視化1 グラフの種類と使い分け、数理課題(グラフ1) 授業内容：棒・折れ線・円グラフなど主要なグラフの特徴と使い分けを学ぶ。データに適したグラフを選ぶ判断力を養い、基本的なグラフ作成操作を実践する。また、manabaの追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PCを使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。</p>
10 回	<p>授業テーマ：Excelの基礎④：グラフと可視化2 見やすい資料作成のコツ、数理課題(グラフ2) 授業内容：軸設定、色の選び方、強調の仕方など、見やすく誤解のないグラフを作るための編集技法を学ぶ。資料として伝わるグラフに仕上げるポイントを実践的に習得する。また、manabaの追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PCを使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。</p>
11 回	<p>授業テーマ：Excelの基礎⑤：グラフと可視化3 グラフの読み方・見せ方、数理課題(グラフ3) 授業内容：公的統計データや実際のデータを用いて作成したグラフを読み取り、特徴や傾向を文章で説明する練習を行う。データの意味を正しく解釈し、簡潔に報告する力を養う。また、manabaの追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PCを使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。</p>
12 回	<p>授業テーマ：Excelの基礎⑥：グラフと可視化4 グラフの読み方・見せ方、数理課題(グラフ4) 授業内容：公的統計データや実際のデータを用いてグラフを作成し、複数グラフの比較、誤解を招く表現の回避、情報量の調整など、より高度な「見せ方」を学ぶ。読み手に配慮した可視化の実践力を高める。また、manabaの追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PCを使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。</p>
13 回	<p>授業テーマ：Excelの基礎⑦：簡単な分析1 標準偏差・相関係数、数理課題(相関・回帰) 授業内容：標準偏差や相関係数の意味を理解し、Excelで計算する方法を学ぶ。公的統計データや実際のデータを用いて、データのばらつきや関係性を読み取り、簡単な分析ができる基礎力を身につける。また、manabaの追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。また、数理課題について復習する。 事後学修 2.5hr：PCを使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。</p>
14 回	<p>授業テーマ：Excelの基礎⑧：簡単な分析2 ピボットテーブル・条件付き書式、数理課題(まとめ1) 授業内容：大量データを整理・集計するピボットテーブルの基本操作を学ぶ。条件付き書式によるデータの強調も扱い、分析結果を視覚的に示すスキルを習得する。また、manabaの追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PCを使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。</p>
15 回	<p>授業テーマ：ロードマップ記入・リフレクション+学びの言語化、数理課題(まとめ2) 授業内容：ロードマップを記入する。授業の最後に、授業全体のまとめと、この授業の到達度について評価する。また、manabaの追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.5hr：本科目の到達・個別目標を再確認し、これまでの学修内容を復習する。 事後学修 2.0hr：学修内容を復習する。また、数理課題について復習する。</p>

学修の基礎Ⅲ-b (情報リテラシー)

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前/後

相川 野々香 (あいかわ ののか)・遠藤 信一 (えんどう しんいち)・後藤 英樹 (ごとう ひでき)・佐々木 文彦 (ささき ふみひこ)・高橋 奈佳 (たかはし なか)・中村 元紀 (なかむら げんき)・萩尾 由貴子 (はぎお ゆきこ)・前田 新太郎 (まえだ しんたろう)・渡部 綾子 (わたべ あやこ)

■ 授業の概要

数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度 (MDASH) の発展編として位置付け、前学期のⅢ-a で身につけた基礎的知識をもとに、データ分析や AI を活用するためのスキルを育成する。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●)

一般目標：データサイエンス・生成 AI に関する知識、情報モラル・セキュリティの知識、「データを読む、説明する、扱う」能力などを踏まえて情報・データの利活用ができる力を身につける。

- 個別目標：1. 情報社会で必要な判断ができる…個人情報やプライバシーの重要性を理解し、SNS や AI 利用時に適切な判断と行動ができる。(例えば、検索結果の信頼性評価、SNS 情報の真偽判断、データの出典確認、バイアスや操作的可視化の見抜き方など)
2. 生成 AI を目的に応じて使い分けができる…要約・分類・質問応答など、生成 AI の特性を踏まえて適切なプロンプトで活用できる。
3. データを可視化し、読み取りができる…Excel や BI ツールを使い、データを整理・可視化し、指標の意味や傾向を読み取って説明できる。
4. データから課題を発見し、仮説を立てられる…駅カルテなどの実データを分析し、地域や社会の課題を見つけ、根拠ある仮説を設定できる。
5. 分析結果をもとに提案をまとめ、発表できる…データに基づく改善案を資料として構成し、根拠を示しながらわかりやすく発表できる

■ 履修条件

授業は毎回必ず出席して課題を提出し、事前事後学修もしっかり行うこと。

Microsoft 365 の Excel、PowerPoint を授業外でも使えることが望ましい。

■ 評価基準・方法

課題により評価する。

なお、4/5 以上の出席を評価の前提条件とする。

■ フィードバック方法

提出物の評価および、フィードバックは授業内、もしくは manaba で行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (授業回によって異なるが実施)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (各自のパソコンを必ず持参する)

■ 教科書

なし

■ 参考書

参考となる図書やウェブページがある場合は別途指示する。

担当教員によって授業方法・進捗が異なります。詳細は担当教員に確認してください。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：情報モラル：個人情報とプライバシー SNS 事例、データの扱い方、法律との関係 授業内容：本科目の目的を理解する。 SNS 事例を通して、個人情報の扱い方やプライバシー保護の重要性を理解する。データ流通の仕組みや関連する法律にも触れ、情報社会で必要な判断力とリスク認識を身につける (例えば、検索結果の信頼性評価、SNS 情報の真偽判断、データの出典確認、バイアスや操作的可視化の見抜き方など)。 事前学修 2.0hr：SNS や個人情報に関するニュースを 1 つ調べ、気づきを整理する。 事後学修 2.0hr：授業で学んだリスクと対策を自分の行動に照らしてまとめる。
2 回	授業テーマ：生成 AI ①：基礎と仕組み ChatGPT、Copilot など生成 AI の概要、言語モデルの概要 授業内容：生成 AI の特徴や活用領域を概観し、言語モデルの基本的な仕組みを学ぶ。ChatGPT、Copilot など身近な AI を例に、入力と出力の関係、得意・不得意を理解し、適切な使い方の基礎をつかむ。 事前学修 2.0hr：生成 AI に関する記事を読み、疑問点をメモする。 事後学修 2.5hr：生成 AI の仕組みについて理解した点を短くまとめる。
3 回	授業テーマ：生成 AI ②：活用と体験 実際に使ってみる(要約、分類、質問応答など) 授業内容：要約・分類・質問応答など複数のタスクを実際に試し、プロンプトの工夫による出力の違いを体験する。自分の関心に沿ったテーマで生成 AI を操作し、適切な使い方を理解することを目的とする。 事前学修 2.0hr：生成 AI で試したい作業(要約・質問など)を考えておく。 事後学修 2.5hr：体験して得た気づきと、活用できそうな場面を整理する。
4 回	授業テーマ：BI ツール(Power BI)体験①：見せ方の工夫と操作体験 授業内容：BI ツール(Power BI)を用いてデータを可視化し、見せ方による印象の違いを体験する。基本操作を学びながら、グラフや指標の選び方が意思決定に与える影響を理解する。 事前学修 2.0hr：身近なグラフを 1 つ探し、良い点・気になる点を考える。 事後学修 2.5hr：作成した可視化の工夫点と改善点を振り返る。
5 回	授業テーマ：BI ツール(Power BI)体験②：ストーリーテリングと提案づくり 授業内容：BI ツール(Power BI)を用いてデータから読み取れるストーリーを構築し、提案につなげる演習を行う。可視化と説明の組み合わせを学び、データを根拠にした説得力ある資料作成を体験する。 事前学修 2.0hr：伝えたいテーマを 1 つ選び、理由を整理する。 事後学修 2.5hr：データから導いたストーリーを短く文章化する。
6 回	授業テーマ：駅カルテ①：データの読み取り—実際の駅データから指標の意味を理解する 授業内容：実際の駅データを用いて、人口・乗降客数・商業施設などの指標の意味を理解する。データから現状を把握する力を養い、地域分析の基礎を身につける。 事前学修 2.0hr：対象駅の周辺情報を簡単に調べておく。 事後学修 2.5hr：扱った指標の意味と気づいた特徴をまとめる。
7 回	授業テーマ：駅カルテ②：課題発見 — 駅周辺の課題をデータから読み解く 授業内容：駅周辺の課題をデータから読み解き、仮説を立てる演習を行う。数値の背景を考え、地域の状況を多角的に捉える思考力を育てる。 事前学修 2.0hr：前回のデータを見返し、気になる点を整理する。 事後学修 2.5hr：立てた仮説の根拠と背景を文章化する。

8 回	<p>授業テーマ：駅カルテ③：仮説検証— Excel で分析し、仮説を検証する 授業内容：Excel を使ってデータを分析し、前回立てた仮説を検証する。分析結果をグループで共有し、解釈の違いや新たな視点を学ぶ。 事前学修 2.0hr：Excel の基本操作を復習しておく。 事後学修 2.5hr：分析結果と仮説の関係を整理し、次回に向けて課題を明確にする。</p>
9 回	<p>授業テーマ：駅カルテ④：提案づくり — 改善案を考え、資料にまとめる 授業内容：分析結果をもとに改善案を考え、資料としてまとめる。根拠と提案を結びつけ、読み手に伝わる構成を意識した資料作成を行う。 事前学修 2.0hr：改善案の方向性を個人で考えておく。 事後学修 2.5hr：資料の構成案を整え、発表準備を進める。</p>
10 回	<p>授業テーマ：駅カルテ⑤：発表とフィードバック グループ発表と相互評価を実施する。 授業内容：グループごとに提案を発表し、相互評価を行う。データに基づく説明力やプレゼンテーション力を高め、他者の視点から学びを深める。 事前学修 2.0hr：発表内容を最終確認し、役割分担を明確にする。 事後学修 2.5hr：他グループの良い点を参考に、改善点を振り返る。</p>
11 回	<p>授業テーマ：社会課題とデータ活用① 各学部あるいは学部を横断した課題とデータの関係を考える。 授業内容：各学部の専門領域に関連する社会課題、あるいは学部を横断した社会課題を取り上げ、データがどのように理解や解決に役立つかを考える。学問とデータ活用の接点を体感する。 事前学修 2.0hr：自分の学部に関する社会課題を 1 つ調べる。 事後学修 2.5hr：課題とデータの関係について気づいた点を整理する。</p>
12 回	<p>授業テーマ：社会課題とデータ活用② 授業内容：第 11 回での意思決定に応じて、課題探究を深める。汎用的な内容とする場合は、複利計算などデータを使った意思決定のプロセスを体験する。 事前学修 2.0hr：前回扱った課題の追加情報を調べておく。 事後学修 2.5hr：意思決定にデータがどう役立つかをまとめる。</p>
13 回	<p>授業テーマ：自分の生活とデータ① 課題とデータの可視化 授業内容：自分の生活に関するデータ(時間、行動、支出など)を収集し、可視化する。日常のパターンを客観的に捉え、気づきを得るための基礎をつくる。 事前学修 2.0hr：1 日の行動や時間の使い方を簡単に記録する。 事後学修 2.5hr：可視化したデータから得た気づきを整理する。</p>
14 回	<p>授業テーマ：自分の生活とデータ② データから自分の行動を振り返る。メタ認知活動 授業内容：可視化したデータをもとに、自分の行動や習慣を振り返る。改善点や新たな目標を考え、データを使った自己理解とメタ認知を深める。 事前学修 2.0hr：前回の可視化データを見返し、気になる点を考える。 事後学修 2.5hr：行動改善のアイデアや今後の目標をまとめる。</p>
15 回	<p>授業テーマ：まとめと展望 学びの言語化、今後の学びへの接続 授業内容：これまでの学びを言語化し、データ活用・AI 活用の可能性を再確認する。今後の学びやキャリアへのつながりを考え、学修成果を整理して締めくくる。 事前学修 2.5hr：これまでの学びで印象に残った内容を振り返る。 事後学修 2.0hr：今後の学びに活かしたい点を言語化し、提出する。</p>

学修の基礎Ⅲ-a (データリテラシー 数理・推論)

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前/後 | 備考：再履修クラス

相川 野々香 (あいかわ ののか)・中村 元紀 (なかむら げんき)・萩尾 由貴子 (はぎお ゆきこ)

■ 授業の概要

【再履修クラス】数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度 (MDASH) の導入編として位置付け、新入生が B Y O D の学修環境で学ぶためのスキルの育成をはかる。なお、本科目では、データサイエンスの基礎として、

- ・ Microsoft 365 の活用方法を通じて、B Y O D の学修環境で学ぶための基礎的素養を身につけること
- ・ データの利活用のための分析スキルの基礎知識を習得すること
- ・ データを利活用しながら、建学の精神を柱とした問題解決学習・プレゼンテーション技法を身につけることを目指す。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●)

一般目標：「データリテラシー」の基礎的素養を身につけ、ICT ツールを用いて情報を分析し、分析結果を表現して伝えるためのスキルを身につける。

- 個別目標：1. B Y O D の学習環境で学ぶための基礎的素養を身につける (例えば、パスワード管理、フィッシング詐欺の回避、公共 Wi-Fi 利用時の注意、ソフトウェア更新の重要性などを含む)
2. 文字入力や、ファイル操作、ネットワーク利用などの基本操作ができる。
 3. Word による報告書の作成、Excel による実データの分析と可視化ができる。
 4. PowerPoint を用いたプレゼンテーション資料の作成と適切な発表ができる。
 5. データ分析や可視化に必要な数理的な能力の基礎を身につける。

■ 履修条件

授業は毎回必ず出席して課題を提出し、事前事後学修もしっかり行うこと。

数理課題は必ず取り組むこと。

Microsoft 365 の Word、Excel、PowerPoint を授業外でも使えることが望ましい。

■ 評価基準・方法

課題 (85%)、数理課題 (15%) の合計点で評価する。

なお、4/5 以上の出席を評価の前提条件とする。

■ フィードバック方法

提出物の評価および、フィードバックは授業内、もしくは manaba で行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (授業回によって異なるが実施)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (各自のパソコンを必ず持参する)

■ 教科書

保本正芳『基礎から始めるデータサイエンス』noa 出版 (2022) (電子テキスト)

ISBN：978-4-908434-76-1

■ 参考書

参考となる図書やウェブページがある場合は別途指示する。

担当教員によって授業方法・進捗が異なります。詳細は担当教員に確認してください。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：オリエンテーション 1 / PC 利用の基礎・Gmail 設定・Microsoft 365、(数理課題なし) 授業内容：本科目の目的を理解する。また、大学の Gmail 設定をし、大学や社会で必要なメールの書き方を学修する。B Y O D の学習環境を整備する (例えば、パスワード管理、フィッシング詐欺の回避、公共 Wi-Fi 利用時の注意、ソフトウェア更新の重要性などを含む)。 事前学修 2.0hr：シラバスを読む。 事後学修 2.0hr：PC を使って授業内容を復習し、自分で使えるようにする。
2 回	授業テーマ：オリエンテーション 2 / ウェブポータルシステム・manaba・START、(数理課題なし) 授業内容：Windows の概要と基本的な操作方法を確認する。合わせて、大学で利用している Web ポータルシステム、manaba、START の利用方法を確認する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って参考資料などを確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。
3 回	授業テーマ：PowerPoint 1 (プレゼンテーションの基礎)、数理課題(割合・比) 授業内容：スライド作成の基本操作を学び、伝わりやすい構成の考え方を身につける。テーマ設定、レイアウト選択、文字と画像の配置、配色の基礎など、プレゼン資料づくりの土台となる操作とデザイン原則を実践的に習得する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：Microsoft365 をインストールする。すぐ使えるように PowerPoint をセットアップする。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
4 回	授業テーマ：PowerPoint 2 (効果的なプレゼンテーション)、数理課題(表・集合) 授業内容：視覚的に訴える資料作成のコツを学ぶ。アニメーションや図解の活用、情報の強弱づけ、話し手の意図を支えるスライド構成を実践。短い発表演習を通して、資料と話し方の一体化を体験する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：PowerPoint の機能について、予め調べておく。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
5 回	授業テーマ：Word 1 (報告書作成)、数理課題(場合の数) 授業内容：基本的な文書作成スキルを身につける。ページ設定、フォントや段落の整え方、箇条書き、表の挿入、ヘッダー・フッターなど、報告書に必須の機能を実践的に学ぶ。整ったレイアウトを作るための基礎操作を確実に習得する。 事前学修 2.0hr：Word の機能について予め調べておく。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
6 回	授業テーマ：Word 2 (レポート作成の基礎)、数理課題(確率) 授業内容：レポート形式の文書を題材に、スタイル設定、目次の自動作成、引用と参考文献リスト、図表番号の付与など、より高度な機能を扱う。論理的で読みやすい文書構成を意識し、学術的なレポート作成に必要な Word 操作を体系的に学ぶ。 事前学修 2.0hr：Word の機能について予め調べておく。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。

7 回	<p>授業テーマ：Excelの基礎①：セル操作、SUM・AVERAGEなどの関数、数理課題(図形と空間) 授業内容：セルの入力・編集・コピー、相対参照など基本操作を学ぶ。SUM・AVERAGEなど代表的な関数を使い、簡単な集計表を作成することでExcelの基礎的な仕組みを理解する。また、manabaの追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PCを使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。</p>
8 回	<p>授業テーマ：Excelの基礎②：表の操作と編集、数理課題(論理・命題) 授業内容：データの並べ替え、フィルター、書式設定など、表を扱うための基本機能を学ぶ。見やすい表に整える編集方法を実践し、業務で使える表作成スキルを身につける。また、manabaの追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PCを使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。</p>
9 回	<p>授業テーマ：Excelの基礎③：グラフと可視化1 グラフの種類と使い分け、数理課題(グラフ1) 授業内容：棒・折れ線・円グラフなど主要なグラフの特徴と使い分けを学ぶ。データに適したグラフを選ぶ判断力を養い、基本的なグラフ作成操作を実践する。また、manabaの追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PCを使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。</p>
10 回	<p>授業テーマ：Excelの基礎④：グラフと可視化2 見やすい資料作成のコツ、数理課題(グラフ2) 授業内容：軸設定、色の選び方、強調の仕方など、見やすく誤解のないグラフを作るための編集技法を学ぶ。資料として伝わるグラフに仕上げるポイントを実践的に習得する。また、manabaの追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PCを使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。</p>
11 回	<p>授業テーマ：Excelの基礎⑤：グラフと可視化3 グラフの読み方・見せ方、数理課題(グラフ3) 授業内容：公的統計データや実際のデータを用いて作成したグラフを読み取り、特徴や傾向を文章で説明する練習を行う。データの意味を正しく解釈し、簡潔に報告する力を養う。また、manabaの追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PCを使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。</p>
12 回	<p>授業テーマ：Excelの基礎⑥：グラフと可視化4 グラフの読み方・見せ方、数理課題(グラフ4) 授業内容：公的統計データや実際のデータを用いてグラフを作成し、複数グラフの比較、誤解を招く表現の回避、情報量の調整など、より高度な「見せ方」を学ぶ。読み手に配慮した可視化の実践力を高める。また、manabaの追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PCを使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。</p>
13 回	<p>授業テーマ：Excelの基礎⑦：簡単な分析1 標準偏差・相関係数、数理課題(相関・回帰) 授業内容：標準偏差や相関係数の意味を理解し、Excelで計算する方法を学ぶ。公的統計データや実際のデータを用いて、データのばらつきや関係性を読み取り、簡単な分析ができる基礎力を身につける。また、manabaの追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。また、数理課題について復習する。 事後学修 2.5hr：PCを使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。</p>
14 回	<p>授業テーマ：Excelの基礎⑧：簡単な分析2 ピボットテーブル・条件付き書式、数理課題(まとめ1) 授業内容：大量データを整理・集計するピボットテーブルの基本操作を学ぶ。条件付き書式によるデータの強調も扱い、分析結果を視覚的に示すスキルを習得する。また、manabaの追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PCを使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。</p>
15 回	<p>授業テーマ：ロードマップ記入・リフレクション+学びの言語化、数理課題(まとめ2) 授業内容：ロードマップを記入する。授業の最後に、授業全体のまとめと、この授業の到達度について評価する。また、manabaの追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.5hr：本科目の到達・個別目標を再確認し、これまでの学修内容を復習する。 事後学修 2.0hr：学修内容を復習する。また、数理課題について復習する。</p>

学修の基礎Ⅲ-b (情報リテラシー)

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前/後 | 備考：再履修クラス

相川 野々香 (あいかわ ののか)・遠藤 信一 (えんどう しんいち)・中村 元紀 (なかむら げんき)・萩尾 由貴子 (はぎお ゆきこ)

■ 授業の概要

【再履修クラス】生成 AI の登場により、データサイエンスの分野も大きく変革を遂げようとしている。本学の学生として身につけるべき基礎教養として、Society5.0 社会・ビッグデータ・IoT・AI・ロボットなどについて学ぶ。なお、本科目では、データサイエンスの基礎として、

- ・生成 AI の利活用とその前提として必要な情報モラルについて理解すること
- ・データの利活用に関わる安全対策、情報モラルについて理解すること
- ・データの利活用のための分析スキルの基礎知識を習得すること
- ・データの利活用し、建学の精神を柱とした問題解決学習・プレゼンテーション技法を身につけること

を目指す。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●)

一般目標：データサイエンス・生成 AI に関する知識、情報モラル・セキュリティの知識、「データを読む、説明する、扱う」能力などを踏まえて情報・データの利活用ができるようになること。

個別目標：1. データの利活用、AI(生成 AI を含む) 利活用の役割と事例を具体的に説明することができる。
2. データ利活用の倫理、セキュリティについての的確に説明することができる。
3. 文字入力や、ファイル操作、ネットワーク利用などの基本操作ができる。
4.Excel による実データの分析と可視化ができる。
5.PowerPoint を用いたプレゼンテーション資料の作成と適切な発表ができる。

■ 履修条件

授業は毎回必ず出席して課題を提出し、事前事後学修もしっかり行うこと。
Microsoft の Excel、PowerPoint を授業外でも使えることが望ましい。

■ 評価基準・方法

課題で評価する。
なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

■ フィードバック方法

提出物の評価および、フィードバックは授業内、もしくは manaba で行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (授業回によって異なるが実施)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (情報処理演習室を利用する)

■ 教科書

保本正芳『基礎から始めるデータサイエンス』noa 出版(2022)
ISBN：978-4-908434-76-1

■ 参考書

参考となる図書やウェブページがある場合は別途指示する。
担当教員によって授業方法・進行がことなります。詳細は担当教員に確認してください。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：ガイダンス：講義の概要と進め方・インターネットの利活用 授業内容：学修の基礎Ⅲ-b での授業の目的を理解する。また、大学のメール設定をし、大学や社会で必要なメールの書き方を学修する。合わせて、大学で利用している LMS である「manaba」の利用方法を確認する。タイピング練習方法を確認する。 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)について学ぶ。 事前学修 2.0hr：シラバスを読む。 事後学修 2.0hr：シラバスおよび担当教員の指示内容を確認する。
2 回	授業テーマ：Windows の基礎：Windows の概要とウィンドウやファイルなどの操作方法・データサイエンスの役割 授業内容：Windows の概要と基本的な操作方法を確認する。合わせて、データや AI の活用によって起きている社会の環境の変化について確認する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って参考資料などを確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。タイピング練習を行う。
3 回	授業テーマ：情報モラルと情報セキュリティ：データを扱う上での留意事項 授業内容：データ・生成 AI を扱う際の留意事項や、それらに対する取り組みについて学修する。また、データの中には機密情報や個人情報も多く含まれていることから、データを守るための原則と方法を確認する。 事前学修 2.0hr：データの扱いについて調べる。 事後学修 2.5hr：授業内容を復習する。
4 回	授業テーマ：ビッグデータと生成 AI(1)：ビッグデータと生成 AI の活用領域と利活用のための技術 授業内容：データ・生成 AI が利活用される領域・分野は広がりを見せている。そこで、データ・生成 AI が利活用される領域について学修する。また、生成 AI などを利活用する上で必要な留意点について学ぶ。 収集したデータを活用するために、データを解析する方法や技術について学ぶ。 事前学修 2.0hr：ビッグデータ・生成 AI の活用事例を調べる。 事後学修 2.5hr：授業内容を復習する。
5 回	授業テーマ：ビッグデータと生成 AI(2)：ビッグデータと AI の課題解決への活用場面と最新動向 授業内容：人がどのようにデータ・生成 AI を利活用しているのかについて具体的な例を確認し、利活用の方法や可能性について学修する。また、データ・生成 AI が活用されている最新のビジネスモデルや用語、技術を確認する。中でも生成 AI 等を活用した新しいビジネスモデル (シェアリングエコノミー、商品のレコメンデーションなど) などについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：ビッグデータ・生成 AI の活用したビジネスモデルを調べる。 事後学修 2.5hr：授業内容を復習する。

6 回	<p>授業テーマ：Excel (1)：Excel の基本 授業内容：ビッグデータ、IoT、生成 AI などによる社会の変化とデータ量の増加、計算機の処理性能の向上、AI の最新技術の活用例などを学び、データ解析と推論や流通システム、金融等におけるデータ・生成 AI 利活用事例などについて学ぶ。 データ分析には Excel を用いる。その前段階として、Excel の基本であるデータ入力、セル操作、ワークシート操作・計算式について説明し、実際に操作し、理解する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。</p>
7 回	<p>授業テーマ：Excel (2)：相対参照と絶対参照・基本の関数 授業内容：Excel でデータを分析するときに利用する「関数」と、セル参照を使った計算方法について演習形式で説明し、実際に操作し、理解する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。</p>
8 回	<p>授業テーマ：Excel (3)：「データを説明する、扱う」方法(顧客分析) 授業内容：データ分析の練習として、データの集計(和、平均、代表値を計算したのち、グラフを作成する。グラフ作成では、優れた可視化と不適切なグラフ表現があるため、これについて理解し、「データを説明する、扱う」ための演習を実施する。 事前学修 2.0hr：データの種類について調べておく。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。</p>
9 回	<p>授業テーマ：Excel (4)：「データを読む」方法・タイピング試験(仕入れ体験) 授業内容：データの種類(量的変数、質的変数)・データの分布(ヒストグラム)、代表値・代表値の性質の違い・データのばらつき、データに含まれる誤差の扱い、相関関係・相関係数について理解する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。これまでの課題の修正をする。</p>
10 回	<p>授業テーマ：Excel (5)：データを用いたデータ分析(公的統計データ) 授業内容：POS データや公的統計データから実践的なデータ分析の演習を行う。タイピング試験を実施する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。</p>
11 回	<p>授業テーマ：Excel (6)：データを用いたデータ分析(公的統計データ) 授業内容：POS データや公的統計データを用いて、実践的なデータの集計の演習を行う。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。</p>
12 回	<p>授業テーマ：Excel (7)：実データを用いたデータの可視化と考察(公的統計データ) 授業内容：第 11 回授業で集計したデータを可視化し、これまで学修した内容を踏まえてデータ分析の結果を考察する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。</p>
13 回	<p>授業テーマ：PowerPoint (1)：プレゼンテーションの概要、スライド作成・編集 授業内容：学修の基礎 I に関連させ、明海大学独自の問題解決メソッドによりながら、プレゼンテーションで利用する PowerPoint の基本的な操作を学修したのち、スライドのレイアウト、わかりやすいプレゼンの展開、色の表現方法などについて理解する。 その際、建学の精神との関連に留意する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。</p>
14 回	<p>授業テーマ：PowerPoint (2)：プレゼンテーションの適切な準備 授業内容：第 15 回授業で発表するためのスライドを作成する。スライド作成には、第 13 回の授業で学修した内容を活用する。 なお、スライド作成にあたっては、建学の精神との関連に留意する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。発表練習をする。</p>
15 回	<p>授業テーマ：PowerPoint (3)：プレゼンテーションの適切な実行・まとめ：到達度の自己評価 授業内容：第 14 回で作成したプレゼンテーションをグループで発表し、相互評価を行う。授業の最後に、授業全体のまとめと、この授業の到達度について評価する。 事前学修 2.5hr：発表練習をする。本科目の到達・個別目標を再確認し、これまでの学修内容を復習する。 事後学修 2.0hr：学修内容を復習する。</p>

人間存在の課題

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前/後

中根 弘之 (なかね ひろゆき)

■ 授業の概要

現代は様々な物質的発達の影響で人間のあり方が問われている時代であると言える。なぜなら「生きるために物質的に豊かになる」という本来の手段と目的が逆転し、「物質的に豊かになるために生きる」という状況に、人間性が押しつぶされるような状況が生じているからである。本講義では、西洋哲学・思想を中心に学習しながら、自己と世界のあり方を反省し、生きるの意味を自ら問いたすために必要な事項について講義する。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●)

一般目標： 合理的思考力形成のため西洋哲学の基礎的思考をたどり、世界と人間に対してどこまでも論理的に考える思考力を身に着ける。さらに実存思想に属する哲学を学ぶことで自身が置かれた環境の中で自発的に考えることの大切さを学び、主体的に思考して自分自身を創造するという視点を獲得する。

個別目標：(1)西洋哲学の基礎的術語や諸命題について説明することができる。
(2)実存思想に属する哲学者の思想の特徴を説明することができる。
(3)過去の哲学的諸問題を論理的に現代社会に当てはめて考えることができる。

■ 履修条件

主体的に自己のあり方、世界のあり方を考え、哲学思想を学ぶ意志のある学生であること。

■ 評価基準・方法

中間テスト点30点

まとめテスト点70点

このほか、自主学習のため manaba を用いて、課題を3回出すので、2回以上の提出を求める。

■ フィードバック方法

学期進行中に実施する中間テストの点数は、要望に従い学生に公開する。

同様に課題についても全体コメントを講義内で講評し、要望があれば学生個々に manaba の個人指導コレクションを用いて指導する。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

なし

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

指定しない。プリント資料は教室で配布する。

■ 参考書

指定しない。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：西洋哲学思想とは何か 導入 授業内容：単位取得の条件の確認、および西洋哲学の学問範囲、分類などの全体を概括する。 事前学修 2.0hr：哲学と呼ばれている学問について自分なりに調べる 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容の確認と自身が調べた内容の違いをノート学習する
2 回	授業テーマ：哲学入門 認識論1 授業内容：真理判断に用いられる基準について学ぶ。具体的には対応説、整合説、有用説、合意説の4つであり、それぞれの該当する真理概念について検討する。 事前学修 2.0hr：「真理」と呼ばれるものの成立条件は何かを考える 事後学修 2.0hr：「真理」に関する様々な立場を説明できるようにノート整理を行う
3 回	授業テーマ：哲学入門 認識論2 授業内容：認識の起源論として合理論と経験論、そしてカントの認識論雄それぞれについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：「物を知る」条件とは何かを考える 事後学修 2.0hr：経験論の限界について自分なりにまとめる
4 回	授業テーマ：哲学入門 認識論3 授業内容：認識の妥当範囲について学ぶ。また実在論の中から、哲学の歴史的論争となった「普遍論争」について検討する。 事前学修 2.0hr：「何を知る」のかその対象となる範囲について考える 事後学修 2.0hr：実在論と観念論の違いについて自分なりに答えられるようにしておく
5 回	授業テーマ：哲学入門 存在論1 アリストテレスのカテゴリー論 授業内容：アリストテレスの「形而上学」を中心として、「存在」の条件について検討する。 事前学修 2.0hr：アリストテレスの存在論について調べておく 事後学修 2.0hr：カテゴリーについて全て答えられるように自主学習する
6 回	授業テーマ：哲学入門 存在論2 存在の量について 授業内容：一元論や多元論といった存在の量的差異の検討を行う。また、二元論から生じる「機会原因論」についても取り上げて検討する。 事前学修 2.0hr：一元論と多元論についてあらかじめ事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：種々の立場の主張の問題点をノート学習で自分なりに整理する
7 回	授業テーマ：哲学入門 存在論3 存在の質について 授業内容：存在の質についても門閥代から唯物論とその批判、そして観念論と唯心論について検討する。 事前学修 2.0hr：唯物論と唯心論について事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：種々の立場の主張の問題点をノート学習で自分なりに整理する
8 回	授業テーマ：中間まとめとテスト 授業内容：ここまで講義で扱ってきた西洋哲学の基本的な考えについて要点をまとめ、中間テストを実施する。 事前学修 2.0hr：これまで講義で扱った認識論と存在論雄範囲について自分で復習しておく 事後学修 2.0hr：中間テストの出来を自分で思い出し、理解度の足りなかった部分を確認する
9 回	授業テーマ：人間存在の学としての実存思想…サルトルの問題提起 授業内容：実存思想、実存主義について、これまで学んだ認識論的、存在論的な前提からどの点で変更がなされたか、サルトルの思想を軸に検討する。 事前学修 2.0hr：実存思想について事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：講義で習った要点を復習し、参考図書を読む

10 回	授業テーマ：パスカルの思想 授業内容：パスカルの『パンセ』を軸に、実存思想の先駆けとなったモラリストの思想的特徴を紹介し、検討する。 事前学修 2.0hr：B. パスカルについて事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：講義で習った要点を復習し、参考図書を読む
11 回	授業テーマ：ニーチェの思想 授業内容：「神は死んだ」に代表される「ニヒリズム」の思想とそこから生じる実存的な価値世界について紹介し、検討する。 事前学修 2.0hr：F. ニーチェについて事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：講義で習った要点を復習し、参考図書を読む
12 回	授業テーマ：キェルケゴールの思想 授業内容：実存思想の代表的人物であるキェルケゴールの思想について「不安」「絶望」の概念を軸に紹介し、検討する。 事前学修 2.0hr：S. キェルケゴールについて事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：講義で習った要点を復習し、参考図書を読む
13 回	授業テーマ：ヤスパースの思想 授業内容：ヤスパースの「実存哲学」を軸に、「限界状況」などよく知られているヤスパースの思想について紹介し、検討する。 事前学修 2.0hr：K. ヤスパースについて事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：講義で習った要点を復習し、参考図書を読む
14 回	授業テーマ：ハイデガーの思想 授業内容：ハイデガーの主張する「死に臨む存在」としての人間のあり方を「頹落」しているとされる「世人」のあり方から検討する。 事前学修 2.0hr：M. ハイデガーについて事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：講義で習った要点を復習し、参考図書を読む
15 回	授業テーマ：まとめと平常テスト 授業内容：実存思想、実存主義の思想について要点をまとめ、期末テストを平常テストで実施する。 事前学修 2.0hr：14回までの講義で習ったことをノート整理して学習する 事後学修 2.0hr：講義全体から人間存在のあるべき姿について考え、自分なりにまとめる。

社会生活と倫理

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前/後

中根 弘之 (なかね ひろゆき)

■ 授業の概要

今日、価値観が多様化し、「善」について確固とした意見を持つことが困難になってきている。しかし、そうした状況にあっても我々は生きている限り「どのように生きるべきか」考え、自ら「よい人生」を選びとらなければならない。成熟した人格を持つ個人として社会生活をよりよく生きるため、本講義では西洋倫理学で用いられる概念を講じ、複雑な現代社会にあっても「よく生きること」へのヒントを提示したいと考える。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎)

一般目標：今日の社会で発生する倫理的諸問題を西洋倫理学の基礎的諸議論から合理的に整理し、自分と社会の人々が「よく生きること」を可能とするために何が必要なのかを自身で考えることができる。

個別目標：(1)倫理学の問題領域についての基礎知識を身に付け、説明することができる。

(2)「良心」について複数の視点から説明することができる。

(3)「他者」認識について複数の視点から説明することができる。

(4)「徳」について現代的意義を踏まえながら説明することができる。

(5)「幸福」について個人的「幸福」と社会的「幸福」の違いと関係性を説明することができる。

■ 履修条件

主的に善と悪を考え、倫理思想を学ぶ意志のある学生であること。講義時のノート作成に加え、日々の生活に対する洞察と反省を必要とするので、積極的に「よく生きること」について考える学生が望ましい。

■ 評価基準・方法

中間テスト点30点

まとめテスト点70点

このほか、自主学習のため manaba を用いて、課題を3回出すので、2回以上の提出を求める。

■ フィードバック方法

学期進行中に実施する中間テストの点数は、要望に従い学生に公開する。

同様に課題についても全体コメントを講義内で講評し、要望があれば学生個々に manaba の個人指導コレクションを用いて指導する。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

なし

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

教室でプリントした講義資料を配布する。

■ 参考書

指定しない

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：倫理思想への導入…「よさ」と「よい人生」について 授業内容：単位取得の条件の確認、および西洋倫理学の対象、範囲、分類などの全体を概括する。 事前学修 2.0hr：「倫理的」と形容される事件、事故、事象について考えておく 事後学修 2.0hr：講義で扱った事例と身の回りのことを照らしてノートを整理する
2 回	授業テーマ：良心について(1)…現象としての良心の分析 授業内容：「良心」の働きを概括し、東洋思想と西洋思想に由来する概念としての「良心」の検討する。 事前学修 2.0hr：「良心」と呼ばれるものについて自分なりに考えておく 事後学修 2.0hr：講義で習った術語をノートの整理を通して行う
3 回	授業テーマ：良心について(2)…良心の働き方の諸相 授業内容：石川文康の「良心論」に基づき、「共知」の構造と法則性を検討する。 事前学修 2.0hr：「良心」の働き方について、自身の経験を通して考えておく 事後学修 2.0hr：良心のあり方、働き方の法則について復習する
4 回	授業テーマ：良心について(3)…良心を中心とした倫理思想について 授業内容：良心を中心としたデカルトとカントの倫理思想について概括する。 事前学修 2.0hr：先週まで学んだことを整理し、良心を巡る議論の問題点を考えておく 事後学修 2.0hr：デカルトとカントの倫理思想についてまとめておく
5 回	授業テーマ：他者について(1)…他者問題の諸相について 授業内容：「他者認識」にまつわる問題性と他者の把握についての方法論の整理を行う。 事前学修 2.0hr：他者の存在について、自分の人間関係の諸相を反省しておく 事後学修 2.0hr：他者問題について学んだ術語についてノート整理を通して行う
6 回	授業テーマ：他者について(2)…「人格」の要件と「同感」について 授業内容：一般的な「人格」概念として4つのポイントを紹介し、「感情移入」理論とヒュームとスミスの「同感」に基づく道徳感覚理論を紹介、検討する。 事前学修 2.0hr：「人格」存在の必要要件を自分なりに列挙してみる 事後学修 2.0hr：「人格」存在と「同感」について学んだことを自分の生活に当てはめて検討する
7 回	授業テーマ：他者について(3)…「関係」概念にもとづく他者理解について 授業内容：自我と他者の「関係」概念に注目したプーバーとレヴィナスの「間主観性」理論を紹介、検討する。 事前学修 2.0hr：抽象的な他者と具体的他者の違いについて自分なりに整理する 事後学修 2.0hr：プーバーとレヴィナスの思想について自分の考えをまとめておく
8 回	授業テーマ：中間まとめとテスト 授業内容：「良心」と「他者」概念を中心に、これまで学習した理論のまとめと習熟度を測る中間テストを実施する。 事前学修 2.0hr：これまで講義で扱った良心と他者の範囲を自分なりにまとめておく 事後学修 2.0hr：中間テストの出来を自分で思い出し、理解度の足りなかった部分を確認する
9 回	授業テーマ：徳について(1)…徳倫理学の歴史と諸相について 授業内容：「徳」概念の基本をおさえ、東洋思想上の「徳」と「卓越性」を指す西洋的「徳」について紹介し、検討する。 事前学修 2.0hr：「徳」と呼ばれる語について自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：社会に望まれる人間諸性質の共通点についてまとめておく

10 回	授業テーマ：徳について(2)…具体的な徳目の理解 授業内容：具体的な「徳目」を東洋思想と西洋思想、そして我が国の古典的な「徳目」を挙げて検討する。 事前学修 2.0hr：「徳」に数え入れるものが何かを具体的に考えておく 事後学修 2.0hr：講義で扱われた様々な徳目を整理し、現代日本の徳目を自分なりにまとめる
11 回	授業テーマ：徳について(3)…ギリシアの徳倫理学について 授業内容：ソクラテス、プラトン、アリストテレスの「徳倫理学」について、紹介し、検討する。 事前学修 2.0hr：ソクラテス、プラトン、アリストテレスについて事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：徳倫理学の特徴についてノートを整理し、自身が身につけている道徳観との差をまとめる
12 回	授業テーマ：幸福について(1)…幸福の定義とその諸相 授業内容：前回のアリストテレスの主張から「幸福主義」の倫理学を紹介し、「快楽主義」との違いを明示したうえで、「快楽主義」について紹介する。 事前学修 2.0hr：「幸福」と呼ばれる事項について公共概念と合わせて考えておく 事後学修 2.0hr：「幸福」中身について自身の定義をはっきりさせておく
13 回	授業テーマ：幸福について(2)…個人の快楽主義 授業内容：キュレネ派の倫理思想からエピクロス派の独自の倫理まで個人を軸にした「快楽主義」の展開を概括する。 事前学修 2.0hr：個人を軸にした幸福追求にまつわる問題を検討しておく 事後学修 2.0hr：ヘゲシアスの「識見」について、自分ならどのようなものが当てはまるかを考えておく
14 回	授業テーマ：幸福について(3)…公共の福祉と功利主義 授業内容：「功利主義」を中心に社会規模で考えられる「快楽主義」について、その問題を含めて検討する。 事前学修 2.0hr：個人の幸福追求の限界について考えておく 事後学修 2.0hr：「社会の幸福」という概念について功利主義の主張を吟味しておく
15 回	授業テーマ：まとめと平常テスト 授業内容：「徳倫理学」と「功利主義」を軸にした倫理思想の特徴点をまとめ、期末テストを平常テストで実施する。 事前学修 2.0hr：テストに備え、これまで学習したくないようについてまとめておく 事後学修 2.0hr：テスト後に、自身の解答から社会生活と倫理の全体像を構築する

文学の世界

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：後 | 備考：留学生クラス

川勝 麻里 (かわかつ まり)

■ 授業の概要

海外でも高く評価されるノーベル賞作家・川端康成について学ぶ。日本人で初めてノーベル文学賞を受賞できたのはなぜなのか。孤児としての生い立ちや、数々の仰天エピソードも交えながら、作家像を知る。また、代表作『伊豆の踊子』を、映画を理解の補助として、映画→小説→映画→小説の順に読み進め、松本清張の短編小説と比較しながら、川端の名作がいかに読み継がれていくのか考えていく。その他、短編もいくつか取り上げ、それまでの文学にない、独特の擬人法や、映画的表現を学ぶことで、今なお新しさを失わない新感覚派小説の面白さを味わい、川端作品の幅広さを知る。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●)

一般目標：日本文学や日本文化の知識を学び、それを生かすことができるようになる。日本を代表する作家について、簡単な言葉で他者にも説明できるようにする。川端康成という作家を通して、日本の文学史の一端を学ぶ。

個別目標：原作をより深く理解し、名作が読み継がれていく過程を知る。実際の作家の生い立ちと、作中に描かれた事柄を区別しつつ、小説ならではの構造を読み解くことが出来るようにする。

■ 履修条件

くわしくは授業で指示する。なお、この授業で扱う松本清張は『日本語と日本文化B』(担当：川勝麻里)でも扱っているため、あわせて受講すると理解が深まる。

■ 評価基準・方法

授業内の作業 40%、試験 60%の結果に基づき総合的に評価する。授業内の作業にはリアクションペーパーの提出が含まれる。

課題等のフィードバックは、教室内での質疑応答の形で行う。

■ フィードバック方法

manaba を使った課題の実施をおこない、その場で講評をおこなう。また、リアクションペーパーに対するコメントや回答を授業内でフィードバックする。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

なし

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (パソコンがあれば便利だが、スマートフォンがあればよい。)

■ 教科書

詳細は授業内で指示する。

■ 参考書

授業で指示する。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：はじめに 授業内容：授業のガイダンスと、川端康成についての簡単な紹介。 事前学修 2.0hr：シラバスをよく読み、授業目的を理解して参加。 事後学修 2.0hr：授業内で示したキーワードをもとに半期の学習計画を立てる。
2 回	授業テーマ：川端康成について(生い立ち、ユニークな人物像、文壇状況、交友関係など) 授業内容：孤児の生い立ち、無口、動物好き、読書の名人、文壇政治家、ゴーストライターによる代作、そして、川端を取り巻く人間関係について説明する。まずは作家に興味を持ち、これから読んでいく小説にさらに興味を持って取り組めるようにする。 事前学修 2.0hr：川端康成の年譜事項について見ておく。 事後学修 2.0hr：プリントや授業の話をもとめておく。
3 回	授業テーマ：川端康成と『伊豆の踊子』：実在モデルと小説の違い 授業内容：『伊豆の踊子』のモデルとなった少女とその兄の実際の姿は、小説にえがかれている姿とは、ことなっている。そこで、その違いを読み解きながら、小説では何が描かれているのかを考える。 事前学修 2.0hr：プリントを読んでくる。 事後学修 2.0hr：モデルと実像の違いについて理解する。
4 回	授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(1)旧制高等学校と踊り子について 授業内容：『伊豆の踊子』の主人公の学生は、エリート学生であり、踊り子たちのような社会的に差別されている。そうした社会の中での違いをふまえて、小説を読んでいく。 事前学修 2.0hr：プリントを読んでくる。 事後学修 2.0hr：差別される踊り子とエリート学生主人公の格差を理解する。
5 回	授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(2)主人公の金銭感覚について 授業内容：主人公は茶屋で大金を支払っているが、それが当時の日本で、どれくらいの高額だったのか、同時代の資料から考える。また、そうした多くのお金を払ったのはなぜなのかを、読み解く。 事前学修 2.0hr：プリントで小説を音読できるようにしておく。 事後学修 2.0hr：学習内容を簡条書きにしてまとめておく。
6 回	授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(3)踊り子への差別について 授業内容：踊り子たちが、どのような差別を受けているのかを考える。小説を読む補助として、映画の DVD も視聴。 事前学修 2.0hr：小説を細かいところまで理解できるようにする。 事後学修 2.0hr：学習内容を簡条書きにしてまとめておく。
7 回	授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(4)踊子のモデルと小説の違い 授業内容：モデルと小説の違いを理解し、純文学として、この小説がどのように理想的につくられているのかを考える。 小説は現実をそのまま描いているわけではないので、その点について考える。 事前学修 2.0hr：『伊豆の踊子』を再度、読んでくる。 事後学修 2.0hr：モデルと実像の違いについて理解する。
8 回	授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(5)孤児根性について 授業内容：孤児根性を持って伊豆の旅に出てきた主人公は、孤児であることに必要以上にこだわっていた気持ちを捨てて、素直に自分と向き合うことができるようになる。孤児根性から癒されていく心の動きについて考える。 事前学修 2.0hr：プリントを読んでくる。 事後学修 2.0hr：孤児根性という言葉の意味を理解し、小説内でそれが解消されていく様子を理解する。
9 回	授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(6)風景描写について 授業内容：景色と主人公の感情が、どのように連動してうごいているのかを考える。 事前学修 2.0hr：再度、『伊豆の踊子』全体を読んでくる。 事後学修 2.0hr：主人公が孤児根性から癒されていく過程を、風景と結びつけて理解する。

10 回	<p>授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(7)リメイク小説：松本清張『天城越え』の風景描写</p> <p>授業内容：『天城越え』は『伊豆の踊子』を意識しながら書かれた小説なので、2作品を比べながら、風景描写を読んでいく。同じ伊豆半島を舞台とし、同じ大正15年が背景となっているにもかかわらず、風景の描き方がちがっていることがわかる。主人公の心の変化と風景には関係があるということ学ぶ。</p> <p>事前学修 2.0hr：プリントで『天城越え』の一場面を読んでくる。</p> <p>事後学修 2.0hr：『天城越え』が『伊豆の踊子』をどのように意識して書かれたか共通点を理解する。</p>
11 回	<p>授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(8)リメイク小説：松本清張『天城越え』の金銭感覚</p> <p>授業内容：2つの小説を比較しながら、金銭感覚の違いが、純文学かミステリーかで、異なることに注目して、読み解く。</p> <p>事前学修 2.0hr：プリントで『天城越え』の一場面を読んでくる。</p> <p>事後学修 2.0hr：金銭感覚その他、『天城越え』と『伊豆の踊子』の正反対な部分を理解し、作品を深く学ぶ。</p>
12 回	<p>授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(9)リメイク小説：松本清張『天城越え』の心理的動機</p> <p>授業内容：松本清張が、川端康成をのりこえようとして、名作『伊豆の踊子』に対して、『天城越え』を執筆したということについて考える。</p> <p>事前学修 2.0hr：プリントで『天城越え』の一場面を読んでくる。</p> <p>事後学修 2.0hr：『天城越え』の犯行動機を理解し、小説全体の読解をまとめる。</p>
13 回	<p>授業テーマ：もう1つの『伊豆の踊子』を読む—西河克己の2つめの『伊豆の踊子』(吉永小百合版)</p> <p>授業内容：授業前半では、DVDで西河克己監督の映画『伊豆の踊子』(山口百恵版)を見たが、後半からは、この監督がまったく同じタイトルで、別の女優をつかって撮影した映画『伊豆の踊子』(吉永小百合版)を見ていく。</p> <p>事前学修 2.0hr：西河克己の『伊豆の踊子』(山口百恵版)を復習しておく。</p> <p>事後学修 2.0hr：踊り子一行に対する差別について理解する。</p>
14 回	<p>授業テーマ：まとめ</p> <p>授業内容：まとめ。</p> <p>事前学修 2.0hr：プリントを読んでくる。</p> <p>事後学修 2.0hr：これまでのプリントをまとめておく。</p>
15 回	<p>授業テーマ：試験</p> <p>授業内容：試験。</p> <p>事前学修 2.0hr：試験に備えた学習。</p> <p>事後学修 2.0hr：試験問題の不明点の復習。</p>

文学の世界

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前/後

森 晴彦 (もり はるひこ)

■ 授業の概要

文学は国内・外を通じ多様な形で存在し、研究されているが、本授業では身近にある広告等の表現技巧とその源泉を古典文学に求め、そこから文学的表現の世界に分け入り、本文批評や文学研究の諸方法を俯瞰した上で、物語の話型を学び、それがドラマにまで通底する点を見たい。童話の改変・分析の問題に触れ、次に引用の美学を確認、さらにリアリティ獲得の方法を、歴史小説や自然主義、私小説と非私小説に見、作品生成の背景や成立の場を考える。対立する作家論・テキスト論の方法を自在に用いて作品を追究、言語・思想・社会の影響下に織りなされる文学に言及する。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●)

一般目標：(1) 広告表現のしくみ、物語の話型・しくみ、創作過程のしくみ、など「文学のしくみ (構造)」を知ることができる
(2) 文学の果たす機能や役割を説明できる
個別目標：(1) 文学作品について説明できる
(2) 著名な作品・作家について説明できる

■ 履修条件

特になし。

※第 1 回から出席・学修支援システム manaba を使用できるスマホを含む電子機器を持参してください。

■ 評価基準・方法

定期試験 60%、課題として前半 7 回後に manaba から提出する学修内容振り返りシート(前半まとめ) 30%、授業内における参加姿勢及び発言等 10% 及び到達目標・一般目標の達成度に基づき、総合的に評価する。また、原則として 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

■ フィードバック方法

課題等の提出やフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

なし

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

授業で毎回プリントを配布する。

■ 参考書

必要に応じて授業内で掲示する。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：広告言語の構造～身近にある表現技巧の源泉 授業内容：第 1 回は、広告言語と呼ばれるコマーシャルのコピーについてです。コマーシャルの言葉の使い方はレトリックと呼ばれる技巧が施されています。そのため、その使い方を含めてポスターのコピーや商品名のネーミングなども含め、日本古典文学の技法が活用されています。そのあたりを紐解いていきます。 ※受講人数によって〈授業を受けるためのガイダンス〉の説明が長くなった場合、第 1 回内容を第 2 回まで延長する場合があります。承知おきください。 事前学修 2.0hr：身近にある CM で言語的技法と思うものを 1 つピックアップしておく。 事後学修 2.0hr：本時を踏まえ、技法的な CM を探してみる。
2 回	授業テーマ：文学作品の生成と本文批評 授業内容：第 2 回は、文学作品の生成と本文批評(ほんもんひびょう)です。初めての用語でしょうから丁寧に解説します。作者自身で書きかえる場合もあれば、時代を経て作品が改変されてしまう場合もあります。それを文学史や本文批評によって、より古い形はどのようなものだったのか、が探索できるわけです。皆さんの知る著名な作品の結末が違うなど例に見ていきます。 事前学修 2.0hr：書誌学・文学史について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントを再読する。
3 回	授業テーマ：物語の生成～竹取物語を例に 授業内容：第 3 回は、日本で最古の物語 (900 年頃か) といわれる『竹取物語』を例にして、作品の生成過程を追うことで物語の構造 (しくみ) を学びます。同時に、第 2 回の本文批評を用いて、「思想の作品への影響」についても考えてみます。 事前学修 2.0hr：竹取物語のストーリーについて調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントを読んでおく。
4 回	授業テーマ：物語の変容～グリム童話初版から第 7 版に至る改変 授業内容：第 4 回は、皆さんが「知っている」『グリム童話』を取り上げ、皆さんが「知らない」『グリム童話』の元の姿をお見せします。今回も第 2 回の本文批評を用いて、「作品の原初の形」(最初の姿、元の姿)を学びます。私たちの読んだテキストは物語が変容したものであることが判ります。 事前学修 2.0hr：グリム童話について簡潔に調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリント(明治時代刊行のシンデレラ)を読む。
5 回	授業テーマ：童話分析の諸問題～歴史社会・神話解釈・精神分析の問題点 授業内容：第 5 回は、前回で読んだ『グリム童話』の作品や、読んではいませんが皆さんが知っている『グリム童話』を取り上げ、テキストの変容(本文批評/テキストクリティーク)をないがしろにすると分析も変わってしまう例を、歴史社会・神話解釈・精神分析の各方法と問題点を見ていきます。 事前学修 2.0hr：前回配布のストーリーを確認してくる。 事後学修 2.0hr：本時で扱った方法を整理しておく。
6 回	授業テーマ：物語の構造～プロットの 31 機能を中心に現代に及ぶ 授業内容：今回は、「話型学」という、物語や小説の、「話し」の骨格について学びます。話型とは服を脱がせれば人間の骨格は同じです。服によって見え方が違います。水戸黄門も浅見光彦も、骨格は同じ「同じ話型」となる例です。著名な話型の形を紹介した後、プロットの 31 種類について説明し、物語の形の構造があることを学びます。 事前学修 2.0hr：プロットについて調べておく。 事後学修 2.0hr：物語や映画やゲームの展開と比較してみる。
7 回	授業テーマ：引用の織物～本歌取から芭蕉・漱石、啄木と谷村、長瀬とあいだの場合 授業内容：第 7 回は、「文学における引用という技法」を取り上げます。引用が当たり前の時代から、博学主義などといわれる近代を経て、現代ではオマージュとかリスペクトと呼ばれる類のもので。しかし、著作権やプライオリティの確保から、現代では、引用は出典を明記して断らないと盗作です。今回はその「引用」に関わる文学の世界を見ていきます。 事前学修 2.0hr：オマージュ、インスパイアという単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：本時で出てきた概念を時代別に整理しておく。7 回終了後 manaba から前半振り返りのまとめを出してもらいます。

8 回	<p>授業テーマ：歴史小説の構造～高瀬舟執筆の目的 授業内容：第8回は明治の二大文豪(夏目漱石と森鷗外)の一人、森鷗外の『高瀬舟』という小説について学びます。『高瀬舟』の執筆目的とはなにか、考えていきます。資料にそって解説していきます。 事前学修 2.0hr：歴史小説、森鷗外について調べておく。 事後学修 2.0hr：本時配布のプリントを精読する。</p>
9 回	<p>授業テーマ：原話に付加される近代的自我～芥川龍之介の作品を中心に 授業内容：第9回は、原作を利用しながら、単なる脚色に終わらず、近代的な自我によって新たな「文学」となった芥川龍之介の作品を見たいと思います。芥川の苦悩が原話を変えた、というのが結論となります。また、一度書いた結末を書き換えている点についても言及します。それらを資料で確認しながら追究します。 事前学修 2.0hr：芥川について調べておく。 事後学修 2.0hr：本時配布のプリントを精読する。</p>
10 回	<p>授業テーマ：原作を改変する内面的世界～中島敦・太宰治 1 授業内容：中島敦の『山月記』について考えます。唐代の伝奇説話『人虎伝』を原作に書かれた小説です。『高瀬舟』も『羅生門』も『山月記』も原作のある小説です。それらの「新たな読み直し」をこの授業では志向しています。『山月記』には独自の運命観が出ていところがあります。その生成の背景と独自性について考察します。後半は、未読読む太宰治の生涯についても言及します。 事前学修 2.0hr：中島敦、太宰治について調べておく。 事後学修 2.0hr：本時配布のプリントを精読しておく。太宰治について調べておく。</p>
11 回	<p>授業テーマ：自伝脚色を駆使する私小説的装置～太宰治 2、事実と虚構と自立するテキストと 授業内容：多くの読者は、太宰の小説は太宰の実人生が書かれている、と思っているところです。私小説と多くの人は理解しています。太宰自身は、作品を自分の伝記のように読ませたい、という点をねらっています。そこでこの太宰の方法を、私小説的装置と名付け、事実と虚構の対比から、太宰ワールドに迫ってみようとしています。 事前学修 2.0hr：太宰治について調べておく。 事後学修 2.0hr：本時を踏まえて『富嶽百景』を構築された作品として読みを更新する。</p>
12 回	<p>授業テーマ：自然主義小説・私小説とアンチ私小説～柳美里・福島次郎 VS 村上春樹・江國香織等 授業内容：日本の自然主義と呼ばれる小説は、現実をそのままリアルに描写し、実際に起きたことをそのまま小説化することでリアリティを持たせるスタイルで、現代の私小説に繋がっています。他方、すべて想像から創る小説、すべてを零から作り上げる小説があります。小説世界は、この両極の間を、どちらに近づくか、になりますが、そのあたりを具体的に学びます。 事前学修 2.0hr：日本の自然主義とは何かしらべておく。 事後学修 2.0hr：小説の二潮流を念頭に作品を読み分ける。</p>
13 回	<p>授業テーマ：作品の詩と真実 短編の長編化～蝨とノルウェイの森、事実と虚構 授業内容：村上春樹の『ノルウェイの森』と『蝨』を比較し、村上の初期の創作方法を探求します。『蝨』は村上作品の繰り返す青年期のノスタルジックな世界の断片であり、その世界に触発され、その後を書き加えようと、『ノルウェイの森』を執筆するあたりを見ていきます。 事前学修 2.0hr：村上春樹について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントを精読する。</p>
14 回	<p>授業テーマ：著名な翻案小説～その原作の存在 授業内容：知らない人は少ないはず、という皆さんが読んだことのある著名な小説には、外国文学の原作があり、原作とほぼ同じストーリーなのはあまり知られていません。誘発する事件も作品の背景にあります。それらを皆さんが知ることが難しい、しかし、作品成立の根幹に当たりますから、ぜひ知っておいてほしいと強く思いまして取り上げます。 事前学修 2.0hr：過去に読んだ感動や美談の小説はないか考えておく。 事後学修 2.0hr：配布のプリントを精読する。翻案小説とは何か理解する。</p>
15 回	<p>授業テーマ：翻訳文学の世界～翻訳文学の基礎的諸問題／授業のまとめ 授業内容：翻訳文学の基礎的諸問題として、訳者の文体とは、にこだわってみます。ひいては訳した人の感覚というものにまで言及します。村上春樹訳『キャッチャー・イン・ザ・ライ』(サリンジャー作、2006年)を「窓」(入り口)として話を進めます。また、授業の総まとめについても行います。 事前学修 2.0hr：上田敏、村上春樹翻訳小説を調べておく。今までの授業内容を総復習しておく。 事後学修 2.0hr：文学について各自切り込み方が深化したか考え直してみる。</p>

人類と文化

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前/後

山本 早良紗 (やまもと さらさ)

■ 授業の概要

本授業では、文化人類学にかんする基礎的な知識を学びます。文化人類学とは、「文化」という概念を手がかりに、多様な人間の行動や思考、制度などの差異に注目し、それらを多様性と普遍性という観点からとらえ、「人間とは何か」について考える学問です。そして文化人類学の研究手法や視点は、いわば「常識」を相対化し、これまでとは少しちがった世界やものごとの見方・切り取り方を教えてくれるものです。日々目まぐるしく変化するこの現代において、そうした新しい認識の仕方は、自身の生き方や考え方の幅を広げるものとして、有効な知識・知恵となるはずです。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎)

一般目標：私たちにとって身近な問題関心である、人間の〈生〉の営みに関連するさまざまなテーマをとりあげながら、文化人類学の考え方を学びます。さらに、それらの知識をもとに、個別の事例に照らし合わせて比較検討する視座を養います。具体的には、既存の考え方や自身の価値観を相対化する視点を獲得するとともに、現代を生き抜く術として、〈他者〉との共生のあり方について、みずから考える力を養うことを目標とします。

個別目標：知識を習得するだけでなく、授業から離れた日々の生活の場においても、文化人類学的な考え方をを用いて、これまでとはちがったものの見方ができるよう、実践につなげていくことを目指します。また、普段は「当たり前のこと」として気に留めないような事柄についても、改めて主題化し、問い直していく視座を身に付けることを目標とします。

■ 履修条件

履修条件は、講義を聞き、学ぶ意思のある者。出席回数を稼ぐためだけに在室し、授業中にスマホ操作や私語、居眠りを繰り返すといった、講義を聞く意思のない者の受講はお断りします(常習者には注意喚起のうえ、開講途中であっても、受講をお断りする場合があります)。本授業は、「出席した回数」よりも、受講態度や授業への関心の高さ、授業内容の理解度を重視した評価を行います。そうした本授業の主旨を十分理解・了承したうえでの受講をお願いします。

■ 評価基準・方法

【試験(約 5 割)+平常点(約 5 割)】により評価を行います。平常点には、①毎授業後に manaba に提出されたコメントの内容から、理解度・関心の高さ・取り組みの姿勢を判断し算出する「コメント点」、および②授業の受講態度の 2 点が含まれます。出席するだけで得られる「出席点」は設けません。学期末に行う試験は、半期の講義内容すべての総まとめとなり、持ち込みは不可とします。また、試験を無断で欠席した場合、不正行為が行われた場合には、評価の対象外となります。

■ フィードバック方法

授業内容について質問や不明点があった場合には、教室で直接教員にたずねるか、manaba で提出するコメントに記載してください。内容によって、コメントに返信するかたちで回答、もしくは翌週の授業内でとりあげ、解説します。授業内容以外のことについて質問や相談がある場合には、manaba の個別指導コレクションを利用してください。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

なし

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (必須ではありませんが、PC を使ってメモを取ることを推奨しています。)

■ 教科書

指定しない。

■ 参考書

授業内で適宜指示する。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：オリエンテーション 授業内容：授業の概要、予定、進め方、評価方法など、授業内容および授業運営にかんする基本的事項について解説します。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、本授業に期待する内容、学びたいことについて考え、まとめる。 事後学修 2.0hr：興味をもったテーマに関連する書籍を探し、読んでみる。
2 回	授業テーマ：イントロダクション 授業内容：文化人類学とはどのような学問かについて、近接する学問分野との比較を通して解説し、学問としての位置づけ、および全体像を理解することを目指します。 事前学修 2.0hr：文化人類学とはどのような学問か、みずから調べ予習する。 事後学修 2.0hr：文化人類学がどのような学問なのかについての理解を定着させるため、授業内容の要点および重要箇所をまとめる。
3 回	授業テーマ：文化人類学におけるものの見方・考え方(1) 授業内容：文化人類学が得意とするものの見方、およびその見方を実践するための研究手法について解説し、学問の特徴を大まかに理解することを目指します。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容をふり返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：文化人類学に特徴的なものの見方についての理解を定着させるため、授業内容の要点および重要箇所をまとめる。
4 回	授業テーマ：文化人類学におけるものの見方・考え方(2) 授業内容：身近な事例をとりあげながら、文化人類学のもの見方・考え方について、より具体的に考える機会を設け、文化人類学という学問のあり方、特徴をしっかりと理解することを目指します。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容をふり返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：文化人類学に特徴的なものの見方についての理解を定着させるため、授業内容の要点および重要箇所をまとめる。
5 回	授業テーマ：文化人類学におけるものの見方・考え方(3) 授業内容：文化人類学がめざす〈他者理解〉のあり方について解説するとともに、さらに身近な問題に引きつけて、〈他者〉との接合の仕方について考えます。 事前学修 2.0hr：文化人類学にかんする諸理論について、みずから調べ予習する。 事後学修 2.0hr：文化人類学が目指す自己と他者とのあり方についての理解を定着させるため、授業内容の要点および重要箇所をまとめる。また、文化人類学のもの見方を身近な事例に当てはめ、自分なりに問い直してみる。
6 回	授業テーマ：文化人類学の理論(1) 授業内容：文化人類学の学問としての歴史について学ぶ 1 回目として、初めての体系的な理論となった「文化進化論」について学びます。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容をふり返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：今日の授業内容をふり返り、要点および重要箇所をまとめる。

7 回	授業テーマ：文化人類学の理論(2) 授業内容：文化人類学の学問としての歴史について学ぶ1回目として、「文化進化論」の衰退後から現在にいたるまで、学問を支える理論となっている「文化相対主義」について学びます。とくに「文化進化論」とのちがいをおさえながら、この理論の概要を解説します。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容をふり返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：今日の授業内容をふり返り、要点および重要箇所をまとめる。
8 回	授業テーマ：文化相対主義(1) 授業内容：文化人類学を理解するうえで欠かせない「文化相対主義」の考え方について、しっかりと理解を定着させるために、この回では、映像像資料を用い、具体的な事例をもとにその考え方について細かく解説します。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容をふり返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：今日の授業内容をふり返り、要点および重要箇所をまとめる。
9 回	授業テーマ：文化相対主義(2) 授業内容：前回の映像像資料の内容をふまえて、文化相対主義の考え方を実践するための具体的な方法について解説します。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容をふり返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：今日の授業内容をふり返り、要点および重要箇所をまとめる。また第5～9回全体を通して復習し、文化人類学の理論の通時的な流れを理解する。
10 回	授業テーマ：フィールドワーク(1) 授業内容：文化人類学にとって欠かせない研究手法である「フィールドワーク」について、その歴史、および特徴や方法について解説します。 事前学修 2.0hr：人類学的フィールドワークとはどのようなものか、みずから調べ予習する。 事後学修 2.0hr：今日の授業内容をふり返り、要点および重要箇所をまとめる。
11 回	授業テーマ：フィールドワーク(2) 授業内容：実際のフィールドワークの様子を、教員自身のフィールドワークの事例を用いて紹介します。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容をふり返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：今日の授業内容をふり返り、要点および重要箇所をまとめる。また第8～9回全体を通して復習し、人類学的フィールドワークの主眼および特徴を理解する。第10～11回全体を通して復習し、要点および重要箇所をまとめる。また、授業でとりあげた事例以外で、「結婚」にかんして自身のなかにどのような「あたりまえ」があるか改めて問い直し、相対化してみる。
12 回	授業テーマ：フィールドワーク(3) 授業内容：前回の授業で紹介した、教員のフィールドワークの事例をふまえて、文化人類学的な問いの立て方やものごとの捉え方について、具体的に解説していきます。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容をふり返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：今日の授業内容をふり返り、要点および重要箇所をまとめる。
13 回	授業テーマ：「死」の人類学(1) 授業内容：最後は、個別のテーマをもとに、文化人類学のものの見方・考え方を実践してみることを目的として、人間にとって普遍的な事象である、「死」をめぐる問題をとりあげます。「死」をめぐる、自分自身のなかにある「あたりまえ」に気付く、改めて主題化することを目指します。この回では、わが国における「死」のとらえ方・考え方、「死」をめぐる事象や葬送・葬儀の方法について考えます。 事前学修 2.0hr：文化人類学において、これまで「死」というテーマがどのように扱われてきたかを調べ、それをふまえて自身の問題意識を醸成させる。 事後学修 2.0hr：今日の授業内容をふり返り、要点および重要箇所をまとめる。
14 回	授業テーマ：「死」の人類学(2) 授業内容：前回の内容をふまえ、続いて諸外国における「死」をめぐるさまざまな事例を紹介します。比較の視点をを用いることで、自身の「あたりまえ」を相対化し、人間の〈生〉の営みの多様性を学びます。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を振り返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：第13～14回全体を通して復習し、要点および重要箇所をまとめる。また、授業でとりあげた事例以外で、「死」にかんして自身のなかにどのような「あたりまえ」があるか改めて問い直し、相対化してみる。
15 回	授業テーマ：総括 授業内容：授業全体の理解度をはかるため、まとめのテストを実施します。 事前学修 4.0hr：これまでの授業内容をふり返り、重要なポイントを整理してまとめ、理解を深めておく。 事後学修 1.0hr：テストを振り返り、理解が不足していた点を補う。また全授業をふり返り、人類学的なものの見方を用いて、社会におけるさまざまな問題や身近な出来事とらえ直してみる。

美とは何か

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前/後

高久 馨 (たかく かおる)

■ 授業の概要

芸術家たちは真に迫ったリアルな表現を目指して顔や人体を研究してきたが、同時に、芸術的、美的効果をあげるために、解剖学的正確さをあえて無視して、顔や人体をさまざまに誇張、変形、省略してきた。本講義ではまず第 10 回まで、顔や人体が人種、年齢、性別によってどのように違うか、それらの違いが古今東西の絵画、彫刻の中でどのように表現され、どのような印象、効果を見る者に与えているかを考察する。第 11 回目からは、美の諸問題について、西洋美術史や美学、精神分析などさまざまな観点から講義していく。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ◎/M3 ◎)

- 一般目標：(1) 顔や人体の人種、年齢、性別による違いを知り、それらの違いが美術作品ではどのように表現されているかについて自ら観察する姿勢を身に付け、感じたことを言語化できるようになる。
(2) 芸術作品を通じて、主に日本文化やヨーロッパ文化のエッセンスを学び、同時に芸術的感性の涵養と異文化の理解に努める。
- 個別目標：(1) 顔や人体の性差・人種差・年齢差について説明することができる。
(2) 芸術理論や作品に接したとき、常に自分の経験や美意識に引き付けて考えていく習慣を身に付け、美的感受性を練磨していく。

■ 履修条件

- (1) 授業中の居眠り、携帯・スマホの使用は厳禁。
(2) 思ったことや感じたことを臆せず発言しようという気持ちがある者。授業内容に関係することであれば、どのような意見、発言も歓迎します。

■ 評価基準・方法

・ 期末試験 (50%)、授業態度 (授業に参加、協力しようとする姿勢) (20%)、manaba の事前学修とリアクションペーパーの内容 (30%) で評価する。
また、授業回数の 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。
・ 授業態度や manaba の事前学修の出来も重要な評価対象となる。

■ フィードバック方法

・ 課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (口頭発表、ディスカッション)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

使用せず。適宜プリントを配布し、美術作品はスライドで紹介する。

■ 参考書

中尾喜保「生体の観察」、メチカルフレンド社。村澤博人「顔の文化を考える」(新潟大学ブックレット「顔から学ぶ」所収)。
宮下規久朗「ウォールホルの芸術」、光文社新書。鈴木晶「図説フロイト」、河出書房新社。
その他の西洋近現代美術関連の参考文献については授業内で紹介する。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：オリエンテーション：授業の内容、進め方、評価方法等について詳しく説明。 授業内容：授業の内容、進め方、評価方法等について詳しく説明する。 事前学修 1.5hr：シラバスを読み、本講義に期待する内容や興味をひかれたことを考えておく。 事後学修 1.5hr：もう一度シラバスに目を通し、特に本講義の到達目標を強く意識する。
2 回	授業テーマ：顔と人体の美(1)性差について 授業内容：主に顔、顎の男女の性差について詳しく説明する。また、あまり知られていない身体における性差についても述べる。 事前学修 2.0hr：顔と人体における性差にどのようなものがあるか調べておく。 事後学修 2.0hr：顔と人体(特に顎)の性差について具体的に説明できるようにする。
3 回	授業テーマ：顔と人体の美(2)顔の経年変化について(前半) 授業内容：頭部と目もとの経年変化について、乳幼児期から老年期にいたるまでどのように変化していくのか詳述する。 事前学修 2.0hr：頭部と目もとにおける年齢差にどのような特徴があるか調べておく。 事後学修 2.0hr：頭部と目もとの経年変化について具体的に説明できるようにする。
4 回	授業テーマ：顔と人体の美(3)顔の経年変化について(後半) 授業内容：口もとや顔の輪郭の経年変化について、乳幼児期から老年期にいたるまでどのように変化していくのか詳述する。 事前学修 2.0hr：顔の輪郭と口もとにおける年齢差にどのような特徴があるか調べておく。 事後学修 2.0hr：顔の輪郭と口もとの経年変化について具体的に説明できるようにする。
5 回	授業テーマ：顔と人体の美(4)魅力的な顔とは？ 授業内容：顔面における子どもの特徴、大人の特徴をふまえて、多くの人が魅力的と感じる顔の特徴とは何かについて述べる。 事前学修 2.0hr：自分はどのような顔が魅力的だと思うか、具体例をあげて述べられるようにしておく。 事後学修 2.0hr：多くの人が魅力的と感じる顔とはどのような顔か、また顔における幼児性と成熟さの特徴について説明できるようにする。
6 回	授業テーマ：顔と人体の美(5)「かわいらしさ」(幼児性)について 授業内容：動物行動学者 K・ローレンツのベビー図式を紹介して、「かわいらしさ」とは何かについて述べる。また、日本人を理解するうえで重要なキーワードの一つとなって久しい「ネオテニー」についても紹介する。 事前学修 2.0hr：ヒトや動物のどのような形態的特徴をわれわれは「かわいらしい」と捉えるのか、事前に考えておく。 事後学修 2.0hr：ベビー図式の応用例を具体的に身近なものから探し出してみる。授業でとりあげた以外のネオテニーの例を調べる。
7 回	授業テーマ：顔と人体の美(6)目もとにおける上瞼の重要性 授業内容：目と眉の間の広いか狭いかで目もとの印象はまったく違う。それぞれどのような印象を与えるのか、美術作品にはどのように利用、表現されているのかを詳述する。 事前学修 2.0hr：目と眉の間の長短でどのように目もとの印象が違うか、述べるできるようにしておく。 事後学修 2.0hr：目もとにおける上瞼の重要性について、具体例をあげて説明できるようにする。
8 回	授業テーマ：顔と人体の美(7)人種差、あるいは日本人の成り立ちについて 授業内容：人種によって顔や身体にどのような違いがあるのか、その違いの理由は何かを詳述する。あわせて、現代日本人はどのような人種の特徴があるのか、どのような顔を「いい顔」ととらえてきたのかについても述べる。 事前学修 2.0hr：人種による体形、顔だちの違いについて、簡単に述べられるようにしておく。 事後学修 2.0hr：人種による体形や顔だちの違い、特に北方アジア系、南方アジア系のそれらの違いを説明できるようにする。

9 回	<p>授業テーマ：顔と人体の美(8)左右対称・非対称の美 授業内容：顔の造りや表情、身体だけでなく、広く建築物、庭園、衣服をも例にとりあげながら、左右対称・非対称がどのような印象を見る者に与えるのかを考察する。 事前学修 2.0hr：身の周りにあるもの(建築物、工業製品、衣服 etc)で左右対称・非対称のものを見出す。 事後学修 2.0hr：左右対称・非対称の美点・マイナス点について説明できるようにする。</p>
10 回	<p>授業テーマ：顔と人体の美：まとめ(ディスカッション) 授業内容：9 回までの講義とはまた別の観点から顔と人体の美についての考察を深めてくれるようなエッセイを選び、それを受講者全員で読み、各自疑問に思ったことを出しあう。その後、それらのいくつかについて全員でディスカッションを行う。 事前学修 2.5hr：あらかじめ指定されたエッセイを事前に読んでおく。 事後学修 2.0hr：人間にとって顔とは何なのか、他者との関係において顔はどのように機能するのかについて考察を深める。</p>
11 回	<p>授業テーマ：美の追求にひそむ危険(口頭発表、ディスカッション) 授業内容：美に追求にひそむ危険に関する小論文を読み、その具体例を、実在の人物や小説、マンガ等の登場人物からさがし出し、受講者の前でそれについて各自口頭発表(5-10 分程度)してもらう。その後、受講者全員でディスカッションを行う。 事前学修 3.0hr：美の追求にひそむ危険に関する小論文を熟読し、それにあてはまる具体例をさがし、口頭発表にまとめる。 事後学修 2.0hr：美の追求において特に問題になりうる点とは何かについて理解を深める。</p>
12 回	<p>授業テーマ：個性とオリジナリティ(1) 授業内容：芸術家や芸術作品における個性とオリジナリティについて、近代とそれ以前ではどのように変わったか、主に西洋美術を例に詳述する。 事前学修 2.0hr：キリスト教やギリシャ神話を題材にした西洋美術の古典的な傑作をいくつか紹介するので、そのテーマについて調べる。 事後学修 2.0hr：スライドで見た作品の中で、特に印象に残ったものについて感じたこと、思ったことを言語化する。</p>
13 回	<p>授業テーマ：個性とオリジナリティ(2) 授業内容：芸術家や芸術作品における個性とオリジナリティについて、ポップアートを例に、それ以前とどのように変わったか、また現代にどのような影響を及ぼしたか詳述する。 事前学修 2.0hr：宮下規久朗「ウォーホルの芸術」の指定された箇所を読んでおく。 事後学修 2.0hr：スライドで見た作品の中で、特に印象に残ったものについて感じたこと、思ったことを言語化する。</p>
14 回	<p>授業テーマ：美と精神分析 授業内容：フロイトの夢と無意識についての理論を紹介し、それらがシュルレアリスムという芸術運動にどのような影響を与えたのかについて述べる。あわせて、現代におけるシュルレアリスムの影響についても考察する。 事前学修 2.0hr：鈴木晶「図説フロイト」の特に夢と無意識に関する箇所を読んでおく。ダリ、マグリット、キリコの画集に目を通しておく。 事後学修 2.0hr：スライドで見た作品の中で、特に印象に残ったものについて感じたこと、思ったことを言語化する。</p>
15 回	<p>授業テーマ：まとめと試験対策 授業内容：どのような問題が試験で問われるのか、またその意義は何かについて詳述する。そうすることであわせて、これまでの講義のおさらいとする。 事前学修 2.0hr：全講義のノートと配布物に目を通し、それらを持参して講義に臨むこと。 事後学修 4.0hr：試験対策授業でふれた箇所をいま一度重点的に復習して試験に備える。</p>

コミュニケーション論

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前 | 備考：留学生クラス

小野寺 樹璃 (おのでら じゅり)

■ 授業の概要

コミュニケーション論(留学生クラス)では、コミュニケーションに対する理解を深めるため、自己理解、他者理解、社会スキル、異文化理解、議論の観点からコミュニケーションの基礎的知識について学ぶ。また、企業活動やエンターテインメント、災害などの分野を取り上げ、コミュニケーションが果たす役割について考えていく。そして、実際の会話データを用いて会話分析を行い、調査・研究の基本的な方法や姿勢を学ぶ。授業は、グループワークに取り組みながら進めていき、自らのコミュニケーション能力について客観的に捉えつつ、コミュニケーション技術を磨いていく。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ●/M2 ○/M3 ○)

一般目標：コミュニケーション学の基礎を理解し、現実社会ではどのように反映されているかを分析・考察する力を習得する。

自らのコミュニケーション能力向上のために必要な力を客観的に考察できるようになる。

コミュニケーションに必要な日本語力を向上させる。

授業活動を他者と協力して成しとげることの重要性を認識し、協働する力を身につける。

個別目標：コミュニケーション学に関する基本的な文章を日本語で理解し、その内容をまとめて説明できる。

コミュニケーション学の基礎を理解し、現実場面にどのように生かせるかを分析できる。

自らの日本語によるコミュニケーション能力を理論に照らし合わせて客観的に判断できる。

日本語によるコミュニケーション能力を高め、学び考えたことを的確に表現できる。

他者の意見を的確に理解し、異なる意見を認めることができる。

■ 履修条件

留学生を対象とする科目である。

毎回出席し、指定された課題を行うこと。

授業では、積極的に発言し、活動に参加すること。

■ 評価基準・方法

最終レポート 40 %、授業内課題 20 %、授業活動 20 %、振り返り 20 % で評価する。

また、原則として 5 分の 4 以上の出席を評価対象とする。

■ フィードバック方法

授業中、または manaba を通して行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (ディスカッション、グループワーク)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

『大学 1 年生からのコミュニケーション入門』ナカニシヤ出版

■ 参考書

『コミュニケーション論をつかむ』有斐閣

『会話データ分析の実際：身近な会話を分析してみる』ナカニシヤ出版

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：オリエンテーション 大学生の学びとコミュニケーション 授業内容：自己紹介をする。自分のコミュニケーションについて考える 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読み、理解する 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
2 回	授業テーマ：コミュニケーションとは何か 授業内容：コミュニケーションの基本概念 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読み、検討・議論したいことについて考える 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
3 回	授業テーマ：自己理解を深める 授業内容：自己とは何か。自分というものがどのように形成されるか 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読み、検討・議論したいことについて考える 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
4 回	授業テーマ：自分の考えを整理し、伝える 授業内容：自分の考えをわかりやすく伝えるために大切なこと。議論の必要性 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読み、検討・議論したいことについて考える 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
5 回	授業テーマ：様々なコミュニケーション ①社会スキル ②アサーション 授業内容：社会スキルについての基本的な知識とアサーションの考え方 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読み、検討・議論したいことについて考える 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
6 回	授業テーマ：コミュニケーションと異文化理解 授業内容：異文化間コミュニケーションについて考える 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読み、検討・議論したいことについて考える 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
7 回	授業テーマ：議論の考え方 授業内容：議論の基礎、情報収集、ディベートについて学ぶ 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読み、検討・議論したいことについて考える 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
8 回	授業テーマ：他者の意見を聞き、評価する 授業内容：反論の仕方について考え、反論されたときの対処方法を学ぶ 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読み、検討・議論したいことについて考える 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート

9 回	授業テーマ：マーケティング・コミュニケーション 授業内容：マーケティング・コミュニケーションの特徴と内容を理解し、議論する 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、基本を理解し、議論ができるように準備する 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
10 回	授業テーマ：コーポレート・コミュニケーション 授業内容：コーポレート・コミュニケーションの特徴と内容を理解し、議論する 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、基本を理解し、議論ができるように準備する 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
11 回	授業テーマ：バーチャル空間のコミュニケーション 授業内容：バーチャル空間におけるコミュニケーションの特徴と内容を理解し、議論する 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、基本を理解し、議論ができるように準備する 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
12 回	授業テーマ：情報社会とコミュニケーション・ネットワーク 授業内容：情報社会とコミュニケーション・ネットワークの特徴と内容を理解し、議論をする 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、基本を理解し、議論ができるように準備する 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
13 回	授業テーマ：災害とコミュニケーション 授業内容：災害時におけるコミュニケーションの特徴と内容を確認し、議論をする 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、基本を理解し、議論ができるように準備する 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
14 回	授業テーマ：初対面会話(接触場面)の二者会話・三者会話の比較分析 授業内容：接触場面における初対面会話の映像・会話スクリプトを見て、特徴を分析する 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、基本を理解し、議論ができるように準備する 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
15 回	授業テーマ：授業の振り返りと総括 授業内容：本授業の学びを総括する 事前学修 2.0hr：自分の学びについてまとめてくる 事後学修 2.0hr：期末レポート作成

コミュニケーション論

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前/後

海谷 千波 (かいは ちなみ)

■ 授業の概要

1. 対象：「そもそもコミュニケーションとは何か」と疑問を持つ者、あるいは疑問を持ってみたい者。
 2. 目的：「コミュニケーション」に関する現象・言説を批判的に捉え、実践できる。
 3. 内容：(ア)「コミュニケーション」や諸問題に関する「常識」・「当然」・「当たり前」と、(イ)これらのこと「に/を」コミュニケーションする可能性について学ぶ。
 4. 授業形式：(ア)概念・定義・構成要素・課題等を [再] 整理し、(イ)グループやクラス全体で議論する。
- ただし、履修登録者数や学生の学修状況に応じて、学修内容や活動に修正が加えられることもある。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ●/M2 ○/M3 ○)

- 一般目標：「コミュニケーション」現象からのメッセージや問いかけに向き合い、その意味を見出し、応答できるようになる。
- 個別目標：1. 知識・技能：「コミュニケーション」に関連する基本的な考え方を知り、説明できる。
2. 思考・判断・表現：「コミュニケーション」に関連する諸問題について自ら考え、判断し、表現したり行動したりできる。
3. 主体性・多様性・協働性：他者と関わる(コミュニケーションする)ことで、多様性を認め合い、人間性を高め合おうとする。

■ 履修条件

1. 初回授業へ参加する(※ 班編成と座席表作成のため)
2. 初回授業で交わされた約束を守る
3. ノート PC、又はタブレット(※ キーボードを準備)を持参する
4. 科目担当者が開講する「異文化コミュニケーション概論 a・b」と内容の一部が重複することを理解する

■ 評価基準・方法

評価基準・方法

1. 講義・議論(60%：授業外学修 30%を含む)
2. グループ発表(40%：実演だけでなく、準備や他グループ発表評価も含む)

以上、1及び2により総合的に評価する。

【※ 単位修得の条件として、12 回以上の「出席」が必要。遅刻 2 回で欠席 1 回とする。】

■ フィードバック方法

必要に応じて、授業や manaba で課題を点検したり、コメントしたりする。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (ディスカッションとプレゼンテーション)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (manaba 入力(レポート：授業の振り返り、発表の評価・コメント；プロジェクト：発表資料の作成))

■ 教科書

宮原哲(2006).『入門コミュニケーション論』(新版). 松柏社.

■ 参考書

板場良久・池田理知子編(2011).『よくわかるコミュニケーション学』. ミネルヴァ書房.

池田理知子編(2010).『よくわかる異文化コミュニケーション』. ミネルヴァ書房.

鈴木敏恵(2012).『課題解決力と論理的思考力が身につくプロジェクト学習の基本と手順』. 教育出版株式会社.

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：オリエンテーション：授業方針と課題・評価等 授業内容：(1)シラバスと補足資料にしたがい、授業方針・内容・方法・評価の要点について理解するとともに、授業外学修の具体的な方法を知るとともに、(2)「何のためにコミュニケーションを学びたいか」について考えたり、意見交換したりする。 事前学修 2.0hr：シラバス、とりわけ「授業の概要」、「履修条件」、「評価基準・方法」を熟読し、理解するとともに、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：シラバスとオリエンテーションを振り返り、「何のためにコミュニケーションを学びたいのか」についてまとめる。
2 回	授業テーマ：人間コミュニケーションの基本的な考え方 授業内容：(1)そもそも「コミュニケーション」とはどのような現象なのか、その要点を理解するとともに、(2)関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。
3 回	授業テーマ：ことばとコミュニケーション 授業内容：(1)コミュニケーションと言語メッセージがどのように関係し合っているのか、その要点を理解するとともに、(2)関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。
4 回	授業テーマ：ノンバーバル・コミュニケーション 授業内容：(1)コミュニケーションと非言語メッセージがどのように関係し合っているのか、その要点を理解するとともに、(2)関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。
5 回	授業テーマ：認識コンピテンス 授業内容：(1)自己内コミュニケーションがどのように行われるのか、その要点を理解するとともに、(2)関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。
6 回	授業テーマ：人を動かすコミュニケーション・コンピテンス 授業内容：(1)説得がどのように行われるのか、その要点を理解するとともに、(2)関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。

7 回	<p>授業テーマ：対人コミュニケーション・コンピテンス 授業内容：(1)1対1の人間関係がどのように構築されるのか、その要点を理解するとともに、(2)関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。</p>
8 回	<p>授業テーマ：小集団コミュニケーション・コンピテンス 授業内容：(1)グループにおける合意形成やリーダーシップがどのように行われるのか、その要点を理解するとともに、(2)関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。</p>
9 回	<p>授業テーマ：組織内コミュニケーション・コンピテンス 授業内容：(1)組織がどのように運営されるのか、その要点を理解するとともに、(2)学生自ら提起する関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。</p>
10 回	<p>授業テーマ：異文化間コミュニケーション・コンピテンス 授業内容：(1)文化相互理解がどのように行われるのか、その要点を理解するとともに、(2)学生自ら提起する関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。</p>
11 回	<p>授業テーマ：グループ発表準備(1)：テーマ設定と文献調査 授業内容：(1)グループ発表の方針、内容、方法等について理解し、(2)グループで解決すべきテーマを設定し、マインド・マップを使ってキーワードを考えながら、発表の全体像をつくる。 事前学修 2.0hr：トピックや関連情報について調べ、要点や自分の意見をまとめる。 事後学修 2.0hr：グループで検討した文献や情報を調べ、熟読し、要点・概要をまとめる。</p>
12 回	<p>授業テーマ：グループ発表準備(2)：現状把握と課題設定 授業内容：(1)グループで持ち寄った情報を整理したあと、(2)テーマに関する現状を把握し、課題を設定し、(3)現状と課題に関する発表資料を作成する。 事前学修 2.0hr：グループで決めたテーマについて、現状や課題に関する情報を収集する。 事後学修 2.0hr：授業での議論に基づき、発表原稿を推敲する。</p>
13 回	<p>授業テーマ：グループ発表準備(3)：原因追及と改善案提示 授業内容：(1)テーマに関する現状と課題を整理したあと、(2)原因・理由・背景を突き止め、改善案を考えて、(3)原因・理由・背景と改善案に関する発表資料を作成する。 事前学修 2.0hr：原因や改善案に関する情報を収集する。 事後学修 2.0hr：授業での議論に基づき、発表原稿を推敲する。</p>
14 回	<p>授業テーマ：グループ発表(1)：第1グループの発表と評価 授業内容：第1グループが発表を実演する。聴衆はメモをとりながら発表を聞いた後、評価シートに評価やコメントを書き込む。 事前学修 3.0hr：発表原稿を完成させ、リハーサルを行う。 事後学修 1.0hr：他のグループ発表について振り返り、今後、自分がどのように「コミュニケーション」を図るかをまとめる。</p>
15 回	<p>授業テーマ：グループ発表(2)：第2グループの発表と評価 授業内容：第2グループが発表を実演する。聴衆はメモをとりながら発表を聞いた後、評価シートに評価やコメントを書き込む。 事前学修 3.0hr：発表原稿を完成させ、リハーサルを行う。 事後学修 1.0hr：他のグループ発表について振り返り、今後、自分がどのように「コミュニケーション」を図るかをまとめる。</p>

心理学

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前/後

中嶋 一恵 (なかしま かずえ)

■ 授業の概要

人の心は、知覚、記憶、思考、言語など、様々な機能を持っている。心の動きを科学的に解明する心理学は、それに応じて様々な専門分化した研究がなされている。

本講義では、心理学の成り立ち、人の心の仕組み及び動き、その概観について理解し、周囲の人との関わりの中で活用していくことができる力を養うことを目的とする。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎)

一般目標：基礎的な心理学に関する諸理論を学ぶことにより、人の心や行動の基盤を理解する。また、心理学で学んだ内容を、日常生活で生かせる力を身につける。

- 個別目標：1) 基礎的な心理学の理論や知識を習得し、人の心の動きを科学的に理解できる。
2) 日常生活において起こる諸問題に対して、心理学の知識を応用できる。
3) 自己・他者の多様性を理解し、穏やかで円滑な人間関係の形成に関与できる。

■ 履修条件

- 1) 第 1 回講義のガイダンスで説明する履修条件を理解し、順守できること(第 1 回講義の出席を必須とする)。
- 2) 授業では個別指導とアクティブラーニングの手法も取り入れていくため、自主的・積極的に学ぶ意欲があること。
- 3) 授業方法の特性上、第 1 回講義時に提出する履修動機を基に履修者を決定する(約 50 名程度)ため、第 1 回講義に必ず出席すること。
- 4) 本講義では、多様な背景や特性を持つ履修者が共に学ぶことを前提としている。必要に応じて合理的配慮を行うため、合理的配慮を希望する場合は、事前に担当教員または障がい学生支援室に相談すること。

■ 評価基準・方法

※原則として 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

- 1) 授業内で提示する課題(50%)
- 2) 最終試験・レポート(50%)

以上をもとに、総合的に評価する。

■ フィードバック方法

毎回の課題、質問や意見共有などに対するフィードバックは、翌週以降の授業内または学習支援システム manaba を通じて行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (学習支援システム manaba を使用しての意見共有)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (学習支援システム manaba を使用した意見共有、フィードバック、レポート作成 など)

■ 教科書

指定なし

■ 参考書

丹野義彦他著 「初めて出会う心理学」 有斐閣 2020

ジョエル・レビー著 「心理学の基礎講座」 NEWTON PRESS 2022

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：ガイダンス 授業内容：本講座の目的、授業の進め方、課題の取組み方、評価基準についてガイダンスを行う。また、心理学の位置づけについて理解する。 事前学修 2.0hr：履修動機を明確にし、心理学についての関心があることをまとめる。 事後学修 2.0hr：心理学についての自分の考えをまとめる。
2 回	授業テーマ：心理学入門 授業内容：心理学とは何か、人の心を研究する意味、歴史的背景などについて理解する。 事前学修 2.0hr：心理学の歴史について、関心をもっていることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、心理学の概要について自分の考えをまとめる。
3 回	授業テーマ：遺伝的気質特性 授業内容：遺伝的気質の特徴について理解する。また、遺伝的気質の特徴とこれまでの自分自身の行動やコミュニケーションの特徴などについて理解する。 事前学修 2.0hr：遺伝的気質について、関心をもっていることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自身の遺伝的特性をまとめる。
4 回	授業テーマ：心理的発達 授業内容：遺伝と環境との関係、新生児や子どもの能力・発達について理解する。 事前学修 2.0hr：遺伝と環境の関係について、関心をもっていることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、遺伝と環境との関係、自身の特性と発達との関係をまとめる。
5 回	授業テーマ：感覚 授業内容：心と関係の深い脳や感覚器官のはたらき、仕組みについて理解する。 事前学修 2.0hr：脳機能について、関心をもっていることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、心と脳の関係についてまとめる。
6 回	授業テーマ：感情 授業内容：感情が生じるメカニズムや社会的機能について理解する。 事前学修 2.0hr：感情について、関心をもっていることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自身の特性との関係についてまとめる。
7 回	授業テーマ：記憶 授業内容：記憶研究についての流れや、記憶のメカニズムについて理解する。 事前学修 2.0hr：記憶について、関心のあることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自身の特性との関係についてまとめる。
8 回	授業テーマ：心理的ストレス 授業内容：心理的ストレスについて、ストレス状態のメカニズムについて理解する。 事前学修 2.0hr：ストレスについて、関心のあることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自身の特性との関係についてまとめる。

9 回	授業テーマ：性格と遺伝的気質の違い 授業内容：性格とは何か、構造や役割について理解する。また、遺伝的気質との違いを、前半の講義で習得した理論や知識と照らし合わせて理解する。 事前学修 2.0hr：性格について、関心のあることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自身の性格と特性についてまとめる。
10 回	授業テーマ：社会的認知① 授業内容：コミュニケーションの入口としての印象形成の理論について理解する。 事前学修 2.0hr：印象形成の理論について、関心のあることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自身の特性との関係についてまとめる。
11 回	授業テーマ：社会的認知② 授業内容：コミュニケーションとは何かについて理解する。 事前学修 2.0hr：コミュニケーションについて、関心のあることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自身の特性との関係についてまとめる。
12 回	授業テーマ：社会的認知③ 授業内容：コミュニティ形成における、自己・他者理解について理解する。 事前学修 2.0hr：コミュニティ心理学について、関心のあることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自身の特性との関係についてまとめる。
13 回	授業テーマ：社会的認知④ 授業内容：パーソナリティ理論について理解する。 事前学修 2.0hr：パーソナリティ理論について、関心のあることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自身の特性との関係についてまとめる。
14 回	授業テーマ：様々な心理学 授業内容：各分野における心理学の特徴について理解する。 事前学修 2.0hr：関心のある心理学分野について調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、興味のある分野についてまとめる。
15 回	授業テーマ：復習とまとめ、試験・レポート 授業内容：全講義内容を振り返り、心理学の知識と理論をまとめる。また、今後、自分の生活にどのように活かしていくのかを考える。 事前学修 2.0hr：本講義の内容を振り返り、疑問点などを明確にする。 事後学修 3.0hr：本講義の内容を振り返り、最終レポートにまとめる。

心理学

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：後

林 哲也 (はやし てつや)

■ 授業の概要

人間の歴史は多様性を知る歴史でもある。交通、通信の発達などにより、人間はより多様な価値観や社会現象との遭遇を繰り返してきた。現代社会はインターネットという技術を得て、その多様性との遭遇はさらに高速化、日常化している。そうした背景の中で、私たち一人ひとりの心も動揺させられやすく、健康との関連がより深まる時代となっている。一方人間は古くから「心とは何か」への探求を行ってきた。近年は心理学という学問領域が成立し、多くの知見から、複雑化する社会における私たちの心のあり方への応用も盛んに議論されている。

本講義では、心理学の理論を紹介しつつ、現代社会の捉え方や私たちの健康へいかに応用させていくかについての理解を深め、実践していける力を養うことを目的とする。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎)

一般目標：心理学の基礎的な理論を参照しながら、心と現代社会との関係、健康との関係について、生活実感をともなった理解をする。

個別目標：1) 自らの心理に影響を与えている身体の機能や社会との関係について理解を深め、説明することができる。

2) 日常生活における、自らの心理的特性や行動傾向についての理解を深め、説明することができる。

3) 健康で充実した生活を過ごすための、心理的なセルフケア行動を実践することができる。

■ 履修条件

1) 初回の授業に必ず出席し、履修上の諸注意を順守できること(特に不要な授業途中の入退室、私語は慎むこと)。2) 授業ではアクティブラーニングの手法も取り入れていくため、自主的、積極的に学ぶ意欲があること。3) アクティブラーニングの実効性の観点から履修者が多数の場合は履修動機、履修意欲を記述するレポートをもとに履修者を選抜する可能性がある。

■ 評価基準・方法

1) 授業への取り組みと、授業内で提示する質問や理解度チェックへの応答、授業ごとの小課題の作成(60%) 2) 最終課題(レポート)(40%)をもとに総合的に評価する。

※原則として5分の4以上の出席を評価の前提条件とするが出席のみでの評価点は設けない。あくまで授業内での取り組み、提出された課題の内容を踏まえて評価をする。

■ フィードバック方法

毎回の小課題、授業中に行なった respon による意見共有などに対するフィードバックを、学習支援システム manaba を通じて、あるいは翌週以降の授業内でのコメントによって行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (学習支援システム manaba、respon を使用した意見共有、フィードバック、ディスカッションを中心に行う。受講人数、受講生の理解度も参考にしながらグループワーク、PBL (課題解決型学習)を用いることもある。)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (学習支援システム manaba、respon を使用した意見共有、フィードバック、ディスカッションを行う。スマホ、タブレットでも可。)

■ 教科書

授業内でレジュメを配布。

■ 参考書

無藤隆(他著)「新版 心理学」有斐閣 2018

下山晴彦(編)「よくわかる臨床心理学 [改訂新版]」ミネルヴァ書房 2009

宗像恒次(他著)「SAT法を学ぶ」金子書房 2007

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：ガイダンス・心理学とは一本講義の目的一 授業内容：履修にあたっての諸注意と講義の進め方についてのガイダンスを行う。また心理学の学術的な位置づけについて概説を行い、自身もつ心理学のイメージとの対比について考える。 事前学修 2.0hr：履修動機と意欲、心理学について自分自身が持っている関心についてまとめる。 事後学修 2.0hr：自身もつ心理学のイメージと学術的な心理学の位置づけについて、重なる点、異なる点についてまとめる。
2 回	授業テーマ：心理学の全体像ー心理学の歴史とさまざまな分野一 授業内容：心に対する探求は古代から哲学や宗教を中心に行われ、近年では実験、調査などの科学を中心とした心理学が発展している。その心理学の歴史と研究対象とするさまざまな分野の広さについて概説し、身近な問題との関連を考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：心理学の歴史的・社会的な位置づけと研究対象となるさまざまな分野などについてまとめる。
3 回	授業テーマ：感覚と知覚ー脳・神経の働きと環境の認識一 授業内容：心と不可分の関係にある脳や周囲の環境の安全や危険を認識する感覚器官のはたらき、仕組みについての概説を行い、身近な心理的問題を取り上げて、身体機能の視点も踏まえた多角的な解釈を試みる。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：心と脳の関係、環境を認識する感覚器官のはたらきについてまとめる。
4 回	授業テーマ：感情と社会ー喜怒哀楽の機能と制御一 授業内容：感情が生じるメカニズムや社会的な機能について概説を行い、身近な問題を取り上げて多角的に自己理解、他者理解を試みる。また自分の心のコントロール、他者との良好なコミュニケーションについても考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：感情の心理学的基礎理論と現代社会における感情の問題についてまとめる。
5 回	授業テーマ：心理的ストレスとは何か 授業内容：思い通りに進まない事柄や突発的な出来事などから生じるストレス状態のメカニズムについて概説し、ストレス社会と言われる現代社会の構造から受ける影響、自身の健康を維持するための対処法について考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：心理的ストレスの概念と、関連する社会問題についてまとめる。
6 回	授業テーマ：心理学と日常生活ー身近な問題への応用一 授業内容：第2回から第6回の内容を復習し、その理解をもとに日常生活で起こりがちな心理的問題を考える。教員から提示する事例、ケースに対してどのように思考し対処するか、セルフワークまたはグループワークを通じて学ぶ。 事前学修 2.0hr：ここまでの授業の内容を踏まえ、自身の日常生活に活用して新たな理解を得られる場面があるか考える。 事後学修 2.0hr：第6回の授業を踏まえて、自身の日常生活場面について、さらに多角的な理解を試み、まとめる。

7 回	<p>授業テーマ：社会的認知—印象形成の理論— 授業内容：コミュニケーションの入口ともいえるべき他者に対する印象形成のメカニズム、行動から他者の特性を推論する帰属のバイアスなどについて概説を行い、その理解を踏まえて自身が経験してきた人間関係を振り返る。また今後の他者理解について考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：印象形成、帰属バイアスについての理論を自身の経験と関連づけてまとめる。</p>
8 回	<p>授業テーマ：社会的影響①—他者・集団との関係— 授業内容：人が個人として選択しているように思える思考、行動も、他者や文化といった社会的影響を受けており、また何らかの影響を他者や文化に与えてもいる。社会心理学の観点を踏まえた心の理解について概説し、身近な問題と関連させて自身の心の経験を考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：心理学的理論を応用させながら、他者、集団、組織、規範など、個人に及ぼす社会的影響についてまとめる。</p>
9 回	<p>授業テーマ：社会的影響②—人間関係とコミュニケーション— 授業内容：人生の豊かさや楽しみをもたらす一方で、葛藤や嫌悪が生じてしまうこともある人間関係。親密さや攻撃性を生み出すメカニズム、良好なコミュニケーションの構成要素について概説し、自身の人間関係やコミュニケーション傾向について考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：心理学的理論を応用させながら身近な人間関係について考察し、現代社会の問題も踏まえてまとめる。</p>
10 回	<p>授業テーマ：ライフサイクルと心理的問題 授業内容：人間は生まれてから死ぬまで常に変化している。その中で生じる一定の時期に応じた発達段階ごとの心理的課題について、特に青年期、高齢期を取り上げて概説する。その理解を踏まえて自身の現在の心理的な発達課題、将来的に直面するであろう発達課題について考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：生涯発達の視点から、各ライフステージにおける心理的問題についてまとめる。</p>
11 回	<p>授業テーマ：心理学と社会生活—社会との関係への応用— 授業内容：第7回から第10回の内容を復習し、その理解をもとに社会との関連で自身が抱える心理的問題を考える。教員から提示する事例、ケースに対してどのように思考し対処するか、セルフワークまたはグループワークを通じて学ぶ。 事前学修 2.0hr：これまでの授業の内容を踏まえ、自身が感じる社会との関係の問題に適用して、新たな理解を得られる場面があるか考える。 事後学修 2.0hr：第11回の授業を踏まえて、自身がもつ社会と関連した心理的課題について、さらに多角的な理解を試み、まとめる。</p>
12 回	<p>授業テーマ：自己と社会—自分とは何か— 授業内容：「自分のことなのによく分からない」といった現象のように、社会心理学の主要なテーマとして扱われる「自己」に関する理論について概説を行い、その理解を踏まえて自身の経験を重ね、自己理解の基礎づくりを試みる。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：自己に関する理論について整理し、自身を対象として「自己」についての新たな気づきについてまとめる。</p>
13 回	<p>授業テーマ：パーソナリティ理論 授業内容：同じ人間であっても一人ひとりに無意識に行いがちな思考や行動の傾向がある。人格、性格を探究するパーソナリティ理論の概説と質問紙を使ったセルフワークを通して自己理解を深め、健康な生活に資する自分らしいセルフケアについて考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：パーソナリティ理論と自らのパーソナリティーについての気づきをまとめる。</p>
14 回	<p>授業テーマ：気質と本質的欲求 授業内容：生まれもった遺伝的、生得的な要因である気質に基づく個性と、行動の基となる根源的な欲求についての理論を概説し、質問紙を使ったセルフワークを通して自己理解を深め、健康な生活に資する自分らしいセルフケアについて考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：気質、本質的欲求についての理論と気質コーチングを通じた自身の特性の気づきをまとめる。</p>
15 回	<p>授業テーマ：心理学と学生生活—復習とまとめ— 授業内容：学生生活における心理的課題の理論について概説を行うとともに、これまでの授業の復習を行う。シラバスの個別目標について、各自の到達度を自己評価する。 事前学修 2.0hr：第14回までの内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業の内容と自らの生活を重ねて総合的に振り返る。</p>

からだと健康

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前

宮澤 慶 (みやざわ けい)

■ 授業の概要

現代社会に生きる人間にとって健康は大切なものであり、かけがえのない財産である。自己実現のためにも、健康の保持・増進は重要である。本講義は、学生がからだの仕組みを理解し、健康に関する基本的知識を有する事を目的として、講義を行う。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●)

一般目標：学生が健康的な生活を送るための基本的な知識を持ち、自己の健康を管理でき、健康に関して科学的又は医学的な考え方ができるようになることを到達目標とする。

個別目標：(1) 各臓器の機能、役割について説明できる。

(2) 健康問題にかかわる要因について説明できる。

(3) 健康維持増進および病気の予防について説明でき、実践することができる。

■ 履修条件

健康や栄養について興味をもつもの。

授業中の私語、入退室及び携帯電話の使用等の授業妨害行為、並びに不適切な行為を慎める者。問題のある行為が認められた受講停止を求める。原則遅刻・早退を認めない。

■ 評価基準・方法

中間テスト(2回)の成績、出席ペーパー(12回)、学修態度に基づき総合的に評価する (おおよその目安：期末 60%、中間テスト 15%、出席ペーパー 20%、出席 5%程度)。5分の4以上の出席を評価の前提条件とする。(欠席事由等については『履修の手引』を参照すること。

■ フィードバック方法

出席ペーパーの回答が十分でない部分は講義時もしくは manaba 上で追加説明を行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (課題(出席ペーパー)等を用いて実施する。)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (パワーポイントを使用して講義を行なう。)

■ 教科書

適宜、資料を配布する。

■ 参考書

今村裕行ら他 8 名著 「健康増進科学概論 -運動・栄養・休養-」(東京教学社) 2015

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：人体・医学・倫理・健康科学 授業内容：講義に臨む態度について。 医学の進歩と払われた犠牲について。 事前学修 2.0hr：現代生活の特徴と QOL(生活の質)について考察しておく。未来にむけた医療のあり方について考える。 事後学修 2.0hr：医学の進歩とその意義について理解する。受講ルールをよく理解して遵守できるようにする。
2 回	授業テーマ：人体と健康(肺) 授業内容：呼吸について。 呼吸運動について。 喫煙と関連疾患について。 COPD について。 肺がんについて。 禁煙方法について。 事前学修 2.0hr：COPD と肺の健康について調べる。 事後学修 2.0hr：エネルギーを引き出す呼吸の仕組みやその調節機構および肺の健康について復習する。
3 回	授業テーマ：人体と健康(心臓) 授業内容：心臓について。 血液循環について。 血液の成分と働きについて。 循環調節について。 血圧について。 事前学修 2.0hr：心臓の役割や血液の循環について復習する。 事後学修 2.0hr：全身に栄養や酸素をめぐらす心臓のポンプ作用や血管の構造について復習する。
4 回	授業テーマ：人体と健康(脳) 栄養と健康 授業内容：神経について。 脳の構造について。 自律神経について。 脳卒中について。 神経系の病気について。 アルツハイマー症について。 事前学修 2.0hr：脳卒中・脳出血・脳梗塞について調べる。認知症について調べる。 事後学修 2.0hr：情報をコントロールする脳・神経系の働きや記憶・学習の仕組みについて復習する。
5 回	授業テーマ：中間テスト 1 1 回から 4 回の講義内容確認 授業内容：第 1 回から第 4 回までの授業内容をテストする。 事前学修 3.0hr：中間テスト 1 を行なうので第 1 回から第 4 回までの授業内容を復習する。 事後学修 3.0hr：テストの内容を復習する。
6 回	授業テーマ：応急手当と健康 授業内容：心肺蘇生法について。 AED の使用方法について。 RICE 処置などさまざまな救急法について。 歯の脱臼時の対応について。 バイタルサインについて。 事前学修 2.0hr：救急蘇生法と AED について調べる。 事後学修 2.0hr：心肺蘇生の方法や AED の使い方、および簡単な応急手当法について復習する。

7 回	授業テーマ：人体と健康(消化器) 授業内容：消化器官について。 唾液について。 胃の構造と働きについて。 小腸について。 大腸について。 急性虫垂炎について。 大腸がんについて。 事前学修 2.0hr：食生活の飽食化・欧米化・簡便化について調べる。 事後学修 2.0hr：胃・腸の役割について復習する。
8 回	授業テーマ：人体と健康(肝臓) 授業内容：栄養の消化について。 肝臓の構造と働きについて。 胆嚢の役割について。 膵臓の構造と働きについて。 肝炎とその種類について。 飲酒について。 事前学修 2.0hr：日本人の肝疾患のリスクファクターについて調べる。 事後学修 2.0hr：肝臓の役割、肝疾患について復習する。
9 回	授業テーマ：食事と健康 授業内容：五大栄養素について。 ビタミンについて。 ビタミン欠乏症について。 食塩摂取と高血圧や脳血管疾患との関係について。 BMI について。 食事バランスガイドについて。 事前学修 2.0hr：五大栄養素について調べる。ビタミン欠乏症について調べる。食育について調べる。 事後学修 2.0hr：生命を維持するための栄養素がどのようにエネルギーや生体成分に変換されるかを復習する。
10 回	授業テーマ：中間テスト 2 6 回から 9 回の講義内容 授業内容：第 6 回から第 9 回までの授業内容をテストする。 事前学修 3.0hr：中間テスト 2 を行なうので第 6 回から第 9 回までの授業内容を復習する。 事後学修 3.0hr：テスト内容を復習する。
11 回	授業テーマ：人体と健康(腎臓) 授業内容：腎臓の構造と働きについて。 泌尿器系にみられる疾患の種類について。 人工透析について。 糖尿病について。 事前学修 2.0hr：糖尿病の自覚症状と合併症について調べる。人工透析について調べる。 事後学修 2.0hr：腎臓の構造と尿を作る仕組みについて復習する。
12 回	授業テーマ：生活習慣病と健康 授業内容：日本人の死因について。 メタボリックシンドロームについて。 特定健診について。 骨粗しょう症について。 痛風について。 事前学修 2.0hr：日本人の死亡原因について調べる。ヘルスプロモーションについて調べる。 事後学修 2.0hr：生活習慣病の種類や発症および予防対策について復習する。
13 回	授業テーマ：感染症予防と健康 授業内容：感染について。 感染源と感染経路について。 ワクチンについて。 性感染症について。 動物や節足生物からの感染症について。 手洗いについて。 事前学修 2.0hr：新興感染症と再興感染症について調べる。STD について調べる。 事後学修 2.0hr：感染症対策について復習する。
14 回	授業テーマ：高齢化社会と健康 授業内容：健康について。 生活習慣病予防について。 ヘルスプロモーションについて。 国際生活機能分類(ICF)について。 事前学修 2.0hr：日本の人口の問題点について調べる。 事後学修 2.0hr：ノーマライゼーションとバリアフリーについて復習する。
15 回	授業テーマ：テスト対策 歯科疾患と健康 まとめ 授業内容：う蝕について。 歯周病について。 顎顔面領域の外傷について。 マウスガードについて。 期末テスト対策を行なうので第 1 回から第 14 回までの授業内容を復習する。 事前学修 3.0hr：第 1 回から第 14 回までの講義を復習する。 事後学修 3.0hr：全ての講義内容を復習し、期末テストに臨む。からだの仕組みを理解し、自分の健康管理ができるようにする。

日本人の生活意識

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前/後

中根 弘之 (なかね ひろゆき)

■ 授業の概要

我々人間は、ほぼ意図することなく一定の世界観・価値観に従って日々の生活を送っている。この世界観・価値観は日常生活において顧みられることなく、広義の「世間知」として習得されてきたものである。本講義はカントの人間学的な観点から、さまざまな現代日本の生活にまつわる「世間知」についてより深く反省を加え、成熟した人間になるために必要なことは何かを考える。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎)

一般目標： 現代日本を取り巻く社会問題を学び、自身の身の回りで起きていることを複数の視点で合理的に思考し、断片的ではなく全体の構図から自分の言葉で説明することができる。

- 個別目標： 1) 現代日本が直面している誕生と死にまつわる現状とその問題点について説明することができる
2) コミュニケーション能力の定義を理解し、日本のコミュニケーション空間の変質と現状について説明することができる
3) 日本の宗教意識の特徴点を列挙し、説明することができる
4) 価値の諸相について理解し、使用価値と交換価値の違いについて日本の現状から説明することができる

■ 履修条件

新聞やニュースなどに関心を持ち、主体的に世の中の動きや自分自身のあり方について考える意志のある学生であること。

■ 評価基準・方法

中間テスト点30点

まとめテスト点70点

このほか、自主学習のため manaba を用いて、課題を3回出すので、2回以上の提出を求める。

■ フィードバック方法

学期進行中に実施する中間テストの点数は、要望に従い学生に公開する。

同様に課題についても全体コメントを講義内で講評し、要望があれば学生個々に manaba の個人指導コレクションを用いて指導する。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

なし

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

教科書は指定しない。

資料は教室で配布する

■ 参考書

NHK放送文化研究所『現代日本人の意識構造』[第九版]、2020他、必要に応じて提示する。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：導入 人間学と日本人の意識 授業内容：単位取得の条件の確認、およびこの講義で扱う日本を取り巻く問題圏とカントの「人間学」の視点を紹介し検討する。 事前学修 2.0hr：自分の人生のあり方を死ぬ瞬間まで考えてみる 事後学修 2.0hr：身の回りの「世間知」について考えて列挙する
2 回	授業テーマ：誕生と死 誕生にまつわる現状と意識 授業内容：少子化の現状を様々なデータから紹介し、それにまつわる意識調査の情報を共有する。 事前学修 2.0hr：人間の誕生に関してどのようなことが問題になるのか考える 事後学修 2.0hr：誕生にまつわる現状と課題を整理し、望ましい誕生のあり方をまとめる
3 回	授業テーマ：誕生と死 死にまつわる現状 授業内容：高齢、長寿化の現状について様々なデータを紹介し、それにまつわる意識調査の情報を共有する。 事前学修 2.0hr：自身の経験したあるいは想像する死にまつわることからについて列挙する 事後学修 2.0hr：死にまつわる現状と課題を整理し、望ましい死のありかたをまとめる
4 回	授業テーマ：誕生と死 死に向かうということ 授業内容：尊厳死や安楽死といった新しい形の死についての紹介とそれにまつわる意識調査のデータを共有し、人間学的な視点から少子高齢化問題をまとめる。 事前学修 2.0hr：死に直面した時の状況について考えてみる 事後学修 2.0hr：死に直面した時の自身の心の動きと命の重みを重ね合わせ、人間の生について思うところをまとめてみる
5 回	授業テーマ：孤独と仲間 孤独と仲間をめぐる現状 授業内容：コミュニケーションの現状とそれに伴う意識調査の内容を紹介し、情報を共有する。 事前学修 2.0hr：現代のコミュニケーション状況の特徴について自分の考えをまとめておく 事後学修 2.0hr：コミュニケーション不調の場合にみられる諸特徴について列挙しておく
6 回	授業テーマ：孤独と仲間 コミュニケーション能力の定義とコミュニケーション空間の変質について 授業内容：コミュニケーション能力についていくつか具体的な定義を紹介し、スマートフォンを用いた SNS の各種サービスの使用現状を概括する。 事前学修 2.0hr：コミュニケーション能力と呼ばれているものについて自分の考えをまとめておく 事後学修 2.0hr：コミュニケーション能力の様々な定義についてまとめておく
7 回	授業テーマ：孤独と仲間 孤独病と承認要求について 授業内容：片岡珠美『孤独病』を軸に孤独感が強すぎてコミュニケーション不調について検討する。 事前学修 2.0hr：孤独感が強すぎることによって生じるコミュニケーション障害について列挙しておく 事後学修 2.0hr：孤独感と承認欲求の関係について自分なりにまとめておく
8 回	授業テーマ：孤独と仲間 仲間と呼べるものは誰か 授業内容：鴻上尚志『世間と空気』を軸に日本的集団意識の問題点や特徴を取り上げ、検討する。 事前学修 2.0hr：仲間集団についてその必要条件について自分なりにまとめておく 事後学修 2.0hr：「世間」集団を形成する時に守られるべきルールを自分なりにまとめておく
9 回	授業テーマ：中間まとめとテスト 授業内容：これまで講義で扱った「誕生と死」、「孤独と仲間」の内容をまとめ、習熟度の確認のために中間テストを実施する。 事前学修 2.0hr：これまで学習した内容のポイントを自分なりにまとめ、テストに備える。 事後学修 2.0hr：中間テストの出来を自分で思い出し、理解度の足りなかった部分を確認する

10 回	授業テーマ：神と仏 宗教をめぐる現状について 授業内容：日本の宗教意識の現状について、各種の意識調査のデータを紹介し、共有する。 事前学修 2.0hr：日本の宗教の現状について自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：諸宗教のデータをまとめ、日本の宗教の動向をまとめておく
11 回	授業テーマ：神と仏 神道と仏教 授業内容：日本の宗教において中心を占める神道と仏教について簡単に歴史をまとめ、自身の宗教理解を反省する。 事前学修 2.0hr：自分の身の回りの宗教的儀礼や行為について考え、ノートに列挙する 事後学修 2.0hr：自身が行ってきた宗教儀礼、宗教的行為を分類し整理する
12 回	授業テーマ：神と仏 日本の宗教意識について 授業内容：日本の宗教意識を特徴づける「神仏習合」、「現世利益」、「祖先崇拜」の3つを軸に日本の宗教意識のあり方について検討する。 事前学修 2.0hr：超越的な存在について自分の考えをノートにまとめておく 事後学修 2.0hr：現世利益、祖先崇拜、神仏習合などの大事な概念についてまとめておく
13 回	授業テーマ：お金と価値 交換価値と使用価値 授業内容：使用価値と交換価値の違いを具体的に検討した後、日本の平均収入の変化や経済的な豊かさについての意識調査を紹介し、情報共有する。 事前学修 2.0hr：お金で買えるものと買ってはいけないものの違いについて考えておく 事後学修 2.0hr：講義内容をまとめ、お金の歴史について調べておく
14 回	授業テーマ：お金と価値 資本主義の精神と疎外-S. ゲゼルの思想- 授業内容：ヴェーバーの『プロテスタンティズムの倫理と資本主義』の末尾に見られる未来図と、ゲゼルの価値を減じる貨幣システムについて学び、人間学的にまとめる。 事前学修 2.0hr：ヴェーバーの主張と地域通貨について調べておく 事後学修 2.0hr：理想的な交換価値と使用価値のあり方について考えておく
15 回	授業テーマ：まとめのテストと振り返り 授業内容：「人間的な生き方」を軸にこれまで扱ってきた諸問題をまとめ、まとめのテストと振り返りを行う。 事前学修 2.0hr：テストに備え、14回までの講義内容をまとめておく 事後学修 2.0hr：これまでの講義内容を踏まえ、人間学的に自分自身の生活の「世間知」について考える

日本人の生活意識

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：後 | 備考：留学生クラス

堀内 貴子 (ほりうち たかこ)

■ 授業の概要

日本人の生活意識(留学生クラス)では、日常の会話でなげなく使われる言葉について書かれた文章を読む。そして、その内容を、自分の経験や自国の文化と比較しながら、日本人の感じ方や考え方について理解する。

また、理解したことを言語化し、クラスメートと話し合ったり、文章にまとめたりする。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎)

一般目標：日本人の言動に内在する価値観を理解し、それに対し、自らの考えを述べることができる。

個別目標：・日本語の文章を読んで、内容を正確に読み取ることができる。

- ・日常の会話でなげなく使われる言葉に内在する日本人の考えや価値観を捉えることができる。
- ・日本人の考えや価値観に対する自分の考えを論理的に説明したり、文章にまとめたりすることができる。
- ・他者と意見交換をしながら、さらに自分の考えを深めることができる。

■ 履修条件

留学生対象のクラスである。

事前事後課題を必ず行い、授業活動に積極的に参加すること。

■ 評価基準・方法

試験 40 %・授業内評価 (小テスト、授業課題、振り返り)50 %、態度(授業への参加姿勢及び発言等) 10 %。

■ フィードバック方法

授業内または manaba を通して行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (ディスカッション、グループワーク)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

森田六郎『改訂新版 日本人の心が分かる日本語』アスク出版 ISBN：9784866393773

■ 参考書

授業内で随時紹介する。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：オリエンテーションと事前テスト 授業内容：オリエンテーション、事前テスト 事前学修 2.0hr：テキストを読む 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
2 回	授業テーマ：内と外を分ける：内と外、世間 授業内容：「内と外」「世間」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
3 回	授業テーマ：内と外を分ける：しつけ、けじめ 授業内容：「しつけ」「けじめ」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
4 回	授業テーマ：内と外を分ける：素直、甘える 授業内容：「素直」「甘える」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
5 回	授業テーマ：他人の目を意識する：人目、恥、照れる 授業内容：「人目」「恥」「照れる」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
6 回	授業テーマ：周囲に配慮する：遠慮、気をつかう 授業内容：「遠慮」「気をつかう」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
7 回	授業テーマ：周囲に配慮する：人並み、空気を読む 授業内容：「人並み」「空気を読む」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
8 回	授業テーマ：人間関係を大切にする：つきあい、愛想、礼儀 授業内容：「つきあい」「愛想」「礼儀」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
9 回	授業テーマ：人間関係を大切にする：本音と建て前、おかげさま 授業内容：「本音と建て前」「おかげさま」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
10 回	授業テーマ：表現を押さえる：控えめ、ほのめかす、角を立てない 授業内容：「控えめ」「ほのめかす」「角を立てない」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。

11 回	<p>授業テーマ：精神主義を好む：がんばる、根性、無理 授業内容：「がんばる」「根性」「無理」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。</p>
12 回	<p>授業テーマ：精神主義を好む：修行、武士道 授業内容：「修行」「武士道」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。</p>
13 回	<p>授業テーマ：日本人の価値観：品、やまとなでしこ、派手・地味 授業内容：「品」「やまとなでしこ」「派手・地味」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。</p>
14 回	<p>授業テーマ：日本人の価値観：恩・義理、いさぎよい、もったいない 授業内容：「恩・義理」「いさぎよい」「もったいない」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。</p>
15 回	<p>授業テーマ：総まとめ 授業内容：今まで学んできたことについて、総復習を行う。 事前学修 2.0hr：今まで学んだことを確認する。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。</p>

性格とは何か

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前/後

樋口 倫子 (ひぐち のりこ)

■ 授業の概要

性格(パーソナリティ)は、「人となり」や「その人らしさ」を指します。言動に現れるものから、内面に隠されたものまで、その人の人間性のすべてが、パーソナリティに含まれます。多くの人々は、自分自身のパーソナリティに関して悩んだり、自分と相手のパーソナリティの違いによって人間関係障害を体験したりします。本講義では、性格を固定的な特性として理解するのではなく、状況・関係・行動の中で立ち上がるプロセスとして捉えることを重視します。さらに、性格理論、自己効力感、気質、ニューロダイバーシティ、ストレス行動特性などの知見をもとに、対話とリフレクションを通じて、自身の考えを更新し続ける姿勢を養うことを目的とする。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎)

一般目標：パーソナリティに関する理論的理解を基盤として、自己理解・他者理解を深め、状況に応じた判断や行動選択、補完し合える人間関係を構築する力を涵養する。

個別目標：1)性格(パーソナリティ)に関する主要な概念や理論を、具体的な事例や文脈に即して解釈し、その有効性や限界を踏まえて説明できる。
2)ニューロダイバーシティ(脳多様性)の概念を理解し、特性を固定的なラベルとしてではなく、状況や環境との相互作用として捉え、他者との関係性を調整する視点を持つことができる。
3)自らの性格(パーソナリティ)について、一つの答えとしてではなく仮説として捉え、経験や対話を通して見直しながら、自己調整や意思決定に活かす視点を持つことができる。
4)自他の性格(パーソナリティ)の違いを把握し、一致や理解を急がず、違いが存在したまま対話を続ける姿勢を持ち、状況に応じた関わり方を選択できる。

■ 履修条件

授業は、ピア・インストラクションやグループによるダイアログなどのクリエイティブ・ラーニングの手法で行われる。

そのため、仲間と共に学習し合う雰囲気や心掛けてほしい。不得意な場合は、必ず相談のこと(一緒に考えます)。

履修者多数の場合、履修動機を基に履修者を決定する(最大受講人数 70 名程度)ため、第 1 回の講義に必ず出席すること。

また、本講義では、多様な背景や特性をもつ履修者が共に学ぶことを前提とする。必要に応じて、学修方法や参加の在り方について合理的配慮を行うため、配慮を希望する場合は、事前に担当教員または障がい学生支援室に相談すること。

■ 評価基準・方法

1)講義内での質問や応答(20%)と 学習の成果物①:講義ごとの小課題(60%)、学習の成果物②:最終課題(レポート)(20%)によって総合的に評価します。

■ フィードバック方法

講義終了時の質疑応答、次回講義冒頭での課題についての全体コメント、manaba 上での個別コメントで行います。

個別指導は、ワークブックへのコメントを以って行います。

■ アクティブ・ラーニングの実施(実施内容)

あり(講義形式に加えて、Think - Pair - Share、Think - Group - Share、ダイアログ、リフレクティング・トーク等のアクティブ・ラーニング手法を用いて実施する。理論の理解にとどまらず、自らの考えの変化や揺らぎを言語化する過程を重視する。)

■ 授業での PC の利用(利用内容)

あり(レスポンの質問への回答 デジタル資料閲覧 データ共有)

■ 教科書

①性格とは何かワークブック(¥600)

購入方法については、講義内や manaba で案内いたします。

②配布資料

■ 参考書

岡田康伸・他：パーソナリティの心理学 有斐閣

■ 授業テーマ・授業内容と授業外(事前・事後)の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：ガイダンス パーソナリティ心理学入門 授業内容：1. このコースの学習の進め方をイメージする。 2. この講義では何を学ぶのかを理解する。 3. 自分の性格や周りの人の性格の悩みなど、身近な問題を考える。 事前学修 2.0hr：履修動機と自分自身の性格について理解していることをまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ視点から、自分自身の性格に関する気づきをまとめる。
2 回	授業テーマ：パーソナリティの把握(TAT) 授業内容：TAT という投影法を用いた性格検査を実施して、自己分析を行う。 その結果を、Think-Pair-Share によって共有し、気づきを深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック「TAT を使った自己イメージの理解」を読み、セルフチェックを実施し、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：自己イメージに関する気づきをまとめ、考察する。
3 回	授業テーマ：パーソナリティと自己効力感 授業内容：行動と自己効力感について理解する。 自らの自己効力感について把握する。 自己効力感を高めること、成長型マインドセットについて話し合う。 安易に自己効力感を高めることのデメリットについて、話し合う。 事前学修 2.0hr：ワークブック「3. 自己効力感」を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：成長型マインドセットがパーソナリティ形成に与える影響についてまとめる。
4 回	授業テーマ：パーソナリティの諸理論(類型論と特性論) 授業内容：パーソナリティの諸理論を理解する。 類型論タイプと特性論タイプのパーソナリティチェックを実施する。 Think-Pair - Share で気づきを深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック 4 章「遺伝的気質 あるがままの自分を活かす」を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：類型論と特性論、それぞれのパーソナリティのとらえ方についてまとめる。

5 回	<p>授業テーマ：類型論① 遺伝的気質で知るあるがままの自分 授業内容：類型論の一つである、遺伝的気質の自己チェックを行う。 人格気質とストレス気質の特徴やセルフケアについて理解する。 Think-Pair-Share で、人格気質の違いについて理解を深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック 4 章「遺伝的気質 あるがままの自分を活かす」を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：気質の特徴から自らの強みと弱点を理解し、自らの能力を生かすセルフケアをまとめる。</p>
6 回	<p>授業テーマ：類型論② 気質コーチング(あるがままの自分と相手を生かすためのマネジメント) 授業内容：6 つの気質の組み合わせのパターン毎の重複気質について理解する。 気質コーチングチャートに従って、ペアワークで重複気質の特徴とセルフケアを説明し合う。 Think-Pair-Share で、気質の違いについて理解を深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック 4 章「遺伝的気質 あるがままの自分を活かす」を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：気質コーチングチャートを活用し、協力者を得てコーチングを実施する。</p>
7 回	<p>授業テーマ：ニューロダイバーシティ(脳多様性を尊重する) 授業内容：ADHD 特性と自閉スペクトラム特性について理解する。 2つの特性のチェックシートを実施し、自らの特性を振り返る。 講義や Think-Pair-Share によって、気づきを深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック 5 章「ニューロダイバーシティ(脳多様性)を活かしあう」を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：それぞれのニューロダイバーシティの活かされる環境とかわり方を考える。</p>
8 回	<p>授業テーマ：前半の内容についてのまとめ 授業内容：コースの前半で実施した内容(自己効力感・気質・ストレス行動特性)について、総合的に振り返る。 ポートフォリオを参照しながら、自らがこのコース前半で学んだ重要なことを3つ選択する。 「それはなぜ重要と考えたのか」「今後どのように活用するのか」について、Think-group-share によって、気づきを深める。 事前学修 2.0hr：第 1～7 回までの講義内容を復習し、ポートフォリオのレポートを振り返る。 事後学修 2.0hr：ポートフォリオを参照しながら、自らがこのコース前半で学んだ重要なことを3つ選択する。それはなぜ重要と考えたのか、今後どのように活用するのかについて、レポートをまとめる。</p>
9 回	<p>授業テーマ：パーソナリティとストレス①(ストレス行動特性) 授業内容：ストレスを生み出しやすい特性と、ストレスを活用できる特性について理解する。 ストレス行動特性を実施し、自らの特性を理解する。 講義や Think-Pair-Share によって、気づきを深める。 事前学修 1.0hr：ワークブック 6 章「ストレス行動特性からレジリエンス型特性へ」をよく読み、疑問点を明確にする。 事後学修 3.0hr：自分自身のストレスパーソナリティの特徴をまとめ、考察する。理解が不十分であった内容を、再度復習する。</p>
10 回	<p>授業テーマ：パーソナリティとストレス② (メンタルヘルスコーチング) 授業内容：メンタルヘルスコーチングをガイドラインを参考に、相手のストレス行動特性について説明する。 相手に対し、どのようなストレス反応が生じやすく、それはどのようなストレス行動特性が関連しているのかについて説明する。 事前学修 2.0hr：ワークブック 8 章「メンタルヘルスティーチング&コーチング」をよく読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：メンタルヘルスコーチングを協力者 2 名に実施し、その結果を考察する。</p>
11 回	<p>授業テーマ：ストレス反応とストレスコーピング 授業内容：ストレス反応の種類、よいストレスと悪いストレス、ストレスコーピングについて理解する。 自分自身のストレスコーピングは、問題解決型か否か、情動コントロール型か否かについて振り返る。 ストレスコーピングの気づきを、Think-Pair-Share で深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック 7 章「ストレス反応とストレスコーピング」を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：実行可能な積極的対処型のストレスコーピングを具体的に考えて、レポートにまとめる。</p>
12 回	<p>授業テーマ：タイムマネジメントによるストレスマネジメント 授業内容：なりたい自分、ありたい自分について考えてみる。 有限な時間を、何を大事に生きるかに見直しを持つ。 ストレス関数によるストレスマネジメント理論を理解する。 具体的なストレスマネジメントを考え、Think-Pair-Share で気づきを深める。 事前学修 1.5hr：ワークブック 9 章「タイムマネジメントによるストレスマネジメント」を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.5hr：レジリエンスを高める対処法を復習し、実践する。</p>
13 回	<p>授業テーマ：Well-being のためのストレスマネジメント 授業内容：気分が落ち込んだ時やストレスを抱えた時のセルフマネジメントの理論を理解する。 4 種類のストレスマネジメントシートを、セルフワークで実施する。 セルフワークでの気づきを、Think-Pair-Share によって深める。 事前学修 1.5hr：ワークブック 10 章「Well-being のためのストレスマネジメント」を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.5hr：講義内で実施したワークを再度実施し、どのような気づきを得たのかをまとめる。</p>
14 回	<p>授業テーマ：Healthy Personality を育む 授業内容：どのような要素が Healthy Personality につながるかを理解する。 自分自身のサヴァイバル型のパーソナリティ特性を振り返る。 なりたい自分・ありたい自分に必要な共生型パーソナリティ特性を考える。 気づきを Think-Group-Share によって深める。 事前学修 1.5hr：ワークブック 11 章「Healthy Personality を育む」を読み、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.5hr：なりたい自分・ありたい自分に必要な共生型パーソナリティ特性に関する気づきをまとめる。</p>
15 回	<p>授業テーマ：コース全体のまとめ 授業内容：コース全体の内容を振り返る。 ポートフォリオを参照しながら、自らがこのコースで学んだ重要なことを3つ選択する。それはなぜ重要と考えたのか、今後どのように活用するのかについて、Think-group-share によって、気づきを深める。 事前学修 2.0hr：ポートフォリオに目を通し、自らがこのコースで学んだ重要なことを3つ選択し、まとめてくる。 事後学修 3.0hr：前向きなライフキャリアにつながるパーソナリティの成長についての最終課題(レポート)を仕上げる。</p>

生命と遺伝子

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前/後

桑山 秀一 (くわやま ひでかず)

■ 授業の概要

すべての生物には遺伝子が含まれています。遺伝子の構造は同じであることから、遺伝子の機能はすべての生物の存続にとって必須であることがわかります。本講義の前半では、まず生命の基本単位である細胞の構造や機能を学びます。さらに遺伝子の構造と機能について理解し、「遺伝子と生命」について学修します。中盤では、生命の誕生や進化の歴史を俯瞰しながら、単細胞からヒトのような高度な多細胞体の特徴に至るまでを順を追って学修します。終盤においては、「遺伝子と病気」や「遺伝子と地球環境」をテーマに遺伝子と社会の接点について学修します。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●)

一般目標：どのような学問においてもそれを行う主体が人間であるかぎり、生物に関する理解は必須です。本講義では、生命の営みに必須である遺伝子の構造や機能、その重要性について理解します。遺伝子を理解することにより、「生命とは何か？」という基本的かつ根源的な問いに対して自分なりの考察ができるようになることを一般的な目標とします。

個別目標：授業を理解することにより、まず「生命とは何か？」という問いに興味を持つことを目標とします。本授業を履修することにより、「遺伝子と自分」との接点について考察し、今後自らの専攻する学問分野における諸問題を生物学的視点で考察できるようになることを個別目標とします。

個別目標：授業を理解することにより、まず「生命とは何か？」という問いに興味を持つことを目標とします。本授業を履修することにより、「遺伝子と自分」との接点について考察し、今後自らの専攻する学問分野における諸問題を生物学的視点で考察できるようになることを個別目標とします。

■ 履修条件

生物や生命現象に興味があることを履修条件とする。

■ 評価基準・方法

成績は、定期試験(70%)とその他(出席、事後学修(レポート、授業態度)(30%)の結果に基づき総合的に判断する。

単位取得の最低条件は、講義の5分の4以上(15回の講義中12回)の出席(講義の出席と学習支援システム『manaba』によるレポートの提出により完結)と定期試験(『manaba』上で行う)の参加とする。

■ フィードバック方法

講師への質問や要望、欠席連絡等は、講師への電子メールや学習支援システム『manaba』の個別指導コレクションを通じて行うことができる。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (授業中における講師から聴講生への質問や学生間における討論)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

なし

■ 参考書

Biology: A Global Approach, Global Edition, Molecular Biology of the Cell 第7版、ゲノム(Genomes)第4版等

■ 授業テーマ・授業内容と授業外(事前・事後)の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：イダンス、および「生命」とは何か？ という問いに対する最初の考察 授業内容：ガイダンス(本講義の目的と概要) 本講義の目的と概要についての説明。 「生命とはなにか？」について一緒に考察する。 事前学修 2.0hr：自分が知っている生命現象をまとめておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
2 回	授業テーマ：細胞の構造 授業内容：細胞の構造について学修する。 事前学修 2.0hr：細胞とは何かについて、自分の知識を整理しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
3 回	授業テーマ：細胞の機能 授業内容：細胞の機能について学修する。 事前学修 2.0hr：細胞内では一体何が起こっているのかを自分なりに考察しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
4 回	授業テーマ：遺伝子とは何か？ 授業内容：遺伝子とは何か？ について一緒に考察する。 事前学修 2.0hr：現在の遺伝子に関する知識を整理しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
5 回	授業テーマ：遺伝子 DNA の構造 授業内容：遺伝子 DNA の構造について学修する。 事前学修 2.0hr：自身の DNA に関する知識を整理しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
6 回	授業テーマ：遺伝子 DNA の機能 授業内容：遺伝子 DNA の機能について学修する。 事前学修 2.0hr：DNA の働きに関する知識を整理しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
7 回	授業テーマ：タンパク質の構造 授業内容：タンパク質の構造について学修する。 事前学修 2.0hr：タンパク質の構造に関する知識について整理しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
8 回	授業テーマ：タンパク質の機能 授業内容：タンパク質の機能について学修する。 事前学修 2.0hr：タンパク質の機能に関する知識を整理しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解

9 回	授業テーマ：細胞が環境を感じるしくみ 授業内容：細胞が環境を感じるしくみについて学修する。 事前学修 2.0hr：細胞が環境を感じるしくみについてまとめておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
10 回	授業テーマ：細胞が動くしくみ 授業内容：細胞が動くしくみについて学修する。 事前学修 2.0hr：細胞が運動するためには何が必要かを考察しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
11 回	授業テーマ：がん細胞 授業内容：がん細胞について学修する。 事前学修 2.0hr：がんとは何かを生物学的に考察しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
12 回	授業テーマ：幹細胞とは何か？ 授業内容：幹細胞や iPS 細胞とは何か？ とそれらの医学的、社会的意義について学修する。 また、これらの事を理解するために細胞分化についても学修する。 事前学修 2.0hr：幹細胞や iPS 細胞について事前に調べておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
13 回	授業テーマ：多細胞体生物の特徴と構造 授業内容：多細胞体生物の特徴と構造について学修する。 また、単細胞から多細胞への生物進化に必要な細胞機能とその意義を学修する。 事前学修 2.0hr：単細胞と多細胞の違いをまとめておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
14 回	授業テーマ：遺伝子と地球環境 授業内容：遺伝子と地球環境との関わりについて討論する。 事前学修 2.0hr：遺伝子と地球環境についてまとめておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
15 回	授業テーマ：「生命と遺伝子」についての討論 授業内容：各人の専門分野と「生命と遺伝子」との関連についての討論 事前学修 2.0hr：自身の興味や専攻分野と生命あるいは遺伝子との関わりを考察しておく。 事後学修 2.0hr：講義前と講義後で自身の遺伝子に対する考え方の変化をまとめる。

スポーツ科学講義 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前

杉浦 雄策 (すぎうら ゆうさく)

■ 授業の概要

＜アスリートの科学＞

世界で活躍するアスリートの心・技・体に焦点を当てる。実在するアスリートやその実話をもとに「競技スポーツ」の知られざる全貌に迫る。いまや、トップアスリートにとってスポーツ科学の導入は、必要不可欠である。試合の結果のみならず、そこに辿りつくまでのプロセスも実に興味深い。これを知られば、スポーツを「みる」ときの楽しさが倍増するだろう。授業では、動画、スライド、資料を存分に活用し、「アスリートの科学」を学ぶ。授業は、アカデミックアプローチによる interactive な対話形式で行なう。

■ 到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ○）

一般目標：競技スポーツを「みる」ことで「人生を歩んでいくためのヒントを得る」ことができるようになる。

個別目標：正解のない問いに挑む。

■ 履修条件

履修登録修正期間の登録は、原則認めない。

但し、特段の事情のある者は、担当教員に直接コンタクトをとること。

教科書の購入を必須とする。

■ 評価基準・方法

5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

授業への参加姿勢・課題レポート・教科書の活用度・アカデミックアプローチ (50%) および最終アカデミックアプローチ or 最終レポート (50%) の結果に基づき、総合的に判断する。

■ フィードバック方法

講義時の質疑応答、次回講義冒頭での全体コメントによる。

■ アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり（教科書・授業資料を活用した対話（アカデミックアプローチ））

■ 授業での PC の利用（利用内容）

なし

■ 教科書

杉浦 雄策 日常生活に活かすスポーツ科学リテラシー（ライフ出版社）

■ 参考書

特になし。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：ガイダンス 授業内容：授業の具体的な進め方および留意点 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、その内容について、理解する。 事後学修 2.0hr：教科書 1 章・6 章・7 章・8 章・9 章を読み、授業内容の総論について、理解する。
2 回	授業テーマ：スポーツを考える 授業内容：競技スポーツとは 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「スポーツの力」について、自分の意見や考えをまとめる。
3 回	授業テーマ：スポーツとアスリート 授業内容：競技スポーツにおける science and art 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「競技スポーツにおける science and art」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
4 回	授業テーマ：スポーツリテラシー 授業内容：体育とスポーツの連続体 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「体育とスポーツの連続体」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
5 回	授業テーマ：アスリートの驚異の肉体 授業内容：アスリートの心を探る 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「アスリートの心」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
6 回	授業テーマ：アスリートの驚異の肉体 授業内容：アスリートの技を探る 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「アスリートの技」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
7 回	授業テーマ：アスリートの驚異の肉体 授業内容：アスリートの体力・運動能力を探る 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「アスリートの体力・運動能力」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
8 回	授業テーマ：アスリートの驚異の肉体 授業内容：アスリートの才能を考える 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「アスリートの才能」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
9 回	授業テーマ：人類の進化と科学の進歩、その光と影 授業内容：走高跳びのイノベーション 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「走高跳びのイノベーション」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
10 回	授業テーマ：人類の進化と科学の進歩、その光と影 授業内容：水着のイノベーション 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「水着のイノベーション」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。

11 回	授業テーマ：人類の進化と科学の進歩、その光と影 授業内容：陸上競技アンダーハンドパスのイノベーション 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「陸上競技アンダーハンドパスのイノベーション」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
12 回	授業テーマ：人類の進化と科学の進歩、その光と影 授業内容：ドーピングとアンチドーピング 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「ドーピングとアンチドーピング」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
13 回	授業テーマ：人類の進化と科学の進歩、その光と影 授業内容：テクノロジーの発達と人間の真価 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「テクノロジーの発達と人間の真価」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
14 回	授業テーマ：スポーツの未来学 授業内容：スポーツ文化を知る 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「スポーツ文化」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
15 回	授業テーマ：スポーツ科学リテラシー 授業内容：人生を歩くヒントを得る 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：スポーツ科学・アスリートから、人生を学ぶ

スポーツ科学講義 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前

矢島 ますみ (やじま ますみ)

■ 授業の概要

◆講義授業◆【映像に学ぶエンターテインメントの世界】～ステージとエンターテインメント産業～(前学期 月 1)

本講義は、ショービジネスやエンターテインメント産業の発展を、社会の変遷(歴史)とともに学んでいく授業です。主な内容として、ダンスやミュージカルの発展、ウォルト・ディズニーの人生と偉業、ミュージックビデオの歴史、伝統芸能、そして巨大なエンタメイベント(グラディエーター、オリピック等)について取り扱います。映像資料を通じて、クラウド・ネット時代におけるこれからのエンタメ産業の将来を考えていきましょう。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー: M1 ○/M2 ○/M3 ○)

一般目標: エンターテインメントや舞台表現の発展史を学ぶことで、人間の「遊び」「欲望」「楽しさ」の本質について考察します。その上で「今後どのようなエンターテインメントが流行するのか?」という問いへの答えを探求していきます。多くの歴史的な映像資料や AI が持つ最新の知見を活用しながら、時代の先を読む力(将来を見つめる力)を養うことを目標とします。

個別目標: ①歴史の把握: 古代から現代までのエンタメ史の流れを理解し、その時代の背景を説明できる。

②偉業に学ぶ: ウォルト・ディズニーの生涯と、彼が生んだ革新的なビジネスモデルを解説できる。

③遊びの考察: 「楽しさ」や「遊び」の視点から、エンタメが社会に果たす役割を自分の言葉で論じられる

■ 履修条件

映像やステージを観るのが好きな方、エンタメの裏側を知りたいと思う方をお待ちしています。感性を豊かにしたいという意欲的な学生を歓迎します。

■ 評価基準・方法

本講義は定期試験(テスト期間中の試験)を行わず、日々の取り組みを重視して評価します。

授業ごとの課題(60%): 毎回の授業内で行う記述課題

事前・事後学習(40%): manaba を利用した予習・復習課題

【重要: 評価の条件】

全 15 回のうち、12 回以上(4/5)の出席が成績評価(D ~ S)の必須条件です。

定期テスト期間中にテストがない分、毎回の授業課題と manaba での学習にしっかりと取り組んでください。

■ フィードバック方法

本講義では、授業への感想や意見を manaba の「プロジェクト」欄に投稿してメンバー全員で共有し、お互いの投稿にコメントし合うことなどで、多角的な視点からフィードバックを行います。教員サイドからも、皆さんの投稿やコメントに対して授業内で紹介したり、補足解説を行ったりすることで、全体の理解度を高めていきます。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

なし

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (授業中に manaba を利用しますので、スマホ、タブレット、PC 等をご持参ください。)

■ 教科書

特段にありません。

■ 参考書

適宜、ご紹介します。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ: 授業の説明、エンタメ産業、そして映像の世界 授業内容: エンターテインメント産業とは? どんなジャンルがあるのか? 授業の全体を概観します。 事前学修 2.0hr: シラバスを理解してくる。 事後学修 2.0hr: メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
2 回	授業テーマ: エンターテインメントを創る! 東京ディズニーランド開園とディズニー作品の成長の秘密 授業内容: 東京ディズニーランドがどのように浦安の地に存在するようになったのか?、ディズニーの作品の成長の秘密も考えてまいりましょう。 事前学修 2.0hr: ディズニー作品がヒットする秘密を考えてみる。 事後学修 2.0hr: メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
3 回	授業テーマ: ウォルト・ディズニーの生涯を知る「ミッキーマウスの誕生」と 1920 年代 授業内容: ウォルト・ディズニー(1901-1966)の生涯を理解してまいりましょう。その1 ミッキーマウスが誕生する 1920 年代。 事前学修 2.0hr: 1920 年代のアメリカ社会を理解してくる。 事後学修 2.0hr: メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
4 回	授業テーマ: ウォルト・ディズニーの生涯を知る「アニメーションのパイオニア」と 1930 年代 授業内容: ウォルト・ディズニー(1901-1966)の生涯を理解してまいりましょう。その2 ディズニーといえばアニメーション! 「白雪姫」誕生。 事前学修 2.0hr: 1930 年代 50 年代のアメリカ社会を理解してくる。 事後学修 2.0hr: メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
5 回	授業テーマ: 授業テーマ: ウォルト・ディズニーの生涯を知る「戦争と混乱の時代」と 1940・50 年代 授業内容: ウォルト・ディズニー(1901-1966)の生涯を理解してまいりましょう。その3 ウォルトも社会も戦争に影響され混とした年代。 事前学修 2.0hr: 1940、50 年代のアメリカを理解してくる。 事後学修 2.0hr: メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
6 回	授業テーマ: ウォルト・ディズニーの生涯を知る「“夢の国”ディズニーランド」と 1960 年代 授業内容: ウォルト・ディズニー(1901-1966)の生涯を理解してまいりましょう。その4 夢の国の完成(1955)、そして、... 事前学修 2.0hr: 1960 年代のアメリカを理解してくる。 事後学修 2.0hr: メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
7 回	授業テーマ: ディズニーの挑戦: ディズニーシーとディズニーファンタジースプリングス 授業内容: 世界唯一のコンセプトを持つ「東京ディズニーシー」の独創性と、最新エリア「ファンタジースプリングス」が提示する次世代の没入体験を分析します。ゲストの期待を超え続けるための絶え間ない革新とブランド戦略を考察します。 事前学修 2.0hr: ファンタジースプリングスの作品の世界観を予習してください。 事後学修 2.0hr: メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
8 回	授業テーマ: 日本のアニメがなぜ世界中で愛されているのか。 授業内容: アニメが「日本という国」のイメージをどう変え、世界を動かしているのかを考えます。 事前学修 2.0hr: 現代に流行っているアニメの内容がどのようなものか調べてきてください。 事後学修 2.0hr: メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。

9 回	<p>授業テーマ：エンターテインメント産業とアニメ：アメコミの世界と日本のアニメ 授業内容：アメリカンコミックス、特にマーベルはどのように発展したのか？ 社会状況の変化とともに理解していきます。 事前学修 2.0hr：世界におけるアニメの発展状況について調べてみる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。</p>
10 回	<p>授業テーマ：ヒップホップの発祥は、いつ、どこで？ 授業内容：アメリカの貧困街で生まれた音楽が、なぜ世界中の若者の「代弁者」になったのか。SNS 時代の新しい「声」の上げ方を学びます。 事前学修 2.0hr：ヒップホップ音楽、ラップは、何を言おうとしているのか触れてきてください。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。</p>
11 回	<p>授業テーマ：アイドルってなんでしょう。 授業内容：そもそもアイドルって何でしょう。日本のアイドル文化との違いや、国を挙げた「推し」ビジネスの凄さを分析します。 事前学修 2.0hr：世界のアイドル事情について予備知識を入れてきてください。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。</p>
12 回	<p>授業テーマ：ミュージック v i d e o の登場：KING OF POP マイケル・ジャクソンと音楽の表現者たち 授業内容：アーティスト(歌手・俳優等)の社会へのメッセージを読み解く：マイケル・ジャクソンは何を残したのか？ 事前学修 2.0hr：ご自身の好きなアーティスト(歌手・俳優等)の社会へのメッセージとは何か考えてくる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。</p>
13 回	<p>授業テーマ：ダンスの歴史を知る「ザッツ・ダンシング！」と映画産業 授業内容：映像産業の歴史を理解する。ダンスはいつごろからはじまった？ ダンスの発展について理解します。 事前学修 2.0hr：今流行っているダンスはどんなダンス？ ダンスの発展について考えてくる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。</p>
14 回	<p>授業テーマ：古典の伝承：歌舞伎 市川團十郎 そして新作歌舞伎 授業内容：日本には、多くの古典芸能・伝統芸能があります。能(のう)・狂言(きょうげん)歌舞伎(かぶき)等々。特に日本の代表的な舞台作品として「歌舞伎」があります。近年では、アニメの題材を用いたり。変化する歌舞伎世界についても理解していきます。 事前学修 2.0hr：歌舞伎の映像を見てくる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。</p>
15 回	<p>授業テーマ：将来に残したい記憶・記録・出来事 まとめテスト 授業内容：後世に残したい記憶・記録・映像・出来事ってどんなことでしょうか。過去を理解し、そして未来を紡ぐ。エンタメ世界の視点からまとめまいます。 事前学修 2.0hr：将来に残したい記憶・記録・出来事をあげてみましょう。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。</p>

スポーツ科学講義 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：後

杉浦 雄策 (すぎうら ゆうさく)

■ 授業の概要

<健康スポーツの科学>

スポーツの魅力は、「する」ことにあるといつてよい。もともとスポーツには、遊び感覚で身体を動かすこと、それ自体に楽しさがある。また、体力年齢の低下を緩やかにしたり、生活習慣病も予防できる。実際にスポーツを実践している人たちは、心身共に健康な生活を送るために、日常生活の限られた時間の中で、真剣に楽しみ一所懸命に遊んでいる。授業ではスライド、資料を存分に活用し、「健康スポーツ科学」を学ぶ。なお、本授業は、社会の情勢を鑑み、学生対応(対面・遠隔)を機動的に行なう。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ○)

一般目標：健康スポーツを「する」ことで、人生を歩んでいくときに欠かせない健康と体力をキープしていくことの重要性が理解できる。また、生涯を通じて実践するスポーツ種目の KNOW HOW と、身体とスポーツとの関係についても考えることができる。そして、「わたしの健康スポーツ(種目)の実践を考える」について、まとめられる。

個別目標：正解のない問いに挑む。

■ 履修条件

履修登録修正期間の登録は、原則認めない。

但し、特段の事情のある者は、担当教員にコンタクトをとること。

教科書の購入を必須とする。

■ 評価基準・方法

5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

授業への参加姿勢・課題レポート・教科書の活用度 (50%) および最終レポート (50%) の結果に基づき、総合的に判断する。

■ フィードバック方法

講義時の質疑応答、次回講義冒頭での全体コメントによる。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (教科書・授業資料を活用した対話)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

杉浦 雄策 日常生活に活かすスポーツ科学リテラシー (ライフ出版社)

■ 参考書

特になし。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：ガイダンス 授業内容：授業の具体的な進め方と留意点 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、その内容について、理解する。 事後学修 2.0hr：教科書 1 章・2 章・3 章・4 章・5 章・9 章を読み、授業内容の総論について、理解する。
2 回	授業テーマ：スポーツと健康・体力 授業内容：運動不足と生活習慣病 健康と体力を考える 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「運動不足と生活習慣病 健康と体力を考える」について、自分の意見や考え、思いをまとめる。
3 回	授業テーマ：身体をつくる 授業内容：スタミナのある身体 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解する。 事後学修 2.0hr：「スタミナのある身体」について、自分の意見や考えをまとめる。
4 回	授業テーマ：身体をつくる 授業内容：力強い身体 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解する。 事後学修 2.0hr：「力強い身体」について、自分の意見や考えをまとめる。
5 回	授業テーマ：身体をつくる 授業内容：しなやかな身体 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解する。 事後学修 2.0hr：「しなやかな身体」について、自分の意見や考えをまとめる。
6 回	授業テーマ：身体を整える 授業内容：骨・筋肉 女性の「やせすぎ」にご用心 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「骨・筋肉 女性のやせすぎ」について、自分の意見や考えをまとめる。
7 回	授業テーマ：身体を整える 授業内容：脂肪 肥満を考える 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「脂肪 肥満を考える」について、自分の意見や考えをまとめる。
8 回	授業テーマ：身体を整える 授業内容：水分 熱中症を予防する 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「水分 熱中症を予防する」について、自分の意見や考えをまとめる。
9 回	授業テーマ：身体を動かす 授業内容：代表的な有酸素系・フィットネススポーツ 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「代表的な有酸素系・フィットネススポーツ」について、自分の意見や考えをまとめる。
10 回	授業テーマ：身体を動かす 授業内容：楽しくスポーツをする 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「楽しくスポーツをする」について、自分の意見や考えをまとめる。

11 回	授業テーマ：スポーツの未来学 授業内容：スポーツは文化 スポーツと健康寿命社会 スポーツとまちづくり 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「スポーツは文化 スポーツと健康寿命社会」について、自分の意見や考えをまとめる。
12 回	授業テーマ：スポーツの未来学 授業内容：フィジカル・リテラシー 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「フィジカル・リテラシー」について、自分の意見や考えをまとめる。
13 回	授業テーマ：スポーツの未来学 授業内容：スポーツの未来を育てる① 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「スポーツの未来を育てる①」について、自分の意見や考えをまとめる。
14 回	授業テーマ：スポーツの未来学 授業内容：スポーツの未来を育てる② 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「スポーツの未来を育てる②」について、自分の意見や考えをまとめる。
15 回	授業テーマ：科学知を生活知へ 授業内容：わたしの健康スポーツ(種目)の実践を考える 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「わたしの健康スポーツ(種目)の実践を考える」について、自分の意見や考えをまとめる。

スポーツ科学講義 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：後

矢島 ますみ (やじま ますみ)

■ 授業の概要

◆講義授業◆【映像に学ぶメディアとしての身体】～社会とともに変化する身体～(後学期 月 1)

本講義では、医学の進歩や価値観の変化によって、私たちの「身体(からだ)」のあり方がどう変わってきたかを考察します。「ネット社会における身体」「整形やサイボーグ化する身体」「男らしさ・女らしさとジェンダー」「命の尊厳」など、現代を生きる私たちの体の「今」を、豊富なビデオ資料を通じて探ります。身近なテーマから、自分という存在や社会のあり方を一緒に考えていきましょう。(※進行やクラスの状態により、内容を調整する場合があります)

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎)

一般目標：人生を豊かにする「身体への視点」と「思考力」を養う授業。

本講義では、自分の「身体(からだ)」を広く豊かに捉え直すための、しなやかな感性と考える力を身につけます。映像資料を通じて感じたことや考えたことを言葉にし、他者の意見に触れることで、さらに自分の考えを深めていく「探求する力」を高めていくことを目標とします。

個別目標：①社会の課題に気づく：医療や人権など、ニュースになるような社会問題が「自分たちの体」にどう関わっているかを理解できる。

②身近な変化を見つける：自分の周りにおける「体の悩み」や「価値観の変化」を、社会のルールや環境と結びつけて発見できる。

③自分の考えを言葉にする：正解のない複雑な問題に対して、自分なりに考えをまとめ、文章で表現できる。

■ 履修条件

「なぜだろう？」と考えることが好きな方、自分の意見を大切にしたい方を歓迎します。正解を求めるのではなく、自分なりの答えを探しながら、前向きに授業に参加してくれる皆さんをお待ちしています。

■ 評価基準・方法

成績評価の基準 定期試験(テスト期間中の試験)は行わず、毎回の積み重ねを評価します。

授業ごとの課題(60%)：毎回の授業内での記述課題

事前・事後学習(40%)：manaba を利用した予習・復習課題

【重要：評価の条件】

全 15 回のうち、12 回以上(4/5)の出席が成績評価(D～S)の必須条件です。定期テスト期間中のテストがない分、毎回の課題にコツコツ取り組むことが、良い成績への近道です。

■ フィードバック方法

授業内容への意見や感想を授業メンバーと manaba のプロジェクト欄を使って共有し、manaba の小テスト欄を有効に利用しながら互いにコメントすることによって、授業課題や授業のフィードバックをしています。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

なし

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (授業中に manaba を利用しますので、スマホ、タブレット、PC 等をご持参ください。)

■ 教科書

適宜、提示いたします。

■ 参考書

適宜、提示いたします。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外(事前・事後)の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：イントロダクション：授業の進め方 ネット時代 SNS 誹謗中傷 授業内容：学習の進め方の説明。現代社会が抱える身体をめぐる課題の視点を説明し、授業全体を概観する授業です。身体は、科学技術の進歩によっていよいよ変化し、新しい生活スタイルが創造されていく可能性を持っています。さて、これからの身体と社会は？ 事前学修 2.0hr：シラバスを確認する。 事後学修 2.0hr：授業中に記入したメンバーの全記述を読み、意見、評価を行う。
2 回	授業テーマ：ネット社会1：性の欲望 デジタル技術“解放”か“墮落”か 授業内容：ネットの時代。AI の技術によっても「性欲のバーチャル化」が進み、新たな幸福感が生み出されつつあります。ネット社会と人間特有の「性の欲望」について考えてまいります。 事前学修 2.0hr：関連するニュース&話題をチェックする。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
3 回	授業テーマ：ネット社会2：オンラインカジノ 底知れぬ闇 授業内容：オンラインカジノは、インターネットを通じて賭け事を楽しむことができる場所ですが、日本ではオンラインカジノは法律で禁止されています。無意識に巻き込まれてしまうネット社会の闇。考えてまいります。 事前学修 2.0hr：関連するニュース&話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
4 回	授業テーマ：身体を知る1：テストステロン～謎多き男性ホルモン～ 授業内容：AI やデジタル化によって身体をめぐる環境はいよいよ変わってきています。しかしながら、生身の体は、そうは簡単にコントロールできません。特に男性の生活様式に大きな影響を与えている、男性ホルモンといわれるテストステロンについて、理解していきます。 事前学修 2.0hr：関連するニュース&話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
5 回	授業テーマ：身体を知る2：生殖レース：受精までの闘い 授業内容：“精子と卵子”の出会いには、意外に大変。現在、結婚希望年齢は「29.4 才」、出産希望年齢は「30.9 才」とのこと。最近では、妊娠を望んでいてもなかなか妊娠できず、不妊に悩んでいる話も多くなっています。受精という視点から人って何だろう？と改めて考えてみます。 事前学修 2.0hr：関連するニュース&話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
6 回	授業テーマ：身体を知る3：女性の生殖メカニズム 授業内容：男性と女性の体の違い。一般的には、生殖のメカニズムが大きく異なります。今回は、女性の身体と生活について、理解してみましよう。同時に、「社会的な性」という視点でジェンダーという言葉があります。多様性についても考えてまいります。 事前学修 2.0hr：関連するニュース&話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。

7 回	<p>授業テーマ：生命の意味1：幸せのかたち 出生前診断の現場</p> <p>授業内容：出生前診断は、妊娠中におなかの赤ちゃんについて先天性の病気や形態の異常がないかを調べる検査です。最近では簡単に検査ができるようになってきました。女性の体に宿った命、赤ちゃんの命、命の選別への懸念。多面的に考えてまいりましょう。</p> <p>事前学修 2.0hr：関連するニュース&話題をチェック。</p> <p>事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。</p>
8 回	<p>授業テーマ：生命の意味2：性と人権：性加害、性的同意を考える</p> <p>授業内容：近年 社会の話題となっている性加害。事例を紐解きながら、互いの存在の尊厳について考えてまいりましょう。</p> <p>事前学修 2.0hr：関連するニュース&話題をチェック。</p> <p>事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。</p>
9 回	<p>授業テーマ：生命の意味3：人の命を守る方法：こうのとりのゆりかご アメリカの政治と中絶</p> <p>授業内容：望まれる妊娠、望まれない妊娠、生む女性の権利、赤ちゃんの人権。日本では、妊娠 21 週 6 日までは、医師の同意があれば中絶が合法的に行われていますが、中絶は多くの国で非常に議論の多い問題となっており、政治的な課題とも言えます。考えてまいりましょう。</p> <p>事前学修 2.0hr：関連するニュース&話題をチェック。</p> <p>事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。</p>
10 回	<p>授業テーマ：生きる価値観をめぐって1：尊厳死 安楽死(日本の場合)</p> <p>授業内容：人は自分の最後を決めることができるのか？ その1。現在の日本では、安楽死は認められていませんが、安楽死(または医師補助自殺)が合法とされている国や地域にはいくつかあります。基本的な知識を身に付けてまいりましょう。</p> <p>事前学修 2.0hr：関連するニュース&話題をチェック。</p> <p>事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。</p>
11 回	<p>授業テーマ：生きる価値観をめぐって2：尊厳死 安楽死(海外の場合)</p> <p>授業内容：人は自分の最後を決めることができるのか？ その2。世界では、安楽死の合法化に関して大きな動きがあります。オランダ、ベルギー(2002年)、ルクセンブルク(2009年)に安楽死が合法化されました。スイスでは、安楽死は明確には認められていませんが、自殺補助は広く行われそのため、終末期の医療を考慮する日本人がスイスでその選択を求めることがあるようです。考えてまいりましょう。</p> <p>事前学修 2.0hr：関連するニュース&話題をチェック。</p> <p>事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。</p>
12 回	<p>授業テーマ：生きる価値観をめぐって3：脳死 移植医療</p> <p>授業内容：日本では脳死に関する認識によって、臓器提供者が少ない現状があります。人の死の定義について考えてみましょう。海外では臓器移植は自国の自給自足に務め、移植ツーリズムを禁止するといった流れもあります。移植医療について考えてみましょう。</p> <p>事前学修 2.0hr：関連するニュース&話題をチェック。</p> <p>事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。</p>
13 回	<p>授業テーマ：生きる価値観をめぐって4：死刑 生きること、生きる権利、そして法整備</p> <p>授業内容：人は人を裁くことができるのか？ 考えていきます。多くの諸外国が、死刑を実施しない傾向にあります。日本と世界の死刑制度とを比較しながら考えてまいりましょう。</p> <p>事前学修 2.0hr：関連するニュース&話題をチェック。</p> <p>事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。</p>
14 回	<p>授業テーマ：生きる価値観をめぐって5：サイボーグと人間、オーダーメイド・ベビー</p> <p>授業内容：ゲノム編集ってなにをすることでしょう。CRISPR-Cas 9(クリスパー・キャス・ナイン)とは？ どこまで人は人の身体を操作・改造してよいのでしょうか？ 考えてまいりましょう。</p> <p>事前学修 2.0hr：関連するニュース&話題をチェック。</p> <p>事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。</p>
15 回	<p>授業テーマ：まとめー身体は 21 世紀に何が求められているのか？ 生きること、生きる権利 差別</p> <p>授業内容：人の命、生活、法律、多様性社会における人の存在について考えていきます。</p> <p>事前学修 2.0hr：関連するニュース&話題をチェック。</p> <p>事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。</p>

スポーツ科学演習 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前

杉浦 雄策 (すぎうら ゆうさく)

■ 授業の概要

<ビギナーズゴルフ>

10~20 歳代のプロゴルファーの活躍によって、ゴルフのイメージは大きく変わりつつある。ウェアも華やかになり、ゴルフ場でプレーする女性も増えている。「紳士の社交場」としての景色も変わり、いまや性別・年齢を問わず、多くの人々が、健康スポーツとしてゴルフを楽しむようになった。ゴルフは基礎からきちんと習うと、意外にも短時間で上達する。まずはクラブを握り、振ってみることから、ゴルフの面白さ体験してみる。なお本授業は、社会情勢を鑑み、授業内容に対して機動的な対応を行なう。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○)

一般目標：ゴルフが教養や趣味として、あるいは将来のために、役立つようにする。これから経験するであろうさまざまな場面(余暇、仕事の一環“つきあい・接待”としてなど)、ゴルフ場でプレーできる基本的なマナーや、技術などの初歩的な実践能力が身につく。また授業を通じて、相互の協働関係を築いていくことができる。

個別目標：ゴルフを健康スポーツとし実践するために、個々のレベルに応じた楽しみ方およびコミュニケーション能力を習得する。

■ 履修条件

ガイダンスに出席し、教員の指示に従うこと(人数調整を行なうので必ず出席すること)。集合教室は、別途指示する。

履修登録修正期間の登録は、原則認めない。但し、特段の事情のある者は、担当教員にコンタクトをとること。

■ 評価基準・方法

4/5 以上の出席を評価の前提条件とする。

ゴルフに関する基本的な知識や技能の習得とそれに基づく実践の完成度 (50%) およびコミュニケーション能力 (50%) を総合的に判断する。

■ フィードバック方法

演習時の質疑応答、次回演習

冒頭での全体コメントによる。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (授業資料を活用した対話)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

適宜、資料を配布する。

■ 参考書

Lecture ゴルフの基礎

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：ガイダンス 授業内容：授業の具体的な進め方および留意点 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、その内容について、理解する。 事後学修 2.0hr：授業計画について、確認する。
2 回	授業テーマ：「ゴルフとのつきあい方」を考える。 授業内容：健康・趣味。社交・仕事など 事前学修 2.0hr：「ゴルフ」について、興味をもち、調べる。 事後学修 2.0hr：「ゴルフのつきあい方」について、自分の目標を明確にする。
3 回	授業テーマ：「ドライバー・アイアン・パターの性能」について、学ぶ。 授業内容：道具の特性について 事前学修 2.0hr：「ゴルフの用具」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「ドライバー・アイアン・パターの性能」について、理解し、まとめる。
4 回	授業テーマ：クラブ(アイアン)を正しく握って、とりあえず振ってみる。 授業内容：身体感性を高める 事前学修 2.0hr：クラブ(アイアン)を正しく握れるよう、調べる。 事後学修 2.0hr：スイング動作を模倣する。*イメージ・トレーニング
5 回	授業テーマ：スイング動作を学習する(正面・背後)。 授業内容：思考脳と作業脳の活用① 事前学修 2.0hr：スイング動作における身体の動かし方を模倣する。*イメージ・トレーニング 事後学修 2.0hr：スイング動作を模倣する。*イメージ・トレーニング
6 回	授業テーマ：スイング動作を学習する(正面・背後)。 授業内容：思考脳と作業脳の活用② 事前学修 2.0hr：まちがいのないスイング動作を模倣する。*イメージ・トレーニング 事後学修 2.0hr：スイング動作を模倣する。*イメージ・トレーニング
7 回	授業テーマ：スイング動作を撮影する(正面・背後) 授業内容：思考脳と作業脳の活用③ 事前学修 2.0hr：まちがいのないスイング動作を模倣する。*イメージ・トレーニング 事後学修 2.0hr：スイング動作を模倣する。*イメージ・トレーニング
8 回	授業テーマ：スイング動作を分析する(エラーの発見および矯正)。 授業内容：思考脳と作業脳の活用④ 事前学修 2.0hr：撮影された動画を繰り返し、再生する。 事後学修 2.0hr：スイング動作のエラーを理解する。
9 回	授業テーマ：スイング動作を完成する。 授業内容：思考脳と作業脳の活用⑤ 事前学修 2.0hr：スイング動作を模倣する。*イメージ・トレーニング 事後学修 2.0hr：スイング動作を模倣する。*イメージ・トレーニング
10 回	授業テーマ：学内のグリーンで、「パター動作」を経験する(パター)。 授業内容：思考脳と作業脳の活用⑥ 事前学修 2.0hr：パター動作を模倣する。*イメージ・トレーニング 事後学修 2.0hr：パター動作を模倣する。*イメージ・トレーニング

11 回	<p>授業テーマ：ゴルフ練習場で、“打ち放し”を経験する(アイアン・ドライバー)。 授業内容：思考脳と作業脳の活用⑦ 事前学修 2.0hr：スイング動作を模倣する。*イメージ・トレーニング 事後学修 2.0hr：スイング動作を模倣する。*イメージ・トレーニング</p>
12 回	<p>授業テーマ：ゴルフ独特の「ルールやマナー」を学ぶ。 授業内容：ルールとレギュレーション 事前学修 2.0hr：試合の進行に関するルールやマナーについて、理解する。 事後学修 2.0hr：試合の進行に関するルールやマナーについて、まとめる。</p>
13 回	<p>授業テーマ：宿泊形式で、ゴルフを実践する(ショート・コース) 授業内容：コミュニケーション能力を養う① 事前学修 2.0hr：スイング/パター動作を模倣する。*イメージ・トレーニング 事後学修 2.0hr：スイング/パター動作を模倣する。*イメージ・トレーニング</p>
14 回	<p>授業テーマ：宿泊形式で、ゴルフを実践する(ショート・コース) 授業内容：コミュニケーション能力を養う② 事前学修 2.0hr：スイング/パター動作を模倣する。*イメージ・トレーニング 事後学修 2.0hr：スイング/パター動作を模倣する。*イメージ・トレーニング</p>
15 回	<p>授業テーマ：「ゴルフ・人とのつきあい方」 授業内容：非認知能力の向上 事前学修 2.0hr：ゴルフに関する知識・技能の確認、コミュニケーション能力とは 事後学修 2.0hr：ゴルフ・人とのつきあい方をまとめる</p>

スポーツ科学演習 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前

矢島 ますみ (やじま ますみ)

■ 授業の概要

◆実技授業◆【コアトレーニング&リズムタップダンス(動ける身体作り)ベーシック】前学期 火 4 / 水 3

動ける身体とリズム感を身につけたい人向けの講座です。授業では、○ウォーミングアップとストレッチ ○コアトレーニングで体幹・姿勢・安定性を強化 ○タップダンスやカスタネットを用いたフラメンコなどの基礎ステップ習得 ○簡単なステップを組み合わせ、みんなで楽しんで踊るセッションを行います。授業の流れは「up&コアトレーニング」→「ダンスムーブメント」→「リラクゼーション」です。ダンス未経験者も安心して参加できます。

●初回火曜 4 (4/7)あるいは水曜 3 (4/8)に、指定の【教室】で人数調整し名簿を作成いたします(10 名~15 名程度)。授業風景は manaba をご覧ください。初回時に、2 回目の持ち物や集合場所等をご案内します。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○)

一般目標：リズムの学習を基礎に、多様なダンスの身体の動かし方を習得し、コアトレーニングを通して、健康で美しく動ける身体づくりと意識の向上を目標とします。仲間とコミュニケーションを図り、クラス全体でスキルアップします。

個別目標：①基本的なリズムの取り方や、コア(体の中心軸)を意識した身体の動かし方ができる。

②身体の機能を理解し、自らのボディイメージを作り、活動に活かせる。

③クラスのメンバーと協力し、効果的な学習活動に参加できる。

■ 履修条件

定員：10 名~15 名程度

希望者は必ず初回授業に出席してください。初回は、火曜 4 (4/7)水曜 3 (4/8)に指定教室で行います。

初回に人数調整を行い、明海クラブの入館名簿を作成します。またタップシューズのサイズ合わせも行います。

本授業は、技術を習得する実技授業です。欠席せず、一步一步積み重ねながら学んでいきましょう。

■ 評価基準・方法

授業への参加姿勢：70 % (毎回の授業に積極的に取り組むこと)

クラス仲間とのコミュニケーション：20 % (協力して学ぶ姿勢やチームワーク)

学習の達成度：10 % (技術の習得や学んだことを実践できるか)

※この比重を基本に、授業全体での取り組みを総合的に評価します。

※授業に前向きに参加し、仲間と一緒に楽しみながら学ぶことが大切です。

■ フィードバック方法

授業中の実技映像を manaba で共有し、振り返りやコメントを通して課題達成をサポートします。

学生同士のフィードバックや教員からのアドバイスを活用し、技術向上に役立てます。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (スタジオで仲間同士支え合いながら、課題の身体技術を実際に体験・習得します。協力しながら学ぶことで、技術だけでなくコミュニケーション能力や表現力も向上します。)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

適宜、資料配布いたします

■ 参考書

適宜、資料紹介いたします

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：オリエンテーション：教室でのガイダンス(人数調整) 授業内容：授業内容を確認し、明海クラブの収容人数に合わせて人数調整。名簿作成、タップシューズサイズ合わせ、リズムの取り方の基礎を実施。 ●中心課題：授業全体の流れを理解し、自分の目標課題を設定する。 事前学修 2.0hr：シラバスを確認する 事後学修 2.0hr：自分の目標課題を見つける。
2 回	授業テーマ：自分の体と向かい合うエクササイズ理論を習得 授業内容：Up (準備運動)→コアトレーニング→リズムトレーニング→ダンステクニック(タップダンス+カスタネット)→ Down (クールダウン) ●中心課題：明海クラブの設備を利用し、実際に動きながら体の感覚をつかむ。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
3 回	授業テーマ：ストレッチの理論とストレッチボールの使い方を習得 授業内容：Up →コアトレーニング→リズムトレーニング→ダンステクニック→ Down ●中心課題：ダンスのリズムの基礎を学び、チューブを用いたコアトレーニングを習得する。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
4 回	授業テーマ：リズムを身体で刻む方法や身体のパーツの動かし方を習得 授業内容：Up →コアトレーニング→リズムトレーニング→ダンステクニック→ Down ●中心課題：ジャズリズムの基礎と、ステップ台を使ったコアトレーニングを体感し、動きの精度を高める。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
5 回	授業テーマ：シンプルでリズムで、乗り方と踊り方を学習 1 (シャッフルステップとフラップ) 授業内容：Up →コアトレーニング→リズムトレーニング→ダンステクニック→ Down ●中心課題：カスタネットとタップダンスの基礎・応用を習得し、スライドボードを使ったコアトレも実践する。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
6 回	授業テーマ：シンプルでリズムで、乗り方と踊り方を学習 2 (連続ターン) 授業内容：Up →コアトレーニング→リズムトレーニング→ダンステクニック(プラスα技術)→ Down ●中心課題：カスタネット・タップダンスの基礎・応用を習得し、チューブを使ったコアトレーニングで体幹を鍛える。 事前学修 2.0hr：ストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。

7 回	授業テーマ：シンプルなリズムで、乗り方と踊り方を学習3(タイムステップ) 授業内容：Up → コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(プラスα技術)→ Down ●中心課題：カスタネット・タップダンスの基礎・応用を習得し、ステップ台を使って連動した動きを体得する。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
8 回	授業テーマ：一連のダンスムーブメントを習得する1(基本の動き) 授業内容：Up → コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(プラスα技術)→ Down ●中心課題：カスタネット・タップダンスの一連の動きを学び、チューブで体幹の動きを確認する。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
9 回	授業テーマ：一連のダンスムーブメントを習得する2(連続した動き) 授業内容：Up → コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック→ Down ●中心課題：一連の動きを学び、ステップ台で体の正確な動きを確認する。 事前学修 2.0hr：ストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
10 回	授業テーマ：一連のダンスムーブメントを習得する3(音楽に合わせる) 授業内容：Up → コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック→ Down ●中心課題：基礎の動きを音楽に合わせて踊り、スライドボードで体幹を強化する。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
11 回	授業テーマ：ダンススキルを高める1(コンパクトに動く) 授業内容：Up → コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(応用技術)→ Down ●中心課題：カスタネット・タップダンスの一連の動きを学び、コンパクトに体を動かす技術を習得する。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
12 回	授業テーマ：ダンススキルを高める2(動きの繋ぎに注意) 授業内容：Up → コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(プラスα技術)→ Down ●中心課題：ひとつひとつの動きを繋ぎ、流れのあるダンスを体現する。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
13 回	授業テーマ：ダンススキルを高める3(全体の動きに抑揚をつける) 授業内容：Up → コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック→ Down ●中心課題：一連の動きに抑揚をつけ、表現力を向上させる。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：できなかった動きのポイントを復習
14 回	授業テーマ：仲間と踊る1(息を合わせる) 授業内容：Up → コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック→ Down ●中心課題：動きの完成度を高め、仲間と合わせる協調性を養う。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：できなかった動きのポイントを復習。
15 回	授業テーマ：仲間と踊る2(チームでお互いに見せ合う) 授業内容：Up → コアトレ→発表会→ Down ●中心課題：チームごとにダンスを見せ合い、互いに評価し合い、自分の課題と今後の目標を明確にする。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：自分の課題を確認し、今後の目標を見つける。

スポーツ科学演習 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前

矢島 ますみ (やじま ますみ)

■ 授業の概要

◆実技授業◆【ストレッチ&リズムタップダンス(身体感覚向上)ベーシック】前学期 水 4

柔軟でしなやかな身体を作りながら、リズムに乗って踊る楽しさを体験する講座です。授業では、○身体を整えるストレッチとウォーミングアップ ○タップダンスやカスタネットを用いたフラメンコなどの基礎ステップ習得 ○簡単なステップを組み合わせて、みんなで楽しんで踊るセッションを行います。授業の流れは「ストレッチ」→「ダンスムーブメント」→「リラクゼーション」です。ダンス未経験者も安心して参加できます。

●初回水曜 4 (4/8)に、指定の【教室】で人数調整し名簿を作成いたします(10 名~15 名程度)。授業風景は manaba をご覧ください。初回時に、2 回目の持ち物や集合場所等をご案内します。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ◎)

一般目標：自分の身体のイメージを削り、しなやかで強い身体づくりの基礎を学びます。特にこのクラスでは、多様なダンスの基本的なテクニックを身につけることを重視します。仲間とコミュニケーションを図りながら、楽しみつつスキルアップを目指します。

個別目標：①基本的なダンスのリズムを理解し、リズムに乗ることができる(カスタネットを奏でながら踊るテクニック、タップダンスの基礎を含む)

②体のストレッチやリラクゼーションの方法を理解し、実践でき

③クラスのメンバーと協力し、効果的な学習活動に参加できる。

■ 履修条件

定員：10 名~15 名程度

希望者は必ず初回授業に出席してください。初回は 水曜 4 (4/8)に指定教室で行います。

初回到人数調整を行い、明海クラブの入館名簿を作成します。またタップシューズのサイズ合わせも行います。

本授業は、技術を習得する実技授業です。欠席せず、一步一步積み重ねながら学んでいきましょう。

■ 評価基準・方法

授業への参加姿勢：70 % (毎回の授業に積極的に取り組むこと)

クラス仲間とのコミュニケーション：20 % (協力して学ぶ姿勢やチームワーク)

学習の達成度：10 % (技術の習得や学んだことを実践できるか)

※この比重を基本に、授業全体での取り組みを総合的に評価します。

※授業に前向きに参加し、仲間と一緒に楽しみながら学ぶことが大切です。

■ フィードバック方法

授業中の実技映像を manaba で共有し、振り返りやコメントを通して課題達成をサポートします。

学生同士のフィードバックや教員からのアドバイスを活用し、技術向上に役立てます。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (スタジオで仲間同士支え合いながら、課題の身体技術を実際に体験・習得します。協力しながら学ぶことで、技術だけでなくコミュニケーション能力や表現力も向上します。)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

適宜、資料配布いたします

■ 参考書

適宜、資料紹介いたします

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：オリエンテーション：教室でのガイダンス(人数調整) 授業内容：授業の進め方を確認、明海クラブの収容人数に合わせて名簿作成、タップシューズサイズ合わせ、リズムの取り方の基礎を実施。 ●中心課題：授業への意欲を高め、自分の目標を設定する 事前学修 2.0hr：シラバスを確認する 事後学修 2.0hr：自分の目標課題を見つける。
2 回	授業テーマ：身体のパーツとストレッチとリズム(1) 授業内容：Up (準備運動)→リズムバリエーション→ダンステクニック(タップダンス、カスタネット)→ Down ●中心課題：正しい姿勢と足首・腰の柔軟性を意識しながら、明海クラブで実際に動いてみる。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
3 回	授業テーマ：身体のパーツとストレッチとリズム(2) 授業内容：Up (準備運動)→リズムバリエーション→ダンステクニック(タップダンス、カスタネット)→ Down ●中心課題：ダンスのリズムの基礎を学ぶ。バランスの良い体幹を感じながら動く 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
4 回	授業テーマ：身体のパーツとストレッチとリズム(3) 授業内容：Up (準備運動)→リズムバリエーション→ダンステクニック(タップダンス、カスタネット)→ Down ●中心課題：ジャズのリズムの基礎を学ぶ。用具を使ったコアトレーニングの方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
5 回	授業テーマ：ダンスムーブメント(1)リズムにのって踊る 授業内容：Up (準備運動)→リズムバリエーション→ダンステクニック(タップダンス、カスタネット)→ Down ●中心課題：音楽のリズムを感じ、軽やかに体を動かす楽しさを体感する。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
6 回	授業テーマ：ダンスムーブメント(2)ステップを覚える 授業内容：Up (準備運動)→リズムバリエーション→ダンステクニック(タップダンス、カスタネット)→ Down ●中心課題：ステップを意識してリズムに合わせ、動きをつなげる。 事前学修 2.0hr：ストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。

7 回	授業テーマ：ダンスムーブメント(3)バランスをとる 授業内容：Up (準備運動)→リズムバリエーション→ダンステクニック(タップダンス、カスタネット)→ Down ●中心課題：バランスを意識して、安定した動きと体幹の感覚を高める。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
8 回	授業テーマ：タップダンス&カスタネットの技術(1)音を出す 授業内容：Up (準備運動)→リズムバリエーション→ダンステクニック(タップダンス、カスタネット)→ Down ●中心課題：タップとカスタネットでリズム感を養い、音楽に合わせて軽やかに動く。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
9 回	授業テーマ：タップダンス&カスタネットの技術(2)音を出しながら動く 授業内容：Up (準備運動)→リズムバリエーション→ダンステクニック(タップダンス、カスタネット)→ Down ●中心課題：ステップの基本をマスターし、体にリズムを刻む感覚を養う。 事前学修 2.0hr：ストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
10 回	授業テーマ：タップダンス&カスタネットの技術(3)動きを繋ぐ 授業内容：Up (準備運動)→リズムバリエーション→ダンステクニック(タップダンス、カスタネット)→ Down ●中心課題：ステップを組み合わせて、流れるような動きを意識する。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
11 回	授業テーマ：タップダンス&カスタネットの技術(4)簡単な一連の動きで踊って 授業内容：Up (準備運動)→リズムバリエーション→ダンステクニック(タップダンス、カスタネット)→ Down ●中心課題：一連の動きをつなげ、全体の流れで踊る感覚を身につける。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
12 回	授業テーマ：ダンス・コンビネーション(1)音楽を通して踊る 授業内容：Up (準備運動)→リズムバリエーション→ダンステクニック(タップダンス、カスタネット)→ Down ●中心課題：音楽を通して、リズムや表現力を意識しながら動く。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
13 回	授業テーマ：ダンス・コンビネーション(2)友達と合わせて踊る 授業内容：Up (準備運動)→リズムバリエーション→ダンステクニック(タップダンス、カスタネット)→ Down ●中心課題：ペアやグループで息を合わせ、協調性と表現力を高める。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
14 回	授業テーマ：ダンス・コンビネーション(3)演技を見せあう 授業内容：Up (準備運動)→リズムバリエーション→ダンステクニック(タップダンス、カスタネット)→ Down ●中心課題：自分の踊りを披露し、仲間の演技を観察して学ぶ。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：できなかった動きのポイントを復習。
15 回	授業テーマ：リズム感が良くなりましたか？ 表現力がつきましたか？ 授業内容：Up →発表会→ Down ●中心課題：ダンス作品を見せ合い、自己評価と他者評価を通じて成長を確認する。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：自分の課題を確認し、今後の目標を見つける。

スポーツ科学演習 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：後

杉浦 雄策 (すぎうら ゆうさく)

■ 授業の概要

(Sport in Life に挑戦)

健康管理の手段および生涯スポーツとしての身体活動について、考え実践する。身体活動(スポーツ)を、日常生活の中に採り入れる工夫を個々で行なう。「いかに楽しんで、身体を動かすか」によって、意外なほど簡単に身体活動(スポーツ)を実践できることを体得し、今後の健康・体力づくりに活かしていく。なお授業は、アカデミックアプローチによる interactive な対話形式で行なう。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ○)

一般目標：健康・体力づくりのひとつの手段として、自分に合った運動種目を選定し、実践する。身体を動かすことの達成感や新しい自分とのでかいを経験する。また授業を通じて、相互の協働関係を築いていく。

個別目標：個々に応じた「運動習慣の確立」を目指す。

■ 履修条件

ガイダンスに出席し、教員の指示に従うこと(人数調整を行なうので必ず出席すること)。集合教室は、別途指示する。

履修登録修正期間の登録は、原則認めない。但し、特段の事情のある者は、担当教員に直接コンタクトをとること。

■ 評価基準・方法

4/5 以上の出席を評価の前提条件とする。

健康スポーツに関する基本的な知識や技能の習得とそれに基づく実践の完成度 (50%) およびコミュニケーション能力 (50%) を総合的に判断する。

■ フィードバック方法

演習時の課題に対する指導、次回演習冒頭での全体コメントによる。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (授業資料を活用した対話)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

杉浦 雄策 日常生活に活かすスポーツ科学リテラシー (ライフ出版社)

■ 参考書

必要に応じて資料を配付する

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：ガイダンス 授業内容：授業の具体的な進め方 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、その内容について、理解する。 事後学修 2.0hr：授業計画について、確認する。
2 回	授業テーマ：「健康スポーツ」について考える。 授業内容：健康体力 事前学修 2.0hr：「健康・体力」について、興味をもち、調べる。 事後学修 2.0hr：「スポーツとのつきあい方」について、自分の目標を明確にする。
3 回	授業テーマ：「運動種目①」について、学ぶ。 授業内容：一人で実践するスポーツとは 事前学修 2.0hr：「一人で実践するスポーツ」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「運動種目の特性」について、理解し、まとめる。
4 回	授業テーマ：「運動種目②」について、学ぶ。 授業内容：複数で実践するスポーツとは 事前学修 2.0hr：「複数で実践するスポーツ」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「運動種目の特性」について、理解し、まとめる。
5 回	授業テーマ：「日常における活動量」を知る。 授業内容：身体活動とは 事前学修 2.0hr：「身体活動」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「スポーツ・運動」を実践する。
6 回	授業テーマ：「日常における活動量」を知る。 授業内容：生活活動とは 事前学修 2.0hr：「生活活動」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「スポーツ・運動」を実践する。
7 回	授業テーマ：「健康スポーツ種目の実践①」を考える。 授業内容：適切な強度・時間・頻度とは 事前学修 2.0hr：「スポーツ種目」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「スポーツ・運動」を実践する。
8 回	授業テーマ：「健康スポーツ種目の実践②」を考える。 授業内容：適切な強度・時間・頻度とは 事前学修 2.0hr：「スポーツ種目」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「スポーツ・運動」を実践する。
9 回	授業テーマ：「積極的に、動く①」を考える。 授業内容：アプリケーションソフトを使って個人の記録をとる① 事前学修 2.0hr：「身体活動量」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「スポーツ・運動」を実践する。
10 回	授業テーマ：「積極的に、動く②」を考える。 授業内容：アプリケーションソフトを使って個人の記録をとる② 事前学修 2.0hr：「身体活動量」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「スポーツ・運動」を実践する。
11 回	授業テーマ：「アプリケーションソフトを使って、動く①」を考える。 授業内容：アプリケーションソフトを使って、グループで記録をとる① 事前学修 2.0hr：「身体活動量」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「アプリケーションソフトを使って、スポーツ・運動」を実践する。

12 回	<p>授業テーマ：「アプリケーションソフトを使って、動く②」を考える。 授業内容：アプリケーションソフトを使って、グループで記録をとる② 事前学修 2.0hr：「身体活動量」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「アプリケーションソフトを使って、スポーツ・運動」を実践する。</p>
13 回	<p>授業テーマ：「フィジカルリテラシー①」を考える。 授業内容：体育とは 事前学修 2.0hr：「フィジカルリテラシー」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「フィジカルリテラシー」を実践する。</p>
14 回	<p>授業テーマ：「フィジカルリテラシー②」を考える 授業内容：スポーツとは 事前学修 2.0hr：「フィジカルリテラシー」について、深める 事後学修 2.0hr：「フィジカルリテラシー」を実践する。</p>
15 回	<p>授業テーマ：「スポーツとのつきあい方」について学ぶ。 授業内容：Sport in Life に挑戦 事前学修 2.0hr：「スポーツの意義」「健康・体力」について、再考する。 事後学修 2.0hr：スポーツと健康について、まとめる。</p>

スポーツ科学演習 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：後

矢島 ますみ (やじま ますみ)

■ 授業の概要

◆実技授業◆【コアトレーニング&リズムタップダンス(動ける身体作り)リズムセッション】後学期 火 4 / 水 3

動ける身体とリズム感を磨き、踊る楽しさを深める講座です。授業では、○ウォーミングアップとストレッチ ○コアトレーニングで体幹・姿勢・安定性を強化 ○タップダンスやカスタンネットを用いたフラメンコなどのステップ習得 ○学期の後半には、学んだ動きを組み合わせ、みんなで作品として踊るセッションを行います。授業の流れは「up&コアトレーニング」→「ダンスムーブメント」→「リラクゼーション」です。どなたでも安心して参加できます。

●初回火曜 4 (9/15)あるいは水曜 3 (9/16)に、指定の【教室】で人数調整し名簿を作成いたします(10 名~15 名程度)。授業風景は manaba をご覧ください。初回時に、2 回目の持ち物や集合場所等をご案内します。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー: M1 ◎/M2 ◎/M3 ○)

一般目標: リズム感を活かし、多様なダンスの身体表現を習得するとともに、コアトレーニングで体幹・姿勢・安定性を強化し、動ける身体と表現力をさらに高めます。学んだ動きを組み合わせ、作品として踊る楽しさを体験します。仲間と協力しながら、クラス全体でスキルアップを目指します。

- 個別目標: ①基本的なリズムの取り方やコア(体の中心軸)を意識した動きができる。
②身体の機能を理解し、自らのボディイメージを作り、表現に活かせる。
③クラスのメンバーと協力し、作品として踊る活動を通して学習できる。

■ 履修条件

定員: 10 名~15 名程度

希望者は必ず初回授業に出席してください。初回は、火曜 4 (9/15)水曜 3 (9/16)に指定教室で行います。

初回に人数調整を行い、明海クラブの入館名簿を作成します。またタップシューズのサイズ合わせも行います。

本授業は、技術を習得する実技授業です。欠席せず、一步一步積み重ねながら学んでいきましょう。

■ 評価基準・方法

授業への参加姿勢: 70 % (毎回の授業に積極的に取り組むこと)

クラス仲間とのコミュニケーション: 20 % (協力して学ぶ姿勢やチームワーク)

学習の達成度: 10 % (技術の習得や学んだことを実践できるか)

※この比重を基本に、授業全体での取り組みを総合的に評価します。

※授業に前向きに参加し、仲間と一緒に楽しみながら学ぶことが大切です。

■ フィードバック方法

授業中の実技映像を manaba で共有し、振り返りやコメントを通して課題達成をサポートします。

学生同士のフィードバックや教員からのアドバイスを活用し、技術向上に役立てます。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (スタジオで仲間同士支え合いながら、課題の身体技術を実際に体験・習得します。協力しながら学ぶことで、技術だけでなくコミュニケーション能力や表現力も向上します。)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

適宜、資料配布いたします

■ 参考書

適宜、資料紹介いたします

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ: オリエンテーション: 教室でのガイダンス(人数調整) 授業内容: 授業内容の確認、明海クラブ収容人数に合わせた人数調整、名簿作成、タップシューズのサイズ確認、リズムの取り方の基礎確認する。 ●中心課題: 後期の到達目標を明確にし、自分の課題を再設定する。 事前学修 2.0hr: シラバスを確認する 事後学修 2.0hr: 自分の目標課題を見つける。
2 回	授業テーマ: 自分の体と向き合うエクササイズ理論の再確認 授業内容: Up (準備運動)→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(基礎タップ・カスタンネット)→ Down ●中心課題: 明海クラブの設備を活用し、身体の軸と重心を意識して動く。 事前学修 2.0hr: 課題のダンスムーブメントを日課に! 事後学修 2.0hr: 習った動きのポイントを復習。
3 回	授業テーマ: ストレッチ理論とリズム 授業内容: Up (準備運動)→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(基礎タップ・カスタンネット)→ Down ●中心課題: ダンスのリズムの基礎と応用を理解し、チューブを使ったコア強化を行う。 事前学修 2.0hr: 課題のダンスムーブメントを日課に! 事後学修 2.0hr: 習った動きのポイントを復習。
4 回	授業テーマ: リズムを身体で刻む方法や身体のパーツの動かし方をチェック 授業内容: Up (準備運動)→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(基礎タップ・カスタンネット)→ Down ●中心課題: ジャズリズムの強弱を体で表現し、ステップ台を使ったコア運動を体得する。 事前学修 2.0hr: 課題のダンスムーブメントを日課に! 事後学修 2.0hr: 習った動きのポイントを復習。
5 回	授業テーマ: いろいろなリズムで、乗り方と踊り方を学習 1 (シャッフルステップとフラップ) 授業内容: Up (準備運動)→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(基礎タップ・カスタンネット)→ Down ●中心課題: 基礎動作を着実にできるように、スライドボードで下半身の安定性を高める。 事前学修 2.0hr: 課題のダンスムーブメントを日課に! 事後学修 2.0hr: 習った動きのポイントを復習。

6 回	授業テーマ：いろいろなリズムで、乗り方と踊り方を学習2(連続ターンと体幹の安定) 授業内容：Up(準備運動)→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(基礎タップ・カスタネット)→Down ●中心課題：連続ターンを安定させ、チューブを用いた体幹強化を行う。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
7 回	授業テーマ：いろいろなリズムで、乗り方と踊り方を学習3(タイムステップの深化) 授業内容：Up(準備運動)→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(タップ・カスタネット)→Down ●中心課題：リズムの正確性とスピードの安定を目指す。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
8 回	授業テーマ：一連のダンスムーブメントを習得する1(セビジャーナスを踊る) 授業内容：Up(準備運動)→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(タップ・カスタネット)→Down ●中心課題：基礎から応用へ発展させ、音と動きを一致させる。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
9 回	授業テーマ：一連のダンスムーブメントを習得する2(フレンド・ライク・ミーで踊る) 授業内容：Up(準備運動)→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(タップ・カスタネット)→Down ●中心課題：カスタネットおよびタップダンスの一連の動きを学ぶ。用具を使ってコアトレーニング(ステップ台)。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
10 回	授業テーマ：一連のダンスムーブメントを習得する3(動きの繋がりをスムーズ) 授業内容：Up(準備運動)→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(タップ・カスタネット)→Down ●中心課題：音楽との一体感を高め、表現力を向上させる。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
11 回	授業テーマ：一連のダンスムーブメントを習得する4(コンパクトに動く技術) 授業内容：Up(準備運動)→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(タップ・カスタネット)→Down ●中心課題：無駄のない動きで音を明確に出す。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
12 回	授業テーマ：一連のダンスムーブメントを習得する5(作品のまとまり) 授業内容：Up(準備運動)→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(タップ・カスタネット)→Down ●中心課題：動きの間を意識し、滑らかな構成に仕上げる。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
13 回	授業テーマ：一連のダンスムーブメントを習得する6(抑揚と構成美) 授業内容：Up(準備運動)→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(タップ・カスタネット)→Down ●中心課題：作品全体に強弱・緩急をつける。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
14 回	授業テーマ：仲間と作品を踊る 授業内容：Up(準備運動)→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(タップ・カスタネット)→Down ●中心課題：チームでの完成度を高める。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：できなかった動きのポイントを復習。
15 回	授業テーマ：チーム発表・相互評価 授業内容：Up→コアトレ→発表会→Down ●中心課題：作品を発表し、相互評価を通して今後の課題を明確にする。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：自分の課題を整理し次の目標を設定する。

スポーツ科学演習 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：後

矢島 ますみ (やじま ますみ)

■ 授業の概要

◆実技授業◆【ストレッチ&リズムタップダンス(身体感覚向上)リズムセッション】後学期 水 4

柔軟でしなやかな身体を作りながら、リズムに乗って踊る楽しさをさらに深める講座です。授業では、○身体を整えるストレッチとウォーミングアップ ○タップダンスやカスタネットを用いたフラメンコなどのステップ習得 ○学期の後半には、学んだ動きを組み合わせ、みんなで作品として踊るセッションを行います。授業の流れは「ストレッチ」→「ダンスムーブメント」→「リラクゼーション」です。どなたでも安心して参加できます。

●初回水曜 4 (9/16)に、指定の【教室】で人数調整し名簿を作成いたします(10 名~15 名程度)。授業風景は manaba をご覧ください。初回時に、2 回目の持ち物や集合場所等をご案内します。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー: M1 ◎/M2 ◎/M3 ○)

一般目標：自分の身体のイメージを削り、しなやかで強い身体づくりの基礎をさらに発展させます。多様なダンスの基本テクニックを活かし、学んだ動きを組み合わせ、作品として踊る楽しさを体験します。仲間と協力しながら、より表現力豊かにスキルアップを目指します。

個別目標：①基本的なダンスのリズムを理解し、リズムに乗って踊ることができる(カスタネットを奏でながらの演奏・タップダンスを含む)。

- ②体のストレッチやリラクゼーションの方法を理解し、実践できる。
- ③クラスのメンバーと協力し、作品として踊る活動を通して学習できる。

■ 履修条件

定員：10 名~15 名程度

希望者は必ず初回授業に出席してください。初回は、水曜 4 (9/16)に指定教室で行います。

初回到人数調整を行い、明海クラブの入館名簿を作成します。またタップシューズのサイズ合わせも行います。

本授業は、技術を習得する実技授業です。欠席せず、一步一步積み重ねながら学んでいきましょう。

■ 評価基準・方法

授業への参加姿勢：70 % (毎回の授業に積極的に取り組むこと)

クラス仲間とのコミュニケーション：20 % (協力して学ぶ姿勢やチームワーク)

学習の達成度：10 % (技術の習得や学んだことを実践できるか)

※この比重を基本に、授業全体での取り組みを総合的に評価します。

※授業に前向きに参加し、仲間と一緒に楽しみながら学ぶことが大切です。

■ フィードバック方法

授業中の実技映像を manaba で共有し、振り返りやコメントを通して課題達成をサポートします。

学生同士のフィードバックや教員からのアドバイスを活用し、技術向上に役立てます。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (スタジオで仲間同士支え合いながら、課題の身体技術を実際に体験・習得します。協力しながら学ぶことで、技術だけでなくコミュニケーション能力や表現力も向上します)。

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

適宜、資料配布いたします

■ 参考書

適宜、資料紹介いたします

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：オリエンテーション：教室でのガイダンス(人数調整) 授業内容：授業内容の確認、明海クラブ収容人数に合わせた人数調整、名簿作成、タップシューズのサイズ確認、リズムの取り方の基礎確認。 ●中心課題：後期の到達目標を明確にし、自分の課題を再設定する。 事前学修 2.0hr：シラバスを確認する 事後学修 2.0hr：自分の目標課題を見つける。
2 回	授業テーマ：身体のパーツとストレッチとリズム(1) 授業内容：Up (準備運動)→ダンスバリエーション→ダンステクニック(タップダンス・カスタネット)→ Down ●中心課題：明海クラブの設備を活用し、身体の軸と重心を意識して動く。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
3 回	授業テーマ：身体のパーツとストレッチとリズム(2) 授業内容：Up (準備運動)→ダンスバリエーション→ダンステクニック(タップダンス・カスタネット)→ Down ●中心課題：ダンスのリズムを理解し、体幹の安定感を高める運動をする 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
4 回	授業テーマ：身体のパーツとストレッチとリズム(3) 授業内容：Up (準備運動)→ダンスバリエーション→ダンステクニック(タップダンス・カスタネット)→ Down ●中心課題：ジャズリズムの強弱を体で表現し、ステップ台を使ったコア運動を体得する。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
5 回	授業テーマ：ダンスムーブメントで軽やかに(1)リズムにのって 授業内容：Up (準備運動)→ダンスバリエーション→ダンステクニック(タップダンス・カスタネット)→ Down ●中心課題：基礎動作を応用へ発展させ、スライドボードで下半身の安定性を高める。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
6 回	授業テーマ：ダンスムーブメントで軽やかに(2)ステップを使って 授業内容：Up (準備運動)→ダンスバリエーション→ダンステクニック(タップダンス・カスタネット)→ Down ●中心課題：連続ターンを安定させ、チューブを用いた体幹強化を行う。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。

7 回	授業テーマ：ダンスムーブメントで軽やかに(3)バランスを使って 授業内容：Up (準備運動)→ダンスバリエーション→ダンステクニック(タップダンス・カスタネット)→ Down ●中心課題：バランスを意識し、安定した動きと体幹の感覚を向上させる 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
8 回	授業テーマ：タップ&カスタネットで軽やかに(1)技術を正確に 授業内容：Up (準備運動)→ダンスバリエーション→ダンステクニック(タップダンス・カスタネット)→ Down ●中心課題：タップとカスタネットでリズム感を養い、音楽と体を一体化する 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
9 回	授業テーマ：タップダンス&カスタネットで軽やかに(2)ステップを体に 授業内容：Up (準備運動)→ダンスバリエーション→ダンステクニック(タップダンス・カスタネット)→ Down ●中心課題：ステップをマスターし、体にリズムを刻む感覚を身につける 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
10 回	授業テーマ：タップダンス&カスタネットで軽やかに(3)動きをつないで 授業内容：Up (準備運動)→ダンスバリエーション→ダンステクニック(タップダンス・カスタネット)→ Down ●中心課題：ステップを連結し、滑らかで表現力のある動きをつくる 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
11 回	授業テーマ：タップダンス&カスタネットで軽やかに(4)一連の動きで踊って 授業内容：Up (準備運動)→ダンスバリエーション→ダンステクニック(タップダンス・カスタネット)→ Down ●中心課題：一連の動きを組み合わせ、全体の流れて踊る楽しさを体感する 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
12 回	授業テーマ：ダンス・コンビネーション(1)音楽を通して踊る 授業内容：Up (準備運動)→ダンスバリエーション→ダンステクニック(タップダンス・カスタネット)→ Down ●中心課題：音楽に合わせ、リズム・表現力・体の動きを連動させる 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
13 回	授業テーマ：ダンス・コンビネーション(2)友達と合わせて踊る 授業内容：Up (準備運動)→ダンスバリエーション→ダンステクニック(タップダンス・カスタネット)→ Down ●中心課題：ペアやグループで息を合わせ、協調性と表現力を高める 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
14 回	授業テーマ：ダンス・コンビネーション(3)演技を見せあう 授業内容：Up (準備運動)→ダンスバリエーション→ダンステクニック(タップダンス・カスタネット)→ Down ●中心課題：自分の踊りを仲間に見せ、フィードバックを受けて表現力を磨く 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：できなかった動きのポイントを復習。
15 回	授業テーマ：チーム発表・相互評価 授業内容：Up →発表会→ Down ●中心課題：ダンス作品を見せ合い、自己評価と他者評価を通じて成長を確認する 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：自分の課題を整理し次の目標を設定する。

ボランティア講義

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前/後

小川 正純 (おかわ まさすみ)

■ 授業の概要

ボランティアに興味はあるが、何をすればいいのかわからない、本当に意味があるのか不安、と感じたことはありませんか。本講義では、身近なボランティアから海外での活動までを題材に、ボランティアの意義を考えます。本講義は正解のボランティアを教える授業ではありません。グループワーク、プレゼンテーションを通じて、社会とどう関わるかを、自分で考え続けるための視点を身につける授業です。ボランティアとは誰のための行為なのか、善意は本当に相手のためになっているのか、という問いを持ち続けながら学びます。この講義は「国際貢献論」の内容と一部関連・重複する部分があります。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎)

一般目標：ボランティアのあり方と意義、実際にボランティアをする際に自分が考えて行うべき知識・スキルを身につける。

個別目標：1. ボランティアの意義や役割、社会との関係を理解し、説明できる。

2. ボランティアは誰のために何をするのか、社会とどう向き合うべきかを考え、実践を想定しながらボランティアを行う視点を養うことができる。

グループワークで他者と協力して課題に取り組み、気づきを得るとともに、自分の考えを説明できる。最終プレゼンテーションでは、社会課題を整理し、他者に分かりやすく伝える力を身につけることができる。

■ 履修条件

1. 国内外のボランティアや社会課題に関心を持ち、学ぶ意欲があること。
2. グループワークや発表に、積極的に挑戦する意欲があること。
3. 専門知識や経験は不要であり、初めて学ぶ学生も歓迎する。

■ 評価基準・方法

グループワーク、プレゼンテーションへの関与度合い 45 %、毎回のレポート 45 %、授業における参加姿勢 10 %を基に総合的に評価する。考えようとする姿勢を重視し、グループ内での役割分担や協力姿勢も評価する。

原則として5分の4以上の出席を評価の前提条件とする。

■ フィードバック方法

授業時間内での総評及び manaba の個別指導(コレクション)などでフィードバックする。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (グループワーク、グループディスカッション、プレゼンテーション)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし (ただし、プレゼンテーション資料の作成及び発表は PC の利用が好ましい。)

■ 教科書

使用しない。

■ 参考書

特になし。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：イントロダクション：ボランティアとは何かについて 授業内容：講義の目的、授業、到達目標、評価方法の説明とともに、ボランティアの定義、必要条件、どのような活動があるかについて解説し、授業テーマについて意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：ボランティアの関連情報に目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。課題レポート作成。
2 回	授業テーマ：ボランティアの歴史と社会との関わり 授業内容：日本におけるボランティアの歴史とボランティアと社会の関わり、大学生としてできるボランティアの活動について解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、考えを言語化する。 事前学修 2.0hr：ボランティアの歴史について関連情報に目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
3 回	授業テーマ：スーパーボランティアについて学ぶ 授業内容：スーパーボランティア尾島春夫さんの行動や生き方について解説した後、なぜ人は無償で他者を助けるのか、私たち自身にできる社会への関わり方とは何かについて意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：尾島春夫さんについて関連情報を見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
4 回	授業テーマ：援助する前に考えよう 授業内容：ワークショップを通して、開発途上国でものやお金を送る援助、援助が現地に与える影響等について考える。その後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、他者の視点と比較する。 事前学修 2.0hr：国際協力を行うボランティアの関連情報に目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
5 回	授業テーマ：阪神・淡路大震災と東日本大震災のボランティア 授業内容：阪神・淡路大震災と東日本大震災を契機とした日本におけるボランティア活動の広がりについて解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、自分の考えを説明する。 事前学修 2.0hr：阪神・淡路大震災と東日本大震災のボランティアについて関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
6 回	授業テーマ：地方創成・地方活性化のボランティア 授業内容：地域・地方の現状と課題、地方創成においてボランティアや外部人材が果たす役割について解説した後、支援する側/される側ではなく、地域と共に生きる関係性(共助)の重要性について意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：地方創成・地方活性化のボランティアについて関連情報に目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
7 回	授業テーマ：国際協力とボランティア 授業内容：国際協力やボランティアが、現地社会・参加者本人・国際社会にどのような影響を与えるかについて解説した後、授業テーマについて意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：国際協力を行うボランティアの関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。

8 回	授業テーマ：人の人生・尊厳とボランティア 授業内容：海外で活動するボランティアの事例から、他者の人生・尊厳と向き合うことの意味を考える。授業テーマについてグループディスカッションを行い、考えを言語化する。 事前学修 2.0hr：国際協力を行うボランティアの関連情報に目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
9 回	授業テーマ：JICA 海外協力隊について 授業内容：JICA 主催の JICA 海外協力隊セミナーを実施し、海外協力隊の事業概要、海外協力隊経験者体験談を聞き、海外協力隊がどのようなものかについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：JICA 海外協力隊の関連情報に目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
10 回	授業テーマ：ボランティア・コーディネーション 授業内容：ワークショップを通してボランティア・コーディネーションの重要性と、「される側から見たボランティア」について考える。その後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、多様な意見に触れる。 事前学修 2.0hr：ボランティア・コーディネーションについての関連情報に目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
11 回	授業テーマ：在日外国人を支援するボランティア 授業内容：日本にいる外国人を支援するボランティアに関する課題及び支援の必要性と意義について解説した後、授業テーマについて意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：在日外国人の現状についての関連情報に目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
12 回	授業テーマ：グループワーク：プレゼンテーションの準備 授業内容：開発途上国でボランティア活動をする際の支援内容について学ぶ。グループワークにより支援内容と裨益効果を考え、第 14 回、15 回の授業で発表するプレゼンテーションの準備を行う。 事前学修 2.0hr：関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：プレゼンテーション作成の準備。講義の復習。レポート作成。
13 回	授業テーマ：グループワーク：プレゼンテーションの作成 授業内容：グループワークによりプレゼンテーション資料を作成する。発表資料は PC を利用し、パワーポイントなどで行うのが好ましい。発表資料の作成により、自分の意見を表現する力を身につけることができる。 事前学修 2.0hr：それぞれが自分の担当するプレゼンテーション資料の案を考えておく。 事後学修 2.0hr：それぞれが自分の担当するプレゼンテーション資料の案を考えておく。
14 回	授業テーマ：プレゼンテーション① 授業内容：プレゼンテーションは第 14 回と第 15 回の授業で分けて行う。発表は PC を利用し、パワーポイントなどで行うのが好ましい。自分の意見を発表することにより、他者に分かりやすく伝える力を身につけることができる。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーション資料の作成、発表の準備。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
15 回	授業テーマ：プレゼンテーション② 授業内容：第 14 回授業に続き、プレゼンテーションと意見交換を行う。発表は PC を利用し、パワーポイントなどで行うのが好ましい。自分の意見を発表することにより、他者に分かりやすく伝える力を身につけることができる。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーション資料の作成、発表の準備。 事後学修 2.0hr：授業全体のふりかえり。レポート作成。

人間形成ゼミナール

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 2 年次 | 2 単位 | 開講期：前/後

伊藤 直樹 (いとう なおき)

■ 授業の概要

本講義は、対話し、議論し、発表する授業です。映画や漫画や自分たちで決めたテーマを題材にして、それについてグループでディスカッションし、その結果をプレゼンテーションしたり、文章にしたりします。

受講生は最初は初対面ですが、他学部であっても、だんだんと知り合いになり、テーマをとおしての議論も深まります。

また、他人に向けて問いを発するさいに、水平的にのみ問うのではなく、垂直的に、つまり深掘りし哲学的に問うことにも注意を払います。機を見て哲学的な話題を取りあげます。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○)

一般目標：対話する力を養うことです。他人の話しを聞き、それに対して自分の考えを話す。そして自分の考え方を相対化し、深めてゆくことです。そしてそれを文章にする。

個別目標：質問する力をつけることです。人の話を聞くときに、ただ聞くのではなく、質問するつもりで聞く。

そしてその質問を自分にも振り向けます。すると、考え方が深まります。そしてそれを文章にする。それが「考えること」になるのです。

この作業のあるテーマでおこなったり、「映画」でおこなったりします。

■ 履修条件

ディスカッションし、対話し、プレゼンテーションすることが授業内容です。言語は日本語を用いますので、それに十分な日本語力があることが条件です。また人前で話すこととなりますので、それができることも条件です。ただ、人前で話すのがあまり得意でない人は、この授業をとおして、それを身に付けるというふうと考えてもよいでしょう。

■ 評価基準・方法

グループ討議報告レポート 60 %、授業貢献度 40 %です。

レポートは、課題として出されたものの 2 / 3 以上を提出しなければ、カウントされません。

「授業貢献度」とは、出席や授業での討論への自発的参加などです。「聞く」だけの受け身の態度では評価は下がってしまいます。

また、4 / 5 以上の出席がないと単位は取れません。

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。

■ フィードバック方法

manaba を用いておこないます。

適宜、前回の授業を取り上げて、再び議論をします。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (グループ討議・発表)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (文章は PC での作成を推奨しています。)

■ 教科書

教科書として使用しませんが、次の書籍を参考にします。

梶谷真司『考えるとはどういうことか』幻冬舎新書

梶谷真司『書くとはどういうことか』飛鳥新社

■ 参考書

関連する書籍、作品などは授業中に紹介します。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：講義内容の説明 授業内容：講義内容について説明します。単位の取得の条件、授業の展開、心構えなどについての説明です。 事前学修 2.0hr：講義概要を読んで、本講義に期待する内容を考えておく。 事後学修 2.0hr：議論することなどについて、自分なりのイメージをつくる。
2 回	授業テーマ：自己紹介と質問ゲーム：自己紹介を質問ゲームを使って行います。 授業内容：自己紹介を、質問ゲームで行います。紹介者に質問をしますが、よりよい質問のみが、紹介者によって答えられます。どのような質問をすれば、答えてもらえるかを考えながら質問します。 事前学修 2.0hr：自己紹介の内容を考えておく 事後学修 2.0hr：コメントを書く
3 回	授業テーマ：哲学対話についての説明：哲学対話とはどのようなものかを説明します。またレポートの書き方についても説明します。 授業内容：哲学対話について、紹介ビデオを観ながら説明します。哲学対話のテーマを決めます。 残った時間で、レポートの書き方についても説明します。 事前学修 2.0hr：哲学対話について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する。
4 回	授業テーマ：第 1 回「哲学対話」：設定されたテーマについて、みなで議論します。 授業内容：前回決めた哲学対話のテーマを、問いのかたちにし、それについて議論します。 事前学修 2.0hr：テーマについて予め、自分なりの考えをまとめておく 事後学修 2.0hr：議論したテーマについてエッセイ・レポートを書く
5 回	授業テーマ：前回の哲学対話の内容を文章にします。 授業内容：文章を書くとはどういうことかを説明した上で、前回の哲学対話の内容を文章にする作業をします。 事前学修 2.0hr：テーマについて予め、自分なりの考えをまとめておく 事後学修 2.0hr：テーマについてのレポートを仕上げます。
6 回	授業テーマ：あるテーマについてレポートを作成する 授業内容：課されたテーマについてレポートを作成します。 事前学修 2.0hr：テーマについてあらかじめ自分なりの考えをまとめておく 事後学修 2.0hr：テーマについてのレポートを仕上げる
7 回	授業テーマ：映画を観て、議論する 第 1 回：議論の題材となる映画を観ます。 授業内容：映画を観て議論する作業をおこないます。 第 1 回目は、議論するテーマを示したうえで、映画鑑賞をおこないます。 事前学修 2.0hr：映画についての自分なりのイメージをもっておく 事後学修 2.0hr：感想シートの記入

8 回	<p>授業テーマ：映画を観て、議論する第1回続き：映画の続きを観ます。 授業内容：前回の映画鑑賞の続きです。 すこし時間が余りますので、映画の内容についておさらいします。 事前学修 2.0hr：前回までの映画内容の確認 事後学修 2.0hr：設定されたテーマについて考えておく</p>
9 回	<p>授業テーマ：映画を観て、議論する。第1回の続きです。：設定されたテーマについて議論します。 授業内容：予め与えられていたテーマに沿って、映画について議論します。 事前学修 2.0hr：議論するテーマについて考えておく 事後学修 2.0hr：議論内容についての報告レポート作成</p>
10 回	<p>授業テーマ：ディベート：議論をディベート形式で行います。 授業内容：ディベートを行います。ディベートは、予め、賛成／反対の立場を決めたうえで、その立場から議論するものです。 事前学修 2.0hr：設定されたテーマについて考えておく 事後学修 2.0hr：議論内容についての報告レポート作成</p>
11 回	<p>授業テーマ：映画を観て、議論する第2回：映画鑑賞 授業内容：映画を観て議論する作業をおこないます。 今回も、議論するテーマを示したうえで、映画鑑賞をおこないます。 事前学修 2.0hr：映画について自分なりのイメージをもっておく 事後学修 2.0hr：感想シートの記入</p>
12 回	<p>授業テーマ：映画を観て、議論する第2回続き：前回の映画の続きを観る 授業内容：前回の映画鑑賞の続きです。 すこし時間が余りますので、映画の内容についておさらいします。 事前学修 2.0hr：設定されたテーマについて考えておく 事後学修 2.0hr：感想シートの記入</p>
13 回	<p>授業テーマ：映画を観て、議論する第2回：設定されたテーマについて議論する 授業内容：予め与えられていたテーマに沿って、映画について議論します。 すこし時間を残して、次回の哲学対話のテーマを決めます。 事前学修 2.0hr：設定されたテーマについて考えておく 事後学修 2.0hr：テーマについてのレポート</p>
14 回	<p>授業テーマ：第2回「哲学対話」：設定されたテーマについてみなで議論します。 授業内容：決めてあったテーマについて議論をします。 事前学修 2.0hr：あらかじめテーマについて考えておきます 事後学修 2.0hr：テーマについてのレポートを書く</p>
15 回	<p>授業テーマ：レポート講評会：前回書いたレポートを発表し、みなで講評します。 授業内容：前回のテーマについてのレポートをみんなでもちより、講評会をします。 事前学修 2.0hr：前回書いたレポートを発表できるようにしておきます 事後学修 2.0hr：感想シートの提出</p>

人間形成ゼミナール

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 2 年次 | 2 単位 | 開講期：前/後

樋口 倫子 (ひぐち のりこ)

■ 授業の概要

【対話で学ぶピアサポート】

このゼミナールでは、ピアサポーターに求められる基礎的な関わり方として、傾聴および省察に着目し、対人支援における基本姿勢を学ぶことを目的とします。ピアサポートとは、年齢や立場、経験などにおいて比較的近い立場にある人同士が、対等な関係のもとで互いに支え合う実践を指します。専門職による支援とは異なり、「援助する側/される側」という固定的な役割分担ではなく、相互性や共感、経験の共有を基盤とする点に特徴があります。具体的には、他者の語りを評価や解釈を加えずに受け止めること、自身および相手の感情や経験を振り返り言語化すること、助ける・助けられるという一方向的関係ではなく、相互性を基盤とした関係性として支援を捉えることを学びます。本ゼミでは、こうしたピアサポートの基礎的理解と実践的態度の形成を目指します。ここでは、専門的知識の習得そのものよりも、日常の中にあふれている支援場面における姿勢や関わり方、そして気づきのプロセスを重視します。対話を通して生まれる小さな変化や揺らぎを丁寧に振り返ることを通して、他者とともにある在り方を探究していきます。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○)

一般目標：対話的姿勢に基づくピアサポートの理論と実践を統合し、他者との相互性を尊重しながら、大学という場において支え合いを創出できる基礎的な実践力を身につける。

個別目標：・傾聴・リフレクティング・オープンダイアログの基本姿勢を説明できる。

- ・感情・身体感覚・内的対話に気づき、それを言語化できる。
- ・「助ける/助けられる」という一方向的関係ではなく、相互的關係として支援を捉えることができる。
- ・困難場面においても、不確かさにとどまりながら対話を継続する態度を示せる。
- ・学内資源や合理的配慮の視点を踏まえ、必要に応じて「つなぐ」判断ができる。
- ・小規模なピアサポート企画を立案・実践し、そのプロセスを省察できる。

■ 履修条件

他者と共に学習し合う雰囲気や工夫を工夫できること。不得意な場合は、必ず相談のこと(一緒に考えます)。

履修希望者が多数の場合は、履修動機をもとに受講者を決定します(最大受講人数 15 名程度)。受講を希望する者は、第 1 回の講義に必ず出席してください(初回に人数調整を行います)。なお、本ゼミでは時間外の課外活動への参加が必要となります。

また、本講義は、多様な背景や特性をもつ履修者が共に学ぶことを前提としています。学修上の困難さがある場合には、個人の努力のみで解決を求めるのではなく、学修環境や参加方法を調整する合理的配慮を行います。配慮を希望する場合は、事前に担当教員または障がい学生支援室に相談すること。

■ 評価基準・方法

本科目では、学修の過程と省察を重視し、ラーニングポートフォリオを用いて評価を行う。

各回のリフレクションや最終回の講義での統合的振り返りをもとに、対話を通して形成された学びを総合的に評価する。

あわせて、自己評価および授業への参加状況を評価に含める。

■ フィードバック方法

講義終了時の質疑応答、次回講義冒頭での課題についての全体ダイアログとコメントにより実施します。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (Think-Pair-Share Think-Group-Share フィールドワーク ダイアログ リフレクティング)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

なし

■ 参考書

講義内で、適宜紹介する。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：オリエンテーションと学習環境づくり 授業内容：・このゼミの目的・進め方の共有 ・安心して話すためのルール確認 ・ミニ・リスニング体験(導入) 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、印象に残った言葉を拾う。 事後学修 2.0hr：今日の授業で、安心して話せたもしくは話しにくかった場面を振り返り、感じたことを記述する。
2 回	授業テーマ：「聴く」とは何か 授業内容：・傾聴の基本 ・「聞く」と「聴く」の違い ・リスニングワーク① 事前学修 2.0hr：「聴いてもらえた」と感じた経験を思い出し、良かった点を整理する。 事後学修 2.0hr：ワークで難しかった点・できた点を整理し、気づきを記述する。
3 回	授業テーマ：大学におけるピアサポート 授業内容：・大学での実践例 ・専門職支援との違い ・ピアサポートの意義と限界 事前学修 2.0hr：学内で学生同士が支え合っている場面を想像し、知っている点・知らない点を書く。 事後学修 2.0hr：ピアサポートと専門職支援の違い、大学で行う意味を整理する。他大学のピアサポート事例を調べる。
4 回	授業テーマ：感情に注目して聴く 授業内容：・事実と感情を区別する ・感情・身体感覚への気づき ・リスニングワーク②(感情から期待や要求を明確にする) 事前学修 2.0hr：事前配布資料を読む。最近の出来事の一つを選び、事実と気持ちを分けて書いてみる。 事後学修 2.0hr：感情から期待や要求を明確にする聴き方を試し、レポートにまとめる。

5 回	授業テーマ：リフレクティング(会話に関する会話) 授業内容：・内的会話と外的会話 ・話す・聴くを分ける ・リフレクティングワーク 事前学修 2.0hr：事前配布資料を読む。 事後学修 2.0hr：リフレクティングの体験をまとめる。
6 回	授業テーマ：当事者性と対等性 授業内容：・「同じ立場」とは何か ・分かったつもりの危うさとわからないを深める力 ・わかったつもりのダイアログ 事前学修 2.0hr：「わかる」と言われ違和感の経験を振り返り、まとめてくる。 事後学修 2.0hr：当事者性のメリット・難しさ、対等な関係について整理する。
7 回	授業テーマ：中間リフレクション 授業内容：前半の学びを Think-Pair-Share で言語化する。 これまでの学びの整理/変化の振り返り/リフレクティング② リフレクティング・トークの気づきを、全体でシェアする。 事前学修 2.0hr：第1～6回の manaba のリフレクションを読み返し、自分の変化を見つける。 事後学修 2.0hr：ピアサポートの基本姿勢や聴き方・関わり方の変化と今後の課題をまとめる。
8 回	授業テーマ：困ったときの対応とつなぎ 授業内容：・一人で抱え込まない ・相談と連携 ・学内資源の活用 事前学修 2.0hr：困ったとき誰に相談してきたかを振り返る。 事後学修 2.0hr：相談・連携についての気づきをまとめる。
9 回	授業テーマ：支援者のセルフケア 授業内容：・感情労働とは ・こころのセルフケア(レジリエンスとストレスマネジメント)の理論と実践 ・セルフワークやペアワークで、ストレスマネジメントを体験する。 事前学修 1.5hr：これまでに、こころのセルフケアとして、自分なりにどのようなことをやってきたかを振り返る。 事後学修 2.5hr：こころのセルフケアを1週間続けてみる(トライアル)。その結果についてまとめる。
10 回	授業テーマ：2つの問題対処 授業内容：・2種類の問題対処力(ポジティブ・ケイバビリティとネガティブ・ケイバビリティ)について理解する。 ・ポジティブ・ケイバビリティによる問題対処法について、セルフワークを通して身に着ける。 ・ネガティブ・ケイバビリティによる問題対処法について、ダイアログを通して、考える。 事前学修 1.5hr：ポジティブ・ケイバビリティとネガティブ・ケイバビリティに関する資料を事前に読み、疑問点を明らかにしてくる。 事後学修 2.5hr：ポジティブ・ケイバビリティとネガティブ・ケイバビリティを日常の中で活用し、その事例についてまとめる。
11 回	授業テーマ：オープンダイアログ 授業内容：・オープンダイアログの基本的考え方(概要) ・「答えを出さない」「不確かさにとどまる」姿勢 ・ミニ・ダイアログ体験(話す人/聴く人/観察者) 事前学修 2.0hr：事前配布資料を読む。 事後学修 2.0hr：今日の対話で印象に残った「沈黙」や「言葉」を振り返り、オープンダイアログ的な聴き方についての気づきを記述する。
12 回	授業テーマ：障がいと合理的配慮 授業内容：・公正な社会(差別や抑圧のない社会)と多様性尊重社会について考える。 ・新しい社会における障害支援やピア・サポートを考える。 事前学修 1.5hr：日本や世界の多様性尊重社会の取り組みや背景について調べてくる。 事後学修 2.5hr：新しい社会における障害支援やピア・サポートに関する考えをまとめる。
13 回	授業テーマ：ピアサポートを実践する① 授業内容：・これまでの学びを踏まえ、学内でのピアサポート企画を立案する。 ・目的・対象・方法・ルールを検討する。 ・合理的配慮の視点を含めた参加設計を考える。 ・グループ間でリフレクティングを行い、改善点を整理する。 事前学修 2.0hr：これまでの学びを振り返り、実践したいテーマを考えてくる。 事後学修 2.0hr：企画の強みと改善点を整理し、次回に向けた目標をまとめる。
14 回	授業テーマ：ピアサポートを実践する② 授業内容：・ピアサポート企画を実践する。 ・実践後、リフレクティングを行う。 ・対話の中で起きたことを共有し、学びを統合する。 事前学修 2.0hr：自分の役割を確認し、想定される困難を整理する。 事後学修 2.0hr：実践を振り返り、気づきと今後の課題をまとめる。
15 回	授業テーマ：ピアサポート実践のまとめとリフレクション 授業内容：・実践の中で生じた気づき、関係の変化、困難への対応を共有する。 ・対話的姿勢や相互性の観点から、自身の学びを整理する。 ・今後の学内でのピアサポートの可能性を検討する。 事前学修 1.5hr：実践時の記録やポートフォリオを読み返し、印象に残った場面を整理する。 事後学修 2.5hr：ピアサポート実践を通して得た学びと今後の課題をまとめ、最終レポートとして提出する。

人間形成ゼミナール

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 2 年次 | 2 単位 | 開講期：前/後

矢島 ますみ (やじま ますみ)

■ 授業の概要

◆少人数トークゼミ◆【エンターテインメント文化研究ゼミ～ディズニーの経営学を中心に～】(前学期 月2 /後学期 月2)

このゼミでは、ディズニーの「おもてなし」や「組織のしくみ」に関するテキストを読み解きながら、これからのエンタメ産業や遊びの文化がどう変わっていくのか、テキストのプレゼンや仲間との対話を通じて自分の考えを深めていきます。

「ディズニーについて語りたい」「経営の基本を知りたい」「エンタメビジネスに興味がある」という方の参加をお待ちしています。

重要(人数調整)：初回に 12 名～ 15 名程度の人数調整を行いますので、履修希望者は必ず出席してください。

初回日程：【前学期】4月6日(月2) / 【後学期】9月14日(月2)

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○)

一般目標：ゼミナール【Seminar】とは、少人数の学生が集まり、教員の指導のもとで自ら調査・研究を行い、発表や討論を通して理解を深めていく授業形態です。

本ゼミでは、ディズニーを中心としたエンターテインメント文化と、その背景にある経営学およびマネジメントの考え方について学びます。

トーク形式の議論を重ねることで、物事を多角的に分析する力を養い、エンターテインメントを社会・経済・文化の視点から捉える広い視野を身につけることを目標とします。

個別目標：① アミューズメント産業およびエンターテインメント産業の現状について、基礎的な知識をもとに説明することができる。

② 米国ディズニーの経営システムを理解し、その考え方を他の分野や事例に応用する視点をもつことができる。

③ 仲間と協働しながらテーマに沿って対話・ディスカッションを行い、その内容を整理してプレゼンテーションすることができる。

■ 履修条件

履修者は 12 名～15 名程度。ディズニーが好きの方、エンターテインメント産業の経営に強い興味・関心をもつ方を歓迎します。

履修を希望する学生は、前期は 4 月 6 日(月 2)、後期は 9 月 14 日(月 2)の初回授業に必ず出席してください。

本ゼミは少人数のトークゼミであるため、原則として欠席を避け、継続的に参加しながら、一步一步学びを積み重ねていきましょう。

■ 評価基準・方法

成績評価は、授業への参加姿勢(60%)、クラス仲間とのコミュニケーション(30%)、および学修内容の理解や到達度(10%)を基準とし、総合的に評価します。

■ フィードバック方法

個人またはグループでの発表を予定しているため、manaba のプロジェクト機能や小テスト機能を活用し、情報や意見の共有を行いながら、授業内容に対するフィードバックを行います。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (毎回メンバー同士のディスカッション)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし (発表担当者はプレゼン資料を作成し、プレゼンしていただきます)

■ 教科書

「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法(日経ビジネス人文庫)」ディズニー・インスティテュート(著)を利用しますが、教員が用意します。

■ 参考書

「どんな人も活躍できる ディズニーのしくみ大全」大住 力(著)

■ 授業テーマ・授業内容と授業外(事前・事後)の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：セクション(人数調整)とミーティング 授業内容：初回授業では、セクション(人数調整)およびオリエンテーションを行い、授業内容について確認します。履修希望者が定員(12 名～15 名程度)を超えた場合は、志望動機等を確認したうえで、適正な人数に調整します。 メンバー決定後は、各自の興味・関心について情報交換を行い、今後の授業の進め方やゼミの展開について確認します。 事前学修 2.0hr：シラバスを理解してくる。 事後学修 2.0hr：自分の好きな分野の遊び文化の状況をリサーチする。
2 回	授業テーマ：遊びの文化とはなにか？ アミューズメント産業・エンターテインメント産業とはなにか？ 授業内容：「遊びの文化とは何か」「アミューズメント産業およびエンターテインメント産業とは何か」をテーマに、基礎的な概念についてディスカッションを行います。あわせて、テキスト『ディズニーが教える お客様を感動させる最高の方法(日経ビジネス人文庫)』を用いた学修を開始します。 事前学修 2.0hr：遊び(Play)の定義について考えてくる。 事後学修 2.0hr：遊びの定義をまとめる。
3 回	授業テーマ：ウォルト・ディズニーを知る(1)ーミッキーマウスの誕生ー 授業内容：ディズニー研究の基礎として、創業者であるウォルト・ディズニー(Walt Disney, 1901 年- 1966 年)について理解します。本回では、ウォルト・ディズニーの人物像と、ミッキーマウス誕生の背景を中心に取り上げます。あわせて、テキスト『ディズニーが教える お客様を感動させる最高の方法(日経ビジネス人文庫)』について、今後の発表担当を決定します。 事前学修 2.0hr：興味のある遊びネタ・話題を調べる。 事後学修 2.0hr：アミューズメント産業・エンターテインメント産業の広がりをもとめる(発表担当はプレゼン資料を作成)。
4 回	授業テーマ：ウォルト・ディズニーを知る(2)ーアニメーションの創造ー 授業内容：ディズニー研究の基礎として、引き続きウォルト・ディズニーについて理解を深めます。本回では、ディズニーにおけるアニメーション創造の卓越性と、その背景にある発想や価値観について考察します。あわせて、テキストの発表およびディスカッションを行います。 事前学修 2.0hr：ウォルト・ディズニーの実績(作品)について調べてくる。 事後学修 2.0hr：ウォルト・ディズニーの作品を観てくる(発表担当はプレゼン資料を作成)。
5 回	授業テーマ：ウォルト・ディズニーを知る(3)ー混乱の社会における表現ー 授業内容：ディズニー研究の基礎として、引き続きウォルト・ディズニーについて理解を深めます。本回では、戦争という時代背景のもとでの表現活動や、社会の混乱の中で示されたウォルト・ディズニーの生き方や思想について考察します。あわせて、テキストの発表およびディスカッションを行います。 事前学修 2.0hr：ディズニー社の歴史的展開を調べてくる。 事後学修 2.0hr：ウォルトが残した格言について調べておく(発表担当はプレゼン資料を作成)。
6 回	授業テーマ：ウォルト・ディズニーを知る(4)ディズニーランドの建設 授業内容：ディズニー研究の基礎として、引き続きウォルト・ディズニーについて理解を深めます。本回では、1955 年に開園したディズニーランドの建設過程と、「夢の国」が誕生するまでの構想や挑戦について考察します。あわせて、テキストの発表およびディスカッションを行います。 事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。 事後学修 2.0hr：ウォルトの人となりをもとめておく(発表担当はプレゼン資料を作成)。

7 回	<p>授業テーマ：「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法」を読み解く(1)ゲストロジとゲストとの約束</p> <p>授業内容：テキストの内容をもとに、「ゲストロジ」および「ゲストとの約束」という概念について理解を深めます。また、ディズニーリゾートとユニバーサル・スタジオ・ジャパンの強みを比較し、エンターテイメント施設における顧客体験の特徴について考察します。あわせて、テキストの発表およびディスカッションを行います。</p> <p>事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。</p> <p>事後学修 2.0hr：本日の部分をまとめる(発表担当はプレゼン資料を作成)。</p>
8 回	<p>授業テーマ：「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法」を読み解く(2)第一印象</p> <p>授業内容：テキストの内容をもとに、「第一印象」の重要性について理解を深めます。また、ディズニーに関する話題や関連イベントについて、メンバー同士で情報共有を行い、意見交換を通して考察を深めます。あわせて、テキストの発表およびディスカッションを行います。</p> <p>事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。</p> <p>事後学修 2.0hr：本日の部分をまとめる(発表担当はプレゼン資料を作成)。</p>
9 回	<p>授業テーマ：「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法」を読み解く(3)サービスのカスタマイズ</p> <p>授業内容：テキストの内容をもとに、「サービスのカスタマイズ」という視点から、ディズニーにおける顧客対応の特徴について理解を深めます。また、ディズニーに関する話題や関連イベントについてメンバー同士で情報共有を行い、意見交換を通して考察します。あわせて、テキスト内容に関する発表およびディスカッションを行います。</p> <p>事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。</p> <p>事後学修 2.0hr：本日の部分をまとめる(発表担当はプレゼン資料を作成)。</p>
10 回	<p>授業テーマ：「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法」を読み解く(4)セットとは</p> <p>授業内容：テキストの内容をもとに、「セット」という概念について理解を深め、ディズニーにおける空間演出や体験設計の特徴について考察します。また、ディズニーに関する話題や関連イベントについてメンバー同士で情報共有を行い、意見交換を通して理解を深めます。あわせて、テキスト内容に関する発表およびディスカッションを行います。</p> <p>事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。</p> <p>事後学修 2.0hr：本日の部分をまとめる(発表担当はプレゼン資料を作成)。</p>
11 回	<p>授業テーマ：「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法」を読み解く(5)効果と五感</p> <p>授業内容：テキストの内容をもとに、ディズニーの演出が生み出す「効果」と五感を通した顧客体験について理解を深めます。また、ディズニーに関する話題や関連イベントについて、メンバー同士で情報共有を行い、意見交換を通して考察します。あわせて、テキスト内容に関する発表およびディスカッションを行います。</p> <p>事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。</p> <p>事後学修 2.0hr：本日の部分をまとめる(発表担当はプレゼン資料を作成)。</p>
12 回	<p>授業テーマ：「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法」を読み解く(6)ゲストの不満</p> <p>授業内容：テキストの内容をもとに、ゲストの不満やクレームへの対応の重要性について理解を深めます。また、ディズニーに関する話題や関連イベントについて、メンバー同士で情報共有を行い、意見交換を通して考察します。あわせて、テキスト内容に関する発表およびディスカッションを行います。</p> <p>事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。</p> <p>事後学修 2.0hr：担当するフィールドワーク研究対象の調査方法・段取りを考えてくる。</p>
13 回	<p>授業テーマ：「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法」を読み解く(7)不満を解消する</p> <p>授業内容：テキストの内容をもとに、ゲストの不満をどのように解消し、感動体験に変えていくかについて理解を深めます。また、ディズニーに関する話題や関連イベントについて、メンバー同士で情報共有を行い、意見交換を通して考察します。あわせて、テキスト内容に関する発表およびディスカッションを行います。</p> <p>事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。</p> <p>事後学修 2.0hr：本日の部分をまとめる(発表担当はプレゼン資料を作成)。</p>
14 回	<p>授業テーマ：「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法」を読み解く(8)クオリティ・サービス</p> <p>授業内容：テキストの内容をもとに、ディズニーが提供するクオリティの高いサービスについて理解を深めます。また、ディズニーに関する話題や関連イベントについて、メンバー同士で情報共有を行い、意見交換を通して考察します。あわせて、テキスト内容に関する発表およびディスカッションを行います。</p> <p>事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。</p> <p>事後学修 2.0hr：本日の部分をまとめる(発表担当はプレゼン資料を作成)。</p>
15 回	<p>授業テーマ：まとめ：ディズニー社はどこにいくのか？</p> <p>授業内容：全体を通じて学んだ内容をまとめます。本回では、ウォルト・ディズニー(Walt Disney, 1901年-1966年)の功績を振り返るとともに、ディズニー社が今後どのように発展していくのか、またエンターテイメント産業の将来像について考察し、ディスカッションを行います。</p> <p>事前学修 2.0hr：ウォルト・ディズニーとディズニー社の歴史・功績についてまとめる。</p> <p>事後学修 2.0hr：アミューズメント&エンターテイメント産業についてまとめる。</p>

人間形成ゼミナール

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 2 年次 | 2 単位 | 開講期：前/後

矢島 ますみ (やじま ますみ)

■ 授業の概要

◆少人数トークゼミ◆【劇場文化研究ゼミ】ミュージカルを見に行こう！(前学期 火3 /後学期 火3)

本ゼミでは、ミュージカルや 2.5 次元舞台、歌舞伎などの舞台表現を題材に、実際に舞台を鑑賞する体験を通して、東西の劇場文化の特徴や面白さを語り合うクラスです。鑑賞する舞台には、「美女と野獣」「アナと雪の女王」「アラジン」「ミュージカル『SPY × FAMILY』」などがあります。

また、テキスト『2.5 次元舞台へようこそ ミュージカル『テニスの王子様』から『刀剣乱舞』へ』を用いて、順番にプレゼンテーションを行いながら、現代の舞台表現について考えていきます。演劇やミュージカル、舞台芸術・表現に関心のある方を歓迎します。

初回授業では、人数調整(12 名～15 名程度)を行いますので、前期は 4 月 7 日(火 3)、後期は 9 月 15 日(火 3)に必ず出席してください。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○)

一般目標：ゼミナール【Seminar】とは、大学で少人数の学生が集まり、教員の指導のもとで自ら研究し、発表や討論を通して理解を深めていく授業形態です。本ゼミでは、実際に舞台を鑑賞する体験を行い、その経験を踏まえながら、テキストやゼミ仲間との議論を通して舞台や表現について語り合います。これにより、西洋と日本の舞台の特徴を理解し、説明できる力を養います。

個別目標：①日本と西洋の舞台表現の歴史を理解し、その特徴を説明できるようにします。

②日本文化と西洋文化の発展の歴史を比較し、概略を整理して述べられるようにします。

③仲間と協力してフィールドワークを行い、その成果を有効にプレゼンテーションできる力を身につけます。

■ 履修条件

定員は 12～15 名程度です。舞台・芸能・ダンスに関心のある方や、経験のある方、そしておしゃべりが大好きな方を歓迎します。

履修を希望する方は、初回授業の人数調整に必ず出席してください。前期は 4 月 7 日(火 3)、後期は 9 月 15 日(火 3)です。本ゼミは少人数で運営するため、原則として欠席せず、一步一步学びを積み重ねてまいります。

また、ゼミの中心であるフィールドワーク(観劇活動)には、チケット代などの費用がかかります。大学の活動助成金を申請予定ですが、ある程度の自己負担が必要になることをご承知おきください。

■ 評価基準・方法

本ゼミの評価は、授業への参加姿勢(60%)、クラス仲間とのコミュニケーション(30%)、学習達成度(10%)**を基本の比重として、総合的にを行います。

■ フィードバック方法

授業のほか、授業外で観劇活動をしていただきますので、manaba のプロジェクトや小テスト機能を有効に利用しながら情報・意見交換や授業内容のフィードバックをしていきます。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (毎回メンバー同士のディスカッション)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし (発表担当者はプレゼン資料を作成し、プレゼンしていただきます)

■ 教科書

2.5 次元舞台へようこそ ミュージカル『テニスの王子様』から『刀剣乱舞』へ (星海社新書) (教員が用意します)

■ 参考書

適宜、資料紹介いたします

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：セレクション(人数調整)とガイダンス 授業内容：授業の目的・進め方を確認します。履修希望者が多い場合は志望動機を確認し、ディスカッションに適正な人数への選抜を行います。メンバー決定後、自己紹介および鑑賞希望作品についての意見交換を行います。 事前学修 2.0hr：シラバスを熟読し、本授業の目的を理解しておく。 事後学修 2.0hr：今期鑑賞可能な舞台情報を収集し、候補を絞り込む。
2 回	授業テーマ：舞台の魅力の探求 授業内容：舞台芸術にはどのような種類があるのか？ その魅力とは何かをディスカッションします。各自、鑑賞候補作品をリストアップし、スケジュールを確認します。 事前学修 2.0hr：興味のある舞台ジャンルについて、最新の上演スケジュールを調べる。 事後学修 2.0hr：鑑賞候補作品の上演期間・場所・チケット代金を具体的に確認する
3 回	授業テーマ：身体・思想・メッセージ：西洋と日本の比較 授業内容：日本と西洋の舞台における表現技法や思想の違いについてディスカッションします。テキスト『2.5 次元舞台へようこそ』を配布し、今後の輪読計画を立てます。 事前学修 2.0hr：伝統芸能(歌舞伎等)と現代演劇(ミュージカル等)の表現の違いを調べておく。 事後学修 2.0hr：鑑賞作品を決定し、チケットの手配を開始する。
4 回	授業テーマ：ミュージカルと 2.5 次元舞台の表現構造 授業内容：ミュージカルの三要素(歌・ダンス・演劇)の特徴と、2.5 次元舞台が何を表現しようとしているのかを考察します。テキストの発表担当を決定します。 事前学修 2.0hr：自身の鑑賞予定作品のあらすじを確認する。 事後学修 2.0hr：発表担当は発表資料を作成する。鑑賞活動がある人は実施する。
5 回	授業テーマ：2.5 次元舞台の定義と現状 授業内容：テキスト「第 1 章 2.5 次元舞台とは」の発表とディスカッション。現代のエンターテインメントにおける 2.5 次元の位置づけを考えます。※鑑賞済みの学生は随時報告を開始 事前学修 2.0hr：テキスト第 1 章を読み、疑問点を抽出する。 事後学修 2.0hr：発表担当は発表資料を作成する。鑑賞活動がある人は実施する。
6 回	授業テーマ：テニスの王子様：ムーブメントの原点 授業内容：テキスト「第 2 章 すべてはミュージカル『テニスの王子様』から始まった」の発表とディスカッション。鑑賞作品の具体的な見どころを整理します。 事前学修 2.0hr：第 2 章の精読、発表資料の作成。 事後学修 2.0hr：発表担当は発表資料を作成する。鑑賞活動がある人は実施する。
7 回	授業テーマ：宝塚歌劇と 2.5 次元のミッシングリンク 授業内容：古典としての歌舞伎の要素を孕みつつ、少女漫画を舞台化した宝塚の影響を考察。テキスト「第 3 章 2.5 次元舞台誕生前夜」の発表とディスカッション。 事前学修 2.0hr：宝塚歌劇団の歴史について概要を調べておく。 事後学修 2.0hr：発表担当は発表資料を作成する。鑑賞活動がある人は実施する。

8 回	授業テーマ：舞台表現の革命：弱虫ペダルの衝撃 授業内容：自転車を使わずに自転車レースを表現した手法など、2.5次元特有の演出を考察。テキスト「第4章 劇場から飛び出した舞台『弱虫ペダル』の誕生」の発表とディスカッション。 事前学修 2.0hr：歌舞伎や2.5次元舞台における「見立て」の技法を調べる。 事後学修 2.0hr：発表担当は発表資料を作成する。鑑賞活動がある人は実施する。
9 回	授業テーマ：舞台を支える役者たちの身体性 授業内容：前半戦の振り返りと個人活動状況の確認。テキスト「第5章 2.5次元舞台の可能性を信じる役者たち」の発表とディスカッション。 事前学修 2.0hr：注目の舞台俳優やそのトレーニング方法について調べる。 事後学修 2.0hr：発表担当は発表資料を作成する。鑑賞活動がある人は実施する。
10 回	授業テーマ：観客が作る舞台空間 授業内容：舞台と観客の関係性について。テキスト「第6章 2.5次元舞台を観てみませんか」の発表とディスカッション。鑑賞活動プレゼン。 事前学修 2.0hr：舞台批評やファンの感想ブログなどを読み、観客の反応を分析する。 事後学修 2.0hr：発表担当は発表資料を作成する。鑑賞活動がある人は実施する。
11 回	授業テーマ：刀剣乱舞：メディアミックスの極致 授業内容：ゲームから舞台、そして社会現象へ。テキスト「第7章 『刀剣乱舞』という全方位のコンテンツ」の発表とディスカッション。鑑賞活動プレゼン。 事前学修 2.0hr：メディアミックス戦略の成功事例を調べておく。 事後学修 2.0hr：発表担当は発表資料を作成する。鑑賞活動がある人は実施する。
12 回	授業テーマ：受け手の視点と愛の形 授業内容：舞台を愛するファンの心理と消費行動について。テキスト「第8章 2.5次元舞台を愛する受け手の視点」の発表とディスカッション。鑑賞活動プレゼン。 事前学修 2.0hr：推し活やファンコミュニティのあり方について考える。 事後学修 2.0hr：最終レポートの完成度を高める。
13 回	授業テーマ：和魂洋才の舞台構造：西洋と日本の融合 授業内容：鑑賞活動とテキストの学びを総括し、日本独自の舞台表現の構造についてディスカッションします。 事前学修 2.0hr：西洋演劇と日本演劇の構造的特徴を比較検討する。 事後学修 2.0hr：ディスカッションの内容を反映し、レポートを最終化する。
14 回	授業テーマ：未来の舞台芸術：トレンドの予測 授業内容：現代の観客が求めているテーマとは何か？ 今後の舞台芸術のトレンドについてメンバーで予測・討論します 事前学修 2.0hr：近年のヒット作に共通する要素を抽出しておく。 事後学修 2.0hr：自身の「理想の舞台」についての意見をまとめておく。
15 回	授業テーマ：デジタル社会と生のパフォーマンス 授業内容：コロナ禍を経て進化したネット配信と、劇場での生の体験の価値。今後の舞台芸術の発展可能性についてまとめます。 事前学修 2.0hr：14回までの学習内容全体を振り返る。 事後学修 2.0hr：本講義全体を通じた自己評価を行う。

日本の歴史

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前/後

野田 有紀子 (のだ ゆきこ)

■ 授業の概要

高校まで「歴史」の授業を受けてきた皆さんは、「歴史」というと昔の年号や用語の“暗記”ばかりの学問という印象を持っているかもしれませんが、実は「歴史」という学問は、歴史上の出来事や人物や物品を通して、現代までの流れを“考える”ための学問です。また、日本の歴史を考えるためには、日本のことだけでなく、日本と海外との“交流”や“比較”という視点も重要です。この講義では日本の歴史、とくに古代(飛鳥時代・奈良時代・平安時代)のなかで、皆さんが身近に感じられるようないくつかの具体的なテーマをとりあげて、国内外の文献や絵画、地図や系図、遺跡や文化財の写真など、さまざまな歴史資料を用いて、多角的・視覚的に解説します。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー: M1 ○/M2 ○/M3 ●)

一般目標：日本の歴史に関するさまざまな資料を観察し、その背景を知ることにより、現代の日本の姿は、過去の歴史の流れの上に形成されてきたものであることを理解できるようにしましょう。また、海外との交流や、外国人からの視点、日本と海外との比較といった、国際的な観点からも日本を見る姿勢を養いましょう。

個別目標：①日本の歴史を理解するために、さまざまな歴史資料を観察して、その背景や価値を理解できるようになる。
②日本と海外との交流や比較といった国際的視野を身につけられる。

■ 履修条件

特にありませんが、日本の歴史や文化に興味をもって授業にのぞんでください。

■ 評価基準・方法

定期試験は実施しません。

毎回、授業中～後に manaba から事後課題(小テスト)を提出してもらうことによって、内容理解を確認します。

全 15 回分の事後課題(小テスト)の提出率・合計点、授業への参加姿勢を合わせて、総合的に評価します(100%)。

*原則として、5 分の 4 以上の出席を評価対象とします。

*授業を欠席した場合でも、事後課題(小テスト)は必ず提出してください。

*欠席した場合は、事後課題(小テスト)に加え、manaba から【欠席者★追加課題】を提出してください。出席扱いとします。(公欠の場合をのぞく)

■ フィードバック方法

事後課題(小テスト)のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。

*質問などがあれば、manaba から連絡してください。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

なし

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

使用しません。

*毎回の授業前に、manaba を通じて資料 pdf を配布しますので、各自ダウンロードして予習してください。

■ 参考書

特に指定しません。

(ある場合は授業ごとに紹介します)

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：《はじめに》文化財の基礎知識①文化財保護法～「保存」と「活用」 授業内容：この講義では、「日本の歴史」を学習する上で「国宝」や「史跡」といった、文化財をたくさん紹介します。そこで第 1 回目の今回は、文化財の基礎知識として、①「文化財保護法」の目的、②文化財の分類のうち「有形文化財」(国宝など)について、③博物館の機能について学びます。 事前学修 2.0hr：興味のある文化財の内容について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
2 回	授業テーマ：文化財の基礎知識②「記念物」～飛鳥の「史跡」めぐり 授業内容：前半は、「文化財保護法」での分類のうち「記念物」(史跡など)について説明します。後半では、飛鳥時代(592～710)に宮都が置かれた「飛鳥」(奈良県明日香村)の史跡めぐりをしましょう。 事前学修 2.0hr：飛鳥時代のおもな舞台となった奈良県明日香村の地理や史跡について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
3 回	授業テーマ：古代の遷都～大和朝廷から律令国家へ【古墳時代～飛鳥時代】 授業内容：古墳時代の「歴代遷宮」から、飛鳥時代の藤原京(694 年遷都)まで、古代の都の史跡をたどりながら、律令国家が形成されていく過程について学びます。 事前学修 2.0hr：古墳時代から飛鳥時代までの遷都や歴史の流れについて調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
4 回	授業テーマ：平城京遷都～正倉院の世界【奈良時代】 授業内容：日本古代の「遷都」は、「律令国家の形成」と深い関係があります。今回は奈良の都「平城京」(710 年遷都)の史跡めぐりと、遷都の理由、さらに今日まで伝わる正倉院宝物の歴史について学びます。 事前学修 2.0hr：平城京への遷都や律令・戸籍の施行など、奈良時代の歴史の流れについて調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
5 回	授業テーマ：平安京遷都～千年の都【平安時代】 授業内容：いよいよ平安京に到着です!!まず平安京へ遷都(794 年)した過程と理由について学習します。さらに、平安宮跡が現在どのように保存されているか確認しながら、史跡めぐりをしましょう。 事前学修 2.0hr：平安京への遷都や、京都の地理や史跡について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
6 回	授業テーマ：〈計画都市〉平安京～「かたち」と「くらし」【平安時代】 授業内容：〈計画都市〉として建設された「平安京」が、遷都後しだいに、かたちを変えていった過程と理由について学びます。さらに、平安京での都市民のくらしをさぐりましょう。 事前学修 2.0hr：平安時代の歴史の流れについて調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
7 回	授業テーマ：日本古代の風習と唐風化【弥生時代～平安時代初期】 授業内容：『魏志倭人伝』や、人物埴輪に見える日本古代の風習が、律令国家の形成とともに、どのように「唐風化」していったかを学びます。 事前学修 2.0hr：魏志倭人伝の内容や、遣隋使・遣唐使の役割について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。

8 回	<p>授業テーマ：唐風文化から国風文化へ～「ひらがな」と「十二単」の誕生〔平安時代中期〕</p> <p>授業内容：9世紀までの唐風文化が、10世紀から国風文化(かな文字・かな文学、十二単などの衣装)に発展していった過程を学習します。</p> <p>事前学修 2.0hr：かな文字・かな文学、十二単などの衣装に代表される、平安時代の国風文化について調べておく。</p> <p>事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。</p>
9 回	<p>授業テーマ：天皇と貴族「藤原氏」～中臣鎌足から藤原道長まで〔飛鳥時代～平安時代中期〕</p> <p>授業内容：今回と次回は、平安貴族社会における「天皇と貴族との関係」がテーマです。今回の前半は、「貴族」とは何かを説明します。後半では、貴族のなかで「藤原氏」(北家本流)が、天皇との関わりのなかで、どうやって貴族のトップを独占するようになったかを、中臣鎌足の「藤原氏の誕生」から、藤原道長の「全盛期」までの軌跡をたどって学びます。</p> <p>事前学修 2.0hr：飛鳥時代から摂関期までの政治の流れについて調べておく。</p> <p>事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。</p>
10 回	<p>授業テーマ：古代の専門職～貴族社会をどう生きるか〔平安時代中期〕</p> <p>授業内容：貴族社会において、藤原氏北家本流以外の氏族がどうやって生き残っていったかを、①地方に土着(武士化・武士団)コース、②専門職を世襲コース、③権力者に奉仕コースに分けて学習します。</p> <p>事前学修 2.0hr：陰陽師や武士など、平安時代のさまざまな職業について調べておく。</p> <p>事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。</p>
11 回	<p>授業テーマ：日本古代の子ども～誕生から成人まで〔平安時代中期〕</p> <p>授業内容：現代日本で行われている「誕生～成人までの通過儀礼」は、平安時代(9世紀)から記録されています。今回は平安貴族家庭の、結婚儀礼と、誕生から成人までの通過儀礼を学習し、今日行われている結婚儀礼・通過儀礼とのつながりを学びましょう。</p> <p>事前学修 2.0hr：子どもの誕生や成長に関する儀礼について調べておく。</p> <p>事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。</p>
12 回	<p>授業テーマ：平安貴族女性の教育と仕事～「女房」と「斎王」〔平安時代中期〕</p> <p>授業内容：まず平安貴族家庭の男子と女子の教育の違いについて説明します。つぎに、貴族女性の仕事をテーマに、皇族・貴族に仕える侍女「女房」と、伊勢神宮の巫女「斎王」について学びましょう。</p> <p>事前学修 2.0hr：紫式部や清少納言といった平安時代の女性について調べておく。</p> <p>事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。</p>
13 回	<p>授業テーマ：欧米から見た日本①日本情報の報告〔鎌倉時代～江戸時代〕</p> <p>授業内容：今回と次回は、これまで学んできた古代の「唐風化」と比較するため、近代の「欧米化」について学習します。今回は中世～近世の日本情報を、欧米人がどのように記録・報告したかを学びましょう。</p> <p>事前学修 2.0hr：宣教師の来日や、江戸時代の鎖国と出島について調べておく。</p> <p>事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。</p>
14 回	<p>授業テーマ：欧米から見た日本②文明開化と欧米化〔江戸時代末期～明治時代初期〕</p> <p>授業内容：19世紀後半(江戸時代末期～明治時代初期)、訪日した欧米人が見た日本の風習と、明治政府による風習の欧米化政策を学びましょう。</p> <p>事前学修 2.0hr：明治時代の文明開化について調べておく。</p> <p>事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。</p>
15 回	<p>授業テーマ：《おわりに》海外に流出した日本文化財〔明治時代～現代〕</p> <p>授業内容：19世紀後半以降、日本の文化財が軽視・廃棄され、海外に流出した背景と、それを防ぐための文化財保護の法律や政策について学習します。</p> <p>事前学修 2.0hr：文化財保護の法律や制度について調べておく。</p> <p>事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。</p>

国際関係論

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前/後

東 夢子 (あすま ゆめこ)

■ 授業の概要

この授業の目的は多極化する世界に移行し、不確実性を増しつつある今日において、日本をめぐる国際関係を考え、日本の重要性を認識し、明日の国際関係を洞察する力を養うことにある。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎)

一般目標：今まで日本にとって、一番重要な国際関係—日米関係、日英関係、日露関係、日韓関係、日中関係、日本と東南アジアの関係などを顧みることによって、先人の英知を学び、危機の状況下における物事の見方、考え方を身に付けることができる。

個別目標：未来の国際社会で活躍する時に必要な先見性、合理性、国際関係に対する分析力を身に付けるということを目指とする。

■ 履修条件

学習する意欲のある者。自己学習の習慣を有する者。特に自分で調べることがレポート作成の上で重要なので、自己学習能力が是非とも必要である。

■ 評価基準・方法

①期末テストの代わりに、毎回のレポート 50 %、レポートに必要な予備知識のアンケート 10 %と授業への参加 (DVD をきちんと見て、レスポンスに感想を書く) 40%等で総合的に評価する。また、原則として5分の4以上の出席を評価の前提条件とする。

②レポートの提出が 12 回以上でなければ、不合格となる。

③毎回のレポートに字数の規定(毎回、3 問の課題があり、1 問は大体 300 文字~400 文字)があり、極端に字数が少ない場合、評価不能とされることがあるので、ご注意ください。

④レポートの提出と質問へのフィードバックは manaba を経由する。

■ フィードバック方法

授業中で説明します。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

なし

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

岩下哲典著『近現代日本の国際関係』北樹出版 ISBN978-4-7793-0285-5 C3021

■ 参考書

- 1、國史大辞典/国史大辞典編集委員会編出版 東京：吉川弘文館，1979.3-1997.4
- 2、教科書の参考文献及び各授業中で流す DVD の内容に沿う学術論文と著作。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：オリエンテーション 授業内容：江戸幕府の政治構造と授業スタイルについての説明。 事前学修 2.0hr：1820 年代から 1950 年までの日本をめぐる大事件について簡単に調べる。 事後学修 2.0hr：授業中で指示された歴史用語について調べる。
2 回	授業テーマ：日本とオランダの関係＝シーボルトと日本開国 授業内容：シーボルトと日本開国 事前学修 2.0hr：シーボルトについて「國史大辞典」などで調べる。 事後学修 2.0hr：シーボルトの伝記を読む。
3 回	授業テーマ：日米関係(日米和親条約) 授業内容：ペリー来航幕府が知っていた。 事前学修 2.0hr：ペリー来航前後の日本をめぐる世界情勢について調べる。 事後学修 2.0hr：老中阿部正弘について調べる。
4 回	授業テーマ：日米関係 授業内容：(日米修好通商条約)＝通商か亡国か。ハリスと幕府交渉の過程。 事前学修 2.0hr：ハリスについて調べる。 事後学修 2.0hr：安政の五か国条約について調べる。
5 回	授業テーマ：慶喜大政奉還—松平春嶽の構想 授業内容：立憲思想の日本に芽生える過程。 事前学修 2.0hr：松平春嶽と徳川慶喜について調べる。 事後学修 2.0hr：日本立憲制度導入の思想的な基盤と過程について調べる。
6 回	授業テーマ：外交立国はまだ死なず 授業内容：函館政権と国際関係法 事前学修 2.0hr：榎本武揚について調べる。 事後学修 2.0hr：明治新政府と列強との関係について調べる。
7 回	授業テーマ：大久保利通暗殺の悲劇 授業内容：廃藩置県と武士の反乱とその背景。 事前学修 2.0hr：大久保利通と明治新政府の課題について調べる。 事後学修 2.0hr：征韓論について調べる。
8 回	授業テーマ：銀行は人々のために。 授業内容：日本における銀行誕生の経緯 事前学修 2.0hr：渋沢栄一について調べる。 事後学修 2.0hr：日本の近代経済について調べる。
9 回	授業テーマ：日露関係と日英関係 授業内容：日清戦争と日露戦争の背景 事前学修 2.0hr：日清戦争について調べる。 事後学修 2.0hr：当時の国際情勢と日韓関係について調べる。
10 回	授業テーマ：日中関係 授業内容：満州事変及び日中戦争 事前学修 2.0hr：三国干渉について調べる。 事後学修 2.0hr：満州建国と日中戦争について調べる。

11 回	授業テーマ：日独関係 授業内容：三国同盟の締結と当時の国際情勢 事前学修 2.0hr：松岡洋右と当時の国際情勢について調べる。 事後学修 2.0hr：当時の日独関係と日米関係について調べる。
12 回	授業テーマ：日米関係 = 日米開戦を回避せよ 授業内容：日米開戦前夜の国際情勢 事前学修 2.0hr：南進論について調べる。 事後学修 2.0hr：チャーチル及び蒋介石について調べる。
13 回	授業テーマ：日米関係 = 現在日米関係の原点 授業内容：マッカーサーと天皇との会見 事前学修 2.0hr：サンフランシスコ講和条約などについて調べる。 事後学修 2.0hr：戦後の占領政策とマッカーサーについて調べる。
14 回	授業テーマ：海上自衛隊はこうして生まれた。 授業内容：海上自衛隊と戦前海軍 事前学修 2.0hr：日米安保条約の流れについて調べる。 事後学修 2.0hr：自衛隊の誕生と日本の軍事力について調べる。
15 回	授業テーマ：原爆の絵 授業内容：原爆の投下について考える 事前学修 2.0hr：1回目～14回目のレポートを紙で再提出する。 事後学修 2.0hr：戦争と原爆についての感想を書く。

国際貢献論

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前/後

小川 正純 (おかわ まさすみ)

■ 授業の概要

国際貢献や国際協力について、日本が開発途上国を支援する政府開発援助 (ODA) や NGO、民間団体が行う支援、持続可能な開発目標 (SDGs) など様々な観点から考えます。国際貢献を知るだけでなく、支援を選び、考え、説明する力を身につけることを目指します。また、善意だけでなく、なぜその支援が必要かを論理的に考える視点を養います。本講義は、グループワーク、プレゼンテーションを通じて、国際貢献や国際協力についての理解を向上させます。なお、この授業は「ボランティア講義」の内容と一部関連・重複する部分があります。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎)

一般目標：開発途上国をはじめとする地球規模の問題と国際貢献の意義を理解し、国際貢献を実際に行うための知識・スキルを身につける。

個別目標：1. 国際社会がどのような国際貢献や国際協力を行っているか説明できる。

2. 開発途上国の課題に対して適切な支援方法を考えられる。

グループワークで他者と協力して課題に取り組み、気づきを得るとともに、自分の考えを説明できる。最終プレゼンテーションでは、社会課題を整理し、他者に分かりやすく伝える力を身につけることができる。

■ 履修条件

1. 国際貢献や国際協力に関心を持ち、学ぶ意欲があること。
2. グループワークや発表に、積極的に挑戦する意欲があること。
3. 将来、国際的な仕事に興味がある人はもちろん国際貢献を自分の言葉で考えられるようになりたい人にもおすすめです。

■ 評価基準・方法

グループワーク、プレゼンテーションへの関与度合い 45 %、毎回のレポート 45 %、授業における参加姿勢 10 %を基に総合的に評価する。考えようとする姿勢を重視し、グループ内での役割分担や協力姿勢も評価する。原則として5分の4以上の出席を評価の前提条件とする。

■ フィードバック方法

授業時間内での総評及び manaba の個別指導 (コレクション) などでフィードバックする。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (グループワーク、グループディスカッション、プレゼンテーション)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし (ただし、プレゼンテーション資料の作成及び発表は PC の利用が好ましい。)

■ 教科書

使用しない。

■ 参考書

特になし。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：イントロダクション:国際協力とは何かについて 授業内容：講義の目的、授業、グループワーク、プレゼンテーションの進め方、到達目標、評価方法とともに、国際貢献と国際協力について解説する。授業テーマについて意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：国際貢献や国際協力について関連情報を見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
2 回	授業テーマ：日本の国際協力 授業内容：日本が国際機関や他国から受けた援助と日本が行っている政府開発援助 (ODA) について解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、考えを言語化する。 事前学修 2.0hr：国際貢献や国際協力について関連情報を見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
3 回	授業テーマ：世界の状況を知る 授業内容：グループワークにより、世界がどのように変化しているか理解する。また、国際社会の取り組みと成果を知り「持続可能」の意味を考え、他者の視点と比較する。 事前学修 2.0hr：近年の国際会議と国際社会の取り組みについて関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
4 回	授業テーマ：「地球にやさしい」とは？ 授業内容：グループワークにより、私たちが日常的に使っている製品が、世界のどこかで誰の暮らしとつながっているかを考え、多様な意見に触れる。 事前学修 2.0hr：国際貢献や国際協力について関連情報を見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
5 回	授業テーマ：持続可能な開発目標 (SDGs) について 授業内容：持続可能な開発目標 (SDGs) の内容、特徴、目標、企業の SDGs の取り組み等について解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、自分の考えを説明する。 事前学修 2.0hr：SDGs について関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
6 回	授業テーマ：気候変動 授業内容：グループワークにより、気候変動によって影響を受けている人々について知り、その立場を想像して自分事として捉える。私たちの生活とのつながりや自分に何ができるか考え、他者の視点と比較する。 事前学修 2.0hr：気候変動について関連情報を見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
7 回	授業テーマ：人道援助 授業内容：人道援助の人道・公平・中立・独立という原則の意味と国際緊急援助隊 (JDR) と NGO の特徴を具体例から解説し、授業テーマについてグループディスカッションを行い、自分の考えを説明する。 事前学修 2.0hr：人道援助について関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
8 回	授業テーマ：NGO 授業内容：日本及び海外の国際 NGO がどのような活動を行っているか、また NGO がどのように国際社会に貢献しているか具体例を示して解説した後、授業テーマについて意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：NGO の関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。

9 回	<p>授業テーマ：JICA 海外協力隊について 授業内容：JICA 主催の JICA 海外協力隊セミナーを実施し、海外協力隊の事業概要、海外協力隊経験者体験談を聞き、海外協力隊がどのようなものかについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：JICA 海外協力隊の関連情報を目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。</p>
10 回	<p>授業テーマ：フェアトレードについて 授業内容：フェアトレードとはどのようなものかと意義、認証ラベル、普及状況、今後のフェアトレードの方向性について解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、自分の考えを説明する。 事前学修 2.0hr：フェアトレードについての関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。</p>
11 回	<p>授業テーマ：一村一品運動の世界への広がり 授業内容：大分県発祥である一村一品運動に関する世界への広がりについて、キルギス一村一品プロジェクトについて解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、自分の考えを説明する。 事前学修 2.0hr：キルギスと一村一品運動について関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。</p>
12 回	<p>授業テーマ：プロジェクト選定の視点/開発途上国と私たちのつながり 授業内容：開発プロジェクトの種類や選定の手法を習得し、開発プロジェクトをどのような視点で選ぶべきかを整理する。また、開発途上国の子どもと私たちの生活のつながりについて意見交換し、考えを言語化する。 事前学修 2.0hr：開発プロジェクトについて関連情報を見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。</p>
13 回	<p>授業テーマ：グループワーク：プレゼンテーションの準備 授業内容：開発途上国で技術協力をする際の支援内容について学ぶ。グループワークにより支援内容と裨益効果を考え、第 15 回の授業で発表するプレゼンテーションの準備を行う。 事前学修 2.0hr：関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：プレゼンテーション作成の準備。講義の復習。レポート作成。</p>
14 回	<p>授業テーマ：グループワーク：プレゼンテーションの作成 授業内容：グループワークによりプレゼンテーション資料を作成する。発表資料は PC を利用し、パワーポイントなどで行うのが好ましい。発表資料の作成により、自分の意見を表現する力を身につけることができる。 事前学修 2.0hr：それぞれが自分の担当するプレゼンテーション資料の案を考えておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。プレゼンテーション資料の作成、発表の準備。</p>
15 回	<p>授業テーマ：プレゼンテーション 授業内容：プレゼンテーションと意見交換を行う。発表は PC を利用し、パワーポイントなどで行うのが好ましい。自分の意見を発表することにより、他者に分かりやすく伝える力を身につけることができる。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーション資料の作成、発表の準備。 事後学修 2.0hr：授業全体のふりかえり。レポート作成。</p>

民族と宗教

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前/後

岩田 成就 (いわた しげなり)

■ 授業の概要

「我々はどこから来たか？ 我々は何者か？ 我々はどこへ行くのか？」このような問いに、現代の科学は必ずしも答えてはくれません。しかし、科学的知識をどう使い、この世界でどう生きていくかは、この問いにどう答えるかにかかっています。もし、この問いに答える営みを「宗教」ないしは「宗教性」と呼ぶなら、どのような「宗教」「宗教性」をもつかによって、現代の世界で私たちが会おうさまざまな取り組みは、大きな影響をうけるのではないのでしょうか。科学技術の革新が飛躍的に進むこれからの社会で、生きる意味を問い、深みを持った生活を送るために、「宗教」について知り、「宗教性」への感受性を身につけていきたいと思います。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ○)

一般目標：自分の生まれ育った文化やその基盤となる宗教について意識し、自覚的にとらえなおすこと。以外の民族の文化や考え方を知り、人間の多様性を受け入れ、他者を受容するとともに、自分自身を理解すること。

個別目標：「宗教」についての偏見を取り除き、「宗教」がどんな人間にも関わりのある普遍的な営みであることを理解すること。世界の主要宗教(仏教、キリスト教、イスラム教など)や日本人の宗教性についての基本的な理解を持ち、信仰をもつ人の気持ちを理解できるようになること。今日の社会における宗教をめぐる様々な問題について理解し、自分の意見を述べるようになること。自分以外の民族の文化や考え方を知り、人間の多様性を受け入れ、他者を受容するとともに、人間の宗教性一般について理解し、自らの宗教性について自覚的になること。

■ 履修条件

とくにありませんが、上記のような問いを考えたことがある人、宗教や宗教に関わる問題に関心がある人、世界の歴史や世界の現在の情勢に関心のある人に受講していただきたいとします。

■ 評価基準・方法

期授業への積極的な取り組み(リアペ、コメント、質問など)(40%)、および最終授業日に行う試験(60%)により評価する。

■ フィードバック方法

授業内容へのコメント、質問などをリアクションペーパー、コメントとして提出してもらい次の授業で回答したり、必要に応じて簡単な課題を出したりする。

■ アクティブ・ラーニングの実施(実施内容)

なし

■ 授業での PC の利用(利用内容)

なし

■ 教科書

授業で配布するプリントが教科書のかわりとなる。

■ 参考書

授業で多くの文献を紹介する。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外(事前・事後)の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：世界の文明と宗教 授業内容：オリエンテーション／宗教復興説／宗教衰退説／宗教変容説 事前学修 2.0hr：「宗教」という言葉で自分が何を思い浮かべているか考えておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえ
2 回	授業テーマ：日本人の宗教性 授業内容：日本人は「無宗教」か／創唱宗教と自然宗教／神様と仏様(神仏習合) 事前学修 2.0hr：「初詣」に行ったことのある人は、それが「宗教」かどうかを考えておくといよい。行ったことのない人は、「墓参り」「お祭り」「クリスマス」などについてでもよい。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる
3 回	授業テーマ：ヒンドゥー教 授業内容：インド宗教史／ヒンドゥー教の神々／世界観と教え／生活規範／シヨナリズム 事前学修 2.0hr：高校の世界史の教科書で、古代インドの歴史を復習しておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる
4 回	授業テーマ：仏教① 授業内容：釈迦の生涯と教え 事前学修 2.0hr：自分の苦しみの原因は何か？ 考えておく 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる
5 回	授業テーマ：仏教② 授業内容：大乘仏教と密教 事前学修 2.0hr：「仏」と「菩薩」の違い、「成仏」と「往生」の違いについて調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる
6 回	授業テーマ：仏教③ 授業内容：日本の仏教(国家仏教／鎌倉新仏教／江戸国家仏教) 事前学修 2.0hr：家の人に聞くなどして、自分の家の宗教が何かを調べ、自分がそれを受け継いでいくかどうかについて考えておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる
7 回	授業テーマ：儒教と道教 授業内容：中国人の死生観／儒教／道教／共産主義 事前学修 2.0hr：身の回りのもの、考え方、習慣などの中に、中国由来のものがなくか考えておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる
8 回	授業テーマ：神道 授業内容：神道の原型／神話の原型／神道の教え／神仏習合／様々な神道 事前学修 2.0hr：近くにある神社にどんな神さが祀られており、どんな由来のある神社かを調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる
9 回	授業テーマ：ユダヤ教 授業内容：「ユダヤ人」の歴史／ユダヤ教の聖典(TNK)と「旧約聖書」／ユダヤ教の教え 事前学修 2.0hr：高校の世界史の教科書で古代オリエントや古代イスラエルの歴史について確認しておく 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる

10 回	授業テーマ：キリスト教① 授業内容：イエスの教えとキリスト教信仰 事前学修 2.0hr：高校の歴史の教科書で古代ローマ帝国やキリスト教の発生などについて確認しておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる
11 回	授業テーマ：キリスト教② 授業内容：キリスト教の歴史(カトリック、オーソドックス、プロテスタント) 事前学修 2.0hr：高校の歴史の教科書で「宗教改革」について確認しておく 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえておく
12 回	授業テーマ：イスラム教① 授業内容：ムハンマドの生涯／「イスラム世界」の展開／「イスラム世界」の現状 事前学修 2.0hr：高校の世界史の教科書で、イスラム世界のはじまりについて確認しておく 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえておく
13 回	授業テーマ：イスラム教② 授業内容：イスラムの教えと規範 事前学修 2.0hr：ムスリム(イスラム教徒)の人たちの生活や習慣について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえておく
14 回	授業テーマ：宗教過激主義と現代社会 授業内容：「オウム真理教」と「イスラム過激主義」 事前学修 2.0hr：「地下鉄サリン事件」(1995年)や「9.11同時多発テロ事件」について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえておく
15 回	授業テーマ：試験 授業内容：授業内容への把握を問う試験を行う。 事前学修 2.0hr：プリントやノートを読み返し、授業内容を振り返っておく 事後学修 2.0hr：授業全体をふりかえる

異文化コミュニケーション論

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前/後

岡田 麻唯 (おかだ まい)

■ 授業の概要

異文化コミュニケーションの概念や理論を学び、理解する。それらを用いて、日常の出来事から異文化コミュニケーションについて考え、異なる文化背景の人々と、より良いコミュニケーションをするにはどうしたらよいかを考える。本クラスでは、講義だけでなく、個人ワーク、ペアワーク、グループワークを通して、学びを深めていくため、積極的な参加が求められる。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎)

一般目標：異文化コミュニケーションの基礎概念を理解する

個別目標：①自己の価値観や考え方、コミュニケーションの取り方を理解し、異なる他者の世界を理解することができる

②社会的課題や身近な人間関係を振り返り、異文化コミュニケーションの理論を用いて分析できる

■ 履修条件

①授業は毎回受講し、授業の終わりに振り返りシートを提出すること。

②授業中のペアワーク、グループワーク等に積極的に参加すること。

■ 評価基準・方法

グループワークの貢献度(20%)、理解度チェックイブ(20%)、グループプロジェクト課題(40%)、レポート(20%)

※なお、5分の4以上の出席を評価の前提条件とする。

■ フィードバック方法

manaba、または授業を通して行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (回によってペアワークおよびグループワーク)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (グループプロジェクト準備に利用。毎回の振り返りシートは、Google form 使用のため、PC もしくは携帯から記入、提出すること。)

■ 教科書

特定の教科書はありません。必要資料は授業で配布します。

■ 参考書

授業内で紹介します。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：オリエンテーション 授業内容：シラバスの内容について説明する。学生同士の自己紹介と異文化コミュニケーションのケーススタディについて話し合う。 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、授業全体の流れを確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
2 回	授業テーマ：コミュニケーションとは何か 授業内容：コミュニケーションの定義と特徴について学ぶ。異文化コミュニケーションとは何か知識を深める。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
3 回	授業テーマ：文化とは何か 授業内容：文化の定義と特徴について学び、日本文化の特徴について考える。文化とコミュニケーションの関係について知識を深める。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
4 回	授業テーマ：自己とアイデンティティ、理解度チェックイブ① 授業内容：自己の価値観や物の見方に影響を受けた文化について、ペアワークで振り返る。社会的アイデンティティとは何かを学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
5 回	授業テーマ：非言語コミュニケーション① 授業内容：非言語コミュニケーションとは何か。表情、アイコンタクト、ジェスチャー、空間と対人距離、時間の感覚など、文化によって捉え方にどのような違いがあるのかを学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
6 回	授業テーマ：非言語コミュニケーション② 授業内容：表情、アイコンタクト、ジェスチャー、空間と対人距離、時間の感覚など、文化によって捉え方にどのような違いがあるのかを学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
7 回	授業テーマ：コミュニケーション・スタイル① コンテキスト 授業内容：ハイコンテキスト文化とローコンテキスト文化について知識を深め、コンテキストとコミュニケーションの関係性を理解する。中間課題を提出する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
8 回	授業テーマ：コミュニケーション・スタイル② 3つのスタイル 授業内容：アグレッシブ・パッシブ・アサーティブのコミュニケーション・スタイルの事例を学び、自己のコミュニケーション・スタイルの傾向を分析する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
9 回	授業テーマ：カルチャーショックと異文化適応、理解度チェックイブ② 授業内容：カルチャーショックとは何か、その特徴と対処法について知識を深める。異文化適応プロセスについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
10 回	授業テーマ：異文化センシビリティモデル① 授業内容：異文化センシビリティモデルについて学ぶ。自文化優越主義ステージの特徴について知識を深め、ケーススタディを用いてグループで話し合いを行う。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する

11 回	授業テーマ：異文化センシティビティモデル② 授業内容：異文化センシティビティモデルの文化相対主義ステージの特徴について知識を深め、ケーススタディを用いてグループで話し合いを行う。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
12 回	授業テーマ：グループプロジェクトの準備① 授業内容：グループに分かれて、プロジェクトの話しあいと資料作成の準備を行う。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
13 回	授業テーマ：グループプロジェクトの準備② 授業内容：異文化コミュニケーション場面で誤解が起きた事例を紹介し、これまで学んだ異文化コミュニケーションの理論を使って分析したことを、パワーポイントを用いてまとめる。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
14 回	授業テーマ：グループプロジェクトの準備③、プロジェクト提出 授業内容：異文化コミュニケーション場面で誤解が起きた事例を紹介し、これまで学んだ異文化コミュニケーションの理論を使って分析したことを、パワーポイントを用いてまとめて、授業内に提出する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
15 回	授業テーマ：グループプロジェクトの振り返りレポート提出、異文化コミュニケーション・スキル(まとめ) 授業内容：グループプロジェクトの自己評価と他者評価のレポート提出を行う。これまでの学びから、異文化コミュニケーションに必要な能力とは何か、また日常の人間関係において、それをどのように活かせるのかについて考える。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する

日本語と日本文化 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前 | 備考：留学生選択科目

川勝 麻里 (かわかつ まり)

■ 授業の概要

宮崎駿(ジブリ)のアニメーションは、日本の文学と日本文化の背景を学べる宝庫です。アニメーションに引用されている「ダイダラボッチ」「笠地蔵」「猿蟹合戦」などの神話伝説や昔話を、リスニングとリーディングの力を育てることも意識しながら、学んでいきます。また、昔話や神話を読み解くことが、明治時代の日本になぜ民俗学として必要とされたのか、その後の高度経済成長期には、民俗学はどのように消費されていくのか。古来の画像をもとに水木しげるが作り出した妖怪のビジュアルや、神々が零落したものが妖怪だとする柳田國男の理解を通して、日本文化のありようも学びます。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ○)

一般目標：柳田國男という日本を代表する民俗学者の仕事や、ひとつの日本文化の生成のあり方として捉え、世界各国との交流が日本の伝統文化の再発見につながったことを知る。

個別目標：妖怪とは何か、幽霊との違いを、日本文化のありようとして説明できるようになる。

また、日本の文学・文化を学びつつ、日本の古典や昔話・神話を読むことができるようになる。

■ 履修条件

※当該言語(日本語)を母語とする学生は、履修できません。

同じ高度経済成長期の日本の文化を扱うので、「日本語と日本文化 B (留)」とセットで受講することが望ましい。

■ 評価基準・方法

授業内リアクションペーパー 40%と、期末テスト 60%で総合的に評価する。5 分の 4 以上の出席を評価の前提とする。

課題等のフィードバックは、教室内での質疑応答の形で行う。

■ フィードバック方法

manaba を使った課題の実施をおこない、その場で講評をおこなう。また、リアクションペーパーに対するコメントや回答を授業内でフィードバックする。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

なし

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (パソコンがあれば便利だが、スマートフォンがあればよい。)

■ 教科書

毎回、プリントを配布する。

■ 参考書

授業内で指示する。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：はじめに(作業のためのガイダンス) 授業内容：授業のガイダンス。 事前学修 1.0hr：シラバスをよく読み、授業目的を理解して参加。 事後学修 3.0hr：授業内で示したキーワードをもとに半期の学習計画を立てる。
2 回	授業テーマ：高度経済成長期の妖怪 授業内容：日本の高度経済成長期の文化を学ぶ、というのがこの授業の目的なので、高度経済成長とは何かの説明、そして、そこに妖怪がどうかかわるのかを学ぶ。 事前学修 1.0hr：プリントを読んでくる。 事後学修 3.0hr：授業をふまえて、プリントをもう一度読み直す。
3 回	授業テーマ：水木しげると日本の妖怪 授業内容：日本の妖怪研究の第一人者であり、妖怪というものに、私たちがよく知っているビジュアルを与えたのが、水木しげるなので、DVD をもとに、日本にはどのような妖怪がいるのか学ぶ。自分の国にいる妖怪とくらべながら、学んでもらう。 事前学修 1.0hr：自国の妖怪についてピックアップしてくる。 事後学修 3.0hr：プリントで妖怪のなりたちと時代背景を復習する。
4 回	授業テーマ：『となりのトトロ』と昔話(1)日本の高度経済成長で消えていく妖怪たち 授業内容：日本の高度経済成長が、このアニメーションにどう反映しているのかを考えながら、高度経済成長で消えかかっている妖怪が、このアニメーションにでてくる意味について考える。 事前学修 1.0hr：妖怪とは何かを考えてくる。 事後学修 3.0hr：妖怪の民俗学的定義を踏まえて、トトロやマックロクロスケを理解する。
5 回	授業テーマ：『となりのトトロ』と昔話(2)柳田國男の『妖怪談義』 授業内容：柳田國男による妖怪の学術的定義と、アニメーションに描かれている妖怪を比べてみる。柳田が定義したことを、しっかり守って、アニメーションが作られていることがわかる。「妖怪」と「幽霊」の違いは何かについても考える。 事前学修 1.0hr：プリントを読んでくる。 事後学修 3.0hr：「妖怪」と「幽霊」の違いを理解し、柳田民俗学が映画にどう反映されているかまとめる。
6 回	授業テーマ：『となりのトトロ』と昔話(3)「笠地蔵」「猿蟹合戦」と、中尾佐助の照葉樹林文化論 授業内容：『となりのトトロ』には「笠地蔵」「猿蟹合戦」の2つの昔話が引用されています。私自身の研究をもとにしながら、昔話をまず読んで学び、そのうえで、アニメーションにそれらがどう生かされているのかを考える。 事前学修 1.0hr：自国の昔話を思い出してくる。 事後学修 3.0hr：アジア文化(照葉樹林文化)の中で昔話の話を理解する。
7 回	授業テーマ：柳田國男と民俗学、授業の中間まとめ 授業内容：中間まとめ。manaba による理解テスト (練習問題) など取り入れる。※テスト実施回は授業進捗の都合で、ずれることがある。 事前学修 2.0hr：これまでの授業を復習してくる。 事後学修 2.0hr：文明開化と民俗学の発展について、また、同じ話でも語り手によって異なる「語りの自由領域」について、理解する。
8 回	授業テーマ：『もののけ姫』と昔話・神話伝説(1)「古事記」 授業内容：『もののけ姫』のなかに出てくる大和王権と蝦夷の関係について、『古事記』の漫画と現代語訳をプリントで読みながら、学ぶ。 事前学修 2.0hr：プリントで『古事記』の現代語訳を読んでくる。 事後学修 2.0hr：日本の昔話や神話のルーツを理解する。
9 回	授業テーマ：『もののけ姫』と昔話・神話伝説(2)「花咲爺さん」 授業内容：『もののけ姫』のなかで引用されている昔話「花咲爺さん」を読む。 事前学修 2.0hr：必要があれば各国語の『もののけ姫』を予習してくる。 事後学修 2.0hr：「花咲爺さん」の話が製鉄民の民話であることを理解する。

10 回	授業テーマ：『もののけ姫』と昔話・神話伝説(3)ダイダラボッチ 授業内容：『もののけ姫』のなかで引用されている「ダイダラボッチ」の伝説について、プリントを読み、日本の土地のなりたちと、ダイダラボッチの関係、製鉄をおこなっている土地(タタラ場)とダイダラボッチの関係について、考える。 事前学修 1.0hr：巨人伝説について調べてくる。 事後学修 3.0hr：日本各地でダイダラボッチの語られ方が違うことを理解する。
11 回	授業テーマ：『もののけ姫』と昔話・神話伝説(4)リスニングとまとめ 授業内容：『もののけ姫』を民俗学から読み解くまとめ。※リスニングの実施回は授業進度やコロナの感染状況によって変更することがある。 事前学修 1.0hr：リスニングの予習。 事後学修 3.0hr：リスニングの復習。
12 回	授業テーマ：『千と千尋の神隠し』(1)パブル崩壊 授業内容：パブル崩壊について、アニメーションを通して学ぶ。 事前学修 2.0hr：必要があれば各国語の『千と千尋の神隠し』を予習してくる。 事後学修 2.0hr：物語の背景となるパブル崩壊について理解する。
13 回	授業テーマ：『千と千尋の神隠し』(2)神々の零落と、日本の神話 授業内容：テーマパーク建設のために埋め立てられたり、信仰されなくなったことで力を失った神々が、アニメーションにどのように描かれているのか読み解くとともに、日本の神話がどのように反映されているのかも読み解く。また、「妖怪」とは何なのかについて考える。 事前学修 2.0hr：プリントを読んでくる。 事後学修 2.0hr：神が零落して妖怪になっていくこと、日本神話の反映などを理解する。
14 回	授業テーマ：『千と千尋の神隠し』(3)リスニングとまとめ 授業内容：リスニングとまとめ。※リスニングの実施回は授業進度やコロナの感染状況によって変更することがある。 事前学修 2.0hr：リスニングの予習。 事後学修 2.0hr：リスニングの復習。プリントを整理しておく。
15 回	授業テーマ：まとめ 授業内容：まとめ。 事前学修 3.0hr：試験に備えた学習。 事後学修 1.0hr：試験問題の不明点の復習。

日本語と日本文化 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：後 | 備考：留学生選択科目

川勝 麻里 (かわかつ まり)

■ 授業の概要

前期の「日本語と日本文化 A」で、高度経済成長期の日本文化を学んだことを生かし、後期は、映画を通して、高度経済成長期の文化を学ぶ。推理小説『点と線』、直木賞受賞作『江分利満氏の優雅な生活』、SF 小説『日本沈没』を通して、〈日本人〉がどのような国民として描かれてきたかにも注目していく。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○)

一般目標：映像も参考にしながら、高度経済成長期の文学や、高度経済成長期に新しく作り出された言葉について学ぶ。それとともに、終戦からオイルショックまでの日本の歴史や文化を知ることができる。

個別目標：日本を研究したり、日本を訪れたりした外国人が見た「日本人らしさ」とは何なのかを考えることができる。

■ 履修条件

※当該言語(日本語)を母語とする学生は、履修できません。

「日本語と日本文化 A (留)」とセットで受講することが望ましいが、A を受講していなくても問題ない。

■ 評価基準・方法

授業内の作業 40%とテスト 60%で総合的に評価する。授業内の作業のなかには、リアクションペーパーも含まれる。

5 分の 4 以上の出席を評価の前提とする。

課題等のフィードバックは、教室内での質疑応答の形で行う。

■ フィードバック方法

manaba を使った課題の実施をおこない、その場で講評をおこなう。また、リアクションペーパーに対するコメントや回答を授業内でフィードバックする。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

なし

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (パソコンがあれば便利だが、スマートフォンがあれば問題ない。)

■ 教科書

毎回、プリントを配布する。

■ 参考書

授業内で適宜、指示する。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：はじめに 授業内容：ガイダンス。 事前学修 1.0hr：シラバスをよく読み、授業目的を理解して参加。 事後学修 3.0hr：授業内で示したキーワードをもとに半期の授業計画を立てる。
2 回	授業テーマ：松本清張と芥川賞—『点と線』がブームを呼び起こすまでの軌跡 授業内容：松本清張についての概説と、高度経済成長期より少し前の日本の文化が、『点と線』にどのようにかわるのかを説明。 事前学修 1.0hr：新聞のドラマ欄で松本清張を探してみる。 事後学修 3.0hr：プリントで復習。
3 回	授業テーマ：1950 年代(1)松本清張『点と線』(昭和 32 年)—映画と単語ノート 授業内容：分からない言葉を調べながら一緒にミステリー小説を読む。授業内で答え合わせする。小説に対応する場面の映画を見て、さらに理解を深める。 事前学修 2.0hr：プリントで小説を読み、分からない単語をピックアップしてくる。 事後学修 2.0hr：単語ノートの復習。
4 回	授業テーマ：1950 年代(2)『点と線』—映画とクイズ 授業内容：犯人を推理しながら、manaba の機能を使いながら理解度クイズをおこなう。※クイズの実施回は進度などによって変更することがある。 事前学修 2.0hr：プリントを読み、犯人は誰か推理してくる。 事後学修 2.0hr：東京駅「4 分間の空白」のトリックを復習。
5 回	授業テーマ：1950 年代(3)『点と線』—まとめ 授業内容：『点と線』では、犯人がなぜ犯罪を犯したのかという心理的な動機が描かれる。その動機を理解するとともに、そうした動機を描こうとすることじたいが、当時のミステリーでは新しく、松本清張によって新しい文学が作られたことを文学史的に理解できるようにする。 事前学修 2.0hr：プリントを読み、犯人がなぜ犯罪をおかしたのか、動機を考えてくる。 事後学修 2.0hr：文学史のなかの清張の役割を復習。
6 回	授業テーマ：団地とマイホームの時代(附：ニュース映像 DVD) 授業内容：ニュース映像 DVD を見ながら、高度経済成長期の日本文化を理解できるようにする。サラリーマン人口が増えて専業主婦が誕生すること、光化学スモッグなどの公害が車社会の到来によって始まり、核家族が多数となり、団地が郊外につくられ、海外旅行が自由化され、パンダブームが到来し、万博開催に合わせて新幹線が開通し、電化製品をそろえてマイホームを作ることが理想とされ、特に庭つきの住宅が憧れとなるといった時代背景を理解できるようにする。 事前学修 2.0hr：60～70年代日本で普及した電化製品を調べてくる。 事後学修 2.0hr：高度経済成長の復習(サラリーマンと専業主婦誕生、公害、団地、核家族、交通戦争等)。
7 回	授業テーマ：山口瞳と直木賞—『江分利満氏の優雅な生活』が出来るまで 授業内容：『江分利満氏の優雅な生活』の概説。エブリマン(everyman)という名前であり、平均的でどこにでもいるような日本人として描かれた主人公を通して、高度経済成長期の日本人の生活を学ぶ。電化製品の普及、サントリーという会社が海外旅行自由化に合わせて広告で発信していた情報や、文化的に果たした意義なども考える。 事前学修 2.0hr：直木賞について調べてくる。 事後学修 2.0hr：主人公(東西電機社員)と山口瞳の実際(サントリー社員)の違いを理解する。
8 回	授業テーマ：1960 年代(1)山口瞳『江分利満氏の優雅な生活』(昭和 37 年)—映画と単語ノート 授業内容：映画『江分利満氏の優雅な生活』を見て理解を深めながら、サラリーマンと主婦、社宅、核家族として構成された小説のなかの家族像を、読み解いていく。 事前学修 2.0hr：プリントで小説を読んで、分からない単語をピックアップしてくる。 事後学修 2.0hr：サラリーマン+主婦、社宅、核家族等の同時代的要素を理解する。

9 回	<p>授業テーマ：1960年代(2)『江分利満氏の優雅な生活』—映画とクイズ 授業内容：プリントを読み映画で内容を確認。manabaの機能を利用して理解度クイズをおこなう。＊クイズの実施回は進度などによって変更することがある。 事前学修 2.0hr：プリントで小説を読んでくる。 事後学修 2.0hr：公害、交通戦争、団地生活の弊害がどのように描かれているか理解する。</p>
10 回	<p>授業テーマ：1960年代(3)『江分利満氏の優雅な生活』—『菊と刀』の日本人論 授業内容：アメリカ人による日本人理解として全世界で有名になった『菊と刀』を読みながら、日本人の平均的サラリーマンであり、なおかつ日本人論の典型的特徴をそなえた人物として江分利が描かれていることを理解する。キリスト教世界では人間の弱さを示す飲酒が日本では人間らしさとして許容されており、勤勉に生きる日本人の努力は、個人ではなく村や社会や国家のためのものであって、期待される人間であろうとするのが日本人だとするなど、『菊と刀』は嚙呑みに出来ない部分もあるが、小説にはそうした日本人論のステレオタイプがそっくり反映されていると思われるので、それを読み解いていくことで、当時の日本人の理想的な生活や憧れが何だったのかを考える。 事前学修 2.0hr：プリントで小説を読んでくる。 事後学修 2.0hr：江分利満(everyman)が日本人の典型として描かれていることを日本人論から理解する。</p>
11 回	<p>授業テーマ：オイルショックと『日本沈没』 授業内容：オイルショックについての説明をしたあと、オイルショックと『日本沈没』をめぐる世紀末ブームとの関係を考える。 事前学修 2.0hr：オイルショックについて調べてくる。 事後学修 2.0hr：オイルショックと『日本沈没』ブームの関係を理解し、70年代日本をキーワードで記憶する。</p>
12 回	<p>授業テーマ：1970年代(1)小松左京『日本沈没』—小松左京の紹介 授業内容：高度経済成長期になぜこの小説が書かれたのか、万国博覧会のテーマ企画との関係や、田中角栄の『日本列島改造論』との関係について説明する。 事前学修 2.0hr：プリントで小説を読んで、分からない単語をピックアップしてくる。 事後学修 2.0hr：小松左京の仕事の総体を理解する。単語ノートを復習。</p>
13 回	<p>授業テーマ：1970年代(2)小松左京『日本沈没』—映画と原作 授業内容：小説公開当時に作られた特撮映画『日本沈没』をDVDで補助として見ながら、『日本沈没』を読む。国土を失った日本人が、外交上、文化上、どのように生きていけるのか、地球人として生きていくために何が必要かを小説から考えるとともに、そうしたテーマが、東京オリンピックや万国博覧会で世界に活躍し始めた日本人の世界的地位に関係があることを読み解いていく。また、国土開発と自然破壊のテーマについても考察する。 事前学修 2.0hr：プリントで小説を読んでくる。 事後学修 2.0hr：『日本列島改造論』(国土開発)、万博の未来学、などのキーワードを理解して復習する。</p>
14 回	<p>授業テーマ：まとめ 授業内容：50年代、60年代、70年代、と10年ごとに授業を進めてきた。そのまとめと試験対策。 事前学修 2.0hr：これまでの授業をキーワードでまとめる復習作業をする。 事後学修 2.0hr：高度経済成長の様子が、授業で取り上げた小説にどのように描かれていたかをまとめておく。</p>
15 回	<p>授業テーマ：テストと振り返り 授業内容：テストと振り返り。 事前学修 3.0hr：テストに備えた学習。 事後学修 1.0hr：テストの不明点の復習。</p>

フランス語とフランス文化 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前

馬越 洋平 (うまこし ようへい)

■ 授業の概要

フランス語やフランス文化を学ぶ授業になります。フランス語については、発音や文法などの基礎的な学習から始めてゆきます。フランス語入門者のための授業です。グループワーク(アクティブラーニング)として、教科書を用いながら学生同士でフランス語の会話の練習なども実施します。この授業を受けることで、フランスを旅行するのに十分な語学力を身に付けることができるでしょう。また、いくつかのテーマに分けてフランス文化の講義も行います。フランス文化を様々なテーマから取り上げる予定です。半期で一区切りとなります。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ○)

- 一般目標：・発音、文法などの初歩的なフランス語を身につけて、平易な表現を使えるようにする。
・文化、歴史、生活などの面から、フランスという国の特色を理解する。異文化への理解を育む。
- 個別目標：・フランス語の仕組みを理解し、あいさつ、自己紹介、注文など、簡単な日常会話ができる。
・フランスという国の特徴を、文化、歴史、生活などの面から理解し、説明できる。

■ 履修条件

フランス語を母語とする学生、及びそれと同等の語学力(フランス語)を有する学生は履修できません。

■ 評価基準・方法

試験(60%)、授業の参加度(20%)、課題提出(20%)。これらを総合的に判断して成績が決まります。原則として5分の4以上の出席を前提条件とします。

■ フィードバック方法

授業や manaba を通して伝える。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (グループワーク)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

カフェ・フランセ<新装版>、ニコラ・ガイヤール (著)、加藤豊子 (著)、中川高行 (著)、フロランス・容子・シュードル (著)、柳嶋周 (著)、朝日出版社、(初版2016年)

■ 参考書

必須ではないが、フランス語の辞書を手に入れていることが望ましい。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：ガイダンス、アルファベ 授業内容：授業のガイダンスから始める。フランス語のアルファベの読み方を確認する。フランスの地理や、日本語のなかに溶け込んだフランス語を取り上げる。 事前学修 2.0hr：フランスについてイメージしておく 事後学修 2.0hr：フランス語のアルファベの復習
2 回	授業テーマ：母音の発音、子音の発音、リエゾン、アンシェヌマン 授業内容：フランス語の発音の勉強をする。母音、子音をフランス語の単語を例に確認する。リエゾンやアンシェヌマンと言った発音上の現象を学ぶ。 事前学修 2.0hr：フランス語のアルファベの復習 事後学修 2.0hr：「これは何ですか？」などの確認した表現の復習
3 回	授業テーマ：発音のまとめ、「フランスのカフェ文化」 授業内容：前回の授業で学んだ発音の規則を復習する。「フランスのカフェ文化」の講義を行う。フランス文化がカフェという場所を中心に育まれていった経緯を学ぶ。 事前学修 2.0hr：発音の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習
4 回	授業テーマ：第1課 自己紹介と挨拶、主語人称代名詞と動詞「です」 授業内容：自己紹介と挨拶の表現を学ぶ。そのために主語人称代名詞や動詞「～です」などの文法の確認から始める。具体的に会話文で練習する。 事前学修 2.0hr：発音の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習、確認した表現を覚える
5 回	授業テーマ：第1課 国籍、数字、「フランスの年中行事」 授業内容：引き続き、自己紹介と挨拶の表現を学ぶ。国籍や数字もフランス語で言えるようにする。「フランスの年中行事」を知ることで、フランス人の一年の営みを学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：主語人称代名詞、動詞「です」の復習
6 回	授業テーマ：第2課 はいといいえ、職業・身分の表現、住んでいる場所を言う 授業内容：フランス語で職業や身分を言えるようにする。はいといいえを用いた応答を学ぶ。「住む」という動詞を確認する。 事前学修 2.0hr：主語人称代名詞、動詞「です」の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習、動詞「住む」の復習
7 回	授業テーマ：第2課 er 動詞、「フランスの美術」 授業内容：er 動詞の活用を確認する。前回の授業で学んだ表現を用いて、学生同士で会話の練習をする。「フランスの美術」を、映像で主要美術館をめぐるながら学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：er 動詞の活用を覚える
8 回	授業テーマ：第3課 否定文、不定冠詞、注文する 授業内容：名詞の性と数、否定文、不定冠詞などの文法の確認から始める。フランスのカフェで注文するのに必要な表現を学ぶ。学生同士で会話の練習をする。 事前学修 2.0hr：er 動詞の活用の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習、否定文、不定冠詞の復習
9 回	授業テーマ：第3課 注文する、「フランスの小説」 授業内容：注文の表現の練習を引き続き行う。「フランスの小説」の主要作品を紹介する。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習

10 回	授業テーマ：第4課 動詞「持っている」、否定の de、疑問文 授業内容：動詞「持っている」の活用を確認する。否定の de を学ぶ。フランス語の疑問文を学ぶ。身の回り品に冠詞をつけてみる。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習、動詞「持っている」の活用を覚える
11 回	授業テーマ：第4課 年齢やメールアドレスを聞く、「フランス映画」 授業内容：例文を参考に、年齢やメールアドレスを聞けるようにする。フランス映画史をたどりながら、重要な「フランス映画」を紹介する。 事前学修 2.0hr：動詞「持っている」の活用復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習
12 回	授業テーマ：第5課 所有形容詞、疑問詞、形容詞の性と数、人物を描写する 授業内容：「私の」「君の」などの所有形容詞を覚える。「誰」、「どこ」などの疑問詞を学ぶ。形容詞を用いて人物を描写してみる。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：所有形容詞、形容詞の性と数、疑問詞の復習
13 回	授業テーマ：第5課 人物を描写する、国名、「シャンソンを聴く I」 授業内容：前回の授業で学んだ文法を思い出ししながら、人物を問い、人物を描写する練習をする。シャンソンの名曲を、フランス語で歌詞を読みながら聴く。 事前学修 2.0hr：前回の文法の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習
14 回	授業テーマ：前期のフランス語の復習、「シャンソンを聴く II」 授業内容：フランス語の練習問題を解いて、前期に習ったフランス語の復習を行う。授業時間内に答え合わせと解説を行う。フランス語の歌詞を読みながら、シャンソンの名曲を聴く。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：確認した問題の復習
15 回	授業テーマ：まとめ 授業内容：前期の授業のまとめを行う。 事前学修 2.0hr：前回確認した問題の復習 事後学修 2.0hr：全体の復習

フランス語とフランス文化 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前

西村 美穂 (にしむら みほ)

■ 授業の概要

テキストのタイトル『Ça sonne bien!』は、音の響きがステキ！という意味です。フランス語会話、シャンソン(歌)、ポエム(詩)、映画などを鑑賞しながら、フランス語の音をたくさん聞き、みんなで一緒にフランス語の音やフレーズを何度も声に出し、友達と協力しながら、使えるフランス語を身につけていきましょう。まずは、Alphabet (アルファベ)から。

フランス語と英語の似ているところと違うところを考えながら、フランスの文化、そしてフランス語圏の文化についても理解を深めていきましょう。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ◎)

一般目標：フランス語圏の人に、フランス語で簡単な自己紹介ができるようにする。

個別目標：①フランス語の母音を理解し、フランス語圏の人に理解してもらえる発音を目指す。

②綴り字の規則を覚え、フランス語が読めるようにする。

③友達と協力しながら、使えるフランス語を覚える。

④フランスやフランス語圏の文化に触れてみる。

■ 履修条件

フランス語を母語とする学生は履修不可。

■ 評価基準・方法

評価基準・方法：課題・小テスト 40 %、評価テスト 60 %

評価テスト：最終回 15 回目に行う。詳しくは授業中に指示する。

■ フィードバック方法

授業内、または学修支援システム manaba を使用。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (グループワーク)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

"Ça sonne bien!", Atsuko Nakamura, 駿河台出版社, 2017.

■ 参考書

ドラ・トーザン 『パリジェンヌのパリ 20 区散歩』 ポプラ社

S. リキエル 『ソニア・リキエルのパリ散歩』 集英社

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：Alphabet 授業内容：①ガイダンス ②フランス語の簡単な挨拶 ③アルファベ La chanson de l'Alphabet 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
2 回	授業テーマ：発音記号の読み方&綴り字の読み方 授業内容：①フランス語母音字の発音記号の読み方&綴り字の読み方 ②発音記号を見ながら正しい発音で Alphabet を読む 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
3 回	授業テーマ：C'est un musée. 授業内容：①名詞の性と数 ③不定冠詞と定冠詞 ③提示表現 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
4 回	授業テーマ：Je suis contente. 授業内容：①動詞 être ②形容詞(国籍、性格、職業、色) 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
5 回	授業テーマ：Nous n'avons plus de croissants. 授業内容：①動詞 avoir ②部分冠詞 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
6 回	授業テーマ：J'étudie le français. 授業内容：① -er 動詞 ②疑問文 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
7 回	授業テーマ：Je finis mon travail à 18 heures. 授業内容：① -ir 動詞 ②指示形容詞 ③所有形容詞 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
8 回	授業テーマ：Bilan 1 自己紹介をしよう! 授業内容：Écouter et Parler 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
9 回	授業テーマ：Qu'est-ce qu'il fait dans la vie ? 授業内容：①疑問代名詞 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
10 回	授業テーマ：Où est-ce que vous passez vos vacances? 授業内容：①動詞 aller, partir ②前置詞と定冠詞の縮約 ③近接未来 ④疑問副詞 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題

11 回	授業テーマ：Je viens d'acheter une chemise rose. 授業内容：①動詞 venir ②前置詞と前置詞の縮約 ③近接過去 ④指示代名詞 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
12 回	授業テーマ：Je vous vois dimanche. 授業内容：①動詞 voir, descendre ②直接目的語・強勢形の人称代名詞 ③命令法 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
13 回	授業テーマ：Dis-lui bonjour de ma part. 授業内容：①動詞 écrire,dire ②間接目的語の人称代名詞 ③非人称構文 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
14 回	授業テーマ：Bilan 2 道を尋ねる 授業内容：Écouter et Parler 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
15 回	授業テーマ：Ça sonne bien ! 授業内容：総復習 事前学修 2.0hr：学習内容総復習 事後学修 2.0hr：総復習

フランス語とフランス文化 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：後

馬越 洋平 (うまこし ようへい)

■ 授業の概要

フランス語やフランス文化を学ぶ授業になります。前期に引き続き、文法を中心にフランス語の基礎を学んでゆきます。フランス語は入門レベルの授業です。グループワーク(アクティブ・ラーニング)として、教科書を用いて学生同士でフランス語の会話の練習なども行います。比較級など前期の授業よりもより発展した内容になります。この授業を受けることで、フランスを旅行するのに十分な語学力を身に付けることができるでしょう。また、様々なテーマから、フランス文化の講義も行います。半期で一区切りとなります。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ○)

一般目標：・発音、文法などの初歩的なフランス語を身につけて、平易な表現を使えるようにする。

・文化、歴史、生活などの面から、フランスという国の特色を理解する。異文化への理解を育む。

個別目標：・フランス語の仕組みを理解し、あいさつ、自己紹介、尋ねる、注文など、簡単な日常会話ができる。

・フランスという国の特徴を、文化、歴史、生活などの面から理解し、説明できる。

■ 履修条件

フランス語を母語とする学生、及びそれと同等の語学力(フランス語)を有する学生は履修できません。

■ 評価基準・方法

試験(60%)、授業参加度(20%)、課題提出(20%)。これらを総合的に判断して成績が決まります。原則として5分の4以上の出席を前提条件とします。

■ フィードバック方法

授業や manaba を通して伝える。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (グループワーク)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

カフェ・フランセ<新装版>、ニコラ・ガイヤール (著)、加藤豊子 (著)、中川高行 (著)、フロランス・容子・シュードル (著)、柳嶋周 (著)、朝日出版社、(初版2016年)

■ 参考書

必須ではないが、フランス語の辞書を手に入れておくことが望ましい。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：ガイダンス、前期の内容の復習 授業内容：授業についてのガイダンスを行う。教科書とプリントを用いて、前期に習ったフランス語の文法のおさらいをする。 事前学修 2.0hr：発音、動詞の活用などの復習 事後学修 2.0hr：確認した文法の復習
2 回	授業テーマ：第6課 これは何ですか？ 物の位置を言う 授業内容：定冠詞や場所を表す語句を学んで、物の位置を表せるようにする。「これは何ですか」というフレーズを使って会話してみる。 事前学修 2.0hr：前回の文法の復習 事後学修 2.0hr：「これは何ですか？」などの確認した表現の復習
3 回	授業テーマ：第6課 定冠詞、場所を表す語句、「フランスのことわざと名言」 授業内容：前回に引き続き、場所の表現を応用して会話の練習を行う。場所の表現と定冠詞に親しむ。フランスの「ことわざ」と「名言」を取り上げて考察する。 事前学修 2.0hr：前回確認した表現の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習
4 回	授業テーマ：第7課 好みを言う、形容詞の位置、～があります 授業内容：「～が好きです」という表現を学ぶ。好きなこと、その程度も言えるようにする。「～があります」などの重要表現も学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回確認した表現の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習、確認した表現を覚える
5 回	授業テーマ：第7課 様々な好みを言う、「パリについて」 授業内容：フランス語で好みを聞き、好みを言ってみる。文化講義として「パリ」について歴史や文化などの観点から学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：好みの表現や形容詞の位置について復習
6 回	授業テーマ：第8課 天気表現、比較級、非人称構文 授業内容：フランス語の天気を表す表現を学ぶ。非人称構文、比較級などの文法知識も習得する。学生同士で、フランス語で天気や洋服について話してみる。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習
7 回	授業テーマ：第8課 色と洋服、「フランスの地方について」 授業内容：洋服や色に関する表現に親しむ。実際に人・物を比較級で比べてみる。「フランス地方」の魅力を様々な都市を取り上げて学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：比較級の復習
8 回	授業テーマ：第9課 部分冠詞、中性代名詞、動詞「取る」と「する」 授業内容：部分冠詞や中性代名詞を学ぶ。頻出動詞「取る」と「する」の活用を覚える。それらを会話文のなかで実際に使ってみる。 事前学修 2.0hr：比較級の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習
9 回	授業テーマ：第9課 ～をします、朝食をとる、「フランスの世界遺産」 授業内容：「朝食に～をとる」などをフランス語で言えるようにする。パリから地方まで「フランスの世界遺産」を映像などを用いて学ぶ。 事前学修 2.0hr：動詞「取る」、「する」の活用の復習 事後学修 2.0hr：朝食をとるなどの確認した表現の復習
10 回	授業テーマ：第10課 ～に行く、中性代名詞 y 授業内容：動詞「行く」を学ぶ。他の頻出動詞も学ぶ。動詞「行く」や中性代名詞 y を使って会話する。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習

11 回	授業テーマ：第10課 乗り物、曜日や場所、招待する、「ワインについて」 授業内容：乗り物を使った表現や、曜日、場所を組み合わせる文を作ってみる。フランス語で招待できるようにする。フランス文化における「ワイン」の重要性を講義する。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：動詞「行く」など確認した表現の復習
12 回	授業テーマ：第11課 日常生活と時間の表現、代名動詞 授業内容：フランス語の時間の表現について学ぶ。代名動詞を使えるようにする。日常生活を語るための表現を覚える。 事前学修 2.0hr：動詞「行く」などの確認した表現の復習 事後学修 2.0hr：時間・代名動詞などの確認した表現の復習
13 回	授業テーマ：第11課 時間の言い方、代名動詞、「シャンソンを聴くⅢ」 授業内容：前回覚えた時間の表現や代名動詞などを用いて、一日を描写してみる。「シャンソンを聴くⅢ」では前期と同様で、歌詞を確認しながらシャンソンの名曲を聴く。 事前学修 2.0hr：前回の文法の復習 事後学修 2.0hr：時間の表現、代名動詞の復習
14 回	授業テーマ：後期のフランス語の復習、「シャンソンを聴くⅣ」 授業内容：後期のフランス語の内容をおさらいするために練習問題を解く。授業時間内に答え合わせと解説を行う。「シャンソンを聴くⅣ」では、フランス文化を学びながらシャンソンを聴く。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：確認した問題の復習
15 回	授業テーマ：まとめ 授業内容：後期の授業のまとめを行う。 事前学修 2.0hr：前回確認した問題の復習 事後学修 2.0hr：全体の復習

フランス語とフランス文化 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：後

西村 美穂 (にしむら みほ)

■ 授業の概要

フランス語とフランス文化Aで使用したテキスト『Ça sonne bien!』を引き続き勉強します。この題名は、音の響きがステキ！という意味です。フランス語会話、シャンソン(歌)、ポエム(詩)、映画などを鑑賞しながら、フランス語の音をたくさん聞き、みんなで一緒に、フランス語の音やフレーズを何度も声に出し、友達と協力しながら、使えるフランス語を身につけていきましょう。まずは、フランス文化Aで学習したフランス語の読みから。フランス語と英語の似ているところと違うところを考えながら、フランスの文化、そしてフランス語圏の文化についても理解を深めていきましょう。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ◎)

一般目標：フランス語圏の人に、フランス語で簡単な自己紹介ができるようにする。

個別目標：①フランス語の母音を理解し、フランス語圏の人に理解してもらえる発音を目指す。
②綴り字の規則を覚え、フランス語が読めるようにする。
③友達と協力しながら、使えるフランス語を覚える。
④フランスやフランス語圏の文化に触れてみる。

■ 履修条件

フランス語を母語とする学生は履修不可。

■ 評価基準・方法

評価基準・方法：課題・小テスト 40 %、評価テスト 60 %

評価テスト：最終回 15 回目に行う。詳しくは授業中に指示する。

■ フィードバック方法

授業内、または学修支援システム manaba を使用。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (グループワーク)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

"Ça sonne bien!", Atsuko Nakamura, 駿河台出版社, 2017.

■ 参考書

ドラ・トーザン 『パリジェンヌのパリ 20 区散歩』 ポプラ社

S. リキエル 『ソニア・リキエルのパリ散歩』 集英社

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：復習 1 授業内容：①ガイドダンス ②フランス語母音字の発音記号の読み方&綴り字の読み方 ③アルファベ ④数字 1-20 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
2 回	授業テーマ：復習 2 授業内容：①時刻、数詞 20-60 ②6 文型 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
3 回	授業テーマ：復習 3 授業内容：①月、曜日、数詞 70-100 ③疑問文 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
4 回	授業テーマ：復習 4 授業内容：①名詞 ②冠詞 ③形容詞 ③疑問文 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
5 回	授業テーマ：Dépêche-toi! 授業内容：①題名動詞 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
6 回	授業テーマ：Ma mère m'a téléphoné. 授業内容：①直接法複合過去 1 ② pouvoir, devoir 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
7 回	授業テーマ：Nous sommes montés à la tour Eiffel. 授業内容：①直接法複合過去 2 ② croire, lire 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
8 回	授業テーマ：Des citrons, j'en prends deux. 授業内容：① 中性代名詞 ② vouloir, savoir 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
9 回	授業テーマ：Quelle est la meilleure saison ? 授業内容：①比較級 ②最上級 ③ connaitre, courir 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
10 回	授業テーマ：Bilan 1 日記を書こう! 授業内容：Écouter et Parler 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題

11 回	授業テーマ：L'été, j'allais à la mer. 授業内容：①直接法半過去 ②直接法大過去 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
12 回	授業テーマ：Quelle est la région que tu aimes le plus ? 授業内容：①関係代名詞 ② offrir, recevoir 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
13 回	授業テーマ：Tu viendras avec nous. 授業内容：①直接法単純未来 ②受動態 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
14 回	授業テーマ：Bilan 2 グリーティングカード(誕生日カード、クリスマスカード、年賀状)を書こう！ 授業内容：Écouter et Parler 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
15 回	授業テーマ：Ça sonne bien ! 授業内容：総復習 事前学修 2.0hr：学習内容総復習 事後学修 2.0hr：課題

ドイツ語とドイツ文化 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前

諏佐 ランカ (すさ らんか)

■ 授業の概要

ドイツと聞いて初めに何を想像しますか？ まずは誰もがビールにソーセージ、自動車産業にサッカーなどを連想するでしょう。そして第二次世界大戦や冷戦期の東西ドイツの分断なども思い出すことでしょう。しかしそれだけではありません。日本では明治時代以降、ドイツの様々な文化や社会制度を手本として取り入れてきました。この授業では、ドイツの歴史、社会や文化、法律、そしてドイツ語の基礎を学ぶことを通じて、同時に私たちが住んでいる日本という国についての理解も深めていきます。前期の授業では歴史を中心に学ぶ予定ですが、授業テーマは随時変更することがあります。各テーマについて積極的に考えてもらうため、授業中の発言や意見交換をする機会を定期的に作ります。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○)

一般目標：日本の社会システムや問題点について理解するためには、海外の状況と比較することが有効です。外国の制度とそれに至るまでの歴史的過程を知ることで、日本とは異なった視点があることを知ることができ、日本の制度の特色や問題点に気づくことができます。日本の価値観や考え方にだけにとらわれず、多面的でバランスのとれた見方ができるようになることがこの授業の到達目標です。また、ドイツ語の基礎知識を織り交ぜることで、新たな言語に対する理解を深めます。

個別目標：1. ドイツの歴史を中心に、社会制度や文化など、様々な特徴や問題について考え、日本との違いを説明できるようになる。
2. ドイツ語という言語の基礎知識を知って知的視野を広げる。

■ 履修条件

ドイツという国およびドイツ語への興味関心、日本と異なる文化や考え方を学ぶ探求心、そして主体的に課題に取り組める方をお待ちしています。

※当該言語(ドイツ語)を母語とする学生及び母語同等に堪能な学生は履修できません。

■ 評価基準・方法

授業中の課題(授業中の発言・意見交換、小テスト等)：30%

期末試験：70%

※期末試験は欠席を除いた5分の4以上(15回授業の場合は12回以上)出席した場合のみ受験資格を認める

※manabaやresponアプリ(ルーム等)で課題提出を行う。成績に影響するため、メールの通知設定も含めて必ず事前準備しておくこと

■ フィードバック方法

質問がある場合、授業後に担当者に直接聞いて下さい。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (必要に応じて意見交換やディスカッションを行う)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (必要に応じて課題等で使用する)

■ 教科書

伊藤直子 / 吉村暁子 / 小野寺賢一 『ひらめき、発見、ドイツ語文法 (Sei aktiv!)』朝日出版社

授業時間の約半分はドイツ語学習です。ドイツ語の文法説明と練習問題で毎週使用するため、必ず持参すること。

その他、担当者が作成したレジュメやパワーポイントなどの追加資料を併用して授業を進める。

■ 参考書

特になし。必要に応じて参考書を履修者に提示する。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：はじめに：ドイツについて 授業内容：数ある外国の中でなぜドイツに興味を持ったのかを考える。ドイツの制度や文化について、何をどう学んでいきたいかを説明する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
2 回	授業テーマ：ドイツの宗教と祭り 授業内容：ドイツのキリスト教文化と代表的な祭り(カーニバル、イースター、クリスマスマーケット)について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
3 回	授業テーマ：ドイツの生活文化と価値観 授業内容：ドイツにおける生活文化の違いや価値観について、動画を視聴しながら学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
4 回	授業テーマ：歴史①ドイツの成り立ち(前編) 授業内容：18世紀頃までのドイツの歴史を概観する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
5 回	授業テーマ：歴史②ドイツの成り立ち(後編) 授業内容：19～20世紀初頭までのドイツの歴史を概観する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
6 回	授業テーマ：歴史③第二次世界大戦前～戦後ドイツ 授業内容：第二次世界大戦が始まるまで、そして戦後ドイツの状況を概観する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
7 回	授業テーマ：EU とドイツ 授業内容：EU ができるまでの歴史的発展を概説する。EU 組織の基礎知識と制度やシステムについて説明する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
8 回	授業テーマ：ドイツの移民について 授業内容：ドイツの移民に関する歴史や政策、現在の課題について概説する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。

9 回	授業テーマ：ドイツとトルコ系移民(前編) 授業内容：本テーマにまつわる映画を視聴して、ドイツにおけるトルコ系移民について知見を深める。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
10 回	授業テーマ：ドイツとトルコ系移民(後編) 授業内容：本テーマにまつわる映画を視聴して、ドイツにおけるトルコ系移民について知見を深める。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
11 回	授業テーマ：ドイツの政治 授業内容：ドイツの政治、選挙システム、政党について概説する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
12 回	授業テーマ：ドイツとジェンダー①憲法の母たち 授業内容：ドイツの歴史をジェンダー視点から振り返る。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
13 回	授業テーマ：ドイツとジェンダー②選択的夫婦別姓と専業主婦 授業内容：ドイツが選択的夫婦別姓制度を取り入れた経緯を概説する。また、専業主婦に対する考え方が日本と異なることを説明する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
14 回	授業テーマ：ドイツの観光 授業内容：ドイツにおける有名な観光地・グルメについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
15 回	授業テーマ：まとめ：総復習 授業内容：全体の復習と今後の展望について説明する。この授業を通じて何を学んだか、そしてこれから何をどう学んでいくかを考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。

ドイツ語とドイツ文化 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前

リスナー フランク ペーター

■ 授業の概要

ドイツ語については、発音をしっかり身につけ、やさしい日常会話に必要な文法を習得してもらい、初歩的な日常会話を練習します。文化については、履修者は文化的なトピックについて特別な課題に取り組み、先生からフィードバックを受けます。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○)

一般目標：日本の社会の仕組みやそこに生起する問題について深く理解するための1つの方法は、外国の状況と比較することである。外国の制度や問題解決を参照することにより、日本におけるのは異なった方法があることを知ることができる。また、外国の状況を知ることによりはじめて、日本の制度や文化のもつ際立った特色や問題点について気づくこともできる。こうした比較のためにドイツはきわめて適している。履修者がこうした、多面的でバランスのとれた見方ができるようになるための一助とすることを授業の到達目標としたい。

個別目標：日本とドイツのそれぞれの社会制度や文化、言語について、それぞれの特色や問題点を指摘し、相互に比較しながらそれぞれの利害得失について説明できるようになること、である。この授業を通して履修者が、ドイツ語という言葉と、その言語が使われているドイツ社会に大いに関心を持ち、知的視野を広げてくれることを願っている。

「ドイツ語検定 5 級」に合格できる。

■ 履修条件

当該言語(ドイツ語)を母語とする学生及び母語同等に堪能な学生は履修できません。主体的に課題に取り組み、自分にとって未知の問題でも、積極的に取り組もうという気持ちをもった学生に履修してほしい。

■ 評価基準・方法

授業への参加度(授業への参加姿勢+課題の提出の有無・出来具合) 50%、期末試験 50%の結果に基づき、総合的に評価します。

■ フィードバック方法

期末試験の具体的内容については、試験の1,2週間前に、説明します。
尚、課題および定期試験のフィードバックは、授業中に行います。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (必要に応じて、プレゼンテーションを課したり、ディベートを行ってもらう。)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

森公正・Frank Riesner『ドイツ語の泉』、同学社 ISBN 978-4-8102-0977-8

■ 参考書

特になし

■ 授業テーマ・授業内容と授業外(事前・事後)の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：アルファベット、発音(母音、子音) 授業内容：ドイツ語ではどれだけの文字を使うのかを説明します(英語で使用する文字に、さらに4文字余計に使用します)。それらの文字が、語のなかでどのように発音されるかが、発音の問題です。初回の授業では、発音について、説明・練習をします。 事前学修 2.0hr：シラバスをもう一度確認し、テキストの発音部分を眺めておく。 事後学修 2.0hr：ドイツ語の文字の確認と、母音や子音の発音の復習。
2 回	授業テーマ：発音(母音、子音)、動詞の現在人称変化 授業内容：発音の説明・練習の続きです。発音を終わらせます。動詞、動詞の現在人称変化を導入します。ドイツ語では、主語の人称(1人称単数(「私は」)・2人称単数(「君は」)……)に応じて、動詞が変化するという現象があります。それを人称変化と言います。 事前学修 2.0hr：テキストの今回の発音の部分を眺めておく。 事後学修 2.0hr：英語と比較しての、ドイツ語の動詞の確認する。
3 回	授業テーマ：定動詞の位置、動詞の現在人称変化の練習 授業内容：規則動詞の現在人称変化を練習し、文中の動詞の位置に注意すること。口調上注意すべき動詞の現在人称を導入すること。「ドイツ文化」のテーマは歴史です。 事前学修 2.0hr：テキストの口調上注意すべき動詞の現在人称変化や文中の動詞の位置の部分を予習しておく。 事後学修 2.0hr：口調上注意すべき動詞の現在人称変化や文中の動詞の位置の部分を復習しておく。
4 回	授業テーマ：sein(である)の現在人称変化、動詞の現在人称変化の練習 授業内容：sein 動詞の不規則現在人称変化の練習・規則現在人称変化復習です。「ドイツ文化」のテーマは歴史です。 事前学修 2.0hr：テキストの動詞の現在人称変化の部分を予習しておく。 事後学修 2.0hr：動詞の現在人称変化の復習しておく。
5 回	授業テーマ：名詞の性 授業内容：名詞の性、男性名詞、女性名詞、中性名詞の特徴を導入すること。「ドイツ文化」のテーマは歴史です。 事前学修 2.0hr：テキストの第2課を予習しておく。 事後学修 2.0hr：男性名詞、女性名詞、中性名詞の復習しておく。
6 回	授業テーマ：名詞の性、冠詞の格変化(1) 授業内容：名詞の性、冠詞の格変化の1,4格を導入すること。「ドイツ文化」のテーマは歴史です。 事前学修 2.0hr：冠詞の格変化を予習しておく。 事後学修 2.0hr：冠詞の格変化の1,4の復習しておく。
7 回	授業テーマ：名詞の性、冠詞の格変化(2) 授業内容：名詞の性、冠詞の格変化の2,3格を導入すること。「ドイツ文化」のテーマは旧東西ドイツです。 事前学修 2.0hr：冠詞の格変化を予習しておく。 事後学修 2.0hr：冠詞の格変化の2,3の復習しておく。

8 回	<p>授業テーマ：不規則動詞 sein を復習、haben の導入 授業内容：ドイツ語で圧倒的に使われる"sein"と、2 番目によく使われる"haben"という動詞の現在人称変化、および、発音の都合上、規則的な現在人称変化と若干変化が異なる動詞を扱います。 「ドイツ文化」のテーマは旧東西ドイツです。 事前学修 2.0hr：テキストの 2 課を予習しておく。 事後学修 2.0hr：不規則動詞 sein や haben の現在人称変化の復習しておく。</p>
9 回	<p>授業テーマ：複数形 授業内容：複数形の形が紹介されています。どのような語尾がありますか。 「ドイツ文化」のテーマはベルリンの壁崩壊です。 事前学修 2.0hr：複数形を予習しておく。 事後学修 2.0hr：複数形の復習しておく。</p>
10 回	<p>授業テーマ：複数形の格変化 授業内容：複数形の格変化の導入 「ドイツ文化」のテーマは連邦州 (1) です。 事前学修 2.0hr：3 課の文法事項を予習しておく。 事後学修 2.0hr：複数形の格変化の復習しておく。</p>
11 回	<p>授業テーマ：男性弱変化名詞 授業内容：複数形の使い方と特殊な形を紹介します。。 「ドイツ文化」のテーマは連邦州 (2) です。 事前学修 2.0hr：3 課の文法事項を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。</p>
12 回	<p>授業テーマ：教科書の第 1、第 2、第 3 課の復習 授業内容：動詞の現在人称変化、名詞の 1,2,3,4 格 「ドイツ文化」のテーマは連邦州 (3) です。 事前学修 2.0hr：テキストで第 1、第 2、第 3 課を予習しておく。 事後学修 2.0hr：テキストで第 1、第 2、第 3 課を復習しておく。</p>
13 回	<p>授業テーマ：定冠詞の格変化の復習 授業内容：定冠詞の使い方 「ドイツ文化」のテーマは政治体制 (1) です。 事前学修 2.0hr：定冠詞の格変化を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。</p>
14 回	<p>授業テーマ：不定冠詞の格変化の復習 授業内容：不定冠詞の練習 「ドイツ文化」のテーマは政治体制 (2) です。 事前学修 2.0hr：不定冠詞の格変化を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。</p>
15 回	<p>授業テーマ：第 1 課から第 3 課までの繰り返し 授業内容：前期にやったことのまとめ 事前学修 2.0hr：これまでにやったことを確認しておく。 事後学修 2.0hr：これまでにやったことを確実に身につけておく。</p>

ドイツ語とドイツ文化 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：後

諏佐 ランカ (すさ らんか)

■ 授業の概要

日本では明治時代以降、ドイツの様々な文化や社会制度を手本として取り入れて来ました。この授業では、ドイツ社会や文化、法律、そしてドイツ語の基礎を学ぶことを通じて、同時に私たちが住んでいる日本という国についての理解も深めていきます。履修者には各テーマについて積極的に考えてもらうため、授業中の発言や意見交換をする機会を定期的に作ります。なお、この科目は、前期「ドイツ語とドイツ文化 A」の後半部分です。歴史にまつわるテーマが中心だった前期に比べて、後期はドイツの社会制度や文化に関する割合が多くなっています。※授業内容は随時変更されることがあります。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ○)

一般目標：日本の社会システムや問題点について理解するためには、外国の状況と比較することが有効です。外国の制度を知ることで、日本とは異なった視点があることを知ることができ、さらに日本の制度・文化の特色・問題点に気づくこともできます。日本の価値観や考え方だけにとらわれず、多面的でバランスのとれた見方ができるようになることがこの授業の到達目標です。また、ドイツ語の基礎知識を織り交ぜることで、新たな言語に対する理解を深めます。

個別目標：1. 日本とドイツの社会制度や文化・考え方など、様々な特徴や問題点を指摘し、相互を比較して違いを説明できるようになる。
2. ドイツ語という言語の基礎知識を知って知的視野を広げる。

■ 履修条件

ドイツという国およびドイツ語への興味関心、日本と異なる文化や考え方を学ぶ探求心、そして主体的に課題に取り組める方をお待ちしています。

※当該言語(ドイツ語)を母語とする学生及び母語同等に堪能な学生は履修できません。

※ドイツ語の文法は前期からの継続となります。後期から履修される方は事前に教科書の前半を読んで、ある程度キャッチアップしておいて下さい。

■ 評価基準・方法

授業中の課題(授業中の発言・意見交換、小テスト等)：30%

期末試験：70%

※期末試験は欠点を除いた 5 分の 4 以上(15 回授業の場合は 12 回以上)出席した場合のみ受験資格を認める

※ manaba や respon アプリ(ルーム等)で課題提出を行う。成績に影響するため、メールの通知設定も含めて必ず事前準備しておくこと

■ フィードバック方法

質問がある場合、授業後に担当者に直接聞いて下さい。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (必要に応じて意見交換やディスカッションを行う)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (必要に応じて課題等で使用する)

■ 教科書

伊藤直子 / 吉村暁子 / 小野寺賢一『ひらめき、発見、ドイツ語文法 (Sei aktiv!)』朝日出版社

授業時間の約半分はドイツ語学習です。ドイツ語の文法説明と練習問題で毎週使用するため、必ず持参すること。

その他、担当者が作成したレジュメやパワーポイントなどの追加資料を併用して授業を進める。

■ 参考書

特になし。必要に応じて参考書を履修者に提示する。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：はじめに：ドイツについて 授業内容：前期の授業を振り返りながら、ドイツという国とその制度や文化について、どのように知識を深めていきたいかを改めて考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
2 回	授業テーマ：ドイツの教育制度 授業内容：ドイツの教育システムを学びながら、日本の教育システムとの違いを考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
3 回	授業テーマ：ドイツの大学制度 授業内容：ドイツの大学制度を学びながら、日本の大学制度との違いを考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
4 回	授業テーマ：旧東ドイツ①社会状況と日常生活 授業内容：旧東ドイツ(DDR)時代の人々の日常生活について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
5 回	授業テーマ：旧東ドイツ②オスタルギーとは(前編) 授業内容：東西ドイツ再統一とその後の旧東ドイツの状況について、映画を視聴しながら学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
6 回	授業テーマ：旧東ドイツ③オスタルギーとは(後編) 授業内容：東西ドイツ再統一とその後の旧東ドイツの状況について、映画を視聴しながら学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
7 回	授業テーマ：ドイツの職業訓練と仕事観 授業内容：ドイツ人の職業に対する意識と仕事観について学びながら、日本との違いを考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
8 回	授業テーマ：ドイツの産業と企業 授業内容：ドイツを代表する企業やドイツの産業について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。

9 回	授業テーマ：ドイツと貧困 授業内容：ドイツにおける人々の経済事情や貧困について学び、日本との違いを考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
10 回	授業テーマ：ドイツ人の働き方 授業内容：ドイツ国内の仕事事情について学び、日本との違いを考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
11 回	授業テーマ：ドイツの税金と社会保険 授業内容：ドイツの税金制度や社会保険システムを学び、日本との違いを考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
12 回	授業テーマ：ドイツに留学しよう①各地域の特色 授業内容：ドイツ留学を検討する際に考えるべき、選ぶべき地域の特色について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
13 回	授業テーマ：ドイツに留学しよう②食文化や生活習慣 授業内容：ドイツ留学を検討する際に考えるべき、ドイツ人の食文化や生活習慣について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
14 回	授業テーマ：ドイツに留学しよう③外国人として生活する 授業内容：ドイツ留学を検討する際、自身が外国人として生活することについて考えてみる。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
15 回	授業テーマ：まとめ：総復習 授業内容：全体の復習を行う。この授業を通じて何を学んだか、そしてこれから何をどう学んでいくかを考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。

ドイツ語とドイツ文化 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：後

リスナー フランク ペーター

■ 授業の概要

ドイツ語については、『ドイツ語とドイツ文化 A』に引き続き、やさしい日常会話に慣れ親しんでもらうことを目指します。文化については、履修者は文化的なトピックについての特別な課題に取り組み、先生からフィードバックを受けます。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○)

一般目標：日本の社会の仕組みやそこに生起する問題について深く理解するための1つの方法は、外国の状況と比較することである。外国の制度や問題解決を参照することにより、日本におけるのは異なった方法があることを知ることができる。また、外国の状況を知ることによりはじめて、日本の制度や文化のもつ際立った特色や問題点について気づくこともできる。こうした比較のためにドイツはきわめて適している。履修者がこうした、多面的でバランスのとれた見方ができるようになるための一助とすることを授業の到達目標としたい。

個別目標：日本とドイツのそれぞれの社会制度や文化、言語について、それぞれの特色や問題点を指摘し、相互に比較しながらそれぞれの利害得失について説明できるようになること、である。この授業を通して履修者が、ドイツ語という言葉と、その言語が使われているドイツ社会に大いに関心を持ち、知的視野を広げてくれることを願っている。

「ドイツ語検定 5 級」に合格できる。

■ 履修条件

当該言語(ドイツ語)を母語とする学生及び母語同等に堪能な学生は履修できません。

尚、ドイツ語に関しては、『ドイツ語とドイツ文化 A』のレベルの内容(具体的には、ドイツ語の発音、現在人称変化、名詞の性・格の知識)を前提とすることを、承知しておいてください。

■ 評価基準・方法

・ 授業への参加度(授業への参加姿勢+課題の提出の有無・出来具合) 50 %、期末試験 50 %の結果に基き、総合的に評価します。期末試験の具体的内容については、試験の1,2週間前に、説明します。

■ フィードバック方法

課題および定期試験のフィードバックは、授業中に行います。

■ アクティブ・ラーニングの実施(実施内容)

あり(必要に応じて、プレゼンテーションを課したり、ディベートを行ってもらう。)

■ 授業での PC の利用(利用内容)

なし

■ 教科書

森公正・Frank Riesner『ドイツ語の泉』、同学社 ISBN 978-4-8102-0977-8

■ 参考書

特になし

■ 授業テーマ・授業内容と授業外(事前・事後)の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：ドイツとドイツ語の基本情報 授業内容：ドイツ語については、「ドイツ語とドイツ文化 A」で勉強した内容の復習 事前学修 2.0hr：これまでに学習したことを予習しておく。 事後学修 2.0hr：初回の授業の内容を復習しておく。
2 回	授業テーマ：動詞の現在人称変化(不規則) 授業内容：不規則動詞の現在人称変化の導入。 「ドイツ文化」のテーマは政治体制(1)です。 事前学修 2.0hr：動詞の現在人称変化の予習をしておく。 事後学修 2.0hr：不規則動詞の現在人称変化の復習をしておく。
3 回	授業テーマ：命令形 授業内容：命令形の導入。 「ドイツ文化」のテーマは政治体制(2)です。 事前学修 2.0hr：命令形の予習をしておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
4 回	授業テーマ：nicht の位置 授業内容：否定文の導入 「ドイツ文化」のテーマは政治体制(3)です。 事前学修 2.0hr：否定文の予習をしておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
5 回	授業テーマ：定冠詞類 授業内容：定冠詞類の導入 「ドイツ文化」のテーマは政治体制(4)です。 事前学修 2.0hr：冠詞の格変化を予習しておく。(1格、2格、3格、4格) 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
6 回	授業テーマ：不定冠詞類 授業内容：不定冠詞類の導入、所有代名詞の使い方 「ドイツ文化」のテーマは政治体制(5)です。 事前学修 2.0hr：不定冠詞の格変化を予習しておく。(1格、2格、3格、4格) 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
7 回	授業テーマ：人称代名詞 1格、3格、4格 授業内容：人称代名詞の導入、定冠詞類や不定冠詞類の練習 「ドイツ文化」のテーマは政治体制(6)です。 事前学修 2.0hr：テキストの第5課を予習しておく。(29ページ) 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。

8 回	<p>授業テーマ：文法的否定形 nicht , kein 授業内容：nicht, kein の使い分け 「ドイツ文化」のテーマは 法制度 (1) です。</p> <p>事前学修 2.0hr：nicht, kein を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。</p>
9 回	<p>授業テーマ：2、3、4格支配の前置詞 授業内容：2、3、4格支配の前置詞の導入。 「ドイツ文化」のテーマは 法制度 (2) です。</p> <p>事前学修 2.0hr：冠詞の格変化を予習しておく。(2格、3格、4格) 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。</p>
10 回	<p>授業テーマ：2、3、4格支配の前置詞の復習 授業内容：3格、4格、スイッチ型前置詞のを復習しておく。 「ドイツ文化」のテーマは経済 (1) です。</p> <p>事前学修 2.0hr：3格、4格の前置詞と冠詞類を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。</p>
11 回	<p>授業テーマ：前置詞の融合形 授業内容：前置詞と冠詞の組み合わせ方 「ドイツ文化」のテーマは経済 (2) です。</p> <p>事前学修 2.0hr：冠詞の格変化を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。</p>
12 回	<p>授業テーマ：縦続接続詞と副文 授業内容：主文と副文の特徴の説明、副文の構造の導入。 「ドイツ文化」のテーマは経済 (3) です。</p> <p>事前学修 2.0hr：動詞の位置を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。</p>
13 回	<p>授業テーマ：第 4 の復習 授業内容：第 4 の復習 「ドイツ文化」のテーマは教育 (1) です。</p> <p>事前学修 2.0hr：命令形と動詞の現在人称不規則変化を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。</p>
14 回	<p>授業テーマ：第 5、第 6 の復習 授業内容：第 5、第 6 の復習 「ドイツ文化」のテーマは教育 (2) です。</p> <p>事前学修 2.0hr：前置詞と冠詞類を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。</p>
15 回	<p>授業テーマ：第課 4 から第 6 課までの繰り返し 授業内容：後期にやったことのまとめ 事前学修 2.0hr：これまでにやったことを確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。</p>

スペイン語とスペイン文化A

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前

ゴンサレス ガブリエル

■ 授業の概要

スペイン語は、使用人口が世界で 3 番目に多く、20 を超える国々で話されています。本講座の中心目標は、スペイン語の基本を習得することです。それを通じて、スペイン語文化圏の理解にも努めます。スペイン語圏を紹介するビデオも数回見ます。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○)

一般目標：スペイン語の基本を身に付けること。
スペイン語で最低限の会話のやり取りができるようになること。
個別目標：スペインとスペイン語圏の国の文化や習慣など理解できること。
スペイン語圏、スペイン語圏のビジネス界を理解する。

■ 履修条件

1 年次からの開講科目。
スペイン語を母語とする学生は履修できません。

■ 評価基準・方法

授業への参加度と宿題: 20%
学期中の小テスト: 20%
期末試験: 60%

■ フィードバック方法

Manaba の個別指導。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (授業で積極的な参加)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (Manaba)

■ 教科書

スペイン語とわたし
ー日本とスペイン語圏、くらべてコミュニケーション!ー
El español y yo. スペイン語教材研究会編者、2025 年 (改訂版)、朝日出版社

■ 参考書

「本気で学ぶスペイン語」菅原昭江著、2011 年、同学社
「スペイン語ワークブック」小川雅美編著、2007 年、同学社
「先生と学ぶスペイン語」山下好孝、森淳子共著、2009 年、同学社

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：スペイン語のアルファベット 授業内容：授業の進め方について 2と3ページスペイン語のアルファベット、発音について 事前学修 2.0hr：2と3ページを読む 事後学修 2.0hr：スペイン語のアルファベット、発音について
2 回	授業テーマ：スペイン語の国際言葉 授業内容：ユニットすでに知っているスペイン語の言葉4ー7ページ. Preliminar: Tú ya sabes cosas 事前学修 2.0hr：4ー7ページを読む 事後学修 2.0hr：固有名詞、教室で役に立つ表現、数字(0ー10)
3 回	授業テーマ：スポーツ I 授業内容：ユニット1スポーツとわたし 8ー10ページ Unidad 1: Los deportes y yo 事前学修 2.0hr：8ー10ページを読む 事後学修 2.0hr：名詞の性、名詞の数、定冠詞、主語代名詞を勉強する
4 回	授業テーマ：スポーツ II 授業内容：ユニット1スポーツとわたし 11-13ページ Unidad 1: Los deportes y yo 事前学修 2.0hr：11-13ページを読む 事後学修 2.0hr：「ser」動詞の現在形、疑問文、否定文を勉強する
5 回	授業テーマ：食べ物と料理 I 授業内容：ユニット2食べ物とわたし14-16ページ 事前学修 2.0hr：14-16ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(名詞、定冠詞、主語)を勉強する
6 回	授業テーマ：食べ物と料理 II 授業内容：ユニット2食べ物とわたし17-19ページ. Unidad 2: Las comidas y yo 事前学修 2.0hr：17-19ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(「ser」動詞、疑問文、否定文)を勉強する
7 回	授業テーマ：レビュー 授業内容：ユニット1、2の中の小テストトレーニング 事前学修 2.0hr：ユニット1と2を小テストトレーニングする 事後学修 2.0hr：小テストトレーニングの振り返りをする
8 回	授業テーマ：旅行 I 授業内容：ユニット旅行とわたし20-22ページ. Unidad 3: Los viajes y yo 事前学修 2.0hr：20-22ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(数字)を勉強する
9 回	授業テーマ：旅行 II 授業内容：ユニット旅行とわたし23-25ページ. Unidad 3: Los viajes y yo 事前学修 2.0hr：23-25ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(職業、国籍)を勉強する

10 回	授業テーマ：音楽Ⅰ 授業内容：ユニット音楽とわたし26-28ページ. Unidad 4: La música y yo 事前学修 2.0hr：26-28ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(不定冠詞、品質形容詞)を勉強する
11 回	授業テーマ：音楽Ⅱ 授業内容：ユニット音楽とわたし29-31ページ. Unidad 4: La música y yo 事前学修 2.0hr：29-31ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(所有詞前置形)を勉強する
12 回	授業テーマ：趣味と仕事 授業内容：ユニット趣味対仕事32-33ページ. Unidad 5: Aficiones vs. trabajo 事前学修 2.0hr：32-33ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(「tener」動詞、疑問詞)を勉強する
13 回	授業テーマ：仕事 授業内容：ユニット趣味対仕事34-35ページ. Unidad 5: Aficiones vs. trabajo 事前学修 2.0hr：34-35ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(指示の形容詞と代名詞)を勉強する
14 回	授業テーマ：趣味 授業内容：ユニット趣味対仕事36-37ページ. Unidad 5: Aficiones vs. trabajo 事前学修 2.0hr：36-37ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(「estar」動詞、「haber」動詞)を勉強する
15 回	授業テーマ：レビュー 授業内容：まとめ ユニット3、4と5の試験のトレーニング 事前学修 2.0hr：ユニット3、4と5を勉強トレーニングする 事後学修 2.0hr：前期の復習を勉強する

スペイン語とスペイン文化 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：後

ゴンサレス ガブリエル

■ 授業の概要

スペイン語は、使用人口が世界で 3 番目に多く、20 を超える国々で話されています。本講座の中心目標は、スペイン語の基本を習得することです。それを通じて、スペイン語文化圏の理解にも努めます。スペイン語圏を紹介するビデオも数回見ます。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○)

一般目標：スペイン語の基本を身に付けること。
スペイン語で最低限の会話のやり取りができるようになること。
個別目標：スペインとスペイン語圏の国の文化や習慣など理解できること。
スペイン語圏、スペイン語圏のビジネス界を理解する。

■ 履修条件

1 年次からの開講科目。
スペイン語を母語とする学生は履修できません。

■ 評価基準・方法

授業への参加度と宿題: 20%
学期中の小テスト: 20%
期末試験又は小テスト: 60%

■ フィードバック方法

Manaba の個別指導。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (授業で積極的な参加)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (Manaba)

■ 教科書

スペイン語とわたし
ー日本とスペイン語圏、くらべてコミュニケーション！ー
El español y yo. スペイン語教材研究会編者、2025 年 (改訂版)、朝日出版社

■ 参考書

「本気で学ぶスペイン語」菅原昭江著、2011 年、同学社
「スペイン語ワークブック」小川雅美編著、2007 年、同学社
「先生と学ぶスペイン語」山下好孝、森淳子共著、2009 年、同学社

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：イントロダクション 授業内容：授業の進め方について 事前学修 2.0hr：前期の復習 事後学修 2.0hr：前期の復習を勉強する
2 回	授業テーマ：ショーとエンターテインメント I 授業内容：ユニット6ユニット映画 演劇等とわたし 3 8-4 0 ページ Unidad 6: Los espectáculos y yo 事前学修 2.0hr：3 8-4 0 ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容 (GUSTAR 動詞) を勉強する
3 回	授業テーマ：ショーとエンターテインメント II 授業内容：ユニット6ユニット映画 演劇等とわたし 4 1-4 3 ページ Unidad 6: Los espectáculos y yo 事前学修 2.0hr：4 1-4 3 ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容 (GUSTAR と同じように用いられる動詞、比較表現 II) を勉強する
4 回	授業テーマ：伝統 I 授業内容：ユニット7色々な習慣 4 4-4 5 ページ Unidad 7: Costumbres diferentes 事前学修 2.0hr：4 4-4 5 ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容 (語幹母音変化動詞) を勉強する
5 回	授業テーマ：伝統 II 授業内容：ユニット7色々な習慣 4 6-4 7 ページ Unidad 7: Costumbres diferentes 事前学修 2.0hr：4 6-4 7 ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容 (再帰動詞) を勉強する
6 回	授業テーマ：伝統 III 授業内容：ユニット7色々な習慣 4 8- 4 9 ページ Unidad 7: Costumbres diferentes 事前学修 2.0hr：4 8-4 9 ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容 (居間、天候表現) を勉強する
7 回	授業テーマ：レビュー 授業内容：ユニット6と7の中の小テスト 事前学修 2.0hr：ユニット6と7を小テストトレーニングする 事後学修 2.0hr：小テストの振り返りをする
8 回	授業テーマ：買い物に行く I 授業内容：ユニット8買い物に行く 5 0-5 1 ページ Unidad 8: Ir de compras 事前学修 2.0hr：5 0-5 1 ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容 (食べ物と飲み物) を勉強する
9 回	授業テーマ：買い物に行く II 授業内容：ユニット8買い物に行く 5 2-5 3 ページ Unidad 8: Ir de compras 事前学修 2.0hr：5 2-5 3 ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容 (レシビ) を勉強する

10 回	授業テーマ：買い物に行く III 授業内容：ユニット8買い物に行く54-55ページ Unidad 8: Ir de compras 事前学修 2.0hr：54-55ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(衣服とアクセサリ、品質形容詞、色)を勉強する
11 回	授業テーマ：家族と友達 I 授業内容：ユニット9家族と友人56-58ページ Unidad 9: Familia y amigos 事前学修 2.0hr：56-58ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(体の部分の名称)を勉強する
12 回	授業テーマ：家族と友達 II 授業内容：ユニット9家族と友人59-61ページ Unidad 9: Familia y amigos 事前学修 2.0hr：59-61ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(状態、体調・感情表現)を勉強する
13 回	授業テーマ：祭り I 授業内容：ユニット10行事 お祭り等とわたし62-64ページ Unidad 10: Las fiestas y yo 事前学修 2.0hr：62-64ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(日常生活を表す動詞)を勉強する
14 回	授業テーマ：祭り II 授業内容：ユニット10行事 お祭り等とわたし65-68ページ Unidad 10: Las fiestas y yo 事前学修 2.0hr：65-68ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(曜日、頻度を表す副詞表現)を勉強する
15 回	授業テーマ：レビュー 授業内容：まとめ ユニット8、9と10の試験のトレーニング 事前学修 2.0hr：ユニット8、9と10を勉強する 事後学修 2.0hr：後期の復習を勉強する

韓国語と韓国文化 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前

全 イジョング (じょん いじょんぐ)

■ 授業の概要

韓国の言葉と文化に対する理解を深め、音声や文字、語彙、表現、文構造などについて、日本語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読み書きに慣れ親しみ、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、活用できる基礎的な技能を身につけていく授業です。また、ハングルキーボード使用法の習熟なども行われます。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○)

- 一般目標：(1) 自然なイントネーションや正確な発音を身につける。
(2) 綴り字と発音の違いについて習得し、単語やフレーズを正しく発音できる。
(3) 積極的なコミュニケーション能力の素地を養う。
(4) ハングルキーボード使用法の習熟を図り、ハングルワードの作成やネット検索ができる。
- 個別目標：(1) 正しく発音できて、音声を聴き正しく書き取れる。
(2) 発話練習を繰り返し、簡単な挨拶、自己紹介ができる。
(3) パソコンを使った検索やハングルワードの作成ができる。

■ 履修条件

- 韓国語や朝鮮語を母語とする学生及びそれと同等に堪能な学生は履修できない。
- 授業は毎回必ず受講し、内容をしっかり理解すること。
- 教科書は必ず購入すること。
- 履修者の抽選を行うので第 1 回目の授業に出席しないと履修ができない。

■ 評価基準・方法

- 学期末試験 (40%)、授業時の小テスト及び「振り返りシート」(30%)、課題・学習態度 (30%) によって総合的に評価する。
 - 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。
 - 課題などのフィードバックは学修支援システム manaba を通して行う。
- * 学期末テストの再試験は行わない。

■ フィードバック方法

課題をはじめ「小テスト」、授業後の質疑応答などは大学の学修支援システム (manaba) を利用し行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (グループワーク)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (ワードソフトを搭載したノートパソコンを持参すること)

■ 教科書

ジョン・イジョング著 『一人できる韓国語発音トレーニング』(ask 出版)

■ 参考書

適宜資料を紹介する。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：オリエンテーション、「ハングルとは何か」 授業内容：ハングルができる前の朝鮮半島の文字生活に身て、それからハングルの制字原理や制字思想など、ハングル誕生に関わるいくつかの事柄について触れて行く。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、授業の概要を理解する。 事後学修 2.0hr：配布された資料を読み直し「確認問題」に取り組む。講義動画を閲覧する。
2 回	授業テーマ：「短母音、半母音 I」 授業内容：短母音 8 つと半母音 (ヤ系) 6 つの習得する (書き方、発音方法などをしっかり覚える)。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧しハングル母音について学修する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、課題に取り組む。
3 回	授業テーマ：「半母音 II、二重母音、基本子音字」/小テスト 授業内容：半母音 (ワ系) 6 つと二重母音 1 つの書き方、発音方法を覚え、発音の練習を行う。また、14 個の基本子音字の書き方、発音方法などを覚え、母音と組み合わせる練習を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧し予習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、課題に取り組む。
4 回	授業テーマ：「二重子音字、ハングル字母表の読み練習」 授業内容：基本子音字と二重子音字の音の違いを理解し発音練習に取り組む。ハングル字母表をつくり、読みの練習をする。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、講義動画を閲覧し予習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、課題に取り組む。
5 回	授業テーマ：「パッチム、聞き取り小テスト」 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。パッチムの仕組み、読み方などの説明。パッチムのついた単語の聞き分け、言い分けの練習を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧しパッチムについて予習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、課題に取り組む。
6 回	授業テーマ：「パッチムの読み練習、ハングルキーボード使用法」 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。パッチムがついた単語を読む練習。書き取りテスト実施。ハングルキーボード使用法を習熟に取り組む。ワード入力練習やハングルでネット検索を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧する。読みながら書く練習をする。 事後学修 2.0hr：パッチムを繰り返し音読する。ワードの打ち方を習熟させる。
7 回	授業テーマ：「読み書き練習、仮名のハングル表記小テスト」 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。単語を聴き正確に書き取る練習を繰り返し行う。日本語の仮名をハングル表記法を覚え、人名や地名を使い書き方の練習を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を声に出して数回読み予習する。 事後学修 2.0hr：声の上がり下がりの調子や息の出し方に注意し発話練習をする。

8 回	授業テーマ：「発音のルール」(連音化、弱音化)小テスト 授業内容：綴りと発音について把握し発音のルールを覚える。歌の歌詞を使い、連音化と弱音化を身につける。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧し予習する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を読み直し、課題に取り組む。
9 回	授業テーマ：「発音のルール」(濃音化、激音化、流音化)小テスト 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。歌の歌詞、簡単な語彙を使い、濃音化、激音化、流音化を身につける。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧し予習する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を読み直し、課題に取り組む。
10 回	授業テーマ：「発音のルール」(鼻音化、口蓋音化、添加) 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。歌の歌詞、簡単な語彙を使い、鼻音化、口蓋音化、添加を身につける。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧し予習する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を読み直し課題に取り組む。
11 回	授業テーマ：「韓国語の文法の仕組み、品詞について」 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。日本語と韓国語の文章を比較しながら共通点と違いを把握する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧し予習する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を読み直し、「確認問題」に取り組む。
12 回	授業テーマ：「日常の挨拶の言葉」 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。簡単な挨拶言葉の発音をチェックし、発話の練習に取り組む。 事前学修 2.0hr：音声教材を聴き何度も音読する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を読み直し、課題に取り組む。
13 回	授業テーマ：「体言の叙述」 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。体言の叙述表現について習得する。作文に取り組む。発話練習を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧し予習する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を読み直し、「確認問題」に取り組む。
14 回	授業テーマ：「体言の否定形、自己紹介発表小テスト」 授業内容：フィードバックを行う。体言の否定形表現について習得する。作文に取り組む。発話練習を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧し予習する。自己紹介文を作成しておく。 事後学修 2.0hr：学習した内容を読み直し、課題に取り組む。
15 回	授業テーマ：まとめ、各自発表(品物や人物、場所などを紹介する) 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。学習してきた内容をおさらいする。グループ別に発表する。 事前学修 2.0hr：試験に備えてまとめをする。 事後学修 2.0hr：学習した内容を読み直し、課題に取り組む。

韓国語と韓国文化 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：後

全 イジョング (じょん いじょんぐ)

■ 授業の概要

TOPIK2 級レベルのの実用的な表現やよりネイティブに近い言い回しを覚え、韓国語で発信するための準備運動(作文作り、内容をコンパクトにまとめる)をし、話すステップへ移行していきます。誰かに説明する時に求められる語彙力や要約力を高め、上手に話せる力をしっかり磨きます。また、K-POP や韓国ドラマ等にも触れ、自然で伝わりやすい表現方法を丁寧に説明します。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○)

一般目標：基礎文法を固めながら語彙力や要約力を高め、読解力を養うとともにプレゼンテーションに役立つ能力を身に付ける。

個別目標：・文章を読む上で必要な読解力を高めていく。

・文章の要点を掴んで簡潔にまとめる力を養う。

・韓国語の TOPIK2-3 級の合格を目指す。

■ 履修条件

・「韓国語と韓国文化 A」を履修済みであることが望ましい。(履修済みでない場合は担当教員へご相談ください)。

・授業は毎回必ず受講し、内容をしっかり理解すること。

・グループワークを行うことが多いので遅刻や欠席をしないこと。

・履修者の抽選を行いますので必ず第 1 回目の授業にご出席ください。

■ 評価基準・方法

・学期末試験 (40%)、授業時の小テスト及び「振り返りシート」(30%)、課題・学習態度 (30%) によって総合的に評価する。

・5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

・課題などのフィードバックは学修支援システム manaba を通して行う。

*再試験は行わない。

■ フィードバック方法

課題のフィードバックをはじめ「レポート提出」、「小テスト」、「授業後の質疑応答」などは大学の学修支援システム (manaba) を利用し行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (グループワーク)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (ワードソフトを搭載したノートパソコンを持参すること)

■ 教科書

テキストは学修支援システム manaba に掲載する。

■ 参考書

Never 検索辞書

ジョンイジョング著『一人のできる韓国語トレーニング』(ask 出版)

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：用言の叙述表現 授業内容：用言の叙述表現について学習する。作文づくりあり。発話練習に取り組む。 事前学修 2.0hr：講義概要を理解する。講義動画を閲覧する。 事後学修 2.0hr：講義動画を閲覧し学習した内容を復習し、課題に取り組む。
2 回	授業テーマ：不規則用言について/小テスト 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。不規則用言活用をする用例を確認し、作文づくりに取り組む。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチェックしメモしておく。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
3 回	授業テーマ：指示詞と疑問詞/小テスト 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。指示詞と疑問詞を学習する。グループ別に発表する。 事前学修 2.0hr：疑問詞と指示詞の講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチェックしメモしておく。 事後学修 2.0hr：学習したものを復習し、課題に取り組む。
4 回	授業テーマ：動詞・形容詞の否定形/小テスト 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。用言の否定形について学習する。文章作りに取り組む。発話練習を行う。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチェックしメモしておく。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
5 回	授業テーマ：漢数字/小テスト 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。漢数字を学習しテキストの「練習問題」に取り組む。会話練習を行う。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチェックしメモしておく。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
6 回	授業テーマ：存在詞/小テスト 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。存在詞の言い回しをまとめる。日本語の文章を韓国語に替えて話す練習を行う。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチェックしメモしておく。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
7 回	授業テーマ：固有数字/小テスト 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。固有数字について学習。日本語の文章から韓国語に替えて話す練習を行う。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチェックしメモしておく。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
8 回	授業テーマ：過去形/小テスト 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。過去形を学習した後、テキストの「練習問題」に取り組む。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチェックしメモしておく。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
9 回	授業テーマ：文の接続 (状態・動作の羅列) 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。文の接続表現について学習する。テキストの「練習問題」に取り組む。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチェックしメモしておく。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。

10 回	授業テーマ：仮定・条件表現/小テスト 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。仮定・条件表現叙述表現について学習する。テキストの「練習問題」に取り組む。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチェックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
11 回	授業テーマ：許可・不許可表現/小テスト 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。許可・不許可表現について学習する。テキストの「練習問題」に取り組む。発話練習を行う。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチェックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
12 回	授業テーマ：勧誘形表現/小テスト 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。勧誘表現について学習する。テキストの「練習問題」に取り組む。発話練習を行う。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチェックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
13 回	授業テーマ：連体形/小テスト 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。連体形について学習する。連体形を使った文章作りをし発話練習に取り組む。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチェックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
14 回	授業テーマ：可能・不可能表現/小テスト 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。可能・不可能表現について学習する。日本語の文章から韓国語に替えて話す練習を行う。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチェックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
15 回	授業テーマ：基本文法のまとめ。振り返りシート完成 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。前期の授業で学習された内容を確認し、「振り返りシート」を完成する。 事前学修 2.0hr：基礎文法のまとめ、振り返りシートを作成する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習する。

中国語と中国文化 A

開講学科等：日英経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前

于 明明 (う めいめい)

■ 授業の概要

初心者を対象に、中国語を学ぶ楽しさを知り、文化として中国語を学ぶ意味を主眼に置きながら、初級中国語を習得する。具体的に、発音の表記記号ピンインから始まり、初級文法(入門編)を系統的に学び、簡単な会話を習得していく。また、中国の生活、社会、歴史など文化的な要素に触れ、中国語を学ぶ意味を深めていく。中国語学習をメインとする。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○)

一般目標：中国語の発音については、仕組みの特徴を理解し、読み書きできる。中国語の文字については、日本語漢字との違いを区別することができ、書けるようになる。独力で基礎的な中国語を学習していく能力を身につける。中国の文化については、中国の生活、社会などに関することを概略的に言える。

個別目標：初級文法を学習し、簡単な会話で使えるようになる。

日常挨拶、買い物、レストランでの注文、道尋ね、家族構成の紹介、旅行や留学など日常生活についての表現ができる。

■ 履修条件

初学者を対象とする。

当該言語 (中国語) を母語とする学生及びそれと同等に堪能な学生は履修不可。

■ 評価基準・方法

①試験 60 %：学習到達度を測定するため、授業内で小テストを実施する。テストの成績によって、以降の授業の進み方を見直し、改善していくことができる。

②受講状況 40 %：授業内容によって、課題提出や口頭発表等のこともある。また、しっかり出席することも重要。

原則として 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

■ フィードバック方法

manaba 実施

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (対話練習)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

教科書：『しゃべっていいとも中国語 トータル版』

著者：陳淑梅 劉光赤

朝日出版社

■ 参考書

特になし

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：「中国語」の仕組みと発音の慣らし 授業内容：授業の進め方、予習の方法、評価方法などについて説明する。今後中国語学習していく上での目標を定めましょう。「中国語」の仕組みと発音記号ピンインの構造についての説明及び数字の発音の慣らし。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、授業概要を理解する。 事後学修 2.0hr：本日学習した内容を復習する。
2 回	授業テーマ：「発音編」第 1 課～第 4 課、基本挨拶の学習 授業内容：声調、単母音、複母音、声調記号のつけ方の学習。日常の挨拶の学習。 事前学修 2.0hr：中国語を学ぶ意味について考え、テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：「発音編」第 1 課～第 4 課の内容を復習する。
3 回	授業テーマ：「発音編」第 1 課～第 4 課、基本挨拶の学習 授業内容：子音 (1)、子音 (2) の学習。日常の挨拶の学習。 事前学修 2.0hr：中国語を学ぶ意味について考え、テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：「発音編」第 1 課～第 4 課の内容を復習する。
4 回	授業テーマ：「発音編」第 1 課～第 4 課、基本挨拶の学習 授業内容：鼻母音 (-n, -ng を伴う母音)、軽声、声調変化、声調の組み合わせ。日常の挨拶の学習。 事前学修 2.0hr：中国語を学ぶ意味について考え、テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：「発音編」第 1 課～第 4 課の内容を復習する。
5 回	授業テーマ：第 5 課 〈迎接〉出迎える 授業内容：姓の言い方、名前(フルネーム)の言い方の学習。人称代名詞、名前の尋ね方の学習。 事前学修 2.0hr：ピンイン、数字と基本の挨拶の暗唱、テキストの予習。テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 5 課 初対面挨拶の仕方の確認。第 5 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
6 回	授業テーマ：第 6 課 〈歓迎会〉歓迎パーティー 授業内容：①動詞「是 shì」、助詞「的 de」、疑問詞の学習。②肯定文、否定文、疑問文の学習。 事前学修 2.0hr：第 5 課 人称代名詞の復習、第 6 課の予習。テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 6 課の「文法要点」について理解できているかの確認。第 6 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
7 回	授業テーマ：第 7 課 〈打的〉タクシーに乗る 授業内容：基本語順(S+V+O)と二つ以上の動詞からなる文一連動文の学習。 事前学修 2.0hr：第 5 課～第 6 課の内容の復習、第 7 課の予習。テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 7 課の「文法要点」について理解できているかの確認。第 7 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
8 回	授業テーマ：第 8 課 〈住宿〉宿泊する 授業内容：①希望や願望を表す助動詞「想 xi ǎ ng」の学習。②所有と存在を表す動詞、指示代名詞の学習。指示代名詞の導入。 事前学修 2.0hr：第 7 課の内容の復習、第 8 課の予習。テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 8 課の「文法要点」について理解できているかの確認。第 8 課の単語を覚え、会話文を熟読し、ホテルでチェックインする時の言い方を覚える。
9 回	授業テーマ：第 9 課 〈問路〉道を尋ねる 授業内容：所在を表す動詞、方位詞、前置詞の学習。動詞「在 zài」、方向位置を表すことば一方位詞、前置詞「从 cóng」、「往 w ǎ ng」など。 事前学修 2.0hr：第 8 課の内容の復習、第 9 課の予習。テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 9 課の「文法要点」について理解できているかの確認。第 9 課の単語を覚え、会話文を熟読し、道の尋ね方を確認すること。

10 回	授業テーマ：第10課 〈買東西〉 ショッピングをする 授業内容：①数の言い方、中国語のお金の言い方、値段の尋ね方の学習。②形容詞、副詞、形容詞述語文の学習。 事前学修 2.0hr：第9課の内容の復習、第10課の予習。テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第10課の「文法要点」について理解できているかの確認。第10課の単語を覚え、会話文を熟読し、買い物場面の会話確認。
11 回	授業テーマ：第11課 〈聊天儿〉 おしゃべりをする 授業内容：年月日、曜日、年齢の言い方、年齢の尋ね方の学習。 事前学修 2.0hr：第10課の内容の復習、第11課の予習。テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第11課の「文法要点」について理解できているかの確認。第11課の単語を覚え、会話文を熟読する。
12 回	授業テーマ：第12課 〈点菜〉 料理を注文する 授業内容：①量詞、動詞の重ね型の学習。②料理の名前、注文の仕方の学習。 事前学修 2.0hr：第11課の内容の復習、第12課の予習。テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第12課の「文法要点」について理解できているかの確認。第12課の単語を覚え、会話文を熟読する。
13 回	授業テーマ：第13課 〈買足球票〉 サッカーのチケットを買う 授業内容：時間の長さの言い方、動作行為の完了を表す助詞「了 le」の学習。 事前学修 2.0hr：第12課の内容の復習、第13課の予習。テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第13課の「文法要点」について理解できているかの確認。第13課の単語を覚え、会話文を熟読する。
14 回	授業テーマ：第1課～第13課を復習 授業内容：①前期授業内容を復習。②これまでの内容を復習し、既出の単語(意味とピンイン、簡体字)、文法などを覚える。また、日本語から中国語訳ができるようにする。 事前学修 2.0hr：第1課～第13課の内容の復習。 事後学修 2.0hr：第1課～第13課の内容の復習。
15 回	授業テーマ：授業のまとめ 授業内容：総括及び学習到達度確認、今学期学んだ事を中心として確認テストなどを行う。 事前学修 2.0hr：第1課～第13課の内容の復習。 事後学修 2.0hr：特になし

中国語と中国文化 A

開講学科等：日英経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前

中島 祝 (なかじま はじめ)

■ 授業の概要

初学者を対象に中国語「普通話」の基礎を学ぶ科目である。中国および中国語の概要に始まり、発音、文法、表現などについて、講義および演習を通じて理解を促す。さらに中国文化についても紹介する。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○)

一般目標：中国の現状を知るとともに、中国語で簡単な文章を理解し、聴き取り、話し、読み、書くことができる。

- 個別目標：1. 中国と中国文化について知る。
2. ピンインを読むことができる。
3. 基本文型を用いて表現できる。

■ 履修条件

中国語を母語とする学生は履修できない。

■ 評価基準・方法

学期末試験もしくはそれに代わる課題を主とする。必要に応じて中間試験や追加課題等を課し、授業成果と併せて成績を評価する。

■ フィードバック方法

課題等のフィードバックは教場またはオンラインで行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

なし

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

『中国語ポイント 55』 本間史・孟広学著、白水社

■ 参考書

授業中に指示する。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：中国と中国語の概要 授業内容：中国がどのような国であり、中国語がどのような言語であるか説明する。 事前学修 2.0hr：中国について文献等の資料を読む。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、さらに自ら資料を精読して理解を深める。
2 回	授業テーマ：普通話、ピンイン、簡体字 授業内容：普通話がどのようなものであるか説明し、普通話と不可分のピンインや簡体字を紹介する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
3 回	授業テーマ：文の構造 授業内容：中国語の文を構成するには主語、述語、目的語などを適切な語順で配列する必要があることを説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
4 回	授業テーマ：人称代名詞、是 授業内容：一人称、二人称、三人称、単数、複数などの人称代名詞を紹介し、動詞「是」を用いた文の構成方法を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
5 回	授業テーマ：疑問文、名前 授業内容：疑問文の作り方、および氏名の名乗り方を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
6 回	授業テーマ：動詞述語文、指示代名詞 授業内容：近称や遠照の指示代名詞を紹介し、それらを用いて動詞述語文を構成する方法を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
7 回	授業テーマ：疑問詞、的 授業内容：疑問詞を用いた疑問文の作り方、および「的」を用いた定語の用法を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
8 回	授業テーマ：形容詞述語文、有 授業内容：形容詞述語文の作り方、および動詞「有」の用法について説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
9 回	授業テーマ：反復疑問文、也、都 授業内容：反復疑問文を紹介するとともに、状語として副詞を用いる方法を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
10 回	授業テーマ：場所代名詞、在 授業内容：場所を指示する代名詞を紹介し、さらに動詞「在」を用いて文を構成する方法を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
11 回	授業テーマ：動詞の重ね型、省略疑問文 授業内容：動詞の重ね型について説明し、さらに語気助詞を用いた省略疑問文を紹介する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。

12 回	授業テーマ：数詞、量詞 授業内容：数の発音を練習し、1個のりんご、3冊の本などをどう表現するか説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
13 回	授業テーマ：幾と多少、語気助詞 授業内容：疑問詞を用いて数量を尋ねる方法を紹介し、さらに語気助詞について詳説する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
14 回	授業テーマ：存在、連動文 授業内容：動詞「有」を用いて存在を表現する方法を説明し、さらに連動文という型を紹介する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
15 回	授業テーマ：月日、時刻 授業内容：月日、曜日、時刻などの表現方法を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。

中国語と中国文化 B

開講学科等：日英経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：後

于 明明 (う めいめい)

■ 授業の概要

後期の授業では、前期で学んだ発音や基本的な文法をさらに発展させ、簡単な日常会話に必要な表現や語彙を習得していく。前期で学んだピンインに基づく発音をさらに磨き、音の変化や声調の使い分けを実践的に学び、発音力を高めることを目指す。初級文法(ステップアップ編)をしっかりと学習し、基本的な文の構造や表現を理解し、簡単な会話で使えるようになる。また、簡単な日常会話で使うフレーズを繰り返し練習する。中国の習慣、社会、歴史的背景を学ぶことで、言語が持つ意味や背景を理解し、中国語を使う楽しさと重要性を実感する。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ○)

一般目標：後期の授業では、中国語の発音と基本文法をマスターして、発音、会話、文法、文化の理解を深めることを目標にしている。中国語の発音に関して、前期で学んだピンインや声調の理解を深め、正確に発音できるようになる。中国語の文字について、日本語漢字との違いをより詳細に理解し、実際に書けるようになる。

個別目標：学生は日常的なシチュエーションで使われるフレーズや表現を習得し、簡単な会話をスムーズにこなせるようになる。
中国語検定試験 4 級に合格できるレベルの文法、語彙、会話スキルを習得する。

■ 履修条件

初学者を対象とする。

当該言語 (中国語) を母語とする学生及びそれと同等に堪能な学生は履修不可。

■ 評価基準・方法

①試験 60 %：学習到達度を測定するため、授業内で小テストを実施する。テストの成績によって、以降の授業の進み方を見直し、改善していくことができる。

②受講状況 40 %：授業内容によって、課題提出や口頭発表等のこともある。また、しっかり出席することも重要。

原則として 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

■ フィードバック方法

manaba 実施。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (対話練習)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

教科書：『しゃべっていいとも中国語 トータル版』

著者：陳淑梅 劉光赤

朝日出版社

■ 参考書

特になし

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：イントロダクション、第 14 課の予習 授業内容：前期の内容を復習する。前期の皆さんの中国語学習の状況について確認する。後期の授業の進め方、予習の方法、評価方法などについて説明する。第 14 課を予習する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、後期授業概要を理解する。第 14 課の内容を復習する。テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：学習した内容の復習。
2 回	授業テーマ：第 14 課 〈做底按摩〉 足裏マッサージ 授業内容：①時間の長さの言い方の学習。②動作行為の完了を表す助詞「了 le」の学習。 事前学修 2.0hr：第 13 課の内容の復習、第 14 課の予習。テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 14 課の「文法要点」について理解できているかの確認。第 14 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
3 回	授業テーマ：第 15 課 〈在前台〉 フロントで 授業内容：前置詞「給 gěi」、助動詞「可以 kěyǐ」、「能 néng」の学習。 事前学修 2.0hr：第 14 課の内容の復習、第 15 課の予習。テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 15 課の「文法要点」について理解できているかの確認。第 15 課の単語を覚え、会話文を熟読し、ホテルフロントでの様々な頼みことができるかの確認。
4 回	授業テーマ：第 16 課 〈打电话〉 電話をかける 授業内容：動詞の現在進行形、助動詞「会 huì」の学習。 事前学修 2.0hr：第 15 課の内容の復習、第 16 課の予習。テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 16 課の「文法要点」について理解できているかの確認。第 16 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
5 回	授業テーマ：第 17 課 〈打工〉 アルバイトする 授業内容：前置詞「在 zài」、二重目的語をとる動詞の学習。 事前学修 2.0hr：第 16 課の内容の復習、第 17 課の予習。テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 17 課の「文法要点」について理解できているかの確認。第 17 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
6 回	授業テーマ：第 18 課 〈在飯店〉 レストランで 授業内容：経験を表す助詞「过 guo」、選択疑問文の学習。 事前学修 2.0hr：第 17 課の内容の復習、第 18 課の予習。テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 18 課の「文法要点」について理解できているかの確認。第 18 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
7 回	授業テーマ：第 19 課 〈去唱卡拉 OK〉 カラオケに行く 授業内容：助動詞「得 dé」、「一~就 yī~jiù」構文の学習。 事前学修 2.0hr：第 18 課の内容の復習、第 19 課の予習。テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 19 課の「文法要点」について理解できているかの確認。第 19 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
8 回	授業テーマ：第 20 課 〈你唱得真好〉 あなたは歌がうまい 授業内容：結果補語、様態補語の学習。 事前学修 2.0hr：第 19 課の内容の復習、第 20 課の予習。テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 20 課の「文法要点」について理解できているかの確認。第 20 課の単語を覚え、会話文を熟読する。

9 回	授業テーマ：第21課 〈全家福〉 家族写真 授業内容：「是～的 shì～de」構文、比較表現—前置詞「比 bǐ」の学習。 事前学修 2.0hr：第20課の内容の復習、第21課の予習。テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第21課の「文法要点」について理解できているかの確認。第21課の単語を覚え、会話文を熟読する。
10 回	授業テーマ：第22課 〈買襯衫〉 シャツを買う 授業内容：方向補語①単純方向補語、「有点儿 yǒu diǎnr」と「一点儿 yídiǎnr」の学習。 事前学修 2.0hr：第21課の内容の復習、第22課の予習。テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第22課の「文法要点」について理解できているかの確認。第22課の単語を覚え、会話文を熟読する。
11 回	授業テーマ：第23課 〈生日晚会〉 誕生パーティー 授業内容：「把 bǎ」構文の学習、方向補語(2)複合方向補語の学習。 事前学修 2.0hr：第22課の内容の復習、第23課の予習。テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第23課の「文法要点」について理解できているかの確認。第23課の単語を覚え、会話文を熟読する。
12 回	授業テーマ：第24課 〈看 DVD〉 DVDを見る 授業内容：程度補語、可能補語の学習。 事前学修 2.0hr：第23課の内容の復習、第24課の予習。テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第24課の「文法要点」について理解できているかの確認。第24課の単語を覚え、会話文を熟読する。
13 回	授業テーマ：第25課 〈看病〉 診察を受ける 授業内容：主述述語文、受け身表現の学習。 事前学修 2.0hr：第24課の内容の復習、第25課の予習。テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第25課の「文法要点」について理解できているかの確認。第25課の単語を覚え、会話文を熟読する。
14 回	授業テーマ：第26課 〈回国之前〉 帰国前 授業内容：「就要～了 jiù yào～le」、使役日表現の学習。 事前学修 2.0hr：第25課の内容の復習、第26課の予習。テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第26課の「文法要点」について理解できているかの確認。第26課の単語を覚え、会話文を熟読する。第13課～第26課の内容の復習。
15 回	授業テーマ：授業のまとめ 授業内容：総括及び学習到達度確認、今学期学んだ事を中心として確認テストなどを行う。 事前学修 2.0hr：第13課～第26課の内容の復習。 事後学修 2.0hr：特に無し

中国語と中国文化 B

開講学科等：日英経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：後

中島 祝 (なかじま はじめ)

■ 授業の概要

前学期に引き続き、中国語「普通話」の基礎を学ぶための授業である。発音について復習した後に、より進んだ内容の講義と演習を行い、中国語の基礎を確かなものにする。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○)

一般目標：中国の現状を広く理解するとともに、中国語で様々な文章を理解し、聴き取り、話し、読み、書くことができる。

個別目標：1. 中国と中国文化について広く知る。

2. 定語、状語、補語を加えた文を理解することができる。

3. 基本文型を応用して表現できる。

■ 履修条件

中国語を母語とする学生は履修できない。

■ 評価基準・方法

学期末試験もしくはそれに代わる課題を主とする。必要に応じて中間試験や追加課題等を課し、授業成果と併せて成績を評価する。

■ フィードバック方法

課題等のフィードバックは教場またはオンラインで行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

なし

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

『中国語ポイント 55』本間史・孟広学著、白水社

■ 参考書

授業中に指示する。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：中国語と中国文化 授業内容：中国とはどのような国か、中国語とはどのような言語か、中国文化圏がどのように広がっているか説明する。 事前学修 2.0hr：中国について文献等の資料を読む。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、さらに自ら資料を精読して理解を深める。
2 回	授業テーマ：普通話、ピンイン、簡体字 授業内容：普通話において用いられる簡体字とピンインについて説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
3 回	授業テーマ：文の構造 授業内容：主語、述語、目的語、状語などを用いて中国語の文を構成する方法を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
4 回	授業テーマ：要、想、在、從 授業内容：助動詞を用いて願望を表現する方法を紹介し、さらに前置詞を状語として用いることを説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
5 回	授業テーマ：完了 授業内容：助動詞「了」について、語気助詞としての用法と動態助詞としての用法を紹介し、完了の概念を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
6 回	授業テーマ：能、会、可以 授業内容：助動詞を用いて可能を表現する方法を紹介する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
7 回	授業テーマ：経験、動量詞 授業内容：動態助詞を用いて経験を表現する方法、および動量詞を補語として用いる方法を紹介する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
8 回	授業テーマ：給、对、正在 授業内容：前置詞「給」「对」の用法と、副詞を用いて進行を表現する方法を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
9 回	授業テーマ：着、要、快 授業内容：動態助詞を用いて持続を表現する方法と、近未来の表現方法を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
10 回	授業テーマ：結果補語 授業内容：結果補語の用法と語義について説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
11 回	授業テーマ：様態補語、還是 授業内容：様態補語の用法を説明し、さらに選択疑問文の構成方法を詳説する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。

12 回	授業テーマ：方向補語 授業内容：方向補語の用法と語義を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
13 回	授業テーマ：把、比 授業内容：前置詞「把」「比」を紹介し、それらが状語として用いられることを説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
14 回	授業テーマ：可能補語、二重目的語 授業内容：可能補語の用法と、例外的な二重目的語について説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
15 回	授業テーマ：是と的 授業内容：強調構文を構成し、動作の時間、場所、方法を強調する方法を紹介する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。

英語文化研究 A

開講学科等：日中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前

諏佐 ランカ (すさ らんか)

■ 授業の概要

英語圏と聞いて、皆さんがまず思い浮かべるのはアメリカとイギリスだと思います。しかし他にもたくさんの国々があります。例えばカナダやオーストラリア、ニュージーランドはもちろん、アイルランド、インド、シンガポール、フィリピンなども英語圏です。この授業では、英語圏の様々な国々の社会や文化を学び、異文化の知見を深めます。また、英語圏の国々の社会や文化を知ることで、日本の社会や文化について考える姿勢も養います。

同時に英語力の向上にも力を入れます。教科書は全て英語で書かれているため、英文や問題集を通して読解力や語彙の強化に取り組みます。グループワークや会話練習では話す力を、トピックに関連した英語の動画を視聴して聴く力を養います。授業前は、教科書の指定箇所の内容を事前学習していることが求められます。

なお、こちらはオーリングリッシュの授業ではありません。しかし履修人数や履修者の英語レベルに応じて、短い発表練習を行ったり、ごく簡単な英語を授業中に取り入れて、日常会話を英語で受け答えする練習も行います。会話練習はあくまで声出しが目的なので、成績には一切影響しません。イングリッシュカフェのような、英会話道場のような感覚ですので、単語の羅列だったり日本語が混じっていても全然 OK です。発音も一切考慮しなくて良いです。片言でも間違っていて通じれば良いので安心してください。完全な文章で話す必要はありません。英語をチャンク(ひとかたまりのブロック)として気軽に発言できるようにすることを目標に楽しく学びましょう。

※この授業は、前期は「英語文化研究 A」で後期は「英語文化研究 B」となります。1 年間を通して継続的に学ぶことが可能な科目です。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○)

一般目標：1. 英語圏の国々の文化・社会を知ること、他国について自ら興味を持って学んでいく姿勢を身につける。

2. 長めの英文を読んだり、自分の考えを書いたりすることで、読解力と語彙力を強化する。

3. 会話練習を行うことで、英会話に対する瞬発力、表現力を高める。

4. 英語で配信された動画を視聴することでトピックに関する視野を広げ、リスニング力を向上させる。

個別目標：1. 教科書で紹介されたトピックについて、内容を一通り理解して説明できる。

2. 教科書で紹介されたトピックについて、自分の考えを述べるができる。

3. 英語圏の国々の社会や文化を知り、日本の状況と比較できる。

4. 英語のチャンク(ひとかたまりのブロック)を用いて簡単な日常会話ができる。

■ 履修条件

1. 英語を母語とする学生及び母語同等に堪能な学生は履修できません

2. 教科書を購入して毎回持参すること(常に授業で使うため、教科書を購入しない場合は単位の取得は出来ません)

3. 授業までに教科書の指定箇所の内容を事前学習しておくこと(内容を知っている前提で授業が進みます)

4. 会話練習、グループワーク、意見交換など積極的に参加すること ※出席&期末試験だけで単位取得はできません

■ 評価基準・方法

授業への積極的参加(授業中の発言・意見交換、グループワーク、小テスト、授業外の課題提出等)：60 %

期末試験：40%(期末試験を受けないと単位の認定はできません)

※期末試験は公欠を除いた 5 分の 4 以上(15 回授業の場合は 12 回以上)出席した場合のみ受験資格を認める

※ manaba や respon アプリ(ルーム)等で課題提出を行う。成績に影響するため、必ず事前準備しておくこと

※履修人数によって評価割合に変更が生じる可能性がある。変更がある場合は授業中に速やかに周知する。

■ フィードバック方法

授業時間内は口頭でフィードバックする。授業時間外は manaba または Google Classroom を通して行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (会話練習や教科書のトピックについてグループワークや意見交換をする)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (manaba、respon (ルーム等)または Google Classroom を用いて授業時間内で課題・小テストなどに取り組む)

■ 教科書

著者：Jesse Elam/Dawn Grimes-MacLellan/JA Kusaka/Dax Thomas

書名：Intercultural Pathways to the English-speaking World (グローバル・マインドでひろがる異文化の世界)

出版社：松柏社

※常に授業で使用するため、必ず購入して持参してください

■ 参考書

英和/和英辞書(紙の辞書・電子辞書共に可。大学入学までに使用してきたもので構いません)

■ 授業テーマ・授業内容と授業外(事前・事後)の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：はじめに 授業内容：この授業の概要を説明する。なぜこの授業に興味を持ったのかを共有する。英語圏の国々の社会や文化について、何をどう学んでいきたいかを考える。毎回の授業の流れや評価方法、出席登録や respon 等のシステム操作方法など重要なことを説明するため、可能な限り出席すること。※この日に教科書の紹介もを行います 事前学修 2.0hr：シラバスを確認して、書店で教科書を手にとって試し読みする。履修が確定している場合は必ず購入しておくこと。 事後学修 2.0hr：教科書を購入したら目次を読んで、各チャプターがどのような内容であるか確認しておく。
2 回	授業テーマ：Chapter 1: Introduction (1) 授業内容：教科書の使い方の説明、および各チャプターの内容を紹介する。教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
3 回	授業テーマ：Chapter 1: Introduction (2) 授業内容：前回は引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
4 回	授業テーマ：Chapter 2: The UK (1) 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。

5 回	授業テーマ：Chapter 2: The UK (2) 授業内容：前回に引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
6 回	授業テーマ：Chapter 3: Ireland (1) 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
7 回	授業テーマ：Chapter 3: Ireland (2) 授業内容：前回に引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
8 回	授業テーマ：Chapter 6: New Zealand (1) 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
9 回	授業テーマ：Chapter 6: New Zealand (2) 授業内容：前回に引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
10 回	授業テーマ：Chapter 7: Australia (1) 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
11 回	授業テーマ：Chapter 7: Australia (2) 授業内容：前回に引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
12 回	授業テーマ：Chapter 9: Singapore (1) 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
13 回	授業テーマ：Chapter 9: Singapore (2) 授業内容：前回に引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
14 回	授業テーマ：前期の総復習 授業内容：これまでの授業の総復習を行う。 事前学修 2.0hr：これまでの授業を振り返って疑問点を確認して、試験の準備をする。 事後学修 2.0hr：前期の授業全体を復習して試験に備える。
15 回	授業テーマ：まとめ 授業内容：前期授業で取り上げたトピックについて振り返り、自分の考えをまとめる。 事前学修 2.0hr：前期の授業全体を復習して試験に備える。 事後学修 2.0hr：試験の振り返りをする。

英語文化研究 B

開講学科等：日中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：後

諏佐 ランカ (すさ らんか)

■ 授業の概要

英語圏と聞いて、皆さんがまず思い浮かべるのはアメリカとイギリスだと思います。しかし他にもたくさんの国々があります。例えばカナダやオーストラリア、ニュージーランドはもちろん、アイルランド、インド、シンガポール、フィリピンなども英語圏です。この授業では、英語圏の様々な国々の社会や文化を学び、異文化の知見を深めます。また、英語圏の国々の社会や文化を知ることで、日本の社会や文化について考える姿勢も養います。同時に英語力の向上にも力を入れます。教科書は全て英語で書かれているため、英文や問題集を通して読解力や語彙の強化に取り組みます。グループワークや会話練習では話す力を、トピックに関連した英語の動画を視聴して聴く力を養います。授業前は、教科書の指定箇所の内容を事前学習していることが求められます。

なお、こちらはオーリングリッシュの授業ではありません。しかし履修人数や履修者の英語レベルに応じて、短い発表練習を行ったり、ごく簡単な英語を授業中に取り入れて、日常会話を英語で受け答えする練習も行います。会話練習はあくまで声出しが目的なので、成績には一切影響しません。イングリッシュカフェのような、英会話道場のような感覚ですので、単語の羅列だったり日本語が混じっていても全然 OK です。発音も一切考慮しなくて良いです。片言でも間違っていて通じれば良いので安心してください。完全な文章で話す必要はありません。英語をチャンク(ひとかたまりのブロック)として気軽に発言できるようなことを目標に楽しく学びましょう。

※この授業は、前期は「英語文化研究 A」で後期は「英語文化研究 B」となります。1 年間を通して継続的に学ぶことが可能な科目です。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ○)

一般目標：1. 英語圏の国々の文化・社会を知ること、他国について自ら興味を持って学んでいく姿勢を身につける。

2. 長めの英文を読んだり、自分の考えを書いたりすることで、読解力と語彙力を強化する。
3. 会話練習を行うことで、英会話に対する瞬発力、表現力を高める。
4. 英語で配信された動画を視聴することでトピックに関する視野を広げ、リスニング力を向上させる。

個別目標：1. 教科書で紹介されたトピックについて、内容を一通り理解して説明できる。

2. 教科書で紹介されたトピックについて、自分の考えを述べるができる。
3. 英語圏の国々の社会や文化を知り、日本の状況と比較できる。
4. 英語のチャンク(ひとかたまりのブロック)を用いて簡単な日常会話ができる。

■ 履修条件

1. 英語を母語とする学生及び母語同等に堪能な学生は履修できません
2. 教科書を購入して毎回持参すること(常に授業で使うため、教科書を購入しない場合は単位の取得は出来ません)
3. 授業までに教科書の指定箇所の内容を事前学習しておくこと(内容を知っている前提で授業が進みます)
4. 会話練習、グループワーク、意見交換など積極的に参加すること ※出席&期末試験だけで単位取得はできません

■ 評価基準・方法

授業への積極的参加(授業中の発言・意見交換、グループワーク、小テスト、授業外の課題提出等)：60 %

期末試験：40%(期末試験を受けないと単位の認定はできません)

※期末試験は公欠を除いた 5 分の 4 以上(15 回授業の場合は 12 回以上)出席した場合のみ受験資格を認める

※ manaba や respon アプリ(ルーム)等で課題提出を行う。成績に影響するため、必ず事前準備しておくこと

※履修人数によって評価割合に変更が生じる可能性がある。変更がある場合は授業中に速やかに周知する。

■ フィードバック方法

授業時間内は口頭でフィードバックする。授業時間外は manaba または Google Classroom を通して行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施(実施内容)

あり(会話練習や教科書のトピックについてグループワークや意見交換をする)

■ 授業での PC の利用(利用内容)

あり(manaba、respon(ルーム等)または Google Classroom を用いて授業時間内で課題・小テストなどに取り組む)

■ 教科書

著者：Jesse Elam/Dawn Grimes-MacLellan/JA Kusaka/Dax Thomas

書名：Intercultural Pathways to the English-speaking World(グローバル・マインドでひろがる異文化の世界)

出版社：松柏社

※前期/後期で共通です。常に授業で使用するので、後期からの新規履修生は必ず購入して持参して下さい

■ 参考書

英和/和英辞書(紙の辞書・電子辞書共に可。大学入学までに使用してきたもので構いません)

■ 授業テーマ・授業内容と授業外(事前・事後)の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：はじめに 授業内容：新規履修生に向けて、この授業の概要を改めて説明する。なぜこの授業に興味を持ったのかを共有して、英語圏の国々の社会や文化について何をどう学んでいきたいかを考える。毎回の授業の流れや評価方法、出席登録や respon 等のシステム操作方法など重要なことを説明するため、可能な限り出席すること。※新規履修生がいない場合は前期の復習を行う。 事前学修 2.0hr：新規履修生は、書店で教科書を手にとって試し読みする。履修が確定している場合は必ず購入しておくこと。 事後学修 2.0hr：新規履修生は、教科書を購入したら目次を読んでおく。継続履修生は、前期で学んだことを振り返っておくこと。
2 回	授業テーマ：Chapter 8: World Englishes (1) 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
3 回	授業テーマ：Chapter 8: World Englishes (2) 授業内容：前回に引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
4 回	授業テーマ：Chapter 10: India (1) 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。

5 回	授業テーマ：Chapter 10: India (2) 授業内容：前回は引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
6 回	授業テーマ：Chapter 11: The Philippines (1) 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
7 回	授業テーマ：Chapter 11: The Philippines (2) 授業内容：前回は引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
8 回	授業テーマ：Chapter 13: The USA (1) 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
9 回	授業テーマ：Chapter 13: The USA (2) 授業内容：前回は引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
10 回	授業テーマ：Chapter 14: Canada (1) 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
11 回	授業テーマ：Chapter 14: Canada (2) 授業内容：前回は引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
12 回	授業テーマ：Chapter 15: The Commonwealth (1) 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
13 回	授業テーマ：Chapter 15: The Commonwealth (2) 授業内容：前回は引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
14 回	授業テーマ：後期の総復習 授業内容：これまでの授業の総復習を行う。 事前学修 2.0hr：これまでの授業を振り返って疑問点を確認して、試験の準備をする。 事後学修 2.0hr：後期の授業全体を復習して試験に備える。
15 回	授業テーマ：まとめ 授業内容：後期授業で取り上げたトピックについて振り返り、自分の考えをまとめる。 事前学修 2.0hr：後期の授業全体を復習して試験に備える。 事後学修 2.0hr：試験の振り返りをする。

国際理解ゼミナール

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 2 年次 | 2 単位 | 開講期：前/後

小川 正純 (おかわ まさすみ)

■ 授業の概要

世界で起きている戦争、差別、難民問題は、決して「遠い世界の話」ではありません。このゼミでは、世界で起きている出来事を、事実や背景から読み解く力を身につけます。話し合いを通して、「世界と自分とのつながり」を自分の言葉で考えていきます。人種や民族、多様性、多文化共生、難民問題、宗教が世界情勢に及ぼす影響などについて学び、国際問題を「感情」ではなく「背景」から考えられるようになります。グループワーク、プレゼンテーションを通じて、異なる価値観を持つ人と話すことへの抵抗が少なくなります。正解を覚えるのではなく、考え、話し合いながら理解を深めていくゼミです。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎)

一般目標：世界情勢や宗教、人種問題などの多様性と多文化共生などについて理解し、世界を正しく読み解く知識・スキルを身につける。

個別目標：1. 世界の情勢とその背景、多様性や多文化共生、宗教が世界に及ぼす影響などについて自分の言葉で話せる。

2. 国際問題を遠い話ではなく、自分とつながる話として捉えることができる。

グループワークで他者と協力して課題に取り組み、気づきを得るとともに、自分の考えを説明できる。最終プレゼンテーションでは、社会課題を整理し、他者に分かりやすく伝える力を身につけることができる。

■ 履修条件

1. 世界情勢や宗教、人種問題などの多様性と多文化共生など異文化、人種・性などの多様性などに関心を持ち、学ぶ意欲があること。
2. グループワークや発表に、積極的に挑戦する意欲があること。
3. 専門知識や経験は不要であり、初めて学ぶ学生も歓迎する。

■ 評価基準・方法

グループワーク、プレゼンテーションへの関与度合い 45 %、毎回のレポート 45 %、授業における参加姿勢 10 % を基に総合的に評価する。考えようとする姿勢を重視し、グループ内での役割分担や協力姿勢も評価する。原則として5分の4以上の出席を評価の前提条件とする。

■ フィードバック方法

授業時間内での総評及び manaba の個別指導(コレクション)などでフィードバックする。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (グループワーク、グループディスカッション、プレゼンテーション)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし (ただしプレゼンテーション資料の作成及び発表は PC の利用が好ましい。)

■ 教科書

使用しない。

■ 参考書

特になし。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：イントロダクション、国際理解とは何か、経済と人間の尊厳 授業内容：講義の目的、授業、グループワーク、プレゼンテーションの進め方、到達目標、評価方法とともに、資源・経済の価値と、人間の尊厳・未来の価値を対比して考えるグループディスカッションを行い、考えを言語化する。 事前学修 2.0hr：開発途上国の状況について関連情報を見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
2 回	授業テーマ：日本を取り巻く世界情勢 授業内容：日本を取り巻く領土問題、日米同盟、日本の外交の取り組みなどについて解説した後、グループディスカッションを行い、多様な意見に触れる。 事前学修 2.0hr：日本を取り巻く世界情勢などについてのニュースを見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
3 回	授業テーマ：世界を正しく読み解く 授業内容：クイズとグループワークにより、先入観や思い込みでなく、事実やデータに基づき正しく世界を読み解く視点を身につける。授業テーマについてグループディスカッションを行い、他者の視点と比較する。 事前学修 2.0hr：世界情勢についての関連情報を見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
4 回	授業テーマ：世界情勢① アメリカ、ヨーロッパの動向 授業内容：アメリカ、ヨーロッパの動向、ウクライナ情勢について解説した後、国際情勢は、同じ出来事でも立場によって見え方が大きく異なることについて意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：欧米の状況についてのニュースを見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
5 回	授業テーマ：世界情勢② アジアの動向 授業内容：中国を軸にしたアジア情勢と台湾、朝鮮半島、インドが、なぜ重要な場所になっているのかについて解説した後、国際問題を善悪や感情ではなく、国家の立場から考えて意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：アジアの情勢についての関連のニュースを見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
6 回	授業テーマ：グローバルサウスの動向 授業内容：グローバルサウスは、世界に大きな影響力を持つ存在で、国際秩序を左右する主体であることを解説した後、国際問題を国の立場と利害から考えられる視点について意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：グローバルサウスについて関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
7 回	授業テーマ：多文化共生について 授業内容：多文化共生とは何か、なぜ差別が起きるのか、その背景にある不安や制度の問題について解説した後、私たちはどう向き合うべきかについてグループディスカッションを行い、他者の視点と比較する。 事前学修 2.0hr：多文化共生の関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
8 回	授業テーマ：ダイバーシティ(多様性)について 授業内容：ダイバーシティ(多様性)とは何か、人種、民族、性の多様性について解説した後、授業テーマについて、自分の立場や日常生活と結びつけてグループディスカッションを行い、多様な意見に触れる。 事前学修 2.0hr：ダイバーシティ(多様性)について関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。

9 回	<p>授業テーマ：難民問題について 授業内容：難民問題に関するワークショップを実施し、難民問題に対する基礎的な事実を把握するとともに、日本の難民受け入れをめぐる状況について考える。その後、グループディスカッションを行い、自分の考えを説明する。 事前学修 2.0hr：難民問題の関連の情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。</p>
10 回	<p>授業テーマ：宗教が世界に及ぼす影響 授業内容：イスラム教、キリスト教、ユダヤ教が世界に及ぼす影響について解説した後、宗教が政治・社会問題に影響する理由についてグループディスカッションを行い、多様な意見に触れる。 事前学修 2.0hr：世界情勢と宗教の関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。</p>
11 回	<p>授業テーマ：宗教紛争の本質 授業内容：宗教紛争の多くは、宗教そのものが直接の原因ではなく、対立を正当化する論理として使われていることについて解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、他者の視点と比較する。 事前学修 2.0hr：世界情勢と宗教の関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。</p>
12 回	<p>授業テーマ：「世界がもし 100 人の村だったら」ワークショップ 授業内容：世界には、多様な言語や文化を持つ人びとが住んでおり、そこには大きな貧富の差があることを、シミュレーション(疑似体験)のワークショップで体験し、私たちが暮らす日本は世界のどこに位置するのかを考える。 事前学修 2.0hr：世界情勢についてのニュースなどを見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。</p>
13 回	<p>授業テーマ：グループワーク：プレゼンテーションの準備 授業内容：各グループで関心がある国際問題を選定し、テーマとプレゼンテーションをする内容について話し合う。ディスカッションを基に第 15 回に発表するプレゼンテーションの資料作成の準備を行う。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションを行う国際問題のテーマを考えておく。 事後学修 2.0hr：プレゼンテーション作成の準備。講義の復習。レポート作成。</p>
14 回	<p>授業テーマ：グループワーク：プレゼンテーション資料の作成 授業内容：グループワークによりプレゼンテーション資料を作成する。発表資料は PC を利用し、パワーポイントなどで行うのが好ましい。発表資料の作成により、自分の意見を表現する力を身につけることができる。 事前学修 2.0hr：それぞれが自分の担当するプレゼンテーション資料の案を考えておく。 事後学修 2.0hr：それぞれが自分の担当するプレゼンテーション資料の案を考えておく。</p>
15 回	<p>授業テーマ：それぞれが自分の担当するプレゼンテーション資料の案を考えておく。 授業内容：プレゼンテーションを行い、全員で意見交換を行う。発表は PC を利用し、パワーポイントなどで行うのが好ましい。自分の意見を発表することにより、他者に分かりやすく伝える力を身につけることができる。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーション資料の作成、発表の準備。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。</p>

法学

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前/後

櫻井 博子 (さくらい ひろこ)

■ 授業の概要

社会のルールの一つである法は、私たちの生活の様々な場面で関わっている。そのため、法律に関する基礎的な知識や考え方を学ぶことは、社会生活を送るうえで有用である。

この授業では、私たちの生活に身近な法制度に関する基礎的な知識を理解するし、現実の社会の具体的な問題を「法的」に検討することを目的とする。また、法を学ぶことを通じ、法律の規定にも様々な解釈の仕方があること、物事の解決に「唯一の正解」は存在しないことを知り、物事を多面的にとらえることを意識し、自分自身で考えてみるための基礎となる力を涵養する。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ○)

一般目標：将来社会人となった際、直面し得る問題を、自身で処理できる能力を身に付けられるよう、法の論理的なものの考え方の重要性を理解した上で、基礎的な法律の知識を身につける。

個別目標：(1) 社会のなかで法が果たす役割や法の意義を、具体的な事例とともに説明できる。

(2) 具体的な法制度の機能を、その制度の成り立ちや社会での現実的な意義等を踏まえて評価できる。

■ 履修条件

特になし。

■ 評価基準・方法

各回の講義内容を復習する確認問題(小テスト)と期末試験の結果の合計(90%)、授業内における参加姿勢等(10%)、到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。

また、原則として5分の4以上の出席を評価の前提条件とする。

なお、講義ごとの課題は、学修支援システム manaba を通して行い、次回の授業で解説を行う。

■ フィードバック方法

課題及び定期試験のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

なし

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (レスポンの入力(スマートフォンで可能))

■ 教科書

使用しない。

■ 参考書

初回講義と講義中に適宜紹介する。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：イントロダクション、私たちの生活にかかわる法の種類とその分類 授業内容：法とは何か、法の種類、法の分類 事前学修 1.5hr：ニュースや新聞等で、「法」に関わるものがどれくらいあるのか確認してみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
2 回	授業テーマ：ルールとその「適用」 授業内容：法の適用による紛争の解決、解釈の必要性、条文の構造、法の解釈、解釈の技術 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
3 回	授業テーマ：国の仕組みに関する法(1) 授業内容：憲法の役割と構造、人権(人権の種類、人権の制約、精神的自由、経済的自由、社会権) 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
4 回	授業テーマ：国の仕組みに関する法(2) 授業内容：統治(三権分立、立法権(国会)の役割、行政権と議院内閣制、司法権の役割) 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
5 回	授業テーマ：取引社会と法(1) 授業内容：日常生活を取り巻く契約と民法、契約と債権の発生、自由で健全な意思が結び契約関係 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
6 回	授業テーマ：取引社会と法(2) 授業内容：意思表示の構造、意思表示の瑕疵と意思の不存在、消費者保護のための特別法 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
7 回	授業テーマ：取引社会と法(3) 授業内容：契約の意義、契約成立後の法律関係、履行遅滞、履行不能、その他の債務不履行、損害賠償 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
8 回	授業テーマ：取引社会と法(4) 授業内容：住まいをめぐる法律関係、不法行為に基づく責任(契約によらない債権債務の発生)、製造物責任法による消費者の保護 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
9 回	授業テーマ：家族にかかわる法(1) 授業内容：夫婦間の法律関係、親子関係、離婚 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
10 回	授業テーマ：家族にかかわる法(2) 授業内容：相続、法定相続人と法定相続分、相続の承認と放棄、遺産分割 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。

11 回	授業テーマ：犯罪にかかわる法 授業内容：刑法とは、犯罪の成立と構成要件、犯罪の成立を阻却する事由 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
12 回	授業テーマ：責任と裁判制度 授業内容：裁判と裁判手続の種類、裁判所と審級、民事裁判、刑事裁判 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
13 回	授業テーマ：企業に関する法 授業内容：法人制度、法人に関する法律、法人の活動、会社 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
14 回	授業テーマ：雇用と労働関係に関する法 授業内容：労働契約、労働者を保護する様々な制度、派遣労働における労働形態 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
15 回	授業テーマ：講義のまとめ 授業内容：これまでの授業内容の総括 事前学修 1.5hr：これまでの講義内容を復習する。 事後学修 2.5hr：これまで学んできた内容を復習し、課題に解答する。

日本国憲法

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前/後

吉田 成利 (よしだ なるとし)

■ 授業の概要

日本国憲法に関する身近な事例を素材とし、日本国民の権利義務や国家統治について学ぶ。
毎回の講義後、小レポートを条件に従い Manaba へ期限内に提出することが求められる。体育会の活動や就活、インターンなどで講義に出席できない場合や、履修修正などで遅れて履修を開始した場合には、必ず Manaba かメールで担当教員に連絡すること。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎)

一般目標：日本国憲法に関する知識を習得し、客観的で公正な法的思考を会得する。

個別目標：(1) 日本国憲法が日本の国益を守り、国際未来社会における「この国のかたち」を描けていけるのか、各人が合理的な意見を創造する。

(2) 偏りのある意見や報道に惑わされることなく、日本の現実に即した憲法のあるべき姿について、各人が説明できる。

(3) 日々のニュースを憲法の観点からとらえ、自分なりの説明ができる。

■ 履修条件

(1) 必ず指定された教科書を購入すること。教科書がないと、レポートが作成できません。

(2) 毎回の小レポートを、期限までに条件を守って本講義の Manaba の指定された提出先へ提出すること。

■ 評価基準・方法

各自が所有する指定された教科書のみ持込可能である期末試験(60%)、

毎回の講義終了後に提出する小レポート(30%)、

授業内の発言・姿勢(10%)。講義内で教員により指名された際に真摯に回答しないと加点されない。

毎回の講義冒頭に、前回の講義内容および小レポートについてフィードバックがなされる。

■ フィードバック方法

毎回の小レポート提出後に講義内でフィードバックを行います。必ず期限までに小レポートを提出してください。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (毎回または 2 回に一度、教員にあてられ自分の意見を求められる)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (毎回の講義資料を Manaba にアップし、レポート作成も PC で行う。)

■ 教科書

吉田 成利著『大学生のための日本国憲法入門』(慶應義塾大学出版会、2020 年)

■ 参考書

適宜指定する。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：法学における憲法の位置づけ 授業内容：序論とオリエンテーション。 事前学修 2.0hr：憲法改正のニュースについて調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
2 回	授業テーマ：日本国憲法の基本原理と基本構造 授業内容：日本国憲法の核となる原理と構造について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
3 回	授業テーマ：天皇と譲位 授業内容：我が国の象徴である天皇について、憲法はどのように規定しているのかを学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
4 回	授業テーマ：人権保障とその限界 授業内容：人権や自由は人としての当然の権利である一方、絶対ではないことを学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
5 回	授業テーマ：信教の自由と靖国神社参拝 授業内容：宗教を信じる自由と信じなくても良い自由について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
6 回	授業テーマ：表現の自由とプライバシー侵害 授業内容：言いたいことを言う自由について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
7 回	授業テーマ：婚姻の自由と同性婚 授業内容：結婚とは男女の合意に基づくものであると日本国憲法が規定していることについて、LGBTQ の問題について、憲法が果たすべき役割について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
8 回	授業テーマ：学問の自由と教育無償化 授業内容：教育について憲法はどのように規定しているのか学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
9 回	授業テーマ：社会権と勤労の義務 授業内容：我々が労働するという行為について憲法はどのように規定しているのか学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
10 回	授業テーマ：国会と参政権 授業内容：立法院こそが国家権力の最高機関であることを学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。

11 回	授業テーマ：内閣と行政機構 授業内容：内閣総理大臣は日本で最強の権力者なのか？ 学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
12 回	授業テーマ：司法府と裁判員制度 授業内容：裁判所と国民の司法参加について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
13 回	授業テーマ：地方自治と地方創生 授業内容：地方分権を進めれば日本はより活性化するのだろうか？ 学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
14 回	授業テーマ：憲法9条と集団的自衛権 授業内容：憲法9条と平和主義、自衛隊、そして日米安保条約の存在意義について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
15 回	授業テーマ：憲法改正とその必然性 授業内容：憲法改正の歴史的・社会的必然性について学び、結論付ける。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。

経済のしくみ

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前/後

野口 尚洋 (のぐち なおひろ)

■ 授業の概要

本講義では、経済の仕組みについて理論と現実の両面から説明していきます。経済学の理論はミクロ経済学とマクロ経済学に大きく分けることが出来ます。前半はミクロ経済学の分野で市場の話を中心に説明していきます。後半はマクロ経済学の分野で日本の国全体の経済について説明していきます。「経済のしくみ」という講義名にあるように、経済学の理論だけでなく、経済学の理論を使って現実の経済のしくみを理解することを主眼に置き、なるべく身近な例を用いて説明していきます。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎)

一般目標：身の回りに起こっている経済の問題について、自分で考えを持てるようにことができるようになります。経済の話は、アルバイトなど普段の生活から、就職活動や就職後も常に関係するものです。そのときの判断の基礎となるものだと考えています。また、現実のデータやグラフを多く紹介する予定です。一般常識としての知識も得ることができます。

個別目標：身の回りに現実起きてる経済問題に興味をもち、その理由を自分で考え、行動判断の基礎とできる。

■ 履修条件

80%以上出席することが履修条件です。また、経済学はグラフを多用しますので、自分で手を動かしながら自分で頭で考えることが重要です。したがって、主体的に授業に参加できる学生の履修を望みます。また、授業中に静粛を保てない学生の履修は遠慮下さい。

■ 評価基準・方法

小テスト (30%)、期末試験 (70%) で評価します。学生の履修状況、講義の進度によっては中間試験を課すこともあります。また、原則 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件としますが、成績評価の対象にはしません。

■ フィードバック方法

小テストと期末試験のフィードバックは学習支援システム manaba を通して行いますので、必ず確認してください。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

なし

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

特に指定しません。プリントにより授業を行います。授業で使用したプリントは manaba のコースコンテンツにもアップロードいたしますので、欠席した回の授業に関するプリントは、各自ダウンロードし、プリント・アウトして下さい。

■ 参考書

参考書は適宜指定します。代表的な参考書として以下を挙げておきます。

前半のミクロ経済学分野：安藤至大『ミクロ経済学の第1歩』有斐閣 2013 年

後半のマクロ経済学分野：柴田章久・宇南山卓『マクロ経済学の第一歩』有斐閣 2013 年

全体の参考書：伊藤元重『入門 経済学 第4版』日本評論社

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：ガイダンス・履修に当たっての諸注意と授業内容全体の説明・経済学独特の考え方(インセンティブ) 授業内容：授業内容の全体と注意事項等、履修にあたり必要と思われる内容を説明します。その後に授業を行います。また、授業中に DVD を視聴します。 事前学修 1.0hr：繰り返し、シラバスをよく読んでくること 事後学修 3.0hr：この授業の履修に当たっての約束事項と授業の全般的内容を確認すること。経済学独特の考え方に触れる。manaba のアンケートの答える。
2 回	授業テーマ：経済学独特の考え方(トレード・オフ、交換の利益、機会費用) 授業内容：貿易の比較優位の理論を例に、トレード・オフ、交換の利益、機会費用について説明していきます。具体的な数値例を用いて説明していきます。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントを読み、インセンティブについて復習しておく。 事後学修 2.0hr：トレード・オフ、機会費用について現実の実例を考える。期限までに、manaba の小テストを受験する。
3 回	授業テーマ：企業の諸費用費用と利潤最大化 授業内容：企業の費用についてグラフを描きながら解説していきます。特に「限界」の概念は経済学で必須の概念ですので丁寧に説明していきます。その後に企業の利潤最大化行動を考えます。最後にオリエンタルランドを例にとり損益分岐点における入場者数を求めていきます。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントにある問題を解き、間違えた問題は考え方をまとめておく。 事後学修 2.0hr：各費用の図を自分で導出し、自分で描いてみる。期限までに、manaba の小テストを受験する。
4 回	授業テーマ：市場の均衡と価格調整 授業内容：市場についてみていきます。財の種類と需要曲線、供給曲線の変化の関係を分析していきます。また、今回の導入として、余剰の基本的な概念まで説明します。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントにある問題を解き、間違えた問題は考え方をまとめておく。 事後学修 2.0hr：非常に大事な「余剰」の概念を復習する。期限までに、manaba の小テストを受験する。
5 回	授業テーマ：余剰分析 授業内容：余剰の概念について説明し、その後に課税の効果について説明します。内容的には「経済のしくみ」の中で最も難しい内容だと思えますが、経済学の独特の考え方につながりますので、しっかり授業を聞いてください。 事前学修 2.0hr：供給曲線と需要曲線の導出をもう一度確認する。 事後学修 2.0hr：配布プリントの問題に関して、余剰の図を自分で描き、消費者余剰・生産者余剰・総余剰について確認する。期限までに、manaba の小テストを受験する。
6 回	授業テーマ：保険のしくみ 授業内容：消費者の効用最大について簡単に触れ、その後、保険のしくみと情報の非対称性について説明していきます。 事前学修 2.0hr：限界の概念をもう一度復習しておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントの問題を解く。情報の非対称性があるときの対策をまとめる。期限までに、manaba の小テストを受験する。
7 回	授業テーマ：ゲーム理論について理解する 授業内容：色々な例を交えながらゲーム理論について説明していきます。具体的にはナッシュ均衡をメインに説明していきます。 事前学修 2.0hr：第4回の配布プリントの問題を解きながら、企業の利潤最大化をもう一度確認する 事後学修 2.0hr：配布プリントの問題を解く。期限までに、manaba の小テストを受験する。

8 回	<p>授業テーマ：経済をマクロからとらえる 授業内容：この回からはマクロ経済学の分野に入ります。GDP など一般常識として知っておくべき言葉の説明と戦後の日本経済の歩みについて説明していきます。 事前学修 2.0hr：配布プリントの GDP 成長率の図の指定の年に何があったか調べておく。 事後学修 2.0hr：戦後、日本の GDP の動きと、GDE と GDI の各構成要素のデータを調べる。期限までに、manaba の小テストを受験する。</p>
9 回	<p>授業テーマ：財市場の分析 授業内容：財市場を分析し、GDP の大きさがどのように決まるのかを説明する。その後、財政政策の効果について説明する。 事前学修 2.0hr：公共事業の具体例や減税についての近年の各党の主張を調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントの問題をとき、財政政策の有効性を確認する。期限までに、manaba の小テストを受験する。</p>
10 回	<p>授業テーマ：貨幣市場の分析 授業内容：貨幣とは何かから始まり、貨幣市場の説明をしていきます。実際に日本銀行のホームページを見ながら貨幣の歴史も振り返ります。 事前学修 2.0hr：日本銀行のホームページから貨幣博物館のサイトへいき、貨幣の歴史について調べる。 事後学修 2.0hr：配布プリントの問題をとき、貨幣の需要と供給、金融政策についてまとめる。期限までに、manaba の小テストを受験する。</p>
11 回	<p>授業テーマ：物価の変動と失業を理解する 授業内容：物価とインフレについて実際のデータを見ながら解説していきます。また、労働市場についても説明していきます。 事前学修 2.0hr：第 8 回のプリントから物価の上昇した時期と低下した時期にどのような経済的出来事があったかを調べておく。 事後学修 2.0hr：インフレとデフレの仕組みと影響、労働市場について復習しておく。期限までに、manaba の小テストを受験する。</p>
12 回	<p>授業テーマ：利子、債券、株についての理解する。 授業内容：複利計算を説明していきます。また、債権と株の違いを説明し債券価格と株価の決め方を説明していきます。 事前学修 2.0hr：第 6 回講義の余剰を復習しておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントの問題を解く。期限までに、manaba の小テストを受験する。</p>
13 回	<p>授業テーマ：為替レートの決定と貿易の関係を理解する。 授業内容：為替レートの決定を短期と長期に分けて説明します。また、為替レートの変動が貿易に与える影響についてもみていきます。さらに、国際収支統計を確認し、現在に日本の貿易状況を説明します。 事前学修 2.0hr：第 2 回のプリントから、絶対優位・比較優位の理論を復習する。 事後学修 2.0hr：配布プリントの問題を解く。期限までに、manaba の小テストを受験する。</p>
14 回	<p>授業テーマ：日本の財政と社会保障制度 授業内容：現実の日本財政を予算、税、国債、プライマリー・バランスに分けて解説していきます。また、年金を中心に社会保障制度についても触れていきます。 事前学修 2.0hr：第 7 回講義の保険のしくみを復習しておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントの問題を解く。期限までに、manaba の小テストを受験する。</p>
15 回	<p>授業テーマ：これまでの復習と授業内試験 授業内容：これまでの復習を行い、授業内試験を実施後その解説を行う。 事前学修 3.0hr：manaba で受験した小テストをもう一度復習する。manaba で配布する昨年度の問題を解いて答え合わせを行う。 事後学修 2.0hr：授業内試験で間違えた問題をもう一度解き直し、理解を深める。</p>

政治のしくみ

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前/後

河野 武司 (こうの たけし)

■ 授業の概要

本講義では、政治のしくみ(制度と過程)について、理論と現実の両面から説明します。具体的には、日本政治を前提に、選挙制度など代議制民主主義を支える様々な制度や、政・官・財の「鉄の三角関係」、メディア、インターネットなどが政策決定に及ぼす影響を中心に、政策決定における現実について紹介していく予定です。その際、必要に応じて、政治に関する専門用語や理論を解説します。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎)

一般目標：日本政治の現実を理解し、他者に対してどうしてそうなのかを理論的に説明できる力を身に付けていただければと思っています。

個別目標：選挙において、主体的に選び、投票することができる情報を持った有権者となることを目指していただければと思っています。

■ 履修条件

私が話したこと、板書したことを要領よくまとめ、自らの手でこの講義を受講したことの証としてのノートを作成して、持込可を予定している期末試験に臨んでください。ノートを充実させるにあたっては、授業中や予習・復習での生成 AI の活用を推奨します。そのため、授業中のスマホや PC の利用を認めます。

■ 評価基準・方法

期末試験 (80 %)、平常点 (20 %)：私からの質問に対する回答や疑問点に対する問題の提起といった普段の受講態度、場合によっては小テストも実施し、その結果も含める場合があります) で評価します。

■ フィードバック方法

定期試験等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

なし

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

特に指定しません。

■ 参考書

授業中に適宜指示します。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：ガイダンス(インセンティブ) 授業内容：・履修に当たった際の諸注意と授業内容の説明。 事前学修 2.0hr：シラバスを繰り返し読んでください。 事後学修 2.0hr：この授業の履修に当たった際の約束事項と授業の全般的内容を確認してください。
2 回	授業テーマ：政治とは何か 授業内容：・政治と国家→政治概念論争、様々な政治の定義の紹介 事前学修 2.0hr：アリストテレスによる「ポリスを必要としない者は、神か野獣に違いない」という言葉を調べましょう。 事後学修 2.0hr：自らの政治に関する定義について考えてください。
3 回	授業テーマ：民主主義とは何か 授業内容：・プラトンが理想とした哲人王による政治は民主主義か、直接民主制と間接民主制の長短 事前学修 2.0hr：民主主義とは何かについて考えてください。 事後学修 2.0hr：民主主義に関する説明を整理してください。
4 回	授業テーマ：民主主義を支えるしくみ① 授業内容：・立憲主義、三権分立、様々な政治システム(大統領制、半大統領制、議院内閣制)、議会における一院制と二院制 事前学修 2.0hr：「絶対的権力は絶対的に腐敗する」という言葉を調べましょう。 事後学修 2.0hr：日本に首相公選制が相応しいか否か考えてみましょう。
5 回	授業テーマ：民主主義を支えるしくみ② 様々な選挙制度 授業内容：・代表の意味(国民代表、地域代表、職能代表)、様々な選挙制度(小選挙区制、大選挙区制、比例代表制、混合システム) 事前学修 2.0hr：日本の衆議院の選挙制度(小選挙区比例代表並立制)について調べてください。 事後学修 2.0hr：日本の衆議院に相応しい選挙制度について、自身の考えをまとめましょう。
6 回	授業テーマ：日本の選挙の諸問題 授業内容：・政治的景気循環と政治的波乗り(7 条解散の是非)、一強多弱、重複立候補の是非 事前学修 2.0hr：自身が特に感じる日本政治における問題点を一つ挙げてみましょう。 事後学修 2.0hr：自身が挙げた日本政治の問題点の解決策について考えましょう。
7 回	授業テーマ：民主主義を支えるしくみ③ 政党 授業内容：・政党システム論とデュヴェルジエの法則、日本の政党システムとしての 55 年体制 事前学修 2.0hr：55 年体制について調べておきましょう。 事後学修 2.0hr：日本の政党システムにおける問題点についてまとめましょう。
8 回	授業テーマ：民主主義を支えるしくみ④ 民主的選挙の 5 原則 授業内容：・普通選挙、平等選挙、直接選挙、秘密選挙、投票の自由 事前学修 2.0hr：間接投票を採用しているアメリカの大統領選挙のしくみについて調べておきましょう。 事後学修 2.0hr：義務投票制の是非について考察してみましょう。
9 回	授業テーマ：民主主義を支えるしくみ⑤ 投票参加 授業内容：・投票参加の計算式(期待効用モデル)、投票率の向上策 事前学修 2.0hr：投票参加の計算式について調べておきましょう。 事後学修 2.0hr：自身のオリジナルな投票率の向上策について考えましょう。
10 回	授業テーマ：民主主義を支える仕組み⑥ 投票方向の決定 授業内容：・選挙における選択の基準(支持政党、争点、業績評価、選挙区に利益をもたらす政治家か否か) 事前学修 2.0hr：自身の過去の選挙における投票を振り返ってください。 事後学修 2.0hr：どのような基準で投票を行うのがよいかについて考えてみましょう。
11 回	授業テーマ：政策決定における諸問題① メディアの役割 授業内容：・メディアは政府の活動を監視する番犬か、政府の飼い犬か、選挙におけるアナウンスメント効果 事前学修 2.0hr：メディアの報道によって自身の考えや行動が変わったことがあるか否かについて思い出してください。 事後学修 2.0hr：メディアの政治的役割について自身の考えをまとめましょう。

12 回	<p>授業テーマ：政策決定における諸問題② 選挙政治と利益団体政治</p> <p>授業内容：・圧力団体政治と鉄の三角形、利益団体自由主義(多元主義と労働抜きのコラボリズム)</p> <p>事前学修 2.0hr：アメリカで最大の利益団体として知られる全米ライフル協会について調べておきましょう。</p> <p>事後学修 2.0hr：政策を巡る自由市場が機能するか否かについて考えましょう。</p>
13 回	<p>授業テーマ：政策決定における諸問題③ 利益の集中とコストの分散</p> <p>授業内容：・市民における合理的無知と政策決定における反消費者生産者支持の偏向、利益の組織化と政治的企業家</p> <p>事前学修 2.0hr：孔子の「民は之に由らしむべし、知らしむべからず」という言葉を調べておきましょう。</p> <p>事後学修 2.0hr：政治現象を合理的選択という観点から説明することの妥当性について考えましょう。</p>
14 回	<p>授業テーマ：インターネットと民主主義</p> <p>授業内容：・インターネットは民主主義の敵か、インターネットが可能とする新しい民主主義の形(陪審制デモクラシー、カウンターデモクラシー)</p> <p>事前学修 2.0hr：キャス・サンスティーンが書いた『民主主義はインターネットの敵か』の内容について調べておきましょう。</p> <p>事後学修 2.0hr：インターネットを利用した 21 世紀にふさわしい新たな民主主義のしくみについて自身で考えてみましょう。</p>
15 回	<p>授業テーマ：授業の総括と質疑応答</p> <p>授業内容：まとめとして、これまでの授業内容を振り返るとともに、受講生からの質問に答えます。</p> <p>事前学修 3.0hr：自らがまとめたノートを確認し、疑問点を抽出しておいてください。</p> <p>事後学修 3.0hr：自らがまとめたノートを試験に備えて完成させ、繰り返し確認してください。</p>

自然環境論

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前/後

磯田 尚子 (いそだ しょうこ)

■ 授業の概要

現代社会における最も重要な課題のひとつである環境問題について、その原因や発生のメカニズムは何か、何が問題となっているか、そして解決のためにどのようなしくみを構築すべきかを学ぶ。環境法政策学を中心に、自然保護に関する環境倫理学・環境哲学の知見をも取り入れながら、法的なしくみの現状と課題について学ぶ。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎)

一般目標：環境問題に関する法的なしくみについて、基本的な知識を習得するとともに、持続可能な社会、自然と人間の共生に向けて何が必要かを理解する。

個別目標：環境問題に関する法的な制度やしくみについて、専門用語とその内容を、自分の言葉できちんと説明し、他人に伝えることができるようになる。

■ 履修条件

学問に対する誠実な姿勢を有し、自主的、積極的に学ぶ学生を歓迎する。

■ 評価基準・方法

筆記試験 90%、レポートまたは授業中の発表・発言 10%を総合して成績評価を行う。

原則として、授業回数 15 回のうち 5 分の 4 以上の出席を評価の前提基準とする。

■ フィードバック方法

レポートのフィードバックは、授業内で行い、筆記試験のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (プレゼンテーション、ディスカッション)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

柳憲一郎・森永由紀・磯田尚子 (編著) 『多元的環境問題論 (増補改訂版)』 (ぎょうせい)

ISBN978-4-324-08009-2

■ 参考書

講義において適宜紹介する。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：ガイダンス、環境問題の歴史 1 (公害問題) 授業内容：初めに、授業の概要・進め方と評価方法、留意事項などについて説明する。続いて、日本の公害の歴史を概観した後、戦前の公害問題の典型例である足尾鉾毒事件を取り上げ、この時代の公害問題の原因や背景を考える。 事前学修 2.0hr：教科書第 2 章 2. 1. 1 を熟読する。 事後学修 2.0hr：足尾鉾毒事件について調べる。
2 回	授業テーマ：環境問題の歴史 2 (四大公害訴訟) 授業内容：戦後高度経済成長期に起こった四大公害事件から学びを得るとともに、四大公害訴訟を通じて形成された法理論の内容と意義を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書第 2 章 2. 1. 2～2. 1. 4 を熟読する。 事後学修 2.0hr：四大公害訴訟を通して形成された法理論を 4 つ挙げて、それぞれについて説明する。
3 回	授業テーマ：環境問題の歴史 3 (公害の未然防止) 授業内容：高度経済成長後の公害裁判において課題となった公害の未然防止に関し、差止訴訟の事例を紹介しながら、裁判で用いられた論理を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書第 2 章 2. 1. 5 を熟読する。 事後学修 2.0hr：受忍限度論について説明する。
4 回	授業テーマ：環境基本法の制定と環境基本計画 授業内容：公害問題と環境問題の根本的な違いを知るとともに、環境基本法と環境基本計画の内容を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書第 2 章 2. 1. 6 および 2. 2. 1 を熟読する。 事後学修 2.0hr：環境基本法の特徴を述べる。
5 回	授業テーマ：環境保全手法 授業内容：公害問題の解決から有効であった規制的手法と、環境問題の解決のために新たに導入されてきている経済的手法の 2 つを中心に、協定的手法、情動的・教育的手法その他を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書第 2 章 2. 2. 3～2. 2. 4 を熟読する。 事後学修 2.0hr：規制的手法と経済的手法を比較する。
6 回	授業テーマ：環境保全のための理念と基本原則 授業内容：環境問題の解決のために採用されている理念や基本原則のうち、持続可能な開発/発展 (SD)、汚染者負担原則 (PPP)、予防原則について学ぶ。 事前学修 2.0hr：持続可能な開発/発展について調べる。 事後学修 2.0hr：環境と経済の同時達成について具体例を調べる。
7 回	授業テーマ：大気環境 1 (大気汚染、酸性雨、オゾン層破壊) 授業内容：大気汚染、国境を越えて被害が生ずる酸性雨、さらに地球規模で影響があるオゾン層破壊について、その発生メカニズムと影響と法的な対策を学ぶ。 事前学修 2.0hr：酸性雨とオゾン層破壊のそれぞれについて、発生メカニズムと影響について説明する。 事後学修 2.0hr：大気汚染、酸性雨、オゾン層破壊のそれぞれについて、どんな対策が取られているか説明する。
8 回	授業テーマ：大気環境 2 (気候変動) 授業内容：今世紀最大の環境問題である気候変動について、その発生メカニズム、影響、法的な対策の歴史と現状 (気候変動枠組条約、京都議定書、パリ協定) を学ぶ。 事前学修 2.0hr：気候変動 (地球温暖化) の発生メカニズムと影響について説明する。 事後学修 2.0hr：京都議定書とパリ協定の内容を説明する。
9 回	授業テーマ：土壌環境 (土壌汚染) 授業内容：土壌汚染の特徴を理解するとともに、土壌汚染問題のタイプと対策の歴史、土壌汚染対策法の内容を意義を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書第 1 章 1. 4 を熟読する。 事後学修 2.0hr：土壌汚染対策法の内容について説明する。

10 回	<p>授業テーマ：廃棄物1(廃棄物法制度の概要)</p> <p>授業内容：廃棄物関連の法律の全体像をつかんだ後、廃棄物処理法、資源有効利用促進法、リサイクル関連の法律の内容と意義を理解する。</p> <p>事前学修 2.0hr：教科書第1章1. 6を熟読する。</p> <p>事後学修 2.0hr：廃棄物処理法、リサイクル関連の法律、グリーン購入法の内容について説明する。</p>
11 回	<p>授業テーマ：廃棄物2(循環型社会形成に向けて)</p> <p>授業内容：リサイクル関連の法律の進展を知るとともに、循環型社会形成推進基本法で定める理念や原則を学ぶ。</p> <p>事前学修 2.0hr：教科書第1章1. 6を熟読する。</p> <p>事後学修 2.0hr：循環型社会形成推進基本法の内容について説明する。</p>
12 回	<p>授業テーマ：生物環境1(自然の権利)</p> <p>授業内容：自然を原告として提訴する自然の権利訴訟について、日本の訴訟とそのモデルとなったアメリカの訴訟を通して、ある地域の開発について地域住民以外の者が法的に意見を述べることについて考えるとともに、自然に権利を付与する法政策的な意義を論じる。</p> <p>事前学修 2.0hr：教科書第1章1. 5. 4及び第4章4. 2. 3を熟読する。</p> <p>事後学修 2.0hr：自然の権利を主張する意義について論じる。</p>
13 回	<p>授業テーマ：生物環境2(自然環境保全制度)</p> <p>授業内容：日本の自然環境保全のための法律4つ(自然公園法、自然環境保全法、種の保存法、鳥獣保護法)の内容を理解し、国法レベルでの自然保護手法の特徴について考える。</p> <p>事前学修 2.0hr：教科書第1章1. 5. 3を熟読する。</p> <p>事後学修 2.0hr：自然環境保全のための4つの法律に共通する考え方を論じる。</p>
14 回	<p>授業テーマ：生物環境3(里山の保全)</p> <p>授業内容：近年の里山保全についての政策転換と、里山保全に関する地方自治体の条例の内容を学ぶ。</p> <p>事前学修 2.0hr：関心のある自然の保護について具体例を調べる。</p> <p>事後学修 2.0hr：調べた自然保護の具体例において、どのような制度やしぐみが用いられているかを調べる。</p>
15 回	<p>授業テーマ：総括</p> <p>授業内容：授業で関心を持った事項について、その内容と示唆をまとめ、発表する。</p> <p>事前学修 2.0hr：発表の準備をする。</p> <p>事後学修 2.0hr：授業で関心をもった事項について、さらに調べる。</p>

生活と安全

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：後

笠嶋 義夫 (かさしま よしお)

■ 授業の概要

人間が生活をしていく上で、「安全」は最も重要な要素である。しかし、その範囲はあまりに広いので、本講義では、「地球温暖化とエネルギー問題」「食糧問題」「水問題」「廃棄物問題」に焦点をあてる。国連が SDG s を提唱してから、世界的に注目され、最も重要でかつ解決しなければならない分野と位置づけられている問題ばかりである。これらの問題から、現代における人間社会の「安全」とは何かを考えてみる。なお、社会情勢と密接に関係している科目のため、社会情勢の変化により、講義の進行順序を入れ替えたり、内容を変更することがあります。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎)

一般目標：人間が「生活」していくうえで、避けることのできない問題である、「地球温暖化とエネルギー問題」、「食糧問題」、「水問題」、「廃棄物問題」のかかえている重要な要素を理解する。

個別目標：(1)「地球温暖化とエネルギー問題」、「食糧問題」、「水問題」、「廃棄物問題」それぞれについて、概略を説明できる。

(2)これらの問題について、どのように対応すべきか、個別に説明できる。

(3)これらの問題が身近に差し迫ったとき、どのように、人間が「安全に」生活していけるのか、その道筋を判断できる。

■ 履修条件

特になし。

■ 評価基準・方法

4 回の大きなレポート(講義の振り返りを含む)で 64 点満点(16 点満点×4 回)、講義の振り返りシート(前述の「大きなレポート」以外)が 36 点満点(4 点満点×9 回)で、合計 100 点満点とします。レポートは、提出したからといって、「満点」が与えられるものではありませんので、くれぐれも注意のこと。レポートは、ほぼ毎回出ることになります。出席は、80%以上が単位取得の条件となりますので、注意のこと(欠席は除く)。レポート提出は、スクリーンショットや画像ファイルでの提出は認めないので、注意のこと。

■ フィードバック方法

レポートのフィードバックは、講義または manaba で行います。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (講義の振り返りシートの提出とそのフィードバック)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (レポートは、ワードファイルで提出してもらいます。)

■ 教科書

「新版(第3版) 環境の科学」中田昌宏・笠嶋義夫 著 (三共出版)

あと、必要に応じてプリントを pdf または jpeg、パワーポイントで manaba にアップします。manaba を見れるものを持参してください(講義でプリントは配布しません)。

■ 参考書

「森が消えれば海も死ぬ」第2版 松永勝彦 著 (講談社)

「地球の限界」オーウェン・ガフニー/ヨハン・ロックストローム 著 戸田早紀 訳 (河出書房新社)

「もうコメは食えなくなるのか」鈴木宣弘 著 (講談社)

「社蠟養殖 100 年 汽水の匂いに包まれて」畠山重篤著(株式会社マガジンランド)

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：ガイダンスと本講義の概略 授業内容：ガイダンスで講義内容・学習方法・評価方法について解説する。その後、本講義の概略を解説し、現代社会の抱えている問題を提起する。 事前学修 2.0hr：インターネットなどで、地球上の環境問題でどんなことが起きているかをしらべてみてください。 事後学修 2.0hr：事前学修と講義を聴いたうえで、自分なりに再度環境問題について考えてみてください。
2 回	授業テーマ：地球温暖化の現況 授業内容：地球の成り立ちから振り返り、IPCC 報告書をもとに、地球温暖化とはどのような状態であるかを説明する。 事前学修 1.5hr：地球温暖化によって、どのようなことが地球上で起こっているかを自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
3 回	授業テーマ：パリ協定 授業内容：温暖化対策の世界的な取り組みである「パリ協定」について、その成り立ちと中身について解説する。 事前学修 1.5hr：「京都議定書」と「パリ協定」について自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
4 回	授業テーマ：原子力発電 授業内容：地球温暖化対策の一番手といわれる「原子力発電」。その利点と欠点を探る。あわせて、福島原発の事故についてと、現況についても触れる。 事前学修 1.5hr：原子力発電のしくみと、福島原発の事故と現況について自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
5 回	授業テーマ：再生可能エネルギー 授業内容：再生可能エネルギーについて、風力発電と、太陽光発電を中心に、その原理と、先進事例について学ぶ。 事前学修 1.5hr：再生可能エネルギー導入事例として、ヨーロッパではどのようなことが行われているかを調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
6 回	授業テーマ：世界の森林問題 授業内容：世界の森林のあり方について、アマゾンを中心に考える。あわせて、世界各地の森林保護運動にも触れる。 事前学修 1.5hr：世界各地の森林保護運動について、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
7 回	授業テーマ：日本の森林問題 授業内容：日本の森林のあり方について考える。森林が荒廃している現況、森林がどのように人間の営みに影響を与えているかを考える。 事前学修 1.5hr：日本の森林は、なぜ荒廃しているのか、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
8 回	授業テーマ：森永ヒ素ミルク事件 授業内容：森永ヒ素ミルク事件が、現代社会に与えた影響を考察する。 事前学修 1.5hr：森永ヒ素ミルク事件について自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。

9 回	授業テーマ：世界の食糧問題 授業内容：途上国では深刻な食糧問題が、世界で見ると見方が大きく変わる。その点を解説する。 事前学修 1.5hr：現在の世界の食糧事情について、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
10 回	授業テーマ：日本の食糧問題 授業内容：食料自給率が、先進国の中では最も低い日本。その食糧事情と、食品ロスについて考える。 事前学修 1.5hr：日本の食品ロスについて、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
11 回	授業テーマ：水問題 授業内容：人間が生きていくうえで最も必要なもの。日本でも世界でも、水を得るためにどのような問題点があるかを考える。 事前学修 1.5hr：日本の食料事情で、どのような問題が起こっているか、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
12 回	授業テーマ：オゾン層と紫外線 授業内容：オゾン層がどのように「有害紫外線」から、地球上の生き物を守っているか、またオゾンホールを中心にオゾン層破壊の問題について考える。 事前学修 1.5hr：オゾン層破壊のメカニズムを、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
13 回	授業テーマ：代替フロン 授業内容：オゾン層を破壊しないで、フロンの性質を持つ「代替フロン」。その問題点と、解決方法を探る。 事前学修 1.5hr：代替フロンについて、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
14 回	授業テーマ：廃棄物問題 授業内容：国土が狭いゆえに抱える日本のアキレス腱。その実態と、世界と日本の新しい取り組みについて説明する。あわせて、「海洋プラスチックゴミ(マイクロプラスチック)」の問題にも触れる。 事前学修 1.5hr：日本と世界の「廃棄物」の処理方法と、有効活用について、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
15 回	授業テーマ：日本はどうあるべきか 授業内容：今までの講義を振り返りながら、「日本はどうあるべきか」について考える。 事前学修 1.5hr：今までの講義(14回分)の内容を見返してみてください。 事後学修 3.0hr：講義振り返りシートの作成。

行動科学

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前/後

樋口 倫子 (ひぐち のりこ)

■ 授業の概要

行動科学は、人間の行動を心理学・社会学・教育学などの学際的視点から捉え、行動の理解や変容について実証的に検討する学問です。ビジネス領域における動機づけやパフォーマンス向上、保健医療領域における健康行動の形成と維持など、日常生活や専門実践の中で幅広く応用されています。近年、AIをはじめとする情報技術の発展により、人間の行動に関する知識や説明が、あたかも容易に理解できるかのように提示される状況が生じています。理論や情報をどのように解釈し、状況や関係性の中で意味づけ、Well-beingを支える行動として選択・調整していく判断は、人に求められる重要な力です。本講義では、Well-beingにつながる行動科学の諸理論を学び、対話や省察を通して、日常生活に活かす視点を養うことを目的とします。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ○)

一般目標：人間の行動にかかわる諸理論を理解し、その理論を基盤とした「人と共に、こころ豊かに生きる」ために何ができるかを考える力を涵養する。社会において、互いの多様性を尊重しあい Well-being を実現する態度とコミュニケーション(社会性・合理性・創造性)を身につける。

個別目標：1)人間の行動にかかわる諸理論を、具体的な場面や経験に即して解釈し、その有効性や限界を踏まえて説明できる。
2)様々な場面における人間の行動を、多角的な理論的視点から捉え、行動の選択や調整について考えることができる。
3)ヒューマン・スキルを、固定的な技法としてではなく、状況に応じて選択・調整する視点として理解し、日常生活に活かすことができる。
4)前向きな自己成長行動をとりながら、価値観の異なる他者と、理解や一致を急がずに関わり続けるコミュニケーションの姿勢を持つことができる。

■ 履修条件

授業は、対話的にピア・エデュケーション、クリエイティブ・ラーニングの手法で行われます。

そのため、仲間と共に学習し合う姿勢が求められます。

履修者多数の場合、履修動機を基に履修者を決定しますので(最大受講人数 60 名程度)、第 1 回の講義に必ず出席してください。

また、本講義は、多様な背景や特性をもつ履修者が共に学ぶことを前提としています。学修上の困難さがある場合には、個人の努力のみで解決を求めるのではなく、学修環境や参加方法を調整する合理的配慮を行います。配慮を希望する場合は、事前に担当教員または障がい学生支援室に相談すること。

■ 評価基準・方法

4/5 以上の出席を評価の前提条件とする。質問や発言による講義への参加度(25%)と、学習の成果物①講義ごとの小課題(50%)、学習の成果物②最終レポート課題(25%)により総合的に評価する。

■ フィードバック方法

課題に対するフィードバックは、翌週以降の講義冒頭および学修支援システム manaba を通じて全体に対して行う。理解が不十分な場合には補習を実施する。個別指導は、ワークブックへのコメントを通して行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (Think-Pair-Share Think-Group-Share Dialogue Reflecting-Talk)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (レスポンの質問への回答 デジタル資料閲覧 データ共有)

■ 教科書

1) Well-being の行動科学ワークブック(¥600)

※登校日にワークブックを購入してください。購入方法は、講義内や manaba で案内します。

2)配布資料

■ 参考書

授業内で、適宜紹介する。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：行動科学入門 授業内容：1. このコースの学習の進め方をイメージする。 2. この講義では何を学ぶのかを理解する。 3. 人々の行動に関する多様な考え方を、身近な事例から考える。 事前学修 2.5hr：行動科学を履修する目的を 400 文字程度でまとめる (manaba で提出を求めます)。 事後学修 1.5hr：タイプ A 行動特性のチェックから、自分の行動のパターンを分析、考察する。
2 回	授業テーマ：Well-being と自己理解(エゴグラムを活用した自己理解) 授業内容：エゴグラムのワークシートを活用し、自己理解を深める。 エゴグラム特徴と行動パターンをセルフワークで考察する。 Think-Pair-Share により、自己理解・他者理解を深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック第 1 章「Well-being と自己理解」を読み、エゴグラムのチェックを実施する。 事後学修 2.0hr：エゴグラムから、自分の行動のパターンや人間関係を分析、考察する。
3 回	授業テーマ：Well-being と自己理解②(エゴグラムを活用した他者理解) 授業内容：エゴグラム特徴と、人間関係の特徴をセルフワークで考察する。 人間関係の改善のために、どの領域を高める必要があるかを考える。 Think-Pair-Share により、自己理解・他者理解を深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック第 2 章「Well-being のコミュニケーション」を読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：ワークブックに体験から得た気づきをまとめ、日常の非言語コミュニケーションの改善について考察する。
4 回	授業テーマ：安心できる人間関係をつくる① 非言語コミュニケーション・アクティブ・リスニング 授業内容：気持ちの交流に不可欠な非言語領域(表情、声、視線、姿勢と動作)について理解する。 人間関係に効果的に働く非言語について考える。 気づきを Think-Pair-Share で深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック 2 章「Well-being の非言語コミュニケーション」を読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：ワークブックに体験から得た気づきをまとめ、非言語コミュニケーションの改善について考察する。
5 回	授業テーマ：安心できる人間関係をつくる② 沈黙と傾聴 授業内容：「話す」と「きく」からなるコミュニケーションの半分を占めている「きく」について考える。 沈黙のゲームを通して、「きく」ことの影響力を確かめる。 気づきを Think-Pair-Share で深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック 3 章「Well-being とリスニング」を読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：効果的な沈黙姿勢とブロッキングリストをまとめ、これまでの自分の聴き方を分析し、改善策を検討する。

6 回	<p>授業テーマ：自己イメージとグループダイナミクス 授業内容：自己抑制型行動特性と対人依存型行動特性の視点から、自らのコミュニケーションを振り返る。価値交流のグループワークを体験する。 体験学習から得たコミュニケーションの気づきを、Think-Group-Share で深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック第 1 章「1.5 パーソナリティチェック」を読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：ワークブックに体験から得た気づきをまとめ、自他の能力を引き出すコミュニケーションを考察する。</p>
7 回	<p>授業テーマ：共感の時代の Well-being 授業内容：なぜ共感の時代なのかを考える。共感的な聴き方を、ペアで体験する。気づきを Think-Pair-Share で深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック第 3 章「Well-being のリスニングスキル」を読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：協力を得て、共感的な聴き方を再度行ってみる。その結果や気づきをまとめる。</p>
8 回	<p>授業テーマ：コース前半のまとめ 授業内容：コース前半の内容を振り返る。ポートフォリオを参照しながら、自らがこのコースで学んだ重要なことを3つ選択する。それはなぜ重要と考えたのか、今後どのように活用するのかについて、Think-group-share によって、気づきを深める。 事前学修 2.0hr：ポートフォリオを参照しながら、自らがこのコース前半で学んだ重要なことを3つ選択する。 事後学修 2.0hr：ポートフォリオを参照しながら、自らがこのコース前半で学んだ重要なことを3つ選択する。それはなぜ重要と考えたのか、今後どのように活用するのかについて、レポートをまとめる。</p>
9 回	<p>授業テーマ：Well-being のアサーション① アサーション入門 授業内容：自他を尊重したコミュニケーションとしてのアサーションについて知る。自らの表現型(アサーティブ、ノンアサーティブ、アグレッシブ)を、セルフチェックを通して振り返る。アサーティブに、「謝る」「励ます」を、ペアで体験学習し、Think-Pair-Share によって、気づきを深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック 4 章 Well-being のアサーションを読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：共感のワークを、2名の協力者を得て復習する。</p>
10 回	<p>授業テーマ：Well-being のアサーション② アサーティブにお願いする・断る 授業内容：アサーティブに「お願いする・断る」ための伝え方を理解する。アサーティブに「お願いする・断る」をグループで体験学習し、Think-Group-Share によって、気づきを深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック 4 章 Well-being のアサーションを読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：アサーションを日常会話に取り入れ、自己観察した結果を、分析及び考察する。</p>
11 回	<p>授業テーマ：Well-being を実現する支援スキル① 基本姿勢とコーチング法 授業内容：援助者コンピテンシー・セルフアセスメントを実施する。援助の基本姿勢と行動段階ごとの支援法について理解する。コーチングの理論を理解する。コーチングのガイドラインを活用し、ペアで体験学習する。体験からの気づきを Think-Pair-Share によって深める。 事前学修 1.5hr：ワークブック 6 章「Well-being の対人援助」を読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.5hr：協力者を得てコーチングを実施し、そのプロセスを記録し考察する。</p>
12 回	<p>授業テーマ：Well-being を実現する支援スキル② 一カウンセリング法 授業内容：カウンセリングの理論を理解する。カウンセリングのガイドラインを活用し、ペアでカウンセリング体験をする。体験からの気づきを Think-Pair-Share によって深める。 事前学修 1.5hr：ワークブック 6 章「Well-being の対人援助」を読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.5hr：協力者を得てカウンセリングを実施し、そのプロセスを記録し考察する。</p>
13 回	<p>授業テーマ：Well-being のダイアログ① 対話姿勢と外在化の姿勢 授業内容：対話と会話の違いについて理解する。オープンダイアログの理論と実践について理解する。オープンダイアログの動画をみて、モデル学習する。気づきを Think-Pair-Share によって深める。 事前学修 1.5hr：ワークブック 5 章「Well-being のダイアログ」を読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.5hr：身近な人との会話の中で、対話(ダイアログ)の基本姿勢を試し、その結果をまとめる。</p>
14 回	<p>授業テーマ：Well-being のダイアログ② リフレクティング・トーク 授業内容：リフレクティング・トークの理論と実践を理解する。ガイドラインを活用し、グループでリフレクティング・トークを体験する。体験からの気づきを Think-Pair-Share によって深める。 事前学修 2.0hr：5 章の 5.2 オープンダイアログの講を読んで、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：リフレクティング・トークの体験を振り返り、今後どのように生かせるかを考えてまとめる。</p>
15 回	<p>授業テーマ：コース全体のまとめ 授業内容：コース全体の内容を振り返る。ポートフォリオを参照しながら、自らがこのコースで学んだ重要なことを3つ選択する。それはなぜ重要と考えたのか、今後どのように活用するのかについて、Think-group-share によって、気づきを深める。 事前学修 2.0hr：ポートフォリオに目を通し、自らがこのコースで学んだ重要なことを3つ選択し、まとめる。 事後学修 2.0hr：このコースでの学びの活用に関する最終課題に取り組む。</p>

データのまとめ方

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前/後

新井 啓 (あらい けい)

■ 授業の概要

各学部に設置されている統計関連の専門科目の基礎となる統計学の基礎的な考え方を学ぶ授業です。2018 年ころから GAF A による個人情報の利用が世界的に問題になっており、データの分析技術以前にデータを収集する前の段階において個人情報保護法を理解しなければならない世界になりました。そこでこの授業でも個人情報保護法の基礎的な考え方も説明します。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●)

一般目標：平均や標準偏差などの統計学の基礎的な知識と個人情報保護法の基礎的な考え方とプライバシー権を理解できること。

個別目標：プライバシー権と個人情報保護法の基礎的な考え方を理解できる。

■ 履修条件

統計学に関心があること。

■ 評価基準・方法

毎回の授業時に行う manaba の小テスト(50%)、事前・事後学修(50%)

■ フィードバック方法

小テストや定期試験などの結果は学習支援システムの manaba を通じて行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (グループワーク)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし (manaba は利用)

■ 教科書

新井啓『プロ野球と経済 2018』開成出版。

■ 参考書

特に指定しない。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：統計とは？ 授業内容：統計と経済の関係。統計に法律の知識が必要なのはなぜ？ 事前学修 2.0hr：教科書の 1 から 3 ページをよく読むこと。 事後学修 2.0hr：授業ノートの復習
2 回	授業テーマ：標本と母集団 授業内容：標本とは？ 母集団とは？ 事前学修 2.0hr：教科書の 4 から 6 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 2 回目の授業ノートの復習
3 回	授業テーマ：個人のデータと個人情報保護法。 授業内容：個人の情報はなぜ重要なのか？ 個人情報の保護はなぜ必要なのか？ フェイスブックと個人情報の経済問題。バックアップデータはどんなデータになるのか？ 事前学修 2.0hr：教科書の 7 から 8 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 3 回目の授業ノートの復習
4 回	授業テーマ：データをどうまとめるのか？ 授業内容：データの中心の尺度とばらつきの尺度。ヒストグラム。標準偏差の意味。 事前学修 2.0hr：教科書の 9 から 11 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 4 回目の授業ノートの復習
5 回	授業テーマ：著作権と肖像権 授業内容：著作権とは？ YouTube を利用する際の注意点 プロスポーツ選手の肖像権 事前学修 2.0hr：教科書の 65 から 68 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 5 回目の授業ノートの復習
6 回	授業テーマ：インターネットの利用で損害を被った場合 授業内容：民事訴訟法の基礎 事前学修 2.0hr：教科書 69 ページから 71 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 6 回目の授業ノートの復習
7 回	授業テーマ：インターネットの利用で犯罪に巻き込まれてしまったら 授業内容：刑事訴訟法の基礎 事前学修 2.0hr：教科書 67 ページから 72 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 7 回目の授業ノートの復習
8 回	授業テーマ：個人情報保護法と憲法の基礎。 授業内容：憲法におけるプライバシー権とは？ SNS を利用する上での表現の自由(憲法 21 条)。三権分立はなぜ必要なのか。 事前学修 2.0hr：教科書 99 ページから 100 ページ読むこと 事後学修 2.0hr：第 8 回目の授業ノートの復習
9 回	授業テーマ：企業法の基礎 授業内容：商法と会社法。内部統制制度と企業の情報の管理。 事前学修 2.0hr：教科書 101 ページから 103 ページを読むこと 事後学修 2.0hr：第 9 回目の授業ノートの復習
10 回	授業テーマ：情報法の基礎 授業内容：モノとしての放映権の経済問題。匿名加工データと深層学習。 事前学修 2.0hr：教科書 115 ページから 118 ページを読むこと 事後学修 2.0hr：第 10 回目の授業ノートの復習
11 回	授業テーマ：情報刑法の基礎 授業内容：刑法とは？ アメリカの経済とヨーロッパの経済の違い。 事前学修 2.0hr：教科書 110 ページから 113 ページを読むこと 事後学修 2.0hr：第 11 回目の授業ノートの復習
12 回	授業テーマ：SPI の基礎的問題 授業内容：数学を中心にして、国語・英語・地理歴史。 事前学修 2.0hr：教科書 145 ページから 148 ページを読むこと 事後学修 2.0hr：第 12 回目の授業ノートの復習

13 回	授業テーマ：個人情報保護法と民法の基礎。 授業内容：民法とは？ 契約とは？ 学籍番号は個人情報？ オプトアウトとオプトインの違い 事前学修 2.0hr：教科書 119, 135 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 13 回目の授業ノートの復習
14 回	授業テーマ：個人情報保護法と行政法の基礎。 授業内容：行政法とは？ 行政法と憲法の関係。行政機関が保有する個人情報とは？ 仮名加工データ。社会福祉国家とは。 事前学修 2.0hr：教科書 86 ページから 90 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 14 回目の授業ノートの復習
15 回	授業テーマ：セイバーメトリクス 授業内容：プロ野球と統計学の関係。日本のプロ野球のドラフト制度。収益分配制度。 事前学修 2.0hr：教科書 136, 144 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 15 回目の授業ノートの復習

数理の世界

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前/後

中島 達洋 (なかしま たつひろ)

■ 授業の概要

◆数学オムニバス◆【前学期 火 3 /後学期 水 2】本授業は、数学が苦手な学生を主な対象として、数式や計算に重点を置かず、「数理的なものの見方」を学ぶことを目的とします。指数や確率、暗号、ゲーム、数の並びなど、身近で具体的な題材を用いながら、数量的に考えることや、規則性・構造を捉えることの重要性を紹介します。日常生活や社会の中で数理がどのように用いられているかを知ること、数学が単なる計算技術ではなく、世界を理解し判断するための思考の道具であることを実感できるようにします。オムニバス形式の講義を通じて、文系学生にも数理の面白さと意義が伝わることを目指します。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●)

一般目標：数理的な視点から物事を捉える重要性を理解し、日常生活や社会における数量的情報を適切に解釈・判断できる力を身につける。

個別目標：① 数や確率、指数的变化などの基本的な考え方を説明できる。

② グラフや数値情報の意味を読み取り、その妥当性を判断できる。

③ 簡単なルールから全体の構造を考える数理的思考を実践できる。

■ 履修条件

特に前提となる知識はありませんが、原則として第 1 回から参加することを求めます。履修修正期間中であっても、授業に参加しなかった回は欠席として扱います。数学に苦手意識をもつ学生の受講を想定しています。

■ 評価基準・方法

授業内で実施する課題(思考課題・小テスト・ワークシート等)を 100 %として評価します。各回の課題を通して、数理的な考え方を理解し、自分の言葉で説明しようとする姿勢および到達目標の達成度を総合的に評価します。

■ フィードバック方法

授業内課題に対するフィードバックは、授業内での解説および学修支援システム(manaba)を通じて行います。代表的な考え方や解答例を共有し、数理的な視点の整理を行います。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (数やゲーム、具体的事例を題材とした個人・グループでの思考活動、簡単なディスカッション、授業内課題への取り組みを通じて、学生の主体的な参加を促します。)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (授業資料の閲覧や課題への回答に加え、ローンや複利を扱う回では、表計算ソフト(Excel)を用いて数値の変化を簡単に確認します。また、manaba を用いた小テストや課題提出にも PC を利用します。)

■ 教科書

使用しません。必要な資料は授業内で配布、または manaba に掲載します。

■ 参考書

特にありません。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：導入—数学と数理の違い 授業内容：本講義の目的を説明し、数学と数理の違い、数理的に考えるとはどういうことかを概観する。評価方法や注意事項についてのガイダンスも行う。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
2 回	授業テーマ：指数と対数 (I)—増え方を考える 授業内容：指数的増加の特徴を例に、直線的な変化との違いを理解する。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
3 回	授業テーマ：指数と対数 (II)—時間と逆算の数理 授業内容：対数的な考え方をを用いて、増加に要する時間や元に戻る過程を考える。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
4 回	授業テーマ：ローンと複利の数理 授業内容：ローンを題材に、時間とお金の関係を指数的变化として捉える。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
5 回	授業テーマ：確率と直感 (I) 授業内容：確率に関する直感的判断がどのように誤るかを具体例で考える。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
6 回	授業テーマ：確率と直感 (II)—ベイズの定理 授業内容：情報によって判断を更新する考え方を、身近な事例を通して理解する。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
7 回	授業テーマ：石取りゲームの数理 授業内容：単純なゲームを通して、必勝法と数理的構造の関係を考える。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
8 回	授業テーマ：Conway - Coxeter frieze (I)—数の並びの遊び 授業内容：数を埋める規則的な遊びを体験し、数の並びの特徴を観察する。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
9 回	授業テーマ：Conway - Coxeter frieze (II)—局所ルールと構造 授業内容：局所的な規則から全体の構造が決まる仕組みを考察する。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。

10 回	授業テーマ：暗号と数学 授業内容：RSA 暗号を例に、解けないことが安全性を生む理由を理解する。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
11 回	授業テーマ：無限という概念 授業内容：無限の性質を例に、直感と数理の違いを考える。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
12 回	授業テーマ：数理モデルと予測 授業内容：天気予報を例に、数理モデルの役割と限界を考える。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
13 回	授業テーマ：方程式と解の限界 授業内容：代数方程式の歴史を通して、解ける問題と解けない問題の違いを考える。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
14 回	授業テーマ：数理と社会 授業内容：お金、情報、リスク判断における数理の役割を整理する。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
15 回	授業テーマ：総括—数理的に考えるとは 授業内容：講義全体を振り返り、数理的思考の特徴と意義を整理する。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。

数理の世界

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前/後

中島 達洋 (なかしま たつひろ)

■ 授業の概要

◆ AI の数学 ◆ 【前学期 水 3 / 後学期 木 1】

本講義は、AI・機械学習を支える最小限の数学(平均・分散・相関、回帰の考え方、確率・ロジスティック回帰の直感、ベクトル・行列の入門、微分と勾配降下の直感)を、数式を最小限に、図・比喩・軽い計算ワークで理解することを目的とします。Excel などを用いた小規模データの集計・可視化、 2×2 行列演算、差分近似による“傾き(微分)”の体験などを通して、「AI は何をどのように計算しているか」を自分の言葉で説明できる力を養います。授業はグループワークやペア演習を取り入れ、学びのプロセスを重視していきます。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー: M1 ○/M2 ○/M3 ●)

一般目標: AI の基本的な数理発想を直感と簡単な計算で理解し、身の回りのデータや事例に適用して説明できる力を身につける。

- 個別目標: ① 平均・分散・相関を算出し、散布図で関係性を説明できる。
② 回帰(残差・二乗和)やロジスティックの直感を言語化できる。
③ 2×2 行列×ベクトルの演算を行い、“変換”の意味を説明できる。
④ 差分近似を用いて“傾き”を求め、勾配降下の 1 ステップ更新を計算できる。
⑤ 計算結果を自分の言葉で解釈し、レポートとしてまとめられる。

■ 履修条件

特に前提となる知識はありませんが、原則として第 1 回から参加することを求めます。履修修正期間中であっても、授業に参加しなかった回は欠席として扱います。中学数学の復習から始めますし、数式操作は最小限に留めるので、数学が苦手な学生でも履修可能な内容になっています。

■ 評価基準・方法

平常点(ワーク提出・参加) 40%、小テスト 20%、期末レポート 40%。授業内課題・小テストで基礎計算と理解を確認し、レポートで概念説明と結果の解釈力を評価。出席そのものは評価対象に含めず、課題提出・発表等で学修状況を反映する。

■ フィードバック方法

小テスト・課題は学修支援システム manaba を通じて個別コメントを返却し、授業内で代表例を解説します。レポートはルーブリックに基づき評価観点(正確さ・説明の明瞭さ・解釈)を明示して返却します。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (毎回のペア/小グループ演習、ディスカッション、小規模データ分析(Excel)、簡易プレゼンテーションを実施。第 15 回はミニ発表。)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (学生は各自 PC を持参すること。Microsoft365 と manaba を利用し、データ集計・可視化、演習提出、スライド作成を行います。授業内の小テストやアンケートでも manaba を利用します。)

■ 教科書

特になし(希望者向けに易しい入門書・解説サイトを授業内で随時案内)。

■ 参考書

特になし(希望者向けに易しい入門書・解説サイトを授業内で随時案内)。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外(事前・事後)の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ: ガイダンス / AI は何を“計算”しているのか 授業内容: AI と機械学習の全体像、講義方針、評価。ミニ演習「人間が AI のふりをして分類してみる」。 事前学修 2.0hr: シラバスを読み、AI に関して知っていることを 100 字でメモ。 事後学修 2.0hr: 身近なサービスで AI が使われているような例を 2 つ収集し、200 字で説明。
2 回	授業テーマ: データの基礎: 平均・中央値・分散 授業内容: 小データで平均・中央値・分散を手計算 → Excel で検算・可視化。 事前学修 2.0hr: 配布データを眺め、値の範囲を確認。Excel の基本操作チュートリアル。 事後学修 2.0hr: 自分の小データ(10 件)を作成し、平均・分散を算出して短い解釈を書く。
3 回	授業テーマ: 相関と散布図: 関係の強さを掴む 授業内容: 共分散・相関係数の直感。散布図と相関のサイン(±)。 事前学修 2.0hr: 第 2 回の自作データに第 2 変数を追加。相関の読み取り資料を読む。 事後学修 2.0hr: Excel で散布図と相関を作成し、関係を 150 字で記述。
4 回	授業テーマ: 回帰のアイデア: 残差と二乗和 授業内容: 2 本の候補直線に対して残差と二乗和を比較。最小二乗の直感。 事前学修 2.0hr: 回帰直線の意味の配布資料を読む。例題の散布図に手書きで線を引く。 事後学修 2.0hr: Excel で 2 本の線の残差二乗和を比較し、より良い線を説明。
5 回	授業テーマ: 分類の基本: 境界線とスコア 授業内容: 2 特徴の重み付きスコア $a \times x_1 + b \times x_2$ の計算で正負分類を体験。 事前学修 2.0hr: メール分類の例を読み、特徴を 2 つ考えてくる。 事後学修 2.0hr: 配布データでしきい値を変えたときの誤判定例を記述。
6 回	授業テーマ: ロジスティックの直感: S 字で“確率”を表す 授業内容: 0 ~ 1 の確率解釈。S 字カーブを Excel で描き、閾値と確率の関係を確認。 事前学修 2.0hr: 確率の基礎メモ(0 ~ 1 の意味)を作成(1.0h)。テンプレ Excel に数値入力。 事後学修 2.0hr: 2 つのしきい値の違いを図と 100 字で説明。
7 回	授業テーマ: ベクトルと行列: 2×2 の変換を体験 授業内容: ベクトルは“並んだ数”、行列は“変換の装置”。 $2 \times 2 \times (2 \times 1)$ の手計算、拡大・回転の直感化。 事前学修 2.0hr: 配布の行列入門を読む(1.0h)。例題の計算を 1 問試す。 事後学修 2.0hr: 与えられた 2×2 行列 2 種をデータ点に適用し、変換前後を散布図で比較。
8 回	授業テーマ: ニューラルネット①: ニューロンの計算 授業内容: $z = w \cdot x + b$ と ReLU の手計算。小さなネットの入出力を追う。 事前学修 2.0hr: 記号の意味(w, b, x, z)を 30 字ずつ要約。例題の前半を手計算。 事後学修 2.0hr: 同型の別パラメータで出力を再計算し、違いを説明。
9 回	授業テーマ: ニューラルネット②: 重みが変わると何が起るか 授業内容: 重み更新のイメージ。活性化後の影響を可視化し、出力変化を議論。 事前学修 2.0hr: 第 8 回のネットに小さな変更を加えて出力を予想。確認用計算。 事後学修 2.0hr: 出力変化と“意味”を図と文章で報告。

10 回	授業テーマ：微分の直感：差分で“傾き”を読む 授業内容： $f(x)=x^2$ の差分近似で傾きを求める。傾きの符号と“進む向き”。 事前学修 2.0hr：差分近似の例を読んで $\Delta y/\Delta x$ を 2 点で計算。 事後学修 2.0hr：別関数 x^2+3x の 2 点で傾きを試算。
11 回	授業テーマ：最適化：勾配降下の 1 ステップ 授業内容： $E(x)=x^2+3x$ 、 η を指定して $x \rightarrow x - \eta \cdot (\Delta E/\Delta x)$ を 1 ～ 2 ステップ。Excel で軌跡を可視化。 事前学修 2.0hr：テンプレ Excel のセル式を確認。 $E(x)$ のグラフを概形でスケッチ。 事後学修 2.0hr：初期値・ η を変えて比較グラフを作り、200 字で解釈。
12 回	授業テーマ：類似度の数学：コサイン類似度(2次元で手計算) 授業内容：内積・長さの直感。2次元ベクトルで $\cos \theta$ を算出し、似ている／違うを説明。 事前学修 2.0hr：2組の2次元ベクトルを自作。内積と長さの復習。 事後学修 2.0hr：文書ベクトルの簡易例で“似ている度”を説明。
13 回	授業テーマ：モデルを読み解く：特徴量重要度の基礎 授業内容：簡易決定木の分岐を手で辿り、効いている特徴を解釈。 事前学修 2.0hr：配布の分岐図を追って結果を予想。用語確認。 事後学修 2.0hr：別ケースで“どの特徴が効いたか”を 100 字で説明。
14 回	授業テーマ：AI と社会：指標で考える公平性 授業内容：適合率・再現率・誤判定率などを小データで計算し、社会的影響を議論。 事前学修 2.0hr：指標の定義表をまとめる。例題の予測結果表を読む。 事後学修 2.0hr：指標のトレードオフを 150 字で記述。
15 回	授業テーマ：まとめ・ミニ発表会 授業内容：各自 3 ～ 5 分発表(例：コサイン類似度／勾配降下の比較結果など)、総括。 事前学修 2.0hr：スライド作成(PowerPoint) (2.0h)。原稿練習。 事後学修 2.0hr：学修振り返りシートの提出。返却と講評は学修支援システムで実施。

身近な化学

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前/後

藤井 大輔 (ふじい だいすけ)

■ 授業の概要

私たちの身の回りには、自然界で産出された物質や、人工的につくられた物質が数多く存在し私たちの生活と密接に結びついています。本講義は、身の回りにおける物質の性質に着目し様々な現象が発現する原理を物理的・化学的に捉えるなど、現代を生きるために大切な科学知識を習得し、自らの生活において課題発見・解決を行う力を高めることを目的とします。

日常に着目するなかで様々な科学の法則や構造にも簡単に触れますが高校での化学の履修の有無は問いません。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●)

一般目標：化学の面白さや重要性を知り、化学と現代社会の関係を理解するとともに、日常を科学的に見る目を養うなど科学リテラシーを身につける。

個別目標：①様々な物質の性質を理解しこれまでの技術の進歩とこれからの発展について大観できることのできる。

②身の回りの現象について科学的に説明することができる。

③科学事象を自らの言葉で表現できるようになるなど、実社会の様々な場面で多面的なものの見方ができるようになり課題解決に必要な基礎力を身に付けることができる。

■ 履修条件

特になし

■ 評価基準・方法

manaba を活用したアンケート、小テスト(50%)やレポート(50%)授業への参加度(授業中に使用する教材ペーパーの完成提出 割合は小テストに含む)等を総合評価する。

■ フィードバック方法

アンケート、小テスト、レポート等のフィードバックは、学修支援システム manabu を通して行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (反転授業、グループワーク、講義の度に行う小テストの提出)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (個人所要のスマートフォンや PC (小テストや教材ペーパー等はワードで提出))

■ 教科書

使用しない(毎回パワーポイントファイルを用意します。)

■ 参考書

特になし ただし高校で使用した理科・専門(化学関係)の教科書がある場合は適宜参考にしてください。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：ガイダンス、科学技術の進歩について考えてみよう 授業内容：講義の内容、評価方法について解説する。 科学と人間生活をテーマに科学技術全般について、その始まりから今後の活用について概説する。 事前学修 2.0hr：興味がある身の回りの化学現象について調べる。 事後学修 2.0hr：興味を持った化学現象が発現する原因を予測する。
2 回	授業テーマ：水について考えてみよう 授業内容：水は人体を構成する主な成分です。水の構造や性質を知り、水がもたらす様々な現象の要因について理解する。 キーワード 分子構造、電気陰性度、水素結合、状態変化、浸透圧 超臨界流体、過熱水蒸気、硬水・軟水 事前学修 1.5hr：水について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
3 回	授業テーマ：発酵について考えてみよう 授業内容：微生物の力を借りて製造する発酵食品について理解する。 キーワード 微生物の役割 アルコール発酵 酒の種類、味噌や醤油の製造 事前学修 1.5hr：発酵について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
4 回	授業テーマ：色と光の科学 授業内容：色の見え方や化学反応における発色について理解する。 キーワード 光の3原則、波長、炎色反応、生物発光 事前学修 1.5hr：色について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
5 回	授業テーマ：栄養の化学について考えてみよう 授業内容：私たちの体を作り健康を維持するために必要な5大栄養素が体の中でどのような役割を果たしているか理解する。 キーワード 炭水化物、タンパク質 必須アミノ酸 クエン酸回路 酵素 事前学修 1.5hr：栄養素について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
6 回	授業テーマ：薬と毒について考えてみよう 授業内容：薬の効能と作用の仕方を理解する。また毒の特性を理解し日常生活における安全にむけた態度を養う。 キーワード 薬剤、ペニシリン、抗生物質、ウイルス、自然毒 事前学修 1.5hr：栄養素について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
7 回	授業テーマ：衣類で使われている様々な繊維の性質について考えてみよう 授業内容：繊維には天然繊維と化学繊維がある。それぞれの特性を理解し繊維製品の上手な利用方法や管理方法について理解する。 キーワード 天然繊維 合成繊維 炭素繊維 機能性繊維 事前学修 1.5hr：衣類に使われている繊維について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
8 回	授業テーマ：衣類の汚れはどのように落とすのか考えてみよう 授業内容：洗剤の分子構造や汚れが落ちるメカニズムを知り効率的に汚れを取り除く方法を理解する。 キーワード 石鹼 界面活性剤 疎水性 親水性 ミセル 漂白剤 コロナ 消せるボールペン 事前学修 1.5hr：汚れについて知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。

9 回	<p>授業テーマ：日用品に使われている化学のしくみについて考えてみよう 授業内容：普段何気なく使用している電化製品に着目してどのような原理が応用されているのか理解する。 キーワード カイロ 冷蔵庫 ヒートポンプ 調湿 液晶 電子レンジ オープン 事前学修 1.5hr：日用品に使われている化学の仕組みについて知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。</p>
10 回	<p>授業テーマ：金属の特徴を知り、産業における利用状況を考えてみよう 授業内容：鉄や銅の性質を知り使用に係る時代変遷を理解する。 キーワード 鉄 銅 さび 合金 めっき 事前学修 1.5hr：金属について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。</p>
11 回	<p>授業テーマ：石油からつくられる物質について考えてみよう 授業内容：プラスチック製品は人間の生活を豊かにしてきたが、昨今は環境汚染問題にも言及されている。プラスチックの製法や種類、リサイクルについて理解する。 キーワード 石油 分留 熱可塑性樹脂 熱硬化性樹脂 マイクロプラスチック 接着剤 事前学修 1.5hr：石油から作られる物質について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。</p>
12 回	<p>授業テーマ：生活に必要なエネルギー源の変遷について考えてみよう 授業内容：人間が生きていくために必要なエネルギーの活用の変遷とその性質について理解し、今後の望ましいエネルギー利用について考える。 キーワード 石炭 石油 天然ガス 原子力発電 太陽光発電 電気 電池 事前学修 1.5hr：エネルギー源の変遷について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。</p>
13 回	<p>授業テーマ：地球環境について考えてみよう 授業内容：大気成分の変化と人間生活に着目し地球環境について考える。 キーワード 大気成分 二酸化炭素 フロン オゾン層 酸性雨 事前学修 1.5hr：地球環境について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。</p>
14 回	<p>授業テーマ：興味を持った身近な科学現象やそれが発現する原理について調べレポートする。① 授業内容：4月から7月において話題になったことや、今後、発展が予想される技術等について自ら調べた内容をレポートする。 事前学修 3.0hr：題材を決める。 事後学修 1.0hr：他の人の発表を聞き自分の発表にいかす。</p>
15 回	<p>授業テーマ：興味を持った身近な科学現象やそれが発現する原理について調べレポートする。② 授業内容：4月から7月において話題になったことや、今後、発展が予想される技術等について自ら調べた内容をレポートする。 事前学修 3.0hr：題材を決める。 事後学修 1.0hr：授業全体の振り返りシートを作成する。</p>

身近な化学

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：後

笠嶋 義夫 (かさしま よしお)

■ 授業の概要

本講義は、身近にある化学物質を通して、化学の成り立ち、化学の基礎知識、化学物質の応用例を学ぶとともに、「科学」の発展がいかなるものであったかを、「化学」を通して理解することを目的とする。文系の学生のみなさんにも、わかりやすいように、そこは意識して解説するつもりです。この講義では、化学の基本的な原理や、技術が生まれた背景、歴史的流れなどを中心に扱いますので、「元素記号を覚える」「化学反応式をつくる」というようなことはやりません。なお、講義の進行や社会情勢により、講義の順番を入れ替えることがあります。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●)

一般目標：「化学」を通して、社会の発展や現代の生活において、「科学」がどのような役割を担ってきたかを理解する。

個別目標：(1)「化学」が身近な生活にとって必要不可欠なものであることを、実例を挙げて説明することができる。

(2)「化学」の発展が、人間生活と密接につながってきたことを、実例により説明することができる。

(3)「化学」を通して、「科学」と「人間生活」とのかかわりを説明することが出来る。

■ 履修条件

特になし

■ 評価基準・方法

2 回の大きなレポート(20 点満点レポート 1 回、10 点満点レポート 1 回)と、毎回課す講義の振り返りシート(5 点× 14 回= 70 点満点)で、合計 100 点満点として評価を行います。なお、すべてのレポートは、評価をつけます。提出したからといって、「満点」とは限りませんので、くれぐれも注意すること。この講義は、80%以上の出席がないと、単位は出ませんので注意のこと(公欠は除く)。また、レポートの提出は、スクリーンショットや画像ファイルでの提出は認めませんので、注意のこと。

■ フィードバック方法

フィードバックは、manaba の評価欄または講義で行います。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (講義の振り返りシートの提出とそのフィードバック)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (講義の振り返りシートは、ワードで提出してもらいます。)

■ 教科書

初回以外は、jpeg または pdf、パワーポイントファイルを用意します。manaba にアップしますので、manaba が見れるものを用意してください(講義でプリントは配布しませんので、注意のこと)。

■ 参考書

特になし

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：ガイダンス 授業内容：この講義の内容、進め方、評価方法について解説する。あわせて、「化学」の持つイメージを確認する。 事前学修 3.0hr：「化学」が身近に使われている事例を自分なりに調べてみてください。 事後学修 1.0hr：講義を聴いて、事前学修で調べた内容が正しかったか、検証してみてください。
2 回	授業テーマ：プルシアンブルー 授業内容：プルシアンブルーは、「世界で最初に開発された顔料」であるが、これがどのような変遷を経て現代にあるか、また現代での利用法などについて解説する。 事前学修 1.5hr：「プルシアンブルー」とは何かを自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
3 回	授業テーマ：色 授業内容：色の見え方には発光と補色の 2 通りがある。まず、この違いと、仕組みを学習し、ヒト以外の動物の色の認識、植物の色の認識を学習し、あわせて前回の講義とのつながりを考える。 事前学修 1.5hr：「色」の見え方を自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
4 回	授業テーマ：花火 授業内容：化学の技術の「粋」といわれる花火。その原理と構造、歴史的流れについて解説する。 事前学修 1.5hr：打ち上げ花火の構造を自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
5 回	授業テーマ：古伊万里 授業内容：日本における窯業の大きな変遷期の一つが、江戸時代の古伊万里の誕生である。窯業のそれまでの流れをみるとともに、古伊万里の製法と化学の関係について探る。 事前学修 1.5hr：「磁器」はどのようにつくられるかを自分なりに調べてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
6 回	授業テーマ：ファインセラミックス 授業内容：現代の最先端で使われているセラミックとはどのようなものか、その製法と、前回の講義の古伊万里の製法との関係について、考察する。 事前学修 1.5hr：「ファインセラミックス」とはどのようなものか、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
7 回	授業テーマ：イベルメクチン 授業内容：抗寄生虫薬である、イベルメクチンの開発の流れと、現代社会に与えたインパクトについて解説する。 事前学修 1.5hr：「イベルメクチン」とはどのような薬か、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
8 回	授業テーマ：接着剤 授業内容：現代社会では、もはや必須のものとなった接着剤。「ものがくっつく原理」と、接着剤の用途、接着剤がもたらした技術革新について解説する。 事前学修 1.5hr：「でんぷん」とはどのようなものか、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
9 回	授業テーマ：カロゼース 授業内容：ナイロンと、合成ゴムを開発した、ウォーレス・カロゼースの偉業について考えてみる。 事前学修 1.5hr：「ナイロン」はどのように発明されたかを自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。

10 回	<p>授業テーマ：ダイヤモンド 授業内容：天然から人工まで、宝飾用から産業用まで、発見の過程と意外な用途まで探る。 事前学修 1.5hr：「ダイヤモンド」はなぜきらきら光るのかを調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。</p>
11 回	<p>授業テーマ：ルビーとサファイア 授業内容：ルビーとサファイアは、どこが同じで、どこが違うのか、を探るとともに、工業用途についても考えてみる。 事前学修 1.5hr：サファイアとルビーの違いを自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。</p>
12 回	<p>授業テーマ：炭素繊維 授業内容：炭素繊維の開発過程について学ぶとともに、炭素繊維が現代社会にどのような影響を及ぼしたかを考えてみる。 事前学修 1.5hr：炭素繊維はどこに使われているかを自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。</p>
13 回	<p>授業テーマ：でんぷん(1)でんぷんの種類 授業内容：でんぷんの種類と、その用途(食品用から、他の用途まで)について解説する。 事前学修 1.5hr：でんぷんの種類について、自分なりに調べてみる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成</p>
14 回	<p>授業テーマ：でんぷん(2)「コメとでんぷん」 授業内容：「コメ」を炊く過程でどのようにでんぷんが変化するか、でんぷんの種類の違いでコメの食味にどのような変化を与えるか、など、コメとでんぷんの関係について、考察する。 事前学修 1.5hr：コメの中に含まれているでんぷんについて調べておくこと。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。</p>
15 回	<p>授業テーマ：リチウムイオン電池 授業内容：現代において、最も必要とされている 2 次電池の代表格。その原理と応用、そして問題点について考えてみる。 事前学修 1.5hr：リチウムイオン電池がどのようなところに使われているかを調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。</p>

社会生活ゼミナール

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 2 年次 | 2 単位 | 開講期：前/後

新井 啓 (あらい けい)

■ 授業の概要

有名な文学作品を読むみ、その感想を書く。なお授業の理解力向上のため、SPI に対応するための基礎的問題を解くことを毎回行います。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●)

一般目標：社会人として最低限読んでおくべき、名作のあらすじを理解できること

個別目標：最も関心を持っている文学作品の良さをみんなの前で発表できること

■ 履修条件

文学に関心があること

■ 評価基準・方法

毎回の授業時に行う manaba の小テスト(50%)、事前・事後学修(30%)、授業に取り組む姿勢(20%)。

■ フィードバック方法

小テストや定期試験などの結果は学習支援システムの manaba を通じて行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (グループワーク)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし (manaba は利用)

■ 教科書

特になし

■ 参考書

特になし

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：夏目漱石 授業内容：「吾輩は猫である」「坊ちゃん」「こころ」 事前学修 2.0hr：第 1 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 1 回の事後学習の小テスト
2 回	授業テーマ：芥川龍之介 授業内容：「羅生門」「杜子春」 事前学修 2.0hr：第 2 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 2 回の事後学習の小テスト
3 回	授業テーマ：森鷗外 授業内容：「舞姫」 事前学修 2.0hr：第 3 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 3 回の事後学習の小テスト
4 回	授業テーマ：太宰治 授業内容：「走れメロス」「人間失格」 事前学修 2.0hr：第 4 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 4 回の事後学習の小テスト
5 回	授業テーマ：福沢諭吉 授業内容：「学問のすすめ」 事前学修 2.0hr：第 5 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 5 回の事後学習の小テスト
6 回	授業テーマ：吉川英治 授業内容：「宮本武蔵」 事前学修 2.0hr：第 6 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 6 回の事後学習の小テスト
7 回	授業テーマ：柳田國男 授業内容：「遠野物語」 事前学修 2.0hr：第 7 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 7 回の事後学習の小テスト
8 回	授業テーマ：谷崎潤一郎 授業内容：「細雪」 事前学修 2.0hr：第 8 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 8 回の事後学習の小テスト
9 回	授業テーマ：SPI の一般教養問題 授業内容：数学、国語(読めそうで読めない漢字が中心)、英語、地理・歴史。 事前学修 2.0hr：第 9 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 9 回の事後学習の小テスト
10 回	授業テーマ：中島敦 授業内容：「山月記」 事前学修 2.0hr：第 10 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 10 回の事後学習の小テスト
11 回	授業テーマ：梶井基次郎 授業内容：「檸檬」 事前学修 2.0hr：第 11 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 11 回の事後学習の小テスト
12 回	授業テーマ：小林多喜二 授業内容：「蟹工船」 事前学修 2.0hr：第 12 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 12 回の事後学習の小テスト

13 回	授業テーマ：中勘助 授業内容：「銀の匙」 事前学修 2.0hr：第 13 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 13 回の事後学習の小テスト
14 回	授業テーマ：ドストエフスキー 授業内容：「カラマーゾフの兄弟」 事前学修 2.0hr：第 14 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 14 回の事後学習の小テスト
15 回	授業テーマ：宮沢賢治 授業内容：「銀河鉄道の夜」 事前学修 2.0hr：第 15 回目の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 15 回目の事後学習の小テスト

社会生活ゼミナール

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 2 年次 | 2 単位 | 開講期：前/後

中島 達洋 (なかしま たつひろ)

■ 授業の概要

SPI3 は、多くの企業で実施されている採用適性検査です。本授業ではそのうち非言語分野を扱います。数学が得意でない学生を主な対象とし、問題を「解法の型」に整理して学ぶことで、基本問題を安定して解ける力を養います。割合、速さ、場合の数、推論などを分野別に扱うのではなく、思考の型ごとに反復演習を行います。授業内では演習と確認小テストを実施し、学修支援システム manaba も活用して理解の定着を図ります。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●)

一般目標：SPI3 非言語問題の基本問題を安定して正答できる力を身につけるとともに、問題を解法の「型」に分類し、適切なアプローチを選択できる能力を修得する。

- 個別目標：① 割合・損益・濃度・平均などの問題を分数構造に基づいて処理できる。
② 出会い・追いつき・区間分割を含む速さの問題を図示し、式を立てて解くことができる。
③ 条件を表に整理し、内訳問題を処理できる。
④ 基本的な順列・組合せ・確率の問題を解くことができる。
⑤ 与えられた条件を整理し、論理的に推論できる。

■ 履修条件

特にありません。ただし、高校までの基礎的な計算力(分数計算、一次方程式程度)は前提とします。第 1 回からの出席を前提とします(履修修正による 1、2 回目の不在は欠席となります)。

■ 評価基準・方法

型別到達チェック 40 %、中間・期末の到達度テスト 40 %、授業内小テスト 20 %の割合で総合的に評価します。型別到達チェックは各解法の型ごとに実施し、再挑戦の機会を設けます。授業内小テストは manaba の自動採点機能を用いて実施する予定です。

■ フィードバック方法

型別到達チェックおよび到達度テストの解説は授業内で行います。解答例や補足資料は manaba を通して提示します。授業内小テストは manaba 上で自動採点結果を確認できるようにし、理解状況をその都度把握できるようにします。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (授業内での個別演習、ペアでの解法確認、型分類活動、manaba を用いた小テストなどを実施します。問題解決型の学修を取り入れ、学生が主体的に考える時間を確保します。)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (manaba を用いた小テスト、資料の閲覧、課題の提出などに PC を利用します。BYOD 環境を活用し、各自の端末で確認問題に取り組みます。)

■ 教科書

教科書は使用しません。配布プリントおよび manaba 掲載資料を使用します。

■ 参考書

市販の SPI3 対策書を、必要に応じて授業内で紹介します。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：ガイダンス・SPI3 と「解法の型」 授業内容：SPI3 の概要と評価方法を説明し、問題を「型」に分類する考え方を導入する。簡単な例題で型分類演習を行う。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、本授業の目的を確認する。 事後学修 2.0hr：配布資料を復習し、型の一覧を整理する。
2 回	授業テーマ：比例・割合型① 基礎 授業内容：損益算、濃度、平均を分数構造に統一して扱う。授業内小テストを実施する。 事前学修 2.0hr：前回内容を復習する。 事後学修 2.0hr：演習問題の復習。
3 回	授業テーマ：比例・割合型② 損益・濃度・平均 授業内容：損益算、濃度、平均を分数構造に統一して扱う。授業内小テストを実施する。 事前学修 2.0hr：前回内容を復習する。 事後学修 2.0hr：演習問題の復習。
4 回	授業テーマ：比例・割合型③ 総合演習 授業内容：基本問題の反復演習を行い、型①到達チェックを実施する。 事前学修 2.0hr：これまでの問題を復習する。 事後学修 2.0hr：間違えた問題を解き直す。
5 回	授業テーマ：速さ型① 基本と単位変換 授業内容：距離＝速さ×時間の関係を確認し、図示を徹底する。授業内小テストを実施する。 事前学修 2.0hr：単位換算を復習する。 事後学修 2.0hr：演習問題の復習。
6 回	授業テーマ：速さ型② 出会い・追いつき 授業内容：相対速度(和・差)の考え方を学ぶ。図を必ず描く練習を行う。授業内小テストを実施する。 事前学修 2.0hr：前回内容の復習。 事後学修 2.0hr：問題の解き直し。
7 回	授業テーマ：速さ型③ 区間分割 授業内容：途中で速度が変わる問題や往復問題を扱う。型②到達チェックを実施する。 事前学修 2.0hr：速さの基本公式の確認。 事後学修 2.0hr：解き直し。
8 回	授業テーマ：到達度確認(前半内容) 授業内容：比例・速さ型の総合問題に取り組み、理解度を確認する。 事前学修 2.0hr：第 2～7 回の復習。 事後学修 2.0hr：事後学修：間違えた問題の再確認。
9 回	授業テーマ：表作成型① 基本 授業内容：集合や清算問題を表で整理する方法を学ぶ。授業内小テストを実施する。 事前学修 2.0hr：前回までの復習。 事後学修 2.0hr：問題の解き直し。

10 回	授業テーマ：表作成型② 内訳整理 授業内容：条件整理と内訳問題の演習を行い、型③到達チェックを実施する。 事前学修 2.0hr：前回内容を復習。 事後学修 2.0hr：間違えた問題の整理。
11 回	授業テーマ：場合の数① 順列・組合せ 授業内容：書き出しと基本公式を扱う。授業内小テストを実施する。 事前学修 2.0hr：基本的な数え上げを確認。 事後学修 2.0hr：演習問題の復習。
12 回	授業テーマ：場合の数② 確率 授業内容：基本確率を扱い、型④到達チェックを実施する。 事前学修 2.0hr：前回内容を復習。 事後学修 2.0hr：問題の解き直し。
13 回	授業テーマ：推論型① 命題と並び順 授業内容：条件整理と真偽判定の基本を扱う。授業内小テストを実施する。 事前学修 2.0hr：条件整理の練習。 事後学修 2.0hr：演習問題の復習。
14 回	授業テーマ：推論型② 複数条件と構造的把握 授業内容：推論の総合演習を行い、型⑤到達チェックを実施する。 事前学修 2.0hr：推論問題の復習。 事後学修 2.0hr：間違えた問題の整理。
15 回	授業テーマ：総合到達度確認 授業内容：全範囲の基本問題を解き、学修の成果を確認する。 事前学修 2.0hr：全範囲の復習。 事後学修 2.0hr：学修内容振り返り。

キャリアプランニング I

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前/後

阿方 由紀枝 (あがた ゆきえ)・稲田 環菜 (いなだ かな)・大黒 章子 (おおくろ あきこ)・高野 紀子 (たかの のりこ)・濱崎 あゆみ (はまさき あゆみ)

■ 授業の概要

社会で活躍する人材となるため、ジェネリックスキルの伸長を目指す授業である。一般企業での就業経験がありキャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験とカウンセリングスキルを活かし主体的な学修に導く。この授業では、キャリア観の醸成に焦点をあてて①自分を知る②社会を知る③自分と社会の接点を考えるという過程を、アクティビティによる体験と気づきで学ぶ。また、基礎学力向上と就職活動における筆記試験に備えるため、MEIKAI SPI を活用する。

【授業方法】講義

【実務家教員と当該授業科目との関連性】

一般企業での就業経験がありキャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験とカウンセリングスキルを活かし、就業観の醸成やジェネリックスキル(対人基礎力、対自己基礎力、対課題基礎力)の伸長を目的として、グループワーク及びディスカッションによる主体的な学習を実践している。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○)

一般目標：① **Well-being を実現**するために、「なりたいじぶん」について言語化する。

② **ジェネリックスキル (対人・対自己・対課題基礎力)** の中身や重要性を理解しその力を伸ばす。

個別目標：【社会人インタビュー】①目的を理解し自分の将来像を意識してインタビューに取り組むことができる②他者のレポートと比較し自分のレポートの改善点を言語化することができる③将来を見据え大学生活で取り組む活動を探り実践できる【自己理解】①自分の強みを文章で伝えることができる②ジェネリックスキルを理解し自己評価できる。

■ 履修条件

必修科目である。キャリア形成科目は、授業の目的上「社会」を基準とした授業ルールを採用している。

■ 評価基準・方法

重要課題:30%, 学修内容振り返り:25%, グラム研修への参加やこれまでの経験に基づく課題への取り組みと振り返り:25%, 自己PR:10%,MEIKAI SPI 模擬試験 (マークシート):10% ※原則として5分の4以上の出席を評価の前提条件とする。※成績評価の詳細は、初回授業で説明予定。

■ フィードバック方法

課題のフィードバックは授業で実施する。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (グループワークおよびディスカッション・毎回実施)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (インターネットを活用した情報収集や PowerPoint, Word ソフトによる課題の作成・指定授業回)

■ 教科書

オリジナル教材を使用。自己 PR の添削にかかる費用として¥3,000(自己負担)を回収する。提出方法や期限については、授業での案内を確認すること。

■ 参考書

授業内で随時紹介する。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：オリエンテーション 授業内容：この授業の目的・ルール・内容・到達目標、MEIKAI SPI の目的と使い方について解説し、授業評価と受講ルールについて説明する。 事前学修 2.0hr：シラバス (特に受講ルールについて) を読んで理解し授業に取り組むイメージをする 事後学修 2.0hr：受講ルールや評価方法を読み直し間違いのないように理解する
2 回	授業テーマ：グラム研修等の振り返り (じぶん編) 授業内容：グラム研修やこれまでの経験で気づいたこと等を文章や図で可視化する。 事前学修 2.0hr：グラム研修やこれまでの経験について振り返りメモしておく 事後学修 3.0hr：授業で取り組んだ内容をさらに改善させる
3 回	授業テーマ：グラム研修等の振り返り (社会編) 授業内容：グラム研修に参加して実感した社会あるいはこれまでの経験で実感した社会について言語化する。 事前学修 2.0hr：グラム研修やこれまでの経験で社会に触れて気づいたことをメモしておく 事後学修 3.0hr：授業で取り組んだ内容をさらに改善させる
4 回	授業テーマ：グラム研修等の振り返り共有 授業内容：グラム研修あるいはこれまでの経験の振り返りを共有し他者の気づきからも学ぶ。 事前学修 2.0hr：グラム研修あるいはこれまでの経験を共有する準備をしておく 事後学修 2.0hr：ここまでの学修を踏まえ、学生生活における目標を設定する
5 回	授業テーマ：なりたいじぶんと建学の精神 授業内容：建学の精神について確認し、自分の将来や学びの方向性などを考える。 事前学修 2.0hr：明海大学の「建学の精神」を再確認し、現時点での自分と照らし合わせる 事後学修 2.0hr：なりたいじぶんを言語化しそれに向かう活動について調べる
6 回	授業テーマ：共生・協働 授業内容：「共生・協働」をテーマにパネルディスカッションを行い、多様な視点から共に生き・働くための考え方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：「共生・協働」について調べた上で、自分の考えを言語化しておく 事後学修 2.0hr：授業での学修を踏まえ「共生・協働」について情報収集し自分の考えを整理する
7 回	授業テーマ：「働くこと」について考える 授業内容：プロのライターが取材し作成した社会人のインタビュー記事を読み、仕事との向き合い方について考察する。 事前学修 2.0hr：就職ジャーナルやスタディサプリの記事を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業のワークを参考に就職ジャーナルなどの記事を読む
8 回	授業テーマ：今後のキャリアを考える 授業内容：キャリア体感ゲームを通じて大学生活が社会人生活に生きることを知る。 事前学修 2.0hr：PROG の結果を見直しジェネリックスキルについて復習しておく 事後学修 2.0hr：授業の学修に基づき、自分の学生生活について計画立案する
9 回	授業テーマ：ディスカッションの流れとポイント 授業内容：ディスカッションの流れとポイントを学び、グループでディスカッションを体験する。 事前学修 2.0hr：参考にできるグループディスカッションの動画を探す 事後学修 2.0hr：グループディスカッションのテーマについて情報収集する

10 回	授業テーマ：ディスカッション実践 授業内容：ディスカッションの流れとポイントを意識し、合意形成できるようディスカッションに取り組む。 事前学修 2.0hr：グループディスカッションのテーマについて自分の意見を考えておく 事後学修 2.0hr：グループディスカッションの動画を視聴し自分の課題を整理する
11 回	授業テーマ：自己理解 (価値観探索編) 授業内容：自分が大切にしたい価値観やその理由について深く考える。 事前学修 2.0hr：自分が大切にしたい価値観を列挙しておく 事後学修 2.0hr：自分が大切にしたい価値観とその理由を文章化する
12 回	授業テーマ：自己理解 (強み探索編) 授業内容：強み探索ワークを通じて、自分の強みを探索する。また、強みに関係する過去の出来事を言語化する。 事前学修 2.0hr：自分の強みを考え、これまでの出来事を思い出し書き出しておく 事後学修 2.0hr：自分の強みと裏付けるエピソードを文章にする
13 回	授業テーマ：PREP 法で文章作成 授業内容：自分の強みについて PREP 法を用いて伝える文章を作成する。 事前学修 2.0hr：PREP 法について調べた上で理解しておく 事後学修 2.0hr：授業で作成した文章を改善し完成させる
14 回	授業テーマ：授業の振り返りと公務員クラスガイダンス 授業内容：ここまでの学修を振り返り、学んだ内容と自分の気づきや考えについて言語化する。また、公務員クラスについての説明を行う。 事前学修 2.0hr：ここまでの授業内容や記録を見直しておく 事後学修 2.0hr：なりたいじぶんと行動計画について振り返りをする
15 回	授業テーマ：社会人インタビューの共有となりたいじぶん 授業内容：自分の「社会人インタビュー」を伝え、他者の社会人インタビューを聞き、働くことについて考察する。 事前学修 2.5hr：第 1 回～第 14 回授業の資料を見直す 事後学修 2.5hr：社会人インタビューの気づきを踏まえあらためて「なりたいじぶん」への道筋を検討する

キャリアプランニングⅡ

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 2 年次 | 2 単位 | 開講期：前/後

阿方 由紀枝 (あがた ゆきえ)・稲田 環菜 (いなだ かな)・大黒 章子 (おおくろ あきこ)・高野 紀子 (たかの のりこ)・濱崎 あゆみ (はまさき あゆみ)

■ 授業の概要

社会で活躍する人材となるため、ジェネリックスキルの伸長を目指す授業である。一般企業での就業経験がありキャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験とカウンセリングスキルを活かし主体的な学修に導く。この授業では、課題発見と解決に取り組み①自分を知る②社会を知る③自分と社会の接点を考えるという過程を、アクティビティによる体験と気づきで学ぶ。また、基礎学力向上と就職活動における筆記試験に備えるため、MEIKAI SPI を活用する。

【授業方法】講義

【実務家教員と当該授業科目との関連性】

一般企業での就業経験がありキャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験とカウンセリングスキルを活かし、企業や仕事を研究する観点を理解し、ジェネリックスキル(対人基礎力、対自己基礎力、対課題基礎力)の伸長を目的として、グループワーク及びディスカッションによる主体的な学習を実践している。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ○)

一般目標：①身近な課題発見から社会と自分を理解し、進路選択において主体的に活用できるようになる。

②ジェネリックスキル(対人・対自己・対課題基礎力)を伸ばすための具体的な行動計画を立て実行することができる。

個別目標：【社会理解】①必要な情報を理解しその情報源を探索することができる②学修するフレームを活用することができる③自分の興味・関心と照らし合わせて考えることができる【自己理解】自分の強みと裏付ける出来事を文章で伝えることができる【目標設定】1 年次の「なりたい自分とアクションプラン」を振り返り改善した上で、実行できる行動計画を立案することができる。

■ 履修条件

必修科目である。キャリア形成科目は、授業の目的上「社会」を基準とした授業ルールを採用している。

■ 評価基準・方法

重要課題:40%、学修内容振り返り:40%、自己PR:10%、MEIKAI SPI 模擬試験(Web テスティング):10%とする。※原則として5分の4以上の出席を評価の前提条件とする。※成績評価の詳細は、初回授業で説明予定。

■ フィードバック方法

課題のフィードバックは授業で実施する。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (グループワークおよびディスカッション・毎回実施)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (インターネットを活用した情報収集や課題の作成・指定授業回)

■ 教科書

オリジナル教材を使用。自己PRの添削にかかる費用として¥3,000(自己負担)を回収する。提出方法や期限については、授業での案内を確認すること。

■ 参考書

授業内で随時紹介する。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外(事前・事後)の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：オリエンテーション 授業内容：この授業の目的・ルール・内容・到達目標について解説し、授業評価と受講ルールについて説明する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み授業の概要や評価について理解しておく 事後学修 2.0hr：受講ルールや評価方法を読み直し間違いのないように理解する
2 回	授業テーマ：キャリアの理論 授業内容：進路の選択肢をイメージし、キャリア形成について考える。 事前学修 2.0hr：キャリアプランニング I で考えた自分のキャリアについての資料を見直しておく 事後学修 2.0hr：授業で得たアドバイスやヒントを参考に自分の将来について考える
3 回	授業テーマ：これまでの自分を振り返る 授業内容：モチベーショングラフを作成し、これまでの自分を振り返る。 事前学修 2.0hr：モチベーショングラフについて検索し情報収集しておく 事後学修 2.0hr：モチベーショングラフで気づいた自分の価値観を整理する
4 回	授業テーマ：なりたいじぶんとアクションプランの作成 授業内容：キャリアプランニング I で考えた「なりたいじぶんとアクションプラン」を基に、あらためて検討し作成してみる。 事前学修 2.0hr：1 年次に受験した PROG の結果報告書と強化書を読み返しておく 事後学修 2.0hr：アクションプランを実行できるようにスケジュールリングする
5 回	授業テーマ：社会人に学ぶ 授業内容：社会人の経験や知識を参考にし、今後の大学生活で取り組む活動を考える。 事前学修 2.0hr：大学在学中に取り組む活動をリストアップしておく 事後学修 2.0hr：大学在学中に取り組む活動を検討しスケジュールリングする
6 回	授業テーマ：ディスカッションの復習 授業内容：キャリアプランニング I で学修したディスカッションを復習し、グループディスカッションに取り組む。 事前学修 2.0hr：キャリアプランニング I のディスカッション関連の授業を復習しておく 事後学修 2.0hr：グループディスカッションの手本となる動画を探して視聴する
7 回	授業テーマ：ディスカッション実践 授業内容：前回授業で実施したグループディスカッションを振り返り、改善を目指し実践する。 事前学修 2.0hr：グループディスカッションにおける自分の課題を整理しておく 事後学修 2.0hr：授業で実践したグループディスカッションを振り返る
8 回	授業テーマ：課題発見(社会理解編) 授業内容：課題発見の方法を理解し、課題と社会における事業等のつながりを知る。 事前学修 2.0hr：自分の身の回りで課題に感じることを列挙しメモしておく 事後学修 2.0hr：授業で学修したことを復習する

9 回	授業テーマ：課題発見 (自己理解編) 授業内容：「課題発見を整理していくと自分の価値観が影響している」ことを理解する。 事前学修 2.0hr：課題発見で挙げたものに対する自分の興味・関心を確認しメモしておく 事後学修 2.0hr：授業で学修した内容を踏まえ、具体的に解決したい課題を列挙しメモしておく
10 回	授業テーマ：課題解決 (社会編) 授業内容：解決したい課題を1つ挙げ、実際にどのように解決されているかを調べる。 事前学修 2.0hr：第8回、第9回授業の内容を復習し取り上げる課題を吟味する 事後学修 3.0hr：授業で学修した内容をさらに改善し完成させる
11 回	授業テーマ：課題解決 (自分編) 授業内容：解決したい課題について、自分の価値観や興味・関心がどのようにつながっているか考える。 事前学修 2.0hr：第8回～第10回授業の内容を復習し自分とのつながりを考えておく 事後学修 2.0hr：授業で学修した内容をさらに改善し完成させる
12 回	授業テーマ：自己理解 授業内容：キャリアプランニングⅠで探索したストレングス、キャリアプランニングⅡで作成したモチベーショングラフを踏まえて、自分について発見したことや再確認したことを言葉にして伝える。 事前学修 2.0hr：ストレングスとモチベーショングラフを見直しておく 事後学修 2.0hr：自己理解した内容を文章にしてまとめておく
13 回	授業テーマ：自己PR作成 授業内容：前回授業の学修を活用し、自分らしさを伝える自己PRを作成する。 事前学修 2.0hr：キャリアプランニングⅠで返却された添削データを確認しておく 事後学修 2.0hr：自己PRを完成させ提出する
14 回	授業テーマ：Well-being を考える 授業内容：就職活動だけでなく「キャリア」について理解する。 事前学修 2.0hr：5つのWell-beingについて調べておく 事後学修 2.0hr：Well-beingにつながる「なりたいじぶん」をあらためて考える
15 回	授業テーマ：授業の振り返り 授業内容：授業で学んだことを振り返り、今後の活用を想像し、夏季休暇の過ごし方を考える。 事前学修 2.0hr：第1回～第14回授業の資料を見直しておく 事後学修 2.0hr：今回の振り返りを基に夏季休暇に取り組むことをより具体的にしておく

キャリアプランニングⅢ

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 2 年次 | 2 単位 | 開講期：前/後

阿方 由紀枝 (あかた ゆきえ)・稲田 環菜 (いなだ かなな)・大黒 章子 (おおくろ あきこ)・高野 紀子 (たかの のりこ)・濱崎 あゆみ (はまさき あゆみ)

■ 授業の概要

社会で活躍する人材となるため、ジェネリックスキルの伸長を目指す授業である。一般企業での就業経験がありキャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験とカウンセリングスキルを活かし主体的な学修に導く。この授業では、自分史の作成に取り組み①自分を知る②社会を知る③自分と社会の接点を考えるという過程を、体験と気づきで学ぶ。また、基礎学力向上と就職活動における筆記試験に備えるため、MEIKAI SPI を使用する。

【授業方法】講義

【実務家教員と当該授業科目との関連性】

一般企業での就業経験がありキャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験とカウンセリングスキルを活かし、相手視点で課題解決に取り組み、ジェネリックスキル(対人基礎力、対自己基礎力、対課題基礎力)の伸長を目的として、グループワーク及びディスカッションによる主体的な学習を実践している。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○)

一般目標：①自分史の作成を通じて、これまでの経験・価値観・学びを整理し、現在の自分の関心や強みを再確認することができる。

②ジェネリックスキル(対人・対自己・対課題基礎力)を伸ばすための具体的な行動計画を立て実行することができる。

個別目標：【自分史作成】①自身のこれまでの経験・価値観・行動を整理し言語化できる②過去の経験から現在の関心・強み・学びの傾向を分析できる③自己理解に基づいてキャリア形成の方向性を検討できる④自分史を他者に共有し、フィードバックを踏まえて内容を改善できる【自己理解】完成度の高い(採用選考通過を見据えた)自己PRを作成できる【目標設定】キャリアプランニングⅡの目標と行動計画を振り返り改善した上で、実行できる行動計画を立案することができる

■ 履修条件

必修科目である。キャリア形成科目は、授業の目的上「社会」を基準とした授業ルールを採用している。

■ 評価基準・方法

重要課題:40%、学修内容振り返り:40%、自己PR:10%、MEIKAI SPI 模擬試験(テストセンター):10%とする。※原則として5分の4以上の出席を評価の前提条件とする。※成績評価の詳細は、初回授業で説明予定。

■ フィードバック方法

課題のフィードバックは授業で実施する。

■ アクティブ・ラーニングの実施(実施内容)

あり(グループワークおよびディスカッション・毎回実施)

■ 授業での PC の利用(利用内容)

あり(インターネットを活用した情報収集や PowerPoint, Word ソフトによる課題の作成・指定授業回)

■ 教科書

オリジナル教材を使用。自己PRの添削にかかる費用として¥3,000(自己負担)を回収する。提出方法や期限については、授業での案内を確認すること。

■ 参考書

授業内で随時紹介する。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外(事前・事後)の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：オリエンテーション(授業の目的・受講ルール・評価方法の理解、社会で求められる力の理解) 授業内容：この授業の目的・ルール・内容・到達目標について解説し、授業評価と受講ルールについて説明する。 事前学修 2.0hr：シラバス(特に受講ルールについて)を読んで理解し授業に取り組むイメージをする 事後学修 2.0hr：受講ルールや評価方法を読み直し間違いのないように理解する
2 回	授業テーマ：なりたいじぶんと Well-being 授業内容：well-being と「なりたいじぶん」について見直し、今後の活動について検討する。 事前学修 2.0hr：学修ポートフォリオ「START」を見直し自分の Well-being を言語化しておく 事後学修 2.0hr：授業で学修した内容を踏まえ、今後の活動を検討し決定する
3 回	授業テーマ：自分史とは 授業内容：自分史の目的と作成の手順を理解する。 事前学修 2.0hr：自分史について情報収集しておく 事後学修 3.0hr：授業で学修した内容を復習しワークシートを改善する
4 回	授業テーマ：これまでの自分 授業内容：過去の経験から得た自分の強みや価値観、成長のきっかけを言語化する。 事前学修 2.0hr：キャリアプランニングで実施した自己理解ワークを復習しておく 事後学修 2.0hr：授業で学修した内容を復習しワークシートを改善する
5 回	授業テーマ：これからの自分 授業内容：過去からつながる今の自分を踏まえ、これからの自分を言語化する。 事前学修 2.0hr：キャリアプランニングで考えた「なりたいじぶん」について復習しておく 事後学修 2.0hr：授業で学修した内容を復習しワークシートを改善する
6 回	授業テーマ：ディスカッションの振り返り 授業内容：キャリアプランニングⅠ・Ⅱで実施したグループディスカッションを振り返る。 事前学修 2.0hr：グループディスカッションについて復習しておく 事後学修 2.0hr：グループディスカッションのテーマについて情報収集する
7 回	授業テーマ：ディスカッション実践 授業内容：キャリアプランニングの集大成としてグループディスカッションに取り組む。 事前学修 2.0hr：グループディスカッションにおける自分の課題を整理しておく 事後学修 2.0hr：グループディスカッションにおける課題が解決できたか振り返る
8 回	授業テーマ：社会に触れる 授業内容：社会人の経験や知識から、自分のキャリアについて可能性を広げて考える。 事前学修 2.0hr：これまで記録してきたなりたいじぶんについて確認しておく 事後学修 2.0hr：今後のキャリアについて言語化し記録しておく

9 回	授業テーマ：業界・企業理解 授業内容：業界・企業理解において必要なことを学ぶ。 事前学修 2.0hr：業界地図を確認しておく 事後学修 2.0hr：授業で学修した内容を復習する
10 回	授業テーマ：企業研究 授業内容：事業内容、商品・サービス、理念ビジョンなど、企業研究で調べる項目について、同業2社で情報を整理し比較する。 事前学修 2.0hr：業界地図を確認しておく 事後学修 2.0hr：授業で取り上げた業界や企業について情報収集する
11 回	授業テーマ：職種理解 授業内容：職種においても、企業によって扱うものや関わる組織や人など、違いがあることを理解する。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げた企業の職種について情報収集しておく 事後学修 2.0hr：自分が興味を持った業界や企業、職種についてさらに情報収集する
12 回	授業テーマ：自分史ポスターの作成 授業内容：第6回～第11回授業の学修を基に、社会にどう接続していくかを言語化しポスターに集約する。 事前学修 3.0hr：第6回～第11回授業の学修を振り返る 事後学修 2.0hr：自分史ワークシートに社会との接点を追加して改善する
13 回	授業テーマ：自分史ポスターの完成 授業内容：自分史ポスターを完成させる（発表できるように準備する）。 事前学修 3.0hr：第6回～第12回授業の学修を振り返る 事後学修 3.0hr：自分史ポスターを発表できるように準備する
14 回	授業テーマ：授業となりたいじぶんの振り返り 授業内容：キャリアプランニングⅠ～Ⅲまでを振り返り、何を学び、気づき、今後のキャリア選択に対する準備ができたのかを言語化し伝える。 事前学修 2.0hr：これまでの授業の資料を見直しておく 事後学修 2.0hr：今後の自分のキャリアを考え言語化し記録しておく
15 回	授業テーマ：自分史ポスターの共有と振り返り 授業内容：作成した自分史をグループとクラスで共有し相互に学び合う。 事前学修 3.0hr：作成した自分史を確認しておく 事後学修 2.0hr：これまでの学修内容と記録を確認し、今後のキャリアに向けた活動を具体的に考え記録する

キャリアデザイン

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 3 年次 | 4 単位 | 開講期：通

阿方 由紀枝 (あがた ゆきえ)・稲田 環菜 (いなだ かな)・高野 紀子 (たかの のりこ)・濱崎 あゆみ (はまさき あゆみ)

■ 授業の概要

一般企業での就業経験があり、キャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験を活かし就職活動において主体的に行動できることを目的として支援する。受講生が納得のいく進路を決定するために就職活動の準備をする。事前準備(企業・仕事研究、自己 PR・志望動機作成)と実践及び振り返りにより改善を重ね就活力を伸ばす。

【授業方法】 講義

【実務家教員と当該授業科目との関連性】

一般企業での就業経験があり、キャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験を活かし、就職活動において主体的に行動できることを目的として、情報の収集や分析、計画立案及び振り返り等、就職活動に活用できる知識を与える。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○)

一般目標：この授業の目的は、就職活動を乗り越え社会で活躍する人材となるために必要な力とスキルを伸ばすことである。キャリアデザインでは、就職活動準備を就職スキルの向上に焦点をあてる。また、日頃から意識できるよう「社会」を基準とした授業ルールを採用している。

個別目標：【企業・仕事研究】 キャリアプランニングの学修を活用し就職活動における企業選択に十分な情報収集・分析をする【自己 PR】 自分の強みと裏付けるエピソードを選考通過レベルで準備する【志望動機】 企業・仕事研究で得た情報と自己 PR をつなげ入社後どう貢献できるかを伝えられる【グループディスカッション・面接】 選考通過レベルのスキルを身に付ける【インターンシップ】 インターンシップに参加し早期選考につなげる

■ 履修条件

2 年生修了時に、60 単位以上取得していること(就職活動にある程度の時間が割ける状態)が望ましい。

留学生については、日本語能力試験で N1 を取得しており、MGO 留学生プログラムの要件を満たしていること。

■ 評価基準・方法

重要課題:30%、学修内容振り返り:30%、インターンシップ参加:30%、MEIKAI SPI の模擬試験(テストセンター):10% ※それ以外に、就活コーチとの面談実施・OBOG セミナー参加・学内業界研究セミナー参加を単位認定要件とする。また、原則として5分の4以上の出席を評価の前提条件とする。詳細については第 2 回授業で説明する。

■ フィードバック方法

課題のフィードバックは授業で実施する。

■ アクティブ・ラーニングの実施(実施内容)

あり(グループワークおよびディスカッション・毎回実施)

■ 授業での PC の利用(利用内容)

あり(インターネットを活用した情報収集や課題の作成・指定授業回)

■ 教科書

オリジナル教材を使用。適職診断テスト受験の費用として¥6,000(自己負担)を回収する。提出方法や期限については、授業での案内を確認すること。

■ 参考書

授業内で随時紹介する。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外(事前・事後)の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：オリエンテーション(履修登録のルールを理解し正しく手続きする) 授業内容：この授業の目的・ルール・内容・到達目標について解説し、授業評価と受講ルールについて説明する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み理解しておく 事後学修 2.0hr：資料を読み直し正しく履修登録の手続きをする	16 回	授業テーマ：インターンシップを振り返る 授業内容：参加したインターンシップを振り返り経験について言語化する。 事前学修 2.0hr：インターンシップを振り返る準備をしておく 事後学修 2.0hr：授業の内容を踏まえ、選考を受ける企業を検討する
2 回	授業テーマ：就活スケジュールと準備確認 授業内容：就活スケジュールを確認し必要な準備を確認する。 事前学修 2.0hr：就職活動の流れについて調べておく 事後学修 2.0hr：就活サイトで企業情報を見ておく	17 回	授業テーマ：PROG 受験 授業内容：目的を理解し正しく PROG を受験する。 事前学修 2.0hr：1 年生で受験した PROG の結果を見直しておく 事後学修 2.0hr：ジェネリックススキルについて再確認する
3 回	授業テーマ：就活サイトの使い方 授業内容：就職活動において情報源となる就活サイトの使い方を説明し活用してみる。 事前学修 2.0hr：就活サイトで企業検索をしておく 事後学修 2.0hr：就活サイトで企業情報を検索し、イベント等の予約をする	18 回	授業テーマ：コーチ支援に関する授業 授業内容：就活コーチの支援を受ける手続き(求人 NAVI)を理解し実践する。 事前学修 2.0hr：求人 NAVI で就活に関する情報を確認する 事後学修 2.0hr：就活コーチの面談予約を確認しスケジュールに入れる
4 回	授業テーマ：なりたいじぶんとアクションプラン 授業内容：就職活動におけるアクションプランを作成する。 事前学修 2.0hr：記録したなりたいじぶんとアクションプランを確認しておく 事後学修 2.0hr：就職活動におけるアクションプランをスケジュールリングする	19 回	授業テーマ：就活の軸を言語化する 授業内容：これまでの就職活動で得た経験を振り返り就活の軸を再検討する。 事前学修 2.0hr：就職活動の状況を共有できるよう準備しておく 事後学修 2.0hr：就活の軸を使い就活サイト等で選考を受ける企業を選ぶ
5 回	授業テーマ：応募準備：ガクチカ作成 授業内容：キャリアプランニングで作成と改善を重ねてきた自己 PR を確認しガクチカを作成する。 事前学修 2.0hr：キャリアプランニングで作成した自己 PR をすべて見直しておく 事後学修 2.0hr：明海大学の履歴書に合わせて自己 PR とガクチカを完成させる	20 回	授業テーマ：PROG 結果活用 授業内容：PROG の結果を参考に自分の強みを確認し、企業選択につなげる。また、1 年次より伸びた力やその要因について考える。 事前学修 2.0hr：PROG の結果を確認しジェネリックススキルを再確認しておく 事後学修 2.0hr：PROG の結果から自分の強みを確認し、紐づく経験を記録する
6 回	授業テーマ：応募準備：志望動機作成 授業内容：自己 PR・ガクチカとつながりを意識して志望動機を書いてみる。 事前学修 2.0hr：志望動機の書き方について情報収集しておく 事後学修 2.0hr：明海大学の履歴書に合わせて志望動機を作成する	21 回	授業テーマ：就活スキル選考準備(グループディスカッション) 授業内容：本選考を見据え、グループディスカッションに取り組む。 事前学修 2.0hr：これまでに取り組んだグループディスカッションを振り返っておく 事後学修 2.0hr：グループディスカッションを振り返り改善点を明確にする
7 回	授業テーマ：R-CAP 結果解説 授業内容：R-CAP の結果を正しく理解し就職活動への活用法を知る。 事前学修 2.0hr：PROG の結果を読み直し自己理解を深めておく 事後学修 2.0hr：R-CAP の結果をあらためて読み自分について言語化する	22 回	授業テーマ：就活スキル選考準備(面接) 授業内容：本選考を見据え、面接練習に取り組む。 事前学修 2.0hr：自己 PR やガクチカ、志望動機を伝えられるようにしておく 事後学修 2.0hr：授業で実践した面接練習を振り返り、改善点を整理する
8 回	授業テーマ：フェセンゲーム 授業内容：ジョブカタログの言葉と KJ 法を使い、自分の就活の軸を言語化する。 事前学修 2.0hr：これまでの授業を振り返り就活の軸を言語化しておく 事後学修 2.0hr：授業のワークを参考に就活の軸を再検討する	23 回	授業テーマ：OBOG セミナー参加準備 授業内容：OBOG セミナーの目的や概要、必要な事前準備について理解する。 事前学修 2.0hr：OBOG セミナー参加予定企業について調べておく 事後学修 2.0hr：OBOG セミナー当日の動き方を検討する

9 回	授業テーマ：インターンシップの選び方 授業内容：インターンシップの選択基準を考え実践する。 事前学修 2.0hr：就活サイトや企業のホームページで企業情報を収集する 事後学修 2.0hr：授業の学修を活用しインターンシップの情報を探し企業研究する	24 回	授業テーマ：OBOG セミナー参加 授業内容：OBOG が参加する企業の説明を聞き、企業や仕事の理解を深める。 事前学修 2.0hr：身だしなみを整え OBOG セミナーに参加する企業について調べる 事後学修 2.0hr：OBOG セミナーで得た情報や気づきを振り返る
10 回	授業テーマ：グループディスカッション実践 授業内容：グループディスカッションの練習をする。 事前学修 2.0hr：キャリアプランニングで学修した内容を復習しておく 事後学修 2.0hr：グループディスカッションを振り返り課題を明確にしておく	25 回	授業テーマ：OBOG セミナーの振り返り 授業内容：OBOG セミナーで得たことを言語化し、事前準備が妥当であったかを振り返る。 事前学修 2.0hr：OBOG セミナーで得た情報や気づきを振り返る 事後学修 2.0hr：企業や仕事について知りたいことを整理する
11 回	授業テーマ：面接対策 (非言語編) 授業内容：デリバリーのプロに、発生や言葉・表現などについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：面接について就活サイトで情報収集しておく 事後学修 2.0hr：就活サイト等でインターンシップの情報を収集しエントリーする	26 回	授業テーマ：面接練習 (1) 会話のキャッチボール 授業内容：採用選考に向けて企業の意図を理解し、会話のキャッチボールを意識して面接練習する。 事前学修 2.0hr：自己 PR・ガクチカ・志望動機など、応募書類の内容を確認しておく 事後学修 2.0hr：面接練習で改善が必要な点を明確にする
12 回	授業テーマ：先輩(内定した4年生)に学ぶ 授業内容：パネルディスカッション形式で先輩の体験談を聞き就職活動の参考にする。 事前学修 2.0hr：これまでの就職活動を振り返り悩みや疑問を言語化しておく 事後学修 2.0hr：授業での学修をヒントにし今後の行動計画を立てる	27 回	授業テーマ：面接練習 (2) 自己 PR と志望動機 授業内容：前回の面接練習を踏まえ改善すべき点を意識しながら、自己 PR と志望動機を伝える練習をする 事前学修 2.0hr：自己 PR・ガクチカ・志望動機など、応募書類の内容を確認しておく 事後学修 2.0hr：面接練習を振り返り、改善点を解決する
13 回	授業テーマ：仕事研究セミナー振り返り 授業内容：仕事研究セミナーで収集した情報と自分の強みを照らし合わせ、マッチングポイントを考える。 事前学修 2.0hr：仕事研究セミナーを振り返り、情報を整理しておく 事後学修 2.0hr：仕事研究セミナーで経験を踏まえ、今後の就職活動を検討する	28 回	授業テーマ：面接練習 (3) 同窓生と模擬面接 授業内容：社会人の代表として同窓生をゲストとして迎え、模擬面接を実践する。 事前学修 2.0hr：前回の面接練習で見つけた自分の改善点を意識しておく 事後学修 2.0hr：面接で伝える内容を準備し、自主的に伝える練習をする
14 回	授業テーマ：面接対策 (言語編) 授業内容：面接において必要なことを復習し模擬面接などの実践から学ぶ。 事前学修 2.0hr：ここまでの就職活動を整理しておく 事後学修 2.0hr：夏季インターンシップを探索しエントリーする	29 回	授業テーマ：就活進捗別選考準備 (課題別編) 授業内容：グループディスカッション、面接、応募書類など、採用選考において準備が必要な面をトレーニングする。 事前学修 2.0hr：自分の選考における課題を確認しておく 事後学修 2.0hr：授業での練習を踏まえ、さらに選考準備を進める
15 回	授業テーマ：夏季休暇の活動計画立案 授業内容：夏季休暇に取り組む、就職活動について具体的にしておく 事前学修 2.0hr：夏季休暇中の就職活動計画を整理しておく 事後学修 2.0hr：授業で検討した内容を夏季休暇中の就職活動計画に反映させる	30 回	授業テーマ：就職活動振り返りと今後の行動計画立案 授業内容：今後の就活において、改善点や具体的な行動について言語化し伝え合う。 事前学修 2.0hr：就職活動の進捗を整理し伝えられるように準備する 事後学修 2.0hr：授業で明確になった現状を見直し今後の計画を再確認する

アカデミック日本語 I

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：通 | 備考：留学生クラス

富樫 里真 (とがし りま)

■ 授業の概要

アカデミック日本語では、大学での授業の理解および課題を行うために必要な日本語能力を育成する。アカデミック日本語 I の内容は「文法」である。専門分野の技術的な議論も含めて、具体的な話題でも抽象的な話題でも複雑なテキストの主要な内容を理解するために重要な文法・表現を学習する。授業外には事前学修、事後学修、課題に取り組み、授業内では毎回小テストがある。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○)

一般目標：大学の授業で使う文法的表現の意味・機能・文法などの規則を、正しく理解して、適切な場面で正しく使うことができる。

自分の文法能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習能力を育てる。

個別目標：(1) 一文レベル、談話レベルで文法的表現を正しく理解できる。

(2) それぞれの文法的表現がどのような場面で使われているかを理解し、一文レベル、および談話レベルで正しく使うことができる。

(3) オンラインリソースを活用し、それぞれの文法的表現がどのような場面でよく使われているか説明することができる。

(4) 自分の文法能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習を実行し、正しくふりかえることができる。

■ 履修条件

留学生で N2 を取得している。

課題の提出期限を守る。

manaba による連絡を確認する。

自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

■ 評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 40%、講座 10% で評価する。

■ フィードバック方法

課題等のフィードバックは manaba および対面授業を通して行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (ほぼ毎回グループワークを実施する。)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (ほぼ毎回 manaba, respon を使用する。)

■ 教科書

福島佐知、友松悦子、中村かおり『新完全マスター文法 N1』スリーエーネットワーク

■ 参考書

『新装版 どんなときどう使う 日本語表現文型辞典』アルク

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、時間関係 授業内容：授業の概要、目的、学習の進め方、評価に関する説明を聞き、理解する。その後、事前テストを受ける。時間関係を表す文法表現「～が早い/か」「～や否や」「～なり」「そばから」「てからというもの(は)」「～にあって」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 1 を練習する。	16 回	授業テーマ：結末・最終の状態、前学期の復習 授業内容：結末・最終の状態を表す表現「～に至って」「～に至っては」「～始末だ」「～ばなした」を練習する。第 1 回から第 15 回の内容を復習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 16 を練習する。
2 回	授業テーマ：範囲の始まり・限度 授業内容：範囲の始まり・限度を表す文法表現「～を皮切りに(して)」「～に至るまで」「～を限りに」「～をもって」「～といったところだ」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 2 を練習する。	17 回	授業テーマ：強調 授業内容：強調を表す表現「～たりとも～ない」「～すら」「～だに」「～にして」「～あっての」「～からある」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 17 を練習する。
3 回	授業テーマ：限定・非限定・付加 授業内容：限定・非限定・付加を表す文法表現「～を～おいて」「～ならでは」「～にとどまらず」「～はおろか」「～もさることながら」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 3 を練習する。	18 回	授業テーマ：主張・断定 授業内容：主張・断定を表す表現「～までもない」「～までだ」「～ばそれまでだ」「～には当たらない」「～でなくてなんだろう(か)」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 18 を練習する。
4 回	授業テーマ：例示 授業内容：例示を表す文法表現「～なり～なり」「～であれ～であれ」「～といい～といい」「～といわず～といわず」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 4 を練習する。	19 回	授業テーマ：評価・感想 授業内容：評価・感想を表す表現「～に足る」「～に堪える」「～といったらない」「～かぎりだ」「～極まる/極まりない」「～とは」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 19 を練習する。
5 回	授業テーマ：関連・無関係 授業内容：関連・無関係を表す文法表現「～いかんだ」「～いかんにかかわらず」「～をものともせず(に)」「～をよそに」「～ならいざしらず」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 5 を練習する。	20 回	授業テーマ：心情・強制的思い 授業内容：心情・強制的思いを表す表現「～てやまない」「～に堪えない」「～ないではすまない」「～ないではおかない」「～禁じ得ない」「～余儀なくされる」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 20 を練習する。
6 回	授業テーマ：様子 授業内容：様子を表す文法表現「～ばかりだ」「～ばかり(に)」「～ともなく」「～ながら(にして)」「～さらいがある」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 6 を練習する。	21 回	授業テーマ：文の組み立て 授業内容：文の組み立てルール「後に否定の言い方が来るもの」「疑問詞につくもの」「数字につくもの」、名詞を説明「後に名詞が来るもの」「名詞を説明する形式」「名詞につくもの」「名詞・動詞辞書形につながるもの」「動詞辞書形につながるもの」を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 21 を練習する。
7 回	授業テーマ：付随行動 授業内容：付随行動を表す文法表現「～がてら」「～かたがた」「～かたわら」を練習する。第 1 回から第 4 回の復習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 7 を練習する。	22 回	授業テーマ：時制 授業内容：時制を表す用法「現在の文の特別な用法」「過去形の文の特別な用法」「動詞のている形の特別な用法」「名詞を説明する文の時制」を整理し、文章の中で使えるよう練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 22 を練習する。

8 回	授業テーマ：逆接 授業内容：逆接を表す文法表現「～ところを」「～ものを」「～とはいえ」「～といえども」「～と思いきや」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 8 を練習する。	23 回	授業テーマ：条件を表す文 授業内容：仮定か確定かの判断、反実仮想、前置き表現など条件を表す文法形式を整理し、文章の中で使えるよう練習する。第1回から第20回の内容を復習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 23 を練習する。
9 回	授業テーマ：条件 授業内容：条件を表す文法表現「～とあれば」「～たら最後」「～ようでは」「～なしに(は)」「～くらいなら」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 9 を練習する。	24 回	授業テーマ：視点を動かさない手段 1,2 授業内容：文章にまとまりをもたせ、視点を動かさないようにするための表現「動詞の使い方」「自他動詞の使い分け」を整理し、練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 24 を練習する。
10 回	授業テーマ：逆接条件 授業内容：逆接表現「～(よ)うと(も)」「～(よ)うと～まいと」「～であれ」「～たところで」「～ば～で」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 10 を練習する。	25 回	授業テーマ：視点を動かさない手段 3,4 授業内容：文章にまとまりをもたせ、視点を動かさないようにするための表現「受け身・使役・使役受け身の使い分け」「～てあげる・～てもらう・～てくれるの使い分け」を整理し、練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 25 を練習する。
11 回	授業テーマ：目的・手段 授業内容：目的・手段を表す文法表現「～べく」「～んがため(に)」「～をもって」を練習する。第1回～第8回の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 11 を練習する。	26 回	授業テーマ：模擬試験とフィードバック 授業内容：これまで学習した文法をどの程度理解しているか測定するテストを実施する。その後、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 26 を練習する。
12 回	授業テーマ：原因・理由 授業内容：原因・理由を表す表現「～ばこそ」「～とあって」「～ではあるまいし」「～手前」「～ゆえ(に)」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 12 を練習する。	27 回	授業テーマ：指示表現「こ・そ・あ」の使い分け、「は・が」の使い分け 授業内容：文章中に出てくる指示表現の使い分けと「は・が」の使い分けを整理し、練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 27 を練習する。
13 回	授業テーマ：可能・不可能・禁止 授業内容：可能・不可能・禁止を表す表現「～にかたかない」「～に～ない」「～てはいられない」「～べくもない」「～べからず」「～まじき」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 13 を練習する。	28 回	授業テーマ：接続表現 授業内容：文章の展開を助け、文章のまとまりをもたせる役割をもつ接続表現を整理し、練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 28 を練習する。
14 回	授業テーマ：話題・評価の基準 授業内容：話題・評価の基準を表す表現「～ときたら」「～ともなると」「～ともあろう」「～たるもの」「～なりに」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 14 を練習する。	29 回	授業テーマ：省略・繰り返し・言い換え、文体の一貫性、話の流れを考える 授業内容：文章中の省略、繰り返し、言い換えを理解する。文体の一貫性を保つための表現「硬い表現」「会話で使う表現」を整理し、練習する。話しの進め方にかかわる表現を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 29 を練習する。
15 回	授業テーマ：比較対照、中間テストとフィードバック 授業内容：比較対照を表す表現「～にひきかえ」「～にもまして」「～ないまでも」を練習する。第1回～第14回の内容をテストで復習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 15 を練習する。	30 回	授業テーマ：最終テストとフィードバック 授業内容：第1回から第29回までに学習した内容を最終テストする。その後、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 30 を練習する。

アカデミック日本語 I

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：通 | 備考：留学生クラス 2

高柳 奈月 (たかやなぎ なつき)

■ 授業の概要

アカデミック日本語では、大学での授業の理解および課題を行うために必要な日本語能力を育成する。アカデミック日本語 I の内容は「文法」である。専門分野の技術的な議論も含めて、具体的な話題でも抽象的な話題でも複雑なテキストの主要な内容を理解するために重要な文法・表現を学習する。授業外には事前学修、事後学修、課題に取り組み、授業内では毎回小テストがある。

■ 到達目標

一般目標：大学の授業で使う文法的表現の意味・機能・文法などの規則を、正しく理解して、適切な場面で正しく使うことができる。

自分の文法能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習能力を育てる。

個別目標：(1) 一文レベル、談話レベルで文法的表現を正しく理解できる。

(2) それぞれの文法的表現がどのような場面で使われているかを理解し、一文レベル、および談話レベルで正しく使うことができる。

(3) オンラインリソースを活用し、それぞれの文法的表現がどのような場面でよく使われているか説明することができる。

(4) 自分の文法能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習を実行し、正しくふりかえることができる。

■ 履修条件

留学生で N2 相当を対象とする。

課題の提出期限を守る。

manaba による連絡を確認する。

自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

■ 評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 40%、講座 10% で評価する。

■ フィードバック方法

課題等のフィードバックは manaba および対面授業を通して行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり（ほぼ毎回グループワークを実施する。）

■ 授業での PC の利用（利用内容）

あり（ほぼ毎回 manaba、respon を使用する。）

■ 教科書

『文法 Buddy JLPT 日本語能力試験 N2 一文法からひろげる日本語トレーニング』The Japan Times

■ 参考書

『新装版 どんなときどう使う 日本語表現文型辞典』アルク

■ 授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、第 1 課①～④ 授業内容：授業の概要、目的、学習の進め方、評価に関する説明を聞き、理解する。 その後、事前テストを受ける。 事前学修 2.0hr：これまで学習した文法知識を整理しておく。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	16 回	授業テーマ：第 8 課⑤～⑧ 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
2 回	授業テーマ：第 1 課⑤～⑧ 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	17 回	授業テーマ：第 9 課①～④ 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
3 回	授業テーマ：第 2 課①～④ 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	18 回	授業テーマ：第 9 課⑤～⑧ 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
4 回	授業テーマ：第 2 課⑤～⑧ 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	19 回	授業テーマ：第 10 課①～④ 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
5 回	授業テーマ：第 3 課①～④ 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	20 回	授業テーマ：第 10 課⑤～⑧ 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
6 回	授業テーマ：第 3 課⑤～⑧ 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	21 回	授業テーマ：第 11 課①～④ 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
7 回	授業テーマ：第 4 課①～④ 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	22 回	授業テーマ：第 11 課⑤～⑧ 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
8 回	授業テーマ：第 4 課⑤～⑧ 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	23 回	授業テーマ：第 12 課①～④ 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。

アカデミック日本語 I

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：通 | 備考：MGO 留学生サポートプログラム用クラス(留 H)

高橋 亜里沙 (たかはし ありさ)

■ 授業の概要

留学生の社会的自立、職業的自立を促すため日本語能力に応じた日本語教育およびキャリア教育を行う「MGO 留学生サポートプログラム」の一環として実施する科目である。「アカデミック I」は日本で仕事をするうえで必要なジェネリックスキルの一つである日本語コミュニケーション能力を育成する。事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ○)

一般目標：背景の異なるさまざまな人と一緒に働くことを想定し、社内外の人と担当領域から一般的なものまで幅広い話題について、流暢に、正確に、そして効果的に言葉を用いて、言いたいことを概ね表現できる。その場にふさわしい丁寧さで自然なコミュニケーションをとることができる。
個別目標：(1) 日本語話者を相手に一般的な事柄についてストレスを感じさせることなく流暢に会話することができる。
(2) 日本のビジネスマナー、コミュニケーションスタイルに関する基本的な知識があり、状況に応じた表現を使い分けすることができる。
(3) 相手の発言に言葉の内容とは異なる意図が含まれている場合、その意図を概ね理解して的確に対応することができる。

■ 履修条件

MGO 留学生サポートプログラムに登録済みで、N1 を取得している。
日本語のコミュニケーション能力を客観的に測る資格試験を受験する。
授業への主体的な参加を求める。
課題提出の期限を守る。

■ 評価基準・方法

資格試験 40%、テスト 30%、課題提出 30%で評価する。

■ フィードバック方法

フィードバックは manaba および対面授業で行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (ペアおよびグループワークがある。)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (manaba、respon を使用する。)

■ 教科書

村野節子・山辺真理子・向山陽子『上級レベル ロールプレイで学ぶビジネス日本語』スリーエーネットワーク
牧野成一 (監)『PJC 実践日本語コミュニケーション検定ガイドブック』ウィネット出版

■ 参考書

JAL アカデミー株式会社『改訂新版 ビジネス日本語用例辞典』アスク
公益財団法人日本電信電話ユーザー協会編『もしもし検定電話対応技能検定 3・4 級公式問題集』日本経済新聞出版

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、自己紹介を行う (社内) 授業内容：コースの概要と目的、学習の進め方、評価方法について理解する。そのあと、社内自己紹介を行う場面の会話を聞いて語彙と表現を学習し、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。 事前学修 2.0hr：ビジネスにおける日本語コミュニケーションにおいて必要な知識をまとめる。 事後学修 2.0hr：自身の日本語ビジネス日本語コミュニケーション能力について客観的に分析し、目標を立てる。	16 回	授業テーマ：私の言い分「私は能力のある人間です」異文化ロールプレイ「自慢話と自己アピール」、前学期の復習 授業内容：私の言い分「私は能力のある人間です」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「自慢話と自己アピール」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。前学期の復習をする。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。前学期の復習しておく。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
2 回	授業テーマ：自己紹介を行う (社外) 授業内容：社外で自己紹介を行う場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開、表現を学習する。PJC の概要を学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。PJC について調べる。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	17 回	授業テーマ：私の言い分「お茶くみは誰の仕事？」異文化ロールプレイ「仕事の範囲」、会議・打ち合わせ、面接 授業内容：私の言い分「お茶くみは誰の仕事？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「仕事の範囲」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。「会議・打ち合わせ、面接」について学習する。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
3 回	授業テーマ：電話を受ける、社会人としての心構え 授業内容：電話を受ける場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。社会人としての心構えを学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	18 回	授業テーマ：私の言い分「家庭と仕事、どっちが大事？」異文化ロールプレイ「休暇の申請」 授業内容：私の言い分「家庭と仕事、どっちが大事？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「休暇の申請」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
4 回	授業テーマ：アポイントを取る、人間関係の作り方①コミュニケーションを取る際の留意点、敬語 授業内容：アポイントを取る場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。コミュニケーションを取る際の留意点、敬語を学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	19 回	授業テーマ：私の言い分「会議で使う資料はいつまでに作ればいいのか？」異文化ロールプレイ「指示の仕方」 授業内容：私の言い分「会議で使う資料はいつまでに作ればいいのか？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「指示の仕方」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
5 回	授業テーマ：会議に参加する、人間関係の作り方②効果的な伝え方、話の組み立て方、ビジネスにおける指示の受け方、確認の仕方 授業内容：会議に参加する場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。効果的な伝え方、話の組み立て方、ビジネスにおける指示の受け方、確認の仕方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	20 回	授業テーマ：私の言い分「沈黙は金？」異文化ロールプレイ「ミーティングでの発言」 授業内容：私の言い分「沈黙は金？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「ミーティングでの発言」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。

6 回	授業テーマ：クレームを受ける、人間関係の作り方③あいづちの打ち方、依頼の断り方、日本文化特有のコミュニケーション 授業内容：クレームを受ける場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。あいづちの打ち方、依頼の断り方、日本文化特有のコミュニケーションを学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	21 回 授業テーマ：私の言い分「どうして謝らなきゃいけないの？」異文化ロールプレイ「謝罪」 授業内容：私の言い分「どうして謝らなきゃいけないの？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「謝罪」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
7 回	授業テーマ：クレームを報告する、効率的な仕事の進め方①報告連絡相談、PDCA、仕事の優先順位 授業内容：クレームを報告する場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。報告連絡相談、PDCA、仕事の優先順位を学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	22 回 授業テーマ：私の言い分「もう解決したんじゃないの？」異文化ロールプレイ「報告一解決済みの小さなトラブル」 授業内容：私の言い分「もう解決したんじゃないの？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「報告一解決済みの小さなトラブル」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
8 回	授業テーマ：クレームを処理する、効率的な仕事の進め方②来客対応 授業内容：クレームを処理する場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。来客対応を学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	23 回 授業テーマ：私の言い分「報連相は大事？」異文化ロールプレイ「報告・連絡・相談」 授業内容：私の言い分「報連相は大事？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「報告・連絡・相談」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
9 回	授業テーマ：会議で提案する、効率的な仕事の進め方③電話応対 授業内容：会議で提案する場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。電話応対を学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	24 回 授業テーマ：私の言い分「情報の共有って？」異文化ロールプレイ「メールでの情報の共有」 授業内容：私の言い分「情報の共有って？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「メールでの情報の共有」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
10 回	授業テーマ：新規顧客を開拓する、効率的な仕事の進め方④アポイントメント 授業内容：新規顧客を開拓する場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。アポイントメントについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	25 回 授業テーマ：私の言い分「人前で怒るなんて！」異文化ロールプレイ「メンツ一人前での叱責」 授業内容：私の言い分「人前で怒るなんて！」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「メンツ一人前での叱責」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
11 回	授業テーマ：新規顧客とアポイントをとる、効率的な仕事の進め方④名刺交換、Eメール 授業内容：新規顧客とアポイントをとる場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。名刺交換、Eメールの活用方法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	26 回 授業テーマ：私の言い分「目標は高いほうがいいに決まっているじゃない？」異文化ロールプレイ「目標設定と評価」 授業内容：私の言い分「目標は高いほうがいいに決まっているじゃない？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「目標設定と評価」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
12 回	授業テーマ：商品売り込む、模擬問題①基礎知識編とフィードバック 授業内容：商品売り込む場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。基礎知識の習得を模擬問題で確認する。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	27 回 授業テーマ：私の言い分「能力だけじゃいけないの？」異文化ロールプレイ「同僚の昇進と不満」 授業内容：私の言い分「能力だけじゃいけないの？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「同僚の昇進と不満」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
13 回	授業テーマ：催促の電話をかける、他社訪問、接遇・接客、クレーム対応 授業内容：催促の電話をかける場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。他社訪問、接遇・接客、クレーム対応を学習する。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	28 回 授業テーマ：私の言い分「縁故採用のどこが問題？」異文化ロールプレイ「コネ縁故採用」 授業内容：私の言い分「縁故採用のどこが問題？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「コネ縁故採用」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
14 回	授業テーマ：交渉を進める、模擬問題②事例編とフィードバック 授業内容：交渉を進める場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。模擬問題②事例編を行い、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	29 回 授業テーマ：私の言い分「残業は当たり前？」異文化ロールプレイ「残業」 授業内容：私の言い分「残業は当たり前？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「残業」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
15 回	授業テーマ：受注に成功する、中間テストとフィードバック 授業内容：受注に成功する場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。中間テストとフィードバックを受け、学習内容を整理する。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	30 回 授業テーマ：私の言い分「最高の接待はお腹がすくもの？」、最終テストとフィードバック 授業内容：私の言い分「最高の接待はお腹がすくもの？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。最終テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：自身の日本語ビジネス日本語コミュニケーション能力について客観的に分析し、1年間の成長をまとめる。

アカデミック日本語 I

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：通 | 備考：MGO 留学生サポートプログラム用クラス(留 S)

荷見 美有 (はすみ みゆう)・範 弘宇 (はん こうう)・堀内 貴子 (ほりうち たかこ)

■ 授業の概要

留学生の社会的自立、職業的自立を促すため日本語能力に応じた日本語教育およびキャリア教育を行う「MGO 留学生サポートプログラム」の一環として実施する科目である。日本で仕事をすすめるうえで必要なジェネリックスキルの一つである日本語コミュニケーション能力を育成する。アカデミック日本語 I の内容は文法である。専門分野の技術的な議論も含めて、具体的な話題でも抽象的な話題でも複雑なテキストの主要な内容を理解するために重要な文法・表現を学習する。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ○)

一般目標：大学の授業で使う文法的表現の意味・機能・文法などの規則を、正しく理解して、適切な場面で正しく使うことができる。
文法的表現がどのような場面でよく使われているか説明することができる。
自分の文法能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習能力を育てる。

個別目標：(1) 一文レベル、談話レベルで文法的表現を正しく理解できる。

(2) それぞれの文法的表現がどのような場面で使われているかを理解し、一文レベル、および談話レベルで正しく使うことができる。

(3) オンラインリソースを活用し、それぞれの文法的表現がどのような場面でよく使われているか説明することができる。

(4) 自分の文法能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習を実行し、正しくふりかえることができる。

■ 履修条件

MGO 留学生サポートプログラムに登録済みで N2 を取得している。

課題の提出期限を守る。

manaba による連絡を確認する。

自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

■ 評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 40%、講座 10% で評価する。

■ フィードバック方法

課題等のフィードバックは manaba および対面授業を通して行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (ほぼ毎回グループワークを実施する。)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (ほぼ毎回 manaba、respon を使用する(スマートフォン対応可。))

■ 教科書

福島佐知・友松悦子・中村かおり『新完全マスター文法 N1』スリーエーネットワーク

■ 参考書

友松悦子・和栗 雅子・宮本 淳『新装版 どんなときどう使う 日本語表現句型辞典』アルク

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、時間関係 授業内容：授業の概要、目的、学習の進め方、評価に関する説明を聞き、理解する。その後、事前テストを受ける。時間関係を表す文法表現「～が早い/遅い」「～が早い/遅い」「～が早い/遅い」「～が早い/遅い」を練習する。 事前学修 2.0hr：これまで学習した文法知識を整理しておく。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	16 回	授業テーマ：結末・最終の状態 授業内容：結末・最終の状態を表す表現「～に至って」「～に至っては」「～始末だ」「～つばなしだ」を練習する。第1回から第15回の内容を復習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
2 回	授業テーマ：範囲の始まり・限度 授業内容：範囲の始まり・限度を表す文法表現「～を皮切りに(して)」「～に至るまで」「～を限りに」「～をもって」「～とあったところだ」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	17 回	授業テーマ：強調 授業内容：強調を表す表現「～たりとも～ない」「～すら」「～だに」「～にして」「～あっての」「～からある」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
3 回	授業テーマ：限定・非限定・付加 授業内容：限定・非限定・付加を表す文法表現「～を～で」「～ならで」「～に～とどまらず」「～は～か」「～も～ることながら」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	18 回	授業テーマ：主張・断定 授業内容：主張・断定を表す表現「～までもない」「～までだ」「～は～それまでだ」「～には当たらない」「～でなくてなんだろう(か)」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
4 回	授業テーマ：例示 授業内容：例示を表す文法表現「～なり～なり」「～であれ～であれ」「～といい～といい」「～といわず～といわず」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	19 回	授業テーマ：評価・感想 授業内容：評価・感想を表す表現「～に～する」「～に～する」「～に～する」「～に～する」「～に～する」「～に～する」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
5 回	授業テーマ：関連・無関係 授業内容：関連・無関係を表す文法表現「～いかんだ」「～いかに～かわからず」「～を～もせず(に)」「～を～に」「～ならいざしらず」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	20 回	授業テーマ：心情・強制的思い 授業内容：心情・強制的思いを表す表現「～てやまない」「～に～えない」「～ないではすまない」「～ないではおかない」「～禁じ得ない」「～余儀なくされる」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
6 回	授業テーマ：様子 授業内容：様子を表す文法表現「～ばかりだ」「～ばかり(に)」「～ともなく」「～ながら(して)」「～きらいがある」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	21 回	授業テーマ：文の組み立て 授業内容：文の組み立てルール「後に否定の言い方が来るもの」「疑問詞につくもの」「数字につくもの」、名詞を説明「後に名詞が来るもの」「名詞を説明する形式」「名詞につくもの」「名詞・動詞辞書形につながるもの」「動詞辞書形につながるもの」を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。

7 回	授業テーマ：付随行動 授業内容：付随行動を表す文法表現「～がてら」「～かたがた」「～かたわら」を練習する。第1回から第4回の復習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	22 回	授業テーマ：時制 授業内容：時制を表す用法「現在の文の特別な用法」「過去の文の特別な用法」「動詞のている形の特別な用法」「名詞を説明する文の時制」を整理し、文章の中で使えるよう練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
8 回	授業テーマ：逆接 授業内容：逆接を表す文法表現「～ところを」「～ものを」「～とはいえ」「～といえども」「～と思いきや」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	23 回	授業テーマ：条件を表す文 授業内容：仮定か確定かの判断、反実仮想、前置き表現など条件を表す文法形式を整理し、文章の中で使えるよう練習する。第1回から第20回の内容を復習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
9 回	授業テーマ：条件 授業内容：条件を表す文法表現「～とあれば」「～たら最後」「～ようでは」「～なしには」「～くらいなら」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	24 回	授業テーマ：視点を動かさない手段 1,2 授業内容：文章にまとまりをもたせ、視点を動かさないようにするための表現「動詞の使い方」「自己動詞の使い分け」を整理し、練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
10 回	授業テーマ：逆接条件 授業内容：逆接表現「～(よ)うと(も)」「～(よ)うと～まいと」「～であれ」「～たところで」「～ば～で」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	25 回	授業テーマ：視点を動かさない手段 3,4 授業内容：文章にまとまりをもたせ、視点を動かさないようにするための表現「受け身・使役・使役受け身の使い分け」「～てあげる・～てもらう・～てくれるの使い分け」を整理し、練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
11 回	授業テーマ：目的・手段 授業内容：目的・手段を表す文法表現「～べく」「～んがため(に)」「～をもって」を練習する。第1回～第8回の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	26 回	授業テーマ：模擬試験とフィードバック 授業内容：これまで学習した文法をどの程度理解しているか測定するテストを実施する。その後、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
12 回	授業テーマ：原因・理由 授業内容：原因・理由を表す表現「～ばこそ」「～とあって」「～ではあるまいし」「～手前」「～ゆえ(に)」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	27 回	授業テーマ：指示表現「こ・そ・あ」の使い分け、「は・が」の使い分け 授業内容：文章中に出てくる指示表現「こ・そ・あ」の使い分けと「は・が」の使い分けを整理し、練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
13 回	授業テーマ：可能・不可能・禁止 授業内容：可能・不可能・禁止を表す表現「～にかたかない」「～に～ない」「～て(は)いられない」「～べくもない」「～べからず」「～まじき」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	28 回	授業テーマ：接続表現 授業内容：文章の展開を助け文章のまとまりをもたせる役割をもつ接続表現を整理し、練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
14 回	授業テーマ：話題・評価の基準 授業内容：話題・評価の基準を表す表現「～ときたら」「～ともなると」「～ともあろう」「～たるもの(は)」「～なりに」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	29 回	授業テーマ：省略・繰り返し・言い換え、文体の一貫性、話の流れを考える 授業内容：文章中の省略、繰り返し、言い換えを理解する。文体の一貫性を保つための表現「硬い表現」「会話で使う表現」を整理し、練習する。話しの進め方にかかわる表現を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
15 回	授業テーマ：比較対照、総合練習、中間テストとフィードバック 授業内容：比較対照を表す表現「～にひきかえ」「～にもまして」「～ないまでも」を練習する。第1回～第14回の内容を復習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	30 回	授業テーマ：最終テストとフィードバック 授業内容：第1回から第29回までに学習した内容をテストする。その後、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。

アカデミック日本語Ⅱ

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：通 | 備考：留学生クラス

林 苗 (りん みょう)

■ 授業の概要

「アカデミック日本語」では大学での授業の理解および課題を行うために必要な日本語能力を育成する。「アカデミック日本語Ⅱ」の内容は読解である。さまざまな目的で書かれた長くて複雑な文章の中身を詳細に理解できるようになることを目指す。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○)

- 一般目標：大学の授業で使う教科書や専門書、授業の課題を取り組むために必要な資料等を読んで、正しく内容を理解できる。
要点的把握を含め、理解のために多様な読解ストラテジーを駆使でき、文脈上の手がかりから理解の当否を確かめることができる。
自分の読解能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習力を育てる。
- 個別目標：(1) 文章の構造を理解して、要旨を把握できる。
(2) 文章の論理的な構造(主張と根拠、事実と考察など)を正しく理解できる。
(3) 事実と意見を分けるなど文脈上の手がかりを見落とすことなく読むことができる。
(4) 読む目的に応じて適切な読解ストラテジーを選択し、使い分けられる。
(5) 書き手の意図を読み取り、正確に別の言葉で言い換えることができる。
(6) 自分の読解能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習し、正しくふりかえることができる。

■ 履修条件

留学生で N2 を取得している。
各学期に日本語能力を測る資格試験を受験する。
課題の提出日を守る。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

■ 評価基準・方法

資格試験 40%、課題提出 30%とテスト 30%で評価する。

■ フィードバック方法

フィードバックは manaba と対面授業で行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (ほぼ毎回ペアワークもしくはグループワークがある。)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (ほぼ毎回 manaba、respon を使用する。)

■ 教科書

奥山貴之、宇津木奈津子、東会娟『考える人の上級日本語読解』凡人社
上田暢美、内田嘉美、桑島卓男、糠野永未子、吉田歌織、若林佐恵里、安達万里江『とりあえず日本語能力試験対策 読解 N1』ココ出版

■ 参考書

授業で随時紹介する。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：ガイダンス、事前テスト 授業内容：コースの概要と目的、学習の進め方、評価について理解し、事前テストを受ける。 事前学修 2.0hr：新聞等日本語の文章を読む。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	16 回	授業テーマ：貿易の基本原則—比較優位 授業内容：文章「貿易の基本原則—比較優位」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2 回	授業テーマ：ゲームの今と将来 授業内容：文章「ゲームの今と将来」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	17 回	授業テーマ：グローバル化とどう向き合うか 授業内容：文章「グローバル化とどう向き合うか」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3 回	授業テーマ：ゲームは悪影響を及ぼすのか？ 授業内容：文章「ゲームは悪影響を及ぼすのか？」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	18 回	授業テーマ：ある熟年夫婦の関係性 授業内容：文章「ある熟年夫婦の関係性」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4 回	授業テーマ：私の名は。 授業内容：文章「私の名は。」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	19 回	授業テーマ：女性の働き方 授業内容：文章「女性の働き方」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5 回	授業テーマ：多言語状況を考える 授業内容：文章「多言語状況を考える」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	20 回	授業テーマ：第 4 回 N1 読解 授業内容：「とりあえず日本語能力試験対策読解 N1」の第 4 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6 回	授業テーマ：第 1 回 N1 読解 授業内容：「とりあえず日本語能力試験対策読解 N1」の第 1 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	21 回	授業テーマ：いのちの『終わり』は誰が決めるのか 授業内容：文章「いのちの『終わり』は誰が決めるのか」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
7 回	授業テーマ：幸福度の低い日本の子ども 授業内容：文章「幸福度の低い日本の子ども」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	22 回	授業テーマ：いのちを“つくって”もいいですか 授業内容：文章「いのちを“つくって”もいいですか」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

8 回	授業テーマ：『自尊感情を高めよう』を再考 授業内容：文章「『自尊感情を高めよう』を再考」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	23 回	授業テーマ：科学は魔法？ 授業内容：文章「科学は魔法？」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9 回	授業テーマ：第 2 回 N1 読解 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 2 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	24 回	授業テーマ：科学と社会の関係が変わるとき 授業内容：文章「科学と社会の関係が変わるとき」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10 回	授業テーマ：高度経済成長期の日本 授業内容：文章「高度経済成長期の日本」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	25 回	授業テーマ：第 5 回 N1 読解 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 5 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11 回	授業テーマ：高持続可能な社会 授業内容：文章「高持続可能な社会」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	26 回	授業テーマ：研究とは—研究は勉強とまったく違う 授業内容：文章「研究とは—研究は勉強とまったく違う」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12 回	授業テーマ：第 3 回 N1 読解 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 3 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	27 回	授業テーマ：フィールドワーク研究の意義 授業内容：文章「フィールドワーク研究の意義」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13 回	授業テーマ：人生の先輩が教えるキャリアの作り方 授業内容：文章「人生の先輩が教えるキャリアの作り方」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	28 回	授業テーマ：レジュメ作成 授業内容：レジュメ作成例を参考にしながらレジュメを作成する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14 回	授業テーマ：変化するキャリア観—自分らしいキャリアとは 授業内容：文章「変化するキャリア観—自分らしいキャリアとは」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	29 回	授業テーマ：レジュメ発表 授業内容：作成したレジュメの発表を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15 回	授業テーマ：中間テストとフィードバック 授業内容：これまで学習してきた内容を確認するための中間テストに取り組み、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	30 回	授業テーマ：最終テストとコース全体の振り返り 授業内容：これまで学習してきた内容を確認するための最終テストに取り組み、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

アカデミック日本語Ⅱ

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：通 | 備考：留学生クラス 2

富樫 里真 (とがし りま)

■ 授業の概要

「アカデミック日本語」では大学での授業の理解および課題を行うために必要な日本語能力を育成する。「アカデミック日本語Ⅱ」の内容は読解である。さまざまな目的で書かれた文章の中身を理解し、多角的に考察できるようになることを目指す。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

■ 到達目標

一般目標：大学の授業で使う教科書や専門書、授業の課題を取り組むために必要な資料等を読んで、正しく内容を理解できる。

多様なテーマについて自ら考え、判断し、表現する力を育成する。

自分の読解能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習力を育てる。

個別目標：(1) 文章の構造を理解して、要旨を把握できる。

(2) 文章の論理的な構造(主張と根拠、事実と考察など)を正しく理解できる。

(3) 事実と意見を分けるなど文脈上の手がかりを見落とすことなく読むことができる。

(4) 読む目的に応じて適切な読解ストラテジーを選択し、使い分けられる。

(5) 書き手の意図を読み取り、正確に別の言葉で言い換えることができる。

(6) 自分の読解能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習し、正しくふりかえることができる。

■ 履修条件

留学生で N2 相当を対象とする。

各学期に日本語能力を測る資格試験を受験する。

課題の提出日を守る。

自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

■ 評価基準・方法

資格試験 40%、課題提出 30%とテスト 30%で評価する。

■ フィードバック方法

フィードバックは manaba と対面授業で行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施(実施内容)

あり(毎回グループワークを実施する。)

■ 授業での PC の利用(利用内容)

あり(manaba、respon を使用する。)

■ 教科書

西隈俊哉(編)『読む聞く考える日本語トレーニング』アスク

上田暢美、内田嘉美、桑島卓男、糠野永未子、吉田歌織、若林佐恵里、安達万里江『とりあえず日本語能力試験対策 読解 N2』ココ出版

■ 参考書

授業で随時紹介する。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外(事前・事後)の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、待ち合わせをする 授業内容：コースの概要と目的、学習の進め方、評価について理解し、事前テストを受ける。「待ち合わせをする」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：日本語で書かれたニュース、小説等を読む。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	16 回	授業テーマ：心理学を学ぶ、芸術を学ぶ 授業内容：「心理学を学ぶ」「芸術を学ぶ」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2 回	授業テーマ：本を選ぶ、荷物を受け取る 授業内容：「本を選ぶ」「荷物を受け取る」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	17 回	授業テーマ：旅の話、仕事の話 授業内容：「旅の話」「仕事の話」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3 回	授業テーマ：外食をする、料理を作る 授業内容：「外食をする」「料理を作る」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	18 回	授業テーマ：進路の話、大切な人 授業内容：「進路の話」「大切な人」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4 回	授業テーマ：電車を利用する、薬の使い方を確認する 授業内容：「電車を利用する」「薬の使い方を確認する」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	19 回	授業テーマ：お悩み相談、開発秘話 授業内容：「お悩み相談」「開発秘話」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5 回	授業テーマ：生活のルールを確認する、イベント 授業内容：「生活のルールを確認する」「イベント」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	20 回	授業テーマ：第 4 回 N2 読解 授業内容：「とりあえず日本語能力試験対策読解 N2」の第 4 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6 回	授業テーマ：第 1 回 N2 読解 授業内容：「とりあえず日本語能力試験対策読解 N2」の第 1 回を練習する。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	21 回	授業テーマ：街角インタビュー、評論 授業内容：「街角インタビュー」「評論」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
7 回	授業テーマ：事故、地域 授業内容：「事故」「地域」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	22 回	授業テーマ：動物の気持ち、童話 授業内容：「動物の気持ち」「童話」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

8 回	授業テーマ：災害、トレンド 授業内容：「災害」「トレンド」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	23 回	授業テーマ：タイムスリップ 授業内容：「タイムスリップ」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9 回	授業テーマ：第 2 回 N2 読解 授業内容：「とりあえず日本語能力試験対策読解 N2」の第 2 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	24 回	授業テーマ：ラブストーリー 授業内容：「ラブストーリー」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10 回	授業テーマ：トラブル、政治 授業内容：「トラブル」「政治」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	25 回	授業テーマ：第 5 回 N2 読解 授業内容：「とりあえず日本語能力試験対策読解 N2」の第 5 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11 回	授業テーマ：国際、仕事の連絡 授業内容：「国際」「仕事の連絡」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	26 回	授業テーマ：未来の世界 授業内容：「未来の世界」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12 回	授業テーマ：第 3 回 N2 読解 授業内容：「とりあえず日本語能力試験対策読解 N2」の第 3 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	27 回	授業テーマ：夢の中 授業内容：「夢の中」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13 回	授業テーマ：業務の説明、アンケート結果の分析 授業内容：「業務の説明」「アンケート結果の分析」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	28 回	授業テーマ：時代劇 授業内容：「時代劇」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14 回	授業テーマ：企画会議、調べたことの発表 授業内容：「企画会議」「調べたことの発表」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	29 回	授業テーマ：怪談 授業内容：「怪談」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15 回	授業テーマ：実験結果の発表、中間テストとフィードバック 授業内容：「実験結果の発表」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。これまで学習してきた内容を確認するための中間テストに取り組み、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	30 回	授業テーマ：最終テストとコース全体の振り返り 授業内容：これまで学習してきた内容を確認するための最終テストに取り組み、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

アカデミック日本語Ⅱ

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：通 | 備考：MGO 留学生サポートプログラム用クラス(留 H)

高橋 亜里沙 (たかはし ありさ)

■ 授業の概要

留学生の社会的自立、職業的自立を促すため日本語能力に応じた日本語教育およびキャリア教育を行う「MGO 留学生サポートプログラム」の一環として実施する科目である。日本で仕事をすすめるうえで必要なジェネリックスキルの一つである日本語コミュニケーション能力を育成する。アカデミック日本語Ⅱの内容は読解である。ビジネスにかかわる新聞記事によく見られる語彙・表現の習得、未知語への対応のしかたなどの練習を通じて正確な理解を身に付ける。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○)

一般目標：日常的なビジネス文書、ビジネスに関する新聞の資料を読み、内容を正確に理解できる。

個別目標：(1)日本語で新聞記事を正確に読むことができる。

(2)ビジネスにかかわる資料を読んで、企画を提案するプレゼンテーションができる。

(3)他者と意見を交換し、さまざまな価値観、考え方について比較し、対照できる。

■ 履修条件

MGO 留学生サポートプログラムに登録済みで N1 を取得している。

manaba からの連絡を漏らさず確認し、課題の提出期限を守る。

各学期にビジネス日本語能力を客観的に測る資格試験を受験する。

自分のビジネス日本語能力を客観的に把握し、弱点を補う努力をする。

■ 評価基準・方法

資格試験 40%、テスト 30%、課題提出 30%で評価する。

■ フィードバック方法

フィードバックは manaba と対面授業で行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (ほぼ毎回、他者と協働する。)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (manaba、respon を使用する。)

■ 教科書

澁川晶・高橋紗弥子・庵功雄『留学生のためのジャーナリズムの日本語—新聞・雑誌で学ぶ重要語彙と表現—』スリーエーネットワーク

近藤彩・品田潤子・金孝卿・内海美也子『課題達成のプロセスで学ぶビジネスコミュニケーション (改訂新版)』ココ出版

■ 参考書

授業の中で随時紹介する。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：ガイダンス、事前テスト 授業内容：授業の内容、進め方について説明を聞き、これからどんなことを学習するのかイメージし、目的意識を持って学習を進められるよう動機づけを行う。 事前学修 2.0hr：シラバスを読んでコースの内容を把握する。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	16 回	授業テーマ：企業の求める人材 授業内容：仕事で成果を上げるためのスキルについて日本と自国の共通点を見出す。自分の専門分野や関心の範囲で企業ガイダンスや説明会資料を読み、企業の求める人材を理解する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2 回	授業テーマ：体に関連のある語彙・表現 授業内容：体に関連のある語彙・表現が含まれた文章を読み、学習項目を確認する。表記、意味、使い方を学習したあと、新聞記事を読んで実例に触れながら意味を推測する練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	17 回	授業テーマ：企業ガイダンス 授業内容：企業ガイダンスを聞いて、重要事項を漏らさずノートをとる練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3 回	授業テーマ：体に関連のある語彙・表現が含まれた読解 授業内容：体に関連のある語彙・表現の知識を整理する。体に関連のある語彙・表現の知識、意味推測のストラテジーを生かして、長めの新聞記事を読む練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	18 回	授業テーマ：会社概要の調査 授業内容：企業のパンフレット、企業のホームページ等ある程度長い文章にざっと目を通して読み、ポイントを理解する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4 回	授業テーマ：背景知識が必要な語彙・表現(1)身近なものに関連のある語彙・表現 授業内容：身近なものに関連のある語彙・表現が含まれた文章を読み、学習項目を確認する。表記、意味、使い方を学習したあと、新聞記事を読んで実例に触れながら意味を推測する練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	19 回	授業テーマ：就職のための提出書類 授業内容：長所や短所をはじめ簡単な自己 PR 文を就職のための提出資料に書き、クラスメートと評価しあう。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5 回	授業テーマ：身近なものに関連のある語彙・表現を含んだ読解 授業内容：身近なものに関連のある語彙・表現の知識を整理する。身近なものに関連のある語彙・表現の知識、意味推測のストラテジーを生かして、長めの新聞記事を読む練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	20 回	授業テーマ：会議の内容 授業内容：参加した会議の内容を理解して、参加者から出たいろいろな情報や議論をまとめて議事録に書く練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6 回	授業テーマ：背景知識が必要な語彙・表現(2)戦いに関連のある語彙・表現 授業内容：戦いに関連のある語彙・表現語彙・表現が含まれた文章を読み、学習項目を確認する。表記、意味、使い方を学習したあと、新聞記事を読んで実例に触れながら意味を推測する練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	21 回	授業テーマ：図表の理解 授業内容：社内会議などで企業の販売実績や市場の動向を示すグラフを見ながら、現状を理解する練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

7 回	授業テーマ：戦いに関連のある語彙・表現を含んだ読解 授業内容：戦いに関連のある語彙・表現の知識を整理する。戦いに関連のある語彙・表現の知識、意味推測のストラテジーを生かして、長めの新聞記事を読む練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	22 回	授業テーマ：会議内容の整理と報告 授業内容：参加した会議の内容を理解して、参加していない人に明瞭で簡潔なメールを書いて報告する練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
8 回	授業テーマ：背景知識が必要な語彙・表現(3)社会的背景を持つ語彙・表現 授業内容：社会的背景を持つ語彙・表現が含まれた文章を読み、学習項目を確認する。表記、意味、使い方を学習したあと、新聞記事を読んで実例に触れながら意味を推測する練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	23 回	授業テーマ：SWOT 分析(1)手順 授業内容：マーケティングにおける SWOT 分析の方法を学習し、ビジネスに関する記事を特定の視点から分析する練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9 回	授業テーマ：社会的背景を持つ語彙・表現を含んだ読解 授業内容：社会的背景を持つ語彙・表現の知識を整理する。社会的背景を持つ語彙・表現の知識、意味推測のストラテジーを生かして、長めの新聞記事を読む練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	24 回	授業テーマ：SWOT 分析(2)資料の収集と分析 授業内容：自らの関心に従って企業の一つ決め、新聞記事、雑誌記事、企業のホームページの情報を集める。そのうえで、SWOT 分析を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10 回	授業テーマ：もとの形から変化している語彙・表現 授業内容：もとの形から変化している語彙・表現が含まれた文章を読み、学習項目を確認する。表記、意味、使い方を学習したあと、新聞記事を読んで実例に触れながら意味を推測する練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	25 回	授業テーマ：戦略 授業内容：SWOT 分析の結果から、問題解決のための戦略を考える。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11 回	授業テーマ：もとの形から変化している語彙・表現を含んだ読解 授業内容：もとの形から変化している語彙・表現の知識を整理する。もとの形から変化している語彙・表現の知識、意味推測のストラテジーを生かして、長めの新聞記事を読む練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	26 回	授業テーマ：戦略の根拠 授業内容：戦略の根拠を説明するための資料を集める。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12 回	授業テーマ：今後の学習にむけて 授業内容：これまで学習したことを振り返りながら長文を読み、「慣用表現」「時間を表す表現」「カギ括弧のついたことば」「筆者の価値観を表す表現」などにも注目して読む練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	27 回	授業テーマ：原稿の作成 授業内容：プレゼンテーションで受け手に与える影響を考えイメージしながら、伝えること、その表現方法について準備する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13 回	授業テーマ：総合練習 授業内容：これまで学習してきたストラテジーを用いて比較的長い新聞記事を読む練習を行う。内容理解を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	28 回	授業テーマ：プレゼンテーション資料の作成 授業内容：集めた情報や企画のアイデアを整理し、わかりやすいプレゼンテーションの資料を作る。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14 回	授業テーマ：現代社会ニュースの紹介 授業内容：特別な立場や視点から取り上げた現代社会に関する複数の新聞記事を読む。共通点を見抜き、含意された意見や立場を比較しながら詳細に内容を報告する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	29 回	授業テーマ：発表と他者評価 授業内容：用意したプレゼンテーションをはっきりとした声でわかりやすく伝える。プレゼンテーションで話し手の発話を正しく理解したかどうか確認するための質問をしたり説明が曖昧だった部分に対して指摘をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15 回	授業テーマ：中間テスト・フィードバック 授業内容：これまで学習したことをある程度長く複雑な文章の中でも理解できるかどうか中間テストを行う。その後、解答と解説等フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	30 回	授業テーマ：コース全体のふりかえり・最終テストとフィードバック 授業内容：コース全体を振り返り、自らの成長を実感する。これまで学習してきたことが定着しているかどうか最終テストで確かめたあと、解説を聞きフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

アカデミック日本語Ⅱ

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：通 | 備考：MGO 留学生サポートプログラム用クラス(留 S)

小野寺 樹璃 (おのでら じゅり)・行田 悦子 (こうだ えつこ)・荷見 美有 (はすみ みゆう)

■ 授業の概要

留学生の社会的自立、職業的自立を促すため日本語能力に応じた日本語教育およびキャリア教育を行う「MGO 留学生サポートプログラム」の一環として実施する科目である。日本で仕事をすうえに必要なジェネリックスキルの一つである日本語コミュニケーション能力を育成する。アカデミック日本語Ⅱの内容は読解である。さまざまな目的で書かれた長くて複雑な文章の中身を詳細に理解できるようになることを目指す。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ○)

一般目標：大学の授業で使う教科書や専門書、授業の課題を取り組むために必要な資料等を読んで、正しく内容を理解できる。
要点の把握を含め、理解のために多様な読解ストラテジーを駆使でき、文脈上の手がかりから理解の当否を確かめることができる。
自分の読解能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習力を育てる。

個別目標：(1) 文章の構造を理解して、要旨を把握できる。

- (2) 文章の論理的な構造(主張と根拠、事実と考察など)を正しく理解できる。
- (3) 事実と意見を分けるなど文脈上の手がかりを見落とすことなく読むことができる。
- (4) 読む目的に応じて適切な読解ストラテジーを選択し、使い分けすることができる。
- (5) 書き手の意図を読み取り、正確に別の言葉で言い換えることができる。
- (6) 自分の読解能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習し、正しくふりかえることができる。

■ 履修条件

MGO 留学生サポートプログラムに登録済みで、N2 を取得している。

各学期に日本語能力を測定する資格試験を受験する。

manaba からの連絡を漏らさず確認し、課題の提出期限を守る。

自分の読解能力を客観的に把握し、弱点を補う努力をする。

■ 評価基準・方法

資格試験 40%、課題提出 30%とテスト 30%で評価する。

■ フィードバック方法

フィードバックは manaba と対面授業で行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (ほぼ毎回ペアワークもしくはグループワークがある。)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (ほぼ毎回 manaba、respon を使用する。)

■ 教科書

奥山貴之、宇津木奈津子、東会娟『考える人の上級日本語読解』凡人社

上田暢美、内田嘉美、桑島卓男、糠野永未子、吉田歌織、若林佐恵里、安達万里江『とくあえず日本語能力試験対策 読解 N1』ココ出版

■ 参考書

授業で随時紹介する。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：ガイダンス、事前テスト 授業内容：コースの概要と目的、学習の進め方、評価について理解し、事前テストを受ける。 事前学修 2.0hr：新聞等日本語の文章を読む。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	16 回	授業テーマ：貿易の基本原則—比較優位 授業内容：文章「貿易の基本原則—比較優位」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2 回	授業テーマ：ゲームの今と将来 授業内容：文章「ゲームの今と将来」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	17 回	授業テーマ：グローバル化とどう向き合うか 授業内容：文章「グローバル化とどう向き合うか」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3 回	授業テーマ：ゲームは悪影響を及ぼすのか？ 授業内容：文章「ゲームは悪影響を及ぼすのか？」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	18 回	授業テーマ：ある熟年夫婦の関係性 授業内容：文章「ある熟年夫婦の関係性」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4 回	授業テーマ：私の名は。 授業内容：文章「私の名は。」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	19 回	授業テーマ：女性の働き方 授業内容：文章「女性の働き方」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5 回	授業テーマ：多言語状況を考える 授業内容：文章「多言語状況を考える」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	20 回	授業テーマ：第 4 回 N1 読解 授業内容：「とくあえず日本語能力試験対策読解 N1」の第 4 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6 回	授業テーマ：第 1 回 N1 読解 授業内容：「とくあえず日本語能力試験対策読解 N1」の第 1 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	21 回	授業テーマ：いのちの『終わり』は誰が決めるのか 授業内容：文章「いのちの『終わり』は誰が決めるのか」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

7 回	授業テーマ：幸福度の低い日本の子ども 授業内容：文章「幸福度の低い日本の子ども」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	22 回	授業テーマ：いのちを“つくって”もいいですか 授業内容：文章「いのちを“つくって”もいいですか」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
8 回	授業テーマ：「自尊感情を高めよう」を再考 授業内容：文章「自尊感情を高めよう」を再考」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	23 回	授業テーマ：科学は魔法？ 授業内容：文章「科学は魔法？」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9 回	授業テーマ：第 2 回 N1 読解 授業内容：「とりあえず日本語能力試験対策読解 N1」の第 2 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	24 回	授業テーマ：科学と社会の関係が変わるとき 授業内容：文章「科学と社会の関係が変わるとき」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10 回	授業テーマ：高度経済成長期の日本 授業内容：文章「高度経済成長期の日本」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	25 回	授業テーマ：第 5 回 N1 読解 授業内容：「とりあえず日本語能力試験対策読解 N1」の第 5 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11 回	授業テーマ：高持続可能な社会 授業内容：文章「高持続可能な社会」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	26 回	授業テーマ：研究とは—研究は勉強とまったく違う 授業内容：文章「研究とは—研究は勉強とまったく違う」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12 回	授業テーマ：第 3 回 N1 読解 授業内容：「とりあえず日本語能力試験対策読解 N1」の第 3 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	27 回	授業テーマ：フィールドワーク研究の意義 授業内容：文章「フィールドワーク研究の意義」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13 回	授業テーマ：人生の先輩が教えるキャリアの作り方 授業内容：文章「人生の先輩が教えるキャリアの作り方」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	28 回	授業テーマ：レジュメ作成 授業内容：レジュメ作成例を参考にしながらレジュメを作成する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14 回	授業テーマ：変化するキャリア観—自分らしいキャリアとは 授業内容：文章「変化するキャリア観—自分らしいキャリアとは」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	29 回	授業テーマ：レジュメ発表 授業内容：作成したレジュメの発表を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15 回	授業テーマ：中間テストとフィードバック 授業内容：これまで学習してきた内容を確認するための中間テストに取り組み、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	30 回	授業テーマ：最終テストとコース全体の振り返り 授業内容：これまで学習してきた内容を確認するための最終テストに取り組み、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

アカデミック日本語Ⅲ

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：通 | 備考：留学生クラス

範 弘宇 (はん こうす)

■ 授業の概要

アカデミック日本語では、大学での授業や課題を行うために必要な日本語能力を育成する。アカデミック日本語Ⅲの内容は「聴解」と「漢字」である。「聴解」はニュースを中心に学習する。「漢字」は大学生活、社会における言語活動に必要な文字を学習する。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に取り組み、授業では小テストを実施する。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○)

一般目標：ニュースを正確に聞き取り、内容を正しく理解することができる。

聞いた内容をまとめて別の言葉で言い換え説明することができる。

大学生活に必要な日本語を理解するために必要な漢字を読んだり書いたりすることができる。

個別目標：(1)一般的なニュースを聞き、内容を正しく理解できる。

(2)聞いた内容をまとめて別の言葉で言い換えることができる。

(4)講義に必要な漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。

(5)自分の聴解能力、漢字能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習を実行し、正しくふりかえることができる。

■ 履修条件

留学生で N 2 を取得している。

課題の提出日を守る。

自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

■ 評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 40%、授業外模擬試験 10%で評価する。

■ フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (ほぼ毎回グループワークで他者と協働する。)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (ほぼ毎回 manaba、respon を使用する。)

■ 教科書

佐藤尚子、佐々木仁子『留学生のための漢字の教科書 上級 1000[改訂版]』国書刊行会

瀬川由美・紙谷幸子『改訂版 ニュースの日本語聴解 50 中級後半～上級レベル』スリーエーネットワーク

藤田朋世、塩川絵里子、青木幸子『スピードマスター聴解 N1』J リサーチ出版

■ 参考書

授業の中で随時紹介する。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、経済・金融1 (聴解)、入国手続き (漢字) 授業内容：授業の概要と目的、学習の進め方、評価について説明する。経済・金融1のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習をする。入国手続きにかかわる漢字を学習する。 事前学修 2.0hr：初級・中級で学習した漢字の上級での読み方を確認する。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル1を練習する。	16 回	授業テーマ：社会・生活1 (聴解)、自然と災害 (漢字) 授業内容：社会・生活1のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。自然と災害に関わる漢字を学習する。JLPT の課題理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル16を練習する。シャドーイング練習をする。
2 回	授業テーマ：経済・金融2 (聴解)、在留カード (漢字) 授業内容：経済・金融2のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。JLPT の課題理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。在留カードに関する漢字を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル2を練習する。シャドーイング練習をする。	17 回	授業テーマ：社会・生活2 (聴解)、事件 (漢字) 授業内容：社会・生活2のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。事件に関わる漢字を学習する。JLPT の課題理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル17を練習する。シャドーイング練習をする。
3 回	授業テーマ：経済・金融3 (聴解)、大学 (漢字) 授業内容：経済・金融3のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。JLPT の課題理解の練習をする。大学に関する漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル3を練習する。シャドーイング練習をする。	18 回	授業テーマ：社会・生活3 (聴解)、事故・裁判 (漢字) 授業内容：社会・生活3のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。事故・裁判に関わる漢字を学習する。JLPT のポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル18を練習する。シャドーイング練習をする。
4 回	授業テーマ：経済・金融4 (聴解)、学生生活 (漢字) 授業内容：経済・金融4のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。学生生活に関わる漢字を練習する。JLPT のポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル4を練習する。シャドーイング練習をする。	19 回	授業テーマ：社会・生活4 (聴解)、政治・経済 (漢字) 授業内容：社会・生活4のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。政治・経済に関わる漢字を学習する。JLPT のポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル19を練習する。シャドーイング練習をする。
5 回	授業テーマ：経済・金融5 (聴解)、就職活動 I (漢字) 授業内容：経済・金融5のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。就職活動 I に関わる漢字を練習する。JLPT のポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル5を練習する。シャドーイング練習をする。	20 回	授業テーマ：社会・生活5 (聴解)、国際・スポーツ (漢字) 授業内容：社会・生活5のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。国際・スポーツに関わる漢字を学習する。JLPT の概要理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル20を練習する。シャドーイング練習をする。
6 回	授業テーマ：経済・金融6 (聴解)、就職活動 II (漢字) 授業内容：経済・金融6のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。就職活動 II に関する漢字を学習する。JLPT の概要理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル6を練習する。シャドーイング練習をする。	21 回	授業テーマ：社会・生活6 (聴解)、社会・産業 (漢字) 授業内容：社会・生活6のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。社会・産業に関わる漢字を学習する。JLPT の概要理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル21を練習する。シャドーイング練習をする。

7 回	授業テーマ：経済・金融7(聴解)、地名(漢字) 授業内容：経済・金融7のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。地名に関わる漢字を学習する。JLPTの概要理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う 事後学修 2.0hr：漢字ドリル7を練習する。シャドーイング練習をする。	22 回	授業テーマ：社会・生活7(聴解)、芸術(漢字) 授業内容：社会・生活7のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。芸術に関わる漢字を学習する。JLPTの即時応答の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル22を練習する。シャドーイング練習をする。
8 回	授業テーマ：経済・金融8(聴解)、歴史(漢字) 授業内容：経済・金融8のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。歴史に関わる漢字を学習する。JLPTの即時応答の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル8を練習する。シャドーイング練習をする。	23 回	授業テーマ：社会・生活8(聴解)、農業(漢字) 授業内容：社会・生活8のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。農業に関わる漢字を学習する。JLPTの即時応答の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル23を練習する。シャドーイング練習をする。
9 回	授業テーマ：経済・金融9(聴解)、日本文化(漢字) 授業内容：経済・金融9のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。日本文化に関する漢字を学習する。JLPTの即時応答の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル9を練習する。シャドーイング練習をする。	24 回	授業テーマ：社会・生活9(聴解)、生物学Ⅰ(漢字) 授業内容：社会・生活9のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。生物学Ⅰに関わる漢字を学習する。JLPTの統合理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル24を練習する。シャドーイング練習をする。
10 回	授業テーマ：経済・金融10(聴解)、世界遺産(漢字) 授業内容：経済・金融10のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。世界遺産に関わる漢字を練習する。JLPTの統合理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル10を練習する。シャドーイング練習をする。	25 回	授業テーマ：社会・生活10(聴解)、生物学Ⅱ(漢字) 授業内容：社会・生活10のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。生物学Ⅱに関わる漢字を学習する。JLPTの統合理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル25を練習する。シャドーイング練習をする。
11 回	授業テーマ：経済・金融11(聴解)、日常語彙Ⅰ(漢字) 授業内容：経済・金融11のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。日常語彙Ⅰに関わる漢字を学習する。JLPTの統合理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル11を練習する。シャドーイング練習をする。	26 回	授業テーマ：社会・生活11(聴解)、漢語の語構成(漢字) 授業内容：社会・生活11のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。漢語の語構成に関わる漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル26を練習する。シャドーイング練習をする。
12 回	授業テーマ：聴解の模擬試験とフィードバック、経済・金融12(聴解)、日常語彙Ⅱ(漢字) 授業内容：経済・金融12のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。日常語彙Ⅱに関わる漢字を練習する。聴解能力がどのくらいあるか測るためのテストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル12を練習する。シャドーイング練習をする。	27 回	授業テーマ：社会・生活12(聴解)、熟語の読み方(漢字) 授業内容：社会・生活12のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。熟語の読み方にかかわる漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル27を練習する。シャドーイング練習をする。
13 回	授業テーマ：経済・金融13(聴解)、旅行(漢字) 授業内容：経済・金融13のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。旅行に関する漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル13を練習する。シャドーイング練習をする。	28 回	授業テーマ：聴解の模擬試験とフィードバック、社会・生活13(聴解)、様子・態度(漢字) 授業内容：社会・生活13のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。様子・態度に関わる漢字を学習する。聴解能力がどのくらいあるか測るためにテストを行ったあと、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル28を練習する。シャドーイング練習をする。
14 回	授業テーマ：経済・金融14(聴解)、人間の体(漢字) 授業内容：経済・金融14のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。人間の体に関わる漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル14を練習する。	29 回	授業テーマ：社会・生活14(聴解)、心情(漢字) 授業内容：社会・生活14のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。心情に関わる漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル29を練習する。
15 回	授業テーマ：経済・金融15(聴解)、医療(漢字)、中間テストとフィードバック 授業内容：経済・金融15のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。医療に関わる漢字を学習する。これまで学習した聴解の知識とスキルを整理し、中間テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル15を練習する。	30 回	授業テーマ：まとめ・総合練習、社会・生活15(聴解)、状態(漢字)、最終テストとフィードバック 授業内容：社会・生活15のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。状態に関わる漢字を学習する。これまで学習した聴解の知識とスキルを整理する。最終テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル30を練習する。

アカデミック日本語Ⅲ

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：通 | 備考：留学生クラス 2

林 苗 (りん みょう)

■ 授業の概要

アカデミック日本語では、大学での授業や課題を行うために必要な日本語能力を育成する。アカデミック日本語Ⅲの内容は「聴解」と「漢字」である。「聴解」はニュースを中心に学習する。「漢字」は大学生活、社会における言語活動に必要な文字を学習する。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に取り組み、授業では小テストがある。

■ 到達目標

一般目標：ニュースを正確に聞き取り、内容を正しく理解することができる。

聞いた内容をまとめて別の言葉で言い換え説明することができる。

大学生活に必要な日本語を理解するために必要な漢字を読んだり書いたりすることができる。

個別目標：(1)一般的なニュースを聞き、内容を正しく理解できる。

(2)聞いた内容をまとめて別の言葉で言い換えることができる。

(3)講義に必要な漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。

(4)自分の聴解能力、漢字能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習を実行し、正しくふりかえることができる。

■ 履修条件

留学生で、N2 相当を対象とする。

課題の提出日を守る。

自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

■ 評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 40%、模擬試験 10%で評価する。

■ フィードバック方法

学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり（毎回グループワークで他者と協働する。）

■ 授業での PC の利用（利用内容）

あり（毎回 manaba、respon を使用する。）

■ 教科書

岡まゆみ(監)『上級へのとびら きたえよう漢字力 上級へつなげる基礎漢字 800』くろしお出版

瀬川由美・紙谷幸子『改訂版 中級からはじめるニュースの日本語聴解 40』スリーエーネットワーク

棚橋明美・杉山ますよ・野原ゆかり『N2 聴解スピードマスター』Jリサーチ出版

■ 参考書

授業の中で随時紹介する。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、第1課読み(漢字)、ニュース1(聴解) 授業内容：授業の概要と目的、学習の進め方、評価について説明を聞いて理解する。第1課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース1を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。 事前学修 2.0hr：これまで学習してきた漢字の知識を整理し、読み方と書き方を確認する。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	16 回	授業テーマ：第8課書き(漢字)、ニュース26(聴解) 授業内容：第8課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース26を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPTの課題理解の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
2 回	授業テーマ：第1課書き(漢字)、ニュース2(聴解) 授業内容：第1課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース2を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。JLPTの課題理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。	17 回	授業テーマ：第9課読み(漢字)、ニュース27(聴解) 授業内容：第9課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース27を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPTの課題理解の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。
3 回	授業テーマ：第2課読み(漢字)、ニュース3(聴解) 授業内容：第2課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース3を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。JLPTの課題理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。	18 回	授業テーマ：第9課書き(漢字)、ニュース28(聴解) 授業内容：第9課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース28を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。
4 回	授業テーマ：第2課書き(漢字)、ニュース4(聴解) 授業内容：第2課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース4を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。JLPTのポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。	19 回	授業テーマ：第10課読み(漢字)、ニュース29(聴解) 授業内容：第10課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース29を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPTのポイント理解の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。
5 回	授業テーマ：第3課読み(漢字)、ニュース5(聴解) 授業内容：第3課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース5を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。JLPTのポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。	20 回	授業テーマ：第10課書き(漢字)、ニュース30(聴解) 授業内容：第10課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース30を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPTのポイント理解の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。
6 回	授業テーマ：第3課書き(漢字)、ニュース6(聴解) 授業内容：第3課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース6を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPTの概要理解の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。	21 回	授業テーマ：第11課読み(漢字)、ニュース31(聴解) 授業内容：第11課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース31を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPTの概要理解の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。

アカデミック日本語Ⅲ

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：通 | 備考：MGO 留学生サポートプログラム用クラス(留 H)

沈 伽迪 (ちん かてき)

■ 授業の概要

留学生の社会的自立、職業的自立を促すため日本語能力に応じた日本語教育およびキャリア教育を行う「MGO 留学生サポートプログラム」の一環として実施する科目である。日本で仕事をするうえで必要なジェネリックスキルの一つである日本語コミュニケーション能力を育成する。アカデミック日本語Ⅲの内容は聴解、聴読解である。スピーチ、講演会、顧客による説明などを理解したり、聞きながら資料を見て要求された課題を達成することを目指す。また、社内外の人の担当領域および一般的な話題について自然なコミュニケーションをとることを目指す。毎回、事前学修、事後学修がある。授業では小テストをほぼ毎回、実施する。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○)

一般目標：就労場面でのやりとり、独話を正確に聞き取ることができ、聞いた内容をまとめて別の言葉で言い換えて説明することができる。社内外の人とその場にふさわしい丁寧さで円滑にコミュニケーションをとることができる。

個別目標：(1) 標準的な日本語で特殊な慣用表現などが使われていなければ、講演会、スピーチ、顧客による説明などを理解することができる。

(2) 自社や競合他社のニュースを聞いて理解することができる。

(3) 社内外の人と担当領域から一般的なものまで幅広い話題について流暢かつ正確に、言いたいことを表現できる。

(4) その場にふさわしい丁寧さで自然なコミュニケーションをとることができる。

■ 履修条件

MGO 留学生サポートプログラムに登録済みで N1 を取得している。

manaba からの連絡を漏らさず確認し、課題の提出期限を守る。

自分のビジネス日本語能力を客観的に把握し、弱点を補う努力をする。

■ 評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 50%によって評価する。

■ フィードバック方法

対面授業および manaba でフィードバックを行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (ほぼ毎回ペアもしくはグループワークがある。)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (ほぼ毎回 manaba、respon を使用する。)

■ 教科書

小山三佳・田川麻実『学生・留学生のためのキャリアプランニング』実教出版

小野塚 若菜・篠崎 佳子・島 恭子・吉沢 由香里『改訂版ビジネス日本語 オール・イン・ワン問題集』ジャパンタイムズ

■ 参考書

随時紹介する。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：ガイダンス、事前テスト 授業内容：ビジネスに必要な日本語能力とはどのようなものかを確認する。そのうえで、現時点でどの程度のビジネス日本語能力があるのか事前テストで測る。テストの成績をもとに、どのように能力を伸ばしていくか計画を立てる。 事前学修 2.0hr：BJT ビジネス日本語能力テストについて調べる。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	16 回	授業テーマ：社内一斉メール、会議準備 授業内容：メールを読んで、基本的な様式や独特の表現、言い回しを学習する。会議準備に関する話を聞き取り、公的場面での話し方、親しい同僚との話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2 回	授業テーマ：就職活動 授業内容：就職活動において選考資料となる提出書類および面接試験を取り上げ、エントリーシート等の書類作成方法や面接時の話し方について学ぶ。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	17 回	授業テーマ：電話とお詫び 授業内容：お詫びに関する文書を読んで、基本的な様式や独特の表現、言い回しを学習する。電話でのやりとりを聞き取り、公的場面での話し方、親しい同僚との話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3 回	授業テーマ：入社 授業内容：入社後の業務場面を想定し、初対面の相手との自己紹介において、聞き手の記憶に残る一言を伝える練習を行う。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	18 回	授業テーマ：お知らせ文書 授業内容：お知らせ文書を読んで、基本的な様式や独特の表現、言い回しを学習する。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4 回	授業テーマ：基本的な業務 授業内容：基本的な業務の一つとして伝言を取り上げる。また、稟議についても学ぶ。稟議は、社内で物品を購入するときなどに説明を書類に書いて承認を得るまでの一連の流れを学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	19 回	授業テーマ：キャッチコピー、同僚との雑談 授業内容：同僚との雑談を聞き取り、親しい同僚との話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞き取って、要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5 回	授業テーマ：報告 授業内容：上司・先輩・同僚への報告を取り上げる。共通の目標に向けて円滑に連携できるよう、分かりやすく伝える方法を学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	20 回	授業テーマ：値下げ交渉 授業内容：値下げ交渉のやりとりを聞き取り、公的場面での話し方、親しい同僚との話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6 回	授業テーマ：謝罪 授業内容：謝罪を取り上げる。業務上のミスが生じた際に、早い段階で上司に事実を正確に報告し、適切に謝罪する方法を学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	21 回	授業テーマ：営業 授業内容：営業のやりとりを聞き、公的場面での話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

7 回	授業テーマ：インターンシップの受け入れ 授業内容：インターンシップの受け入れ側の仕事について取り上げる。会社側の立場に立って自社を紹介し、業務内容や職種への理解を促すとともに、企業活動におけるリスク管理について学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	22 回	授業テーマ：売り上げ 授業内容：売り上げに関する話を聞き取り、公的場面での話し方、親しい同僚との話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。売上に関わる文書を読んで、基本的な様式や独特の表現、言い回しを学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
8 回	授業テーマ：会議の準備 授業内容：会議の準備について取り上げる。会場予約、機器の設置、会議議題の決定、議事録の作成、資料の作成・配布、欠席者への対応など、会議運営に関わる一連の業務を学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	23 回	授業テーマ：個人情報 授業内容：個人情報に関する話を聞き取り、公的場面での話し方、親しい同僚との話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。個人情報に関する文書を読んで、基本的な様式や独特の表現、言い回しを学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9 回	授業テーマ：会議 授業内容：会議における報告および意思決定のための審議を取り上げる。議長の指示に従って発言や反対意見を述べる方法、ならびに議事録作成を含む一連のやりとりを学習する。これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	24 回	授業テーマ：顧客満足調査 授業内容：顧客満足調査に関する話を聞き取り、公的場面での話し方、親しい同僚との話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10 回	授業テーマ：取引 授業内容：取引について取り上げる。良好な関係構築を基盤としたコミュニケーションを重視し、正確な情報のやり取りを行う方法を学ぶとともに、不明点を残さないために相手の発言を引用して確認・質問する工夫を学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	25 回	授業テーマ：出張 授業内容：出張に関する文書を読んで、基本的な様式や独特の表現、言い回しを学習する。出張に関する話の聞き取り、話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11 回	授業テーマ：苦情 授業内容：苦情について取り上げる。苦情対応を誤ると大きな問題に発展する可能性があることを踏まえ、より良いコミュニケーションに基づく適切な対応方法を学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	26 回	授業テーマ：販売員増員の提案、パッケージ案 授業内容：販売員増員の提案に関する話を聞き取り、話し方を学ぶ。パッケージ案に関する書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12 回	授業テーマ：商談 授業内容：商談について取り上げる。相手に必要な情報を正確に伝えるときにも、相談や注文を受けた際の対応方法や不明点がある場合の聞き返し方について学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	27 回	授業テーマ：インタビュー 授業内容：インタビューを依頼する文書を読んで、基本的な様式や独特の表現、言い回しを学習する。インタビューを題材として話を聞き取り、公的場面で求められる話し方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13 回	授業テーマ：社会貢献 授業内容：企業が果たすべき社会的責任について取り上げる。社会貢献の目的を理解するとともに、さまざまな活動を行う際に求められるコミュニケーションについて学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	28 回	授業テーマ：日程調整、衣料品業界 授業内容：日程調整に関する文書を読んで、基本的な様式や独特の表現、言い回しを学習する。日程調整、衣料品業界に関するやりとりを聞き取り、公的場面で求められる話し方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14 回	授業テーマ：実力判定テスト、フィードバック 授業内容：これまでに学習した内容の定着状況を実力判定テストによって確認し、その結果から得られた強み・弱みをもとに学習を振り返るとともに、教員からのフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	29 回	授業テーマ：展示会、業界フローチャート 授業内容：展示会に関わる資料、業界フローチャートを見ながら話を聞きとる練習、要求された課題を処理する練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15 回	授業テーマ：中間テストとフィードバック 授業内容：中間テストとフィードバックを受け、現時点のビジネス能力を把握する。今後の学習計画を立てる。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	30 回	授業テーマ：最終テストとフィードバック 授業内容：学習内容の理解度を確認し、フィードバックを踏まえてコース全体を振り返り、社会生活への応用を検討する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

アカデミック日本語Ⅲ

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：通 | 備考：MGO 留学生サポートプログラム用クラス(留 S)

小野寺 樹璃 (おのでら じゅり)・高橋 亜里沙 (たかはし ありさ)・田川 麻央 (たがわ まお)

■ 授業の概要

留学生の社会的自立、職業的自立を促すため日本語能力に応じた日本語教育およびキャリア教育を行う「MGO 留学生サポートプログラム」の一環として実施する科目である。アカデミック日本語では、大学での授業や課題を行うために必要な日本語能力を育成する。アカデミック日本語Ⅲの内容は「聴解」と「漢字」である。「聴解」はニュースを中心に学習する。「漢字」は大学生活、社会における言語活動に必要な文字を学習する。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に取り組み、授業では小テストを実施する。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○)

一般目標：ニュースを正確に聞き取り、内容を正しく理解することができる。

聞いた内容をまとめて別の言葉で言い換え説明することができる。

大学生活に必要な日本語を理解するために必要な漢字を読んだり書いたりすることができる。

個別目標：(1)一般的なニュースを聞き、内容を正しく理解できる。

(2)聞いた内容をまとめて別の言葉で言い換えることができる。

(3)講義に必要な漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。

(4)自分の聴解能力、漢字能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習を実行し、正しくふりかえることができる。

■ 履修条件

MGO 留学生サポートプログラムに登録済で、N2 を取得している。

課題の提出日を守る。

自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

■ 評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 40%、授業外模擬試験 10%で評価する。

■ フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (ほぼ毎回グループワークで他者と協働する。)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (ほぼ毎回 manaba、respon を使用する。)

■ 教科書

佐藤尚子、佐々木仁子『留学生のための漢字の教科書 上級 1000[改訂版]』国書刊行会

瀬川由美・紙谷幸子『改訂版 ニュースの日本語聴解 50 中級後半～上級レベル』スリーエーネットワーク

藤田朋世、塩川給里子、青木幸子『スピードマスター聴解 N1』Jリサーチ出版

■ 参考書

授業の中で随時紹介する。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、経済・金融1 (聴解)、入国手続き (漢字) 授業内容：授業の概要と目的、学習の進め方、評価について説明する。経済・金融1のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習をする。入国手続きに関わる漢字を学習する。 事前学修 2.0hr：初級・中級で学習した漢字の上級での読み方を確認する。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル1を練習する。	16 回	授業テーマ：社会・生活1 (聴解)、自然と災害 (漢字) 授業内容：社会・生活1のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。自然と災害に関わる漢字を学習する。JLPT の課題理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル16を練習する。
2 回	授業テーマ：経済・金融2 (聴解)、在留カード (漢字) 授業内容：経済・金融2のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。JLPT の課題理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。在留カードに関わる漢字を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル2を練習する。シャドーイングをする。	17 回	授業テーマ：社会・生活2 (聴解) (聴解)、事件 (漢字) 授業内容：社会・生活2のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。事件に関わる漢字を学習する。JLPT の課題理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル17を練習する。シャドーイング練習をする。
3 回	授業テーマ：経済・金融3 (聴解)、大学 (漢字) 授業内容：経済・金融3のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。JLPT の課題理解の練習をする。大学に関わる漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル3を練習する。シャドーイング練習をする。	18 回	授業テーマ：社会・生活3 (聴解)、事故・裁判 (漢字) 授業内容：社会・生活3のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。事故・裁判に関わる漢字を学習する。JLPT のポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル18を練習する。シャドーイング練習をする。
4 回	授業テーマ：経済・金融4 (聴解)、学生生活 (漢字) 授業内容：経済・金融4のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。学生生活に関わる漢字を練習する。JLPT のポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル4を練習する。シャドーイング練習をする。	19 回	授業テーマ：社会・生活4 (聴解)、政治・経済 (漢字) 授業内容：社会・生活4のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。政治・経済に関わる漢字を学習する。JLPT のポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル19を練習する。シャドーイング練習をする。
5 回	授業テーマ：経済・金融5 (聴解)、就職活動 I (漢字) 授業内容：経済・金融5のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。就職活動 I に関わる漢字を練習する。JLPT のポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル5を練習する。シャドーイング練習をする。	20 回	授業テーマ：社会・生活5 (聴解)、国際・スポーツ (漢字) 授業内容：社会・生活5のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。国際・スポーツに関わる漢字を学習する。JLPT の概要理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル20を練習する。シャドーイング練習をする。

6 回	授業テーマ：経済・金融6(聴解)、就職活動Ⅱ(漢字) 授業内容：経済・金融6のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。就職活動Ⅱに関する漢字を学習する。JLPTの概要理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル6を練習する。シャドーイング練習をする。	21 回	授業テーマ：社会・生活6(聴解)、社会・産業(漢字) 授業内容：社会・生活6のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。社会・産業にかかわる漢字を学習する。JLPTの概要理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル21を練習する。シャドーイング練習をする。
7 回	授業テーマ：経済・金融7(聴解)、地名(漢字) 授業内容：経済・金融7のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。地名に関わる漢字を学習する。JLPTの概要理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル7を練習する。シャドーイング練習をする。	22 回	授業テーマ：社会・生活7(聴解)、芸術(漢字) 授業内容：社会・生活7のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。芸術に関わる漢字を学習する。JLPTの即時応答の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル22を練習する。シャドーイング練習をする。
8 回	授業テーマ：経済・金融8(聴解)、歴史(漢字) 授業内容：経済・金融8のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。歴史に関わる漢字を学習する。JLPTの即時応答の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル8を練習する。シャドーイング練習をする。	23 回	授業テーマ：社会・生活8(聴解)、農業(漢字) 授業内容：社会・生活8のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。農業に関わる漢字を学習する。JLPTの即時応答の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル23を練習する。シャドーイング練習をする。
9 回	授業テーマ：経済・金融9(聴解)、日本文化(漢字) 授業内容：経済・金融9のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。日本文化に関する漢字を学習する。JLPTの即時応答の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル9を練習する。シャドーイング練習をする。	24 回	授業テーマ：社会・生活9(聴解)、生物学Ⅰ(漢字) 授業内容：社会・生活9のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。生物学Ⅰに関わる漢字を学習する。JLPTの統合理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル24を練習する。シャドーイング練習をする。
10 回	授業テーマ：経済・金融10(聴解)、世界遺産(漢字) 授業内容：経済・金融10のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。世界遺産に関する漢字を学習する。JLPTの統合理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル10を練習する。シャドーイング練習をする。	25 回	授業テーマ：社会・生活10(聴解)、生物学Ⅱ(漢字) 授業内容：社会・生活10のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。生物学Ⅱに関わる漢字を学習する。JLPTの統合理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル25を練習する。シャドーイング練習をする。
11 回	授業テーマ：経済・金融11(聴解)、日常語彙Ⅰ(漢字) 授業内容：経済・金融11のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。日常語彙Ⅰに関わる漢字を学習する。JLPTの統合理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル11を練習する。シャドーイング練習をする。	26 回	授業テーマ：社会・生活11(聴解)、漢語の語構成(漢字) 授業内容：社会・生活11のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。漢語の語構成に関わる漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル26を練習する。シャドーイング練習をする。
12 回	授業テーマ：聴解の模擬試験とフィードバック、経済・金融12(聴解)、日常語彙Ⅱ(漢字) 授業内容：経済・金融12のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。日常語彙Ⅱに関わる漢字を学習する。聴解能力がどのくらいあるか測るためのテストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル12を練習する。シャドーイング練習をする。	27 回	授業テーマ：社会・生活12(聴解)、熟語の読み方(漢字) 授業内容：社会・生活12のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。熟語の読み方に関わる漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル27を練習する。シャドーイング練習をする。
13 回	授業テーマ：経済・金融13(聴解)、旅行(漢字) 授業内容：経済・金融13のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。旅行に関する漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル13を練習する。	28 回	授業テーマ：聴解の模擬試験とフィードバック、社会・生活13(聴解)、様子・態度(漢字) 授業内容：社会・生活13のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。様子・態度にかかわる漢字を学習する聴解能力がどのくらいあるか測るためにテストを行ったあと、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル28を練習する。シャドーイング練習をする。
14 回	授業テーマ：経済・金融14(聴解)、人間の体(漢字) 授業内容：経済・金融14のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。人間の体に関わる漢字を練習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル14を練習する。シャドーイング練習をする。	29 回	授業テーマ：社会・生活14(聴解)、心情(漢字) 授業内容：社会・生活14のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。心情に関わる漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル29を練習する。
15 回	授業テーマ：経済・金融15(聴解)、医療(漢字)、中間テストとフィードバック 授業内容：経済・金融15のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。医療に関わる漢字を練習する。これまで学習した聴解の知識とスキルを整理し、中間テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル15を練習する。	30 回	授業テーマ：まとめ・総合練習、社会・生活15(聴解)、状態(漢字)、最終テストとフィードバック 授業内容：社会・生活15のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。状態に関わる漢字を学習する。これまで学習した聴解の知識とスキルを整理する。最終テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル30を練習する。

アカデミック日本語Ⅳ

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：通 | 備考：留学生クラス

荷見 美有 (はすみ みゆう)

■ 授業の概要

アカデミック日本語では、大学での授業や課題を行うために必要な日本語能力を育成する。アカデミック日本語Ⅳの内容は語彙と作文である。複雑な話題について明確でしっかりとした構成の詳細なテキストを作る。自己の視点から意見を述べたり説明したりできるようになることを目指して、テキストを構成する字句、結束表現、文法表現等を学習する。毎回事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○)

一般目標：大学の学修に必要なレポートおよび文章を明瞭かつ論理的に書くことができる。

重要点を強調し、補助的事項、理由、関連する事例を付け加え、論点を展開し、適切な結論で終わることができる。

自分の語彙・文法表現能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習力を育てる。

個別目標：(1) 文章の種類によって適切な構造を持つ文章を書ける。

(2) 文章を書くための準備で、倫理的な行動を選択し、レポートに必要な資料を集められる。

(3) 文章を書くための準備で、資料を読んで正しく理解できる。文章を書く過程で他者との意見交換を通じて他者の視点を取り入れ、文章に反映させられる。

(4) 自分の作文能力、語彙能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習し、正しくふりかえることができる。

■ 履修条件

留学生で N2 相当を対象とする。

課題の提出期限を守る。

manaba による連絡を確認する。

自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

■ 評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 50%で評価する。

■ フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (ほぼ毎回、グループワークで他者と協働する。)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (ほぼ毎回、manaba、respon を使用する。)

■ 教科書

田中祐輔(編)『書き込み式』表現するための語彙文法練習ノート〈上〉一語/コロケーション/慣用句/表現文型』凡人社

田川麻央・徳田恵『プロセス重視で学ぶ日本語ライティング』DTP 出版

■ 参考書

友松悦子・宮本淳・和栗雅子『どんなときどう使う日本語表現文型辞典』アルク

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、レッスン 1 文字・語彙・コロケーション 授業内容：コースの概要と目的、学習の進め方、評価について理解する。事前テストを受ける。レッスン 1 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：これまでに学んだ単語を復習しておく。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 1 を練習する。	16 回	授業テーマ：レッスン 8 文型・文法・類義表現 授業内容：レッスン 8 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 16 を練習する。
2 回	授業テーマ：レッスン 1 文型・文法・類義表現 授業内容：レッスン 1 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 2 を練習する。	17 回	授業テーマ：まずやってみよう 授業内容：レポートを書くのに必要な知識は何か、どのようなレポートが求められるかを知り、学習意欲を高める。コース終了後のできるようになった自分をイメージする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 17 を練習する。
3 回	授業テーマ：レッスン 2 文字・語彙・コロケーション 授業内容：レッスン 2 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 3 を練習する。	18 回	授業テーマ：書き言葉 授業内容：レポートに必要な「書き言葉」を学習する。話し言葉と書き言葉の使い分けについて学び、書き換え練習を通じてレポートに必要な表現、言い回しを身に付ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 18 を練習する。
4 回	授業テーマ：レッスン 2 文型・文法・類義表現 授業内容：レッスン 2 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 4 を練習する。	19 回	授業テーマ：段落 授業内容：段落とは何か、段落内はどのような構成にするかを学習する。中心文と支持文を区別する練習や、中心文に対して支持文でどう具体的に書くかを練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 19 を練習する。
5 回	授業テーマ：レッスン 3 文字・語彙・コロケーション 授業内容：レッスン 3 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 5 を復習する。	20 回	授業テーマ：三段構成法 授業内容：序論本論結論の三段構成法を学習する。序論、本論、結論の見分け方、それぞれどのようなことを書くのかを知ったうえで、書く練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 20 を復習する。

6 回	授業テーマ：レッスン 3 文型・文法・類義表現 授業内容：レッスン 3 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 6 を練習する。	21 回	授業テーマ：アイデアの抽出 授業内容：レポートのテーマを考える。ブレンストーミングの方法を学習し、アイデアを書き出す。そのうえで自分のレポートのテーマを決定する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 21 を練習する。
7 回	授業テーマ：レッスン 4 文字・語彙・コロケーション 授業内容：レッスン 4 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 7 を練習する。	22 回	授業テーマ：資料検索 授業内容：図書館や新聞記事のデータベースなど資料の探し方、注意点を学習する。自分のテーマに関わる資料を探して読み、基礎知識を身に付ける。集めた資料を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 22 を練習する。
8 回	授業テーマ：レッスン 4 文型・文法・類義表現 授業内容：レッスン 4 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 8 を練習する。	23 回	授業テーマ：論理的つながりの検討 授業内容：論理的なつながりのある文章とはどのようなものかを学習する。クラスメートにレポートの構成について説明し、論理的につながっているかどうか評価してもらう。必要があれば、資料を増やしたり減らしたりする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 23 を練習する。
9 回	授業テーマ：レッスン 5 文字・語彙・コロケーション 授業内容：レッスン 5 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 9 を練習する。	24 回	授業テーマ：資料の引用 授業内容：資料の引用方法、注意点を学習する。集めた資料をもとに引用文を書く練習をして、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらう。必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 24 を練習する。
10 回	授業テーマ：レッスン 5 文型・文法・類義表現 授業内容：レッスン 5 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 10 を復習する。	25 回	授業テーマ：参考文献リストの書き方 授業内容：参考文献の書き方、注意点を学習する。集めた資料をもとに参考文献リストを書く練習をして、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらう。必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 25 を復習する。
11 回	授業テーマ：レッスン 6 文字・語彙・コロケーション 授業内容：レッスン 6 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 11 を練習する。	26 回	授業テーマ：図表の説明 授業内容：図や表の説明のしかた、注意点を学習する。集めた資料にある図や表を説明する文章を書き、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらう。必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 26 を練習する。
12 回	授業テーマ：レッスン 6 文型・文法・類義表現 授業内容：レッスン 6 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 12 を練習する。	27 回	授業テーマ：レポートの執筆 授業内容：これまで学習したレポートの書き方を思い出し、適切な表現を用いて、論理的で説得力のある原稿を執筆する。必要があれば資料を追加したり省いたりする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 27 を練習する。
13 回	授業テーマ：レッスン 7 文字・語彙・コロケーション 授業内容：レッスン 7 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 13 を練習する。	28 回	授業テーマ：題名の決定 授業内容：読み手に内容が伝わり読みたいと思わせるような題名の付け方を学習する。そのうえで、自分のレポートにふさわしい題名を付ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 28 を練習する。
14 回	授業テーマ：レッスン 7 文型・文法・類義表現 授業内容：レッスン 7 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 14 を練習する。	29 回	授業テーマ：課題レポートの評価 授業内容：書き上げたレポートをクラスメートと交換して読み、質疑応答をする。互いに評価をする。必要があれば、レポートを修正し、最終版を作成する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 29 を練習する。
15 回	授業テーマ：レッスン 8 文字・語彙・コロケーション、中間テストとフィードバック 授業内容：レッスン 8 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。中間テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 15 を復習する。	30 回	授業テーマ：まとめ・コース全体のふりかえり、最終テストとフィードバック 授業内容：レポートを完成するまでのプロセスを思い出し、コンセプトマップを作成する。クラスメートに作成したコンセプトマップを披露し、不足していることがあれば書き足す。最終テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 30 を練習する。

アカデミック日本語Ⅳ

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：通 | 備考：留学生クラス 2

高橋 亜里沙 (たかはし ありさ)

■ 授業の概要

日本で仕事をするうえで必要なジェネリックスキルの一つである日本語コミュニケーション能力を育成する。アカデミック日本語Ⅳの内容は読解と作文である。複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細なテキストを作り、自己の視点から説明できるようになることを目指して、テキストを構成する字句、結束表現、文法表現等を身に付ける。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

■ 到達目標

一般目標：大学の学修に必要なレポートおよび文章を明瞭かつ論理的に書くために必要な読解能力を身に付ける。

重要点を強調し、補助的事項、理由、関連する事例を付け加え、論点を展開し、適切な結論で終わるレポートを作成することができる。

自分の語彙・文法表現能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習力を育てる。

個別目標：(1) 文章の種類によって適切な構造を持つ文章を書ける。

(2) 文章を書くための準備で、倫理的な行動を選択し、レポートに必要な資料を集められる。

(3) 文章を書くための準備で、資料を読んで正しく理解できる。文章を書く過程で他者との意見交換を通じて他者の視点を取り入れ、文章に反映させられる。

(4) 自分の作文能力、語彙能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習し、正しくふりかえることができる。

(5) 資料を読み取るための読解能力を育成する。

■ 履修条件

留学生で N2 相当を対象とする。

課題の提出期限を守る。

manaba による連絡を確認する。

自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

■ 評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 50%で評価する。

■ フィードバック方法

フィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり（毎回グループワークで他者と協働する。）

■ 授業での PC の利用（利用内容）

あり（毎回 manaba、respon を使用する）

■ 教科書

松浦真理子・宮谷敦美・鈴木健司『日本語パワードリル N2 読解』ask

田川麻央・徳田恵『プロセス重視で学ぶ日本語ライティング』DTP 出版

■ 参考書

友松悦子・宮本淳・和栗雅子『どんなときどう使う日本語表現文型辞典』アルク

■ 授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：ガイダンス、第1回 授業内容：コースの概要と目的、学習の進め方、評価について理解する。事前テストを受ける。第1回の読解問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：これまで学んだ語彙を復習する。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	16 回	授業テーマ：第29回、まずやってみよう 授業内容：第29回の問題を練習し、読解力の定着を図る。レポートを書くのに必要な知識は何か、どのようなレポートが求められているかを知り、学習意欲を高める。コース終了後のできるようになった自分をイメージする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
2 回	授業テーマ：第2回、第3回 授業内容：第2回、第3回の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	17 回	授業テーマ：第30回、書き言葉 授業内容：第30回の問題を練習し、読解力の定着を図る。レポートに必要な「書き言葉」を学習する。話し言葉と書き言葉の使い分けについて学び、書き換え練習を通じてレポートに必要な表現、言い回しを身に付ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
3 回	授業テーマ：第4回、第5回 授業内容：第4回、第5回の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	18 回	授業テーマ：段落 授業内容：段落とは何か、段落内はどのような構成にするかを学習する。中心文と支持文を区別する練習や、中心文に対して支持文でどう具体的に書くかを練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
4 回	授業テーマ：集中トレーニング①、第6回 授業内容：集中トレーニング①、第6回の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	19 回	授業テーマ：三段構成法 授業内容：序論本論結論の三段構成法を学習する。序論、本論、結論の見分け方、それぞれのようなことを書くのかを知ったうえで、書く練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
5 回	授業テーマ：第7回、第8回 授業内容：第7回、第8回の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	20 回	授業テーマ：アイデアの抽出 授業内容：レポートのテーマを考える。ブレンストーミングの方法を学習し、アイデアを書き出す。そのうえで自分のレポートのテーマを決定する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
6 回	授業テーマ：第9回、第10回 授業内容：第9回、第10回の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	21 回	授業テーマ：資料検索 授業内容：図書館や新聞記事のデータベースなど資料の探し方、注意点を学習する。自分のテーマに関わる資料を探して読み、基礎知識を身に付ける。集めた資料を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。

7 回	授業テーマ：集中トレーニング②、第 11 回 授業内容：集中トレーニング②、第 11 回の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	22 回	授業テーマ：論理的つながりの検討 授業内容：論理的なつながりのある文章とはどのようなものかを学習する。クラスメートにレポートの構成について説明し、論理的につながっているかどうか評価してもらおう。必要があれば、資料を増やしたり減らしたりする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
8 回	授業テーマ：第 12 回、第 13 回、集中トレーニング③ 授業内容：第 12 回、第 13 回、集中トレーニング③の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	23 回	授業テーマ：資料の引用 授業内容：資料の引用方法、注意点を学習する。集めた資料をもとに引用文を書く練習をして、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらおう。必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
9 回	授業テーマ：第 14 回、第 15 回 授業内容：第 14 回、第 15 回の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	24 回	授業テーマ：参考文献リストの書き方 授業内容：参考文献の書き方、注意点を学習する。集めた資料をもとに参考文献リストを書く練習をして、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらおう。必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
10 回	授業テーマ：第 16 回、第 17 回 授業内容：第 16 回、第 17 回の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	25 回	授業テーマ：図表の説明 授業内容：図や表の説明のしかた、注意点を学習する。集めた資料にある図や表を説明する文章を書き、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらおう。必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
11 回	授業テーマ：第 18 回、第 19 回 授業内容：第 18 回、第 19 回の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	26 回	授業テーマ：レポートの執筆 授業内容：これまで学習したレポートの書き方を思い出し、適切な表現を用いて、論理的で説得力のある原稿を執筆する。必要があれば資料を追加したり省いたりする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
12 回	授業テーマ：第 20 回、集中トレーニング④ 授業内容：第 20 回、集中トレーニング④の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	27 回	授業テーマ：題名の決定 授業内容：読み手に内容が伝わり読みたいと思わせるような題名の付け方を学習する。そのうえで、自分のレポートにふさわしい題名を付ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
13 回	授業テーマ：第 21 回から第 25 回 授業内容：第 21 回から第 25 回の読解問題を JLPT の模擬試験のつもりで練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	28 回	授業テーマ：課題レポートの評価 授業内容：書き上げたレポートをクラスメートと交換して読み、質疑応答をする。互いに評価をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
14 回	授業テーマ：第 26 回、第 27 回 授業内容：第 26 回、第 27 回の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	29 回	授業テーマ：課題レポートの改善と振り返り 授業内容：クラスメートや教員から受けた評価をもとにレポートを修正し、最終版を作成する。レポートを完成するまでのプロセスを思い出し、コンセプトマップを作成する。クラスメートに作成したコンセプトマップを披露し、不足していることがあれば書き足す。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
15 回	授業テーマ：第 28 回、中間テストとフィードバック 授業内容：第 28 回の問題を練習し、読解力の定着を図る。中間テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	30 回	授業テーマ：最終テストとフィードバック 授業内容：最終テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。

アカデミック日本語Ⅳ

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：通 | 備考：MGO 留学生サポートプログラム用クラス(留 H)

藤本 陽子 (ふじもと ようこ)

■ 授業の概要

留学生の社会的自立、職業的自立を促すため日本語能力に応じた日本語教育およびキャリア教育を行う「MGO 留学生サポートプログラム」の一環として実施する科目である。日本で仕事をすすめるうえで必要なジェネリックスキルの一つである日本語コミュニケーション能力を育成する。アカデミック日本語Ⅳの内容はビジネス文書の書き方、作成である。実務に役立つ文書作成技能について知識と技能の基本を身に付ける。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○)

一般目標：日常的な社内文書、ビジネス文書、および手紙やメールなどを自然な言い回し、表現を使って、読み手に負担のないよう書くスキルを身に付ける。

個別目標：(1) 日常的な社内文書、ビジネス文書、および手紙やメールなどの文章を形式を整えて書くことができる。

(2) ビジネス場面での日常的な文書による報告を簡潔に書くことができる。

(3) ビジネス場面での文書にかかわる慣習、マナーなどの知識を獲得する。

(4) 自らのビジネス日本語能力を客観的に把握し、弱点を強化する。

■ 履修条件

MGO 留学生サポートプログラムに登録済みで N1 を取得している。

manaba からの連絡を漏らさず確認し、課題の提出期限を守る。

自分のビジネス文書作成能力を客観的に把握し、弱点を補う努力をする。

■ 評価基準・方法

課題提出 50%、テスト 50%で評価する。

■ フィードバック方法

フィードバックは manaba と対面授業で行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (ほぼ毎回グループワークを実施する。)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (manaba、respon を使用する。)

■ 教科書

『ビジネス文書検定第 7 1 回～7 5 回実問題集 3 級』早稲田教育出版

『ビジネス文書検定第 7 1 回～7 5 回実問題集 1、2 級』早稲田教育出版

■ 参考書

随時紹介する。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：ガイダンス、事前テスト 授業内容：コースの概要と目的、学習の進め方、評価についての説明を理解する。その後、ビジネス文章の作成能力がどの程度あるか事前テストを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	16 回	授業テーマ：3 級第 71 回実務技能 授業内容：簡単な社内文書の書き方、簡単な業務用社外文書の書き方、ビジネス文書の取り扱い方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2 回	授業テーマ：3 級第 75 回表記技能 授業内容：文章の書き換えなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、横書き通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	17 回	授業テーマ：2 級第 75 回表記技能 授業内容：漢字や文字の正確さなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3 回	授業テーマ：3 級第 75 回表現技能 授業内容：正確でわかりやすい文章の書き方、礼儀正しい文章の書き方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	18 回	授業テーマ：2 級第 75 回表現技能 授業内容：やや長い文を正確でわかりやすく書く練習、敬称、敬語、丁寧な言い回しなど礼儀正しい文章の書き方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4 回	授業テーマ：3 級第 75 回実務技能 授業内容：簡単な社内文書の書き方、簡単な業務用社外文書の書き方、ビジネス文書の取り扱い方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	19 回	授業テーマ：2 級第 75 回実務技能 授業内容：一般の社内文書の書き方、社外文書や社外文書を書く練習をする。日本の受発信事務等文書の取り扱いを学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5 回	授業テーマ：3 級第 74 回表記技能 授業内容：文章の書き換えなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、横書き通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	20 回	授業テーマ：2 級第 74 回表記技能 授業内容：漢字や文字の正確さなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6 回	授業テーマ：3 級第 74 回表現技能 授業内容：正確でわかりやすい文章の書き方、礼儀正しい文章の書き方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	21 回	授業テーマ：2 級第 74 回表現技能 授業内容：やや長い文を正確でわかりやすく書く練習、敬称、敬語、丁寧な言い回しなど礼儀正しい文章の書き方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
7 回	授業テーマ：3 級第 74 回実務技能 授業内容：簡単な社内文書の書き方、簡単な業務用社外文書の書き方、ビジネス文書の取り扱い方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	22 回	授業テーマ：2 級第 74 回実務技能 授業内容：一般の社内文書の書き方、社外文書や社外文書を書く練習をする。日本の受発信事務等文書の取り扱いを学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

8 回	授業テーマ：3 級第 73 回表記技能 授業内容：文章の書き換えなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、横書き通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	23 回	授業テーマ：2 級第 73 回表記技能 授業内容：漢字や文字の正確さなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9 回	授業テーマ：3 級第 73 回表現技能 授業内容：正確でわかりやすい文章の書き方、礼儀正しい文章の書き方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	24 回	授業テーマ：2 級第 73 回表現技能 授業内容：やや長い文を正確でわかりやすく書く練習、敬称、敬語、丁寧な言い回しなど礼儀正しい文章の書き方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10 回	授業テーマ：3 級第 73 回実務技能 授業内容：簡単な社内文書の書き方、簡単な業務用社外文書の書き方、ビジネス文書の取り扱い方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	25 回	授業テーマ：2 級第 73 回実務技能 授業内容：一般の社内文書の書き方、社外文書や社交文書を書く練習をする。日本の受発信事務等文書の取り扱いを学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11 回	授業テーマ：3 級第 72 回表記技能 授業内容：文章の書き換えなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、横書き通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	26 回	授業テーマ：2 級第 72 回表記技能 授業内容：漢字や文字の正確さなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12 回	授業テーマ：3 級第 72 回表現技能 授業内容：正確でわかりやすい文章の書き方、礼儀正しい文章の書き方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	27 回	授業テーマ：2 級第 72 回表現技能 授業内容：やや長い文を正確でわかりやすく書く練習、敬称、敬語、丁寧な言い回しなど礼儀正しい文章の書き方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13 回	授業テーマ：3 級第 72 回実務技能 授業内容：簡単な社内文書の書き方、簡単な業務用社外文書の書き方、ビジネス文書の取り扱い方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	28 回	授業テーマ：2 級第 72 回実務技能 授業内容：一般の社内文書の書き方、社外文書や社交文書を書く練習をする。日本の受発信事務等文書の取り扱いを学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14 回	授業テーマ：3 級第 71 回表記技能 授業内容：文章の書き換えなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、横書き通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	29 回	授業テーマ：2 級第 71 回表記技能 授業内容：漢字や文字の正確さなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15 回	授業テーマ：3 級第 71 回表現技能、中間テストとフィードバック 授業内容：正確でわかりやすい文章の書き方、礼儀正しい文章の書き方を学習する。中間テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	30 回	授業テーマ：2 級第 71 回表現技能、最終テストとフィードバック 授業内容：やや長い文を正確でわかりやすく書く練習、敬称、敬語、丁寧な言い回しなど礼儀正しい文章の書き方を学習する。テストとフィードバックを受ける。コース全体を振り返り、整理する。最終テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

アカデミック日本語Ⅳ

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：通 | 備考：MGO 留学生サポートプログラム用クラス(留 S)

小野寺 樹璃 (おのでら じゅり)・行田 悦子 (こうだ えつこ)・範 弘宇 (はん こうう)

■ 授業の概要

留学生の社会的自立、職業的自立を促すため日本語能力に応じた日本語教育およびキャリア教育を行う「MGO 留学生サポートプログラム」の一環として実施する科目である。日本で仕事をすすめるうえで必要なジェネリックスキルの一つである日本語コミュニケーション能力を育成する。アカデミック日本語Ⅳの内容は語彙と作文である。複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細なテキストを作り、自己の視点から説明できるようになることを目指して、テキストを構成する字句、結束表現、文法表現等を身に付ける。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○)

一般目標：大学の学修に必要なレポートおよび文章を明確かつ論理的に書くことができる。重要点を強調し、補助的事項、理由、関連する事例を付け加え、論点を展開し、適切な結論で終わることができる。

自分の語彙・文法表現能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習力を育てる。

個別目標：(1) 文章の種類によって適切な構成を持つ文章を書ける。

(2) 文章を書くための準備で、倫理的な行動を選択し、レポートに必要な資料を集められる。

(3) 文章を書くための準備で、資料を読んで正しく理解できる。文章を書く過程で他者との意見交換を通じて他者の視点を取り入れ、文章に反映させられる。

(4) 自分の作文能力、語彙能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習し、正しくふりかえることができる。

■ 履修条件

MGO 留学生サポートプログラムに登録済みで、N2 を取得している。

課題の提出期限を守る。

manaba による連絡を確認する。

自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

■ 評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 50%で評価する。

■ フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (ほぼ毎回グループワークで他者と協働する。)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (ほぼ毎回 manaba、respon を使用する(スマートフォン対応可)。)

■ 教科書

田中祐輔(編)『書き込み式』表現するための語彙文法練習ノート〈上〉一語/コロケーション/慣用句/表現文型』凡人社

田川麻央・徳田恵『プロセス重視で学ぶ日本語ライティング』DTP 出版

■ 参考書

友松悦子・宮本淳・和栗雅子『どんなときどう使う日本語表現文型辞典』アルク

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、レッスン 1 文字・語彙・コロケーション 授業内容：コースの概要と目的、学習の進め方、評価について理解する。事前テストを受ける。レッスン 1 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：これまでに学んだ単語を復習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	16 回	授業テーマ：レッスン 8 文型・文法・類義表現 授業内容：レッスン 8 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題演習を行なう。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
2 回	授業テーマ：レッスン 1 文型・文法・類義表現 授業内容：レッスン 1 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	17 回	授業テーマ：まずやってみよう 授業内容：レポートを書くのに必要な知識は何か、どのようなレポートが求められるかを知り、学習意欲を高める。コース終了後のできるようになった自分をイメージする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
3 回	授業テーマ：レッスン 2 文字・語彙・コロケーション 授業内容：レッスン 2 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	18 回	授業テーマ：書き言葉 授業内容：レポートに必要な「書き言葉」を学習する。話し言葉と書き言葉の使い分けについて学び、書き換え練習を通じてレポートに必要な表現、言い回しを身に付ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
4 回	授業テーマ：レッスン 2 文型・文法・類義表現 授業内容：レッスン 2 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	19 回	授業テーマ：段落 授業内容：段落とは何か、段落内はどのような構成にするかを学習する。中心文と支持文を区別する練習や、中心文に対して支持文でどう具体的に書くかを練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
5 回	授業テーマ：レッスン 3 文字・語彙・コロケーション 授業内容：レッスン 3 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	20 回	授業テーマ：三段構成法 授業内容：序論本論結論の三段構成法を学習する。序論、本論、結論の見分け方、それぞれどのようなことを書くのかを知ったうえで、書く練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。

6 回	授業テーマ：レッスン 3 文型・文法・類義表現 授業内容：レッスン 3 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	21 回	授業テーマ：アイデアの抽出 授業内容：レポートのテーマを考える。ブレンストーミングの方法を学習し、アイデアを書き出す。そのうえで自分のレポートのテーマを決定する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
7 回	授業テーマ：レッスン 4 文字・語彙・コロケーション 授業内容：レッスン 4 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	22 回	授業テーマ：資料検索 授業内容：図書館や新聞記事のデータベースなど資料の探し方、注意点を学習する。自分のテーマに関わる資料を探して読み、基礎知識を身に付ける。集めた資料を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
8 回	授業テーマ：レッスン 4 文型・文法・類義表現 授業内容：レッスン 4 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	23 回	授業テーマ：論理的つながりの検討 授業内容：論理的なつながりのある文章とはどのようなものかを学習する。クラスメートにレポートの構成について説明し、論理的につながっているかどうか評価してもらう。必要があれば、資料を増やしたり減らしたりする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
9 回	授業テーマ：レッスン 5 文字・語彙・コロケーション 授業内容：レッスン 5 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	24 回	授業テーマ：資料の引用 授業内容：資料の引用方法、注意点を学習する。集めた資料をもとに引用文を書く練習をして、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらう。必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
10 回	授業テーマ：レッスン 5 文型・文法・類義表現 授業内容：レッスン 5 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	25 回	授業テーマ：参考文献リストの書き方 授業内容：参考文献の書き方、注意点を学習する。集めた資料をもとに参考文献リストを書く練習をして、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらう。必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
11 回	授業テーマ：レッスン 6 文字・語彙・コロケーション 授業内容：レッスン 6 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	26 回	授業テーマ：図表の説明 授業内容：図や表の説明のしかた、注意点を学習する。集めた資料にある図や表を説明する文章を書き、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらう。必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
12 回	授業テーマ：レッスン 6 文型・文法・類義表現 授業内容：レッスン 6 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	27 回	授業テーマ：レポートの執筆 授業内容：これまで学習したレポートの書き方を思い出し、適切な表現を用いて、論理的で説得力のある原稿を執筆する。必要があれば資料を追加したり省いたりする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
13 回	授業テーマ：レッスン 7 文字・語彙・コロケーション 授業内容：レッスン 7 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	28 回	授業テーマ：題名の決定 授業内容：読み手に内容が伝わり読みたいと思わせるような題名の付け方を学習する。そのうえで、自分のレポートにふさわしい題名を付ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
14 回	授業テーマ：レッスン 7 文型・文法・類義表現 授業内容：レッスン 7 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	29 回	授業テーマ：課題レポートの評価 授業内容：書き上げたレポートをクラスメートと交換して読み、質疑応答をする。互いに評価をする。必要があれば、レポートを修正し、最終版を作成する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
15 回	授業テーマ：レッスン 8 文字・語彙・コロケーション、中間テストとフィードバック 授業内容：レッスン 8 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。中間テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	30 回	授業テーマ：まとめ・コース全体のふりかえり、最終テストとフィードバック 授業内容：レポートを完成するまでのプロセスを思い出し、コンセプトマップを作成する。クラスメートに作成したコンセプトマップを披露し、不足していることがあれば書き足す。最終テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。

[専門科目]

医療ホスピタリティ実習

開講学科等：保 | 1 年次 | 1 単位 | 開講期：前

藤井 直子 (ふじい なおこ)

■ 授業の概要

社会人および医療従事者として信頼されるために必要な、マナーとコミュニケーションスキルを修得します。歯科衛生士には、患者様に確かな知識と技術を提供するとともに、安心感を与える丁寧で誠実な対応が求められます。本授業では、医療人に必要なホスピタリティマインドの重要性を理解し、グループディスカッションやロールプレイングを通じて実践力を養います。具体的には、医療現場において安心感を与える挨拶や身だしなみ、話し方、電話応対などを学び、患者様や院内スタッフとの良好な関係構築につながる円滑なコミュニケーション能力を身につけます。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：②)

- 一般目標：1. 医療におけるホスピタリティの重要性を理解し、説明できる。
2. 患者様視点に立ったホスピタリティマインドを醸成し、相手の心情や状況に寄り添う姿勢を身につける。
3. 患者様や社会から信頼され、円滑なコミュニケーションを実現するためのマナーおよびコミュニケーション能力を身につける。
- 個別目標：(1) 社会人としての心構えと本授業で扱う基礎的な能力について理解し、日常の行動において意識して取り組むことができる。
(2) 医療におけるホスピタリティとマナーについて、具体的な場面を通してその重要性を理解し、説明できる。
(3) ホスピタリティマインドを身につけ、身近な人間関係や将来の医療現場で活かすことができる。
(4) 医療従事者として安心・信頼感を与える挨拶、振る舞い、言葉遣い、身だしなみを実践できる。
(5) 傾聴力および話し方などの基本的なコミュニケーションスキルを身につけ、身近な人間関係や将来の患者様対応に活用できる。
(6) 電話応対を含む医療現場での基本的対応を理解し、相手の心情や状況に応じて柔軟に対応できる。

■ 履修条件

1. 目標設定：授業や課題に明確な目標を持ち、自身の成長を意識しながら主体的に取り組むこと。
2. 協調性と主体性：事前学修および事後学修を行い、授業やグループディスカッションなどの協働作業において自身の役割を意識し、協調性をもって主体的に参画すること。
3. 提出期限の厳守：課題やレポートなど、すべての提出物は指定された期限を厳守すること。

■ 評価基準・方法

期末試験(筆記試験および実技試験) 60%、授業での参画態度および課題 40%とし、その結果および到達目標の達成度に基づいて総合的に評価する。
筆記試験・実技試験のいずれも受験していることを、成績評価および単位認定の前提条件とする。
授業態度および課題も重要な評価要素であり、主体的な授業参画と的確な課題提出が求められる。
また、原則として5分の4以上の出席を評価の前提条件とする。

■ フィードバック方法

課題等のフィードバックは、各回の授業において、または学修支援システム manaba を通じて行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (グループディスカッション、グループワーク、ロールプレイング)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (respon による出席カード提出、manaba を用いて授業資料の閲覧や課題の提出、事前・事後学修を行うほか、グループディスカッション時の意見整理等に活用する。)

■ 教科書

なし。資料を manaba で配布する。

■ 参考書

なし

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：ガイダンス 授業内容：①授業概要の説明：到達目標、成績評価方法、および授業の共通ルールについて理解する。 ②グループ内で自己紹介を行い、交流を深める。 ③社会人と学生の違いを理解する：グループディスカッションを通じて、社会人としての心構えを理解し、醸成する。 事前学修 2.0hr：①シラバスを読み、本講義での自分の目標を考える。②自己紹介を考える：自分の強みや個性を整理し、30～45秒以内で表現できるように準備する。 事後学修 2.0hr：全15回の授業内容を確認し、各回の目標を設定する。
2 回	授業テーマ：医療における第一印象の重要性及びマナー・コミュニケーションの基本要素 1. 挨拶とお辞儀 授業内容：①医療現場におけるホスピタリティとマナーの意義について学修する。 ②医療現場における第一印象の重要性と、コミュニケーションの基本要素を学ぶ。 ③患者様に安心感を与える挨拶とお辞儀について学修し、グループワークを通じて実践的なトレーニングを行う。 事前学修 2.0hr：①マナーの考察：マナーとは何かについて自分の考えをまとめる。②挨拶の重要性を考察：感じの良い挨拶と好ましくない挨拶の違いについて考え、自分の意見を整理する。 事後学修 2.0hr：①医療におけるマナー・コミュニケーションと第一印象の重要性について考えをまとめる。②感じの良い挨拶とお辞儀を練習し、日常生活で実践を続ける。
3 回	授業テーマ：マナー・コミュニケーションの基本要素 2. 表情とアイコンタクト 3. 声の印象と発声の仕方 授業内容：①表情トレーニングと笑顔の効果の理解：好感や安心感を与える表情トレーニングを行う。笑顔の効果を理解し、歓迎や感謝の気持ちを表現できるようになる。 ②声によるコミュニケーションの重要性と実践：声が与える印象やコミュニケーションにおける役割を学ぶ。正しい発声の仕方を習得し、発声練習と声を活用したコミュニケーションの演習を行う。 事前学修 2.0hr：感じの良い表情と不快な表情の違いについて考え、自分の考えをまとめる。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ表情トレーニングと発声練習を継続し、日常生活で実践する。
4 回	授業テーマ：マナー・コミュニケーションの基本要素 4. 医療従事者に求められる身嗜みの整え方 授業内容：①医療における身嗜みの重要性を理解し、患者様やスタッフから安心と信頼感をもたれる身嗜みの整え方を学ぶ。②チェックシートに基づき、グループワークでお互いの身嗜みをチェックする。 事前学修 2.0hr：①スーツ着用、身嗜みを整えて授業に参画する。②身嗜みについて自分の考えをまとめる。 事後学修 2.0hr：身嗜みチェックリストに基づき、身嗜みを整える習慣を身につける。

5 回	<p>授業テーマ：マナー・コミュニケーションの基本要素 5. 立ち居振る舞い 授業内容：信頼と好感を与える立ち居振る舞いについて、患者様のご案内、物の受け渡し、言葉添えなどを学修し、ロールプレイングによる演習を通して、患者様心理に配慮した対応を体得する。 事前学修 2.0hr：安心感・信頼感を与える立ち居振る舞いについて考察し考えをまとめる。 事後学修 2.0hr：学修した立ち居振る舞いを練習し、日常的に実践する。</p>
6 回	<p>授業テーマ：人間関係と話し方 1. 言葉遣い ①敬語の基本 授業内容：敬語の意味と役割、敬語の基本を学修し、グループワークで演習を行い、正しい敬語の使い方を身につける。 事前学修 2.0hr：①配布資料【敬語の基本】を読みポイントを把握する。②日頃正しく敬語が使えているかを振り返る。 事後学修 2.0hr：敬語の基本について復習し、日常のコミュニケーションで実践する。</p>
7 回	<p>授業テーマ：人間関係と話し方 1. 言葉遣い ②間違いやすい敬語 ③信頼を失う表現 授業内容：間違いやすい敬語や信頼を失う表現について理解し、正しい敬語と信頼感を与える表現を身につける。 事前学修 2.0hr：自分が日頃使っている敬語、表現について自己分析し、課題をまとめる。 事後学修 2.0hr：間違いやすい敬語を見直し、正しい使い方について復習する。</p>
8 回	<p>授業テーマ：人間関係と話し方 2. 良好な人間関係を築く話し方の基本スキル 授業内容：わかりやすい伝え方、非言語コミュニケーションの活用、クッション言葉の使い方など良好な人間関係を築くための話し方について学修する。 事前学修 2.0hr：自身の話し方の癖や傾向(語尾の伸ばし、話のまとまりにくさ等)を振り返り、整理する。 事後学修 2.0hr：自身の話し方の傾向について、良い点および改善点を明確にしたうえで、情報をわかりやすく伝える話し方を実践する。</p>
9 回	<p>授業テーマ：医療現場における傾聴力の重要性 授業内容：円滑なコミュニケーションを図るための傾聴力の重要性と心構えを理解し、グループワークを通して話の聴き方を実践的に確認し、傾聴スキルを学修する。 事前学修 2.0hr：人の話を聞く際に自身が心がけている点について振り返り、どのような聞き方をしているかを整理する。 事後学修 2.0hr：授業やグループワークを踏まえ、円滑なコミュニケーションを図るための傾聴スキルについて、自身の良い点および課題を明確にし、改善点を意識して実践する。</p>
10 回	<p>授業テーマ：プレゼンテーション：医療におけるホスピタリティとマナーについて 授業内容：テーマに基づいたプレゼンテーションの実技試験を実施する。 身だしなみ(スーツの着こなし、表情、立ち居振る舞い、言葉遣い)を整えたうえで、医療従事者としてふさわしい表現と態度で発表を行う。 事前学修 2.0hr：テーマに関して自分の意見をわかりやすく伝えられるようプレゼンテーションの準備をする(1分以内で発表)。詳細のテーマは、事前に授業内及び manaba で周知する。スーツ着用、身嗜みを整え出席する。 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションを振り返り、課題点を明確にし、改善していく。</p>
11 回	<p>授業テーマ：安心と信頼感を与える電話応対 1. 電話のかけ方 授業内容：電話応対の重要性と目的を理解する。電話のかけ方の基本とマナーを学びロールプレイングでの演習を通し身につける。 事前学修 2.0hr：配布資料「電話応対：電話のかけ方」を読みポイントを把握する。 事後学修 2.0hr：電話のかけ方の基本マナーを復習し、言葉遣いや声の出し方に留意しながら、日常生活や実習等の場面で実践する。</p>
12 回	<p>授業テーマ：安心と信頼感を与える電話応対 2. 電話の受け方 授業内容：電話の受け方の基本マナーを学び、ケーススタディをロールプレイング形式で実施する演習を通して、安心と信頼感を与える電話応対を身につける。 事前学修 2.0hr：配布資料「電話の受け方」を読み、ポイントを把握する。 事後学修 2.0hr：電話応対の基本マナーを復習し、言葉遣いや声の出し方に留意しながら、日常生活や実習等の場面で実践する。</p>
13 回	<p>授業テーマ：的確に仕事を進めるための指示の受け方と報告の仕方 授業内容：的確な指示の受け方及び報告の仕方について学び、ケーススタディを行い円滑に仕事を進める能力を身につける。 事前学修 2.0hr：配布資料「効果的な仕事の進め方：的確な指示の受け方・報告の仕方」を読み、ポイントを把握する。 事後学修 2.0hr：学修内容及びケーススタディで行った内容を復習し、日常生活で実践する。</p>
14 回	<p>授業テーマ：授業学修内容の振り返り 授業内容：授業学修内容について理解度チェックをし、自身の目標到達点を確認する。 事前学修 2.0hr：授業学修内容の復習と確認をする。 事後学修 2.0hr：振り返りでの課題を明確にし改善する。</p>
15 回	<p>授業テーマ：総括・今後の目標設定 授業内容：①授業で習得したこと、成長した点、今後の課題や改善策について整理する。 ②今後の目標設定をする。 事前学修 2.0hr：これまでの授業の総復習をする。 事後学修 2.0hr：目標達成に向け行動計画を立て、実践する。</p>

医療倫理・心理学

開講学科等：保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前 | 備考：科目責任者 礪波健一

稲場 夢有 (いなば むう)・礪波 健一 (とнами けんいち)

■ 授業の概要

本授業は、第1回から第10回までが医療心理学、第11回から第15回が医療倫理となり、担当教員も異なります。そのため、以下シラバスにおいても、【医療心理学】と【医療倫理学】で内容が異なりますのでご注意ください。

【医療心理学】

医療心理学は、特に医療の領域において、全人的に患者を理解するために必要な臨床心理学や行動科学や行動医学の領域を含んだ包括的な学問である。具体的には、患者の心理や、患者を支える家族の心理および医療従事者の心理を扱う。

本科目では、人間の健康と病気、ストレス概念と心身反応について理解を深める。また、医療の担い手の一員として、相手を理解し効果的に対応するための実践的な支援技法(カウンセリング技法・コーチング技法・臨床的な各種心理療法)を学ぶ。

【医療倫理学】

ヒポクラテスの誓いからジュネーブ宣言、ヘルシンキ宣言、リスボン宣言等に続く医の倫理の歴史は人類の倫理的葛藤とそれに対する対処の歴史といえる。その変遷を学習しケースを考察することで、歯科衛生士が日常の臨床で遭遇する倫理的葛藤に対応する能力を習得する。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：①/②)

一般目標：【医療心理学】医療職に必要な人間の健康と病気、ストレス概念および心身反応に関する基礎理解を深める。

また、患者、同僚、地域社会との信頼関係を確立し、多職種協働を実現する医療人となるために、社会性と合理性を発揮するコミュニケーションスキルを涵養する。さらに、患者主体の医療を支えるための、効果的な患者支援スキルを身につける。

【医療倫理学】医療の現場の倫理的葛藤に気づき、分析し、対処する能力を身につける。

個別目標：【医療心理学】

- 1) 患者の多様性を理解するために、気質と気質にあった対応を身につける。
- 2) 心身症やメンタルダウンを生み出すストレス行動特性を理解して、説明できる。
- 3) 医療場面に活用できるコーチング技法とカウンセリング技法を身につける。
- 4) 授業の学習形態を通し、多職種協働に活用できるコミュニケーションを習得する。

【医療倫理学】

- 1) 医療の現場の倫理的葛藤を分析する。
- 2) 自らの価値観を絶対視することなく、患者の価値観を理解する。
- 3) 徳倫理(中庸)、義務論、並びに功利主義などの考え方を学習し、複眼的に判断する。

■ 履修条件

【医療心理学】授業は、ピア・インストラクションやグループによる課題発見などのディープ・アクティブラーニングの手法で行われる。そのため、仲間と共に学習し合う雰囲気工夫してください。

【医療倫理学】多くの社会問題が倫理的な問題を内包しています。ニュースなどをよく見て、普段から問題意識を持つようにしてください。

■ 評価基準・方法

【医療心理学】

4/5 以上の出席を評価の前提条件とし、欠席の場合には減点となる。

①授業や小課題への取り組み(60%) ②小テスト(15%) ③最終課題(レポート)(25%)によって総合的に評価する。

【医療倫理学】

4/5 以上の出席を評価の前提条件とし、欠席の場合には減点する。

①授業への取り組み(35%) ②出席ペーパー(15%) ③定期試験(50%)によって総合的に評価する。

【最終評価】

評価は【医療心理学】60%【医療倫理学】40%とする。

■ フィードバック方法

【医療心理学】

毎回の授業時に課す課題については、該当授業回または翌授業回にて解説を行う。

【医療倫理学】

講義毎に課題を出す。課題解説時にフィードバックを行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施(実施内容)

あり(【医療心理学】授業時のグループ学習および最終課題(レポート)【医療倫理学】出席ペーパー、双方向ツールの使用)

■ 授業での PC の利用(利用内容)

なし

■ 教科書

【医療心理学】特になし。授業中に資料を配布する。

【医療倫理学】歯科医療倫理・医歯薬出版

■ 参考書

【医療心理学】『健康・医療心理学』宮脇稔・大野太郎・藤本豊・松野俊夫編, 医歯薬出版

【医療倫理学】『看護倫理 見ているものが違うから起こること 第2版』吉田みつ子, 医学書院

■ 授業テーマ・授業内容と授業外(事前・事後)の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：オリエンテーション 健康心理学入門 授業内容：本授業の概要および授業の流れを説明するとともに、健康心理学の基礎概念であるウェルビーイングやストレスについて解説する。ワークでは自身のストレス要因や対処行動について振り返る。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、分からない語句などの疑問点を明らかにする。また、インターネット等で、「医療心理学」および「健康心理学」について調べる。 事後学修 2.0hr：健康と病気の変遷と、健康心理学の目的について学ぶ。
2 回	授業テーマ：医療心理学入門 授業内容：ストレスコーピングとレジリエンスについて解説する。ワークではこれまでの人生を振り返って逆境グラフを作成し、自身の強みや周囲からサポートを受けたことを認識する。 事前学修 2.0hr：事前学修用資料を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：事後学修用資料を閲覧し、医療心理学の目的について学ぶ。

3 回	授業テーマ：情動と感情 授業内容：ウェルビーイングを構成する5つの要素とについて解説する。ワークでは、自身の強みやフロー状態になったことを振り返り、熱中できることや得意なことを認識する。 事前学修 2.0hr：事前学修用資料を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：事後学修用資料を閲覧し、5つの基本感情と3つのこころの本質的欲求について理解する。
4 回	授業テーマ：パーソナリティ① パーソナリティおよび遺伝的気質の理解 授業内容：BigFive やエゴグラム、行動特性や遺伝的気質など様々なパーソナリティチェックを行い、自身や他者への理解を深める。 事前学修 2.0hr：事前学修用資料を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：事後学修用資料を閲覧し、6つの気質と自分の気質の特徴について理解・考察する。
5 回	授業テーマ：パーソナリティ② 気質コーチング 授業内容：それぞれの遺伝的気質について詳しく解説するとともに、自身が苦手な気質を理解し、そういった人と接する際に気を付ける行動を検討、認識していく。 事前学修 2.0hr：事前学修用資料を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：事後学修用資料を閲覧し、気質コーチングについて理解を深める。
6 回	授業テーマ：医療心理学的アセスメント① ストレス行動特性 授業内容：ストレスを強く感じた際に、我々がどういった行動をとってしまうのか、気質別に解説する。またグループワークでは、特定の人物が特に強く発現している気質を推測し、気質別の好ましい対処行動を検討していく。 事前学修 2.0hr：事前学修用資料を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：事後学修用資料を閲覧し、自分自身のストレスパーソナリティの特徴をまとめ、考察する。
7 回	授業テーマ：医療心理学的アセスメント② 心身症を生み出す行動特性 授業内容：心身症という症状と、心身症になりやすいとされるパーソナリティについて解説し、ワークでは、そういったストレスフルな状況に効果的とされるマインドフルネスについて実践する。 事前学修 2.0hr：事前学修用資料を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：事後学修用資料を閲覧し、心身症を生み出すストレスパーソナリティの特徴をまとめ、考察する。
8 回	授業テーマ：医療コミュニケーション① 患者の能力を引き出すコーチング 授業内容：コーチングという概念について解説するとともに、そのコーチング技法の一つである「質問」力を上げるために様々な質問方法を解説し、ワークでは実際にその質問技法を使い分けられるようにしていく。 事前学修 2.0hr：事前学修用資料を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：事後学修用資料を閲覧し、コーチング技法を学び、実践できるようにする。
9 回	授業テーマ：医療コミュニケーション② 自己決定を促すカウンセリング 授業内容：同感と共感の違いについて解説した上で、グループワークでは共感を意識した好ましい話の聴き方について実践していく。 事前学修 2.0hr：事前学修用資料を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：事後学修用資料を閲覧し、同感と共感の違いについて理解を深める。
10 回	授業テーマ：医療コミュニケーション③ 行動変容を促すカウンセリング 授業内容：行動変容を促すための様々なモデルを紹介するとともに、ワークでは実際に自身が行動を変えたいと考えている健康行動に取り上げて、モデルに当てはめながら行動変容を図っていく。 事前学修 2.0hr：事前学修用資料を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：事後学修用資料を閲覧し、行動変容モデルについてさらに詳しく理解する。
11 回	授業テーマ：医療倫理とは何か、ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、医の倫理の国際綱領、パターナリズムと裁量権 授業内容：「ヒポクラテスの誓い」の内容と現代との考え方の違いを学習し、医療倫理で重要な、患者-医療従事者の関係について考察する 事前学修 2.0hr：教科書の1章について予習する。 事後学修 2.0hr：「ヒポクラテスの誓い」の内容と現代との考え方の違いを学習し、医療倫理で重要な、患者-医療従事者の関係について授業内容を復習する。
12 回	授業テーマ：非人道的生体実験と医学・歯学 ニュルンベルグ綱領、ヘルシンキ宣言、インフォームドコンセント、GCP と新薬 授業内容：過去に行われた「人道的な問題を有する科学業績」から医学研究に倫理規定が必要となった経緯を学習し、倫理がなぜ必要であるか考察する。 事前学修 2.0hr：教科書の2章について予習する。 事後学修 2.0hr：過去に行われた「人道的な問題を有する科学業績」から医学研究に倫理規定が必要となった経緯について授業内容を復習する。
13 回	授業テーマ：インフォームドコンセント、セカンドオピニオン、リスボン宣言、医の4原則、尊厳死と安楽死、脳死 授業内容：インフォームドコンセント、患者の権利に関する歴史の変遷を学習し、過去に行われた「人道的な問題を有する科学業績」から医学研究に倫理規定が必要となった経緯を学習し、倫理がなぜ必要であるか考察する。 事前学修 2.0hr：教科書の3章について予習する。 事後学修 2.0hr：インフォームドコンセント、患者の権利に関する歴史の変遷について授業内容を復習する。
14 回	授業テーマ：身分法(歯科衛生士法を含む)、刑法、個人情報保護法、医療法 授業内容：医療従事者の義務を定めた法律を学習し、臨床における倫理と法規の関連性、倫理的葛藤について考察する。 事前学修 2.0hr：教科書の付章について予習する。 事後学修 2.0hr：臨床における倫理と法規の関連性について授業内容を復習する。
15 回	授業テーマ：ノーマライゼーション、ICF、障害者差別解消法、自立支援、出生前診断、優生学、ロー対ウェイド事件 授業内容：医療倫理を基にした医療・福祉・保健制度について学び、現代の医の倫理の論点、今後の展望について学習する。 事前学修 2.0hr：教科書の2章について予習する。 事後学修 2.0hr：医療倫理を基にした医療・福祉・保健制度について授業内容を復習する。

生物学・化学

開講学科等：保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前 | 備考：科目責任者 廣井美紀

奈良 雅之 (なら まさゆき)・廣井 美紀 (ひろい みき)

■ 授業の概要

生物学：私たちの体を構成する何十兆個もの細胞の一つ一つには、生命の設計図である遺伝子が存在している。これらの遺伝子の情報をもとにタンパク質が作られ、生物の体の構造を形成するとともに、さまざまな生命現象を担っている。本授業では、生命の基本単位である細胞の構造と機能、ならびに遺伝子発現の仕組みについて学ぶ。

化学：歯科衛生士として活躍するために必要不可欠とされる化学の基礎知識を 7 回の講義を通じて学びます。中学、高校で習得した化学の知識を確認しながら、さらに高度の知識を積み重ね、専門で学ぶ生化学などを理解するための土台をつくります。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：①)

一般目標：生物学：生物の基本単位である細胞の働きにより生命活動が維持されていることを理解し、生物学の基礎知識を説明できることを目標とする。
化学：物質の性質、構造、変化について体系的に理解し、化学の基礎知識を説明できることを目標とする。

個別目標：生物学

1. 原核生物と真核生物の違い、細胞の構造と細胞内小器官の役割について説明できる。
2. 細胞の集合体である組織と組織により構成される器官について説明できる。
3. 遺伝のしくみ、遺伝子発現(DNA → RNA →タンパク質)について説明できる。

化学：

1. 物質を構成する基本粒子である原子、分子について説明できる。
2. 気体、液体、固体に関する法則、基礎知識について説明できる。
3. 化学反応、化学平衡に関する法則、基礎知識について説明できる。

■ 履修条件

講義前に指定教科書の該当箇所を熟読しておくこと。

■ 評価基準・方法

生物学：5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。定期試験とその他(事前・事後学修、受講態度など)の結果に基づき、総合的に判断する。

化学：5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。定期試験とその他(事前・事後学習、受講態度など)の結果に基づき、総合的に判断する。

■ フィードバック方法

生物学：課題のフィードバックは、授業または学修支援システム manaba を通して行う。

化学：課題のフィードバックは、授業を通して行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

なし

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

生物学：歯科衛生学シリーズ 生物学 全国歯科衛生士教育協議会 監修 (医歯薬出版株式会社)

化学：歯科衛生学シリーズ 化学 全国歯科衛生士教育協議会 監修 (医歯薬出版株式会社)

■ 参考書

生物学：解剖生理や生化学を学ぶ前の楽しくわかる生物・化学・物理 岡田隆夫著 (羊土社)

化学：系統看護学講座 基礎化学 奈良雅之著 (医学書院)

最新臨床検査学講座 化学 奈良雅之著 (医歯薬出版株式会社)

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：ガイダンス：生命とは？(生命の誕生と変遷) 授業内容：生命の始まりから進化の過程、原核生物と真核生物の構造や特徴の違いについて学習する。 事前学修 2.0hr：教科書 p2-14, 22-26, 39-40 を熟読する。 事後学修 2.0hr：教科書と配布資料などを用い、講義内容を復習する。
2 回	授業テーマ：生物の基本単位「細胞」の構造 授業内容：ヒトの体を構成している細胞の構造と働きについて学習する。 事前学修 2.0hr：教科書 p23-31 を熟読する。 事後学修 2.0hr：教科書と配布資料などを用い、講義内容を復習する。
3 回	授業テーマ：細胞増殖と細胞死 授業内容：細胞分裂のしくみ(体細胞分裂、減数分裂)と細胞周期、細胞死(アポトーシス、ネクローシス)について学習する。 事前学修 2.0hr：教科書 p28-29, 33-39, 50-54 を熟読する。 事後学修 2.0hr：教科書と配布資料などを用い、講義内容を復習する。
4 回	授業テーマ：人体の構成「組織と器官」 授業内容：複数の細胞により形成される組織(上皮組織、結合組織、筋組織、神経組織)と複数の組織が組み合わさって形成される器官について学習する。 事前学修 2.0hr：教科書 p39-47 を熟読する。 事後学修 2.0hr：教科書と配布資料などを用い、講義内容を復習する。
5 回	授業テーマ：遺伝 授業内容：染色体と遺伝現象について学習する。 事前学修 2.0hr：教科書 p55-60 を熟読する。 事後学修 2.0hr：教科書と配布資料などを用い、講義内容を復習する。
6 回	授業テーマ：遺伝子の発現「セントラルドグマ」1.DNA 授業内容：DNA の構造と複製のしくみについて学習する。 事前学修 2.0hr：教科書 p20-21, 60-64 を熟読する。 事後学修 2.0hr：教科書と配布資料などを用い、講義内容を復習する。
7 回	授業テーマ：遺伝子の発現「セントラルドグマ」2.RNA 授業内容：RNA の種類と転写のしくみについて学習する。 事前学修 2.0hr：教科書 p65-67 を熟読する。 事後学修 2.0hr：教科書と配布資料などを用い、講義内容を復習する。

8 回	授業テーマ：遺伝子の発現「セントラルドグマ」3. タンパク質 授業内容：タンパク質の構造と翻訳のしくみについて学習する。 事前学修 2.0hr：教科書 p18-19, 65-67 を熟読する。 事後学修 2.0hr：教科書と配布資料などを用い、講義内容を復習する。
9 回	授業テーマ：化学：物質とは何だろう 授業内容：物質を構成する基本粒子である原子、分子を学習し、物質の成り立ちを理解する。 事前学修 2.0hr：「第1章 物質とは何だろう」の本文を読んで、概要を把握する。 事後学修 2.0hr：第1章章末問題と補充問題を解いて理解を深める。
10 回	授業テーマ：化学：気体について知ろう 授業内容：理想気体の性質を理解するとともに、理想気体に関する計算に慣れるために、単位についても学習する。 事前学修 2.0hr：「第2章 気体について知ろう」の本文を読んで、概要を把握する。 事後学修 2.0hr：第2章章末問題と補充問題を解いて理解を深める。
11 回	授業テーマ：化学：物質が水に溶けるとは 授業内容：溶液の濃度計算に慣れるとともに、希薄溶液に関する法則について学習する。 事前学修 2.0hr：「第3章 物質が水に溶けるとは」の本文を読んで、概要を把握する。 事後学修 2.0hr：第3章章末問題と補充問題を解いて理解を深める。
12 回	授業テーマ：化学：酸化とは、還元とは 授業内容：酸化還元反応について理解する。 第1章から第3章で説明が不十分だったところを補足する。 事前学修 2.0hr：「第4章 酸化とは、還元とは」の本文を読んで、概要を把握する。 事後学修 2.0hr：第4章章末問題と補充問題を解いて理解を深める。
13 回	授業テーマ：化学：化学反応では原子の組み換えが起こっている 授業内容：化学反応速度、化学平衡について理解する。 事前学修 2.0hr：「第5章 化学反応では原子の組み換えが起こっている」の本文を読んで、概要を把握する。 事後学修 2.0hr：第5章章末問題と補充問題を解いて理解を深める。
14 回	授業テーマ：化学：有機化合物とは何だろう 授業内容：有機化合物の構造、性質を体系的に理解する。 事前学修 2.0hr：「第6章 有機化合物とは何だろう」の本文を読んで、概要を把握する。 事後学修 2.0hr：第6章章末問題を解いて理解を深めるとともに、第6章で出てきた有機化合物を覚える。
15 回	授業テーマ：化学：ヒトをつくっているものは何だろう 授業内容：生体分子に焦点を当てて、糖質、脂質、アミノ酸、タンパク質の構造、性質について理解する。 事前学修 2.0hr：「第7章 ヒトをつくっているものは何だろう」の本文を読んで、概要を把握する。 事後学修 2.0hr：第7章章末問題を解いて理解を深めるとともに、第7章で出てきた生体分子を覚える。

保健情報統計学

開講学科等：保 | 3 年次 | 1 単位 | 開講期：FT2

礪波 健一 (と な み けんいち)

■ 授業の概要

歯科衛生活動に必要な保健医療情報の収集と取捨選択法、収集したデータの処理と解析法について学習する。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：⑥)

一般目標：歯科衛生活動に必要な保健医療情報を取り扱う知識・技能を習得する。

個別目標：目的に応じて保健医療情報を収集する

保健医療情報の解釈ができる

目的に応じて保健医療情報を統計解析する

統計解析した結果をプレゼンテーションする

保健医療情報を情報倫理に配慮して取り扱う

■ 履修条件

統計解析の演習ではパーソナルコンピュータを使用するので持参すること

■ 評価基準・方法

4/5 以上の出席を評価の前提条件とし、欠席の場合は減点する。

①授業や小課題の取り組み(60%)、②定期試験(40%)にて評価する。

■ フィードバック方法

双方向学習支援ツールを使用して授業中にフィードバックを行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (インターネットを利用した双方向学習支援ツールを活用する。)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (PC 上で専用ソフトウェアを使用した統計解析の演習を行う。)

■ 教科書

歯科衛生学シリーズ 保健情報統計学 医歯薬出版

■ 参考書

授業中に適宜提示。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

授業テーマ

授業テーマは以下の3つとする。

①保健医療情報の解釈・活用

②保健医療情報の分析

③保健医療情報のとりあつかい

授業内容

各テーマの授業内容を示す。

①保健医療情報の解釈・活用 …… 保健情報と保健統計、保健情報と保健疫学、歯科疾患の指数

②保健医療情報の分析 …… 保健情報の分析手順、保健統計の方法、保健情報の分析演習

③保健医療情報のとりあつかい …… 情報の保護と倫理

以上、7回の授業を行った後、8回はまとめ授業を行う。

事前学修

事前に教科書の該当する章を通読しておくこと

事後学修

各授業内容で行われた学習内容の理解を深めるため、その日のうちに復習を行うこと

基礎英会話

開講学科等：保 | 1 年次 | 1 単位 | 開講期：前

ロウエナ ジョンソン

■ 授業の概要

This course is aimed at beginner level students of English. The focus of the class will be speaking and students will have many opportunities to practice basic phrases, pronunciation, intonation and vocabulary. Students will gain the confidence and ability to communicate using basic English in a variety of situations. Course content is subject to change depending on students needs.

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：④)

一般目標：The goal of this class is to increase students' confidence to speak English in their daily lives. The focus will be on practical speaking exercises and students will have many opportunities to role play real life situations.

個別目標：Students will be able to communicate using basic English in a variety of situations.

■ 履修条件

Students are expected to attend every class. They must complete their homework and come to class prepared for the lesson. The most important thing is that students come to class with a desire to speak.

■ 評価基準・方法

Students will be evaluated on participation in class (30%), homework completion (10%) and two speaking tests (midterm 30% and final 30%).

■ フィードバック方法

Feedback forms will be given after each speaking test with a grade breakdown and suggestions for improvement.

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

なし

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

Headway 5th edition: Beginner: Students Book with Online Practice

■ 参考書

Headway 5th edition: Beginner: Students Book with Online Practice

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：Unit 1: Hello 授業内容：Basic introductory phrases, everyday objects, plurals, numbers. 事前学修 0.5hr：Read the contents page of the textbook 事後学修 2.0hr：Memorise the word list on p.14
2 回	授業テーマ：Unit 2: Your World 授業内容：Questions, pronouns, possessives, countries, adjectives and nouns. 事前学修 2.0hr：Memorise the word list on p.22 事後学修 2.0hr：Memorise the word list on P.30
3 回	授業テーマ：Unit 3: All About You 授業内容：Negatives, questions and short answers, jobs, personal information. 事前学修 2.0hr：Memorise the word list on p.30 事後学修 2.0hr：Memorise the word list on p.40
4 回	授業テーマ：Unit 4: Family and Friends. 授業内容：possessive adjectives, possessives, common verbs, the family, the alphabet. 事前学修 2.0hr：Memorise the word list on p.40 事後学修 2.0hr：Memorise the word list on p.50
5 回	授業テーマ：Unit 5: Things I like. 授業内容：Present simple positive, adverbs of frequency, questions and negatives, the time, words that go together. 事前学修 2.0hr：Memorise the word list on p.50 事後学修 2.0hr：Memorise the word list on p.60
6 回	授業テーマ：Mid-Term Speaking Test. 授業内容：Speaking test 事前学修 3.0hr：Write and practice the speaking test. 事後学修 2.0hr：Write and practice the speaking test.
7 回	授業テーマ：Speaking Test Practice 授業内容：Prepare for the speaking test by practising with classmates and the teacher. Receive individual feedback before the test. 事前学修 2.0hr：Write and practice the speaking test. 事後学修 2.0hr：Practice the speaking test
8 回	授業テーマ：Midterm Speaking Test 授業内容：Speaking test. 事前学修 3.0hr：Practice the speaking test. 事後学修 2.0hr：Memorise the word list on p.60
9 回	授業テーマ：Unit 6: Everyday. 授業内容：present simple, adverbs of frequency, questions and negatives, the time, words that go together. 事前学修 2.0hr：Memorise the word list on p.70 事後学修 2.0hr：Memorise the word list on p.80
10 回	授業テーマ：Unit 7: Favorite Things. 授業内容：Question words, pronouns, subjects, objects, possessives, this and that, adjectives. 事前学修 2.0hr：Memorise the word list on p.80 事後学修 2.0hr：Memorise the word list on p. 90
11 回	授業テーマ：Unit 8: Home sweet Home 授業内容：Prepositions of place, rooms and furniture, places in a town 事前学修 2.0hr：Memorise the word list on p.90 事後学修 2.0hr：Memorise the word list on p. 100

12 回	授業テーマ：Unit 9: Past Times. 授業内容：Past simple irregular verbs. Saying years 'have, do, go' 事前学修 2.0hr：Memorise the word list on p. 100 事後学修 2.0hr：Memorise the word list on p. 100
13 回	授業テーマ：Speaking test preparation. 授業内容：Prepare for the speaking test by practising with classmates and the teacher. Receive individual feedback before the test 事前学修 2.0hr：Write and practice the speaking test. 事後学修 3.0hr：Write and practice the speaking test.
14 回	授業テーマ：Final Speaking Test. 授業内容：Speaking test. 事前学修 3.0hr：Write and practice the speaking test 事後学修 3.0hr：Write and practice the speaking test.
15 回	授業テーマ：Final make up tests 授業内容：Final tests. Make up tests and feedback. 事前学修 2.0hr：Practice the speaking test. 事後学修 2.0hr：Review the course

発展英会話

開講学科等：保 | 1 年次 | 1 単位 | 開講期：後

ロウエナ ジョンソン

■ 授業の概要

This course is aimed at building on the knowledge gained in the Basic English class. The focus of the class will be speaking and students will have many opportunities to practice advanced phrases, pronunciation, intonation and vocabulary. Students will gain the confidence and ability to communicate using advanced English in a variety of situations. Course content is subject to change depending on students needs.

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：④)

一般目標：The goal of this class is to increase students' confidence to speak English in their daily lives. The focus will be on practical speaking exercises and students will have many opportunities to role play real life situations.

個別目標：Students will be able to communicate using more advanced English in a variety of situations.

■ 履修条件

Students are expected to attend every class. They must complete their homework and come to class prepared for the lesson. The most important thing is that students come to class with a desire to speak.

■ 評価基準・方法

Students will be evaluated on participation in class (30%), homework completion (10%) and two speaking tests (midterm 30% and final 30%).

■ フィードバック方法

Feedback forms will be given after each speaking test with a grade breakdown and suggestions for improvement.

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

なし

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

Headway 5th edition: Beginner: Students Book with Online Practice

■ 参考書

Headway 5th edition: Beginner: Students Book with Online Practice

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：Unit 8: Home Sweet Home 授業内容：Prepositions of place, rooms and furniture, places in a town. 事前学修 0.5hr：Memorise the word list 事後学修 2.0hr：Memorise the word list
2 回	授業テーマ：Unit 9: Past times 授業内容：Saying yes, past simple, irregular verbs, common verbs. 事前学修 2.0hr：Memorise the word list 事後学修 2.0hr：Memorise the word list
3 回	授業テーマ：Unit 10: We had a good time 授業内容：Past simple, questions and negatives, time expressions. 事前学修 2.0hr：Memorise the word list 事後学修 2.0hr：Memorise the word list
4 回	授業テーマ：Unit 11: We can do it! 授業内容：Can/cant, requests and offers, adverbs. 事前学修 2.0hr：Memorise the word list 事後学修 2.0hr：Memorise the word list
5 回	授業テーマ：Unit 12: Thank you Very Much 授業内容：Some and any, offering things, like and would like. 事前学修 2.0hr：Memorise the word list 事後学修 2.0hr：Memorise the word list
6 回	授業テーマ：Mid-Term Speaking Test. 授業内容：Speaking test 事前学修 3.0hr：Write and practice the speaking test. 事後学修 2.0hr：Write and practice the speaking test.
7 回	授業テーマ：Speaking Test Practice 授業内容：Prepare for the speaking test by practising with classmates and the teacher. Receive individual feedback before the test. 事前学修 2.0hr：Write and practice the speaking test. 事後学修 2.0hr：Practice the speaking test
8 回	授業テーマ：Midterm Speaking Test 授業内容：Speaking test. 事前学修 3.0hr：Practice the speaking test. 事後学修 2.0hr：Memorise the word list
9 回	授業テーマ：Unit 13: Whats happening now? 授業内容：Colours and clothes, present continuous, opposite verbs, whats the matter? 事前学修 2.0hr：Memorise the word list 事後学修 2.0hr：Memorise the word list
10 回	授業テーマ：Unit 14: Lets go! 授業内容：Future plans, making arrangements, social expressions. 事前学修 2.0hr：Memorise the word list 事後学修 2.0hr：Memorise the word list
11 回	授業テーマ：Review units 1-7 授業内容：Review of all units 1-7 事前学修 2.0hr：Memorise the word list 事後学修 2.0hr：Memorise the word list

12 回	授業テーマ：Review of all units 8-14 授業内容：Review of all units 8-14 事前学修 2.0hr：Memorise the word list. 事後学修 2.0hr：Memorise the word list.
13 回	授業テーマ：Speaking test preparation. 授業内容：Prepare for the speaking test by practising with classmates and the teacher. Receive individual feedback before the test. 事前学修 2.0hr：Write and practice the speaking test. 事後学修 3.0hr：Write and practice the speaking test.
14 回	授業テーマ：Final Speaking Test. 授業内容：Speaking test. 事前学修 3.0hr：Write and practice the speaking test 事後学修 3.0hr：Write and practice the speaking test.
15 回	授業テーマ：Final make up tests 授業内容：Final tests. Make up tests and feedback. 事前学修 2.0hr：Practice the speaking test. 事後学修 2.0hr：Review the course

歯学基礎英語

開講学科等：保 | 3 年次 | 1 単位 | 開講期：前 | 備考：科目責任者 久保田チエコ

久保田 チエコ (くぼた ちえこ)・ムレレ カレド ジャービス

■ 授業の概要

This course introduces students to English vocabulary and expressions used in various topics of dental science at an introductory level. Students will develop all four language skills — reading, listening, speaking, and writing — focusing on understanding texts, listening to short lectures, participating in class discussions, and summarizing content to demonstrate comprehension.

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：④)

一般目標：1.Understanding and use of basic English terminology across various dental science topics, and development of basic skills in reading, listening, speaking, and writing.

2.Development of foundational English skills for dental hygienist students to improve communication in a professional environment.

個別目標：1. Identify and explain key English terms in various dental science topics.

2. Read and summarize content from dental textbooks or articles to demonstrate understanding.

3. Listen to and understand short lectures or explanations on basic dental topics.

4. Participate in class discussions using simple English expressions.

5. Write short summaries or answers that show understanding of basic dental topics.

■ 履修条件

高校卒業程度の英語を理解できるように、中学・高校で学習した英語の文法、読解、リスニングを復習しておくこと。

■ 評価基準・方法

定期試験 40 %、Speaking test 30 %、Mid-term test 10 %、Mini tests 10 %、学習内容ノート 10 %で総合的に評価する。授業参加姿勢等は、学習への積極的な取り組みとして追加点として評価する。第 1～8 回で Mini test 行い、Mid-term test はこれまで学習したリスニング内容から出題する。また、5 分の 4 以上の出席評価を前提条件とする。

■ フィードバック方法

課題及び評価のフィードバックは、授業や manaba を通して行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (Digital book で復習を行う)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

Career Paths 『Dentistry』 Express Publishing

■ 参考書

必要に応じて講義内で紹介する。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：Specializations 授業内容：Explain the major specializations in dentistry and their roles. 事前学修 1.0hr：Students are required to write the English text and its Japanese translation in their notebooks before class. 事後学修 0.5hr：Students are required to review the lesson.
2 回	授業テーマ：The Mouth 授業内容：Explain the main parts of the mouth and their functions. 事前学修 1.0hr：Students are required to write the English text and its Japanese translation in their notebooks before class. 事後学修 0.5hr：Students are required to review the lesson.
3 回	授業テーマ：Tooth Anatomy 授業内容：Explain the structure of the tooth and the functions of teeth. 事前学修 1.0hr：Students are required to write the English text and its Japanese translation in their notebooks before class. 事後学修 0.5hr：Students are required to review the lesson.
4 回	授業テーマ：Types of Teeth 授業内容：Explain the different types of teeth and their functions. 事前学修 1.0hr：Students are required to write the English text and its Japanese translation in their notebooks before class. 事後学修 0.5hr：Students are required to review the lesson.
5 回	授業テーマ：Personal Protective Equipment 授業内容：Explain the purpose and proper use of personal protective equipment in dental practice. 事前学修 1.0hr：Students are required to write the English text and its Japanese translation in their notebooks before class. 事後学修 0.5hr：Students are required to review the lesson.
6 回	授業テーマ：Radiography 授業内容：Explain radiography in dentistry and its basic purpose. 事前学修 1.0hr：Students are required to write the English text and its Japanese translation in their notebooks before class. 事後学修 0.5hr：Students are required to review the lesson.
7 回	授業テーマ：Dental Prosthetics 授業内容：Explain the work environment in dental practices and the role of dental prosthetics. 事前学修 1.0hr：Students are required to write the English text and its Japanese translation in their notebooks before class. 事後学修 0.5hr：Students are required to review the lesson.
8 回	授業テーマ：Mid-term test, Dental Caries 授業内容：Explain dental caries, including causes and basic prevention. 事前学修 1.0hr：Students are required to write the English text and its Japanese translation in their notebooks before class. 事後学修 0.5hr：Students are required to review the lesson.
9 回	授業テーマ：The Dental Practice 授業内容：Explain the general workflow and environment of a dental practice. 事前学修 0.5hr：Read the contents of Book1, Unit 3. 事後学修 1.0hr：Complete Book1, Unit 3.

10 回	授業テーマ：Patient scheduling 授業内容：Explain patient scheduling and basic communication related to appointments. 事前学修 0.5hr：Read the contents of Book1, Unit 11. 事後学修 1.0hr：Complete Book1,Unit 11.
11 回	授業テーマ：Insurance and Fees 授業内容：Explain dental insurance and fees, and practice interviewing patients about costs. 事前学修 0.5hr：Read the contents of Book1,Unit 12. 事後学修 1.0hr：Complete Book1,Unit 12.
12 回	授業テーマ：Chairside Manner 授業内容：Explain appropriate chairside manners and basic patient communication. 事前学修 0.5hr：Review Book1, Unit 13. 事後学修 1.0hr：Complete Book1, Unit 13.
13 回	授業テーマ：Oral Health 授業内容：Explain dental cleaning procedures and ensure patient understanding before treatment. 事前学修 0.5hr：Read the contents of Book1, Unit 14. 事後学修 1.0hr：Complete Book1, Unit 14.
14 回	授業テーマ：Dental Cleanings 授業内容：Explain dental cleaning procedures and ensure patient understanding before treatment. 事前学修 0.5hr：Read the contents of Book1, Unit 15. 事後学修 1.0hr：Complete Book1, Unit 15.
15 回	授業テーマ：Speaking test 授業内容：Evaluate students' ability to communicate in English in dental-related situations. 事前学修 0.5hr：Review Book1 (Unit 3, 11-15) for the test. 事後学修 1.0hr：Complete Book1 (Unit 3, 11-15) .

歯学臨床英語

開講学科等：保 | 3 年次 | 1 単位 | 開講期：後 | 備考：科目責任者 久保田チエコ

久保田 チエコ (くぼた ちえこ)・ムレレ カレド ジャービス

■ 授業の概要

This course focuses on English vocabulary and expressions used in various topics of dental science at an advanced level. Students will develop all four language skills — reading, listening, speaking, and writing — emphasizing the application of knowledge in clinical contexts, such as patient interviews, case discussions, treatment explanations, and clinical documentation. Students will also summarize content to demonstrate understanding.

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：④)

一般目標：1. Application of English terminology and expressions in dental clinical settings and development of practical communication skills.
2. Enhancement of English communication skills required for patient interaction and collaboration with dental professionals.

個別目標：1. Identify and appropriately use key English terms in clinical dental situations.
2. Understand and explain clinical cases using appropriate English expressions.
3. Conduct patient interviews using basic professional English.
4. Provide treatment explanations and post-operative instructions in English.
5. Communicate effectively with dental staff in simulated clinical settings.

■ 履修条件

高校卒業程度の英語を理解できるように、中学・高校で学習した英語の文法、読解、リスニングを復習しておくこと。

■ 評価基準・方法

定期試験 40 %、Speaking test 30 %、Mid-term test 10 %、Mini tests 10 %、学習内容ノート 10 %で総合的に評価する。授業参加姿勢等は、学習への積極的な取り組みとして追加点として評価する。第 1~7,14 回で Mini tests を行い、Mid-term test はこれまで学習したリスニング内容から出題する。また、5 分の 4 以上の出席評価を前提条件とする。

■ フィードバック方法

課題及び評価のフィードバックは、授業や manaba を通して行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (Digital book で復習を行う)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

Career Paths 『Dentistry』 Express Publishing

■ 参考書

必要に応じて講義内で紹介する。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：Root Canals 授業内容：Explain the purpose and procedures of root canal treatment. 事前学修 1.0hr：Students are required to write the English text and its Japanese translation in their notebooks before class. 事後学修 0.5hr：Students are required to review the lesson.
2 回	授業テーマ：Oral Infections 授業内容：Explain common oral infections and their causes. 事前学修 1.0hr：Students are required to write the English text and its Japanese translation in their notebooks before class. 事後学修 0.5hr：Students are required to review the lesson.
3 回	授業テーマ：Oral Cancer 授業内容：Explain oral cancer, including basic signs, risk factors, and prevention. 事前学修 1.0hr：Students are required to write the English text and its Japanese translation in their notebooks before class. 事後学修 0.5hr：Students are required to review the lesson.
4 回	授業テーマ：Dental Emergencies 授業内容：Explain common dental emergencies and appropriate responses. 事前学修 1.0hr：Students are required to write the English text and its Japanese translation in their notebooks before class. 事後学修 0.5hr：Students are required to review the lesson.
5 回	授業テーマ：Geriatric Dentistry 授業内容：Explain characteristics and considerations in geriatric dentistry. 事前学修 1.0hr：Students are required to write the English text and its Japanese translation in their notebooks before class. 事後学修 0.5hr：Students are required to review the lesson.
6 回	授業テーマ：Nutritional Counseling 授業内容：Explain the role of nutritional counseling in dental care. 事前学修 1.0hr：Students are required to write the English text and its Japanese translation in their notebooks before class. 事後学修 0.5hr：Students are required to review the lesson.
7 回	授業テーマ：Chronic Illness 授業内容：Explain the connection between oral health and chronic illness. 事前学修 1.0hr：Students are required to write the English text and its Japanese translation in their notebooks before class. 事後学修 0.5hr：Students are required to review the lesson.
8 回	授業テーマ：Orthodontic Treatment 授業内容：Explain the purpose and basic procedures of orthodontic treatment. 事前学修 0.5hr：Read the contents of Book2, Unit 4. 事後学修 1.0hr：Complete Book2, Unit 4.
9 回	授業テーマ：Fillings 授業内容：Explain dental fillings and restorative treatment. 事前学修 0.5hr：Read the contents of Book2, Unit 6. 事後学修 1.0hr：Complete Book2, Unit 6.

10 回	授業テーマ：Extractions 授業内容：Explain tooth extractions and post-operative care. 事前学修 0.5hr：Read the contents of Book2, Unit 8. 事後学修 1.0hr：Complete Book2, Unit 8.
11 回	授業テーマ：Gum Disease 授業内容：Explain gum disease and its prevention. 事前学修 0.5hr：Review Book2, Unit 9. 事後学修 1.0hr：Complete Book2, Unit 9.
12 回	授業テーマ：Anesthesia 授業内容：Explain anesthesia and provide instructions for children and adults. 事前学修 0.5hr：Read the contents of Book3, Unit 7. 事後学修 1.0hr：Complete Book3, Unit 7.
13 回	授業テーマ：Patient Health History 授業内容：Explain how to obtain and understand a patient's health history. 事前学修 0.5hr：Read the contents of Book3, Unit 7. 事後学修 1.0hr：Complete Book3, Unit 7.
14 回	授業テーマ：Mid-term test, Patient Anxiety 授業内容：Explain patient anxiety and basic communication strategies to reduce it. 事前学修 1.0hr：Students are required to write the English text and its Japanese translation in their notebooks before class. 事後学修 0.5hr：Students are required to review the lesson.
15 回	授業テーマ：Speaking test 授業内容：Provide instructions for children and adults, including post-operative care, through a speaking test. 事前学修 0.5hr：Review Book2 (Unit 4, 6, 8, 9, 14) and Book3 (Unit 7) for the test. 事後学修 1.0hr：Complete Book2 (Unit 4, 6, 8, 9, 14) and Book3 (Unit 7).

解剖学

開講学科等：保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前

佐藤 文枝 (さとう ふみえ)

■ 授業の概要

人体の正常構造の基本的知識を修得するために、全身の骨格系、筋系、神経系、脈管系、消化器系、呼吸器系、内分泌系、感覚器系、泌尿器系、生殖器系の構造と機能を学ぶ。

全身と口腔・顎顔面領域、各器官との関連を知ることは人体の構造を立体的にイメージするために必要である。

歯科診療補助学、予防歯科学、歯科保健指導、矯正歯科、小児歯科、歯科補綴、高齢者歯科、歯科口腔外科などの様々な臨床において解剖学の学習が実際の診療に役立つような知識の習得を目指す。

■ 到達目標（ディプロマ・ポリシー：①）

一般目標：人体の正常な形態、構造を理解し、解剖の基本的知識を修得する。

全身の構造や全身の生理学と口腔との関連の知識は歯科での保存治療、矯正歯科、小児歯科、歯科補綴、高齢者歯科、歯科口腔外科などの様々な臨床現場において役立つ。

診療に関わった際に歯科衛生士として十分な知識を持ち診療に役立てるようにする

個別目標：人体を構成する器官系を分類できる。

各器官系を構成する器官とその部位の名称を説明できる。

方向用語を用いて人体の部位を説明できる。

■ 履修条件

歯科衛生士になるために必要な基本的専門知識を学ぶ意欲を必要とする

■ 評価基準・方法

期末試験(70%)、提出課題、授業における参加姿勢等(30%)に基づき総合的に評価する。5分の4以上の出席を評価の前提条件とする。

■ フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

■ 授業での PC の利用（利用内容）

なし

■ 教科書

全国歯科衛生士教育協議会監修 「歯科衛生学シリーズ・人体の構造と機能1」・解剖学・組織発生学・生理学」医歯薬出版株式会社

■ 参考書

前田健康、天野修、阿部伸一、馬場麻人編「口腔解剖学」第3版 医歯薬出版株式会社

■ 授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：ガイダンス・基本的な人体の構造 細胞と組織 授業内容：人体構造 細胞と組織、器官系について学習する 事前学修 2.0hr：教科書を予習する 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する
2 回	授業テーマ：発生 授業内容：人体の発生 胎児の成長について学習する 事前学修 2.0hr：教科書を予習する 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する
3 回	授業テーマ：骨 授業内容：体を構成する上肢骨と下肢骨の種類と形態、部位の名称について学習する 事前学修 2.0hr：教科書を予習する 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する
4 回	授業テーマ：筋 授業内容：全身を構成する主要な筋の名称と走行について学習する 事前学修 2.0hr：教科書を予習する 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する
5 回	授業テーマ：消化と吸収1 授業内容：消化管と消化腺の構造について学習する 事前学修 2.0hr：教科書を予習する 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する
6 回	授業テーマ：消化と吸収2 授業内容：消化器系の機能について学習する 事前学修 2.0hr：教科書を予習する 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する
7 回	授業テーマ：循環器 授業内容：心臓と脈管、リンパ管の構造と機能について学習する 事前学修 2.0hr：教科書を予習する 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する
8 回	授業テーマ：感覚器 授業内容：感覚器の種類と構造について学習する 事前学修 2.0hr：教科書を予習する 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する
9 回	授業テーマ：神経系1 授業内容：神経の分類と構造を学習する 事前学修 2.0hr：教科書を予習する 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する
10 回	授業テーマ：神経系2 授業内容：中枢神経と末梢神経について学習する 事前学修 2.0hr：教科書を予習する 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する

11 回	授業テーマ：呼吸器 授業内容：上気道、気管、気管支、肺、胸郭の構造について学習する 事前学修 2.0hr：教科書を予習する 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する
12 回	授業テーマ：泌尿器 授業内容：泌尿器の構造と排尿の仕組みについて学習する 事前学修 2.0hr：教科書を予習する 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する
13 回	授業テーマ：内分泌 授業内容：甲状腺、副甲状腺、下垂体、松果体等の内分泌器官の構造について学習する 事前学修 2.0hr：教科書を予習する 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する
14 回	授業テーマ：生殖器と体温 授業内容：生殖器の構造と体温調節機構について学習する 事前学修 2.0hr：教科書を予習する 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する
15 回	授業テーマ：総合復習 授業内容：一連の講義について学んだことを総合的に振り返る 事前学修 2.0hr：教科書を予習する 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する

生理学

開講学科等：保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前 | 備考：科目責任者 村本和世

飯田 理人 (いいた まさと)・村本 和世 (むらもと かずよ)

■ 授業の概要

医学の基礎としての生理学は、正常な人体の全身機能およびその調節の「しくみ」を理解する学問である。

講義では第一に、呼吸・消化吸収・排泄や循環といった生命を維持するために必須の機能(植物性機能)について学ぶ。これらを調節する大切なしくみとして内分泌系(ホルモン)や神経(主に自律神経系)についても学習する。第二に、身体の外部に対して働きかける機能(動物性機能)について学ぶ。このような機能として、外界の環境情報を伝える感覚器系や運動系(骨格系・筋系・神経の運動機能)が挙げられる。さらに、身体機能を統合する上で重要な中枢機構や脳の高次機能として記憶や睡眠のメカニズムについても学んでいく。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：①)

一般目標：医学知識の基礎として、人体の正常機能およびそれを調節するしくみを理解する。生命維持に必須な植物性機能と動物性機能(感覚・運動)の基礎知識を習得する。注意事項：感覚、消化吸収、体温調節および生殖機能については主に口腔生理・機能学にて授業を行う。

個別目標：(1) 筋、神経などをはじめとした人体組織の構造と機能について説明できる。

(2) 人体の機能を調節する内分泌系(ホルモン)や脳・神経系の分類、はたらくしくみを説明できる。

(3) 呼吸や循環といった生命維持のしくみを説明できる。

(4) なぜ動くことができるか、その際に必要な運動系のしくみを説明できる。

■ 履修条件

高校生物の人体に関する知識を習得していることが望ましい。毎回の授業には指定教科書を持参すること。

■ 評価基準・方法

定期試験の結果に基づいて成績評価を行う。授業内への参加姿勢および発言等と到達目標の達成度などを評価に加味する場合もある。原則として5分の4以上の出席を評価の前提条件とする。(欠席事由等については『履修の手引』を参照すること。)

■ フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

なし

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (資料ファイルの閲覧、授業内での課題作成、講義内容のメモなど)

■ 教科書

1) 「最新 歯科衛生士教本 人体の構造と機能 1 解剖学・組織発生学・生理学」医歯薬出版

■ 参考書

1) 村上秀明 天野修 監修「イラストでわかる歯科医学の基礎 第4版」永末書店 2) 「歯科衛生士書き込み式学習ノート①専門基礎科目編 第2版」医歯薬出版

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：ガイダンス・生理学とは・細胞と組織・細胞膜を介した物質輸送機構、神経細胞と筋細胞 授業内容：生理学で学ぶ範囲について理解する。人体を構成する最小の基本単位である「細胞」の基本的な構造と生理機能について学ぶ。また、体液の組成・区分と役割も解説する。そして、細胞膜に注目し、膜を介して物質が輸送される機構について学ぶ。 事前学修 2.0hr：生理学とは、細胞の基本的生理機能について、細胞の基本的生理機能を読む。(p9-10, p 18-20) 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り学修する。新しく習った用語および定義を再確認する。
2 回	授業テーマ：血液 授業内容：血液の成分とその機能、止血の機構、血液凝固と線溶、血液型と輸血をテーマに解説していく。 事前学修 2.0hr：教科書第Ⅱ編第4章「循環」の内、「④-血液」(p115-121)の箇所を一読しておくことが望ましい。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り学修する。新しく習った用語および定義を再確認する。
3 回	授業テーマ：興奮性組織 授業内容：細胞が興奮するとはどういうことか、興奮性細胞にどのようにして膜電位が形成され、刺激によってどうして活動電位が発生するのか、そして電気信号がどのように伝えられていくのかについての理論について解説する。 事前学修 2.0hr：細胞の基本的生理機能(教科書 p18-20)を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り学修する。新しく習った用語および定義を再確認する。
4 回	授業テーマ：筋と運動(1)：筋の種類と構造・役割、興奮-収縮連関(筋による差異)、等張性収縮と等尺性収縮 授業内容：人体を構成する筋の種類と役割の違いと、骨格筋・心筋・平滑筋の構造的・機能的相違点、そして、筋が収縮する機構・過程について解説する。また、骨格筋の収縮様態(収縮の種類)についても触れる。 事前学修 2.0hr：教科書 p64-70 (第Ⅱ編第2章筋と運動のうち、「①-概説」)を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り学修する。新しく習った用語および定義を習得する。
5 回	授業テーマ：神経系(1)：神経系の構造と機能、中枢神経系と末梢神経系の区分と構造、運動系、反射と随意運動、姿勢調節 授業内容：神経系の構造を大まかに学ぶ。神経系の中で、特に末梢神経系の種類・構成とそれぞれの特徴と機能について解説する。末梢神経系の中でも、特に体性神経系(運動神経と感覚神経)の役割等について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書第Ⅱ編第6章のうち①、②、③、⑦の項目(p179-190/p204-212)について、予め読んでおくことが望ましい。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り学修する。新しく習った用語および定義を再確認する。
6 回	授業テーマ：神経系(2)：中枢神経系の構造と脳の高次機能 授業内容：中枢神経系のうち、特に大脳皮質の構造と機能局在について解説する。他にも、情動と本能行動およびその制御機構、脳波と睡眠、記憶と学習などの問題を、脳の高次機能として取り上げる。 事前学修 2.0hr：教科書の第Ⅱ編第6章のうち、p189-192の内容について予め読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り学修する。新しく習った用語および定義を再確認する。
7 回	授業テーマ：神経系(3)：運動制御系と筋活動 授業内容：身体を動かすときに必要な構成要素、動かすために筋に命令を伝えるシステムとその機構について解説する。筋収縮を解析するために測定する筋電図の原理と意義についても学ぶ。特に、運動の制御に関わる神経系の領域の構成と役割、調節機構、運動命令を伝える末梢神経の機構などには特に注目する。運動における神経と筋の相互作用の観点から、運動の種類を挙げ、それぞれがどのように制御されているかについても学習する。姿勢の制御についても触れる。 事前学修 2.0hr：教科書 080-83 (第Ⅱ編第2章筋と運動のうち、「③-運動」および「④-筋電図」と読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り学修する。新しく習った用語および定義を再確認する。

8 回	<p>授業テーマ：神経系(3)：末梢神経系・自律神経系 授業内容：末梢神経系の中でも、自律神経系(遠心神経としての交感神経・副交感神経と内臓感覚神経)について解説する。自律神経系は生理学で学ぶあらゆる機能調節に重要な役割を演じているため、この学習は今後の学習においても極めて重要である。 事前学修 2.0hr：教科書第Ⅱ編第6章のうち、「⑥-末梢神経系」(p196-203)を一読しておくことが望ましい。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り学修する。新しく習った用語および定義を習得する。</p>
9 回	<p>授業テーマ：内分泌とホルモン 授業内容：内分泌器官とホルモン、ホルモンの種類、種類別の作用機序、代表的なホルモンの作用と分泌調節機構などについて、内分泌腺毎に解説する。 事前学修 2.0hr：教科書第Ⅱ編第9章(p246-258)を予め一読しておくことが望ましい。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り学修する。新しく習った用語および定義を再確認する。</p>
10 回	<p>授業テーマ：呼吸器系(1)：概説、呼吸のメカニズム、換気量と肺気量区分 授業内容：呼吸器系のはたらき、呼吸の意義について概説すると共に、呼吸運動のメカニズムについて学習する。また、肺の機能検査でも行う肺気量の測定例から、肺気量の区分と意味、換気と換気量についても解説する。 事前学修 2.0hr：教科書第Ⅱ編第7章のうち、①(p213-214)、③(p222-224)、④(p225-226)を一読しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り学修する。新しく習った用語および定義を再確認する。</p>
11 回	<p>授業テーマ：呼吸器系(2)：ガス交換、血中のガスの運搬、呼吸調節機構 授業内容：肺胞での酸素と二酸化炭素の交換とそれに影響する要因、これらのガスが血液を介して運搬される方法と影響要因などについて学習する。また、呼吸器系の総合的な機能調節機構についても学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書第Ⅱ編第7章のp227-233を一読しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り学修する。新しく習った用語および定義を再確認する。</p>
12 回	<p>授業テーマ：循環(1)：心臓 授業内容：心臓の電気活動と心電図、心機能の調節について解説する。 事前学修 2.0hr：授業では、教科書第Ⅱ編第4章「循環」の内、「⑥-循環の生理」p128-134の内容を取り上げるが、理解の前提条件として、心臓の構造や心血流などについては理解しておくこと(教科書 p121-128)。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り学修する。新しく習った用語および定義を再確認する。</p>
13 回	<p>授業テーマ：循環(2)：血管・血圧の調節 授業内容：血管の種類と役割について概説した後、血圧の調節機構について説明する。どのような要因が血圧に影響するのか、それらを調節する方法の違いと役割などについて詳しく解説していく。 事前学修 2.0hr：教科書第Ⅱ編第4章「循環」の内、②と③(p109-114)および、⑥から「3-血圧の調節」(p135-138)を一読しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り学修する。新しく習った用語および定義を習得する。</p>
14 回	<p>授業テーマ：腎機能と排尿(1)：腎臓の機能、ネフロン構造と機能、尿生成過程 授業内容：腎臓のはたらきについて概説する。特に腎臓の機能的な基本単位であるネフロンで行われる尿の生成過程について、部位ごとの機能の違いを紹介しながら、血漿の濾過機構、濾液(原尿)からの再吸収、血漿からの分泌について学習する。 事前学修 2.0hr：教科書第Ⅱ編第8章「腎機能と排尿」のうち、①~③(p234-241)までを一読しておくこと。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り学修する。新しく習った用語および定義を再確認する。</p>
15 回	<p>授業テーマ：腎機能と排尿(2)：体液量と浸透圧の調節、酸塩基平衡、尿の一般的性質、排尿機構 授業内容：腎臓は尿の生成と排泄を通じて、体液のさまざまな要因の調節を行っている。ここでは、体液の量・浸透圧・pHの調節機構について学習する。また、排泄される尿の一般的な性質に触れ、排尿が行われる神経機構について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書第Ⅱ編第8章「腎機能と排尿」のうち、③~⑤(p241-244)までを一読しておくこと。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り学修する。新しく習った用語および定義を再確認する。</p>

11 回	授業テーマ：頭頸部の筋学(担当：浅見) 授業内容：咀嚼筋、表情筋、頸部の筋および顎関節の構成と機能について 事前学修 2.0hr：教科書Ⅰ編 1章③④を読む。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、頭頸部を構成する筋や顎関節の構造をまとめる。
12 回	授業テーマ：頭頸部の脈管学(担当：浅見) 授業内容：血液循環の経路と主要な動静脈の名称について 事前学修 2.0hr：教科書Ⅰ編 1章⑤を読む。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、頭頸部に分布する脈管系の特徴をまとめる。
13 回	授業テーマ：頭頸部の神経学(担当：浅見) 授業内容：三叉神経、顔面神経の走行および分布について 事前学修 2.0hr：教科書Ⅰ編 1章⑥を読む。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、三叉神経、顔面神経の特徴をまとめる。
14 回	授業テーマ：頭頸部の神経学(担当：浅見) 授業内容：舌咽神経、迷走神経、舌下神経の走行および分布について 事前学修 2.0hr：教科書Ⅰ編 1章⑥を読む。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、舌咽神経、迷走神経、舌下神経の特徴をまとめる。
15 回	授業テーマ：頭頸部の解剖学まとめ(担当：浅見) 授業内容：前期試験対策および重要内容の総復習 事前学修 2.0hr：教科書Ⅰ編 1章を読む。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、重要項目を整理する。

口腔生理・機能学

開講学科等：保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前 | 備考：科目責任者 村本和世

飯田 理人 (いいた まさと)・村本 和世 (むらもと かずよ)

■ 授業の概要

口腔生理学は、顎口腔系の機能を対象にした生理学の一部門であり、口腔領域を専門に扱う医療従事者にとっては必ず理解しなければならない内容である。すでに学んだ生理学の知識を基本とし、口腔領域の機能、すなわち歯、唾液分泌、味覚、口腔感覚、発声、咀嚼および摂食嚥下などの機能について学習する。これらの調節には全身同様に内分泌・神経系が関わっていることから、調節系について復習していくことも必修となる。歯科医療の目的は顎顔面口腔系の機能を健全に維持することであり、また機能障害の予防治療を行う上で基礎となることから、口腔生理学の理解が重要であるとの意識を徹底させたい。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：①)

一般目標：歯と口腔およびその周囲組織の生理的機能についての基礎知識を習得する。注意事項：感覚、消化吸収、体温調節および生殖機能については主に口腔生理・機能学にて授業を行う。

個別目標：(1) 味覚、嗅覚、口腔内の感覚のほか、自分をとりまく環境を認識するしくみ(感覚器)について説明できる。

(2) 摂食・嚥下から消化吸収、排泄に至る消化器系について説明できる。

(3) 唾液分泌について説明できる。

(4) 発声など、口腔周囲組織の消化吸収関連以外の機能について説明できる。

■ 履修条件

毎回の授業には、指定教科書を持参すること。

■ 評価基準・方法

定期試験の結果に基づいて成績評価を行う。授業内への参加姿勢および発言等と到達目標の達成度などを評価に加味する場合もある。原則として5分の4以上の出席を評価の前提条件とする。(欠席事由等については『履修の手引』を参照すること。)

■ フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

なし

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (資料ファイルの閲覧、授業内での課題作成、講義内容のメモなど)

■ 教科書

1) 「最新 歯科衛生士教本 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」医歯薬出版

2) 「最新 歯科衛生士教本 人体の構造と機能 1 解剖学・組織発生学・生理学」医歯薬出版

■ 参考書

1) 村上秀明 天野修 監修「イラストでわかる歯科医学の基礎 第4版」永末書店 2) 「歯科衛生士書き込み式学習ノート①専門基礎科目編 第2版」医歯薬出版

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：感覚器系 (1)：感覚の種類と特徴、体性感覚、体性感覚の受容器、刺激受容機構と情報伝達経路 授業内容：一般的な感覚器系の特徴と分類を行う。特に体性感覚を取り上げ、体性感覚の受容器、情報の伝達経路について解説する。 事前学修 2.0hr：教科書 2) II 編第 5 章 感覚のうち、①④(p156~161)の記載を一読しておくことが望ましい。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り学修する。新しく習った用語および定義を再確認する。
2 回	授業テーマ：感覚器系 (2)：顎顔面口腔の感覚、口腔顔面領域の体性感覚、歯痛と異常疼痛 授業内容：顎顔面口腔領域の主に体性感覚について概説する。この領域は、今後実際に職務対象となる領域であるため、非常に重要である。特に、歯の感覚について詳細に解説する。 事前学修 2.0hr：教科書 1) III 編第 1 章(p192~199)について、一読しておくことが望ましい。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り学修する。新しく習った用語および定義を再確認する。
3 回	授業テーマ：感覚器系 (3)：特殊感覚(視覚・聴覚・平衡覚)の特徴、網膜の光受容機構、内耳での音(振動波)の受容と前庭感覚 授業内容：特殊感覚について、視覚器(目)と平衡聴覚器(耳)を取り上げる。構造については、解剖学の内容なので簡単に触れるに留め、ここでは目で光刺激が受容される機構、耳で音波(空気の振動波)と身体の傾きや運動加速度などどのように刺激として受容されるのかについて解説する。 事前学修 2.0hr：教科書 2) II 編第 5 章の感覚のうち、⑥- 1, 2, 3 (p167~174)を一読しておくことが望ましい。特に、目と耳の内部構造については予め予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り学修する。新しく習った用語および定義を再確認する。
4 回	授業テーマ：味覚と嗅覚(1)：味覚の役割、味覚受容体と受容機構、味覚の神経機構 授業内容：味覚のうち、味覚受容器(味蕾)の分布と情報を伝導する感覚神経について解説する。また、その前段階としての、味物質の受容体での受容機構、味覚の特徴や味物質の分類(味質)などについても説明する。 事前学修 2.0hr：教科書 1) III 編第 2 章のうち①-味覚(p200~204)を一読しておく。また、教科書 2) II 編第 5 章⑥の味覚器(p175)の構造は把握していることを前提として講義を行う。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り学修する。新しく習った用語および定義を再確認する。
5 回	授業テーマ：味覚と嗅覚(2)：味覚障害および加齢変化、味覚機能検査、嗅覚の特徴、ニオイの受容機構、嗅覚の神経機構 授業内容：味覚の病態と加齢、検査法をテーマに解説する。また、味覚と同じ化学感覚のもう一例として、嗅覚を取り上げる。嗅覚の特徴や神経機構(受容機構を含む)、嗅覚障害などについて解説する。 事前学修 2.0hr：教科書 1) III 編第 2 章①-味覚から 5/6.(p204~207)と教科書 1) III 編第 2 章②-嗅覚(p207~212)を一読しておく。教科書 2) II 編第 5 章⑥の嗅覚器(p176)の構造は把握していることを前提として講義を行う。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り学修する。新しく習った用語および定義を再確認する。
6 回	授業テーマ：咬合と顎運動：下顎位、咀嚼筋と顎運動、下顎反射 授業内容：上顎を基準とした下顎の位置関係を示す「下顎位」について学習する。また、顎運動の種類と主動する筋の関係についても学ぶ。下顎の動きを制御する筋活動に現れる顎反射についても、その種類と役割、反射弓(反射を制御する神経機構)について解説する。 事前学修 2.0hr：教科書 1) III 編第 3 章のうち①③(p213~222)を一読しておくことが望ましい。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り学修する。新しく習った用語および定義を再確認する。
7 回	授業テーマ：咀嚼と吸啜 授業内容：飲食物を摂取するときに行われる運動として、咀嚼と吸啜について、その特徴や制御機構について解説する。また、咀嚼についてはその評価方法について、乳児から成人に向かう成長過程で吸啜運動から咀嚼運動へと発達していく特徴などを学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書 1) III 編第 3 章のうち④咀嚼および⑤吸啜(p222~232)を一読しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り学修する。新しく習った用語および定義を再確認する。

8 回	<p>授業テーマ：嚥下と嘔吐(1)：摂食嚥下の5期モデル、嚥下時の筋のはたらきと食塊の動き、嚥下の神経機構</p> <p>授業内容：摂食嚥下の5期について、食塊の動きとそれを生み出す各器官の動きと仕組みについて概説する。また、嚥下を誘発する刺激、嚥下を制御する神経機構についても説明する。</p> <p>事前学修 2.0hr：教科書 1) Ⅲ編 4章①-嚥下のうち、1.,2.,3. (p233'240)について一読しておくことが望ましい。</p> <p>事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り学修する。新しく習った用語および定義を再確認する。</p>
9 回	<p>授業テーマ：嚥下と嘔吐(2)：嚥下の病態、嘔吐の過程、嘔吐の神経機構</p> <p>授業内容：嚥下の異常・病態について説明する。次いで、嘔吐について、嘔吐の意義、嘔吐の原因、嘔吐の過程と嘔吐の神経機構について解説していく。</p> <p>事前学修 2.0hr：教科書 1) Ⅲ編 4章①-嚥下のうち、4. (p241)と第4章②-嘔吐(p242'247)について一読しておくことが望ましい。</p> <p>事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り学修する。新しく習った用語および定義を再確認する。</p>
10 回	<p>授業テーマ：唾液分泌</p> <p>授業内容：三大唾液腺の分泌機構、唾液分泌の神経支配、唾液の成分と性状および機能について説明する。また、口腔乾燥症をはじめとした唾液関連疾患について説明する。</p> <p>事前学修 2.0hr：教科書 1) Ⅲ編第6章 唾液の範囲(p260'270)を一読しておくことが望ましい。</p> <p>事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り学修する。新しく習った用語および定義を再確認する。</p>
11 回	<p>授業テーマ：消化と吸収(1)：消化と吸収の概要、三大栄養素の消化吸収過程、口腔および胃での化学的消化と機械的消化</p> <p>授業内容：消化と吸収の概要と三大栄養素の消化と吸収過程の概略について解説する。そして、特に口腔および胃で行われる化学的消化(消化液・消化酵素について)と機械的消化(運動)について学習する。</p> <p>事前学修 2.0hr：教科書 2) Ⅱ編第3章消化・吸収のうち、①~④(p84'99)までを一読しておくことが望ましい。</p> <p>事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り学修する。新しく習った用語および定義を再確認する。</p>
12 回	<p>授業テーマ：消化と吸収(2)：</p> <p>授業内容：小腸で行われる消化と吸収の作用、特に小腸の運動と胆汁・胆汁の分泌調節と作用について解説する。また大腸各部の機能と、特に排便の機構(排便反射)について、その神経機構を学習する。</p> <p>事前学修 2.0hr：教科書 2) Ⅱ編第3章消化・吸収のうち、⑤&⑥(p100'108)までを一読しておくことが望ましい。</p> <p>事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り学修する。新しく習った用語および定義を再確認する。</p>
13 回	<p>授業テーマ：発声と構音</p> <p>授業内容：発声と構音の違い、発声器官と構音器官の構成と役割について概説する。発声機構と母音の発声、構音機構と子音の種類については特に重要であり、発音の検査法なども含めて説明していく。また、発声構音の神経制御機構や言語障害の種類とその原因などについても学習する。</p> <p>事前学修 2.0hr：教科書 1) Ⅲ編 5章「発声・発語」(p248'259)について一読しておくことが望ましい。</p> <p>事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り学修する。新しく習った用語および定義を再確認する。</p>
14 回	<p>授業テーマ：体温調節</p> <p>授業内容：体温調節機構について学ぶ。まず体熱の産生機構と放熱機構を説明し、体温がどのように調節されているのかのメカニズムについて解説する。この中で、発熱と解熱の機構、熱中症と発熱の違いなどにも触れ、強力な熱放散機構である発汗(機構と種類・部位)も詳しく説明する。</p> <p>事前学修 2.0hr：教科書 2) Ⅱ編第11章「体温」(p269'278)について一読しておくことが望ましい。</p> <p>事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り学修する。新しく習った用語および定義を再確認する。</p>
15 回	<p>授業テーマ：生殖機能：女性の性周期と内分泌調節、受精と妊娠、分娩と授乳、更年期</p> <p>授業内容：種の保存に関わる生殖器官の発生・成長や生殖機能は複数のホルモンの複合作用によって制御されている。この講義では、特に性周期の内分泌調節について解説し、受精と妊娠成立の機構について学習する。また、その後の分娩や出産後の授乳過程でも内分泌調節は重要であり、これら生殖機能とホルモン制御の関係について説明する。</p> <p>事前学修 2.0hr：教科書 2) Ⅱ編第10章「生殖」のうち、②-性周期、③-受精と妊娠、④-分娩と乳汁分泌、⑤-更年期(p263'268)について一読しておくことが望ましい。</p> <p>事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り学修する。新しく習った用語および定義を再確認する。</p>

口腔組織・発生学

開講学科等：保 | 1 年次 | 1 単位 | 開講期：FT1 | 備考：科目責任者 長坂新

長坂 新 (ながさか あらた)・藤井 みゆき (ふじい みゆき)

■ 授業の概要

口腔組織・発生学では、臨床歯科医学の基礎として口腔の組織とその発生を学ぶ。口腔組織学では、エナメル質、象牙質、歯髄、セメント質、歯根膜、歯槽骨、歯肉など歯と歯周組織の構造を理解し、口腔・顎顔面領域の疾病と治療法を理解するための基礎的知識を修得する。口腔発生学では、ヒトが受精卵から胎児になり出生するまでの過程を学び、その中で口腔の諸器官および歯の形成・萌出する過程を学ぶ。講義は随時、到達目標を示し、その場での理解と知識の定着を目指す。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：①)

一般目標：全身と口腔における正常な組織形成や構造、発生を理解し、基本的知識を修得する。

個別目標：全身と口腔における正常な組織形成や構造、発生に関する基本的事項を説明できる。

■ 履修条件

特になし。

■ 評価基準・方法

期末試験 (70%)、提出課題や講義における参加姿勢など (30%) に基づき総合的に評価する。5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

■ フィードバック方法

課題などのフィードバックは、学習支援システム manaba を通じて行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

なし

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

①全国歯科衛生士教育協議会監修 「歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能 1 解剖学・組織発生学・生理学」 医歯薬出版株式会社

②全国歯科衛生士教育協議会監修 「歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」 医歯薬出版株式会社

■ 参考書

天野修他編 「イラストでわかる歯科医学の基礎」 永末書店 第4版

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

授業テーマ

第 1 回 ガイダンス・細胞学

第 2 回 組織学総論 (1)

第 3 回 組織学総論 (2)

第 4 回 歯および歯周組織 (1) エナメル質、象牙質・歯髄複合体

第 5 回 歯および歯周組織 (2) セメント質、歯根膜、歯槽骨、歯肉

第 6 回 ヒトの初期発生

第 7 回 顎顔面の発生

第 8 回 歯および歯周組織の発生

授業内容

第 1 回 組織学、発生学の目的について解説する。細胞の構造や機能について解説する。

第 2 回 上皮組織、支持組織の特徴を概説し、分類や構造について解説する。

第 3 回 筋組織、神経組織の特徴を概説し、分類や構造について解説する。

第 4 回 エナメル質、象牙質・歯髄複合体の構造や機能について解説する。

第 5 回 セメント質、歯根膜、歯槽骨、歯肉の構造や機能について解説する。

第 6 回 受精から出生までの過程を概説し、存在する細胞・組織の名称や構造について解説する。

第 7 回 顎顔面の諸器官の形成過程を概説し、存在する細胞・組織の名称や構造について解説する。

第 8 回 歯の発生から萌出および歯周組織の発生過程を概説し、存在する細胞・組織の名称や構造について解説する。

事前学修

第 1 回 教科書①の序章および I 編 1 章①を読み、細胞について調べておく。

第 2 回 教科書①の I 編 1 章②、II 編 4 章④を読み、上皮組織、支持組織について調べておく。

第 3 回 教科書①の II 編 2 章①、II 編 6 章①②を読み、筋組織、神経組織について調べておく。

第 4 回 教科書②の I 編 3 章①②を読み、エナメル質、象牙質・歯髄複合体について調べておく。

第 5 回 教科書②の I 編 3 章③-⑥を読み、セメント質、歯根膜、歯槽骨、歯肉について調べておく。

第 6 回 教科書①の I 編 2 章①-⑤を読み、受精から出生までについて調べておく。

第 7 回 教科書②の II 編 1 章①-⑤を読み、顎顔面の発生について調べておく。

第 8 回 教科書②の II 編 2 章①-⑤を読み、顎顔面の発生について調べておく。

事後学修

第 1 回 学習内容を振り返り、まとめる。

第 2 回 学習内容を振り返り、まとめる。

第 3 回 学習内容を振り返り、まとめる。

第 4 回 学習内容を振り返り、まとめる。

第 5 回 学習内容を振り返り、まとめる。

第 6 回 学習内容を振り返り、まとめる。

第 7 回 学習内容を振り返り、まとめる。

第 8 回 学習内容を振り返り、まとめる。

生化学・栄養生化学

開講学科等：保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：後 | 備考：科目責任者 金久弥生

金久 弥生 (かねひさ やよい)・坂東 健二郎 (ばんどう けんじろう)

■ 授業の概要

人間が生命を維持するために重要な栄養・食生活を営む際に必要な基本的知識について教授する。また、歯科衛生活動の対象となる方々への健康支援を実践する際に活用できるよう教授する。

食物から摂取された栄養素がどのように分解され、生きるためのエネルギー物質やからだを構成する成分にどのように変化していくのか、また、生体を構成する成分の構造や機能はどのようにになっているのか、について教授する。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：①)

一般目標：人間が生命を維持するために重要な栄養・食生活を営む際に必要な基本的知識を理解する。

生体構成成分や栄養素の役割と代謝調節機構、及び硬組織の代謝・疾患発症機構について理解する。

個別目標：・栄養学と歯科衛生士について説明できる。

・健康と栄養について説明できる。

・栄養ケアマネジメントについて説明できる。

・栄養素から生命活動に必要なエネルギーと生体成分を得る機構について説明できる。

・食品の成分を理解し、望ましい食生活と健康について説明できる。

・骨代謝、唾液の役割、プラークによるう蝕・歯周疾患発症について説明できる。

■ 履修条件

第 1 回～第 12 回までの講義については、前の週の週末に「事前学修資料」を manaba にアップするので、予習しておくこと。また、講義後は「事前学修資料」で復習すること。

第 13 回～第 15 回の講義については、原則欠席は認めません。履修条件に付いては、第 13 回の講義の始めに説明を行うとともに、授業中・manaba にて予め説明をします。

■ 評価基準・方法

5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。成績は期末試験により評価する。(欠席事由などについては『履修の手引き』を参照すること。)

■ フィードバック方法

課題のフィードバックは、授業または学修支援システム manaba を通して行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (発見学習、問題解決学習、グループワーク等を通し、能動的に学修に参加する)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

歯科衛生学シリーズ

人体の構造と機能 2 生化学・口腔生化学

一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会 監修

医歯薬出版

■ 参考書

歯科衛生学シリーズ

人体の構造と機能 3 栄養学

一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会 監修

医歯薬出版

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：細胞の役割 授業内容：細胞の役割、人体構成成分の構造と種類について学習する。 事前学修 2.0hr：教科書 I 編-1 章-①、③を読み、事前学修資料の () をできるだけ埋める。 事後学修 2.0hr：事前学修資料を使い、細胞の役割、人体を構成する成分と種類、構造について復習する。
2 回	授業テーマ：人体における水 授業内容：人体における水、酸や塩基について学習する。 事前学修 2.0hr：教科書 I 編-1 章-②を読み、事前学修資料の () をできるだけ埋める。 事後学修 2.0hr：事前学修資料を使い、細胞の役割、人体を構成する成分と種類、構造について復習する。
3 回	授業テーマ：人体における化学反応 授業内容：消化と吸収、酸素の運搬、代謝について学習する。 事前学修 2.0hr：教科書 I 編-2 章を読み、事前学修資料の () をできるだけ埋める。 事後学修 2.0hr：事前学修資料を使い、酵素の役割、食物の消化・吸収、エネルギー代謝、ビタミン、ミネラルについて復習する。
4 回	授業テーマ：糖質の代謝 授業内容：糖質の代謝とエネルギーの生成について学習する。 事前学修 2.0hr：教科書 I 編-3 章-①、②を読み、事前学修資料の () をできるだけ埋める。 事後学修 2.0hr：事前学修資料を使い、糖質の代謝とエネルギー生成について復習する。
5 回	授業テーマ：脂質の代謝 授業内容：脂質の代謝について学習する。 事前学修 2.0hr：教科書 I 編-3 章-①、②を読み、事前学修資料の () をできるだけ埋める。 事後学修 2.0hr：事前学修資料を使い、トリグリセリドの分解、合成とエネルギー生成、コレステロールの役割、リン脂質の役割を復習する。
6 回	授業テーマ：タンパク質とアミノ酸の代謝 授業内容：タンパク質の消化とアミノ酸の代謝について学習する。 事前学修 2.0hr：教科書 I 編-3 章-③、4 章を読み、事前学修資料の () をできるだけ埋める。 事後学修 2.0hr：事前学修資料を使い、セントラルドグマ (転写・翻訳) を復習する。
7 回	授業テーマ：タンパク質の合成 授業内容：DNA と遺伝子、タンパク質の合成について学習する。 事前学修 2.0hr：教科書 I 編-5 章を読み、事前学修資料の () をできるだけ埋める。 事後学修 2.0hr：事前学修資料を使い、セントラルドグマ (転写・翻訳) を復習する。

8 回	授業テーマ：生体における恒常性の維持 授業内容：ビタミン、ミネラル、水、食物繊維の役割について学習する。 事前学修 2.0hr：教科書Ⅰ編-6章を読み、事前学修資料の()をできるだけ埋める。 事後学修 2.0hr：事前学修資料を使い、ビタミン、ミネラル、水、食物繊維の役割および生体恒常性の維持(血糖調節など)とその破綻について復習する。
9 回	授業テーマ：歯と歯周組織の生化学 授業内容：歯と歯周組織について学習する。 事前学修 2.0hr：教科書Ⅱ編-1章①、②を読み、事前学修資料の()をできるだけ埋める。 事後学修 2.0hr：事前学修資料を使い、歯周組織の構造、組織成分とその役割を復習する。
10 回	授業テーマ：硬組織の生化学 授業内容：血中カルシウム調節、骨の形成と吸収、歯の石灰化について学習する。 事前学修 2.0hr：教科書Ⅱ編-1章③、2章を読み、事前学修資料の()をできるだけ埋める。 事後学修 2.0hr：事前学修資料を使い、血中カルシウム調節、骨の形成と吸収、歯の石灰化と脱灰および再石灰化について復習する。
11 回	授業テーマ：唾液の生化学 授業内容：唾液の成分とその機能について学習する。 事前学修 2.0hr：教科書Ⅱ編-3章を読み、事前学修資料の()をできるだけ埋める。 事後学修 2.0hr：事前学修資料を使い、唾液の成分とその作用について復習する。
12 回	授業テーマ：ブラークの生化学 授業内容：齲蝕、歯周病にブラークがどのように関わるかを学習する。 事前学修 2.0hr：教科書Ⅱ編-4章を読み、事前学修資料の()をできるだけ埋める。 事後学修 2.0hr：事前学修資料を使い、ブラークによる齲蝕および歯周疾患の発症機構を復習する。
13 回	授業テーマ：栄養学と歯科衛生士 授業内容：栄養学と歯科衛生士について学習する。 事前学修 2.0hr：事前学修資料を読み、栄養学と歯科衛生士について学修しておく。 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、まとめを作成する。
14 回	授業テーマ：健康と栄養 授業内容：健康と栄養について学習する。 事前学修 2.0hr：事前学修資料を読み、健康と栄養について学修しておく。 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、まとめを作成する。
15 回	授業テーマ：栄養ケア・マネジメント 授業内容：栄養ケアマネジメントについて学習する。 事前学修 2.0hr：事前学修資料を読み、栄養ケアマネジメントについて学修しておく。 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、まとめを作成する。

病理学・口腔病理学

開講学科等：保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：後

坂本 真一 (さかもと しんいち)

■ 授業の概要

病理学・口腔病理学は基礎科目に位置付けられるが、疾病の成り立ちや病態、転帰に関する知識は、その予防や治療に必要な不可欠であり、少なからず臨床医学/歯学的な側面を有する。本科目では、人体の正常な構造や機能に異常が生じることで、どのような疾病が生じるのかを学習する。前半では、疾病の成り立ちや分類に関する病理学総論の講義を行い、臨床の現場で患者の病態を把握するための論理的思考力を身につける。後半では、歯科衛生士が遭遇する種々の口腔疾患に関する専門的な知識の習得を目的とした病理学各論の講義を行う。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：①)

一般目標：歯科衛生士法第 10 条に記載された「歯科衛生士として必要な知識」のうち病理学的な知識を身につけ、患者に対して適切な予防処置、歯科診療の補助や歯科保健指導を行うことができる歯科衛生士を目指す。また、昨今では周術期の患者に対して口腔ケアを行う施設も多く見受けられる。本科目では、医・歯・薬連携における円滑なコミュニケーションの実現に必要な基本的な全身病理学的知識を習得し、チーム医療において歯科領域の専門家として活躍できる歯科衛生士を目指す。

個別目標：(1) 病理学がどのような学問であるかを説明できる。

(2) 疾病の成り立ち、病態やその転帰に関して、病理学総論的な観点から説明できる。

(3) 口腔顎顔面領域をはじめとし、歯科衛生士が知っておかなければならない疾患に関して、病理学各論的な観点から説明できる。

■ 履修条件

特になし

■ 評価基準・方法

成績評価は、原則として試験(筆記試験・小テスト)により行う。

また、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。(欠席事由等については『履修の手引』を参照すること。)

教科終了後に定期試験を実施する。定期試験が不合格となった学生は教科不合格となり、再試験を受験するものとする。

■ フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通じて行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

なし

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

歯科衛生学シリーズ 疾病の成り立ち及び回復過程の促進 1 病理学・口腔病理学 第 1 版 (医歯薬出版株式会社)

■ 参考書

特になし

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：①病因論、②遺伝性疾患と先天異常 授業内容：病理学とは何か、病因論とは何かを学ぶ。病因論について、内因・外因の大きな枠組みから入り、それぞれの病因によってどのような疾患が起こるかを学ぶ。染色体異常・遺伝子異常、先天異常を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書 1 編 1 章、2 章を熟読する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、新しく習った用語を理解するとともに暗記する。
2 回	授業テーマ：循環障害 授業内容：循環器系の概要をおさらいし、循環障害の種類(全身の循環障害、局所の循環障害)を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書 1 編 3 章を熟読する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、新しく習った用語を理解するとともに暗記する。
3 回	授業テーマ：代謝障害と退行性病変 増殖と修復 授業内容：代謝障害、退行性病変では、変性、萎縮、細胞死(壊死、アポトーシス)、代謝障害について、増殖と修復では肥大と過形成、化生、再生、創傷の治癒(抜歯創の治癒を含む)、異物の処理について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書 1 編 4 章、5 章を熟読する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、新しく習った用語を理解するとともに暗記する。
4 回	授業テーマ：炎症 免疫 授業内容：炎症の概念と兆候、炎症の原因、炎症の機序と病態や炎症の分類について学ぶ。アレルギー反応、自己免疫疾患、免疫不全症候群と移植免疫について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書 1 編 6 章を熟読する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、新しく習った用語を理解するとともに暗記する。
5 回	授業テーマ：腫瘍 授業内容：腫瘍の概念、疫学、原因と発生・進展の機序、肉眼的・組織学的特徴や分類について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書 1 編 7 章を熟読する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、新しく習った用語を理解するとともに暗記する。
6 回	授業テーマ：歯の発育異常、歯の損傷と色の異常 授業内容：歯の発育異常について、大きさ、形、数、構造、萌出、位置の異常に分けて学ぶ。歯の損傷や色の異常について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書 2 編 1 章、2 章を熟読する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、新しく習った用語を理解するとともに暗記する。
7 回	授業テーマ：う蝕と象牙質・歯髄複合体の病態 授業内容：エナメル質う蝕、象牙質う蝕、セメント質う蝕を学ぶ。象牙質、セメント質の増生を学ぶ。歯髄の病変を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書 2 編 3 章、4 章を熟読する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、新しく習った用語を理解するとともに暗記する。
8 回	授業テーマ：小テスト 授業内容：小テストを実施し、前半学んできたことをどの程度習得できているかを確認する。 事前学修 4.0hr：教科書 2 編 4 章までをおさらいする。 事後学修 2.0hr：小テストでわからなかった内容に関し、教科書を読み直し理解を深める。
9 回	授業テーマ：根尖部歯周組織の病変 授業内容：根尖部歯周組織の病変について、その分類や特徴を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書 2 編 5 章①を熟読する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、新しく習った用語を理解するとともに暗記する。

10 回	授業テーマ：辺縁部歯周組織の病変 授業内容：歯周病の分類と特徴について学ぶ。エプーリスについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書2編5章②を熟読する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、新しく習った用語を理解するとともに暗記する。
11 回	授業テーマ：口腔粘膜の病変 授業内容：口腔粘膜の病変として、潰瘍を主徴とする疾患、水疱を主徴とする疾患、紅斑・びらんを主徴とする疾患、白斑を主徴とする疾患、色素沈着を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書2編6章を熟読する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、新しく習った用語を理解するとともに暗記する。
12 回	授業テーマ：口腔領域の嚢胞と腫瘍 授業内容：口腔領域の嚢胞として、歯源性嚢胞、非歯源性嚢胞を学ぶ。口腔領域の腫瘍として、歯源性腫瘍、非歯源性腫瘍、腫瘍類似病変を学ぶ。非歯源性腫瘍のうち、扁平上皮癌の項目では潜在的悪性疾患も併せて学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書2編7章、8章を熟読する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、新しく習った用語を理解するとともに暗記する。
13 回	授業テーマ：顎骨の病変 授業内容：顎骨の炎症性疾患、腫瘍様病変、その他の顎骨病変、骨折の治癒や顎関節の病変を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書2編9章を熟読する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、新しく習った用語を理解するとともに暗記する。
14 回	授業テーマ：唾液腺の病変 授業内容：唾液腺の炎症性疾患、唾石症、粘液嚢胞、唾液腺腫瘍や自己免疫疾患について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書2編10章を熟読する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、新しく習った用語を理解するとともに暗記する。
15 回	授業テーマ：口腔領域の奇形、口腔組織の加齢変化、まとめ 授業内容：顔面と口腔の披裂、口腔の発育異常、口腔顎顔面に異常を来す奇形症候群を学ぶ。口腔組織の加齢変化として、歯の硬組織の変化、歯髓の変化、歯周組織の変化、顎骨の変化、舌・口腔粘膜の変化、唾液腺の変化を学ぶ。全体のまとめを行う。 事前学修 2.0hr：教科書2編11章、12章を熟読する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、新しく習った用語を理解するとともに暗記する。

微生物学・口腔微生物学

開講学科等：保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：後 | 備考：科目責任者 猪俣恵

猪俣 恵 (いのまた めぐみ)・岩橋 均 (いわはし ひとし)

■ 授業の概要

私たちの暮らしている環境には、細菌やウイルスなどの微生物が存在し、ヒトに対して様々な感染症を引き起こす可能性を持っている。これに対してヒトは、微生物の感染から身を守るために生体防御の仕組みを作り上げてきた。微生物学では、微生物がどのようにヒトに感染し、病気を引き起こすのかを学び、また、それらの微生物からの感染に対してヒトの体はどのようにして防御し、排除するのかを免疫学で学ぶ。さらに歯科の 2 大疾患である齲蝕と歯周病が口腔細菌による感染症であることを学ぶ。本授業科目は、微生物学、並びに免疫学の基本を示した上に、それらの学問を歯科医学に応用した口腔微生物学の講義を行う。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：①)

一般目標：微生物がどのようにしてヒトに感染し、病気を引き起こすのかを理解する。また、微生物の感染から身を守る生体防御について知る必要がある。そして歯科にとって特に重要な 2 大疾患である齲蝕と歯周病が口腔細菌による感染症であることを学び、歯科衛生士にとって必要な知識を獲得する。獲得した知識を臨床へどのようにして応用し、役立てることが出来るかを考察する。

個別目標：各種微生物の特徴と引き起こされる感染症について学び、それらに対する宿主の生体防御や免疫の仕組みを理解する。

感染症の治療を行う上で、その治療の根拠となる科学的な考え方について理解する。

アレルギー、自己免疫疾患の発症機序を学び、診断や治療などを行う上での科学的な根拠を理解する。

う蝕、歯周病が感染症であることを理解し、その発症機序を学び、また口腔感染症に対する診断、治療、予防を行う上での科学的な根拠を理解する。

■ 履修条件

事前に授業範囲に相当する章を熟読し、授業に臨むこと。

■ 評価基準・方法

定期試験、授業内における参加姿勢、発言等の結果および到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。

また、原則として 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

■ フィードバック方法

課題および定期試験のフィードバックは、授業もしくは学修支援システム manaba を通して行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

なし

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

微生物学 第 2 版 (最新歯科衛生士教本：医歯薬出版)

■ 参考書

病原体・感染・免疫 (南山堂)、休み時間の免疫学 (講談社)、感染制御の基本がわかる微生物学・免疫学 (羊土社)

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：微生物の概要および感染 授業内容：微生物の定義と分類について理解し、感染の成り立ちや種類を学ぶ。 事前学修 2.0hr：微生物学の I 編 1 章、2 章を熟読する。 事後学修 2.0hr：教科書と配布資料などをを用い講義内容を復習する。
2 回	授業テーマ：微生物学総論 授業内容：微生物 (細菌、ウイルス、真菌) の形態と構造、代謝、増殖および病原因子について学ぶ。 事前学修 2.0hr：微生物学の I 編 3 章を熟読する。 事後学修 2.0hr：教科書と配布資料などをを用い講義内容を復習する。
3 回	授業テーマ：微生物の培養、観察と検査および化学療法 授業内容：微生物の培養法、観察法および検査法について学ぶ。化学療法の目的と種類、作用機序および薬剤耐性について学ぶ。 事前学修 2.0hr：微生物学の I 編 4 章、5 章を熟読する。 事後学修 2.0hr：教科書と配布資料などをを用い講義内容を復習する。
4 回	授業テーマ：消毒と滅菌 授業内容：消毒と滅菌の意義を理解し、消毒法と滅菌法の種類および作用機序、そして院内感染対策の重要性を学ぶ。 事前学修 2.0hr：微生物学の I 編 6 章を熟読する。 事後学修 2.0hr：教科書と配布資料などをを用い講義内容を復習する。
5 回	授業テーマ：口腔環境と常在微生物 授業内容：口腔環境の特殊性と唾液の役割および口腔常在微生物叢について学ぶ。 事前学修 2.0hr：微生物学の II 編 1 章を熟読する。 事後学修 2.0hr：教科書と配布資料などをを用い講義内容を復習する。
6 回	授業テーマ：バイオフィームとしてのプラーク (歯垢) 授業内容：プラーク (バイオフィーム) の形成と成熟、バイオフィーム感染症について理解し、その微生物叢について学ぶ。 事前学修 2.0hr：微生物学の II 編 2 章を熟読する。 事後学修 2.0hr：教科書と配布資料などをを用い講義内容を復習する。
7 回	授業テーマ：う蝕の細菌学 授業内容：う蝕の発生機序と病理学的特徴について理解し、う蝕原性細菌と病原因子について学ぶ。 事前学修 2.0hr：微生物学の II 編 3 章を熟読する。 事後学修 2.0hr：教科書と配布資料などをを用い講義内容を復習する。
8 回	授業テーマ：歯周病の細菌学およびその他の口腔感染症 授業内容：歯周病の分類と病理学的特徴について理解し、歯周病原細菌とその病原因子および歯周組織が破壊される機序について学ぶ。微生物が原因で口腔に症状を現す疾患と口腔細菌が原因で全身に症状を現す疾患について学ぶ。 事前学修 2.0hr：微生物学の II 編 4 章、5 章を熟読する。 事後学修 2.0hr：教科書と配布資料などをを用い講義内容を復習する。
9 回	授業テーマ：主な病原細菌 (グラム陽性菌) 授業内容：グラム陽性菌の中でも代表的な病原細菌の性状と病原因子、感染機構を理解し、それらの病原細菌感染症について病態および予防・治療法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：微生物学の III 編 1 章を熟読する。 事後学修 2.0hr：教科書と配布資料などをを用い講義内容を復習する。

10 回	<p>授業テーマ：主な病原細菌 (グラム陰性菌およびその他の病原細菌) 授業内容：グラム陰性菌およびその他代表的な病原細菌の性状と病原因子、感染機構を理解し、それらの病原細菌感染症について病態および予防・治療法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：微生物学のⅢ編 1 章を熟読する。 事後学修 2.0hr：教科書と配布資料などを用い講義内容を復習する。</p>
11 回	<p>授業テーマ：歯科に関連するウイルス (DNA・RNA) とウイルス感染症 授業内容：ウイルスの性状について理解し、歯科に関連する主なウイルス (DNA・RNA) の種類と特徴およびウイルス感染症の病態、予防・治療法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：微生物学のⅢ編 2 章を熟読する。 事後学修 2.0hr：教科書と配布資料などを用い講義内容を復習する。</p>
12 回	<p>授業テーマ：歯科に関連するウイルスとウイルス感染症、および真菌・原虫・プリオン 授業内容：歯科に関連する主なウイルスの続きと、歯科に関連する主な真菌・原虫およびプリオンの性状、病態を理解し、治療法・(感染) 予防を学ぶ 事前学修 2.0hr：微生物学のⅢ編 2 章、3 章、4 章、5 章を熟読する。 事後学修 2.0hr：教科書と配布資料などを用い講義内容を復習する。</p>
13 回	<p>授業テーマ：免疫と生体防御機構、自然免疫および抗原提示 授業内容：免疫の定義と免疫関連組織・細胞を理解し、生体防御機構、自然免疫および抗原提示の仕組みについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：微生物学のⅣ編 1 章を熟読する。 事後学修 2.0hr：教科書と配布資料などを用い講義内容を復習する。</p>
14 回	<p>授業テーマ：獲得免疫および能動・受動免疫、粘膜免疫 授業内容：獲得免疫および能動・受動免疫、粘膜免疫の仕組みについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：微生物学のⅣ編 1 章を熟読する。 事後学修 2.0hr：教科書と配布資料などを用い講義内容を復習する。</p>
15 回	<p>授業テーマ：アレルギーおよび免疫に関連する疾患 授業内容：アレルギーの定義および自己免疫疾患との違いについて理解し、アレルギーの類型について学ぶ。免疫寛容と自己免疫疾患の定義を理解し、先天性と後天性免疫不全の違いおよび拒絶反応について学ぶ。 事前学修 2.0hr：微生物学のⅣ編 2 章、3 章を熟読する。 事後学修 4.0hr：教科書と配布資料などを用い、今までの講義内容を復習する。本試験に向けた勉強を進める。</p>

薬理学・歯科薬理学

開講学科等：保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：後 | 備考：科目責任者 安達一典

安達 一典 (あだち かずのり)・佐藤 元 (さとう はじめ)

■ 授業の概要

薬理学は疾病の治療に欠かすことの出来ない、薬物に関する知識を習得する学問である。総論として、一般的な薬物に共通する薬物動態学(投与した薬物の吸収、分布、代謝、排泄)や、薬力学(用量と薬効の関係や薬物の相互作用のメカニズム)を学習する。その後、各論では各種治療薬の作用機序や副作用について学習する。これらには歯科疾患治療薬も含まれるが、患者の高齢化に伴い全身疾患治療薬を服用している患者の比率が高くなっていることから、それらの相互作用(副作用)に関しても理解を深める必要がある。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：①)

一般目標：薬理学についての基礎知識を習得する。そのためには、既に学んだ解剖学、生理学、生化学の知識を柔軟に連携させる思考方法を取得する。

個別目標：1)薬物の性状、体内動態、薬理作用、作用機序の概要について理解する。これらの疾病治療・予防への応用法を理解する。

2)臨床実習の場で処方される薬物の特性を理解する。

3)将来歯科臨床で有効かつ安全に薬剤を使用するための基礎的知識を習得する。

4)国家試験に対応した基礎的な薬理学を理解する。

■ 履修条件

毎回の授業は、指定教科書の該当箇所を熟読して臨むこと。

中間試験などの結果如何によって課題の提出を求める場合がある。

■ 評価基準・方法

5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。遠隔授業を実施する場合、課題提出を以て出席とする。試験とその他(中間試験、課題提出状況等)の結果に基づき総合的に評価する。(欠席事由等については『履修の手引』を参照すること。)

■ フィードバック方法

試験及び課題のフィードバックについては、Web(manaba 等)で行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

なし

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

全国歯科衛生士教育協議会監修「最新歯科衛生士教本疾病の成り立ち及び回復過程の促進 3 薬理学第 2 版」医歯薬出版株式会社 2025 年 1 月発行

■ 参考書

大谷啓一監著「現代歯科薬理学第 7 版」医歯薬出版株式会社 2024 年 1 月発行

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：ガイダンス・総論(1) 授業内容：薬理学とは・薬物動態 1 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を通読する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り学修する。課題が有る場合は、制限時間内に提出する。
2 回	授業テーマ：総論(2) 授業内容：薬物動態 2・薬力学 1 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を通読する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り学修する。課題が有る場合は、制限時間内に提出する。
3 回	授業テーマ：総論(3) 授業内容：薬力学 2 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を通読する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り学修する。課題が有る場合は、制限時間内に提出する。
4 回	授業テーマ：各論(1) 授業内容：末梢神経作用薬 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を通読する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り学修する。課題が有る場合は、制限時間内に提出する。
5 回	授業テーマ：各論(2) 授業内容：中枢神経作用薬 1 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を通読する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り学修する。課題が有る場合は、制限時間内に提出する。
6 回	授業テーマ：各論(3) 授業内容：中枢神経作用薬 2 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を通読する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り学修する。課題が有る場合は、制限時間内に提出する。
7 回	授業テーマ：各論(4) 授業内容：循環器・血液に作用する薬物 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を通読する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り学修する。課題が有る場合は、制限時間内に提出する。
8 回	授業テーマ：各論(5) 授業内容：抗炎症薬 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を通読する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り学修する。課題が有る場合は、制限時間内に提出する。
9 回	授業テーマ：各論(6) 授業内容：鎮痛薬・抗アレルギー薬 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を通読する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り学修する。課題が有る場合は、制限時間内に提出する。
10 回	授業テーマ：各論(7) 授業内容：ビタミン・代謝関連薬 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を通読する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り学修する。課題が有る場合は、制限時間内に提出する。

11 回	授業テーマ：各論(8) 授業内容：抗感染症薬 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を通読する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り学修する。課題が有る場合は、制限時間内に提出する。
12 回	授業テーマ：各論(9) 授業内容：抗悪性腫瘍薬 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を通読する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り学修する。課題が有る場合は、制限時間内に提出する。
13 回	授業テーマ：各論(10) 授業内容：関連法規 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を通読する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り学修する。課題が有る場合は、制限時間内に提出する。
14 回	授業テーマ：各論(11) 授業内容：歯科疾患と薬物 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を通読する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り学修する。課題が有る場合は、制限時間内に提出する。
15 回	授業テーマ：まとめ 授業内容：総論と各論の総まとめ 事前学修 2.0hr：これまでの内容をまとめて理解を深めておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り学修する。課題が有る場合は、制限時間内に提出する。

口腔衛生学

開講学科等：保 | 2年次 | 2単位 | 開講期：前 | 備考：科目責任者 宮澤慶

青山 旬 (あおやま ひとし)・宮澤 慶 (みやざわ けい)

■ 授業の概要

歯科衛生士には歯科医療及び保健指導を掌ることによって公衆衛生の向上及び増進に寄与し、もって国民の健康な生活を確保するという任務がある。歯科医学の臨床においては、個々の患者さんに対する個別の保健指導から、学校保健・地域保健において、健常者を含む集団に対する保健指導もある。これらの臨床的な個別支援と集団に対する支援の両方の支援に関する高いスキルを有することが、歯科衛生士に求められる。本講座の目的は、歯科衛生士を目指す学生が、口腔の健康を維持・増進し、口腔疾患を予防し、口腔の機能を保持・増進するために必要な知識を正しく理解し、身に付けていくことにある。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：①/②)

一般目標：衛生学・公衆衛生学を基礎として、基礎・臨床の医学・歯科医学、社会医学と社会歯科学の知識を応用し、総合科学として学習する。
個別目標：歯科衛生士として人々の口腔の健康づくりを支援するため、本講義で学んだことを歯科予防処置や口腔保健指導の基礎知識として活用できるようにする。

■ 履修条件

1年後期に実施される「解剖見学実習」に出席していない者は本科目を履修することができない。
1年次に学修した公衆衛生学の内容を復習・整理して本授業に臨むこと。

■ 評価基準・方法

定期試験 75%、出席ペーパー 15%、授業参加姿勢 10%の結果及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。
ただし、課題が未提出の場合は評価されない。

■ フィードバック方法

出席ペーパーの回答が十分でない部分は講義時もしくは manaba 上で追加説明を行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (課題(出席ペーパー)等を用いて実施する。)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (パワーポイントを使用して講義を行なう。)

■ 教科書

歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 1 保健生態学 第3版 医歯薬出版社 (1年生時購入済)

■ 参考書

歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 3 保健情報統計学 医歯薬出版社

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：口腔の健康における口腔環境(歯の付着物を含む)の重要性 授業内容：ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチについて。 プライマリヘルスケアについて。 歯と歯周組織について。 唾液について。 ペリクルについて。 プラークについて。 歯石について。 事前学修 2.0hr：口腔の健康や障害とは何かを考え、歯科医学における健康を理解する。 事後学修 2.0hr：口腔の健康学・予防学における口腔環境と歯の付着物について理解する。
2 回	授業テーマ：う蝕とその予防(3段階4水準、3つの輪、4つの輪、プロフェッショナルケア、ホームケア、パブリックケア)を理解する 授業内容：疾病の予防について。 う蝕の特性について。 う蝕の好発部位について。 う蝕の好発年齢について。 表層化脱灰と再石灰化について。 抜歯の原因について。 う蝕の要因(細菌・宿主・糖)について。 う蝕病原性細菌について。 う蝕の予防法について。 事前学修 2.0hr：う蝕の病態と発症機構を理解する。 事後学修 2.0hr：う蝕の予防を総論的に理解する。
3 回	授業テーマ：う蝕に関するフッ化物の作用① 授業内容：フッ化物の基本的事項について。 フッ化物の保存法について。 フッ化物のう蝕予防機序について。 フッ化物によるう蝕予防方法について。 フッ化物配合歯磨剤について。 フッ化物洗口について。 フッ化物の急性中毒と慢性中毒について。 歯のフッ素症(班状歯)について。 事前学修 2.0hr：う蝕のフッ化物の作用を理解する。 事後学修 2.0hr：う蝕に関するフッ化物の作用機構、応用方法、並びにホームケアとプロフェッショナルケアを理解する。
4 回	授業テーマ：う蝕に関するフッ化物の作用②(中毒について) 授業内容：単位の基本的事項について。 フッ化物中毒の計算方法について。 事前学修 2.0hr：う蝕のフッ化物の副作用(フッ化物の中毒)を理解する。 事後学修 2.0hr：フッ化物の急性・慢性中毒とフッ化物の計算方法(フッ化物濃度と摂取量、CFIの計算)を理解する。

5 回	<p>授業テーマ：ブラッシング方法、歯磨剤、並びに代用甘味料 授業内容：ブラークコントロールとは。 ブラークコントロールの目的について。 セルフケアとプロフェッショナルケアについて。 歯ブラシについて。 家庭用品品質表示法について。 ブラッシング方法について(毛先を使う・脇腹を使う)。 不適切なブラッシングによる為害作用について。 歯磨剤について(基本成分・薬用成分)。 事前学修 2.0hr：歯科疾患の予防におけるホームケアを理解する。 事後学修 2.0hr：ブラッシング方法、歯磨剤、並びに代用甘味料を応用したホームケアを理解する。</p>
6 回	<p>授業テーマ：う蝕の予防 DMF・う蝕抑制率による評価方法・う蝕活動性試験・シーラント 授業内容：う蝕の指標(DMF)について。 う蝕抑制率について。 う蝕の予防について。 シーラントについて。 う蝕のリスクについて。 う蝕活動性試験について。 事前学修 2.0hr：う蝕予防のための Index やシーラント、う蝕活動性試験でリスクを知ること理解する。 事後学修 2.0hr：DMF の各指標とう蝕抑制率の意義を理解し、実際に計算ができるようにする。</p>
7 回	<p>授業テーマ：歯周疾患の分類、リスク因子、並びに予防方法(3段階4水準、3つの輪、4つの輪、プロフェッショナルケア、ホームケア、パブリックケア)・口臭症と禁煙指導 授業内容：歯周疾患の要因(局所的因子・漸進的因子)について。 歯周疾患のリスクファクターについて。 歯周疾患の予防について。 歯周病原性細菌について。 喫煙が及ぼす影響について。 禁煙と行動変容段階のモデルについて。 禁煙方法について。 口臭症について。 口臭原因物質について。 口臭症の分類について。 事前学修 2.0hr：歯周病の種類と発症機構を理解する。 事後学修 2.0hr：歯周病のリスク因子を理解し、その因子に対する予防方法を理解する。</p>
8 回	<p>授業テーマ：歯周疾患とその Index 授業内容：歯周病と全身疾患について。 口腔保健の指標について。 歯垢染色について。 口腔清掃状態の指標について。 不正咬合の指標について。 歯周疾患の指標について。 事前学修 2.0hr：歯周病の病態を理解する。 事後学修 2.0hr：歯周病の Index を理解して病態を Index を通して理解する。</p>
9 回	<p>授業テーマ：小テスト① 授業内容：第 1 回から第 8 回までの授業の内容のテストを行なう。 事前学修 2.0hr：1～8 回目の内容を理解する。 事後学修 2.0hr：テストを通して、自分の弱点を理解し復習する。</p>
10 回	<p>授業テーマ：歯科疾患の現状・疫学的特徴と国家統計(歯科疾患実態調査、国民健康・栄養調査、学校保健統計調査等) 授業内容：国家統計について。 基幹統計と一般統計について。 人口動態統計と人口静態統計について。 出生と死亡について。 国民生活基礎調査について。 患者調査について。 国民健康・栄養調査について。 学校保健統計について。 事前学修 2.0hr：国家統計について理解する。 事後学修 2.0hr：日本における歯科疾患患者の現状を歯科疾患実態調査の結果を中心に様々な国家統計から理解する。</p>
11 回	<p>授業テーマ：地域保健と母子歯科保健活動・スクリーニングと健診事業 授業内容：地域保健について。 ソーシャルキャピタルについて。 保健所と市町村保健センターについて。 母子保健法について。 1 歳 6 か月児健診と 3 歳児健診について。 妊産婦健診について。 児童福祉法について。 母体保護法について。 事前学修 2.0hr：地域保健とスクリーニング(健診)を理解する。 事後学修 2.0hr：母子保健活動における歯科の保健活動を理解する。</p>
12 回	<p>授業テーマ：学校歯科医と学校歯科保健活動・ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチ 授業内容：学校保健について。 学校保健・保健管理に関する職務について。 学校歯科健診について。 健診に用いる記号について。 CO について。 事前学修 2.0hr：学校保健制度とその活動を理解する。 事後学修 2.0hr：保健調査、健診結果(CO と GO を含む)、並びに事後措置によるポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチを理解する。</p>

13 回	<p>授業テーマ：産業歯科保健活動における THP と特殊健康診断(酸蝕歯等の健診)・中高年の歯科疾患(口腔機能低下症を含む)の予防</p> <p>授業内容：産業保健について。 労災について。 労働衛生の 3 管理について。 労働安全衛生法について。 特殊健康診断について。 歯科の職業性疾患について。 THP について。 健康日本 21 について。 特定保健指導について。 介護保険について。 地域包括支援センターについて。 生活不活発病について。 廃用症候群について。 サルコペニア肥満について。 フレイルについて。 オーラルフレイルについて。</p> <p>事前学修 2.0hr：労働災害と産業保健活動について理解する。特定健康診査、歯周疾患健診、介護予防(地域支援事業、介護予防給付制度)を理解する。</p> <p>事後学修 2.0hr：産業歯科保健活動における三管理(特殊健康診断)と THP について理解する。中高年のう蝕・歯周疾患予防と口腔機能低下症(オーラルフレイル)の予防を理解する。</p>
14 回	<p>授業テーマ：現場での口腔衛生</p> <p>授業内容：3 歳児う蝕に与える 2 歳児歯科健診の影響について。 小学校におけるフッ化物洗口の中中学生での評価について。 3 歳児および 12 歳児う蝕の市町村ごとの地域格差について。 口腔と全身疾患の関係について</p> <p>事前学修 2.0hr：全範囲の復習 事後学修 2.0hr：現場での話を聴き、理解を高めたうえで全範囲の復習をする</p>
15 回	<p>授業テーマ：小テスト②(①の範囲も一部出題する。)本試験対策</p> <p>授業内容：第 10 回から第 14 回までの授業の内容(前回のテスト範囲からも一部出題される)のテストを行なう。</p> <p>事前学修 2.0hr：全範囲の復習 事後学修 2.0hr：テストを通して、自分の弱点を理解し復習する。本試験に向けた、全範囲の復習を行う。</p>

公衆衛生学

開講学科等：保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：後 | 備考：科目責任者 宮澤慶

青山 旬 (あおやま ひとし)・宮澤 慶 (みやざわ けい)

■ 授業の概要

公衆衛生学は社会医学領域に含まれる一分野で、社会のなかで医学(歯学を含む)の機能を客観的にとらえた上で、医学と社会を不断なく連結する役割を果たしている。従って、疫学、統計学、社会学、政治経済学を土台にして、広い視野で治療・予防・健康をとらえる学問である。つまり、個々の患者の診療だけでなく、より多くの人々の幸福のために、国民の健康と予防を支援する制度・事業を対象とする学問である。本授業科目は、人口・生活・医療・社会・自然などの環境の実態を示しながら、保健・予防事業・医療を中心とした、医学・歯学が社会とかかわる領域の講義を行う。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：①/③)

一般目標：健康の保持・増進を、「リスク要因」と「感受性」の相互作用から考える。また、集団の予防方法である各種健診制度の目的は、単なる疾病の早期発見・治療だけでなく、保健指導(ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチ)でもあることを理解する。実際、これらの健診制度が、日本人の平均寿命・健康寿命の伸長に貢献していることも理解する。また、予防・保健・医療の制度における歯科衛生士の役割を学習する。

個別目標：疾病や健康をリスク因子と感受性の観点から理解する。

予防や保健の分野におけるハイリスクアプローチと集団へのアプローチを理解する。

予防や保健の制度を理解する。

歯科衛生士として保健活動に参加する実施主体としての具体性を考察できる。

■ 履修条件

1 年次の前期科目を理解し・復習して授業に臨むこと

■ 評価基準・方法

原則定期試験。合格に達しない場合は課題提出内容などを総合的に判断する。

課題未提出の場合は期末試験の採点は行わない。

■ フィードバック方法

出席ペーパーの回答が十分でない部分は講義時もしくは manaba 上で追加説明を行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (課題(出席ペーパー)等を用いて実施する。)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (パワーポイントを使用して講義を行なう。)

■ 教科書

・ 歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 1 保健生態学

■ 参考書

歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 3 保健情報統計学

国民衛生の動向(厚生省の指標 増刊; 厚生労働統計協会) 歯科衛生士と法律・制度(最新歯科衛生士教本; 医歯薬出版) 命の格差は止められるか(101 新書; 小学館) 歯科医療倫理(最新歯科衛生士教本; 医歯薬出版)

歯科衛生学シリーズ 歯科衛生学総論

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	<p>授業テーマ：総論(公衆衛生学の定義と健康の定義)・国家統計</p> <p>授業内容：公衆衛生について。 人口について。 日本人の平均寿命について。 人口統計について。 人口ピラミッドについて。 平均寿命と健康寿命について。 受診の多い疾患について。 国家統計について。 国勢調査について。 人口動態調査について。 国民生活基礎調査について。 患者調査について。 学校保健統計調査について。 国民健康・栄養調査について。 歯科疾患実態調査について。 医師・歯科医師・薬剤師調査について。 受療行動調査について。 疾病の統計について。</p> <p>事前学修 2.0hr：保健生態学の I 編の 1 章と 3 章を熟読する。保健情報統計学の 1 章を熟読する。 事後学修 2.0hr：公衆衛生の基本的な考え方、日本の疾病の実態、人口と少子高齢化について理解する。配布資料を復習する。</p>
2 回	<p>授業テーマ：統計学と疫学</p> <p>授業内容：統計解析の基礎について。 代表的な検定について。 疫学の目的と手順について。 疫学の研究方法について。 記述疫学について。 分析疫学について。 相対危険度と寄与危険度について。 オッズ比について。</p> <p>事前学修 2.0hr：保健生態学の I 編の 2 章を熟読する。保健情報統計学の 1 章①と②を熟読する。保健情報統計学の 2 章を熟読する。 事後学修 2.0hr：統計学と疫学の基本を理解する。配布資料を復習する。</p>

3 回	<p>授業テーマ：疫学とEBM 授業内容：介入疫学について。 盲検法について。 EBMについて。 事前学修 2.0hr：保健生態学のⅠ編の2章を熟読する。保健情報統計学の2章を熟読する。保健情報統計学の1章②を熟読する。 事後学修 2.0hr：疫学の方法論とEBMの考え方を理解する。配布資料を復習する。</p>
4 回	<p>授業テーマ：医療倫理と公衆衛生(疾病の自然史と予防方法) 授業内容：インフォームドコンセントについて 医療倫理関係の宣言・綱領について。 ヒポクラテスの誓いについて。 ジュネーブ宣言について。 ニュルンベルグ綱領について。 ヘルシンキ宣言について。 リスボン宣言について。 守秘義務について。 情報開示について。 歯科衛生士の業務について。 健康の定義について。 プライマリヘルスケアとヘルスプロモーションについて。 疾病予防の概念について。 ノーマラセーションとバリアフリーについて。 事前学修 2.0hr：歯科衛生学総論の5-7章を熟読する。保健生態学のⅠ編の2章を熟読する。保健生態学のⅢ編の1章を熟読する。 事後学修 2.0hr：医療倫理、ヘルスプロモーション、疾病の自然史、第1次から3次予防などの、公衆衛生学の大切な考え方を理解する。配布資料を復習する。</p>
5 回	<p>授業テーマ：感染症の予防 授業内容：感染症の定義について。 新興感染症と再興感染症について。 感染症の成立について。 感染症の3要因と対策について。 感染経路について。 感染症法について。 予防接種法について。 人畜や接触動物による感染症について。 院内感染症対策について。 スタンダードプレコーションについて。 事前学修 2.0hr：保健生態学のⅠ篇5~6章を熟読する。 事後学修 2.0hr：leavell&Clarkの予防法を理解する。感染症の予防を理解する。配布資料を復習する。</p>
6 回	<p>授業テーマ：環境衛生 授業内容：環境衛生の基本について。 環境の変化による健康障害について。 労働環境と健康障害について。 温熱環境について。 公害について。 大気汚染物質について。 地球環境問題とその対策について。 地球温暖化とその対策について。 事前学修 2.0hr：保健生態学のⅠ篇4章を熟読する。 事後学修 2.0hr：環境の悪化が健康障害の原因となることを理解する。配布資料を復習する。</p>
7 回	<p>授業テーマ：国際保健と地域保健(プライマリーヘルスケアとヘルスプロモーション) 授業内容：プライマリーヘルスケアとヘルスプロモーションについて。 地域保健について。 保健所と市町村保健センターについて。 国際協力について。 WHOについて。 多国間協力と二国間協力について。 事前学修 2.0hr：保健生態学のⅠ篇1章とⅢ篇7章を熟読する。 事後学修 2.0hr：国際保健と地域保健の仕組みと役割を理解する。配布資料を復習する。</p>
8 回	<p>授業テーマ：ヘルスプロモーションとスクリーニング・健診(日本の地域保健活動とポピュレーション戦略・ハイリスク戦略) 授業内容：スクリーニングレベルについて。 敏感度と特異度について。 保健指導とスクリーニングについて。 事前学修 2.0hr：保健情報統計学の2章④を熟読する。保健生態学のⅡ篇1章とⅢ篇1章④~⑤を熟読する。 事後学修 2.0hr：スクリーニングを基にした健診方法を理解する。配布資料を復習する。</p>
9 回	<p>授業テーマ：母子保健制度 授業内容：母子保健の統計について。 母子保健制度と法律について。 母子保健法に基づく事業について。 児童福祉法について。 母体保護法について。 事前学修 2.0hr：保健生態学のⅢ篇2章を熟読する。 事後学修 2.0hr：教科書と配布資料などをを用い講義内容を復習する。</p>
10 回	<p>授業テーマ：学校保健制度 授業内容：学校保健の概要について。 学校保健・保健管理に関する職務について。 学校歯科保健について。 COについて。 事前学修 2.0hr：保健生態学のⅢ篇3章を熟読する。保健生態学のⅢ篇1~3章を熟読する。 事後学修 2.0hr：学校保健制度を理解する。配布資料を復習する。</p>
11 回	<p>授業テーマ：職業性疾患の予防(労働災害保障制度と産業保健制度) 授業内容：産業保健制度・労働災害補償制度について。 業務上疾患・職業性疾患・作業関連疾患について。 労働安全衛生法について。 口腔に症状を表す職業性疾患について。 事前学修 2.0hr：保健生態学のⅢ篇5章を熟読する。 事後学修 2.0hr：労働災害と職業性疾患の予防を理解する。生活習慣病の予防を理解する。配布資料を復習する。</p>

12 回	<p>授業テーマ：中高年の疾病予防(生活習慣病予防)と健康づくり 授業内容：特定健康診査について。 高齢化と疾病構造の変化について。 健康日本 21 とその目標値について。 NCD について。 COPD について。 ロコモティブシンドロームについて。 事前学修 2.0hr：保健生態学のⅢ篇 1 章 5、4 章、並びに 5 章を熟読する。 事後学修 2.0hr：メタボ健診(特定健康診査)、健康増進法、健康日本 21 を理解する。配布資料を復習する。</p>
13 回	<p>授業テーマ：食事と食事バランスガイド 授業内容：食育について。 食事バランスガイドについて。 5 大栄養素について。 BMI について。 基礎代謝量について。 事前学修 2.0hr：保健生態学のⅢ篇 6 章を熟読する。 事後学修 2.0hr：食育と食事バランスガイドを理解する。配布資料を復習する。</p>
14 回	<p>授業テーマ：地域保健診断と健康づくり政策(青山旬先生の講義) 授業内容：健診結果とその後のう蝕予防について。 事前学修 2.0hr：保健生態学のⅢ篇 1 章を熟読する。保健情報統計学の I 症と 2 章を熟読する。 事後学修 2.0hr：地域保健診断に関わるような統計・疫学研究方法を理解する。</p>
15 回	<p>授業テーマ：期末テスト対策 授業内容：第 1 回から第 15 回の授業内容についてまとめを行なう。 事前学修 2.0hr：全部の資料を勉強し講義に臨む。 事後学修 2.0hr：講義の内容を振り返り、本試験に向けた勉強を開始する。</p>

衛生行政・介護福祉論

開講学科等：保 | 3 年次 | 2 単位 | 開講期：後 | 備考：科目責任者 宮澤慶

大塚 紘末 (おおつか ひろみ)・宮澤 慶 (みやざわ けい)

■ 授業の概要

セーフティネット機能を有する社会保障制度は、人の生活を支え、基本的な安心を与えている。日本は、超高齢社会を迎え、介護福祉の重要性が示されている。このような現状の中、国は、高齢者の生活と尊厳を守るために、介護予防・日常生活支援を中心とした地域包括ケアシステムの実現を目指している。このケアシステムの推進に、医療・介護・福祉・地域保健の各制度の連携が重要である。本授業科目は、歯科衛生士の法的な位置付けから始まり、社会保障制度として地域保健、医療保険、介護保険、並びに障害者への福祉制度等の各制度を教授する。また、公衆衛生の予防活動との連携した疾病予防や老化予防(介護予防)についても解説する。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：①/③)

一般目標：我が国の医療、介護、年金、労働保険などの各制度の基本的な仕組み、運営方法を理解し、今後のあり方についても説明ができるようになる。とくに若い人たちの間で、日本の社会保障制度への根拠のない(デマによる)不信感が広がっているとの報告もある。そこで、社会保障制度の何が問題となっており、どのような改革を行おうとしているかについても理解を深める。

個別目標：1) 現代社会における貧困の状態、それに対する防貧・救貧制度としての社会保障制度を理解する。

2) 社会保障制度の理念・機能・体系について理解する。

3) 現行の医療を支える医療保険制度、医療提供施設、医療従事者、国民医療費を理解する。

4) 医療保険制度と疾病予防制度(保健制度)との連携についても理解する。

5) 高齢者の QOL、ADL、並びに IADL の保持・増進を目的とする地域包括ケアシステムを理解する。

■ 履修条件

1 年次と 2 年次の科目を理解し、復習して授業に臨むこと。

■ 評価基準・方法

定期試験、課題などを総合的に判断する。

■ フィードバック方法

出席ペーパーの回答が十分でない部分は講義時もしくは manaba 上で追加説明を行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (課題(出席ペーパー)等を用いて実施する。)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 2 保健・医療・福祉の制度 (歯科衛生学シリーズ・医歯薬出版)

■ 参考書

はじめての社会保障 (有斐閣アルマ Basic)、ICF の理解と活用 (KS ブックレット・明文社)、保健情報統計学 (歯科衛生学シリーズ・医歯薬出版)、保健生態学 (歯科衛生学シリーズ・医歯薬出版・1 年時購入済)

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：健康の社会的決定要因と社会保障制度・公衆衛生制度 授業内容：「健康の社会的決定要因」に、所得・教育・職業・住環境・社会的ネットワーク等が含まれる。社会保障制度と公衆衛生制度は、それらの要因を改善し、格差解消に貢献する。社会保障制度と公衆衛生制度の重要性を説明する。 事前学修 2.0hr：manaba 上の事前学修を予習する。また、manaba で指示する教科書の内容を熟読する。 事後学修 2.0hr：教科書と配布資料などを用い講義内容を復習する。
2 回	授業テーマ：人口統計と保健統計 授業内容：人口統計と保健統計は日本の国民の健康に関する情報を収集・分析するための統計である。その結果を理解することで、社会保障制度全体に求められるニーズやデマンドを理解できる。これらの国家統計の結果を説明する。 事前学修 2.0hr：manaba 上の事前学修を予習する。また、manaba で指示する教科書の内容を熟読する。 事後学修 2.0hr：教科書と配布資料などを用い講義内容を復習する。
3 回	授業テーマ：公的年金保険制度 授業内容：公的年金制度は、国や地方公共団体が運営する社会保障制度の 1 つで、国民が老齢、障害、死亡などの場合に、生活の安定を支援するための制度である。この制度を説明する。 事前学修 2.0hr：manaba 上の事前学修を予習する。また、manaba で指示する教科書の内容を熟読する。 事後学修 2.0hr：教科書と配布資料などを用い講義内容を復習する。
4 回	授業テーマ：身分法(歯科衛生士法を含む)と関連法規 授業内容：日本の医療保険制度では、医療提供施設で医療従事者が必要な医療行為を提供する。ほとんどの医療従事者は国家資格を持ち、その業務が身分法に示されている。医療従事者に関する身分法・関連法規を説明する。 事前学修 2.0hr：manaba 上の事前学修を予習する。また、manaba で指示する教科書の内容を熟読する。 事後学修 2.0hr：教科書と配布資料などを用い講義内容を復習する。
5 回	授業テーマ：医療法と医療計画 授業内容：日本の医療保険制度では、医療提供施設で医療従事者が必要な医療行為を提供する。また、医療法は、単に医療提供施設を定めるだけでなく、医療の過多過少を防ぐ目的で医療計画をさだめている。医療法の重要性を講義する。 事前学修 2.0hr：manaba 上の事前学修を予習する。また、manaba で指示する教科書の内容を熟読する。 事後学修 2.0hr：教科書と配布資料などを用い講義内容を復習する。
6 回	授業テーマ：医療保険制度 授業内容：日本の医療保険制度とは、国民全委員が、強制的に加入する社会保険制度である。また、国民が医療を受けやすくするために、医療費用負担軽減に貢献する制度である。この制度を説明する。 事前学修 2.0hr：manaba 上の事前学修を予習する。また、manaba で指示する教科書の内容を熟読する。 事後学修 2.0hr：教科書と配布資料などを用い講義内容を復習する。
7 回	授業テーマ：後期高齢者医療制度 授業内容：高齢者医療確保法は、後期高齢者医療制度を定めている。後期高齢者医療制度は 75 歳以上の高齢者を対象とした年齢別制度で、独立制度である。この制度の重要性・特徴(財源の特徴を含む)を説明する。 事前学修 2.0hr：manaba 上の事前学修を予習する。また、manaba で指示する教科書の内容を熟読する。 事後学修 2.0hr：教科書と配布資料などを用い講義内容を復習する。

8 回	<p>授業テーマ：労働災害補償制度と労働災害予防</p> <p>授業内容：労働者の業務上の事由または通勤による労働者の傷病等に対して必要な保険給付を行う労働災害補償制度は、医療保険制度とは別個の制度である。この災害補償制度とその災害予防について講義を行う。</p> <p>事前学修 2.0hr：manaba 上の事前学修を予習する。また、manaba で指示する教科書の内容を熟読する。</p> <p>事後学修 2.0hr：教科書と配布資料などを用い講義内容を復習する。</p>
9 回	<p>授業テーマ：公費医療制度(公的扶助を含む)と国民医療費</p> <p>授業内容：公費医療制度は、国・自治体が一部や全部を負担する制度で、医療扶助制度(生活保護制度)が含まれる。この制度を概説する。また、国民医療費は国が負担する医療費の総額で、年々増加している。この医療費を概説する。</p> <p>事前学修 2.0hr：manaba 上の事前学修を予習する。また、manaba で指示する教科書の内容を熟読する。</p> <p>事後学修 2.0hr：教科書と配布資料などを用い講義内容を復習する。</p>
10 回	<p>授業テーマ：介護保険制度 I</p> <p>授業内容：介護保険制度は、高齢者の生活を支える社旗保障制度である。保険者が市町村、被保険者が 40 歳以上の者、そして指定された介護保険事業者がサービスを提供する等、本制度の基本部分を概説する。</p> <p>事前学修 2.0hr：manaba 上の事前学修を予習する。また、manaba で指示する教科書の内容を熟読する。</p> <p>事後学修 2.0hr：教科書と配布資料などを用い講義内容を復習する。</p>
11 回	<p>授業テーマ：介護保険制度 II</p> <p>授業内容：介護保険制度では、対象者の介護度を 7 段階に分け、その段階に応じたサービス内容を提供する。そのサービスは居宅・訪問から施設に入所するタイプまで様々である。それらのサービスを概説する。</p> <p>事前学修 2.0hr：manaba 上の事前学修を予習する。また、manaba で指示する教科書の内容を熟読する。</p> <p>事後学修 2.0hr：教科書と配布資料などを用い講義内容を復習する。</p>
12 回	<p>授業テーマ：介護保険制度における介護予防と地域包括ケアシステム</p> <p>授業内容：介護保険制度には、介護の前段階の介護予防のサービスが含まれている。また、高齢者に医療・介護・福祉等を総合的に提供するために地域包括ケアシステムが構築されつつある。これらの内容を講義する。</p> <p>事前学修 2.0hr：manaba 上の事前学修を予習する。また、manaba で指示する教科書の内容を熟読する。</p> <p>事後学修 2.0hr：教科書と配布資料などを用い講義内容を復習する。</p>
13 回	<p>授業テーマ：介護・福祉のまとめ</p> <p>授業内容：介護・福祉についてまとめを行なう。</p> <p>事前学修 2.0hr：manaba 上の事前学修を予習する。今までの内容を復習する。</p> <p>事後学修 2.0hr：今までの講義内容と合わせて復習をする。</p>
14 回	<p>授業テーマ：介護保険制度における口腔健康管理と歯科衛生士の関わり</p> <p>授業内容：介護保険制度における口腔健康管理に関する取り組みと歯科衛生士の役割について理解する。</p> <p>事前学修 2.0hr：介護保険制度について復習する。</p> <p>事後学修 2.0hr：教科書と配布資料などを用い講義内容を復習する。</p>
15 回	<p>授業テーマ：歯科医療と社会保障制度</p> <p>授業内容：各種社会保障制度において歯科医療従事者に求められる役割について理解する。</p> <p>事前学修 2.0hr：各種社会保障制度について復習する。</p> <p>事後学修 2.0hr：教科書と配布資料などを用い講義内容を復習する。</p>

臨床医科学・多職種連携論

開講学科等：保 | 3年次 | 2単位 | 開講期：前 | 備考：科目責任者 金子潤

荒井 沙織 (あらい さおり)・金子 潤 (かねこ じゅん)・金久 弥生 (かねひさ やよい)・齋田 瑞恵 (さいた みずえ)

■ 授業の概要

臨床医科学では、歯科衛生士に必要な全身疾患の基礎知識について学ぶ。代謝・内分泌疾患(糖尿病、骨粗鬆症など)、消化器疾患(胃食道逆流症、胃炎、肝炎など)、循環器疾患(高血圧症、心疾患など)、呼吸器疾患(肺炎、気管支喘息、COPD など)、免疫疾患・アレルギー、感染症(カンジダ症、AIDS など)、神経疾患(脳血管障害、認知症など)について解説する。

多職種連携論では、看護師、薬剤師、栄養管理士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などの職務やチーム医療の実際、歯科衛生士のキャリアプランについて学ぶ。

【授業方法】講義

【実務家教員と当該授業科目との関連性】

歯科医師・歯科衛生士がこれまでの実務経験を活かし臨床医科学及び多職種連携の実践的な知識を与える。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：①/③)

一般目標：歯科衛生士として必要な全身疾患の基礎知識について理解し、各疾患を有する患者の歯科治療における注意点について理解を深める。また、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などの職務を知り、チーム医療・多職種連携における歯科衛生士の役割や歯科衛生士のキャリアプランについて理解する。

個別目標：①代謝・内分泌疾患、消化器疾患、循環器疾患、呼吸器疾患、アレルギー、感染症、神経疾患の病態を把握し、歯科治療時の注意点について説明できる。

②看護師、薬剤師、栄養管理士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の職務について理解し、チーム医療・多職種連携における歯科衛生士の役割について説明できる。

③歯科衛生士のキャリアプランについて理解できる。

■ 履修条件

2年後期までに学修した専門基礎科目および専門科目について復習しておく。各科目の理解だけでなく全身疾患との関連性を考えながら整理しておく。

■ 評価基準・方法

定期試験 95%、講義への参加姿勢 5%の結果および到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。

■ フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (双方向型の意見交換、ディスカッション)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (manaba を用いた授業資料の閲覧、課題の提出)

■ 教科書

「歯科衛生士のための全身疾患ハンドブック」橋本賢二・増本一真 編著 医歯薬出版

■ 参考書

「歯科衛生士のための全身疾患チェアサイド BOOK」山近重生、中川達哉、中川洋一 著 クインテッセンス出版

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：ガイダンス・総論 授業内容：臨床医科学および多職種連携と歯科衛生士との関連について解説する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当するページ(P.6～P.9)を読んでおく。 事後学修 2.0hr：学修内容を振り返り、復習する。
2 回	授業テーマ：臨床医科学①(代謝・内分泌疾患) 授業内容：代謝・内分泌疾患(糖尿病、骨粗鬆症、甲状腺疾患など)についての解説を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の該当するページ(P.12～P.26)を読んでおく。 事後学修 2.0hr：学修内容を振り返り、復習する。
3 回	授業テーマ：臨床医科学②(循環器疾患) 授業内容：消化器疾患(胃食道逆流症、胃炎・胃がん、胃潰瘍・十二指腸潰瘍、肝炎、肝硬変など)についての解説を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の該当するページ(P.28～P.43)を読んでおく。 事後学修 2.0hr：学修内容を振り返り、復習する。
4 回	授業テーマ：臨床医科学③(循環器疾患) 授業内容：循環器疾患(心疾患・不整脈、高血圧症・低血圧症など)についての解説を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の該当するページ(P.44～P.54)を読んでおく。 事後学修 2.0hr：学修内容を振り返り、復習する。
5 回	授業テーマ：臨床医科学④(呼吸器疾患) 授業内容：呼吸器疾患(肺炎、気管支喘息、COPD、結核、睡眠時無呼吸症候群など)についての解説を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の該当するページ(P.60～P.77)を読んでおく。 事後学修 2.0hr：学修内容を振り返り、復習する。
6 回	授業テーマ：臨床医科学⑤(免疫疾患・膠原病) 授業内容：免疫疾患・膠原病(アレルギー、リウマチ性疾患、シェーグレン症候群、アトピー性皮膚炎など)についての解説を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の該当するページ(P.86～P.99)を読んでおく。 事後学修 2.0hr：学修内容を振り返り、復習する。
7 回	授業テーマ：臨床医科学⑥(感染症) 授業内容：感染症(インフルエンザ、カンジダ症、AIDS など)についての解説を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の該当するページ(P.100～P.111)を読んでおく。 事後学修 2.0hr：学修内容を振り返り、復習する。
8 回	授業テーマ：臨床医科学⑦(神経疾患) 授業内容：神経疾患(脳血管障害、てんかん、認知症、神経難病など)についての解説を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の該当するページ(P.112～P.129)を読んでおく。 事後学修 2.0hr：学修内容を振り返り、復習する。
9 回	授業テーマ：キャリアプランニング：歯科衛生士の就職活動について 授業内容：基本的な就職活動および歯科衛生士の就職活動、求められる人材について解説する。 事前学修 2.0hr：前回の学修内容を振り返り、今回の学習内容について考えておく。 事後学修 2.0hr：学修内容を振り返り、復習する。

10 回	授業テーマ：多職種連携論①(看護師) 授業内容：看護師の職務とチーム医療における役割について解説する。 事前学修 2.0hr：看護師の職務について事前に調べておく。 事後学修 2.0hr：学修内容を振り返り、復習する。
11 回	授業テーマ：多職種連携論②(薬剤師) 授業内容：薬剤師の職務とチーム医療における役割について解説する。 事前学修 2.0hr：薬剤師の職務について事前に調べておく。 事後学修 2.0hr：学修内容を振り返り、復習する。
12 回	授業テーマ：多職種連携論③(管理栄養士) 授業内容：管理栄養士の職務とチーム医療における役割について解説する。 事前学修 2.0hr：管理栄養士の職務について事前に調べておく。 事後学修 2.0hr：学修内容を振り返り、復習する。
13 回	授業テーマ：多職種連携論④(理学療法士) 授業内容：理学療法士の職務とチーム医療における役割について解説する。 事前学修 2.0hr：理学療法士の職務について調べておく。 事後学修 2.0hr：学修内容を振り返り、復習する。
14 回	授業テーマ：多職種連携論⑤(作業療法士) 授業内容：作業療法士の職務とチーム医療における役割について解説する。 事前学修 2.0hr：作業療法士の職務について調べておく。 事後学修 2.0hr：学修内容を振り返り、復習する。
15 回	授業テーマ：多職種連携論⑥(言語聴覚士) 授業内容：言語聴覚士の職務とチーム医療における役割について解説する。 事前学修 2.0hr：言語聴覚士の職務について調べておく。 事後学修 2.0hr：学修内容を振り返り、復習する。

口腔保健学概論

開講学科等：保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前 | 備考：科目責任者 金久弥生

金久 弥生 (かねひさ やよい)・星合 愛子 (ほしあい あいこ)

■ 授業の概要

歯科衛生士は、歯科予防処置、歯科診療補助および歯科保健指導を主な業務とする専門職である。保健・医療・福祉に幅広く関わる職種であることを理解するとともに、論理的思考、医療倫理、医療安全管理およびチーム医療等について教授する。また、歯科衛生士は口腔の健康を通じて全身の健康を保持・増進する職業であることを理解するとともに、自身が目標とする歯科衛生士像を明確化し、能動的に立案した学修目標にもとづく学修計画にしたがって自らの理想とする歯科衛生士像を叶えられる学修行動を実践できるよう教授する。なお、本講座は、歯科衛生士の資格を有する教員が担当する。

【授業方法】講義

【実務家教員と当該授業科目との関連性】

歯科衛生士がこれまでの実務経験を活かし口腔保健学の実践的な知識を与える。

■ 到達目標（ディプロマ・ポリシー：①/②）

一般目標：口腔保健の専門家としての歯科衛生士マインドや職業倫理を理解し、国内外における対象者の健康に寄与するために必要な基本的知識・態度、専門的技術を学修する

個別目標：
・ 歯科衛生士の概要を説明できる
・ 歯科衛生士の業務を説明できる
・ 歯科衛生士業務の進め方を説明できる
・ 医療倫理について説明できる
・ 医療安全について説明できる
・ チーム医療について説明できる
・ 歯科衛生士の社会的役割について理解する

■ 履修条件

原則授業の欠席は認めない

口腔保健学および歯科衛生士の専門性について初めて学習する科目であるため、遅刻・欠席をしないよう体調管理に務めること

■ 評価基準・方法

単位認定試験 60 %、提出課題等 10 %、授業への取り組み態度等(身だしなみを含めた「大学生生活の過ごし方」の遵守) 30 %の結果及び到達目標の達成度にもとづき総合的に評価する

5分の4以上の出席を単位認定試験受験資格の前提条件とし、評価基準・方法にもとづき総合的に評価する。

■ フィードバック方法

課題及び定期試験のフィードバックは、学修支援システム manaba 等を通して行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり（発見学習、問題解決学習、グループワーク等を通し、能動的に学修に参加する）

■ 授業での PC の利用（利用内容）

なし

■ 教科書

一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会 監修 「歯科衛生学シリーズ 歯科衛生学概論」医歯薬出版株式会社

■ 参考書

必要に応じて講義内で紹介する

■ 授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：オリエンテーション 授業内容：本科目のガイダンスおよび「歯科衛生士」になるために必要な学修計画について理解できるよう講義する。 事前学修 2.0hr：「シラバス」および「履修の手引き」や「CAMPUS GUIDE」等の内容について確認しておく。 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、まとめを作成する
2 回	授業テーマ：歯科衛生学とは（第1章） 授業内容：歯科衛生の定義、歯科衛生学の体系について講義する。 事前学修 2.0hr：教科書1章を読み「歯科衛生学とは」について学習しておく 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、まとめを作成する
3 回	授業テーマ：歯科衛生の歴史と現況（第2章） 授業内容：歯科衛生士の誕生と経緯、歯科衛生士の養成教育および歯科衛生実践の現況について講義する。 事前学修 2.0hr：前回の講義内容の復習および、教科書2章を読み、歯科衛生士の歴史について学習しておく 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、まとめを作成する
4 回	授業テーマ：歯科衛生と健康①（第3章） 授業内容：健康の考え方、生活習慣と健康および健康増進への関与について講義する。 事前学修 2.0hr：前回の講義内容の復習および、教科書3章を読み、歯科衛生活動のための理論について学習しておく 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、まとめを作成する
5 回	授業テーマ：歯科衛生と健康②（第3章） 授業内容：健康の考え方、生活習慣と健康および健康増進への関与について講義する。 事前学修 2.0hr：前回の講義内容の復習および、教科書3章を読み、歯科衛生活動のための理論について学習しておく 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、まとめを作成する
6 回	授業テーマ：歯科衛生士法と関係する法規（第4章） 授業内容：歯科衛生士法の位置づけ、関連法規および法的責任と制度について講義する。 事前学修 2.0hr：前回の講義内容の復習および、教科書4章を読み、歯科衛生過程について学習しておく 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、まとめを作成する
7 回	授業テーマ：歯科衛生士と倫理（第5章） 授業内容：倫理の必要性、医の倫理と患者の権利、患者の自己決定権および倫理綱領について講義する。 事前学修 2.0hr：前回の講義内容の復習および、教科書4章を読み、歯科衛生過程について学習しておく 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、まとめを作成する
8 回	授業テーマ：歯科衛生実践のための理論（第6章） 授業内容：理論の考え方と活用法、健康行動に関する理論・モデル、ヒューマンニース理論について講義を行う。 事前学修 2.0hr：前回の講義内容の復習および、教科書5章を読み、歯科衛生士法と歯科衛生業務について学習しておく 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、まとめを作成する

9 回	授業テーマ：歯科衛生実践の展開①(第7章) 授業内容：歯科衛生士として求められる能力、歯科衛生過程について講義を行う。 事前学修 2.0hr：前回の講義内容の復習および、教科書5章を読み、歯科衛生士法と歯科衛生業務について学習しておく 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、まとめを作成する
10 回	授業テーマ：歯科衛生実践の展開②(第7章) 授業内容：歯科衛生士として求められる能力、歯科衛生過程について講義を行う。 事前学修 2.0hr：前回の講義内容の復習および、教科書6章を読み、歯科衛生士と医療倫理について学習しておく 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、まとめを作成する
11 回	授業テーマ：医療安全確保における歯科衛生士の役割(第8章) 授業内容：医療安全に関する法律、安全管理の必要性および感染予防対策について講義する。 事前学修 2.0hr：前回の講義内容の復習および、教科書6章を読み、歯科衛生士と医療倫理について学習しておく 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、まとめを作成する
12 回	授業テーマ：保健・医療・福祉の制度と多職種連携(第9章) 授業内容：歯科衛生活動の特徴、歯科衛生活動に関連する制度・法律、地域包括ケアシステム、歯科衛生士の実践的な活動領域と役割および多職種連携に関わる職種について講義する。 事前学修 2.0hr：前回の講義内容の復習および、教科書7章を読み、歯科衛生活動の現況、活動の場、歯科衛生士と組織について学習しておく 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、まとめを作成する
13 回	授業テーマ：災害時における歯科衛生活動(第10章) 授業内容：わが国の再学と歯科、災害時の歯科保健医療活動および災害への備えについて講義する。 事前学修 2.0hr：前回の講義内容の復習および、教科書8章を読み、海外における歯科衛生士について学習しておく 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、まとめを作成する
14 回	授業テーマ：歯科衛生士の国際化・組織活動(第11, 12章) 授業内容：国際活動の意義、健康と歯科保健の世界的課題、国際保健医療協力の仕組みおよび歯科衛生士の専門職組織について講義する。 事前学修 2.0hr：前回の講義内容の復習および、教科書7章を読み、歯科衛生士の業務について学習しておく 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、まとめを作成する
15 回	授業テーマ：歯科衛生士のキャリア形成(第13章) 授業内容：キャリア形成の必要性と方法、生涯学習および歯科衛生研究について講義する。 事前学修 2.0hr：本科目全体の学習内容を振り返り、整理しておく。 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、まとめを作成する

歯科保存学

開講学科等：保 | 2 年次 | 2 単位 | 開講期：前

金子 潤 (かねこ じゅん)

■ 授業の概要

歯科保存学では、保存修復学と歯内療法学 2 分野の概要と歯科衛生士の役割について学修する。保存修復学ではう蝕をはじめとする歯の硬組織疾患の病態と治療法の概念および臨床術式について解説する。歯内療法学では歯髄疾患および根尖性歯周組織疾患の病態と治療法の概念および臨床術式について解説する。いずれも歯科医師としての歯科診療の実務経験に基づき授業を行う。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：①)

一般目標：歯の硬組織疾患、歯髄疾患、根尖性歯周組織疾患の病態および各疾患に対する治療法について理解し、歯科保存治療における歯科衛生士の役割についての理解を深める。

個別目標：①う蝕の発症要因と病態を説明できる。

②窩洞の分類と名称、具備すべき条件について説明できる。

③各種保存修復治療の特徴と臨床術式について説明できる。

④歯髄疾患・根尖性歯周組織疾患の病態と治療方針について説明できる。

⑤歯髄保存療法、歯髄除去療法、感染根管治療の適応症と臨床術式を説明できる。

⑥根管充填法の時期と臨床術式について説明できる。

⑦歯のホワイトニングの概要と使用薬剤について説明できる。

■ 履修条件

- ・口腔解剖学、口腔生理・機能学、口腔組織・発生学を整理・理解して本授業に臨むこと。
- ・1 年後期に実施される「解剖見学実習」に出席していない者は本科目を履修することができない。

■ 評価基準・方法

定期試験 95 %、講義への参加姿勢 5 %の結果および到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。

■ フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (双方向型の意見交換、ディスカッション)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (manaba を用いた授業資料の閲覧、課題の提出)

■ 教科書

・歯科衛生学シリーズ「保存修復学・歯内療法学」全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版

■ 参考書

・歯科衛生士ベーシックスタンダード「ホワイトニング」金子 潤, 北原信也, 宮崎真至 編著 医歯薬出版

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：歯科保存学総論 歯科保存治療の種類、歯および歯周組織の検査 授業内容：歯を健康な状態で保存する意義、歯科保存治療の対象となる疾患、歯と歯周組織の検査法について解説する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当するページ(P.2~P.13)を読んでおく。 事後学修 2.0hr：歯科保存治療の対象疾患と歯・歯周組織の検査法について復習する。
2 回	授業テーマ：保存修復学(1)歯の硬組織疾患の種類と病態、窩洞と保存修復治療 授業内容：う蝕などの硬組織疾患の種類と病態、う蝕の発症要因と進行、硬組織疾患を修復するために形成する窩洞の分類と条件、MID (ミニマル・インターベンション・デンティストリー)の概念、保存修復治療の種類と流れについて解説する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当するページ(P.16~P.33)を読んでおく。 事後学修 2.0hr：歯の硬組織疾患の種類とう蝕の病態、窩洞の分類について復習する。
3 回	授業テーマ：保存修復学(2)保存修復治療の準備、歯の切削・窩洞形成、歯髄保護 授業内容：保存修復治療を行うにあたって必要となる歯間分離法、歯肉排除法、術野隔離・防湿法、隔壁法、仮封などの補助的処置、窩洞形成に用いる機材、裏層などの歯髄保護の方法について解説する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当するページ(P.33~P.45)を読んでおく。 事後学修 2.0hr：保存修復治療の前準備、歯髄保護の方法について復習する。
4 回	授業テーマ：保存修復学(3)コンポジットレジン修復① 授業内容：直接法修復であるコンポジットレジン修復に関して、コンポジットレジンの種類と組成、歯質接着の基礎、コンポジットレジン修復に必要な器材について解説する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当するページ(P.46~P.55)を読んでおく。 事後学修 2.0hr：コンポジットレジンの組成、歯質接着の基礎、コンポジットレジン修復に必要な器材について復習する。
5 回	授業テーマ：保存修復学(4)コンポジットレジン修復②、グラスアイオノマーセメント修復 授業内容：コンポジットレジン修復の特徴と臨床術式、同じく直接法修復であるグラスアイオノマーセメント修復の特徴と臨床術式、その他の歯科用セメントについて解説する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当するページ(P.55~P.70)を読んでおく。 事後学修 2.0hr：コンポジットレジン修復とグラスアイオノマーセメント修復の特徴と臨床術式について復習する。
6 回	授業テーマ：保存修復学(5)インレー・アンレー修復① 授業内容：間接法修復であるインレー・アンレーに関して、インレーおよびアンレーの分類、メタルインレー修復の特徴と臨床術式、技工作業の基礎知識について解説する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当するページ(P.79~P.86)を読んでおく。 事後学修 2.0hr：メタルインレー修復の特徴と臨床術式について復習する。
7 回	授業テーマ：保存修復学(6)インレー・アンレー修復②、ベニア修復 授業内容：セラミック/ハイブリッドセラミックインレー修復および CAD/CAM インレー修復の特徴と臨床術式、ベニア修復の特徴と臨床術式について解説する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当するページ(P.86~P.98)を読んでおく。 事後学修 2.0hr：セラミック/ハイブリッドセラミックインレー修復と CAD/CAM インレー修復の特徴と臨床術式について復習する。
8 回	授業テーマ：保存修復学(7)合着材および接着材、補修修復、保存修復治療における歯科衛生士の役割 授業内容：合着材および接着材の種類と組成、レジン接着のための修復物(被着体)の内面処理、補修修復の意義と手順、保存修復治療における歯科衛生士の果たすべき役割について解説する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当するページ(P.98~P.116)を読んでおく。 事後学修 2.0hr：合着材と接着材の種類、補修修復の意義と手順について復習する。

9 回	<p>授業テーマ：歯内療法学(1)歯髄疾患および根尖性歯周疾患の原因と分類</p> <p>授業内容：歯髄疾患の原因および分類と症状、根尖性歯周疾患の原因および分類と症状、これらの疾患の処置方針、歯内療法特有の検査について解説する。</p> <p>事前学修 2.0hr：教科書の該当するページ(P.118～P.137)を読んでおく。</p> <p>事後学修 2.0hr：歯髄疾患と根尖性歯周疾患の種類と症状、処置方針について復習する。</p>
10 回	<p>授業テーマ：歯内療法学(2)歯髄保存療法</p> <p>授業内容：歯髄保存療法である歯髄鎮痛消炎療法と覆髄法の適応症、使用薬剤、臨床術式について解説する。</p> <p>事前学修 2.0hr：教科書の該当するページ(P.138～P.147)を読んでおく。</p> <p>事後学修 2.0hr：歯髄鎮痛消炎療法および覆髄法の使用薬剤と臨床術式について復習する。</p>
11 回	<p>授業テーマ：歯内療法学(3)歯髄除去療法</p> <p>授業内容：歯髄除去療法である生活断髄法(生活歯髄切断法)と抜髄法(麻酔抜髄法)の適応症、使用器具および薬剤、臨床術式について解説する。</p> <p>事前学修 2.0hr：教科書の該当するページ(P.148～P.155)を読んでおく。</p> <p>事後学修 2.0hr：生活断髄法および抜髄法の適応症、使用器具および薬剤、臨床術式について復習する。</p>
12 回	<p>授業テーマ：歯内療法学(4)根管治療</p> <p>授業内容：根管治療の臨床術式、使用器具：器材、根管拡大形成法、根管清掃剤と根管消毒薬の種類と特徴について解説する。</p> <p>事前学修 2.0hr：教科書の該当するページ(P.156～P.178)を読んでおく。</p> <p>事後学修 2.0hr：根管治療の臨床術式、使用器具：器材、根管清掃剤と根管消毒薬の種類と特徴について復習する。</p>
13 回	<p>授業テーマ：歯内療法学(5)根管充填</p> <p>授業内容：根管充填の目的と時期、根管充填材の種類、根管充填用器具、根管充填法の種類と臨床術式、根未完成歯の根管処置について解説する。</p> <p>事前学修 2.0hr：教科書の該当するページ(P.178～P.192)を読んでおく。</p> <p>事後学修 2.0hr：根管充填の時期、根管充填材の種類、根管充填用器具、根管充填の臨床術式について復習する。</p>
14 回	<p>授業テーマ：歯内療法学(6)外科的歯内療法、歯の外傷、歯内療法における安全対策、歯内療法における歯科衛生士の役割</p> <p>授業内容：外科的歯内療法の種類と適応症および臨床術式、歯の外傷の分類と処置、歯内療法における各種安全対策、歯内療法における歯科衛生士の果たすべき役割について解説する。</p> <p>事前学修 2.0hr：教科書の該当するページ(P.193～P.217)を読んでおく。</p> <p>事後学修 2.0hr：各種外科的歯内療法の適応症と臨床術式、歯の外傷の分類と処置法について復習する。</p>
15 回	<p>授業テーマ：歯のホワイトニング</p> <p>授業内容：歯のホワイトニングの分類と使用薬剤、オフィスホワイトニングとホームホワイトニングの臨床術式、ウォーキングブリーチの臨床術式、ホワイトニングにおける歯科衛生士の役割について解説する。</p> <p>事前学修 2.0hr：教科書の該当するページ(P.71～P.78)を読んでおく。</p> <p>事後学修 2.0hr：歯のホワイトニングの分類と使用薬剤、臨床術式について復習する。</p>

歯周治療学

開講学科等：保 | 2 年次 | 1 単位 | 開講期：ST1

梅森 幸 (うめもり さち)

■ 授業の概要

歯周治療学では、歯周組織の構造と機能、歯周疾患の病因、および歯周病の予防法と治療法について授業を行う。特に、歯周病の検査、診断、歯周基本治療、歯周外科治療、口腔機能回復治療、およびメンテナンス・SPT (supportive periodontal therapy) については、臨床術式の学術的な背景について解説する。また、歯周治療における歯科衛生士の役割についても解説する。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：①)

一般目標：歯周病の予防法と治療法を習得するために、歯周組織の構造と機能、歯周病の病態、および歯周病の病因について、学術的背景から理解する。また、歯周治療における歯科衛生士としての役割や重要性について理解する。

個別目標：1. 正常な歯周組織の構造と機能を説明できる。

2. 歯周疾患の原因と病態について説明できる。

3. 歯周治療の流れを説明できる。

4. 歯周疾患の病態に応じた治療法を説明できる。

5. 歯周治療終了後のメンテナンスの重要性と意義を説明できる。

■ 履修条件

1 年後期に実施される「解剖見学実習」に出席していない者は本科目を履修することができない。

口腔解剖学、口腔生理・機能学、口腔組織・発生学を復習・理解しておくこと。

■ 評価基準・方法

期末試験 90 %、授業に対する積極的な姿勢 (質問、発言、態度、アンケート入力) 10%に基づき、総合的に評価する。

■ フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (双方向型の意見交換、ディスカッション)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (スライド等を用いて講義を行う)

■ 教科書

歯科衛生学シリーズ「歯周病学」全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版

■ 参考書

「サポーティブ・インプラント・セラピー」申 基詒監修・林 丈一朗編著 ヒョーロン・パブリッシャーズ

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

授業テーマ

第1回：歯周治療とは

第2回：歯周病の分類と原因

第3回：歯周治療の進め方

第4回：歯周基本治療

第5回：歯周外科治療(1)

第6回：歯周外科治療(2)

第7回：口腔機能回復治療

第8回：ペリオドンタルメディシン(歯周医学)

授業内容

第1回：歯周病および歯周治療について概要を説明し、正常な歯周組織の構造と機能について解説する。

第2回：歯肉病変、歯周炎、壊死性歯周病などの歯周病の分類、およびその原因について解説する。

第3回：歯周治療の進め方について概説し、歯周病の検査について解説する。

第4回：歯周基本治療の目的と効果など、治療の理論的な背景について解説する。

第5回：歯周外科治療の総論、および種々の歯周外科治療について解説する。

第6回：根分岐部病変の治療、および歯周外科治療に用いる器材や介助について解説する。

第7回：歯周治療における口腔機能回復治療、およびメンテナンスについて解説する。

第8回：ペリオドンタルメディシンと、それに基づいた患者指導、歯周治療における歯科衛生士の役割について解説する。

事前学修

2.0hr：各授業に関連する内容について、教科書の関連する章を読んでおくこと

事後学修

2.0hr：授業での配布資料や教科書を利用して復習すること

歯科補綴学

開講学科等：保 | 2 年次 | 2 単位 | 開講期：前

河野 舞 (こうの まい)

■ 授業の概要

歯科補綴学は、歯の実質欠損、喪失した歯ならびに周囲組織を補綴装置により回復し、口腔機能および審美性について改善・回復することを目的とする。本授業では、実務経験のある歯科医師により、以下補綴学の基礎的知識を習得するための講義を行う。

1. 顎口腔系の正常構造と機能・咬合
2. 歯の実質欠損、歯列の部分的および全部欠損、咬合の不調和等が顎口腔系にもたらす変化と障害
3. 歯科補綴物の理解と歯科補綴治療の実際(診療室・技工室)、歯科医師や歯科技工士との連携と協力
4. 歯冠部欠損ならびに欠損歯列における病因・病態論、その検査法や診断法、治療計画
5. 歯科補綴治療における歯科衛生士の役割について

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：①)

一般目標：歯科補綴治療の概要と種々な補綴装置の特徴を理解し、口腔の健康管理に貢献できる能力を培うこと

個別目標：歯科補綴治療の目的ならびに歯科補綴治療における歯科衛生士の役割について説明することができる

■ 履修条件

1 年後期に実施される「解剖見学実習」に出席していない者は本科目を履修することができない。

これまでの基礎分野・専門基礎分野の科目内容を復習・整理して本授業に臨むこと

■ 評価基準・方法

5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とし、公欠以外の遅刻と欠席は総合評価から減点とする

定期試験 100 %、ただし授業の参加姿勢も併せて総合的に評価する

■ フィードバック方法

課題等のフィードバックは授業中や学修支援システム manaba を通して行う

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

なし

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

歯科衛生学シリーズ 歯科補綴学(一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会)医歯薬出版 2023 年

■ 参考書

松村英雄, 大久保力廣他 歯科衛生士講座 歯冠修復と欠損補綴の治療と診療補助 永末書店 2020 年

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：補綴歯科治療の基礎① 授業内容：歯科補綴の概要、補綴歯科治療の基礎知識(歯列と咬合)について授業する 事前学修 2.0hr：補綴歯科治療の意義と目的について教科書の該当する頁を読んで予習する 事後学修 2.0hr：補綴歯科治療の意義と目的について授業内容を復習する
2 回	授業テーマ：補綴歯科治療の基礎② 授業内容：顎運動と咬合様式、口腔や顎関節の機能について授業する 事前学修 2.0hr：補綴歯科治療の基礎知識について教科書の該当する頁を読んで予習する 事後学修 2.0hr：補綴歯科治療の基礎知識について授業内容を復習する
3 回	授業テーマ：補綴歯科治療の方法と補綴装置① 授業内容：様々な補綴装置について授業する 事前学修 2.0hr：補綴歯科治療の方法と補綴装置について教科書の該当する頁を読んで予習する 事後学修 2.0hr：補綴歯科治療の方法と補綴装置について授業内容を復習する
4 回	授業テーマ：補綴歯科治療の方法と補綴装置② 授業内容：第 3 回に続いて、様々な補綴装置について授業する 事前学修 2.0hr：補綴歯科治療の方法と補綴装置について教科書の該当する頁を読んで予習する 事後学修 2.0hr：補綴歯科治療の方法と補綴装置について授業内容を復習する
5 回	授業テーマ：補綴歯科治療における検査、診断 授業内容：補綴歯科治療における検査について授業する 事前学修 2.0hr：補綴歯科治療における検査・診断について教科書の該当する頁を読んで予習する 事後学修 2.0hr：補綴歯科治療における検査・診断について授業内容を復習する
6 回	授業テーマ：クラウン・ブリッジ治療の流れと診療補助① 授業内容：クラウンブリッジの治療の流れと診療補助について授業する 事前学修 2.0hr：クラウン・ブリッジ治療の概要について教科書の該当する頁を読んで予習する 事後学修 2.0hr：クラウン・ブリッジ治療の概要について授業内容を復習する
7 回	授業テーマ：クラウン・ブリッジ治療の流れと診療補助② 授業内容：第 6 回に続いてクラウンブリッジの治療の流れと診療補助について授業する 事前学修 2.0hr：クラウン・ブリッジ治療の流れと診療補助の実際について教科書の該当する頁を読んで予習する 事後学修 2.0hr：クラウン・ブリッジ治療の流れと診療補助の実際について授業内容を復習する
8 回	授業テーマ：クラウン・ブリッジ治療に伴うトラブルとその対応、補修方法 授業内容：CAD/CAM クラウンブリッジ治療の流れやクラウン・ブリッジ治療のトラブルとその対応方法について授業する 事前学修 2.0hr：CAD/CAM およびクラウン・ブリッジ治療に伴うトラブルについて教科書の該当する頁を読んで予習する 事後学修 2.0hr：CAD/CAM およびクラウン・ブリッジ治療に伴うトラブルについて復習する
9 回	授業テーマ：クラウン・ブリッジ治療に伴うトラブルへの対応、補修について・全部床義歯の概要 授業内容：前回に引き続き、クラウン・ブリッジ治療に伴うトラブルへの対応方法や補修方法を授業する 授業の進度に合わせ、後半は全部床義歯の概要について授業を行う 事前学修 2.0hr：クラウン・ブリッジ治療に伴うトラブルへの対応や補修方法、全部床義歯の概要について教科書の該当する頁を読んで予習する 事後学修 2.0hr：クラウン・ブリッジ治療に伴うトラブルへの対応や補修方法、全部床義歯の概要について授業内容を復習する
10 回	授業テーマ：全部床義歯治療の流れと診療補助① 授業内容：全部床義歯の治療の流れと診療補助について授業する 事前学修 2.0hr：全部床義歯治療の流れと診療補助について教科書の該当する頁を読んで予習する 事後学修 2.0hr：全部床義歯治療の流れと診療補助について授業内容を復習する

11 回	授業テーマ：全部床義歯の治療の流れと診療の補助② 授業内容：第 10 回からの続きで、全部床義歯の治療の流れと診療の補助について授業する 事前学修 2.0hr：第 10 回からの続きについて全部床義歯治療の流れと診療補助について予教科書の該当する頁を読んで予習する 事後学修 2.0hr：全部床義歯治療の流れと診療補助について授業内容を復習する
12 回	授業テーマ：全部床義歯および部分床義歯治療の流れと診療の補助 授業内容：第 11 回からの続きで、全部床義歯の治療の流れと診療の補助について授業する 後半は部分床義歯の治療の流れと診療の補助について授業する 事前学修 2.0hr：全部床義歯および部分床義歯治療の流れと診療の補助について教科書の該当する頁を読んで予習する 事後学修 2.0hr：全部床義歯および部分床義歯治療の流れと診療の補助について授業内容を復習する
13 回	授業テーマ：部分床義歯治療に伴うトラブルとその対応と患者指導 授業内容：部分床義歯治療に伴うトラブルとその対応と患者指導について授業する 事前学修 2.0hr：部分床義歯治療に伴うトラブルとその対応と患者指導について教科書の該当する頁を読んで予習する 事後学修 2.0hr：部分床義歯治療に伴うトラブルとその対応と患者指導について授業内容を復習する
14 回	授業テーマ：インプラント治療の流れ① 授業内容：インプラント治療の概要と治療の流れについて授業する 事前学修 2.0hr：インプラント治療の流れについて教科書の該当する頁を読んで予習する 事後学修 2.0hr：インプラント治療の概要と治療の流れについて授業内容を復習する
15 回	授業テーマ：インプラント治療の流れ② 授業内容：第 14 回から続く、インプラント治療の流れについて授業する 事前学修 2.0hr：第 14 回から続くインプラント治療の流れについて教科書の該当する頁を読んで予習する 事後学修 2.0hr：インプラント治療の流れについて授業内容を復習する

口腔外科・麻酔学

開講学科等：保 | 2 年次 | 2 単位 | 開講期：後

竹島 浩 (たけしま ひろし)

■ 授業の概要

口腔・顔面領域の疾患の特徴と診断および治療法ならびに歯科麻酔学では歯科治療における全身管理、精神鎮静法、局所麻酔および全身麻酔の基本を学習する。また放射線治療と化学療法患者の口腔保健管理などにも触れ、最新の治療器具・薬剤などとともに紹介する。臨床現場でも対応できるようなことも踏まえ内容を理解させる。4年生履修の歯科衛生士において学術研究や医療・保健の現場における活躍の成果を発表する機会が与えられており、それを踏まえ、その環境に十分対応しうる高度な歯科衛生士教育を行っていく。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：①)

一般目標：口腔内に発生する疾患に関して病態像、治療などを十分に理解し、歯科衛生士として患者に対する診療補助、予防処置などのみならず心理的な面も含めた配慮を理解する。

個別目標：患者の基礎疾患や既往などの背景や家族的・社会的状況を理解して対応できる。

■ 履修条件

口腔外科学を履修するために口腔解剖学、口腔組織・発生学、口腔生理・機能学、口腔病理・微生物学、口腔衛生学の知識を整理しておく。それぞれの科目を理解するだけでなく、横のつながりを意識しながら整理しておく。

■ 評価基準・方法

1 年後期に実施される「解剖見学実習」に出席していない者は本科目を履修することができない。

定期試験、授業参加姿勢などで総合的に評価する。

■ フィードバック方法

講義中に学生への質問、国家試験の過去問題などの質問、学生からの質問に対する回答をするなど、学生との講義内容の言葉でのキャッチボールを行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

なし

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

歯科衛生学シリーズ 口腔外科学・歯科麻酔学 (医歯薬出版) 2023 年

■ 参考書

ポイントチェック歯科衛生士試験対策〈4〉

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：口腔外科の概要 授業内容：口腔領域の解剖、特徴、および口腔外科疾患の診断について講義する また口腔病変と全身疾患との関係などを講義する 事前学修 2.0hr：顎関節、咀嚼筋、歯周組織、唾液腺の組織・解剖・生理を調べておく。 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、復習する。
2 回	授業テーマ：顎・口腔領域の先天異常と発育異常 授業内容：口腔領域の先天異常(歯の異常、軟組織の先天異常、口唇裂口蓋裂)の診断と治療の講義 顎骨の発育異常(顎変形症)について診断と治療を講義 事前学修 2.0hr：口腔、口腔周囲筋、上下顎周囲筋の組織・解剖・生理を調べておく。 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、復習する。
3 回	授業テーマ：顎・口腔領域の損傷と機能障害 授業内容：軟組織の外傷、歯の外傷、顎骨の外傷(顎骨骨折)について診断と治療の講義 顎関節における疾患について診断と治療の講義 事前学修 2.0hr：外傷・骨折の原因と部位を理解しておく。 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、復習する。
4 回	授業テーマ：口腔粘膜の病変 授業内容：口腔粘膜疾患(水泡形成を主徴とする疾患、赤斑、びらんを主徴とする疾患、潰瘍を主徴とする疾患、白斑を主徴とする疾患、色素沈着を主徴とする粘膜疾患、粘膜萎縮を主徴とする疾患、口腔乾燥を主徴とする疾患、出血、貧血を主徴とする疾患)についての診断と治療の講義 事前学修 2.0hr：口腔粘膜障害と全身疾患との関係を調べておく。 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、復習する。
5 回	授業テーマ：顎・口腔領域の化膿性炎症疾患 授業内容：炎症(特に菌性感染症：智歯周囲炎、顎骨骨髓炎、歯性上顎洞炎、蜂窩織炎など)の成り立ち、炎症による血液像の変化、診断と治療の講義 事前学修 2.0hr：歯周組織・顎骨組織および周囲組織の解剖と生理を理解しておく。 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、シートを記入する。
6 回	授業テーマ：顎・口腔領域の嚢胞性疾患と腫瘍類似疾患(一部腫瘍) 授業内容：顎骨に発生する嚢胞：歯源性嚢胞(歯根嚢胞、含歯性嚢胞)、非歯源性嚢胞(鼻口蓋管嚢胞、術後性上顎嚢胞など)と軟組織に発生する嚢胞：粘液嚢胞(ガマ腫など)、その他の嚢胞(類比嚢胞、鼻歯嚢胞など)の診断と治療について 腫瘍類似疾患(エプーリス、骨隆起など)の病態、治療などについて 事前学修 2.0hr：教科書を読んでおく。疾患の部位・原因と処置法を理解しておく。 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、復習する。
7 回	授業テーマ：顎・口腔領域の腫瘍 授業内容：腫瘍の基本的知識(良性腫瘍と悪性腫瘍、歯源性腫瘍と非歯源性腫瘍)の学習。 良性腫瘍(エナメル上皮腫、歯牙腫、血管腫など)、悪性腫瘍(癌腫、肉腫)の診断と治療につき講義 事前学修 2.0hr：良性腫瘍と悪性腫瘍の違いを理解しておく。 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、復習する。
8 回	授業テーマ：唾液腺疾患、神経疾患、1～7回の小テスト(小テストの代わりに授業内で問題の解説に変更あり) 授業内容：唾液腺疾患(唾石症、ウイルス性疾患、シェーグレン症候群、流涎症など)の病態と診断・治療について 神経疾患(三叉神経痛、舌咽神経痛、三叉神経麻痺、顔面神経麻痺、舌下神経麻痺など)の病態と診断について 1～7回のまとめの小テストを行う。(小テストの代わりに授業内で問題の解説に変更あり) 事前学修 2.0hr：唾液腺組織と顎顔面領域の神経の解剖・組織・生理を理解しておく。 事後学修 2.0hr：学習内容や小テストの内容を振り返り、復習する。

9 回	授業テーマ：口腔外科診療の実際Ⅰ 授業内容：小テストの解説 口腔外科治療の流れ、診察と診断、清潔・不潔、創傷治療、口腔外科小手術（消炎手術、抜歯術など）で使用する機材（抜歯鉗子、ヘーベル、縫合糸、針など）の使用方法などの講義 事前学修 2.0hr：教科書において口腔外科処置の理解をする。 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、復習する。
10 回	授業テーマ：口腔外科診療の実際Ⅱ 授業内容：9回の「口腔外科診療の実際Ⅰ」の続き 事前学修 2.0hr：教科書を読んでおく。手術前中後の流れを理解する。 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、シートを記入する。
11 回	授業テーマ：歯科麻酔と患者管理、局所麻酔、精神鎮静法 授業内容：歯科治療における歯科麻酔と患者管理 局所麻酔（表面麻酔、浸潤麻酔、伝達麻酔）、精神鎮静法（吸引鎮静法、静脈鎮静法）の授業 事前学修 2.0hr：バイタルサイン、モニタリング、局所麻酔、精神鎮静法を読んでおく。 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、復習する。
12 回	授業テーマ：全身麻酔、救急蘇生法 授業内容：全身麻酔の概要、術前管理、全身麻酔薬 全身的偶発症の概要（迷走神経反射、過換気症候群、アナフラキシーショックの概要など）と一次救命処置など 事前学修 2.0hr：手術前中後を読んで流れと偶発症などを理解しておく。 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、復習する。
13 回	授業テーマ：口腔外科・歯科麻酔での歯科衛生士の関わり、8～13回の小テスト(小テストの代わりに授業内で問題の解説に変更あり) 授業内容：口腔外科・歯科麻酔での歯科衛生士の業務 周術期等口腔機能管理についての理解 8～13回の小テスト(小テストの代わりに授業内で問題の解説に変更あり) 事前学修 2.0hr：教科書を読んで口腔外科・歯科麻酔の患者指導、周術期等口腔機能管理を理解する。 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、復習する。
14 回	授業テーマ：口腔外科診療の実際、総まとめの小テスト(小テストの代わりに授業内で問題の解説に変更あり) 授業内容：小テストの解説 口腔外科1～13回の総まとめ授業 総まとめの小テスト(小テストの代わりに授業内で問題の解説に変更あり) 事前学修 2.0hr：口腔外科診療の理解をする 事後学修 2.0hr：学習内容や小テストを振り返り、復習する。
15 回	授業テーマ：総合演習 授業内容：口腔外科における局所麻酔の演習 事前学修 2.0hr：口腔外科、局所麻酔を総合的に理解する。 事後学修 2.0hr：学習内容や演習を振り返り、復習する。

小児・矯正歯科学

開講学科等：保 | 2 年次 | 2 単位 | 開講期：後 | 備考：科目責任者 吉川正芳

梅森 幸 (うめもり さち)・吉川 正芳 (よしかわ まさよし)

■ 授業の概要

【小児歯科】

小児の心身の成長・発育と口腔領域の機能の発達、成長期の歯科治療、小児患者への対応など小児歯科臨床に必要な基本的知識について講義を行う。また、診療現場で求められる実際の診療補助、う蝕予防を中心とした保健指導の内容、さらには口腔機能発達不全症、小児虐待の現状と歯科衛生士に求められる対応について学習する。

【矯正歯科】

矯正歯科治療の概要、成長・発育、正常咬合と不正咬合、矯正歯科診断、矯正歯科治療と矯正力、矯正装置と矯正器具について理解し、症例を提示して不正咬合の問題点の資料採得や分析について説明する。そして治療計画を立て、どのような装置を選択するのかを明らかにする。これにより、臨床現場での業務の内容が容易に理解できるようにする。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：①)

一般目標：小児の心身の発育・成長を理解し、口腔疾患とその予防、口腔機能発達不全症や小児虐待における歯科衛生士の役割について説明できる。不正咬合によってもたらされる咀嚼、発音などの機能を改善する歯学の一分野であることを理解し、歯科矯正の基本的知識を身につけ、実際の診療内容や歯科衛生士の役割について説明できる。

個別目標：小児の歯科治療、歯科矯正治療に関する基礎知識を修得し、実際の診療現場における基本的事項を理解する。

■ 履修条件

1 年後期に実施される「解剖見学実習」に出席していない者は本科目を履修することができない。

1 年次及び 2 年次前期で履修した専門基礎分野の講義のうち、特に口腔生理・機能学、解剖学、口腔解剖学、口腔衛生学は関連が深いので整理しておくことが望ましい。

■ 評価基準・方法

期末試験 80 %、レポート・授業に対する積極的な姿勢(質問、発言、態度、アンケート入力)、学習内容振り返りシート、小テスト 20 %に基づき、総合的に評価する。

■ フィードバック方法

課題等のフィードバックは授業中および学修支援システム manaba を通じて行う

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (双方向型の意見交換、ディスカッション)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (スライド等を用いて講義を行う)

■ 教科書

新井一仁・山田小枝子他編 「歯科矯正学 第 2 版 歯科衛生士学シリーズ」 医歯薬出版 2024 年 01 月発行

大嶋 隆他編 「小児歯科学 歯科衛生学シリーズ」 医歯薬出版 2023 年 01 月発行

■ 参考書

特になし

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：ガイダンス・小児歯科学概論 授業内容：小児歯科領域の歯科学における位置、役割と小児歯科の意義について講義する。 事前学修 2.0hr：教科書の小児歯科学概論に目を通しておくこと 事後学修 2.0hr：授業での配布資料や教科書を利用して復習すること
2 回	授業テーマ：心身の発育、小児の生理的特徴 授業内容：発育の概念と分類、発育状態の評価、精神発達、機能の発達、顔面頭蓋の発育について講義する。 事前学修 2.0hr：教科書の心身の発育、顔面頭蓋の発育を通読し、学習項目を確認しておくこと 事後学修 2.0hr：授業での配布資料や教科書を利用して復習すること
3 回	授業テーマ：歯の発育とその異常、歯列・咬合の発育と異常 授業内容：乳歯・幼若永久歯の特徴、歯の形成・発育、乳歯列、混合歯列、永久歯列の特徴について講義する。 事前学修 2.0hr：教科書の歯の発育とその異常、歯列・咬合の発育と異常を通読し、学習項目を確認しておくこと 事後学修 2.0hr：授業での配布資料や教科書を利用して復習すること
4 回	授業テーマ：小児の歯科疾患とその治療、小児患者への対応法、小児虐待について 授業内容：小児のう蝕・歯周疾患、口腔軟組織の疾患とその治療法、小児虐待の現状と対応について講義する 事前学修 2.0hr：教科書の小児の歯科疾患を通読し、学習項目を確認しておくこと 事後学修 2.0hr：授業での配布資料や教科書を利用して復習すること
5 回	授業テーマ：小児歯科診療における補助 I 授業内容：診療中の補助について講義する。 事前学修 2.0hr：教科書の小児歯科における患者との対応法を通読し、学習項目を確認しておくこと 事後学修 2.0hr：授業での配布資料や教科書を利用して復習すること
6 回	授業テーマ：小児歯科診療における補助 II 授業内容：診療中の補助、障がい児への対応について講義する。 事前学修 2.0hr：教科書の小児歯科における診療体系、障がい児の歯科治療を通読し、学習項目を確認しておくこと 事後学修 2.0hr：授業での配布資料や教科書を利用して復習すること
7 回	授業テーマ：小児におけるう蝕予防と口腔健康管理 授業内容：う蝕予防法、子どもの口腔健康管理などについて講義する。 事前学修 2.0hr：教科書のう蝕予防、小児の健康管理を通読し、学習項目を確認しておくこと 事後学修 2.0hr：授業での配布資料や教科書を利用し、これまでの復習をすること
8 回	授業テーマ：ガイダンス・矯正歯科学概論 授業内容：矯正治療の目的、矯正歯科治療の流れ、必要性、ベネフィットとリスク、チーム医療と歯科衛生士の役割について講義する。 事前学修 2.0hr：教科書の矯正歯科における矯正歯科概論を通読しておくこと 事後学修 2.0hr：教科書の「学習目標」、「復習用紙」を確認して学習内容振り返りシートを記入する

9 回	<p>授業テーマ：成長発育 授業内容：成長発育の定義、四つの型の名称とその特徴、全身の一般的な成長発育過程、生理的年齢の種類と特徴、骨の成長の三つの様式、頭蓋冠と頭蓋底の成長、上顎・下顎の成長発育、切歯部・側方歯部での歯の交換の特徴、咀嚼、嚥下、発音機能の発達について講義する。 事前学修 2.0hr：教科書の矯正歯科における矯正歯科概論を予習し、学習項目を確認しておくこと 事後学修 2.0hr：教科書の「学習目標」、「復習用紙」を確認して学習内容振り返りシートを記入する</p>
10 回	<p>授業テーマ：正常咬合と不正咬合 授業内容：咬合、下顎運動について、正常咬合、不正咬合、Angle の不正咬合分類、不正咬合の原因、不正咬合の予防について講義する。 事前学修 2.0hr：教科書の正常咬合と不正咬合を予習し、学習項目を確認しておくこと 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを記入する。小テストの復習をする</p>
11 回	<p>授業テーマ：矯正歯科診断 授業内容：矯正歯科診断に必要な検査項目を列挙し、その意味、顔面形態の評価方法、模型分析の方法と意義、頭部エックス線規格写真分析の方法と意義、成長分析に用いる資料について講義する。 事前学修 2.0hr：教科書の診断学を予習し、学習項目を確認しておくこと 事後学修 2.0hr：学習内容振り返りシートを記入する。小テストの復習をする。診断に必要な項目ごとにレポートにまとめる</p>
12 回	<p>授業テーマ：矯正歯科治療学 授業内容：矯正力と移動する歯、固定の関係、固定の三つの種類を挙げること、顎間ゴムの種類と使用する不正咬合症例、インプラントによる固定の利点を挙げる、歯が移動する際の歯周組織反応、歯の移動様式、機械的矯正力と機能的矯正力を説明し、それぞれを利用する装置を挙げる、保定の定義を主な装置、矯正歯科治療の再発の定義とその原因について講義する。 事前学修 2.0hr：教科書の矯正歯科治療の実際を予習し、学習項目を確認しておくこと 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを記入する。小テストの復習をする</p>
13 回	<p>授業テーマ：矯正歯科治療における装置 授業内容：矯正装置の分類、種類とその構成、使用目的とその適用時期、矯正装置装着時の指導について講義する。 事前学修 2.0hr：教科書の矯正歯科治療に使用される材料と器具を予習し、学習項目を確認しておくこと 事後学修 2.0hr：学習内容振り返りシートを記入する。器具の絵を描いてレポートにまとめる</p>
14 回	<p>授業テーマ：矯正歯科治療に使用される材料と器具 授業内容：矯正歯科治療に用いる器具・材料の用途、床矯正装置装着における注意点、マルチブラケット装置装着時の補助、マルチブラケット装置装着時における注意点、機能的顎矯正装置装着時の補助、機能的顎矯正装置装着時身における注意点、顎外固定装置装着時の補助、顎外固定装置装着時における注意点について講義する。 事前学修 2.0hr：教科書の矯正歯科治療に使用される材料と器具を予習し、学習項目を確認しておくこと 事後学修 2.0hr：学習内容振り返りシートを記入する。器具の絵を描いてレポートにまとめる</p>
15 回	<p>授業テーマ：矯正歯科臨床における歯科衛生士の役割 授業内容：矯正歯科治療におけるリスク、トラブルへの対応、不正咬合の保険歯科診療、矯正歯科診断に必要な資料、顔面写真・口腔内写真撮影の要点、模型作製のための印象採得の要点、矯正歯科治療におけるインフォームドコンセントと筋機能訓練について講義する。 事前学修 2.0hr：教科書の矯正歯科臨床における歯科衛生士の役割を予習し、学習項目を確認しておくこと 事後学修 2.0hr：学習内容振り返りシートを記入する。授業プリントを復習し、教科書の該当箇所を確認する。これまでの小テストの復習をする</p>

高齢者・スペシャルニーズ歯科学

開講学科等：保 | 3 年次 | 2 単位 | 開講期：ST1 | 備考：科目責任者 河野舞

河野 舞 (こうの まい)・星野 倫範 (ほしの ともり)

■ 授業の概要

本授業はオムニバス方式(全 15 回)である。

スペシャルニーズ歯科学(星野倫範/前期前半の火曜日 1 限：1～7 回として記載)

本授業では、精神や身体の障害について、また障害を有する人にみられる歯科疾患の特徴、原因と症状を理解し、これらの人に対する歯科医療の基本について講義する。

具体的には障害を有する人の、社会的な環境、家庭内生活環境、口腔機能、食生活、咀嚼と嚥下といった生活の基本事項について、QOL の向上とノーマライゼーションを実践するための知識、方法について学ぶ。

高齢者歯科学(河野 舞/前期前半の水曜日 3 限：8～15 回として記載)

本授業では、高齢者を対象として心身の加齢変化や基礎疾患を配慮し、歯科診療に関わるために必要な全身的ならびに口腔内における病因・病態・その検査法や診断法について概説する。また、歯科診療における歯科衛生士の役割や口腔保健管理・歯科保健指導について概説するとともに要介護高齢者に対する歯科衛生士の役割や多職種連携について授業する。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：①)

一般目標：**スペシャルニーズ歯科学**：障害を持つ人の心を理解し、障害に応じた対応を説明できる。障害の種類・定義・概念を説明できる。障害を持つ人の口腔状況について理解し、説明できる。ノーマライゼーションとバリアフリーについて説明できる。

高齢者歯科学：生理的な加齢が身体や心理に及ぼす影響や、老化に伴って増える疾患や障害の特徴、社会環境の変化について理解する。

個別目標：**スペシャルニーズ歯科学**：障害を持つ人、高齢者の歯科治療に関する基礎知識を身につけ、実際の内容について説明することができ、行動できる。

高齢者歯科学：高齢者を歯科の分野から直接・間接的に支えるための方策について、歯科衛生士がどのように介入し医療連携していくかについて説明することができる。

■ 履修条件

スペシャルニーズ歯科学：1 年次及び 2 年次前期で履修した専門基礎分野の講義のうち、特に口腔生理・機能学・口腔解剖学・口腔衛生学・小児歯科学は関連が深いので整理しておくことが望ましい。

高齢者歯科学：2 年次後期までの基礎分野・専門基礎分野の科目内容を復習・整理して本授業に臨むこと。

■ 評価基準・方法

スペシャルニーズ歯科学：試験 90%、授業内容における参加姿勢・発言並びに小テスト等 10 %として到達目標の達成度に基づき、総合的に評価する。

高齢者歯科学：試験 100 % (授業中における参加姿勢や発言に問題がある場合は減点対象とする)として到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。なお、全授業 15 回分の 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とし、公欠以外の遅刻と欠席は最終評価から減点する。

また最終評価については、スペシャルニーズ歯科学と高齢者歯科学を合算して平均化するのではなく、それぞれの科目で総合的に評価するものとする。

■ フィードバック方法

課題等のフィードバックは授業中や学修支援システム manaba を通して行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

なし

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

スペシャルニーズ歯科学：

歯科衛生学シリーズ「障害者歯科学」第 2 版 監修/向井美恵編著 医歯薬出版 2022 年

高齢者歯科学：

歯科衛生学シリーズ「高齢者歯科学」植田 耕一郎ほか、一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版 2023 年

■ 参考書

スペシャルニーズ歯科学：

柿木保明, 野本たかと他 歯科衛生士講座「障害者歯科学」第 3 版 永末書店 2022 年

高齢者歯科学：

森戸光彦, 植田耕一郎他 歯科衛生士講座「高齢者歯科学」第 3 版 永末書店 2020 年

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：ガイダンス・障害者の概念 授業内容：障害の概念について講義する 事前学修 2.0hr：教科書の第 1 章を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認する
2 回	授業テーマ：歯科医療で特別な支援が必要な疾患 授業内容：歯科医療で特別な支援が必要な疾患について講義する。 事前学修 2.0hr：教科書の第 2 章を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認する。
3 回	授業テーマ：歯科医療と行動調整 授業内容：障害者の歯科医療と行動調整について講義する 事前学修 2.0hr：教科書を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認する
4 回	授業テーマ：健康支援と口腔衛生管理 授業内容：障害者の健康支援と口腔衛生管理について講義する 事前学修 2.0hr：教科書の第 3 章を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認する。
5 回	授業テーマ：リスク評価と安全管理 授業内容：リスク評価と安全管理について講義する 事前学修 2.0hr：教科書の第 5 章を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認する。

6 回	授業テーマ：摂食嚥下リハビリテーションと歯科衛生士の役割 授業内容：摂食嚥下リハビリテーションと歯科衛生士の役割について講義する 事前学修 2.0hr：教科書の第 6 章を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認する。
7 回	授業テーマ：地域における障害者歯科 授業内容：障害の種類と口腔所見について講義する 事前学修 2.0hr：教科書の第 7 章を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認する。
8 回	授業テーマ：高齢者をとりまく社会と環境 授業内容：高齢者を取り巻く社会環境と社会保障(医療・保健・福祉)について 事前学修 2.0hr：高齢者を取り巻く社会環境と社会保障(医療・保健・福祉)について教科書を読んで予習する 事後学修 2.0hr：授業の内容について授業資料と教科書で復習する
9 回	授業テーマ：加齢による身体機能・精神と心理的变化 授業内容：加齢に伴う身体機能の変化と高齢者の精神・心理的变化について 事前学修 2.0hr：加齢に伴う身体機能の変化と高齢者の精神・心理的变化について教科書を読んで予習する 事後学修 2.0hr：授業の内容について授業資料と教科書で復習する
10 回	授業テーマ：高齢者に多い全身疾患・障害および口腔疾患 授業内容：高齢者に多い全身疾患・障害および口腔疾患について 事前学修 2.0hr：高齢者における全身疾患の特徴と対応について教科書を読んで予習する 事後学修 2.0hr：授業の内容について授業資料と教科書で復習する
11 回	授業テーマ：高齢社に特有な口腔領域の疾患や症状 授業内容：高齢者における口腔領域の疾患の特徴と対応について 事前学修 2.0hr：高齢者における口腔領域の疾患の特徴と対応について教科書を読んで予習する 事後学修 2.0hr：授業の内容について授業資料と教科書で復習する
12 回	授業テーマ：高齢者の生活機能の把握 授業内容：高齢者の生活機能の評価について 事前学修 2.0hr：高齢者の生活機能の評価について教科書を読んで予習する 事後学修 2.0hr：授業の内容について授業資料と教科書で復習する
13 回	授業テーマ：高齢者の栄養状態と薬剤服用 授業内容：高齢者の栄養状態と薬剤服用について 事前学修 2.0hr：高齢者の栄養状態と薬剤服用について教科書を読んで予習する 事後学修 2.0hr：授業の内容について授業資料と教科書で復習する
14 回	授業テーマ：高齢者の口腔管理の評価と摂食嚥下リハビリテーション① 授業内容：高齢者の口腔管理の評価と摂食嚥下リハビリテーションについて 事前学修 2.0hr：高齢者の口腔管理の評価と摂食嚥下リハビリテーションについて教科書を読んで予習する 事後学修 2.0hr：授業の内容について授業資料と教科書で復習する
15 回	授業テーマ：高齢者の口腔管理の評価と摂食嚥下リハビリテーション② 授業内容：第 14 回から続いて、高齢者の口腔管理の評価と摂食嚥下リハビリテーションについて総括する 事前学修 2.0hr：摂食嚥下リハビリテーションについて教科書を読んで予習する 事後学修 2.0hr：授業の内容について授業資料と教科書で復習する

摂食嚥下リハビリテーション学

開講学科等：保 | 3年次 | 2単位 | 開講期：前 | 備考：科目責任者 三分一恵里

大岡 貴史 (おおおか たかふみ)・岡澤 仁志 (おかざわ まさし)・三分一 恵里 (さんぶいち えり)・進藤 彩花 (しんどう あやか)・森下 志穂 (もりした しほ)

■ 授業の概要

近年、人々が健康な生活を送るために口腔機能の重要性が注目されてきており、それに伴い歯科衛生士に求められる専門性や役割も大きく変化している。チーム医療の一員として、専門性に基づく質の高い業務を実践するために、摂食嚥下に関する解剖学的構造や摂食嚥下のメカニズム、摂食嚥下リハビリテーションの概念などの基本的な知識を身につける。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：①/③)

一般目標：歯科衛生士としての専門性を生かした関わり方について考えを深め、多職種と協働して摂食嚥下リハビリテーションを実践するための基本的知識および態度を修得する。

個別目標：①摂食嚥下に関わる解剖学的構造を説明できる。

②摂食嚥下運動のメカニズムを説明できる。

③摂食嚥下リハビリテーションに関わる他職種の役割を説明できる。

④摂食嚥下障害を引き起こす疾患やその特徴について説明できる。

⑤摂食嚥下障害の病態やその評価方法を説明できる。

■ 履修条件

2年次までの専門科目の内容を十分に理解していること。

■ 評価基準・方法

定期試験 80 %、小テストおよび授業参加姿勢 20 %の結果および到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。

また、原則として5分の4以上の出席を評価の前提条件とする。

■ フィードバック方法

小テストおよび定期テストのフィードバックは、授業や学修支援システム manaba を通して行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (グループワーク)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

「歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション 第3版」公益社団法人日本歯科衛生士会監修，医歯薬出版株式会社，2025。

■ 参考書

「嚥下障害ポケットマニュアル 第4版」聖隷嚥下チームほか執筆，医歯薬出版株式会社，2018。

歯科衛生学シリーズ「高齢者歯科学」一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会監修，医歯薬出版株式会社，2023。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：オリエンテーション、摂食嚥下機能のメカニズム(1) 授業内容：摂食嚥下に関わる器官(口腔・咽頭・喉頭領域)の解剖学的構造を説明する。 事前学修 2.0hr：口腔解剖学で学んだ内容を復習する。教科書第I編 CHAPTER4 を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、小テストに向けた学習を行う。
2 回	授業テーマ：摂食嚥下機能のメカニズム(2) 授業内容：摂食嚥下に関わる器官(口腔・咽頭・喉頭領域)の解剖学的構造や摂食嚥下に関与する筋について説明する。 事前学修 2.0hr：口腔解剖学で学んだ内容を復習する。前回の授業内容を復習する。教科書第I編 CHAPTER4 を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、小テストに向けた学習を行う。
3 回	授業テーマ：摂食嚥下機能のメカニズム(3) 授業内容：摂食嚥下の一連の動作を理解するために、摂食嚥下運動のメカニズムや生理的機能を説明する。 事前学修 2.0hr：口腔生理・機能学で学んだ内容を復習する。前回の授業内容を復習する。教科書第I編 CHAPTER4 を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、小テストに向けた学習を行う。
4 回	授業テーマ：発達期の摂食嚥下機能 授業内容：摂食嚥下機能が獲得される過程や他の運動機能の発達との関連、口腔・咽頭領域の形態成長と機能発達の関連について説明する。 事前学修 2.0hr：第1回～第3回の授業内容を復習する。教科書第I編 CHAPTER4 と p.166-178 を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、小テストに向けた学習を行う。
5 回	授業テーマ：摂食嚥下機能のメカニズム【まとめ】、摂食嚥下機能評価(スクリーニングテスト) 授業内容：摂食嚥下に関わる器官(口腔・咽頭・喉頭領域)の解剖学的構造や摂食嚥下に関与する筋、摂食嚥下運動のメカニズムや生理的機能についてまとめる。 摂食嚥下障害のスクリーニングテストの目的や評価方法を説明する。 事前学修 2.0hr：第1回～4回の授業内容を復習する。教科書第I編 CHAPTER4 と p.179-187 を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、小テストに向けた学習を行う。
6 回	授業テーマ：オーラルフレイルと口腔機能低下症 授業内容：オーラルフレイルの定義や全身に及ぼす影響、口腔機能低下症について説明する。 事前学修 2.0hr：前回までの授業内容を復習する。教科書第I編 CHAPTER5 を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、小テストに向けた学習を行う。
7 回	授業テーマ：精密検査(VE・VF) 授業内容：嚥下内視鏡検査(VE)と嚥下造影検査(VF)について説明する。 事前学修 2.0hr：前回までの授業内容を復習する。教科書 p.187-190 を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、小テストに向けた学習を行う。
8 回	授業テーマ：摂食嚥下障害に対する訓練 授業内容：摂食嚥下障害に対する訓練の目的や種類、方法について説明する。 事前学修 2.0hr：前回までの授業内容を復習する。教科書 p.191-220 を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、小テストに向けた学習を行う。
9 回	授業テーマ：摂食嚥下障害に対する食事指導 授業内容：嚥下調整食やとろみ調整食品の定義および必要な条件について説明する。 摂食嚥下機能や全身状態に合わせた適切な食事介助方法について説明する。 事前学修 2.0hr：前回までの授業内容を復習する。教科書 p.221-234 を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、小テストに向けた学習を行う。

10 回	<p>授業テーマ：病態別摂食嚥下障害(1)認知症 授業内容：摂食嚥下障害を引き起こす疾患(認知症)やその疾患の特徴、それぞれの疾患を有する者への注意点等を説明する。 事前学修 2.0hr：前回までの授業内容を復習する。教科書 p.137-139 を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、小テストに向けた学習を行う。</p>
11 回	<p>授業テーマ：鼻腔・咽頭吸引 授業内容：吸引行為に関する解剖学・生理学を説明する。 事前学修 2.0hr：前回までの授業内容を復習する。教科書 p.153-165 を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、小テストに向けた学習を行う。</p>
12 回	<p>授業テーマ：病態別摂食嚥下障害(2)脳卒中・高次脳機能障害 授業内容：摂食嚥下障害を引き起こす疾患(脳卒中・高次脳機能障害)やその疾患の特徴、それぞれの疾患を有する者への注意点等を説明する。 事前学修 2.0hr：前回までの授業内容を復習する。教科書 p.127-132 を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、小テストに向けた学習を行う。</p>
13 回	<p>授業テーマ：摂食嚥下障害患者の口腔衛生管理 授業内容：摂食嚥下障害患者の口腔衛生管理を実施するための方法(アセスメント・姿勢調整方法・実施時の注意点等)を説明する。 事前学修 2.0hr：前回までの授業内容を復習する。教科書第Ⅱ編 CHAPTER3 を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、小テストに向けた学習を行う。</p>
14 回	<p>授業テーマ：病態別摂食嚥下障害(3)神経筋疾患・口腔癌 授業内容：摂食嚥下障害を引き起こす疾患(神経筋疾患・口腔癌)やその疾患の特徴、それぞれの疾患を有する者への注意点等を説明する。 事前学修 2.0hr：前回までの授業内容を復習する。教科書 p.132-137, 256-262 を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、小テストに向けた学習を行う。</p>
15 回	<p>授業テーマ：摂食嚥下リハビリテーションの実際 授業内容：第1回～14回までの内容を踏まえて、摂食嚥下リハビリテーションにおける歯科衛生士の役割やその実際を学ぶ。 事前学修 2.0hr：これまでの授業内容を復習する。教科書第Ⅱ編 CHAPTER4 を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内で提示した課題を行う。</p>

歯科医療安全実習

開講学科等：保 | 1 年次 | 1 単位 | 開講期：後 | 備考：科目責任者 星合愛子

田中 美咲 (たなか みさき)・礪波 健一 (とらみ けんいち)・星合 愛子 (ほしあい あいこ)

■ 授業の概要

安全な歯科医療を提供するために必要な歯科医療安全管理の基本的知識と技術を学ぶ。
歯科衛生士の業務と医療安全における歯科衛生士の法的責任を学ぶ。
医療事故時の対応と自動体外式除細動器(AED)の取り扱いを実習する。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：①/⑤)

一般目標：専門的な歯科診療補助のために必要な基礎的知識、技術および態度を習得する。

個別目標：① 歯科衛生士の法的位置づけを説明できる。

- ② 歯科衛生士が行う歯科診療の補助を説明できる。
- ③ 歯科医療における医療安全と対策を説明できる。
- ④ 医療の安全管理の体制を説明できる。
- ⑤ 歯科医療における感染症の概念とその対策を説明できる。
- ⑥ スタンダードプリコーションを具体的に説明できる。
- ⑦ 手指衛生やグローブの着脱が実施できる。
- ⑧ 滅菌と消毒の定義が説明できる。
- ⑨ 滅菌、消毒、洗浄の方法について説明できる。
- ⑩ 消毒薬の特徴と用途について説明できる。
- ⑪ 歯科用器材に応じた滅菌、消毒、洗浄を実施できる。
- ⑫ 自動体外式除細動器(AED)の取り扱いができる。

■ 履修条件

1 年前期までの基礎分野・専門基礎分野の学修内容を整理・復習して授業に臨むこと。

■ 評価基準・方法

実技評価 50 %、課題 30 %、学修内容振り返りシート 10%、授業への取り組み姿勢及び発言等(提出物含む) 10 %の結果及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。

また、原則として 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

■ フィードバック方法

課題(小テスト・レポート)および定期試験のフィードバックは、授業および学修支援システム manaba を通して行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (PBL チュートリアル)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

全国歯科衛生士教育協議会 監修「歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論第 2 版」医歯薬出版株式会社

■ 参考書

必要に応じて授業の中で紹介する。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外(事前・事後)の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：オリエンテーション／歯科診療補助の概念／医療人としての心構えと身だしなみ 授業内容：歯科医療安全実習の履修についてオリエンテーションを行う。 以下の内容について講義した後、授業テーマについてディスカッションを行う。 ① 歯科診療補助の概要 ② 医療人としての心構えと身だしなみ 事前学修 1.0hr：教科書「歯科診療補助論」1 章 歯科診療補助の概要とはを読み、事前に復習する。 事後学修 1.0hr：医療人としての心構えと身だしなみについてポートフォリオのための資料を作成する。
2 回	授業テーマ：歯科臨床概論(1)／歯科診療における基礎知識 授業内容：以下の内容について講義した後、授業テーマについてグループワークを行う。 ① ライフステージと歯科診療 ② 主な歯科診療の流れ ③ 歯科診療室の環境と設備 事前学修 1.0hr：教科書「歯科診療補助論」3 章 歯科診療における基礎知識を読み、事前に復習する。 事後学修 1.0hr：主な歯科診療の流れについてポートフォリオのための資料を作成する。
3 回	授業テーマ：歯科臨床概論(2)／歯科臨床における歯科衛生士の役割 授業内容：以下の内容について講義した後、授業テーマについてグループワークを行う。 ① ライフステージと歯科診療 ② 主な歯科診療の流れ 事前学修 1.0hr：教科書「歯科診療補助論」3 章 歯科診療における基礎知識を読み、事前に復習する。 事後学修 1.0hr：主な歯科診療の流れについてポートフォリオのための資料を作成する。
4 回	授業テーマ：歯科診療所における患者対応の基本 授業内容：以下の内容について講義した後、授業テーマについてグループワークを行う。 ① 歯科診療所における患者対応 ② 特別な配慮が必要な患者対応 事前学修 1.0hr：教科書「歯科診療補助論」3 章 歯科診療における基礎知識を読み、事前に復習する。 事後学修 1.0hr：歯科診療所における患者対応の基本についてポートフォリオのための資料を作成する。
5 回	授業テーマ：医療安全 授業内容：以下の内容について講義した後、授業テーマについてグループワークを行う。 ① 医療安全 ② 歯科診療における医療安全と対策 事前学修 1.0hr：教科書「歯科診療補助論」2 章 医療安全と感染予防、事前に復習する。 事後学修 1.0hr：医療安全についてポートフォリオのための資料を作成する。

6 回	授業テーマ：感染予防対策 授業内容：以下の内容について講義した後、授業テーマについてグループワークを行う。 ①歯科医療における感染症の概念 ②歯科医療における感染予防対策 事前学修 1.0hr：教科書「歯科診療補助論」2章 医療安全と感染予防、事前に復習する。 事後学修 1.0hr：感染予防対策についてポートフォリオのための資料を作成する。
7 回	授業テーマ：滅菌と消毒／手指衛生実習 授業内容：以下の内容について演習した後、授業テーマについてグループワークを行う。 ①滅菌・消毒 ②手指衛生 事前学修 1.0hr：教科書「歯科診療補助論」2章 医療安全と感染予防、事前に復習する。 事後学修 1.0hr：滅菌と消毒についてポートフォリオのための資料を作成する。
8 回	授業テーマ：病院見学実習 授業内容：以下の内容について講義した後、授業テーマについてグループワークを行う。 ①病院見学実習(1)の目的 ②病院見学実習(1)の意義 事前学修 1.0hr：事前配布資料(病院見学実習)について事前に学習する。 事後学修 1.0hr：病院見学実習についてポートフォリオのための資料を作成する。
9 回	授業テーマ：病院見学実習振り返り／滅菌・消毒法 授業内容：以下の内容について講義した後、授業テーマについてグループワークを行う。 ①病院見学実習(1)振り返り ②滅菌・消毒法 事前学修 1.0hr：教科書「歯科診療補助論」2章 医療安全と感染予防、事前に復習する。 事後学修 1.0hr：滅菌・消毒法についてポートフォリオのための資料を作成する。
10 回	授業テーマ：実技試験(手指衛生・感染予防対策) 授業内容：以下の内容について演習した後、実技試験を行う。 ①手指衛生 ②感染予防対策 事前学修 1.0hr：教科書「歯科診療補助論」2章 医療安全と感染予防、事前に復習する。 事後学修 1.0hr：手指衛生・感染予防対策についてポートフォリオのための資料を作成する。
11 回	授業テーマ：企業見学実習 授業内容：以下の内容について講義した後、授業テーマについてディスカッションを行う。 ①企業見学実習の目的 ②企業見学実習の意義 事前学修 1.0hr：事前配布資料(企業見学実習)について事前に学習する。 事後学修 1.0hr：企業見学についてポートフォリオのための資料を作成する。
12 回	授業テーマ：ノンテクニカルスキル：コミュニケーション 授業内容：以下の内容について講義した後、授業テーマについてグループワークを行う。 ①プロフェッショナリズム ②予防歯科クラウドサービス デカゴン 事前学修 1.0hr：配布資料(予防歯科クラウドサービス デカゴン)について事前に学習する。 事後学修 1.0hr：コミュニケーションについてポートフォリオのための資料を作成する。
13 回	授業テーマ：ノンテクニカルスキル：法律・倫理の理解 授業内容：以下の内容について講義した後、授業テーマについてグループワークを行う。 ①法律・倫理 事前学修 1.0hr：教科書「歯科診療補助論」1章 歯科診療補助の概要とはを読み、事前に復習する。 事後学修 1.0hr：法律・倫理の理解についてポートフォリオのための資料を作成する。
14 回	授業テーマ：ノンテクニカルスキル：安全管理 授業内容：以下の内容について講義した後、授業テーマについてグループワークを行う。 ①インシデント・アクシデント報告 ②危険予知訓練 事前学修 1.0hr：教科書「歯科診療補助論」I編 2章 医療安全と感染予防について事前に学習する。 事後学修 1.0hr：安全管理についてポートフォリオのための資料を作成する。
15 回	授業テーマ：救急処置 授業内容：以下の内容について講義した後、授業テーマについてグループワークを行う。 ①偶発事故や緊急時の対応 ②自動体外式除細動器(AED)の取り扱い 事前学修 1.0hr：教科書「歯科診療補助論」I編 2章 医療安全と感染予防について事前に学習する。 事後学修 1.0hr：救急処置についてポートフォリオのための資料を作成する。

基礎歯科予防処置論

開講学科等：保 | 2 年次 | 2 単位 | 開講期：前

石川 由美 (いしかわ ゆみ)

■ 授業の概要

口腔の 2 大疾患である歯周病・う蝕を予防し、歯・口腔の健康を維持増進するために、歯科予防処置の基礎知識を修得する。歯科衛生士法に基づく歯科予防処置の基本的概念を理解し、歯周疾患およびう蝕予防に必要な基礎知識と評価能力を修得する。特に、歯・歯周組織の検査法、診査・評価、スケーリング・ルートプレーニング(SRP)の基礎理論と基本操作の理解を重視する。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：①/②)

一般目標：口腔疾患の予防と、歯と口腔の健康の維持・増進のために、う蝕と歯周病の病因・病態を理解し、歯科予防処置法の基本的な知識・技能・態度を修得する。

個別目標：①歯科予防処置の概要について説明できる。

②口腔の健康像と病的変化について説明できる。

③歯周病とう蝕の病因と病態について説明できる。

④歯・歯周組織の各検査法について説明できる。

⑤手用スケーラーの基本操作について説明できる。

⑥う蝕活動性試験の種類・特徴を説明できる。

⑦症例から口腔の健康状態やリスクを評価し予防計画を立案できる。

■ 履修条件

本科目に関連する 1 年次までの基礎分野・専門基礎分野の学修内容を整理・復習して授業に臨むこと。全て出席することを原則とし、忘れ物がないように留意すること。

■ 評価基準・方法

全 15 回のうち 5 分の 4 以上の出席を成績評価の前提条件とする。

成績は、定期試験(80%)および学習態度(小テスト、課題提出状況、授業への取り組み状況)(20%)の結果に基づき、到達目標の達成度を総合的に評価する。

■ フィードバック方法

出題された課題についてのフィードバックは、学修支援システムの manaba や授業を通じて行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (予防計画立案ミニワークなど)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会 監修 歯科衛生学シリーズ「歯科予防処置論・歯科保健指導論」医歯薬出版株式会社

■ 参考書

①中垣晴男 他著「歯科衛生士のための齲蝕予防処置法 第 2 版」医歯薬出版株式会社

②全国歯科衛生士教育協議会 監修 歯科衛生学シリーズ「歯周病学」医歯薬出版株式会社

③全国歯科衛生士教育協議会 監修 歯科衛生学シリーズ「保健生態学」医歯薬出版株式会社 など

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：歯科予防処置の概要 授業内容：・歯科予防処置の定義、歯科予防処置の法的な位置づけ、歯科予防処置の内容、予防の概念 事前学修 2.0hr：「歯科予防処置論・歯科保健指導論」Ⅰ・Ⅱ編 歯科予防処置の概要について教科書を学修しておく。 事後学修 2.0hr：学修内容を振り返り、まとめを作成する。
2 回	授業テーマ：対象者の把握および歯・口腔の健康状態の把握 授業内容：情報収集の手段、口腔の構造と機能、健康と病的な口腔状態の比較、歯・口腔の沈着物、口腔内診査の基本視点 事前学修 2.0hr：「歯科予防処置論・歯科保健指導論」Ⅱ編 1 章 口腔の基礎知識、2 章 う蝕と歯周病の基礎知識、Ⅲ編 2 章⑥口腔の基質的問題の把握の概要について学修しておく。 事後学修 2.0hr：学修内容を振り返り、まとめを作成する。
3 回	授業テーマ：歯周病予防処置の基礎知識 授業内容：歯周病の定義および分類、歯肉炎と歯周炎の臨床的特徴、歯周病の原因、歯周病と全身疾患への影響 事前学修 2.0hr：「歯科予防処置論・歯科保健指導論」Ⅱ編 2 章③歯周病の概要について学修しておく。 事後学修 2.0hr：学修内容を振り返り、まとめを作成する。
4 回	授業テーマ：歯・歯周組織の検査① PD・BOP・GBI・根分岐部病変・動揺度 授業内容：口腔診査用器具の名称・用途・操作方法、口腔内の検査項目、歯科衛生介入に関連する検査方法、歯周ポケット検査の目的、プロービング深さ (probing depth) の手技など 事前学修 2.0hr：「歯科予防処置論・歯科保健指導論」Ⅲ編 2 章 ⑥口腔の基質的問題の把握の概要より、歯・歯周組織の検査に関して学修しておく。 事後学修 2.0hr：学修内容を振り返り、まとめを作成する。
5 回	授業テーマ：歯・歯周組織の検査② 付着物・沈着物の評価、歯・修復物などの診査、ポジショニングの基礎 授業内容：付着物・沈着物の評価、歯・修復物などの診査、エクスプローラーの操作方法、ポジショニング 口腔内のアセスメントのためのデータ (口腔衛生状態の指数、歯周疾患の指数、う蝕指数) 事前学修 2.0hr：「歯科予防処置論・歯科保健指導論」Ⅲ編 2 章 歯周病の評価・歯垢・歯石の評価について学修しておく。 事後学修 2.0hr：学修内容を振り返り、まとめを作成する。
6 回	授業テーマ：歯・歯周組織の検査③ 口腔内写真・X 線写真 授業内容：歯科予防処置における口腔内写真の意義、口腔内写真から得られる情報、エックス線写真から読み取る情報 事前学修 2.0hr：「歯科予防処置論・歯科保健指導論」Ⅲ編 2 章 口腔内写真・X 線写真について学修しておく。 事後学修 2.0hr：学修内容を振り返り、まとめを作成する。
7 回	授業テーマ：スケーリング・ルートプレーニング① 使用機器・器具の種類と特徴 (インスツルメントの基礎知識) 授業内容：スケーラーの種類と使用目的、手用スケーラーの構成、手用スケーラーの基本操作、ポジショニング、器具選択の考え方 事前学修 2.0hr：「歯科予防処置論・歯科保健指導論」Ⅲ編 3 章 スケーリング・ルートプレーニングのインスツルメントについて学修しておく。 事後学修 2.0hr：学修内容を振り返り、まとめを作成する。
8 回	授業テーマ：スケーリング・ルートプレーニング② シックルスケーラーの操作方法 授業内容：操作部位別：ポジショニング、ミラーの使用法、シックルスケーラーの選択、操作方法 事前学修 2.0hr：「歯科予防処置論・歯科保健指導論」Ⅲ編 3 章 ミラーおよびスケーラー操作とポジショニングについて学修しておく。 事後学修 2.0hr：学修内容を振り返り、まとめを作成する。

9 回	<p>授業テーマ：スケーリング・ルートプレーニング③ グレーシータイプキュレットスケーラーの操作方法 授業内容：操作部位別：ポジショニング、ミラーの使用法、グレーシータイプスケーラーの選択、操作方法 事前学修 2.0hr：「歯科予防処置論・歯科保健指導論」Ⅲ編 3章 ミラーおよびスケーラー操作とポジショニングについて学修しておく。 事後学修 2.0hr：学修内容を振り返り、まとめを作成する。</p>
10 回	<p>授業テーマ：スケーリング・ルートプレーニング④ 分岐部への対応、シャープニングの基礎知識 授業内容：分岐部のスケーラー操作、の考え方、器具の選択、操作方法 シャープニングの目的、刃部形態の理解、砥石の種類と管理方法、使用器材、鋭利度の確認方法、シャープニング方法 事前学修 2.0hr：「歯科予防処置論・歯科保健指導論」Ⅲ編 3章 部位別の操作・ポジショニング、シャープニングについて学修しておく。 事後学修 2.0hr：学修内容を振り返り、まとめを作成する。</p>
11 回	<p>授業テーマ：う蝕予防処置の基礎知識 授業内容：う蝕の定義、う蝕の分類、う蝕の原因、乳歯と永久歯の違い 事前学修 2.0hr：「歯科予防処置論・歯科保健指導論」Ⅱ編 2章 う蝕について学修しておく。 事後学修 2.0hr：学修内容を振り返り、まとめを作成する。</p>
12 回	<p>授業テーマ：う蝕予防処置の概要 授業内容：う蝕予防処置の種類、う蝕の発生要因に応じた予防方法、う蝕予防処置のエビデンスレベル 事前学修 2.0hr：「歯科予防処置論・歯科保健指導論」Ⅰ編 1章 う蝕予防処置法の概要について学修しておく。 事後学修 2.0hr：学修内容を振り返り、まとめを作成する。</p>
13 回	<p>授業テーマ：う蝕活動性試験の基礎知識 授業内容：う蝕活動性試験とは何か、う蝕活動性試験の具備すべき条件、う蝕活動性試験の使用目的、う蝕発病因子の評価方法の種類と特徴、う蝕活動性試験の種類 事前学修 2.0hr：「歯科予防処置論・歯科保健指導論」Ⅲ編 2章 う蝕活動性試験について学修しておく。 事後学修 2.0hr：学修内容を振り返り、まとめを作成する。</p>
14 回	<p>授業テーマ：う蝕予防のための評価と計画① 授業内容：症例検討、患者情報収集、う蝕活動性試験の結果を含んだう蝕リスクのassessment、リスクassessmentに基づいた予防計画の立案 事前学修 2.0hr：事前に配布する資料 う蝕予防のための情報収集・assessment・計画立案について学修しておく。 事後学修 2.0hr：う蝕予防のためのリスク評価と介入計画を立案する。</p>
15 回	<p>授業テーマ：う蝕予防のための評価と計画② 授業内容：歯科衛生過程に基づいて、症例検討を行い、歯科衛生介入計画を立案する。 事前学修 2.0hr：第 14 回に続き、う蝕予防のための情報収集・assessment・計画立案について学修しておく。 事後学修 2.0hr：レポートをまとめ提出する。</p>

応用歯科予防処置論

開講学科等：保 | 2 年次 | 2 単位 | 開講期：後

石川 由美 (いしかわ ゆみ)

■ 授業の概要

口腔疾患と全身的なリスク要因との関連性を理解し、宿主・病因・環境の相互関係性を論理的に理解する。

歯科予防処置としてのフッ化物応用法や Scaling and Root Planing(SRP)、メインテナンスおよび Supportive Periodontal Therapy(SPT) 等の歯科衛生介入に必要な知識を修得するとともに、歯科予防処置の臨床応用力を養う。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：①/②)

一般目標：口腔疾患と全身的なリスク要因との関連性を理解し、リスク評価の考え方について修得する。また、対象者ごとの予防計画や、メインテナンスおよび Supportive Periodontal Therapy(SPT) までの長期的な介入計画と実践のための知識・態度を修得する。

個別目標：①パワースケーラーの原理と特徴を説明できる。

②歯面清掃・歯面研磨の器材の特徴や基本操作について説明できる。

③フッ化物応用法の種類、特徴、手順、指導事項について説明できる。

④シーラントの適応と手順について説明できる。

⑤根面う蝕および知覚過敏への対応を説明できる。

⑥口腔疾患と全身的なリスク要因との関連性を理解し、アセスメントできる。

⑦患者ごとの予防計画やメインテナンスの介入計画を立案できる。

■ 履修条件

基礎歯科予防処置論・基礎歯科予防処置実習で学修したことがベースとなるため、学修した内容を整理し、理解して臨むこと。

全て出席することを原則とし、忘れ物がないように留意すること。

■ 評価基準・方法

全 15 回のうち 5 分の 4 以上の出席を成績評価の前提条件とする。

成績は、定期試験 (80 %) および学習態度 (小テスト、課題提出状況、授業への取り組み状況) (20 %) の結果に基づき、到達目標の達成度を総合的に評価する。

■ フィードバック方法

出題された課題についてのフィードバックは、学修支援システムの manaba や授業を通じて行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (症例ベースディスカッション・予防計画立案演習・フッ化物応用比較検討・インプラント症例分析)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会 監修 歯科衛生学シリーズ「歯科予防処置論・歯科保健指導論」医歯薬出版株式会社

■ 参考書

①中垣晴男 他著「歯科衛生士のための齲蝕予防処置法第 2 版」医歯薬出版株式会社

②全国歯科衛生士教育協議会 監修 歯科衛生学シリーズ「歯周病学」医歯薬出版株式会社

③全国歯科衛生士教育協議会 監修 歯科衛生学シリーズ「保健生態学」医歯薬出版株式会社

④全国歯科衛生士教育協議会 監修 歯科衛生学シリーズ「歯科補綴学」(一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会)医歯薬出版

⑤全国歯科衛生士教育協議会 監修 歯科衛生学シリーズ「保存修復学・歯内療法学」(一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会)医歯薬出版

⑥日本歯周病学会「歯周病患者における口腔インプラント治療指針およびエビデンス 2018」

https://www.perio.jp/publication/upload.file/guideline_perio_implant_2018.pdf

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：パワースケーラー(超音波スケラー・エアスケラー) 授業内容：超音波スケラー・エアスケラーの特徴 (利点・欠点)、適応・禁忌、超音波スケラー・エアスケラー使用時の注意事項 事前学修 2.0hr：「歯科予防処置論・歯科保健指導論」Ⅲ編 3 章 超音波スケラー・エアスケラーの種類と特徴について学修しておく。 事後学修 2.0hr：学修内容を振り返り、まとめを作成する。
2 回	授業テーマ：歯面研磨・歯面清掃の基礎知識① 授業内容：歯面研磨の目的、歯面研磨の使用器材と操作方法、歯面研磨時の注意事項、PTC・PMTC 事前学修 2.0hr：「歯科予防処置論・歯科保健指導論」Ⅲ編 3 章 歯面清掃・歯面研磨の機器・器具の種類と特徴について学修しておく。 事後学修 2.0hr：学修内容を振り返り、まとめを作成する。
3 回	授業テーマ：歯面研磨・歯面清掃の基礎知識② 授業内容：歯面清掃剤の種類・特徴・適応・禁忌、歯面清掃剤の種類、目的に応じた選択、歯面清掃剤の操作方法、歯面清掃剤使用時の注意事項 事前学修 2.0hr：「歯科予防処置論・歯科保健指導論」Ⅲ編 3 章 歯面清掃・歯面研磨の機器・器具の種類と特徴について学修しておく。 事後学修 2.0hr：学修内容を振り返り、まとめを作成する。
4 回	授業テーマ：う蝕予防処置法 フッ化物応用法① 基礎知識 授業内容：フッ化物応用法の種類とフッ化物イオン濃度、フッ化物の毒性と急性中毒への対応 事前学修 2.0hr：「歯科予防処置論・歯科保健指導論」Ⅲ編 3 章 フッ化物応用法について学修しておく。 事後学修 2.0hr：学修内容を振り返り、まとめを作成する。
5 回	授業テーマ：う蝕予防処置法 フッ化物応用法② フッ化物歯面塗布法 授業内容：フッ化物歯面塗布法の種類、対象者・対象歯牙、使用されるフッ化物の種類とフッ化物イオン濃度、術式、フッ化物歯面塗布後の指導、フッ化物溶液取り扱い上の注意事項 事前学修 2.0hr：「歯科予防処置論・歯科保健指導論」Ⅲ編 3 章 フッ化物歯面塗布法について学修しておく。 事後学修 2.0hr：学修内容を振り返り、まとめを作成する。
6 回	授業テーマ：う蝕予防処置法 フッ化物応用法③ フッ化物洗口法・フッ化物配合歯磨剤 授業内容：フッ化物洗口法の種類、対象者・対象歯牙、使用されるフッ化物の成分・濃度・使用量、術式、フッ化物洗口後の指導 フッ化物配合歯磨剤の効果的な使い方、指導事項 事前学修 2.0hr：「歯科予防処置論・歯科保健指導論」Ⅲ編 3 章 フッ化物洗口法・フッ化物配合歯磨剤の応用法について学修しておく。 事後学修 2.0hr：学修内容を振り返り、まとめを作成する。
7 回	授業テーマ：う蝕予防処置法：小窩裂溝填塞法 授業内容：目的と特徴、適応、術式、填塞材料の特性(レジン系材料とセメント系材料)、処置後の指導 事前学修 2.0hr：「歯科予防処置論・歯科保健指導論」Ⅲ編 3 章 小窩裂溝填塞法について学修しておく。 事後学修 2.0hr：学修内容を振り返り、まとめを作成する。

8 回	<p>授業テーマ：歯科予防処置における根面う蝕予防・象牙質知覚過敏・疼痛管理への対応 授業内容：根面う蝕の病態と予防処置、象牙質知覚過敏機序と知覚過敏処置 スケーリングにおける疼痛管理方法 事前学修 2.0hr：「保存修復学・歯内療法学」Ⅲ編 歯内療法 1 章(2)象牙質知覚過敏症について学修しておく。 事後学修 2.0hr：学修内容を振り返り、まとめを作成する。</p>
9 回	<p>授業テーマ：歯周病予防計画・長期管理(メインテナンス・SPT)基礎知識 授業内容：歯周治療の流れと予防処置の位置づけ、メインテナンスと SPT の定義と違い、再発リスク評価の考え方、リコール間隔の設定根拠、長期管理における歯科衛生士の役割、エビデンスに基づく支持療法の重要性 事前学修 2.0hr：「歯周病学」歯周基本治療の流れについて学修しておく。 事後学修 2.0hr：学修内容を振り返り、まとめを作成する。</p>
10 回	<p>授業テーマ：歯周病予防計画・症例検討①(初診～ SPT への移行) 授業内容：初診時情報の読み取り(PD・BOP・X 線)、問題点抽出、リスク評価、初期治療計画立案、SPT 移行の判断基準、症例ディスカッション 事前学修 2.0hr：提示症例資料を読み、問題点を整理する 事後学修 2.0hr：学修内容を振り返り、まとめを作成する。</p>
11 回	<p>授業テーマ：歯周病予防計画・症例検討② インプラント治療後のメインテナンス 授業内容：インプラント周囲組織の解剖学的特徴、インプラント症例における評価、使用器材、インプラント治療後のメインテナンス、症例検討 事前学修 2.0hr：教科書「歯科補綴学」のインプラント治療の流れ、メインテナンスについて学修しておく。 事後学修 2.0hr：天然歯との管理の違いを比較整理する。学修内容を振り返り、まとめを作成する。</p>
12 回	<p>授業テーマ：歯周病予防計画・症例検討③ インプラント周囲炎への対応 授業内容：・インプラント周囲疾患の定義、原因、治療法・予防法 ・累積的防御療法(CIST)における歯科衛生士の対応 事前学修 2.0hr：日本歯周病学会「歯周病患者における口腔インプラント治療指針およびエビデンス」から該当する頁を読んで予習する 事後学修 2.0hr：学修内容を振り返り、まとめを作成する。</p>
13 回	<p>授業テーマ：特別な配慮を有する患者の口腔衛生管理 授業内容：有病者、妊産婦、高齢者、障害児・者など、特定の口腔や全身状態を有する患者のアセスメント、歯科衛生介入 事前学修 2.0hr：特別な配慮を有する対象者の口腔の特徴や指導管理について該当する科目の教科書にて学修しておく。 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを記入する。</p>
14 回	<p>授業テーマ：歯科予防処置論の臨床的総括 授業内容：これまで学修した基礎歯科予防処置論・応用歯科予防処置論のまとめを行う。 事前学修 2.0hr：これまでの基礎歯科予防処置論・応用歯科予防処置論の授業資料を復習しておく。 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを記入する。</p>
15 回	<p>授業テーマ：特別講義—歯周病治療における歯科衛生士の役割— 授業内容：歯周病治療における歯科衛生士の役割についての講義を行う。 この講義をとおして、歯周病治療への理解と歯科衛生士の役割についての理解を深め、臨床での歯科衛生実践に生かせるよう知識を深める。 事前学修 2.0hr：歯周病治療学や口腔衛生学で得た知識、基礎歯科予防処置論・応用歯科予防処置論で得た知識を整理しておくこと。 事後学修 2.0hr：講義を受けて身につけた知識を、どのように臨床に生かせるかを考察し、課題を提出する。</p>

基礎歯科予防処置実習

開講学科等：保 | 2 年次 | 1 単位 | 開講期：前 | 備考：科目責任者 虎谷 斉子

高澤 維月 (たかざわ いつき)・虎谷 斉子 (とらや せいこ)

■ 授業の概要

マニキンを使用した基礎実習を中心に、対象者の口腔内診査や検査の方法を習得する。
また、手用スケーラーの操作を中心に、安全に配慮した歯周病予防処置を実施するための基本的な知識・技術・態度を習得する。
う蝕予防処置では、数種類のう蝕活動性試験の実習を通して、う蝕のリスク評価と介入計画の考え方を習得する。
実習ごとに自己評価と教員による実技評価を行う。その結果をふまえ、各自で技術の確認と振り返りを随時行うこと。
なお、本講座は、歯科医師及び歯科衛生士の資格を有する教員が担当する。

【授業方法】実習

【実務家教員と当該授業科目との関連性】

歯科医師及び歯科衛生士がこれまでの実務経験を活かし、歯科予防処置の実践的な知識を与える。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：①/②/⑤)

一般目標：口腔の健康像と病的变化を把握し、口腔内診査の基本的な手技を習得する。
また、安全に配慮した歯周病予防処置を実施するための基本的な知識・技術・態度を習得する。
う蝕活動性試験を通して、患者ごとのリスク評価と介入計画を立てるための基本的な知識・技術・態度を習得する。
個別目標：①口腔内診査の基本的な手技ができる。
②マニキン模型上で手用スケーラーの基本操作ができる。
③う蝕活動性試験を実施し、結果からリスク評価と介入計画立案ができる。

■ 履修条件

事前学修をしてから実習に臨むこと。

授業開始前に身だしなみを整え、授業に臨むこと。全て出席することを原則とし、忘れ物がないように留意すること。

■ 評価基準・方法

実技評価 (60%)、レポート・提出物 (20%)、身だしなみ・忘れ物を含む授業への取組態度及び発言等 (20%) を評価対象とする。
到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。

■ フィードバック方法

出題された課題についてのフィードバックは、学修支援システムの manaba や授業を通じて行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (あり (う蝕の病因論・う蝕活動性試験の結果をふまえ、症例 (ペーパーペーシェント) のリスク評価と介入計画を検討する。))

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会 監修 歯科衛生学シリーズ「歯科予防処置論・歯科保健指導論」医歯薬出版株式会社

■ 参考書

中垣晴男 他著「歯科衛生士のための齶蝕予防処置法 第2版」医歯薬出版株式会社

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：基礎実習・相互実習オリエンテーション (実習での注意事項、授業の進め方、器材確認) 授業内容：「基礎実習室オリエンテーション」の冊子に沿って、実習での注意事項、授業の進め方、器材確認についてのオリエンテーションを行う。基礎実習室を使用するための安全への心構え、身だしなみについて理解する。 事前学修 1.0hr：「歯科予防処置論・歯科保健指導論」Ⅰ編 2 章を学修しておく。 事後学修 1.0hr：実習台の取り扱いや使用器材、および実習室使用にあたっての注意事項を復習しておく。
2 回	授業テーマ：口腔内診査のための基本操作 (ポジショニング、探針、ミラー、パキューム操作) 授業内容：口腔内診査時の基本操作について、以下のマニキン実習を行う。 ・処置部位に応じたポジショニング (患者ポジショニング・術者ポジショニング) ・エキスプローリング ・ミラーテクニック ・パキュームテクニック 事前学修 1.0hr：「歯科予防処置論・歯科保健指導論」Ⅲ編 2 章・3 章 ポジショニング、探針、ミラー、パキュームの各操作について学修しておく。 事後学修 1.0hr：評価表に基づき自己評価し、ポジショニング、探針、ミラー、パキュームの各操作について復習しておく。
3 回	授業テーマ：プロービングの基本操作①机上操作 授業内容：第 3-4 回を通して、以下の項目を机上操作から顎模型・マニキン操作へ段階を経て到達できるようにする。 ・歯周ポケットの理解 ・プローブの把持と第 4 指による固定 ・机上でのウォーキングストローク ・顎模型上でのプローブの把持と挿入 ・適正なプロービング圧 ・顎模型上でのウォーキングストローク ・数値の読み取り ・6 点法による記録 事前学修 1.0hr：「歯科予防処置論・歯科保健指導論」Ⅲ編 2 章 プロービングの目的、種類、把持法、基本操作について学修しておく。 事後学修 1.0hr：評価表に基づき自己評価し、プロービングの目的、種類、把持法、基本操作について復習しておくこと。
4 回	授業テーマ：プロービングの基本操作②マニキン操作 授業内容：第 3-4 回を通して、以下の項目を机上操作から顎模型・マニキン操作へ段階を経て到達できるようにする。 ・マニキンでのプロービング操作 (把持・固定・挿入・ウォーキングストローク・プロービング圧) ・数値の読み取り ・6 点法による記録 事前学修 1.0hr：前回学修した把持法、基本操作に基づいて、顎模型上で練習しておくこと。 事後学修 1.0hr：評価表に基づき自己評価し、プロービングの目的、種類、把持法、基本操作について復習しておくこと。

5 回	<p>授業テーマ：手用スケーラーの基本操作(種類、把持法、操作) 授業内容：シッケルタイプスケーラーの基本操作を習得するために、以下のマニキン実習を行う。 ・術者および患者の基本姿勢・ポジショニング ・手用スケーラーの把持法と第4指固定 ・手用スケーラーの運動(前腕回転運動・手根関節運動・手指屈伸運動) ・ストローク 事前学修 1.0hr：「歯科予防処置論・歯科保健指導論」Ⅲ編3章 スケーラーの種類、把持法、基本操作について学修しておく。 事後学修 1.0hr：評価表に基づき自己評価し、手用スケーラーの基本操作(種類、把持法、操作)について復習しておくこと。</p>
6 回	<p>授業テーマ：シッケルタイプスケーラーによるスケーリング①前歯部 授業内容：上下顎前歯部のシッケルタイプスケーラーの基本操作を習得するために、以下のマニキン実習を行う。 ・術者および患者の基本姿勢・ポジショニング ・手用スケーラーの把持法と第4指固定 ・手用スケーラーの運動(前腕回転運動) ・ストローク 事前学修 1.0hr：上下顎前歯部実施時のポジショニング、使用スケーラー、把持法、基本操作について学修しておく。 事後学修 1.0hr：評価項目に沿って自己評価し、提出すること。授業中に受けた評価に基づき、練習しておくこと。</p>
7 回	<p>授業テーマ：シッケルタイプスケーラーによるスケーリング②下顎臼歯部 授業内容：下顎臼歯部のシッケルタイプスケーラーの基本操作を習得するために、以下のマニキン実習を行う。 ・術者および患者の基本姿勢・ポジショニング ・手用スケーラーの把持法と第4指固定 ・手用スケーラーの運動(前腕回転運動) ・ストローク 事前学修 1.0hr：下顎臼歯部実施時のポジショニング、使用スケーラー、把持法、基本操作について学修しておく。 事後学修 1.0hr：評価項目に沿って自己評価し、提出すること。授業中に受けた評価に基づき、練習しておくこと。</p>
8 回	<p>授業テーマ：シッケルタイプスケーラーによるスケーリング③上顎臼歯部 授業内容：上顎臼歯部のシッケルタイプスケーラーの基本操作を習得するために、以下のマニキン実習を行う。 ・術者および患者の基本姿勢・ポジショニング ・手用スケーラーの把持法と第4指固定 ・手用スケーラーの運動(前腕回転運動) ・ストローク 事前学修 1.0hr：上顎臼歯部実施時のポジショニング、使用スケーラー、把持法、基本操作について学修しておく。 事後学修 1.0hr：評価項目に沿って自己評価し、提出すること。授業中に受けた評価に基づき、練習しておくこと。</p>
9 回	<p>授業テーマ：手用スケーラーの基本操作 把持法、操作、スケーラーの運動(3種類)の実技評価 授業内容：シッケルタイプスケーラーの基本操作を習得するために、以下の項目の実技評価を行う。 ・術者の基本姿勢・ポジショニング ・手用スケーラーの把持法と第4指固定 ・手用スケーラーの運動(前腕回転運動・手根関節運動・手指屈伸運動) ・ストローク 事前学修 1.0hr：評価項目に沿って練習を行う。 事後学修 1.0hr：評価項目に沿って自己評価し、提出すること。</p>
10 回	<p>授業テーマ：キュレットタイプスケーラーによる SRP ①前歯部 授業内容：上下顎前歯部のキュレットタイプスケーラーの基本操作を習得するために、以下のマニキン実習を行う。 ・術者および患者の基本姿勢・ポジショニング ・手用スケーラーの把持法と第4指固定 ・歯肉縁下へのキュレットタイプスケーラーの挿入 ・手用スケーラーの運動(前腕回転運動) ・ストローク 事前学修 1.0hr：前歯部実施時のポジショニング、使用スケーラー、把持法、基本操作について学修しておく。 事後学修 1.0hr：評価項目に沿って自己評価し、提出すること。授業中に受けた評価に基づき、練習しておくこと。</p>
11 回	<p>授業テーマ：キュレットタイプスケーラーによる SRP ②下顎臼歯部 授業内容：下顎臼歯部のキュレットタイプスケーラーの基本操作を習得するために、以下のマニキン実習を行う。 ・術者および患者の基本姿勢・ポジショニング ・手用スケーラーの把持法と第4指固定 ・歯肉縁下へのキュレットタイプスケーラーの挿入 ・手用スケーラーの運動(前腕回転運動) ・ストローク 事前学修 1.0hr：下顎臼歯部実施時のポジショニング、使用スケーラー、把持法、基本操作について学修しておく。 事後学修 1.0hr：評価項目に沿って自己評価し、提出すること。授業中に受けた評価に基づき、練習しておくこと。</p>
12 回	<p>授業テーマ：キュレットタイプスケーラーによる SRP ③上顎臼歯部 授業内容：上顎臼歯部のキュレットタイプスケーラーの基本操作を習得するために、以下のマニキン実習を行う。 ・術者および患者の基本姿勢・ポジショニング ・手用スケーラーの把持法と第4指固定 ・歯肉縁下へのキュレットタイプスケーラーの挿入 ・手用スケーラーの運動(前腕回転運動) ・ストローク 事前学修 1.0hr：上顎臼歯部実施時のポジショニング、使用スケーラー、把持法、基本操作について学修しておく。 事後学修 1.0hr：評価項目に沿って自己評価し、提出すること。授業中に受けた評価に基づき、練習しておくこと。</p>
13 回	<p>授業テーマ：シッケルタイプスケーラーによるスケーリングの実技評価 授業内容：シッケルタイプスケーラーの基本操作を習得するために、以下の項目をマニキンで実技評価を行う。 ・術者および患者の基本姿勢・ポジショニング ・手用スケーラーの把持法と第4指固定 ・手用スケーラーの運動(前腕回転運動) ・ストローク 事前学修 1.0hr：評価項目に沿って練習を行う。 事後学修 1.0hr：評価項目に沿って自己評価し、提出すること。</p>
14 回	<p>授業テーマ：う蝕活動性試験実習①(Dentbuff.Strip、RDテスト、カリオスタット等) 授業内容：う蝕活動性試験の取り扱い・培養・評価のために、以下の実習を行う。 ・検体の採取 ・器材の取り扱い ・培養(温度と時間) ・結果の判定・記録 ・リスク評価・リスク管理 事前学修 1.0hr：「歯科予防処置論・歯科保健指導論」Ⅲ編3章う蝕活動性試験の目的、種類、検査法等について学修しておく。 事後学修 1.0hr：検査の結果を確認し、レポートにリスク評価をまとめて提出すること。</p>

15
回

授業テーマ：う蝕活動性試験実習②評価と予防計画

授業内容：第 14 回の授業で学修したリスク評価・リスク管理の考え方に基づいて、以下の手順で症例に応じたリスク評価とリスク管理の実習を行う。

- ①症例の紹介(ペーパーペーシェント)
- ②情報分析・歯科衛生アセスメント
- ③歯科衛生診断
- ④歯科衛生計画立案

事前学修 1.0hr：「歯科予防処置論・歯科保健指導論」Ⅲ編 3 章う蝕活動性試験の結果を総合的に分析しておくこと。

事後学修 1.0hr：ペーパーペーシェントの事例と、う蝕活動性試験の結果をふまえて総合的にリスク評価を行い、予防計画を立案する。

応用歯科予防処置実習

開講学科等：保 | 2 年次 | 1 単位 | 開講期：後 | 備考：科目責任者 虎谷 斉子

高澤 維月 (たかざわ いつき)・虎谷 斉子 (とらや せいこ)

■ 授業の概要

歯科臨床に則した、う蝕予防処置(フッ化物歯面塗布法、小窩裂溝充填法)と歯周病予防処置(SRP、機械を用いたスケーリング、PTC)の基本技術を、相互実習およびマニキンを使用した実習により習得の確認と振り返りを随時行うこと。

なお、本講座は、歯科医師及び歯科衛生士の資格を有する教員が担当する。

【授業方法】実習

【実務家教員と当該授業科目との関連性】

歯科医師及び歯科衛生士がこれまでの実務経験を活かし、歯科予防処置の実践的な知識を与える。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー: ①/②/⑤)

一般目標: 対象者の全身および口腔の状態をアセスメントし、患者に応じた歯科予防処置を選択して実施できる発展的な知識・技術・態度を習得する。

個別目標: ①シャープニングの器材を準備し、実施できる。

②手用スケーラーまたは超音波スケーラーを用いて、安全に配慮した SRP ができる。

③歯面清掃・歯面研磨を安全に配慮して実施できる。

④フッ化物応用法を安全に配慮して実施できる。

⑤相互実習(マニキン実習)を通して、対象者に配慮した総合的な予防処置の流れを実施できる。

■ 履修条件

基礎歯科予防処置実習で学修した内容に基づいて実習を行うため、復習して実習に臨むこと。

授業開始前に身だしなみを整え、授業に臨むこと。

全て出席することを原則とし、忘れ物がないように留意すること。

■ 評価基準・方法

実技評価(60%)、レポート・提出物(20%)、身だしなみ・忘れ物を含む授業への取組態度及び発言等(20%)を評価対象とする。

到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。

■ フィードバック方法

出題された課題についてのフィードバックは、学修支援システムの manaba や授業を通じて行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施(実施内容)

あり((第15回の総合実習では、患者役の主訴に応じた処置と術式を検討し、器具や材料を選択して実習を行う。教員の指示で行う実習ではなく、自分で考えて実習を行う。))

■ 授業での PC の利用(利用内容)

なし

■ 教科書

一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会 監修 歯科衛生学シリーズ「歯科予防処置論・歯科保健指導論」医歯薬出版株式会社

■ 参考書

中垣晴男 他著「歯科衛生士のための齶蝕予防処置法 第2版」医歯薬出版株式会社

■ 授業テーマ・授業内容と授業外(事前・事後)の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：機械的スケーラー基礎実習 授業内容：超音波スケーラーの安全で適正な操作を習得するために、以下のマニキン実習を行う。 ・ 取り扱い(インサートチップの装着・キャビテーションの確認・水量の調節・パワーの調節) ・ ポジショニング(患者ポジショニング・術者ポジショニング) ・ 口腔内での操作(インサートチップと歯面の角度・ストローク・側方圧) ・ バキューム操作(補助者バキューム・術者バキューム) 事前学修 1.0hr: 「歯科予防処置論・歯科保健指導論」Ⅲ編 3 章 機械的スケーラーと操作法を学修しておく。 事後学修 1.0hr: 評価項目に沿って自己評価し提出すること。授業中に受けた評価に基づき、練習しておくこと。
2 回	授業テーマ：歯面研磨基礎実習 授業内容：歯面研磨の手技を習得するために、以下のマニキン実習を行う。 ・ 研磨用ブラシ・カップ・コーンの選択と、ハンドピースの安全確認 ・ 研磨用ブラシ・カップ・コーンの操作 ・ 口腔内洗浄 ・ 口腔内観察および患者への指導 事前学修 1.0hr: 「歯科予防処置論・歯科保健指導論」Ⅲ編 3 章 歯面研磨・歯面清掃を学修しておく。 事後学修 1.0hr: 評価項目に沿って自己評価し提出すること。授業中に受けた評価に基づき、練習しておくこと。
3 回	授業テーマ：歯面清掃器基礎実習 授業内容：歯面清掃の手技を習得するために、以下のマニキン実習を行う。 ・ 歯面清掃器使用前の前準備 ・ 安全への配慮 ・ 歯面清掃器の操作 ・ 歯面清掃器の保守・取り扱い ・ 歯面清掃の処置前・後の患者説明 事前学修 1.0hr: 「歯科予防処置論・歯科保健指導論」Ⅲ編 3 章 歯面清掃器を学修しておく。 事後学修 1.0hr: 評価項目に沿って自己評価し提出すること。
4 回	授業テーマ：スケーリング 相互実習①口腔内診査(フローピング) 授業内容：相互実習の情報収集のために、以下の実習を行う。 ・ 問診・医療面接 ・ 口腔内観察 ・ フローピング(6点法・BOP・歯の動揺度の検査) 事前学修 1.0hr: 「歯科予防処置論・歯科保健指導論」Ⅲ編 2 章口腔の器質的問題の把握を復習しておく。 事後学修 1.0hr: 実習時の口腔内記録用紙を提出すること。

5 回	<p>授業テーマ：スケーリング 相互実習②前歯部手用スケーリング・歯面研磨 授業内容：相互実習で前歯部のスケーリングおよび歯面研磨の手技を習得するために、以下の実習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口腔内観察 ・フローピング(6点法・BOP・歯の動揺度の検査) ・手用スケーリング ・歯面研磨 ・歯科衛生士業務記録の記入 <p>事前学修 1.0hr：基礎歯科予防処置実習で学んだスケーリングの内容を部位ごとに復習しておく。 事後学修 1.0hr：実習時の口腔内記録用紙を提出すること。</p>
6 回	<p>授業テーマ：スケーリング 相互実習③下顎臼歯部スケーリング・歯面研磨 授業内容：相互実習で下顎臼歯部のスケーリングおよび歯面研磨の手技を習得するために、以下の実習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口腔内観察 ・フローピング(6点法・BOP・歯の動揺度の検査) ・手用スケーリング ・歯面研磨 ・歯科衛生士業務記録の記入 <p>事前学修 1.0hr：基礎歯科予防処置実習で学んだ手用スケーリングの内容を部位ごとに復習しておく。 事後学修 1.0hr：実習時の口腔内記録用紙を提出すること。</p>
7 回	<p>授業テーマ：スケーリング 相互実習④上顎臼歯部スケーリング・歯面研磨 授業内容：相互実習で下顎臼歯部のスケーリングおよび歯面研磨の手技を習得するために、以下の実習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口腔内観察 ・フローピング(6点法・BOP・歯の動揺度の検査) ・手用スケーリング ・歯面研磨 ・歯科衛生士業務記録の記入 <p>事前学修 1.0hr：基礎歯科予防処置実習で学んだ手用スケーリングの内容を部位ごとに復習しておく。 事後学修 1.0hr：実習時の口腔内記録用紙を提出すること。</p>
8 回	<p>授業テーマ：スケーリング 相互実習⑤超音波スケーラー(上顎)・歯面研磨 授業内容：相互実習で下顎臼歯部のスケーリングおよび歯面研磨の手技を習得するために、以下の実習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口腔内観察 ・フローピング(6点法・BOP・歯の動揺度の検査) ・超音波スケーリング ・手用スケーリング ・歯面研磨 ・歯科衛生士業務記録の記入 <p>事前学修 1.0hr：基礎歯科予防処置実習で学んだ超音波スケーリングの操作方法を復習しておく。 事後学修 1.0hr：実習時の口腔内記録用紙を提出すること。</p>
9 回	<p>授業テーマ：スケーリング 相互実習⑥超音波スケーラー(下顎)・歯面研磨 授業内容：相互実習で下顎臼歯部のスケーリングおよび歯面研磨の手技を習得するために、以下の実習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口腔内観察 ・フローピング(6点法・BOP・歯の動揺度の検査) ・超音波スケーリング ・手用スケーリング ・歯面研磨 ・歯科衛生士業務記録の記入 <p>事前学修 1.0hr：基礎歯科予防処置実習で学んだ超音波スケーリングの操作方法を復習しておく。 事後学修 1.0hr：実習時の口腔内記録用紙を提出すること。</p>
10 回	<p>授業テーマ：フッ化物応用法：フッ化物歯面塗布 授業内容：フッ化物歯面塗布法の一般法の手技を習得するために、以下のマニキン実習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フッ化物の安全な取り扱い(計量) ・フッ化物歯面塗布(一般法) ・塗布後の患者指導 <p>事前学修 1.0hr：「歯科予防処置論・歯科保健指導論」Ⅲ編 3章フッ化物の応用について学修しておく。 事後学修 1.0hr：評価項目に沿って自己評価し提出すること。</p>
11 回	<p>授業テーマ：前期復習：キュレットタイプスケーラーによる SRP 前歯部・臼歯部 授業内容：基礎歯科予防処置実習で習得したキュレットタイプスケーラーによる SRP するために、以下の項目をマニキンで実技評価を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・術者および患者の基本姿勢・ポジショニング ・手用スケーラーの把持法と第4指固定 ・歯肉縁下へのキュレットタイプスケーラーの挿入 ・スケーラーの運動(前腕回転運動) ・ストローク <p>事前学修 1.0hr：基礎歯科予防処置実習で学んだキュレットタイプスケーラーの操作方法を復習しておく。 事後学修 1.0hr：評価項目に沿って自己評価し提出すること。</p>
12 回	<p>授業テーマ：キュレットタイプスケーラーによる SRP 前歯部・臼歯部の実技評価 授業内容：基礎歯科予防処置実習で習得したキュレットタイプスケーラーによる SRP するために、以下の項目をマニキンで実技評価を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・術者および患者の基本姿勢・ポジショニング ・手用スケーラーの把持法と第4指固定 ・歯肉縁下へのキュレットタイプスケーラーの挿入 ・スケーラーの運動(前腕回転運動) ・ストローク <p>事前学修 1.0hr：基礎歯科予防処置実習で学んだキュレットタイプスケーラーの操作方法を復習しておく。 事後学修 1.0hr：評価項目に沿って自己評価し提出すること。</p>
13 回	<p>授業テーマ：シャープニングの基礎実習 授業内容：シャープニングの手技を習得するために、以下の実習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シャープニングで使用する機器の準備 ・砥石の種類に応じた管理 ・シクルタイプスケーラーのシャープニング ・グレーシーキュレットタイプスケーラーのシャープニング <p>事前学修 1.0hr：「歯科予防処置論・歯科保健指導論」Ⅲ編 3章シャープニングを学修しておく。 事後学修 1.0hr：評価項目に沿って自己評価し提出すること。</p>

14 回	<p>授業テーマ：小窩裂溝填塞法 授業内容：小窩裂溝填塞法の手技を習得するために、以下のマニキン実習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小窩裂溝填塞材料の取り扱い ・ラバーダム防湿 ・酸処理 ・填塞操作 ・咬合確認 ・処置後の患者指導 <p>事前学修 1.0hr：「歯科予防処置論・歯科保健指導論」Ⅲ編 3章小窩裂溝填塞法について学修しておく。 事後学修 1.0hr：評価項目に沿って自己評価し提出すること。</p>
15 回	<p>授業テーマ：総合実習(口腔内診査・フロービング・PCR・TBI・SC・歯面研磨・フッ化物応用) 授業内容：これまでの基礎歯科予防処置実習・応用歯科予防処置実習をふまえ、総合的に患者の口腔機能管理の維持・向上のための処置を相互実習で行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療面接・問診 ・口腔内観察 ・超音波スケーリング ・手用スケーリング ・歯面研磨 ・バキュームテクニック ・フッ化物歯面塗布 ・処置後の口腔内観察 ・処置後の指導 <p>事前学修 1.0hr：基礎歯科予防処置実習・応用歯科予防処置実習で学んだ内容を総合的に相互実習で実施できるように復習をしておく。 事後学修 1.0hr：実習時の口腔内記録用紙を提出すること。</p>

口腔保健管理学実習

開講学科等：保 | 4年次 | 1単位 | 開講期：前 | 備考：科目責任者 高澤維月

金子 潤 (かねこ じゅん)・高澤 維月 (たかざわ いつき)・虎谷 斉子 (とらや せいこ)

■ 授業の概要

う蝕予防や歯周疾患治療および予防等の症例を通じて、口腔保健管理を実践できる基礎的知識・技術・態度を身につける。
科学的思考や判断力をもって患者ごとのリスク管理能力を身につけ、応用力・実践力を育成する。
症例を記録し、口腔保健管理のプレゼンテーション技術を身につける。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：2023年度以降入学生①/②/③/⑤、2022年度以前入学生①/②/⑤)

一般目標：口腔の疾患を予防し全身の健康を維持・増進させるために、学内実習および臨床実習を通して修得した専門知識・技術を応用した、口腔保健管理の包括的な知識・技術・態度を習得する。

個別目標：①対象者の全身・口腔の情報収集を行い、アセスメントを実行できる。
②対象者のリスク評価に応じた歯科予防処置を選択し、実践できる。
③症例ごとのプロセスを画面化し、プレゼンテーションを実践できる。

■ 履修条件

これまでの学内の講義や実習で学んだことに加え、臨床実習で学んだことを応用して、実践する場としての科目の位置づけである。
歯科予防処置・歯科保健指導・歯科診療補助の知識や技術の復習・整理をして、授業に参加すること。
全て出席することを原則とし、忘れ物がないように留意すること。

■ 評価基準・方法

実技評価課題 (50%)、レポート・提出物 (30%)、身だしなみを含む授業への取り組み態度及び発言等 (20%) を評価対象とする。
到達目標の達成度に基づき、総合的に評価する。

■ フィードバック方法

出題された課題についてのフィードバックは、課題返却時あるいは学修支援システムの manaba を通じて行う。
実習の到達度についてのフィードバックは、授業時間内に行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (担当した症例に応じて、歯科衛生介入計画を立案し実践する。)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (患者実習で行った内容について資料を作成し、症例報告のプレゼンテーションを行う。PowerPoint や Google スライド等のプレゼンテーションソフトが入っていることが望ましい。)

■ 教科書

必要に応じて授業の中で紹介する。

■ 参考書

必要に応じて授業の中で紹介する。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：口腔保健管理学実習 オリエンテーション 授業内容：本科目の目的・授業の流れ・準備についてのオリエンテーションを行う。 次回からの相互実習の準備を行う。 事前学修 0.5hr：実習当番や授業計画に基づき、必要な器材などを確認しておくこと。 事後学修 1.0hr：課題を出題するので、manaba のレポートから提出すること。
2 回	授業テーマ：口腔保健管理 相互実習の情報収集 授業内容：問診・医療面接・口腔内診査 (歯周ポケット検査・BOP・歯の動揺度・歯垢染色・PCR) を行い、情報収集を行う。 事前学修 1.0hr：事前に配布する授業資料を確認しておくこと。口腔内診査の術式を復習しておくこと。 事後学修 1.0hr：課題を出題するので、manaba のレポートから提出すること。
3 回	授業テーマ：口腔保健管理 相互実習の計画立案 授業内容：前回実施した情報収集のデータからアセスメントを行い、介入計画 (処置内容の決定・術式の検討) および使用器材を自ら計画する。 次回の滅菌・器材準備を行う。 事前学修 0.5hr：事前に配布する授業資料を確認しておくこと。 事後学修 1.0hr：課題を出題するので、manaba のレポートから提出すること。
4 回	授業テーマ：口腔保健管理 相互実習①口腔内写真撮影・歯周組織検査・超音波スケーリング・SRP・PTC・歯磨剤の選択・TBI・フッ化物歯面塗布・禁煙支援など 授業内容：計画立案した内容に沿って、患者実習を想定した相互実習を行う。 器材準備 20 分、術者としての処置時間 80 分、片付け 20 分で行う。 患者役が術者の評価を行う。 事前学修 1.0hr：術者役・患者役・消毒係を交代で 3 週に渡って行う。事前に配布する授業資料を確認しておくこと。 事後学修 1.0hr：実習のセルフチェックシートの評価項目に沿って自己評価し、提出すること。
5 回	授業テーマ：口腔保健管理 相互実習②口腔内写真撮影・歯周組織検査・超音波スケーリング・SRP・PTC・歯磨剤の選択・TBI・フッ化物歯面塗布・禁煙支援など 授業内容：計画立案した内容に沿って、患者実習を想定した相互実習を行う。 器材準備 20 分、術者としての処置時間 80 分、片付け 20 分で行う。 患者役が術者の評価を行う。 事前学修 1.0hr：事前に配布する授業資料を確認しておくこと。 事後学修 1.0hr：実習のセルフチェックシートの評価項目に沿って自己評価し、提出すること。
6 回	授業テーマ：口腔保健管理 相互実習③口腔内写真撮影・歯周組織検査・超音波スケーリング・SRP・PTC・歯磨剤の選択・TBI・フッ化物歯面塗布・禁煙支援など 授業内容：計画立案した内容に沿って、患者実習を想定した相互実習を行う。 器材準備 20 分、術者としての処置時間 80 分、片付け 20 分で行う。 患者役が術者の評価を行う。 事前学修 1.0hr：事前に配布する授業資料を確認しておくこと。 事後学修 1.0hr：実習のセルフチェックシートの評価項目に沿って自己評価し、提出すること。

7 回	<p>授業テーマ：口腔保健管理 相互実習の評価・患者実習の媒体作成 授業内容：相互実習で実践した処置について、計画立案の適正さと自身の手技について自己評価を行う。 患者実習で使用するためのリーフレットを作成する。 PC・USB メモリーを持参すること。 事前学修 1.0hr：事前に配布する授業資料を確認しておくこと。 事後学修 1.0hr：課題を出題するので、manaba のレポートから提出すること。</p>
8 回	<p>授業テーマ：口腔保健管理 患者実習の計画立案 授業内容：相互実習での反省を踏まえて、患者実習での実習計画(処置内容の決定・術式の検討・使用器材・時間配分等)を立案する。 事前学修 1.0hr：事前に配布する授業資料を確認しておくこと。相互実習での自己評価を振り返っておくこと。 事後学修 1.0hr：課題を出題するので、manaba のレポートから提出すること。</p>
9 回	<p>授業テーマ：口腔保健管理 患者実習オリエンテーション 授業内容：患者実習の流れを再確認し、外部の対象者を迎えるにあたって実習室の準備を行う。 計画に沿って、術者・補助者・消毒係・受付の各自の担当の内容について確認を行い、患者実習のリハーサルを行う。 事前学修 0.5hr：外部の対象者を迎えて行う患者実習について、概要のオリエンテーションを行う。事前に配布する資料を確認しておくこと。 事後学修 1.0hr：課題を出題するので、manaba のレポートから提出すること。</p>
10 回	<p>授業テーマ：口腔保健管理 患者実習①口腔内写真撮影・歯周組織検査・超音波スケーリング・SRP・PTC・歯磨剤の選択・TBI・フッ化物歯面塗布・禁煙支援など 授業内容：外部の対象者を迎え、患者実習を行う。 ①情報収集：問診・医療面接・口腔内診査(口腔内写真撮影・歯周ポケット検査・BOP・歯の動揺度・歯垢染色・PCR) ②歯科衛生アセスメント・歯科衛生診断・歯科衛生計画立案 ③歯科衛生介入：IC・TBI・SC・PTC・フッ化物歯面塗布・処置後の指導 ④歯科衛生評価と記録 事前学修 1.0hr：外部の対象者を迎え、術者・補助者・消毒係を交代で行う。事前に配布する資料を確認しておくこと。 事後学修 1.0hr：課題を出題するので、manaba のレポートから提出すること。</p>
11 回	<p>授業テーマ：口腔保健管理 患者実習②口腔内写真撮影・歯周組織検査・超音波スケーリング・SRP・PTC・歯磨剤の選択・TBI・フッ化物歯面塗布・禁煙支援など 授業内容：外部の対象者を迎え、患者実習を行う。 ①情報収集：問診・医療面接・口腔内診査(口腔内写真撮影・歯周ポケット検査・BOP・歯の動揺度・歯垢染色・PCR) ②歯科衛生アセスメント・歯科衛生診断・歯科衛生計画立案 ③歯科衛生介入：IC・TBI・SC・PTC・フッ化物歯面塗布・処置後の指導 ④歯科衛生評価と記録 事前学修 1.0hr：外部の対象者を迎え、術者・補助者・消毒係を交代で行う。事前に配布する資料を確認しておくこと。 事後学修 1.0hr：課題を出題するので、manaba のレポートから提出すること。</p>
12 回	<p>授業テーマ：口腔保健管理 患者実習③口腔内写真撮影歯周組織検査・超音波スケーリング・SRP・PTC・歯磨剤の選択・TBI・フッ化物歯面塗布・禁煙支援など 授業内容：外部の対象者を迎え、患者実習を行う。 ①情報収集：問診・医療面接・口腔内診査(口腔内写真撮影・歯周ポケット検査・BOP・歯の動揺度・歯垢染色・PCR) ②歯科衛生アセスメント・歯科衛生診断・歯科衛生計画立案 ③歯科衛生介入：IC・TBI・SC・PTC・フッ化物歯面塗布・処置後の指導 ④歯科衛生評価と記録 事前学修 1.0hr：外部の対象者を迎え、術者・補助者・消毒係を交代で行う。事前に配布する資料を確認しておくこと。 事後学修 1.0hr：課題を出題するので、manaba のレポートから提出すること。</p>
13 回	<p>授業テーマ：口腔保健管理 患者実習の評価 授業内容：患者実習の振り返りを行う。 自分の担当した患者の口腔内写真の整理とレポート作成を行う。 PC・USB メモリーを持参すること。 事前学修 1.0hr：自分の担当した症例について、アセスメント・歯科衛生診断・歯科衛生介入を総合的に評価する。 事後学修 1.0hr：課題を出題するので、manaba のレポートから提出すること。</p>
14 回	<p>授業テーマ：症例発表 作成・提出 授業内容：症例報告のためのプレゼン資料を作成する。 作成方法、記載項目については授業内で指示する。 PC・USB メモリーを持参すること。 事前学修 1.0hr：自分が担当した症例をもとに、プレゼンテーション資料を作成しておくこと。 事後学修 1.0hr：課題を出題するので、manaba のレポートから提出すること。</p>
15 回	<p>授業テーマ：症例報告発表会 授業内容：症例報告の発表会を行う。 発表に使用したプレゼンテーション資料をレポートとして提出すること。 事前学修 1.0hr：自分が担当した症例を発表するための準備をしておくこと。 事後学修 1.0hr：課題を出題するので、manaba のレポートから提出すること。</p>

基礎歯科保健指導論

開講学科等：保 | 2 年次 | 2 単位 | 開講期：前 | 備考：科目責任者 森下志穂

三分一 恵里 (さんびいち えり)・高尾 あゆみ (たかお あゆみ)・森下 志穂 (もりした しほ)

■ 授業の概要

健康教育の概念や行動変容理論を学修する。また、口腔保健向上を目的とした歯科保健指導、健康教育を実践するための流れを理解するとともに、その手法を修得する。加えて、歯科保健指導を行うための基礎として、口腔の観察・評価方法やブラッシング法、口腔清掃用具、歯磨剤や洗口剤等についての知識や、食生活指導の基本的知識および歯科保健指導を行うために必要な情報収集法およびコミュニケーション技術について学ぶ。さらに、指導案の作成を通して、健康教育への理解を深める。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：①/②)

一般目標：健康教育の概念と理論を理解し、口腔保健向上のために必要な基礎知識および教育手法を修得する。

個別目標：①健康教育と保健指導の違いを説明できる。

②行動変容の理論を説明できる。

③歯科保健指導を実施するための基礎知識を修得する。

④情報収集を円滑に行うためのコミュニケーション方法について説明できる。

⑤食生活指導を実施するための基礎知識を修得する。

⑥集団を対象とした歯科保健指導を実施するための基礎知識を修得する。

■ 履修条件

1 年次までの基礎分野・専門基礎分野の科目内容を復習・整理して本講義に臨むこと

1 年次で履修した専門基礎分野の講義は関連が深いので整理しておくことが望ましい

■ 評価基準・方法

定期試験 80 %、講義への取組態度及び発言等(身だしなみ、提出物含む)・小テスト 20%の結果及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。また、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とし、欠席は減点とする。

■ フィードバック方法

課題及び評価のフィードバックは、授業や manaba を通して行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (発見学習、問題解決学習、グループ・ディスカッションを通し、能動的に学修に参加する。)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

全国歯科衛生士教育協議会監修「歯科衛生学シリーズ歯科予防処置論・歯科保健指導論第 2 版」医歯薬出版株式会社 2025 年

■ 参考書

全国歯科衛生士教育協議会監修「歯科衛生学シリーズ人体の構造と機能 2 栄養と代謝」医歯薬出版株式会社 2023 年

全国歯科衛生士教育協議会監修「歯科衛生学シリーズ高齢者歯科学」医歯薬出版株式会社 2023 年

全国歯科衛生士教育協議会監修「歯科衛生学シリーズ歯科衛生学総論」医歯薬出版株式会社 2023 年

全国歯科衛生士教育協議会監修「歯科衛生学シリーズ歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 1 保健生態学」医歯薬出版株式会社 2023 年

松田裕子編著「改訂歯ブラシ事典」株式会社学健書院 2015 年

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：ガイダンス・健康および健康教育の概念 授業内容：歯科保健指導の法的位置づけや意義、必要性について教授する。 事前学修 2.0hr：教科書 I 編 2 章①②③を読んでおく。「健康とは何か」について自分なりに考えておく。 事後学修 2.0hr：講義内で指示した課題を完成させる。
2 回	授業テーマ：健康推進施策・行動変容のための保健行動理論 授業内容：わが国の健康推進施策と行動変容理論について教授する。 事前学修 2.0hr：前回の講義内容を復習しておく。教科書 I 編 1 章①②、II 編 3 章②③を読んでおく。 事後学修 2.0hr：講義内で指示した課題を完成させる。
3 回	授業テーマ：カウンセリング、コミュニケーション技術 授業内容：医療面接の目的や必要性を教授する。 事前学修 2.0hr：良好なコミュニケーションとはどのようなものか、自分なりの考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：講義内で指示した課題を完成させる。
4 回	授業テーマ：食生活指導の基礎知識(1)栄養素の働き 授業内容：食生活・食習慣の背景と栄養素の役割について教授する。 事前学修 2.0hr：国民健康・栄養調査(令和 6 年)の結果の概要を読んでおく。 事後学修 2.0hr：講義内で指示した課題を完成させる。
5 回	授業テーマ：食生活指導の基礎知識(2)食事バランスガイド・食事摂取基準 授業内容：五大栄養素、特別用途食品、保健機能食品、食事バランスガイドについて教授する。 事前学修 2.0hr：教科書(歯科衛生学シリーズ保健生態学) I 編 6 章を読んでおく。 事後学修 2.0hr：講義内で指示した課題を完成させる。
6 回	授業テーマ：食生活指導の基礎知識(3)ライフステージ別食生活指導 授業内容：食事摂取基準、ライフステージ別の栄養素、ライフサイクルに沿った栄養指導について教授する。 事前学修 2.0hr：前回の講義内容を復習しておく。 事後学修 2.0hr：講義内で指示した課題を完成させる。
7 回	授業テーマ：食生活指導の基礎知識(4)食生活の指導、食事分析 授業内容：う蝕や歯周病と食品の関係について教授する。食事記録から問題点と改善策を考える。食事分析、食生活指導計画を立案する。 事前学修 2.0hr：前回までの講義内容を復習しておく。第 5 回授業で指示した課題を完成させておく。 事後学修 2.0hr：講義内で指示した課題を完成させる。
8 回	授業テーマ：口腔内清掃法(1)ブラッシング方法 授業内容：口腔内清掃の目的、清掃に用いられる道具について教授する。歯ブラシの種類と使用目的、各ブラッシング方法、電動歯ブラシについて理解する。 事前学修 2.0hr：教科書 III 編 4 章①を読んでおく。 事後学修 2.0hr：講義内で指示した課題を完成させる。

9 回	授業テーマ：歯・口腔内の状態把握、口腔衛生状態の指数 授業内容：健康な歯肉と病的な歯肉の違いを理解する。歯面の付着物、沈着物の種類や特徴と口臭、PCR について教授する。 事前学修 2.0hr：教科書Ⅱ編 2章の①、Ⅲ編 2章⑥、⑧を読んでおく。 事後学修 2.0hr：講義内で指示した課題を完成させる。
10 回	授業テーマ：プラーク・歯石・歯周疾患の指数(1) 授業内容：各指数の判定基準と計算方法について講義する。PCR 復習、口腔衛生状態の指数(OHI、OHI-S)について教授する。 事前学修 2.0hr：教科書Ⅲ編 2章⑥、⑧を読んでおく。 事後学修 2.0hr：講義内で指示した課題を完成させる。
11 回	授業テーマ：プラーク・歯石・歯周疾患の指数(2) 授業内容：各指数の判定基準と計算方法について講義する。歯周疾患指数、歯肉炎指数について教授する。 事前学修 2.0hr：前回の講義内容を復習しておく 事後学修 2.0hr：講義内で指示した課題を完成させる。
12 回	授業テーマ：口腔内清掃法(2)清掃用具、歯磨剤、洗口剤、義歯の取扱い 授業内容：電動歯ブラシ、補助的清掃用具について種類と使用目的・方法を教授する。歯磨剤・洗口剤の効果・効能を理解し、口腔内状態に合わせて選択について教授する。 事前学修 2.0hr：教科書Ⅲ編 4章①および参考書「保健生態学」Ⅱ編 2章⑤を読んでおく。口腔内清掃法(1)の講義内容を復習しておく。 事後学修 2.0hr：講義内で指示した課題を完成させる。
13 回	授業テーマ：症例検討 授業内容：模擬患者の情報を基に、歯科保健指導案を作成する。 事前学修 2.0hr：第 8～12 回の授業内容を復習しておく。 事後学修 2.0hr：講義内で指示した課題を完成させる。
14 回	授業テーマ：ストレスマネジメント 授業内容：ストレスと健康、マネジメントの方法についてについて教授する。 事前学修 2.0hr：自分がストレスを感じるのほどのような時か、自分なりの考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：講義内で指示した課題を完成させる。
15 回	授業テーマ：集団指導における健康教育の展開 授業内容：健康教育における歯科衛生士の役割について教授する。 事前学修 2.0hr：教科書Ⅴ編 1～2章を読んでおく。 事後学修 2.0hr：講義内で指示した題材を基に指導案を作成する。

応用歯科保健指導論

開講学科等：保 | 2 年次 | 2 単位 | 開講期：後 | 備考：科目責任者 森下志穂

三分一 恵里 (さんびいち えり)・高尾 あゆみ (たかお あゆみ)・森下 志穂 (もりした しほ)

■ 授業の概要

対象別の歯科保健指導、健康教育の要点や指導方法について学修する。また、歯科衛生過程の基本的な考え方を理解し、対象者の問題解決のための方法を考える。様々なライフステージや口腔状況に応じた指導を実践する能力を育成するために、各ライフステージごとの対象者の特徴を理解し、模擬症例を基に、問題点の抽出や口腔保健指導計画立案の実践方法を学ぶ。さらに、乳幼児期から高齢者までの生理的变化も知識として確立しながら学修を進める。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：①/②)

一般目標：対象に合わせた歯科保健指導、健康教育を実践するために必要な基礎的知識および教育手法を修得する。

個別目標：①歯科衛生過程の基本的な考え方を説明できる。

②各ライフステージの一般的特徴、口腔の特徴、望ましい歯科保健行動を説明できる。

③在宅医療における歯科衛生士の役割を説明できる。

④災害時の口腔保健医療の概要を説明できる。

⑤周術期口腔機能管理における歯科衛生士の役割を説明できる。

⑥喫煙者に対する指導の方法を説明できる。

⑦集団を対象とした健康教育を効果的に行う方法を説明できる。

■ 履修条件

2 年次前期に開講される「基礎歯科保健指導論・基礎歯科保健指導実習」の単位を修得していること。

2 年次前期に履修した「基礎歯科保健指導論・基礎歯科保健指導実習」の講義内容を復習・整理して本授業に臨むこと。

■ 評価基準・方法

定期試験 80 %、講義への取組態度及び発言等(身だしなみ、提出物含む)・小テスト 20%の結果及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。また、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とし、欠席は減点とする。

■ フィードバック方法

課題及び評価のフィードバックは、授業や manaba を通して行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (発見学習、問題解決学習、グループ・ディスカッションを通し、能動的に学修に参加する。)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

全国歯科衛生士教育協議会監修「歯科衛生学シリーズ歯科予防処置論・歯科保健指導論第 2 版」医歯薬出版株式会社 2025 年

■ 参考書

全国歯科衛生士教育協議会監修「歯科衛生学シリーズ人体の構造と機能 2 栄養と代謝」医歯薬出版株式会社 2023 年

全国歯科衛生士教育協議会監修「歯科衛生学シリーズ高齢者歯科学」医歯薬出版株式会社 2023 年

全国歯科衛生士教育協議会監修「歯科衛生学シリーズ歯科衛生学総論」医歯薬出版株式会社 2023 年

全国歯科衛生士教育協議会編「よくわかる歯科衛生過程」医歯薬出版株式会社 2015 年

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：ガイダンス・歯科衛生過程(1)概要、書面化、業務記録 授業内容：歯科衛生業務を行うために必要な歯科衛生過程の意義について説明する。 事前学修 2.0hr：教科書Ⅲ編 1 章①-1 を読んでおく。「基礎歯科保健指導論」の内容を復習しておく。 事後学修 2.0hr：講義内で指示した課題を完成させる。
2 回	授業テーマ：歯科衛生過程(2)歯科衛生アセスメント 授業内容：情報収集、情報分析の方法、情報の解釈・分析について説明する。 事前学修 2.0hr：教科書Ⅲ編 1 章①、②-1 を読んでおく。前回の講義内容を復習しておく。 事後学修 2.0hr：講義内で指示した課題を完成させる。
3 回	授業テーマ：歯科衛生過程(3)歯科衛生診断 授業内容：歯科衛生診断の立て方、診断文の作成方法について説明する。 事前学修 2.0hr：教科書Ⅲ編 1 章②-2 を読んでおく。前回の講義内容を復習しておく。 事後学修 2.0hr：講義内で指示した課題を完成させる。
4 回	授業テーマ：歯科衛生過程(4)歯科衛生計画立案、歯科衛生介入、歯科衛生評価 授業内容：長期目標・短期目標の立て方、歯科衛生業務記録の意義について説明する。 事前学修 2.0hr：教科書Ⅲ編 1 章②-3.4.5. を読んでおく。前回の講義内容を復習しておく。 事後学修 2.0hr：講義内で指示した課題を完成させる。
5 回	授業テーマ：情報収集の基礎 授業内容：医療面接で得られた情報の整理・統合の方法および適切な対応につなげるための活用方法について解説する。 事前学修 2.0hr：教科書Ⅲ編 2 章①～⑤を読んでおく。 事後学修 2.0hr：講義内で指示した課題を完成させる。
6 回	授業テーマ：意思決定と動機づけ 授業内容：人の行動を規定する意思決定と関連する動機づけの特徴について説明する。 事前学修 2.0hr：教科書Ⅱ編 3 章③を読んでおく。 事後学修 2.0hr：講義内で指示した課題を完成させる。
7 回	授業テーマ：ライフステージ別指導法(思春期・青年期・成人期) 授業内容：思春期・青年期・成人期の一般的特徴、口腔内の特徴について説明する。 事前学修 2.0hr：教科書Ⅳ編 1 章⑤⑥を読んでおく。 事後学修 2.0hr：講義内で指示した課題を完成させる。
8 回	授業テーマ：ライフステージ別指導法(妊産婦期) 授業内容：妊産婦期の一般的特徴、口腔内の特徴について説明する。 事前学修 2.0hr：教科書Ⅳ編 1 章①を読んでおく。 事後学修 2.0hr：講義内で指示した課題を完成させる。

9 回	授業テーマ：ライフステージ別指導法(乳児期・幼児期) 授業内容：乳児期・幼児期の一般的特徴、口腔内の特徴について説明する。 事前学修 2.0hr：教科書Ⅳ編 1章②③を読んでおく。 事後学修 2.0hr：講義内で指示した課題を完成させる。
10 回	授業テーマ：ライフステージ別指導法(学齢期) 授業内容：学齢期の一般的特徴、口腔内の特徴について説明する。 事前学修 2.0hr：教科書Ⅳ編 1章④を読んでおく。 事後学修 2.0hr：講義内で指示した課題を完成させる。
11 回	授業テーマ：ライフステージ別指導法(高齢期) 授業内容：高齢期の一般的特徴、口腔内の特徴について説明する。 事前学修 2.0hr：教科書Ⅳ編 1章⑦を読んでおく。 事後学修 2.0hr：講義内で指示した課題を完成させる。
12 回	授業テーマ：禁煙指導 授業内容：喫煙と関連のある口腔疾患や症状、各禁煙ステージに合った支援、効果的に行動変容を促進するステップについて説明する。 事前学修 2.0hr：教科書Ⅲ編 4章③-3を読んでおく。 事後学修 2.0hr：講義内で指示した課題を完成させる。
13 回	授業テーマ：集団を対象とした健康教育の方法 授業内容：小集団指導のための指導媒体作成や指導方法について説明する。 事前学修 2.0hr：教科書Ⅴ編 2章①②を読んでおく。 事後学修 2.0hr：講義内で指示した課題を完成させる。
14 回	授業テーマ：災害時の口腔保健医療 授業内容：災害時の歯科医療の必要性について説明する。 事前学修 2.0hr：教科書Ⅳ編 2章③を読んでおく。災害時に求められるであろう歯科衛生士の役割について、自分なりの考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：講義内で指示した課題を完成させる。
15 回	授業テーマ：歯科衛生士に必要なコミュニケーションと行動変容の基礎 授業内容：歯科衛生士に必要なコミュニケーション学として行動変容理論を概観し、理論同士のつながりを理解しながら、行動変容支援への活用方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書Ⅱ編 3章を読んでおく。 事後学修 2.0hr：講義内で指示した課題を完成させる。

基礎歯科保健指導実習

開講学科等：保 | 2 年次 | 1 単位 | 開講期：前 | 備考：科目責任者 森下志穂

三分一 恵里 (さんびいち えり)・高尾 あゆみ (たかお あゆみ)・森下 志穂 (もりした しほ)

■ 授業の概要

様々な口腔清掃用具を用いた口腔清掃実習を行い、口腔衛生管理技術の修得を目指す。
また、相互実習やロールプレイングを通して、情報収集のためのコミュニケーション技術を修得する。さらに、食事調査分析や食生活指導に関するグループディスカッションを実施し、食生活指導を行うための基本的な知識・技術・態度を身に着ける。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：①/②/⑤)

一般目標：口腔保健向上のために必要な基本的技術を修得する。また、患者と良好な関係を築くためのカウンセリング技法やコミュニケーション技術を身に着ける。

個別目標：①口腔内の観察項目とポイントに基づいた口腔内観察を実践できる。
②口腔内状況に合わせた各種ブラッシング方法を実施できる。
③情報収集のための良好なコミュニケーション技術を修得する。
④食事調査分析や食生活指導計画立案を実施できる。

■ 履修条件

前日に開講される「基礎歯科保健指導論」に出席していること
1 年次までの基礎分野・専門基礎分野の科目内容を復習・整理して実習に臨むこと
1 年次までの専門基礎分野の講義は関連が深いので理解しておくことが望ましい

■ 評価基準・方法

実技評価 30 %、課題 30 %、講義への取組態度及び発言等(身だしなみ、提出物含む) 40 %の結果および到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。
また、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とし、欠席は減点とする。

■ フィードバック方法

課題及び評価のフィードバックは、授業や manaba を通して行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (発見学習、問題解決学習、グループ・ディスカッション、相互実習を通し、能動的に学修に参加する。)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

全国歯科衛生士教育協議会監修「歯科衛生学シリーズ歯科予防処置論・歯科保健指導論第 2 版」医歯薬出版株式会社 2025 年

■ 参考書

全国歯科衛生士教育協議会監修「歯科衛生学シリーズ人体の構造と機能 2 栄養と代謝」医歯薬出版株式会社 2023 年
全国歯科衛生士教育協議会監修「歯科衛生学シリーズ高齢者歯科学」医歯薬出版株式会社 2023 年
全国歯科衛生士教育協議会監修「歯科衛生学シリーズ歯科衛生学総論」医歯薬出版株式会社 2023 年
全国歯科衛生士教育協議会監修「歯科衛生学シリーズ歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 1 保健生態学」医歯薬出版株式会社 2023 年
松田裕子編著「改訂歯ブラシ事典」株式会社学健書院 2015 年

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：ガイダンス、健康と行動変容について 授業内容：自身の日常生活を振り返り、生活習慣の改善について考察する。生活習慣と保健行動を分類する。 事前学修 1.0hr：教科書Ⅰ編 1 章②を読んでおく。1 日の生活記録を作成する。 事後学修 2.0hr：講義内で指示した課題を完成させる。
2 回	授業テーマ：行動変容のための保健行動理論 授業内容：行動変容理論を理解し、患者対応で必要となる技法を学ぶ。 事前学修 1.0hr：教科書Ⅱ編 3 章②を読んでおく。 事後学修 2.0hr：講義内で指示した課題を完成させる。
3 回	授業テーマ：コミュニケーション技術 授業内容：演習を通し、コミュニケーション技術を身につける。 事前学修 1.0hr：良好なコミュニケーションとはどのようなものか、自分なりの考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：講義内で指示した課題を完成させる。
4 回	授業テーマ：医療面接・患者対応法 授業内容：模擬患者を用いた医療面接を実施し、必要な情報を引き出し、安全で質の高い医療を提供するためのコミュニケーション能力を養う。 事前学修 1.0hr：基礎歯科保健指導論第 3 回の授業内容を復習しておく。 事後学修 2.0hr：講義内で指示した課題をまとめてくる。
5 回	授業テーマ：食生活指導(1)栄養バランス 授業内容：健康づくりのための食事計画の進め方について演習を通し理解する。栄養バランスを考慮した 1 日分の理想の献立を考える。 事前学修 1.0hr：バランスのとれた食事はどのようなものか、自分なりの考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：講義内で指示した課題を完成させる。
6 回	授業テーマ：食生活指導(2)症例別栄養バランス 授業内容：妊娠期の栄養バランスを考慮した 1 日分の理想の献立を考える。 事前学修 1.0hr：前回の実習内容を復習しておく。 事後学修 2.0hr：講義内で指示した課題を完成させる。
7 回	授業テーマ：食生活指導(3)食事記録、食事調査分析、食生活指導計画 授業内容：自分の食事記録について問題点と改善策について説明、発表する。 事前学修 1.0hr：直近 1 週間の自身の食事内容を記録しておく。前回までの実習内容を復習しておく。 事後学修 2.0hr：講義内で指示した課題を完成させる。
8 回	授業テーマ：口腔内清掃法(1) 授業内容：各ブラッシング方法と電動歯ブラシを実施する。 事前学修 1.0hr：教科書Ⅲ編 4 章①および参考書「保健生態学」Ⅱ編 2 章②③を読んでおく。 事後学修 2.0hr：各種ブラッシング方法の実技練習を行う。
9 回	授業テーマ：口腔内の観察法と評価法(1) 授業内容：自身の口腔内の歯垢染色を安全に行い、PCR の計算をする。 事前学修 1.0hr：教科書Ⅲ編 2 章⑧-1 を読んでおく。 事後学修 2.0hr：講義内で指示した課題を完成させる。

10 回	授業テーマ：口腔内の観察法と評価法(2) 授業内容：歯垢染色を行い、自身の口腔内に合ったブラッシング方法を考察し実施する。 事前学修 1.0hr：教科書Ⅲ編 2章⑧-1を読んでおく。 事後学修 2.0hr：講義内で指示した課題を完成させる。
11 回	授業テーマ：口腔内の観察法と評価法(3) 授業内容：自身の口腔内の歯垢染色、PCRの計算、自身の口腔内に合ったブラッシング方法を考察し実施する。 事前学修 1.0hr：教科書Ⅲ編 2章⑧-1を読んでおく。 事後学修 2.0hr：講義内で指示した課題を完成させる。
12 回	授業テーマ：口腔内清掃法(2)相互実習 授業内容：相互実習において、口腔内の歯垢染色、PCRの計算、対象者に合ったブラッシング方法を考察する。 事前学修 1.0hr：前回までの講義内容を復習しておく。各種ブラッシング方法の自修(実技練習)を行う。 事後学修 2.0hr：講義内で指示した課題を完成させる。
13 回	授業テーマ：口腔内清掃法(3)相互実習 授業内容：対象者の情報を基に、歯科保健指導を行う。 事前学修 1.0hr：前回までの講義内容を復習しておく。 事後学修 2.0hr：講義内で指示した課題を完成させる。
14 回	授業テーマ：実技評価 授業内容：各種ブラッシング方法を評価する。 事前学修 1.0hr：前回までの講義内容と実習内容を復習しておく。 事後学修 2.0hr：講義内で指示した課題を完成させる。
15 回	授業テーマ：集団指導における指導案の作成 授業内容：健康教育の計画立案を行う。 事前学修 1.0hr：教科書Ⅴ編 1～2章を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示した題材を基に指導案を作成する。

応用歯科保健指導実習

開講学科等：保 | 2 年次 | 1 単位 | 開講期：後 | 備考：科目責任者 森下志穂

三分一 恵里 (さんびいち えり)・高尾 あゆみ (たかお あゆみ)・森下 志穂 (もりした しほ)

■ 授業の概要

各ライフステージの特性に合わせた口腔保健教育を実践するための技術や態度の修得を目指し、模擬症例を基に立案した口腔保健指導計画について、プレゼンテーションおよびロールプレイング実習を行う。

また、地域における口腔保健教育活動を展開する能力を身に付けるために、実施計画に基づいた指導案作成や媒体作成、口腔保健教育の実践を行い、効果的な健康教育の実施に必要な知識、技術、態度を修得する。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：①/②/⑤)

一般目標：各ライフステージの特性に合わせた口腔保健教育を実践するための知識・技術・態度を修得する。

個別目標：①歯科衛生過程に基づいた口腔保健教育を実践できる。

②各ライフステージの特性に合わせた口腔保健教育を実践できる。

③周術期口腔機能管理を実践するための基本的技術・態度を修得する。

④集団指導における効果的な媒体を作成できる。

■ 履修条件

2年次前期に開講される「基礎歯科保健指導論・基礎歯科保健指導実習」の単位を修得していること

前日に開講される「応用歯科保健指導論」に出席していること

2年次前期に履修した「基礎歯科保健指導論・基礎歯科保健指導実習」の講義内容を復習・整理して本授業に臨むこと

■ 評価基準・方法

実技評価 20 %、課題 40 %、講義への取組態度及び発言等(身だしなみ、提出物含む) 40 %の結果および到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。

また、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とし、欠席は減点とする。

■ フィードバック方法

課題及び評価のフィードバックは、授業や manaba を通して行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (発見学習、問題解決学習、グループ・ディスカッション、相互実習を通し、能動的に学修に参加する。)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

全国歯科衛生士教育協議会監修「歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論第 2 版」医歯薬出版株式会社 2025 年

■ 参考書

全国歯科衛生士教育協議会監修「歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能 2 栄養と代謝」医歯薬出版株式会社 2023 年

全国歯科衛生士教育協議会監修「歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学」医歯薬出版株式会社 2023 年

全国歯科衛生士教育協議会監修「歯科衛生学シリーズ 歯科衛生学総論」医歯薬出版株式会社 2023 年

全国歯科衛生士教育協議会編「よくわかる歯科衛生過程」医歯薬出版株式会社 2015 年

全国歯科衛生士教育協議会監修「歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論」医歯薬出版株式会社 2023 年

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：ガイダンス・歯科衛生過程(1)クリティカルシンキング 授業内容：演習を通して歯科衛生業務を行うために必要な歯科衛生過程の活用術を身につける。 事前学修 1.0hr：教科書Ⅲ編 1 章を読んでおく。「基礎歯科保健指導論」の内容を復習しておく。 事後学修 2.0hr：講義内で指示した課題を完成させる。
2 回	授業テーマ：歯科衛生過程(2)歯科衛生アセスメント 授業内容：模擬症例にて歯科衛生アセスメントを実施する。 事前学修 1.0hr：教科書Ⅲ編 1 章①、②-1 を読んでおく。前回の講義内容を復習しておく。 事後学修 2.0hr：講義内で指示した課題を完成させる。
3 回	授業テーマ：歯科衛生過程(3)歯科衛生診断 授業内容：模擬症例にて歯科衛生診断を実施する。 事前学修 1.0hr：教科書Ⅲ編 1 章②-2 を読んでおく。前回までの講義内容を復習しておく。 事後学修 2.0hr：講義内で指示した課題を完成させる。
4 回	授業テーマ：歯科衛生士過程(4)歯科衛生計画立案、歯科衛生介入、歯科衛生評価 授業内容：模擬症例にて歯科衛生計画・介入・評価を実施する。 事前学修 1.0hr：教科書Ⅲ編 1 章② 3.4.5. を読んでおく。前回までの講義内容を復習しておく。 事後学修 2.0hr：講義内で指示した課題を完成させる。
5 回	授業テーマ：口腔健康管理 授業内容：実習を通し口腔健康管理について必要な知識、技術を身につける。 事前学修 1.0hr：参考書「歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論」Ⅱ編 4 章を読んでおく。 事後学修 2.0hr：講義内で指示した課題を完成させる。
6 回	授業テーマ：リスクに応じた指導法 授業内容：う蝕・歯周病・不正咬合等のリスク評価に基づき、適切な支援内容を立案し実践する。 事前学修 1.0hr：教科書Ⅱ編 2 章②③を読んでおく。前回までの講義内容を復習しておく。 事後学修 2.0hr：講義内で指示した課題を完成させる。
7 回	授業テーマ：ライフステージ別指導法(成人期) 授業内容：模擬症例にて、成人期における対象者に考適した支援を実施する。 事前学修 1.0hr：教科書Ⅳ編 1 章⑤⑥を読んでおく。前回までの講義内容を復習しておく。 事後学修 2.0hr：講義内で指示した課題を完成させる。
8 回	授業テーマ：ライフステージ別指導法(妊産婦期) 授業内容：模擬症例にて、妊産婦期における対象者に考適した支援を実施する。 事前学修 1.0hr：教科書Ⅳ編 1 章①を読んでおく。前回までの講義内容を復習しておく。 事後学修 2.0hr：講義内で指示した課題を完成させる。
9 回	授業テーマ：ライフステージ別指導法(幼児期) 授業内容：模擬症例にて、乳幼児期における対象者に考適した支援を実施する。 事前学修 1.0hr：教科書Ⅳ編 1 章②③を読んでおく。前回までの講義内容を復習しておく。 事後学修 2.0hr：講義内で指示した課題を完成させる。

10 回	授業テーマ：ライフステージ別指導法(学齢期) 授業内容：模擬症例にて、学齢期における対象者に考適した支援を実施する。 事前学修 1.0hr：教科書Ⅳ編 1章④を読んでおく。前回までの講義内容を復習しておく。 事後学修 2.0hr：講義内で指示した課題を完成させる。
11 回	授業テーマ：ライフステージ別指導法(高齢期) 授業内容：模擬症例にて、高齢期における対象者に考適した支援を実施する。 事前学修 1.0hr：教科書Ⅳ編 1章⑦を読んでおく。前回までの講義内容を復習しておく。 事後学修 2.0hr：講義内で指示した課題をまとめる。
12 回	授業テーマ：ライフステージ別指導法(実技評価) 授業内容：口腔保健支援に必要な知識・技能を評価する。 事前学修 1.0hr：基礎歯科保健指導論/実習、応用歯科保健指導論/実習の講義内容を復習しておく。 事後学修 2.0hr：講義内で指示した課題をまとめる。
13 回	授業テーマ：集団指導における媒体作成 授業内容：媒体の種類を理解し、対象者に適した媒体の作成を行う。媒体の作成を通して、教育媒体のテーマの構成、対象者へのモチベーション、活用法、話法を学ぶ。 事前学修 1.0hr：「基礎歯科保健指導論・基礎歯科保健指導実習」で作成した指導案を確認しておく。 事後学修 2.0hr：集団指導で使用する指導案と媒体を完成させる。
14 回	授業テーマ：災害時の口腔保健医療【演習】 授業内容：災害時の保健活動について事例を基に具体的対応方法を学ぶ。 事前学修 1.0hr：教科書Ⅳ編 2章③を読んでおく。 事後学修 2.0hr：講義内で指示した課題をまとめる。
15 回	授業テーマ：高齢者疑似体験、車椅子操作実習 授業内容：高齢者疑似体験や車椅子操作を通して、高齢者の心身の変化を知るとともに、介助者としての視点や意識もあわせて体験し、高齢者への配慮について考察する。 事前学修 1.0hr：参考書「歯科衛生学シリーズ歯科診療補助論」P60～62を読んでおく。 事後学修 2.0hr：講義内で指示した課題をまとめる。

摂食嚥下リハビリテーション実習

開講学科等：保 | 3 年次 | 1 単位 | 開講期：前 | 備考：科目責任者 三分一恵里

三分一 恵里 (さんびいち えり)・高尾 あゆみ (たかお あゆみ)・森下 志穂 (もりした しほ)

■ 授業の概要

近年、人々が健康な生活を送るために口腔機能の重要性が注目されてきており、それに伴い歯科衛生士に求められる専門性や役割も大きく変化している。チーム医療の一員として摂食嚥下リハビリテーションに関わるために、歯科衛生士としての専門性や問題解決能力の修得を目指して、口腔機能の評価方法や機能訓練の実際を学ぶ。また、摂食・嚥下機能の発達および障害の状態を適切に評価し、対象に応じた介入方法を選択して実践する能力を身に付ける。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：2023 年度以降入学生①/②/③/⑤、2022 年度以前入学生①/②/⑤)

一般目標： 歯科衛生士としての専門性を生かした関わり方について考えを深め、多職種と協働して摂食嚥下リハビリテーションを実施するための知識・技術・態度を修得する。

- 個別目標：
- ①摂食嚥下機能のスクリーニングテストや観察評価を実施できる。
 - ②口腔衛生管理や食事介助を安全安楽に行うためのポジショニングを確保できる。
 - ③摂食嚥下リハビリテーションの基本的な知識および技術を修得する。
 - ④嚥下調整食の必要性を理解し、対象に合わせた食形態を選択できる。
 - ⑤対象に合わせた摂食嚥下リハビリテーションの計画立案ができる。
 - ⑥栄養管理の目的と方法を説明できる。

■ 履修条件

2 年生までの専門科目の内容を十分に理解していること。

■ 評価基準・方法

定期試験 60 %、課題 30 %、実習参加姿勢 10 % の結果および到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。
また、原則として 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

■ フィードバック方法

課題および定期試験のフィードバックは、授業や学修支援システム manaba を通して行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (グループワーク、摂食嚥下リハビリテーションに関する実習、集団指導のプレゼンテーション)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (集団指導における指導案や媒体作成)

■ 教科書

「歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション 第 3 版」公益社団法人日本歯科衛生士会 監修、医歯薬出版株式会社、2025。

■ 参考書

歯科衛生学シリーズ「高齢者歯科学」一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社、2023。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：オリエンテーション/歯科衛生士と摂食嚥下リハビリテーション 授業内容：グループワークを行い、「食べること」や「摂食嚥下リハビリテーションにおける歯科衛生士の役割」について理解を深める。 事前学修 1.0hr：教科書第 I 編 CHAPTER1・2 を読んでおく。食事支援と歯科衛生士の関わりについて考えておく。 事後学修 1.0hr：授業内で提示した課題を行う。
2 回	授業テーマ：車いす操作実習 (移乗) 授業内容：講義・実習を行い、車いすと診療チェアの移乗を安全、安楽に行うための知識・技術・態度を修得する。 事前学修 1.0hr：「応用歯科保健指導実習」の車いす操作の学習内容を復習しておく。 事後学修 1.0hr：授業内で提示した課題を行う。
3 回	授業テーマ：リハビリテーション栄養 授業内容：栄養管理に関する講義および栄養アセスメントの手法の 1 つである身体計測方法の実習を行う。 事前学修 1.0hr：教科書第 I 編 CHAPTER6 を読んでおく。 事後学修 1.0hr：授業内で提示した課題を行う。
4 回	授業テーマ：リスクマネジメント 授業内容：摂食嚥下障害患者への対応とリスク管理を行うために必要な事項(バイタルサイン、経皮的動脈血酸素飽和度、気管切開等)について理解し、実践する。 事前学修 1.0hr：教科書第 II 編 CHAPTER1 を読んでおく。 事後学修 1.0hr：授業内で提示した課題を行う。
5 回	授業テーマ：摂食嚥下機能評価(スクリーニングテスト、問診等) 授業内容：実習を行い、摂食嚥下障害のスクリーニングテストを実施するための知識・技術・態度を修得する。 事前学修 1.0hr：教科書 p.179-187 を読んでおく。第 5 回「摂食嚥下リハビリテーション学」の講義内容を復習しておく。 事後学修 1.0hr：授業内で提示した課題を行う。
6 回	授業テーマ：口腔機能の評価 授業内容：実習を行い、口腔機能評価を実施するための知識・技術・態度を修得する。 事前学修 1.0hr：教科書第 I 編 CHAPTER5 を読んでおく。第 6 回「摂食嚥下リハビリテーション学」の講義内容を復習しておく。 事後学修 1.0hr：授業内で提示した課題を行う。
7 回	授業テーマ：精密検査(VE・VF)画像評価 授業内容：嚥下内視鏡検査(VE)と嚥下造影検査(VF)画像の観察ポイントを理解し、対象者の摂食嚥下機能を評価するために必要な知識・技術を修得する。 事前学修 1.0hr：教科書第 I 編 CHAPTER4 と p.187-190 を読んでおく。第 7 回「摂食嚥下リハビリテーション学」の講義内容を復習しておく。 事後学修 1.0hr：授業内で提示した課題を行う。
8 回	授業テーマ：摂食嚥下障害に対する訓練(直接訓練・間接訓練) 授業内容：摂食嚥下障害に対する訓練の目的や種類を理解し、実習を通じて間接訓練、直接訓練を実施するための知識・技術・態度を修得する。 事前学修 1.0hr：教科書 p.191-220 を読んでおく。第 8 回「摂食嚥下リハビリテーション学」の講義内容を復習しておく。 事後学修 1.0hr：授業内で提示した課題を行う。

9 回	<p>授業テーマ：摂食嚥下障害患者に対する食事支援：①嚥下調整食、とろみ調整実習②食事介助 授業内容：①実習を行い、摂食嚥下機能に合わせた適切な食形態を選択するための知識・技術・態度を修得する。 ②摂食嚥下機能や全身状態に合わせた適切な食事介助を実践するための知識・技術・態度を修得する。 事前学修 1.0hr：教科書 p.221-234 を読んでおく。事前学習資料を熟読し、内容を理解しておく。第 9 回「摂食嚥下リハビリテーション学」の講義内容を復習しておく。 事後学修 1.0hr：授業内で提示した課題を行う。</p>
10 回	<p>授業テーマ：口腔機能訓練の集団指導(1)指導案作成 授業内容：グループで協力し、口腔機能向上を目的とした各種プログラムの指導案作成を行う。 事前学修 1.0hr：教科書 p.191-234 を読んでおく。「応用歯科保健指導実習」の集団指導の内容を復習しておく。 事後学修 1.0hr：次回授業までに完成した指導案を提出する。</p>
11 回	<p>授業テーマ：摂食嚥下障害患者の口腔衛生管理(1)吸引実習 授業内容：シミュレーターを用いて鼻腔・咽頭吸引を実践したのち、相互実習を行い、鼻腔・咽頭吸引を実施するための知識・技術・態度を修得する。 事前学修 1.0hr：教科書第Ⅱ編 CHAPTER1 を読んでおく。第 11 回「摂食嚥下リハビリテーション実習」の講義内容を復習しておく。 事後学修 1.0hr：授業内で提示した課題を行う。</p>
12 回	<p>授業テーマ：口腔機能訓練の集団指導(2)媒体・シナリオ作成 授業内容：グループで協力し、口腔機能向上を目的とした各種プログラムの媒体・シナリオ作成を行う。 事前学修 1.0hr：第 10 回で作成した指導案をもとに、プログラム内容を考えておく。 事後学修 1.0hr：指示された期日までに集団指導の媒体・シナリオを完成させ、提出する。</p>
13 回	<p>授業テーマ：摂食嚥下障害患者の口腔衛生管理(2)口腔内の評価法および管理の実際 授業内容：相互実習を行い、摂食嚥下障害患者の安全な口腔衛生管理を実施するための知識・技術・態度を修得する。 事前学修 1.0hr：教科書第Ⅱ編 CHAPTER3 を読んでおく。第 13 回「摂食嚥下リハビリテーション学」の講義内容を復習しておく。 事後学修 1.0hr：授業内で提示した課題を行う。</p>
14 回	<p>授業テーマ：摂食嚥下障害患者の症例検討 授業内容：模擬症例にて、摂食嚥下障害患者に対する適切な支援内容を考えて実践する。 事前学修 1.0hr：第 1 回～14 回までの授業内容を復習しておく。第 12 回で提示された課題を行う。「応用歯科保健指導論」の歯科衛生過程の内容を復習しておく。 事後学修 1.0hr：授業内で提示した課題を行う。</p>
15 回	<p>授業テーマ：口腔機能訓練の集団指導(3)発表および計画の修正/まとめ 授業内容：グループで作成した口腔機能向上プログラムのプレゼンテーションを実施する。 事前学修 1.0hr：集団指導の媒体・シナリオ作成やプログラム実施に向けた練習を行う。 事後学修 1.0hr：発表の評価と振り返りをもとに、指導内容や媒体を修正して提出する。</p>

臨床歯科衛生活動実習

開講学科等：保 | 3年次 | 1単位 | 開講期：後 | 備考：科目責任者 金久弥生

石川 由美 (いしかわ ゆみ)・金久 弥生 (かねひさ やよい)・久保田 チエコ (くぼた ちえこ)・宮澤 慶 (みやざわ けい)

■ 授業の概要

- ・個別の対象者に対する一連の業務を体験的に学修することにより、歯科衛生活動に対する理解を深める。また、学年間交流を図れるよう教授する。
- ・臨床歯科衛生活動を安全に実施するために必要な技術を身に付けるとともに、歯科臨床で取り扱われる機器の取扱いについて教授する。
- ・歯科関連企業における歯科衛生活動や歯科衛生士における就職活動の特徴など歯科衛生士のキャリアについて学ぶ。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：①/②/⑤)

一般目標：対象者との円滑かつ効果的なコミュニケーションの基本を習得する。

- 個別指導の方法を身に付け、対象者に対する一連の業務に必要な知識・技術・態度を習得する。
- 臨床臨床実習を経験した歯科衛生士学生として必要な基礎的知識を、症例に基づいて説明できる
- 臨床症例について、根拠をもって判断・選択を行うことができる
- 臨床歯科衛生活動を安全に実施するために必要な技術を習得する。
- 歯科臨床で取り扱われる機器の取扱いを理解できる。
- 歯科関連企業における歯科衛生活動を理解できる。
- 歯科衛生士の就職活動およびキャリアについて理解できる。

個別目標：対象者との円滑かつ効果的なコミュニケーションの基本を実践できる。

- 対象者(個別)に適した歯科保健指導を実施できる。
- 臨床場面を想定した事例から、重要な情報を読み取ることができる
- 学習内容を用いて、適切な対応・判断を考えることができる
- 臨床歯科衛生活動を安全に実施するために必要な技術を実践できる。
- 歯科臨床で取り扱われる機器の取扱いができる。
- 歯科関連企業における歯科衛生活動を説明できる。
- なりたいたい歯科衛生士像を叶えるための就職活動・キャリアデザインを計画できる。

■ 履修条件

原則授業の欠席は認めない。3年次までに学修した専門科目基礎科目・専門科目内容を復習・整理して本授業に臨むこと。

■ 評価基準・方法

単位認定試験 50%、課題提出と取組み態度等 50%の結果および到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。

5分の4以上の出席を単認定試験受験資格の前提条件とし、評価基準・方法に基づき総合的に評価する。

■ フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学習支援システム manaba 等を通じて行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (発見学習、問題解決学習、グループワーク等を通し、能動的に学修に参加する)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (学生発表に関連して、資料作成および発表時に PC を使用する)

■ 教科書

必要に応じて講義内で紹介する。

■ 参考書

歯科診療補助論(医歯薬出版)、歯科予防処置論・歯科保健指導論(医歯薬出版)、保存修復学・歯内療法学(医歯薬出版)

歯科補綴学(医歯薬出版)、その他必要に応じて講義内で紹介する

■ 授業テーマ・授業内容と授業外(事前・事後)の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：オリエンテーション 授業内容：授業概要について講義を行う。 事前学修 1.0hr：本科目のシラバスを熟読しておく。 事後学修 1.0hr：学習内容を振り返り、まとめを作成する。
2 回	授業テーマ：歯科衛生活動におけるコミュニケーション方法 授業内容：対象者と円滑かつ効果的に関わるためのコミュニケーション方法を学修する。 事前学修 1.0hr：前回の復習とともに、対象者とのコミュニケーション方法について学習しておく。 事後学修 1.0hr：学習内容を振り返り、まとめを作成する。
3 回	授業テーマ：歯科衛生士における就職活動の特徴 授業内容：これからの歯科衛生士に求められる力や社会人基礎力などについて講義を行う。 事前学修 1.0hr：前回の復習とともに、歯科衛生士に求められる力や社会人基礎力などについて学習しておく。 事後学修 1.0hr：学習内容を振り返り、まとめを作成する。
4 回	授業テーマ：歯科関連企業における歯科衛生活動 授業内容：歯科関連企業における歯科衛生活動について講義を行う。 事前学修 1.0hr：前回の復習とともに、歯科関連企業における歯科衛生活動について学習しておく。 事後学修 1.0hr：学習内容を振り返り、まとめを作成する。
5 回	授業テーマ：他学年に対する口腔衛生指導①：医療面接、医療面接結果に応じた指導準備 授業内容：3年生相互実習による、歯科衛生過程に基づく医療面接の実施と患者指導(予行演習) 歯科衛生過程の流れ(情報収集→診断→介入計画)を実際に体験的に理解する。 対人コミュニケーション・医療面接の基本姿勢を身に付ける。 他学年との実習に向けて、記録・指導計画立案の手順を理解する。 事前学修 1.0hr：歯科衛生過程、医療面接について学しておく。 事後学修 1.0hr：課題を完成させておく。
6 回	授業テーマ：他学年に対する口腔衛生指導②：医療面接、医療面接結果に応じた指導の実践 授業内容：医療面接や質問票、口腔内情報、ブラッシング動画などの資料から、情報収集を行う。 医療面接の結果に応じた口腔衛生指導を行う。 事前学修 1.0hr：患者指導について学修しておく。 事後学修 1.0hr：課題を完成させておく。

7 回	<p>授業テーマ：他学年に対する口腔衛生指導③：歯科衛生計画立案、書面化、指導票の作成、フィードバック</p> <p>授業内容：前回収集した患者情報をもとに、歯科衛生介入計画を立案する。 口腔衛生指導の指導票を作成する。 業務記録を作成する。</p> <p>事前学修 1.0hr：医療面接および患者指導について復習しておく。歯科衛生過程に基づいた指導計画立案について学修しておく。 事後学修 1.0hr：課題を完成させておく。</p>
8 回	<p>授業テーマ：スポーツ歯科①：マウスガードの作成</p> <p>授業内容：マウスガード作成の実習を行う。</p> <p>事前学修 1.0hr：前回の復習とともに、マウスガードの作成方法について学習しておく。 事後学修 1.0hr：学習内容を振り返り、まとめを作成する。</p>
9 回	<p>授業テーマ：スポーツ歯科②：マウスガード作成における指導法</p> <p>授業内容：マウスガードの作成実習および使用上の注意などの指導について講義を行う。</p> <p>事前学修 1.0hr：前回の復習とともに、マウスガードの作成方法および使用上の注意などの指導などについて学習しておく。 事後学修 1.0hr：学習内容を振り返り、まとめを作成する。</p>
10 回	<p>授業テーマ：スポーツ歯科③：マウスガードの必要性和効果</p> <p>授業内容：マウスガードの作成および必要性和効果などについて講義・実習を行う。</p> <p>事前学修 1.0hr：臨床臨地実習の実習日誌等に記載した様々な症例について学習しておく。 事後学修 1.0hr：学習内容を振り返り、まとめを作成する。</p>
11 回	<p>授業テーマ：歯科臨床における事例検討①</p> <p>授業内容：歯科臨床における歯科衛生活動事例を取り上げ、事例に含まれる情報の整理や対応などについて検討する。</p> <p>事前学修 1.0hr：臨床臨地実習の実習日誌等に記載した様々な症例について学習しておく。 事後学修 1.0hr：臨床判断に必要な基礎知識の観点から、事例を振り返る。</p>
12 回	<p>授業テーマ：歯科臨床における事例検討の発表とフィードバック①</p> <p>授業内容：歯科衛生活動事例検討の内容を発表し、意見交換やフィードバックを通して理解を深める。</p> <p>事前学修 1.0hr：専門用語や基本事項について確認しておく。 事後学修 1.0hr：歯科臨床における代表的な事例を振り返り、重要なポイントを整理する。小テストで理解が不十分であった内容を復習する。</p>
13 回	<p>授業テーマ：歯科臨床で取扱われる機器②：ホワイトニング</p> <p>授業内容：ホワイトニングについて学修する。</p> <p>事前学修 1.0hr：ホワイトニングについて学習しておく。 事後学修 1.0hr：学習内容を振り返り、まとめを作成する。</p>
14 回	<p>授業テーマ：歯科臨床で取扱われる機器①：レーザー機器</p> <p>授業内容：歯科臨床で取り扱うレーザー機器について学修する。</p> <p>事前学修 1.0hr：歯科臨床で取り扱うレーザー機器について学習しておく。 事後学修 1.0hr：学習内容を振り返り、まとめを作成する。</p>
15 回	<p>授業テーマ：歯科所見による個人識別</p> <p>授業内容：法歯学における歯科所見による個別識別について講義を行う。</p> <p>事前学修 1.0hr：前回の復習とともに、法歯学における歯科所見による個別識別について学習しておく。 事後学修 1.0hr：学習内容を振り返り、まとめを作成する。</p>

歯科臨床と材料の基礎

開講学科等：保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：後 | 備考：科目責任者 河野舞

梅森 幸 (うめもり さち)・金子 潤 (かねこ じゅん)・河野 舞 (こうの まい)・竹島 浩 (たけしま ひろし)・吉川 正芳 (よしかわ まさよし)

■ 授業の概要

本授業はオムニバス方式(全 15 回)で、前半は歯科臨床の基礎、後半は歯科材料の基礎について講義を行う。

歯科臨床の基礎(河野・金子・吉川・梅森・竹島 / 7 回)

材料の基礎(河野 / 8 回)

歯科臨床の基礎：歯科診療所で行われる一般的な歯科診療のシステムや流れについて理解し、歯科保存治療、歯周治療、補綴歯科治療、口腔外科治療、小児歯科治療、矯正歯科治療の概要を学ぶ。今後学修する歯科臨床科目において歯科衛生士業務と関連付けるための基礎知識を修得する。

歯科材料の基礎：歯科医療の場では様々な歯科材料が取り扱われている。歯科材料は歯科衛生士の取り扱い次第で性質が大きく影響され、患者の口腔内環境が大きく変化する可能性があることから、責任は非常に重く、歯科衛生士にとって歯科材料に関する知識は必須である。歯科衛生士が歯科診療補助において歯科材料の取り扱いを円滑かつ確実な操作で行うためには、各材料の基本的性質を踏まえた上での正しい操作法の修得が望まれるため、本授業では歯科材料の理工学的性質・種類・目的・用途や、実際の歯科臨床との関連性について理解し、歯科衛生士として備えるべき基礎知識を学ぶ。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：①)

一般目標：歯科臨床の基礎：歯科医療の概要を学び、歯科臨床科目および主要三科を学修するための基礎知識を修得することで、歯科専門科目の理解を容易にし、それらの相互関係を知る。

歯科材料の基礎：歯科医療で使用される歯科材料の基礎的な理工学的性質、種類、目的、用途や、実際の歯科臨床との関連性について理解し、口腔の健康管理に貢献できる能力を培う。

個別目標：歯科臨床の基礎：

- ① 歯科診療の一般的な流れを説明できる。
- ② 歯科保存治療、歯周治療、口腔外科治療、補綴歯科治療、小児歯科治療、歯科矯正治療の概要を説明できる。

歯科材料の基礎：

- ① 歯科材料の組成や種類、その役割について歯科理工学的に説明できる。
- ② 歯科診療で使用される様々な歯科材料の取り扱いを説明できる。

■ 履修条件

1 年次前期で履修した専門基礎分野および口腔保健学概論の科目内容を復習・整理して本授業に臨むこと

■ 評価基準・方法

全 15 回の 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とし、公欠以外の遅刻欠席は総合評価から減点する。

総合評価は定期試験 100 % とするが、授業中における参加姿勢や発言に問題がある場合は減点対象とし、到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。

■ フィードバック方法

課題等のフィードバックは授業中や学修支援システム manaba を通して行う

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

なし

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

歯科臨床の基礎：「歯科衛生士のための歯科臨床概論」第 2 版 医歯薬出版

歯科材料の基礎：「イラストと写真でわかる歯科材料の基礎」第 5 版 永末書店

■ 参考書

歯科材料の基礎：歯科衛生学シリーズ「歯科材料」医歯薬出版

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：歯科臨床の基礎：歯科診療と歯科診療所 授業内容：本授業の流れおよび歯科臨床の場と歯科診療の対象者、歯科診療所のスタッフと安全管理、歯科診療所における業務について解説する 事前学修 2.0hr：教科書の第 1 章から第 3 章までを読んでおくこと 事後学修 2.0hr：授業での配布資料や教科書を利用して復習すること
2 回	授業テーマ：歯科臨床の基礎：歯科保存治療の概要 授業内容：歯科保存治療(保存修復・歯内療法)の対象疾患と治療法の概要について解説する 事前学修 2.0hr：教科書の該当ページを読んでおくこと 事後学修 2.0hr：授業での配布資料や教科書を利用して復習すること
3 回	授業テーマ：歯科臨床の基礎：歯周治療の概要 授業内容：歯周治療の対象疾患と治療法の概要について解説する 事前学修 2.0hr：教科書の該当ページを読んでおくこと 事後学修 2.0hr：授業での配布資料や教科書を利用して復習すること
4 回	授業テーマ：歯科臨床の基礎：口腔外科治療の概要 授業内容：口腔外科治療の対象疾患と治療法の概要について解説する 事前学修 2.0hr：教科書の該当ページを読んでおくこと 事後学修 2.0hr：授業での配布資料や教科書を利用して復習すること
5 回	授業テーマ：歯科臨床の基礎：補綴歯科治療の概要 授業内容：補綴歯科治療(クラウンブリッジ・有床義歯)の対象疾患と治療法の概要について解説する 事前学修 2.0hr：教科書の該当ページを読んでおくこと 事後学修 2.0hr：授業での配布資料や教科書を利用して復習すること
6 回	授業テーマ：歯科臨床の基礎：小児歯科治療の概要 授業内容：小児歯科治療の対象疾患と治療法の概要について解説する 事前学修 2.0hr：教科書の該当ページを読んでおくこと 事後学修 2.0hr：授業での配布資料や教科書を利用して復習すること。
7 回	授業テーマ：歯科臨床の基礎：矯正歯科治療の概要 授業内容：矯正歯科治療の対象疾患と治療法の概要について解説する 事前学修 2.0hr：教科書の該当ページを読んでおくこと 事後学修 2.0hr：授業での配布資料や教科書を利用して復習すること

8 回	授業テーマ：歯科材料の基礎：歯冠材料の基礎知識 授業内容：歯科材料の種類、所用性質、素材、基本的性質について 事前学修 2.0hr：教科書「歯科材料の基礎」第1章を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：授業での配布資料や教科書を利用して復習すること
9 回	授業テーマ：歯科材料の基礎：印象材 授業内容：印象材の種類と分類、用途、性質、取り扱い 事前学修 2.0hr：教科書「歯科材料の基礎」の第2章「印象材」を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：授業での配布資料や教科書を利用して復習すること
10 回	授業テーマ：歯科材料の基礎：模型用材料 授業内容：模型用材料の種類と分類、用途、性質、取り扱い 事前学修 2.0hr：教科書「歯科材料の基礎」の第2章「模型用材料」を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：授業での配布資料や教科書を利用して復習すること
11 回	授業テーマ：歯科材料の基礎：合着・接着材 授業内容：合着・接着材の種類と分類、用途、性質、取り扱い 事前学修 2.0hr：教科書「歯科材料の基礎」の第2章「合着・接着材」を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：授業での配布資料や教科書を利用して復習すること
12 回	授業テーマ：歯科材料の基礎：歯冠修復材① 授業内容：歯冠修復材の種類と分類、用途、性質、取り扱い 事前学修 2.0hr：教科書「歯科材料の基礎」の第2章「歯冠修復材」を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：授業での配布資料や教科書を利用して復習すること
13 回	授業テーマ：歯科材料の基礎：歯冠修復材②・仮封材 授業内容：歯冠修復材の種類と分類、用途、性質、取り扱い 仮封材の種類、適応、取り扱い 事前学修 2.0hr：教科書「歯科材料の基礎」の第2章「仮封材」を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：授業での配布資料や教科書を利用して復習すること
14 回	授業テーマ：歯科材料の基礎：仮着材、インプラント、ホワイトニング 授業内容：仮着材・インプラントの種類、適応、取り扱い 事前学修 2.0hr：教科書「歯科材料の基礎」の第3章「その他」の該当ページを読んでおくこと 事後学修 2.0hr：授業での配布資料や教科書を利用して復習すること
15 回	授業テーマ：歯科材料の基礎：ホワイトニング、セラミック、歯科用金属、ワックス 授業内容：ホワイトニング、セラミック、歯科用金属、ワックスの種類等の適応と取り扱い 事前学修 2.0hr：教科書「歯科材料の基礎」の第3章「その他」の該当ページを読んでおくこと 事後学修 2.0hr：授業での配布資料や教科書を利用して復習すること

基礎歯科診療補助論

開講学科等：保 | 2年次 | 2単位 | 開講期：前 | 備考：科目責任者 星合愛子

田中 美咲 (たなか みさき)・星合 愛子 (ほしあい あいこ)

■ 授業の概要

歯科衛生士の三大業務の一つである歯科診療補助を行うために必要な基本的知識と技術を学ぶ。
安全な歯科医療を提供するために必要な感染予防対策の方法を学ぶ。
また、スタンダードプリコーションを基本とした感染予防対策について理解を深める。
歯科材料の基本的な取り扱い方法を学ぶ。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：①/②)

一般目標：専門的な歯科診療補助のために必要な基礎的知識、技術および態度を習得する。

- 個別目標：① 感染症の概念と感染予防対策を説明できる。
- ② 滅菌と消毒の定義を説明できる。
 - ③ 共同動作を実施できる。
 - ④ 口腔写真の撮影法を説明できる。
 - ⑤ ラバーダム防湿の方法を説明できる。
 - ⑥ ラバーダム防湿を実施できる。
 - ⑦ 印象材・石膏の取り扱い方法を説明できる。

■ 履修条件

- 1年次までの基礎分野・専門基礎分野の学修内容を整理・復習して授業に臨むこと。
- 1年次後期「歯科医療安全実習」の単位を修得していること。
「歯科医療安全実習」の学修内容を整理・復習して臨むこと。

■ 評価基準・方法

定期試験 80 %、課題 10 %、授業への取り組み姿勢及び発言等(提出物含む) 10 %の結果及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。
また、原則として 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

■ フィードバック方法

課題及び定期試験のフィードバックは、授業および学修支援システム manaba を通して行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (PBL チュートリアル)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

全国歯科衛生士教育協議会 監修「歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論」医歯薬出版株式会社
全国歯科衛生士教育協議会 監修「歯科衛生学シリーズ 歯科機器」医歯薬出版株式会社

■ 参考書

必要に応じて授業の中で紹介する。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：オリエンテーション 授業内容：基礎歯科診療補助論の履修についてオリエンテーションを行う。 以下の内容について講義した後、授業テーマについてディスカッションを行う。 ① 医療人としての心構えと身だしなみ 事前学修 2.0hr：歯科医療安全実習で作成したポートフォリオを事前に学習をする。 事後学修 2.0hr：医療人としての心構えと身だしなみについてポートフォリオのための資料を作成する。
2 回	授業テーマ：感染症の概念 授業内容：以下の内容について講義した後、授業テーマについてグループワークを行う。 ① 歯科医療における感染症の概念 ② 標準予防策(スタンダードプリコーション) ③ リスクアセスメント 事前学修 2.0hr：教科書「歯科診療補助論」I編 2章 医療安全と感染予防を読む。 事後学修 2.0hr：感染症の概念についてポートフォリオのための資料を作成する。
3 回	授業テーマ：感染予防対策 授業内容：以下の内容について実習した後、授業テーマについてグループワークを行う。 ① 医療従事者としての対応 ② 環境感染予防対策 ③ 感染事故時の対応 事前学修 2.0hr：教科書「歯科診療補助論」I編 2章 医療安全と感染予防を読む。 事後学修 2.0hr：感染予防対策についてポートフォリオのための資料を作成する。
4 回	授業テーマ：消毒と滅菌/医療廃棄物 授業内容：以下の内容について講義した後、授業テーマについてグループワークを行う。 ① 消毒と滅菌 ② 医療廃棄物の取り扱い 事前学修 2.0hr：教科書「歯科診療補助論」I編 2章 医療安全と感染予防を読む。 事後学修 2.0hr：消毒と滅菌/医療廃棄物についてポートフォリオのための資料を作成する。
5 回	授業テーマ：共同動作 授業内容：以下の内容について講義した後、授業テーマについてグループワークを行う。 ① 共同動作の概念 ② 術者・補助者・患者のポジショニング ③ 診療時のライティング ④ フォーハンデッドデンティストリー ⑤ 器具の受け渡し ⑥ パキュームテクニク ⑦ スリーウェイシリンジテクニク 事前学修 2.0hr：教科書「歯科診療補助論」I編 3章 共同動作を読む。 事後学修 2.0hr：共同動作についてポートフォリオのための資料を作成する。

6 回	授業テーマ：共同動作マニキン実習(1) 授業内容：以下の内容について実習した後、授業テーマについてグループワークを行う。 ① 術者・補助者・患者のポジショニング ② 診療時のライティング ③ フォーハンデッドデンティストリー ④ 器具の受け渡し ⑤ パキュームテクニック ⑥ スリーウェイシリンジテクニック 事前学修 2.0hr：教科書「歯科診療補助論」I編 3章 共同動作を読む。 事後学修 2.0hr：共同動作についてポートフォリオのための資料を作成する。
7 回	授業テーマ：共同動作マニキン実習(2) 授業内容：以下の内容について実習した後、授業テーマについてグループワークを行う。 ① 術者・補助者・患者のポジショニング ② 診療時のライティング ③ フォーハンデッドデンティストリー ④ 器具の受け渡し ⑤ パキュームテクニック ⑥ スリーウェイシリンジテクニック 事前学修 2.0hr：教科書「歯科診療補助論」I編 3章 共同動作を読む。 事後学修 2.0hr：共同動作についてポートフォリオのための資料を作成する。
8 回	授業テーマ：口腔写真撮影講義 授業内容：以下の内容について講義した後、授業テーマについてグループワークを行う。 ① 口腔写真撮影法 事前学修 2.0hr：教科書「歯科診療補助論」I編 3章 口腔内写真撮影について事前に学習する。 事後学修 2.0hr：口腔内写真撮影についてポートフォリオのための資料を作成する。
9 回	授業テーマ：印象採得・石膏注入マニキン実習(1) 授業内容：以下の内容について実習した後、授業テーマについてグループワークを行う。 ① 印象採得 ② 石膏注入 事前学修 2.0hr：教科書「歯科診療補助論」I編 5章 歯科診療で扱う歯科材料について事前に学習する。 事後学修 2.0hr：印象採得・石膏注入についてポートフォリオのための資料を作成する。
10 回	授業テーマ：印象採得・石膏注入マニキン実習(2) 授業内容：以下の内容について実習した後、授業テーマについてグループワークを行う。 ① 印象採得 ② 石膏注入 事前学修 2.0hr：教科書「歯科診療補助論」I編 5章 歯科診療で扱う歯科材料について事前に学習する。 事後学修 2.0hr：印象採得・石膏注入についてポートフォリオのための資料を作成する。
11 回	授業テーマ：印象採得・石膏注入マニキン実習(3) 授業内容：以下の内容について実習した後、授業テーマについてグループワークを行う。 ① 印象採得 ② 石膏注入 事前学修 2.0hr：教科書「歯科診療補助論」I編 5章 歯科診療で扱う歯科材料について事前に学習する。 事後学修 2.0hr：印象採得・石膏注入についてポートフォリオのための資料を作成する。
12 回	授業テーマ：ラバーダム防湿講義 授業内容：以下の内容について講義した後、授業テーマについてグループワークを行う。 ① ラバーダム防湿の目的 ② ラバーダム防湿の利点・欠点 ③ ラバーダム防湿の手順 事前学修 2.0hr：教科書「歯科診療補助論」I編 3章 ラバーダム防湿について事前に学習する。 事後学修 2.0hr：ラバーダム防湿についてポートフォリオのための資料を作成する。
13 回	授業テーマ：ラバーダム防湿マニキン実習(1) 授業内容：以下の内容について実習した後、授業テーマについてグループワークを行う。 ① ラバーダム防湿(臼歯部) 事前学修 2.0hr：教科書「歯科診療補助論」I編 3章 ラバーダム防湿について事前に学習する。 事後学修 2.0hr：ラバーダム防湿についてポートフォリオのための資料を作成する。
14 回	授業テーマ：ラバーダム防湿マニキン実習(2) 授業内容：以下の内容について実習した後、授業テーマについてグループワークを行う。 ① ラバーダム防湿(小臼歯部・前歯部) 事前学修 2.0hr：教科書「歯科診療補助論」I編 3章 ラバーダム防湿について事前に学習する。 事後学修 2.0hr：ラバーダム防湿についてポートフォリオのための資料を作成する。
15 回	授業テーマ：まとめ 授業内容：これまでの授業内容についてまとめを行う。 事前学修 2.0hr：教科書全般の再学習を行う。 事後学修 2.0hr：全てのポートフォリオ資料をまとめる。

臨床歯科診療補助論

開講学科等：保 | 2年次 | 2単位 | 開講期：後 | 備考：科目責任者 星合愛子

田中 美咲 (たなか みさき)・星合 愛子 (ほしあい あいこ)

■ 授業の概要

歯科衛生士の三大業務の一つである歯科診療補助を行うために必要な基本的知識と技術を学ぶ。
歯科衛生士の臨床では、チェアサイドでの専門性の高い歯科診療補助が求められる。
本授業では、歯科診療の手順とその際に準備する器材を学ぶ。
また、歯科診療の補助の際に患者へ配慮すべきことを学ぶ。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：①/②)

一般目標：専門的な歯科診療補助のために必要な基礎的知識、技術および態度を習得する。
個別目標：① 各種歯科診療の特徴を説明できる。
② 歯科診療の手順を説明できる。
③ 歯科診療の手順に沿って器材を説明できる。
④ 歯科診療補助の際に患者へ配慮すべきことを説明できる。

■ 履修条件

2年前期までの基礎分野・専門基礎分野の学修内容を整理・復習して授業に臨むこと。
2年前期「基礎歯科診療補助論」「基礎歯科診療補助実習」の単位を修得していること。
「基礎歯科診療補助論」「基礎歯科診療補助実習」の学修内容を整理・復習して臨むこと。

■ 評価基準・方法

定期試験 80%、課題 10%、授業への取り組み姿勢及び発言等(提出物含む) 10%の結果及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。
また、原則として5分の4以上の出席を評価の前提条件とする。

■ フィードバック方法

課題(小テスト・レポート)および定期試験のフィードバックは、授業および学修支援システム manaba を通して行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (PBL チュートリアル)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

全国歯科衛生士教育協議会 監修「歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論」医歯薬出版株式会社
全国歯科衛生士教育協議会 監修「歯科衛生学シリーズ 歯科機器」医歯薬出版株式会社
全国歯科衛生士教育協議会 監修「歯科衛生学シリーズ 障害者歯科学」医歯薬出版株式会社

■ 参考書

必要に応じて授業の中で紹介する。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：保存修復時の診療補助(1) 授業内容：以下の内容について講義した後、授業テーマについてグループワークを行う。 ① 保存修復時の診療補助の手順および器材の使用法 事前学修 2.0hr：教科書「歯科診療補助論」I編 5章 保存修復時の診療補助について事前に学習する。 事後学修 2.0hr：保存修復時の診療補助についてポートフォリオのための資料を作成する。
2 回	授業テーマ：保存修復時の診療補助(2) 授業内容：以下の内容について講義した後、授業テーマについてグループワークを行う。 ① 保存修復時の診療補助の手順および器材の使用法 事前学修 2.0hr：教科書「歯科診療補助論」I編 5章 保存修復時の診療補助について事前に学習する。 事後学修 2.0hr：保存修復時の診療補助についてポートフォリオのための資料を作成する。
3 回	授業テーマ：歯内療法時の診療補助(1) 授業内容：以下の内容について講義した後、授業テーマについてグループワークを行う。 ① 歯内療法時の診療補助の手順および器材の使用法 事前学修 2.0hr：教科書「歯科診療補助論」I編 5章 歯内療法時の診療補助について事前に学習する。 事後学修 2.0hr：歯内療法時の診療補助についてポートフォリオのための資料を作成する。
4 回	授業テーマ：歯内療法時の診療補助(2) 授業内容：以下の内容について講義した後、授業テーマについてグループワークを行う。 ① 歯内療法時の診療補助の手順および器材の使用法 事前学修 2.0hr：教科書「歯科診療補助論」I編 5章 歯内療法時の診療補助について事前に学習する。 事後学修 2.0hr：歯内療法時の診療補助についてポートフォリオのための資料を作成する。
5 回	授業テーマ：歯周外科治療時の診療補助 授業内容：以下の内容について講義した後、授業テーマについてグループワークを行う。 ① 歯周外科治療時の診療補助の手順および器材の使用法 事前学修 2.0hr：教科書「歯科診療補助論」I編 5章 歯周外科治療時の診療補助について事前に学習する。 事後学修 2.0hr：歯周外科治療時の診療補助についてポートフォリオのための資料を作成する。
6 回	授業テーマ：口腔外科治療・歯科麻酔時の診療補助 授業内容：以下の内容について講義した後、授業テーマについてグループワークを行う。 ① 口腔外科治療・歯科麻酔時の診療補助の手順および器材の使用法 事前学修 2.0hr：教科書「歯科診療補助論」I編 5章 口腔外科治療・歯科麻酔時の診療補助について事前に学習する。 事後学修 2.0hr：口腔外科治療・歯科麻酔時の診療補助についてポートフォリオのための資料を作成する。
7 回	授業テーマ：補綴治療時の診療補助(1) 授業内容：以下の内容について講義した後、授業テーマについてグループワークを行う。 ① 補綴治療時の診療補助の手順および器材の使用法 事前学修 2.0hr：教科書「歯科診療補助論」I編 5章 補綴治療時の診療補助について事前に学習する。 事後学修 2.0hr：補綴治療時の診療補助についてポートフォリオのための資料を作成する。

8 回	授業テーマ：補綴治療時の診療補助(2) 授業内容：以下の内容について講義した後、授業テーマについてディスカッションを行う。 ① 補綴治療時の診療補助の手順および器材の使用法 事前学修 2.0hr：教科書「歯科診療補助論」I編 5章 補綴治療時の診療補助について事前に学習する。 事後学修 2.0hr：補綴治療時の診療補助についてポートフォリオのための資料を作成する。
9 回	授業テーマ：矯正治療時の診療補助(1) 授業内容：以下の内容について講義した後、授業テーマについてディスカッションを行う。 ① 矯正治療時の診療補助の手順および器材の使用法 事前学修 2.0hr：教科書「歯科診療補助論」I編 5章 矯正治療時の診療補助について事前に学習する。 事後学修 2.0hr：矯正治療時の診療補助についてポートフォリオのための資料を作成する。
10 回	授業テーマ：矯正治療時の診療補助(2) 授業内容：以下の内容について講義した後、授業テーマについてディスカッションを行う。 ① 矯正治療時の診療補助の手順および器材の使用法 事前学修 2.0hr：教科書「歯科診療補助論」I編 5章 矯正治療時の診療補助について事前に学習する。 事後学修 2.0hr：矯正治療時の診療補助についてポートフォリオのための資料を作成する。
11 回	授業テーマ：周術期における歯科診療の補助 授業内容：以下の内容について講義した後、授業テーマについてグループワークを行う。 ① 周術期口腔機能管理の対象 ② 周術期における医療連携 事前学修 2.0hr：教科書「歯科診療補助論」II編 2章 周術期における歯科診療の補助について事前に学習する。 事後学修 2.0hr：周術期における歯科診療の補助についてポートフォリオのための資料を作成する。
12 回	授業テーマ：主な全身疾患とその対応 授業内容：以下の内容について講義した後、授業テーマについてディスカッションを行う。 ① 主な全身疾患とその対応 事前学修 2.0hr：教科書「歯科診療補助論」II編 1章 主な全身疾患とその対応について事前に学習する。 事後学修 2.0hr：主な全身疾患とその対応についてポートフォリオのための資料を作成する。
13 回	授業テーマ：小児歯科治療時の診療補助 授業内容：以下の内容について講義した後、授業テーマについてディスカッションを行う。 ① 小児歯科治療時の診療補助の手順および器材の使用法 事前学修 2.0hr：教科書「歯科診療補助論」I編 5章 小児歯科治療時の診療補助について事前に学習する。 事後学修 2.0hr：小児歯科治療時の診療補助についてポートフォリオのための資料を作成する。
14 回	授業テーマ：障害者における歯科診療の補助 授業内容：以下の内容について講義した後、授業テーマについてディスカッションを行う。 ① 障害者歯科治療時の診療補助の手順および器材の使用法 事前学修 2.0hr：教科書「障害者歯科学」3章 障害者の歯科医療と行動調整について事前に学習する。 事後学修 2.0hr：障害者における歯科診療の補助についてポートフォリオのための資料を作成する。
15 回	授業テーマ：まとめ 授業内容：本授業の総括を行う。 事前学修 2.0hr：第1回～第14回までのポートフォリオについて事前に学習する。 事後学修 2.0hr：臨床歯科診療補助論全体のポートフォリオを作成する。

基礎歯科診療補助実習

開講学科等：保 | 2 年次 | 1 単位 | 開講期：前 | 備考：科目責任者 星合愛子

梅森 幸 (うめもり さち)・田中 美咲 (たなか みさき)・星合 愛子 (ほしあい あいこ)

■ 授業の概要

歯科衛生士の三大業務の一つである歯科診療補助を行うために必要な基本的知識と技術を学ぶ。
安全な歯科医療を提供するために必要な医療安全、共同動作の技術を学ぶ。
歯科材料の基本的な取り扱い方法を学ぶ。
口腔写真撮影の方法を学ぶ。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：①/②/⑤)

一般目標：専門的な歯科診療補助のために必要な基礎的知識、技術および態度を習得する。

- 個別目標：① 感染症の概念を説明できる。
② 感染予防対策を実施できる。
③ 共同動作を実施できる。
④ 口腔写真撮影を実施できる。
⑤ 各種歯科材料の取り扱いについて説明できる。

■ 履修条件

- 1 年次までの基礎分野・専門基礎分野の学修内容を整理・復習して授業に臨むこと。
1 年次後期「歯科医療安全実習」の単位を修得していること。
「歯科医療安全実習」の学修内容を整理・復習して臨むこと。

■ 評価基準・方法

実技評価 60 %、課題 20 %、学修内容振り返りシート 10%、授業への取り組み姿勢及び発言等 (提出物含む) 10 %の結果及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。
また、原則として 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

■ フィードバック方法

課題 (小テスト・レポート) および定期試験のフィードバックは、授業および学修支援システム manaba を通して行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (PBL チュートリアル)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

全国歯科衛生士教育協議会 監修「歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論」医歯薬出版株式会社
全国歯科衛生士教育協議会 監修「歯科衛生学シリーズ 歯科機器」医歯薬出版株式会社

■ 参考書

必要に応じて授業の中で紹介する。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：医療人としての身だしなみ／相互実習オリエンテーション 授業内容：基礎歯科診療補助実習の履修についてオリエンテーションを行う。 以下の内容について講義・演習した後、授業テーマについてグループワークを行う。 ① 相互実習時の心構え ② 相互実習のルール ③ 医療人としての身だしなみ ④ 歯科衛生士の義務 事前学修 1.0hr：歯科医療安全実習で作成したポートフォリオを事前に学習をする。 事後学修 1.0hr：医療人としての心構えと身だしなみについてポートフォリオのための資料を作成する。
2 回	授業テーマ：感染症の概念 授業内容：以下の内容について演習した後、授業テーマについてグループワークを行う。 ① 感染症の概念 事前学修 1.0hr：教科書「歯科診療補助論」I 編 2 章 医療安全と感染予防を読む。 事後学修 1.0hr：感染症の概念についてポートフォリオのための資料を作成する。
3 回	授業テーマ：手指衛生実習／感染予防対策実習 授業内容：以下の内容について講義した後、授業テーマについてグループワークを行う。 ① 手指衛生 ② 個人防護具の着脱 事前学修 1.0hr：教科書「歯科診療補助論」I 編 2 章 医療安全と感染予防を読む。 事後学修 1.0hr：手指衛生／感染予防対策についてポートフォリオのための資料を作成する。
4 回	授業テーマ：消毒法・滅菌法実習 授業内容：以下の内容について実習した後、授業テーマについてグループワークを行う。 ① 滅菌法 ② 消毒法 事前学修 1.0hr：教科書「歯科診療補助論」I 編 2 章 医療安全と感染予防について事前に学習する。 事後学修 1.0hr：消毒法・滅菌法についてポートフォリオのための資料を作成する。
5 回	授業テーマ：歯科材料(1) 授業内容：以下の内容について実習した後、授業テーマについてグループワークを行う。 ① 印象材 ② 石膏 事前学修 1.0hr：教科書「歯科診療補助論」I 編 5 章 歯科診療で取り扱う歯科材料を読む。 事後学修 1.0hr：印象材・石膏についてポートフォリオのための資料を作成する。

6 回	授業テーマ：歯科材料(2) 授業内容：以下の内容について実習した後、授業テーマについてグループワークを行う。 ① セメント ② ワックス ③ コンパウンド 事前学修 1.0hr：教科書「歯科診療補助論」I編 5章 歯科診療で取り扱う歯科材料を読む。 事後学修 1.0hr：セメント・ワックス・コンパウンドについてポートフォリオのための資料を作成する。
7 回	授業テーマ：衛生材料 授業内容：以下の内容について実習した後、授業テーマについてグループワークを行う。 ① 綿花・ガーゼの取り扱い ② 綿柱 ③ 綿球 事前学修 1.0hr：配布資料について事前に学習する。 事後学修 1.0hr：衛生材料についてポートフォリオのための資料を作成する。
8 回	授業テーマ：共同動作相互実習(1) A グループ 授業内容：以下の内容について実習した後、授業テーマについてグループワークを行う。 ① ポジショニング ② 器具の受け渡し ③ 衛生材料の製作 ④ バキュームテクニック ⑤ スリーウェイシリンジテクニック 事前学修 1.0hr：教科書「歯科診療補助論」I編 3章 共同動作について事前に学習する。 事後学修 1.0hr：学修内容振り返りシートを記入する。
9 回	授業テーマ：共同動作相互実習(2) B グループ 授業内容：以下の内容について実習した後、授業テーマについてグループワークを行う。 ① ポジショニング ② 器具の受け渡し ③ 衛生材料の製作 ④ バキュームテクニック ⑤ スリーウェイシリンジテクニック 事前学修 1.0hr：教科書「歯科診療補助論」I編 3章 共同動作について事前に学習する。 事後学修 1.0hr：学修内容振り返りシートを記入する。
10 回	授業テーマ：共同動作相互実習(3) C グループ 授業内容：以下の内容について実習した後、授業テーマについてグループワークを行う。 ① ポジショニング ② 器具の受け渡し ③ 衛生材料の製作 ④ バキュームテクニック ⑤ スリーウェイシリンジテクニック 事前学修 1.0hr：教科書「歯科診療補助論」I編 3章 共同動作について事前に学習する。 事後学修 1.0hr：学修内容振り返りシートを記入する。
11 回	授業テーマ：口腔写真撮影マニキン実習 授業内容：以下の内容について実習した後、授業テーマについてグループワークを行う。 ① 口腔写真撮影 事前学修 1.0hr：教科書「歯科診療補助論」I編 3章 口腔写真撮影について事前に学習する。 事後学修 1.0hr：口腔写真撮影についてポートフォリオのための資料を作成する。
12 回	授業テーマ：口腔写真撮影相互実習(1) A グループ 授業内容：以下の内容について実習した後、授業テーマについてグループワークを行う。 ① 口腔写真撮影 ② 口腔写真保存 事前学修 1.0hr：教科書「歯科診療補助論」I編 3章 口腔写真撮影について事前に学習する。 事後学修 1.0hr：学修内容振り返りシートを記入する。
13 回	授業テーマ：口腔写真撮影相互実習(2) B グループ 授業内容：以下の内容について実習した後、授業テーマについてグループワークを行う。 ① 口腔写真撮影 ② 口腔写真保存 事前学修 1.0hr：教科書「歯科診療補助論」I編 3章 口腔写真撮影について事前に学習する。 事後学修 1.0hr：学修内容振り返りシートを記入する。
14 回	授業テーマ：口腔写真撮影相互実習(3) C グループ 授業内容：以下の内容について実習した後、授業テーマについてグループワークを行う。 ① 口腔写真撮影 ② 口腔写真保存 事前学修 1.0hr：教科書「歯科診療補助論」I編 3章 口腔写真撮影について事前に学習する。 事後学修 1.0hr：学修内容振り返りシートを記入する。
15 回	授業テーマ：口腔写真撮影評価 授業内容：以下の内容について実習した後、授業テーマについてグループワークを行う。 ① 口腔写真撮影 事前学修 1.0hr：教科書「歯科診療補助論」I編 3章 口腔写真撮影について事前に学習する。 事後学修 1.0hr：学修内容振り返りシートを記入する。

臨床歯科診療補助実習

開講学科等：保 | 2年次 | 1単位 | 開講期：後 | 備考：科目責任者 星合愛子

河野 舞 (こうの まい)・田中 美咲 (たなか みさき)・星合 愛子 (ほしあい あいこ)

■ 授業の概要

歯科衛生士の三大業務の一つである歯科診療補助を行うために必要な基本的知識と技術を学ぶ。
歯科衛生士の臨床では、チェアサイドでの専門性の高い歯科診療補助が求められる。
本授業では、歯科診療の手順とその際に準備する器材を学ぶ。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：①/②/⑤)

一般目標：専門的な歯科診療補助のために必要な基礎的知識、技術および態度を習得する。

個別目標：① 歯冠修復材料の取り扱いについて説明できる。

- ② 合着材・接着剤および仮封材・仮着材の取り扱いについて説明できる。
- ③ 隔壁・歯肉圧排・歯間分離をマニキンで実施できる。
- ④ 寒天・アルジネート連合印象の手順を説明できる。
- ⑤ 根管充填時の診療補助が実施できる。
- ⑥ ワックス・コンパウンドの取り扱いについて説明できる。
- ⑦ 歯周パックの取り扱いについて説明できる。
- ⑧ 義歯の取り扱いについて説明できる。
- ⑨ シリコン印象材の取り扱いについて説明できる。
- ⑩ 概形印象採得ができる。
- ⑪ 石膏の注入ができる。
- ⑫ 舌機能障害について説明できる。
- ⑬ テンポラリークラウンの製作方法を説明できる。

■ 履修条件

2年前期までの基礎分野・専門基礎分野の学修内容を整理・復習して授業に臨むこと。
2年前期「基礎歯科診療補助論」「基礎歯科診療補助実習」の単位を修得していること。
「基礎歯科診療補助論」「基礎歯科診療補助実習」の学修内容を整理・復習して臨むこと。

■ 評価基準・方法

実技評価 60%、課題 20%、学修内容振り返りシート 10%、授業への取り組み姿勢及び発言等(提出物含む) 10%の結果及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。

また、原則として5分の4以上の出席を評価の前提条件とする。

■ フィードバック方法

課題(小テスト・レポート)および定期試験のフィードバックは、授業および学修支援システム manaba を通して行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施(実施内容)

あり (PBL チュートリアル)

■ 授業での PC の利用(利用内容)

なし

■ 教科書

全国歯科衛生士教育協議会 監修「歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論」医歯薬出版株式会社

全国歯科衛生士教育協議会 監修「歯科衛生学シリーズ 歯科機器」医歯薬出版株式会社

■ 参考書

必要に応じて授業の中で紹介する。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外(事前・事後)の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：オリエンテーション／検査・診断・治療用機器 授業内容：臨床歯科診療補助論・臨床歯科診療実習の履修についてオリエンテーションを行う。 以下の内容について講義した後、授業テーマについてディスカッションを行う。 ① 検査・診断・治療用機器 事前学修 1.0hr：教科書「歯科機器」I編 4章 検査・診断・治療用機器について事前に学習する。 事後学修 1.0hr：検査・診断・治療用機器についてポートフォリオのための資料を作成する。
2 回	授業テーマ：コンポジットレジン充填時の歯科診療補助実習 授業内容：以下の内容について講義・実習した後、授業テーマについてディスカッションを行う。 ① コンポジットレジン充填時に使用する器具 ② コンポジットレジン充填時の歯科診療補助の手順 事前学修 1.0hr：教科書「歯科診療補助論」I編 5章 保存修復時の歯科診療補助について事前に学習する。 事後学修 1.0hr：学修内容振り返りシートを記入する。
3 回	授業テーマ：寒天・アルジネート連合印象採得実習／隔壁・歯肉圧排・歯間分離実習 授業内容：以下の内容について講義・実習した後、授業テーマについてディスカッションを行う。 ① 寒天・アルジネート連合印象採得 ② 隔壁・歯肉圧排・歯間分離 事前学修 1.0hr：教科書「歯科診療補助論」I編 3章 歯肉圧排／I編 5章 歯科診療で扱う歯科材料について事前に学習する。 事後学修 1.0hr：学修内容振り返りシートを記入する。
4 回	授業テーマ：合着材・接着材講義／合着材・接着材の取り扱い実習 授業内容：以下の内容について講義・実習した後、授業テーマについてディスカッションを行う。 ① 合着材・接着材仮封材・仮着材 ② 合着材・接着材の取り扱い 事前学修 1.0hr：教科書「歯科診療補助論」I編 5章 歯科診療で扱う歯科材料について事前に学習する。 事後学修 1.0hr：合着材・接着材についてポートフォリオのための資料を作成する。学修内容振り返りシートを記入する。

5 回	授業テーマ：仮封材・仮着材講義／仮封材・仮着材の取り扱い実習 授業内容：以下の内容について講義・実習した後、授業テーマについてディスカッションを行う。 ① 仮封材・仮着材 ② 仮封材・仮着材の取り扱い 事前学修 1.0hr：教科書「歯科診療補助論」I編 5章 歯科診療で扱う歯科材料について事前に学習する。 事後学修 1.0hr：仮封材・仮着材についてポートフォリオのための資料を作成する。学修内容振り返りシートを記入する。
6 回	授業テーマ：根管充填時の歯科診療補助実習 授業内容：以下の内容について講義・実習した後、授業テーマについてディスカッションを行う。 ① 根管充填時に使用する器具 ② 根管充填時の歯科診療補助の手順 事前学修 1.0hr：教科書「歯科診療補助論」I編 4章 歯内療法時の歯科診療補助について事前に学習する。 事後学修 1.0hr：学修内容振り返りシートを記入する。
7 回	授業テーマ：ワックス・コンパウンドの取り扱い実習／歯周バックの取り扱い実習 授業内容：以下の内容について講義・実習した後、授業テーマについてディスカッションを行う。 ① ワックス・コンパウンド ② 歯周バック 事前学修 1.0hr：教科書「歯科診療補助論」I編 5章 歯科診療で扱う歯科材料について事前に学習する。 事後学修 1.0hr：学修内容振り返りシートを記入する。
8 回	授業テーマ：義歯の取り扱い実習／シリコン印象材の取り扱い実習 授業内容：以下の内容について講義・実習した後、授業テーマについてディスカッションを行う。 ① 義歯の取り扱い ② シリコン印象材の取り扱い 事前学修 1.0hr：教科書「歯科診療補助論」I編 4章 補綴治療時の診療補助／I編 5章 歯科診療で扱う歯科材料について事前に学習する。 事後学修 1.0hr：学修内容振り返りシートを記入する。
9 回	授業テーマ：印象採得・石膏注入相互実習(1) A グループ 授業内容：以下の内容について実習した後、授業テーマについてディスカッションを行う。 ① 印象採得 ② 石膏注入 事前学修 1.0hr：教科書「歯科診療補助論」I編 5章 歯科診療で扱う歯科材料について事前に学習する。 事後学修 1.0hr：学修内容振り返りシートを記入する。
10 回	授業テーマ：印象採得・石膏注入相互実習(2) B グループ 授業内容：以下の内容について実習した後、授業テーマについてディスカッションを行う。 ① 印象採得 ② 石膏注入 事前学修 1.0hr：教科書「歯科診療補助論」I編 5章 歯科診療で扱う歯科材料について事前に学習する。 事後学修 1.0hr：学修内容振り返りシートを記入する。
11 回	授業テーマ：印象採得・石膏注入相互実習(3) C グループ 授業内容：以下の内容について実習した後、授業テーマについてディスカッションを行う。 ① 印象採得 ② 石膏注入 事前学修 1.0hr：教科書「歯科診療補助論」I編 5章 歯科診療で扱う歯科材料について事前に学習する。 事後学修 1.0hr：学修内容振り返りシートを記入する。
12 回	授業テーマ：麻酔・切開・縫合に必要な器材の取り扱い実習 授業内容：以下の内容について講義・実習した後、授業テーマについてディスカッションを行う。 ① 麻酔 ② 切開 ③ 縫合 事前学修 1.0hr：教科書「歯科診療補助論」I編 4章 口腔外科治療時の診療補助について事前に学習する。 事後学修 1.0hr：学修内容振り返りシートを記入する。
13 回	授業テーマ：舌機能障害体験実習(1) 授業内容：以下の内容について体験した後、授業テーマについてディスカッションを行う。 ① 舌運動障害体験用マウスピース(Mouthpiece as Impairment Stimulator for Lingual Action: MISLA)の製作 事前学修 1.0hr：配布資料について事前に学習する。 事後学修 1.0hr：学修内容振り返りシートを記入する。
14 回	授業テーマ：舌機能障害体験実習(2) 授業内容：以下の内容について体験した後、授業テーマについてディスカッションを行う。 ① 音節連鎖によるオーラルディアドコキネシス ② 嚥下評価 事前学修 1.0hr：配布資料について事前に学習する。 事後学修 1.0hr：学修内容振り返りシートを記入する。
15 回	授業テーマ：デンポラリークラウン製作実習 授業内容：以下の内容について実習した後、授業テーマについてディスカッションを行う。 ① デンポラリークラウン製作 事前学修 1.0hr：教科書「歯科診療補助論」I編 4章 補綴治療時の診療補助について事前に学習する。 事後学修 1.0hr：学修内容振り返りシートを記入する。

臨床検査・放射線学

開講学科等：保 | 3年次 | 2単位 | 開講期：ST1 | 備考：科目責任者 礪波健一

竹島 浩 (たけしま ひろし)・礪波 健一 (となみ けんいち)

■ 授業の概要

臨床検査学：歯科臨床を行う上で重要な臨床検査について講義を行う。講義は生理検査として体温、脈拍、血圧の測定法を理解する。
放射線学：各種エックス線撮影法の種類と理論、手順を説明し、放射線防護についても説明。これにより歯科治療のチーム医療の一翼を担うことが可能となる。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：①)

一般目標：臨床検査法および放射線利用についてその詳細と応用について理解する。併せて放射線に関する法律を理解し臨床に役立てる能力を育成する。
個別目標：体温、脈拍、血圧の正確な採取方法を説明することができる。
尿検査、血液検査の各種項目と評価、検査の準備ができる。
放射線の基礎について理解し説明できる。
各種エックス線撮影法の種類と理論、手順を説明できる。
エックス線撮影の準備ができる。放射線防護について説明と準備ができる。

■ 履修条件

物理学、生物学を理解しておくことが望ましい。

■ 評価基準・方法

定期試験 80%、小テスト、学習の取り組み態度など 20%で総合的に評価する。

■ フィードバック方法

講義中に学生への質問、国家試験の過去問題などの質問、学生からの質問に対する回答をするなど、学生との講義内容の言葉でのキャッチボールを行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (インターネットを利用した双方向学習支援ツールを活用する。)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

歯科衛生学シリーズ 臨床検査 医歯薬出版株式会社

歯科衛生学シリーズ 歯科放射線学 医歯薬出版株式会社

■ 参考書

授業中に適宜提示する。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業テーマ：臨床検査 1 授業内容：臨床検査と歯科衛生士の役割、臨床検査の種類 事前学修 2.0hr：教科書 1,2 章を読んでおく。 事後学修 2.0hr：講義資料を整理し学習内容を振り返り、復習する。
2 回	授業テーマ：臨床検査 2 授業内容：血液学的検査：血液学検査の基本、赤血球、白血球、凝固系検査 事前学修 2.0hr：教科書 3 章を読んでおく。 事後学修 2.0hr：講義資料を整理し学習内容を振り返り、復習する。
3 回	授業テーマ：臨床検査 3 授業内容：感染症の検査：生物学的検査、感染症の血液学的検査、主な感染症(肝炎、HIV 感染症など) 肝機能の検査：肝機能検査(血清総たんぱく質、アルブミン、AST、ALT、ALP) 事前学修 2.0hr：教科書 4, 5 章を読んでおく。 事後学修 2.0hr：講義資料を整理し学習内容を振り返り、復習する。
4 回	授業テーマ：臨床検査 4 授業内容：腎機能の検査、糖尿病の検査、代謝・内分泌の検査 事前学修 2.0hr：教科書 6, 7, 8 章を読んでおく。 事後学修 2.0hr：講義資料を整理し学習内容を振り返り、復習する。
5 回	授業テーマ：臨床検査 5 授業内容：免疫・血清学的検査 事前学修 2.0hr：教科書 9, 10 章を読んでおく。 事後学修 2.0hr：講義資料を整理し学習内容を振り返り、復習する。
6 回	授業テーマ：臨床検査 6 授業内容：口腔領域の臨床検査：う蝕、歯周病の検査、口臭検査、味覚検査、口腔カンジダ症の検査、口腔機能低下症の検査 事前学修 2.0hr：教科書 12 章を読んでおく。 事後学修 2.0hr：講義資料を整理し学習内容を振り返り、復習する。
7 回	授業テーマ：臨床検査 7 授業内容：1～6のまとめ、小テスト、テストの解説 事前学修 2.0hr：教科書 1～12 章を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義資料を整理し学習内容を振り返り、復習する。
8 回	授業テーマ：放射線学 1 授業内容：放射線と歯科医療 事前学修 2.0hr：教科書 1 章を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義資料を整理し学習内容を振り返り、復習する。
9 回	授業テーマ：放射線学 2 授業内容：口腔内エックス線撮影① 事前学修 2.0hr：教科書 2 章を読んでおく(14-39 頁) 事後学修 2.0hr：講義資料を整理し学習内容を振り返り、復習する。
10 回	授業テーマ：放射線学 3 授業内容：口腔内エックス線撮影② 事前学修 2.0hr：教科書 2 章を読んでおく(40-47 頁) 事後学修 2.0hr：講義資料を整理し学習内容を振り返り、復習する。

11 回	授業テーマ：放射線学4 授業内容：パノラマエックス線撮影法 事前学修 2.0hr：教科書 3 章を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義資料を整理し学習内容を振り返り、復習する。
12 回	授業テーマ：放射線学5 授業内容：歯科用コーンビーム CT 事前学修 2.0hr：教科書 4 章を読んでおく 事後学修 2.0hr：エックス線撮影、口内法エックス線撮影法
13 回	授業テーマ：放射線学6 授業内容：その他の画像検査法 事前学修 2.0hr：教科書 5 章を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義資料を整理し学習内容を振り返り、復習する。
14 回	授業テーマ：放射線学7 授業内容：歯科エックス線画像の観察 事前学修 2.0hr：教科書 6 章を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義資料を整理し学習内容を振り返り、復習する。
15 回	授業テーマ：放射線学8 授業内容：ガンの放射線治療と口腔健康管理 事前学修 2.0hr：教科書 7 章を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義資料を整理し学習内容を振り返り、復習する。

口腔保健学臨床臨地実習Ⅰ

開講学科等：保 | 3年次 | 4単位 | 開講期：前 | 備考：2023年度以降入学生

実習担当専任教員 (じっしゅうせんになきょういん)

■ 授業の概要

臨床臨地実習Ⅰは1・2年次に行った基礎実習内容をもとに、歯科医療の現場での実習を行い歯科衛生士業務を修得する。歯科衛生士主要業務である「歯科予防処置」「歯科診療補助」「歯科保健指導」を中心に歯科衛生士の役割と業務を理解し実践力を学ぶ。また、チーム医療、他職種との連携を学び、また医療従事者としての倫理観を養う。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：①/②/③/⑤)

一般目標：歯科衛生業務を修得するために、歯科診療の場を通して歯科衛生士として必要な知識、技術および態度を身につける。

個別目標：歯・口腔・全身の健康状態を理解する。

チーム歯科医療について理解する。

診療設備を整えることができる。

消毒薬、各種滅菌器械・器具の操作・取り扱いができる。

■ 履修条件

3年次前期前半に実施される「歯科衛生総合実習(OSCE)」に合格していること。

■ 評価基準・方法

実習日誌、自己評価表、課題、実習への取り組み姿勢(90%)、定期試験(10%)および到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。

■ フィードバック方法

必要に応じて原則登校日に対面でフィードバックを行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (臨床臨地実習)

■ 授業でのPCの利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

専門科目で使用した教科書を必要に応じて参照する。

■ 参考書

専門科目で紹介された参考書を必要に応じて参照する。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

授業テーマ

明海大学病院、PDI 浦安・東京・埼玉歯科診療所、浦安市近郊の歯科医院における臨床臨地実習

授業内容

臨床臨地実習施設において各領域におけるリクワイアメント(「臨床実習の手引き」参照)を学習し、実践能力を養う。

事前学修

実習内容について事前に学習を行う。

事後学修

実習日誌、自己評価表、ケース表の作成により実習内容を振り返る。

口腔保健学臨床臨地実習Ⅰ

開講学科等：保 | 3年次 | 8単位 | 開講期：前 | 備考：2022年度以前入学生

実習担当専任教員 (じっしゅうせんになきょういん)

■ 授業の概要

臨床臨地実習Ⅰは1・2年次に行った基礎実習内容をもとに、歯科医療の現場での実習を行い歯科衛生士業務を修得する。歯科衛生士主要業務である「歯科予防処置」「歯科診療補助」「歯科保健指導」を中心に歯科衛生士の役割と業務を理解し実践力を学ぶ。また、チーム医療、他職種との連携を学び、また医療従事者としての倫理観を養う。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：①/②/③/⑤)

一般目標：歯科衛生業務を修得するために、歯科診療の場を通して歯科衛生士として必要な知識、技術および態度を身につける。

個別目標：歯・口腔・全身の健康状態を理解する。

チーム歯科医療について理解する。

診療設備を整えることができる。

消毒薬、各種滅菌器械・器具の操作・取り扱いができる。

■ 履修条件

2年次後期に実施される「臨床臨地実習前・OSCE」に合格していること。

■ 評価基準・方法

実習日誌、自己評価表、課題、実習への取り組み姿勢(90%)、定期試験(10%)および到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。

■ フィードバック方法

必要に応じて原則登校日に対面でフィードバックを行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (臨床臨地実習)

■ 授業でのPCの利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

専門科目で使用した教科書を必要に応じて参照する。

■ 参考書

専門科目で紹介された参考書を必要に応じて参照する。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

授業テーマ

明海大学病院、PDI 浦安・東京・埼玉歯科診療所、浦安市近郊の歯科医院における臨床臨地実習

授業内容

臨床臨地実習施設において各領域におけるリクワイアメント(「臨床実習の手引き」参照)を学習し、実践能力を養う。

事前学修

実習内容について事前に学習を行う。

事後学修

実習日誌、自己評価表、ケース表の作成により実習内容を振り返る。

口腔保健学臨床臨地実習Ⅱ

開講学科等：保 | 3 年次 | 8 単位 | 開講期：後

実習担当専任教員 (じっしゅうせんになきょういん)

■ 授業の概要

臨床臨地実習Ⅱは3年次前期に行った臨床臨地実習Ⅰをもとに、医療の現場における多職種連携の中での歯科衛生士の役割を身につける。また、対象者の問題を総合的に把握し理解する能力を身につける。医療の場において多職種と協働する能力を身につけ、自ら考え実践する能力を養う。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：①/②/③/⑤)

- 一般目標：専門的な歯科診療補助のために必要な技術および態度を習得する。
口腔衛生管理および口腔機能管理のために必要な技術および態度を習得する。
う蝕および歯周病の予防処置のために専門的な技術および態度を習得する。
- 個別目標：医療安全管理に配慮した行動ができる。
スタッフ(他の職種を含む)と連携して共同動作、必要なサービスができる。
実習指導者の指示のもと、う蝕予防処置ができる。
実習指導者の指示のもと、スケーリングおよび歯面研磨ができる。
実習指導者の指示のもと、患者に応じた口腔健康管理ができる。

■ 履修条件

3 年次前期前半に実施される「歯科衛生総合実習(OSCE)」に合格していること。

■ 評価基準・方法

実習日誌、自己評価表、課題、実習への取り組み姿勢(80%)、定期試験(20%)および到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。

■ フィードバック方法

必要に応じて原則登校日に対面でフィードバックを行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (臨床臨地実習)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

専門科目で使用した教科書を必要に応じて参照する。

■ 参考書

専門科目で紹介された参考書を必要に応じて参照する。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

授業テーマ

明海大学病院、PDI 浦安・東京・埼玉歯科診療所、浦安市近郊の歯科医院における臨床臨地実習

授業内容

臨床臨地実習施設において各領域におけるリクワイアメント(「臨床実習の手引き」参照)を学習し、実践能力を養う。

事前学修

実習内容について事前に学習を行う。

事後学修

実習日誌、自己評価表、ケース表の作成により実習内容を振り返る。

口腔保健学臨床臨地実習Ⅲ

開講学科等：保 | 4 年次 | 8 単位 | 開講期：前 | 備考：2023 年度以降入学生

実習担当専任教員 (じっしゅうせんにんきょういん)

■ 授業の概要

臨床臨地実習Ⅲは3年次前期・後期に行った臨床臨地実習Ⅰ・Ⅱをもとに、医療・介護・福祉・保健の現場における多職種連携の中での歯科衛生士の役割を身につける。また、対象者の問題を総合的に把握し理解する能力を身につける。保健・医療・介護・福祉の場において多職種と協働する能力を身につけ、自ら考え実践する能力を養う。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：①/②/③/⑤)

一般目標：専門的な歯科診療補助のために必要な技術および態度を習得する。

口腔衛生管理および口腔機能管理のために必要な技術および態度を習得する。

う蝕および歯周病の予防処置のために専門的な技術および態度を習得する。

高齢者の身体的・心理的特徴を理解し、QOLの向上と口腔機能の向上に必要な口腔健康管理の技能、歯科治療での歯科衛生士の役割を習得する。

個別目標：医療安全管理に配慮した行動ができる。

スタッフ(他の職種を含む)と連携して共同動作、必要なサービスができる。

実習指導者の指示のもと、う蝕予防処置ができる。

実習指導者の指示のもと、スケーリングおよび歯面研磨ができる。

高齢者や家族、職員とのコミュニケーションを図る。

口腔の健康管理に必要な知識・技能を習得し、情報を収集する。

実習指導者の指示のもと、対象者に応じた口腔健康管理ができる。

■ 履修条件

3年次までに開講される専門科目の単位を全て修得していること。

■ 評価基準・方法

実習日誌、自己評価表、課題、実習への取り組み姿勢(65%)、定期試験(35%)および到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。

■ フィードバック方法

必要に応じて原則登校日に対面でフィードバックを行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (臨床臨地実習)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

専門科目で使用した教科書を必要に応じて参照する。

■ 参考書

専門科目で紹介された参考書を必要に応じて参照する。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

授業テーマ

浦安市近郊の歯科医院、病院歯科、保健所、学校、高齢者施設における臨床臨地実習

授業内容

臨床臨地実習施設において各領域におけるリクワイアメント(「臨床実習の手引き」参照)を学習し、実践能力を養う。

事前学修

実習内容について事前に学習を行う。

事後学修

実習日誌、自己評価表、ケース表の作成により実習内容を振り返る。

口腔保健学臨床臨地実習Ⅲ

開講学科等：保 | 4 年次 | 4 単位 | 開講期：前 | 備考：2022 年度以前入学生

実習担当専任教員 (じっしゅうせんになきょういん)

■ 授業の概要

臨床臨地実習Ⅲは3年次前期・後期に行った臨床臨地実習Ⅰ・Ⅱをもとに、医療・介護・福祉・保健の現場における多職種連携の中での歯科衛生士の役割を身につける。また、対象者の問題を総合的に把握し理解する能力を身につける。保健・医療・介護・福祉の場において多職種と協働する能力を身につけ、自ら考え実践する能力を養う。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：①/②/③/⑤)

一般目標：専門的な歯科診療補助のために必要な技術および態度を習得する。

口腔衛生管理および口腔機能管理のために必要な技術および態度を習得する。

う蝕および歯周病の予防処置のために専門的な技術および態度を習得する。

高齢者の身体的・心理的特徴を理解し、QOLの向上と口腔機能の向上に必要な口腔健康管理の技能、歯科治療での歯科衛生士の役割を習得する。

個別目標：医療安全管理に配慮した行動ができる。

スタッフ(他の職種を含む)と連携して共同動作、必要なサービスができる。

実習指導者の指示のもと、う蝕予防処置ができる。

実習指導者の指示のもと、スケーリングおよび歯面研磨ができる。

高齢者や家族、職員とのコミュニケーションを図る。

口腔の健康管理に必要な知識・技能を習得し、情報を収集する。

実習指導者の指示のもと、対象者に応じた口腔健康管理ができる。

■ 履修条件

3年次までに開講される専門科目の単位を全て修得していること。

■ 評価基準・方法

実習日誌、自己評価表、課題、実習への取り組み姿勢(65%)、定期試験(35%)および到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。

■ フィードバック方法

必要に応じて原則登校日に対面でフィードバックを行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (臨床臨地実習)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

専門科目で使用した教科書を必要に応じて参照する。

■ 参考書

専門科目で紹介された参考書を必要に応じて参照する。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

授業テーマ

浦安市近郊の歯科医院、病院歯科、保健所、学校、高齢者施設における臨床臨地実習

授業内容

臨床臨地実習施設において各領域におけるリクワイアメント(「臨床実習の手引き」参照)を学習し、実践能力を養う。

事前学修

実習内容について事前に学習を行う。

事後学修

実習日誌、自己評価表、ケース表の作成により実習内容を振り返る。

歯科衛生総合実習 (OSCE)

開講学科等：保 | 3 年次 | 1 単位 | 開講期：ST1

専任教員

■ 授業の概要

本実習は、臨床実習に先立ち、歯科衛生士として必要な基本的臨床技能および態度を総合的に確認・定着させることを目的とする。歯科予防処置、歯科保健指導および歯科診療補助の主要三科で修得した知識・技能を基盤として実践的な実技演習を行い、授業内評価を通じて到達度を確認する。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：①/②/⑤)

一般目標：臨床実習に必要な歯科衛生士としての基本的知識・技能・態度を総合的に確認し、歯科予防処置、歯科保健指導および歯科診療補助の各分野において、安全かつ適切に実践できる基礎的能力を身につける。

- 個別目標：1. 歯科予防処置において、対象者の状況に応じて、適切な口腔内診査、スケーリング、フッ化物塗布等の歯科予防処置を安全に実施できる。
2. 歯科保健指導において、対象者の健康状態や生活背景を理解し、歯科衛生上の問題に対する個別的な介入方法を考え、必要な歯科保健指導を実施できる。
3. 歯科診療補助において、診療の流れに応じて、必要な歯科器材を適切に取り扱い、共同動作を含めた歯科診療補助を安全かつ円滑に実施できる。
4. 感染予防および医療安全に配慮した行動をとることができる。
5. 歯科医療従事者として、患者対応に必要な態度およびコミュニケーションを身につける。

■ 履修条件

2 年次までの全ての単位を取得していること。

■ 評価基準・方法

実技評価(主要三科目における授業内評価) 60 %、課題および小テスト 30 %、実習への取組態度及び発言等(身だしなみ、提出物含む) 10 %の結果および到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。また、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

■ フィードバック方法

必要に応じて、対面または manaba を通してフィードバックを行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (歯科衛生臨床能力の修得状況に応じて、マネキン等を活用した実技練習。)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

なし

■ 教科書

全国歯科衛生士教育協議会監修「歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論」 医歯薬出版株式会社

全国歯科衛生士教育協議会監修「歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論」 医歯薬出版株式会社

■ 参考書

授業時に指示する。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

授業テーマ

本実習では、歯科予防処置、歯科保健指導および歯科診療補助の三分野を中心に、臨床実習前に必要な基本的臨床技能の修得に向けた実技演習を行う。各回の授業では、テーマに応じた技能練習と到達度の確認を行い、授業時間内に形成的評価および総括的評価を実施する。

授業内容

臨床実習開始前に必要となる基本的臨床技能の修得を目的とし、授業内において OSCE (客観的臨床能力試験) を実施する。歯科予防処置、歯科保健指導および歯科診療補助の各分野において、それぞれの特性に応じた実践的演習および OSCE を行い、必要な知識・技能の整理と実践的能力の定着を図る。

事前学修

主要三科(歯科予防処置、歯科保健指導、歯科診療補助)で修得した知識および基本手技について復習するとともに、関連する器材の名称、使用目的および基本操作を確認しておく。また、各分野における基本的な手順および注意事項について整理しておく。

事後学修

授業で実施した実技演習および OSCE の内容を振り返り、自己の課題および改善点を整理する。あわせて、関連する知識および手技について復習し、次回授業および臨床実習に向けた理解の定着を図る。

総合口腔保健学特論／歯科総合演習

開講学科等：保 | 4 年次 | 4 単位 | 開講期：通

総合口腔保健学特論 (そうごうこうくうほけんがくとくろん)・歯科総合演習 担当教員 (しかそうごうえんしゅうたんとくきょういん)

■ 授業の概要

前期には、歯科衛生士として総合的な学力を育成するために、主に 1・2 年次で学修した専門基礎分野である「人体の構造と機能」「歯・口腔の構造と機能」「疾患の成り立ち及び回復過程の促進」「歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み」に関する専門基礎分野科目内容の総括を行う。また、国立科学博物館での学外活動を行う。

後期には、主に 2・3 年次に学修した専門科目である「臨床歯科医学」「歯科診療補助論」「歯科予防処置論」「歯科保健指導論」に関する専門分野科目内容の総括を行う。また、小学校における歯科保健指導実習も実施する。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：2023 年度以降入学生①/②/⑤、2022 年度以前入学生①/②/③/④/⑤)

一般目標：歯科衛生士に必要な専門基礎分野および専門分野に関する知識を整理する。また、学校における歯科保健指導への理解を深める。

個別目標：①歯科衛生士に必要な専門基礎分野に関する知識を説明できる。

②歯科衛生士に必要な専門科目に関する知識を説明できる。

③小学校での集団に対する歯科保健指導の方法を説明できる。

■ 履修条件

原則欠席は認めない。

1～3 年次までに履修した全ての専門科目と関連が深いため、内容を復習・整理して本授業に臨むこと。

また、国家試験対策講義・特別補講等の授業・模擬試験を含めた 5 分の 4 以上の出席をもって単位認定試験受験資格とし、評価の前提条件とする。

■ 評価基準・方法

本科目は 4 年間の学修の総まとめであり、歯科衛生士国家試験の出題範囲をほぼ網羅しているため、特段の理解が必要である。以上より、本科目の単位認定試験(卒業試験)の合格基準を 65 %以上とする。

■ フィードバック方法

課題のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施 (実施内容)

あり (発見学習、問題解決学習、グループ・ディスカッションを通し、能動的に学修に参加する。)

■ 授業での PC の利用 (利用内容)

あり (manaba を用いた授業資料の閲覧、課題の提出)

■ 教科書

1～3 年次の各科目で使用した教科書や資料等

必要に応じて授業内で紹介する。

■ 参考書

必要に応じて授業内で紹介する。

■ 授業テーマ・授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

授業テーマ

前期には、歯科衛生士として総合的な学力を育成するために、主に 1・2 年次で学修した「人体の構造と機能」「歯・口腔の構造と機能」「疾患の成り立ち及び回復過程の推進」「歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み」に関する専門基礎分野科目内容の総括授業を実施する。また、国立科学博物館での学外活動を通して人体・生命科学に対する理解を深める。

後期には、主に 2・3 年次で学修した「臨床歯科医学」「歯科診療補助論」「歯科予防処置論」「歯科保健指導論」に関する専門分野科目内容の総括授業を実施する。また、小学校における集団への歯科保健指導を実施する。

授業内容

解剖学、口腔解剖学、生理学、口腔生理・機能学、口腔組織・発生学、生化学・栄養生化学、病理学・口腔病理学、微生物学・口腔微生物学、薬理学・歯科薬理学、公衆衛生学、口腔衛生学、臨床検査・放射線学、歯科保存学、歯周治療学、歯科補綴学、口腔外科・麻酔学、小児歯科学、歯科矯正学、高齢者・スペシャルニーズ歯科学、介護福祉、歯科診療補助論、歯科予防処置論、歯科保健指導論、摂食嚥下リハビリテーション学、国立科学博物館での学外活動、小学校における各学年に対する歯科保健指導など。

事前学修

各授業内容の理解を十分に深めるため、1～3 年次に履修した内容について事前に復習を行ったうえで授業に臨むこと。

事前課題は必ず取り組み、授業参加すること。

事後学修

各授業で行われた学修内容の理解を深めるため、その日のうちに詳細な復習を行うこと。

事後課題は必ず取り組み、授業内容について理解を深めること。

卒業研究概論

開講学科等：保 | 3 年次 | 1 単位 | 開講期：FT1

専任教員

■ 授業の概要

4 年次の卒業研究に向けた基礎的な知識と研究の進め方について解説し、論理的思考力、問題解決能力、学術的な表現力などを養う。研究の意義、研究テーマの見つけ方、文献検索の方法、研究倫理と倫理審査、研究計画書の書き方などについて理解を深め、卒業研究に向けた準備を整える。

■ 到達目標（ディプロマ・ポリシー：②/④/⑤）

一般目標：口腔保健・歯科衛生の専門職を目指すものとして、卒業研究を行う上で必要な基本的な知識、技術、態度を修得する。

個別目標：①口腔保健・歯科衛生の現状を分析し、科学的な視点から問題点を発見することができる。

②口腔保健学における研究方法を列挙することができる。

③研究における個人情報管理や知的財産の取扱いのルール、研究上の倫理について説明できる。

④研究における個人情報管理や知的財産の取扱いのルール、研究上の倫理の遵守の必要性を感じることができる。

⑤研究論文や資料の収集を行うことができる。

■ 履修条件

3 年次前期までに学修した専門科目について復習し、十分理解しておくこと。

■ 評価基準・方法

5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とし、公欠以外の遅刻と欠席は総合評価から減点とする。

課題および授業への取り組み姿勢 (50%)、定期試験 (50%) の結果および到達目標の達成度を総合的に評価する。

■ フィードバック方法

小テストおよび課題のフィードバックは、授業や学習支援システム manaba を通して行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり（グループディスカッション）

■ 授業での PC の利用（利用内容）

あり（文献の検索、課題の作成など）

■ 教科書

「歯科衛生研究」全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版

■ 参考書

「歯科衛生研究の進め方 論文の書き方 第 3 版」日本歯科衛生学会 監修 医歯薬出版

歯科衛生士教育サブテキスト「卒業研究 HANDBOOK」真木吉信 監著 クインテッセンス出版

■ 授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

4 年次の「卒業研究」を円滑に進めるために、研究の基礎的な内容を学修する。

授業内容

①歯科衛生士が行う研究の意義、②研究倫理について、③文献の種類と文献検索の方法、④文献の精読、⑤研究テーマの探索、⑥研究手法の理解、⑦研究計画立案方法と計画書の作成について演習やグループディスカッションを通じて理解を深める。

事前学修

教科書の該当する項目を事前に読み込み、内容を理解して臨む。研究テーマの探索では、日頃から興味関心のある分野について考えや参考論文を検索してまとめておく。グループディスカッションや発表を行う場合は、事前に資料を準備する。

各回の事前学修時間は 2 時間を目安とする。

事後学修

各回の課題に取り組む。定期試験に向けて学修内容を復習する。

各回の事後学修時間は 2 時間を目安とする。

卒業研究

開講学科等：保 | 4 年次 | 3 単位 | 開講期：通 | 備考：2023 年度以降入学生

専任教員

■ 授業の概要

口腔保健・歯科衛生を専門とする者にとって、リサーチマインドを持ち、正しい根拠に基づいた行動をとることはきわめて重要である。また、様々な場面で研究あるいは研究手技を必要とすることがある。本科目のねらいは、そのために必要な知識・技術・態度を習得することであり、問題を発見し解決するための技術・方法を学び、論理的な思考能力、プレゼンテーション能力、さらにはあらゆる立場の人々とのコミュニケーションや礼節の素養を養い、実社会への準備をすることにある。研究にあたり、患者・対象者を守り擁護する研究倫理について学修し、研究者として、また医療専門職としての自律的な姿勢を培う。リサーチデザインコースでは、自身が興味のある分野を選択し、文献の精査や研究手法の検討、選択した分野についてのディスカッションおよびプレゼンテーション、文献調査レポート等の成果物の作成を行う。アドバンスト研究コースは、口腔保健・歯科衛生分野に関する研究テーマを設定し、研究計画の立案から研究調査、論文作成を実施する。

■ 到達目標（ディプロマ・ポリシー：②/④/⑤）

一般目標：口腔保健学において、科学的なマインドを持つリーダーとして様々な分野で活躍するために必要な知識・技術・態度を修得する。

個別目標：①口腔保健学に関する問題・課題を発見することができる。

②発見した問題・課題についての文献的検索・解析ができる。

③発見した問題・課題を科学的に解決するための計画立案ができる。

④口腔保健医療における研究の重要性を感じることができる。

【リサーチデザインコース】

①選択した分野に適した研究手法を考えることができる。

②選択した分野について調査し、研究内容を要約・考察できる。

③先行研究をもとに整理した内容を発表できる。

④先行研究を調査し、考察を加えながら研究計画書を作成することができる。

【アドバンスト研究コース】

①作成した計画に従って調査・研究を実施できる。

②研究を行う上での様々な危機管理ができる。

③研究の結果を解析し、結果のプレゼンテーションができる。

④研究の結果から論文を作成することができる。

■ 履修条件

3 年次までに開講されるすべての専門科目（臨床臨床実習を含む）が関連するため、これらの科目の復習・整理をしてから卒業研究に臨むこと。

■ 評価基準・方法

【リサーチデザインコース】

定期試験(50%)、課題・成果物・ディスカッションやプレゼンテーションなどの演習への取組姿勢(50%)の結果および到達目標の達成度をもとに総合的に評価する。

なお、授業の5分の4以上の出席を評価・定期試験受験の前提条件とし、公欠以外の欠席は総合評価から減点対象とする。

【アドバンスト研究コース】

研究の計画・立案から研究の実施、成果発表、卒業論文の作成まで、卒業研究全体における知識・技術・態度が評価対象である。また、研究内容や研究結果だけではなく、研究を遂行する過程も評価の対象とする。

評価割合は、論文評価(30%)、プレゼン評価(20%)、取組評価(50%)とする。

■ フィードバック方法

課題等のフィードバックは、教員とのディスカッションや学習支援システム manaba を通じて行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり（各自で研究計画の立案、研究の実施、成果発表および論文作成や先行研究の調査、ディスカッションなどを行う。）

■ 授業での PC の利用（利用内容）

あり（PC によるデータ分析やプレゼン資料の作成、論文執筆およびレポート作成を行う。）

■ 教科書

歯科衛生士教育サブテキスト「卒業研究 HANDBOOK」眞木吉信 監著 クインテッセンス出版

■ 参考書

「歯科衛生研究の進め方 論文の書き方 第3版」日本歯科衛生学会 監修 医歯薬出版

「歯科衛生研究」全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版

■ 授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

授業テーマと実施時期は以下の通り。

①リサーチデザインおよび研究の実施・・・4 年前期

②成果発表(先行研究調査に関する発表含む)・・・4 年後期

④論文・レポート作成・・・4 年後期

授業内容

各テーマの授業内容を示す。

①研究の実施・・・【リサーチデザインコース】選択した分野に関する先行研究を調査し、内容を論理的に整理して考察する。

【アドバンスト研究コース】各自の研究テーマに従って研究を実施する。

③成果発表・・・【リサーチデザインコース】既存の研究を調査し、その内容をまとめてディスカッションやプレゼンテーションを行う。

【アドバンスト研究コース】卒業研究成果発表会でスライドを用いたプレゼンテーションを行う。

④論文・レポート作成・・・

【リサーチデザインコース】先行研究の調査・分析をもとに論理的に整理して実現可能な研究計画書をまとめる。

【アドバンスト研究コース】卒業研究を総括する論文を完成させる。

アドバンスト研究コースが行う成果発表会には科目履修者全員が参加する。詳細は、日程が近付いたら説明会を実施する。

事前学修

各自が選んだ卒業研究の課題に関して、文献検索などによってその背景や国内外の研究状況を十分に把握したうえで取り組むこと。
なお、教員への相談等で教員を訪問する場合は、必ず事前にアポイントメントを取ることを。メールを送る際には、件名や用件の伝え方、必ず氏名を名乗ることなど、マナーを守ることを。
各回の事前学修時間は 2 時間を目安とする。

事後学修

【リサーチデザインコース】 選択した分野に関する文献を整理し、自身が研究を実施する際の参考資料として活用できるようまとめること。
【アドバンスト研究コース】 研究実施のプロセスを把握し、自身の研究が現状どの段階まで進捗しているかを指導教員と確認しながら進めること。
各回の事後学修時間は 2 時間を目安とする。

卒業研究

開講学科等：保 | 4 年次 | 4 単位 | 開講期：通 | 備考：2022 年度以前入学生

専任教員

■ 授業の概要

口腔保健・歯科衛生を専門とする者にとって、リサーチマインドを持ち、正しい根拠に基づいた行動をとることはきわめて重要である。また、様々な場面で研究あるいは研究手技を必要とすることがある。本科目のねらいは、そのために必要な知識・技術・態度を習得することであり、問題を発見し解決するための技術・方法を学び、論理的な思考能力、プレゼンテーション能力、さらにはあらゆる立場の人々とのコミュニケーションや礼節の素養を養い、実社会への準備をすることにある。研究にあたり、患者・対象者を守り擁護する研究倫理について学修し、研究者として、また医療専門職としての自律的な姿勢を培う。リサーチデザインコースでは、自身が興味のある分野を選択し、文献の精査や研究手法の検討、選択した分野についてのディスカッションおよびプレゼンテーション、文献調査レポート等の成果物の作成を行う。アドバンスト研究コースでは、口腔保健・歯科衛生分野に関する研究テーマを設定し、研究計画の立案から研究調査、論文作成を実施する。

■ 到達目標（ディプロマ・ポリシー：④/⑤）

一般目標：口腔保健学において、科学的なマインドを持つリーダーとして様々な分野で活躍するために必要な知識・技術・態度を修得する。

個別目標：①口腔保健学に関する問題・課題を発見することができる。

②発見した問題・課題についての文献的検索・解析ができる。

③発見した問題・課題を科学的に解決するための計画立案ができる。

④口腔保健医療における研究の重要性を感じることができる。

【リサーチデザインコース】

①選択した分野に適した研究手法を考えることができる。

②選択した分野について調査し、研究内容を要約・考察できる。

③先行研究をもとに整理した内容を発表できる。

④先行研究を調査し、考察を加えながら研究計画書を作成することができる。

【アドバンスト研究コース】

①作成した計画に従って調査・研究を実施できる。

②研究を行う上での様々な危機管理ができる。

③研究の結果を解析し、結果のプレゼンテーションができる。

④研究の結果から論文を作成することができる。

■ 履修条件

3 年次までに開講されるすべての専門科目（臨床臨床実習を含む）が関連するため、これらの科目の復習・整理をしてから卒業研究に臨むこと。

■ 評価基準・方法

【リサーチデザインコース】

定期試験(50%)、課題・成果物・ディスカッションやプレゼンテーションなどの演習への取組姿勢(50%)の結果および到達目標の達成度をもとに総合的に評価する。

なお、授業の5分の4以上の出席を評価・定期試験受験の前提条件とし、公欠以外の欠席は総合評価から減点対象とする。

【アドバンスト研究コース】

研究の計画・立案から研究の実施、成果発表、卒業論文の作成まで、卒業研究全体における知識・技術・態度が評価対象である。また、研究内容や研究結果だけではなく、研究を遂行する過程も評価の対象とする。

評価割合は、論文評価(30%)、プレゼン評価(20%)、取組評価(50%)とする。

■ フィードバック方法

課題等のフィードバックは、教員とのディスカッションや学習支援システム manaba を通じて行う。

■ アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり（各自で研究計画の立案、研究の実施、成果発表および論文作成や先行研究の調査、ディスカッションなどを行う。）

■ 授業での PC の利用（利用内容）

あり（PC によるデータ分析やプレゼン資料の作成、論文執筆およびレポート作成を行う。）

■ 教科書

「歯科衛生研究」全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版

歯科衛生士教育サブテキスト「卒業研究 HANDBOOK」真木吉信 監著 クインテッセンス出版

■ 参考書

「歯科衛生研究の進め方 論文の書き方 第3版」日本歯科衛生学会 監修 医歯薬出版

「歯科衛生研究」全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版

■ 授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

授業テーマと実施時期は以下の通り。

①リサーチデザインおよび研究の実施・・・4 年前期

③成果発表(先行研究調査に関する発表含む)・・・4 年後期

④論文・レポート作成・・・4 年後期

授業内容

各テーマの授業内容を示す。

①研究の実施・・・【リサーチデザインコース】選択した分野に関する先行研究を調査し、内容を論理的に整理して考察する。

【アドバンスト研究コース】各自の研究テーマに従って研究を実施する。

③成果発表・・・【リサーチデザインコース】既存の研究を調査し、その内容をまとめてディスカッションやプレゼンテーションを行う。

【アドバンスト研究コース】卒業研究成果発表会でスライドを用いたプレゼンテーションを行う。

④論文・レポート作成・・・

【リサーチデザインコース】先行研究の調査・分析をもとに論理的に整理して実現可能な研究計画書をまとめる。

【アドバンスト研究コース】卒業研究を総括する論文を完成させる。

アドバンスト研究コースが行う成果発表会には科目履修者全員が参加する。詳細は、日程が近付いたら説明会を実施する。

事前学修

各自が選んだ卒業研究の課題に関して、文献検索などによってその背景や国内外の研究状況を十分に把握したうえで取り組むこと。
なお、教員への相談等で教員を訪問する場合は、必ず事前にアポイントメントを取る。メールを送る際には、件名や用件の伝え方、必ず氏名を名乗ることなど、マナーを守ること。
各回の事前学修時間は 2 時間を目安とする。

事後学修

【リサーチデザインコース】 選択した分野に関する文献を整理し、自身が研究を実施する際の参考資料として活用できるようまとめること。
【アドバンスト研究コース】 研究実施のプロセスを把握し、自身の研究が現状どの段階まで進捗しているかを指導教員と確認しながら進めること。
各回の事後学修時間は 2 時間を目安とする。



<https://www.meikai.ac.jp>